

フルカラー版

機動戦士ガンダム

12

THE ORIGIN

—開戦編・後—

安彦良和

原案
矢立肇・富野由悠季
メカニックデザイン
大河原邦男



これまでのあらずド



シャア・アズナブル

士官学校での

ガルマとの邂逅

そして仮面の決意

スペースコロニーに住む宇宙移民者たちの、地球連邦政府からの独立を望む声が高まりつつあった宇宙世紀0068、運動の指導者的存在であるムンゾ自治共和国議長長ジョン・スム・ダイクンが急死を遂げた。

それを機にムンゾの実権を掌握せんとするザビ家の手から逃れるため、ジオンの遺児キャスバルとアルテイシアは名を変え、地球、そしてテキサスコロニーへの逃避行を余儀なくされた。その地で、しばし平穏な時を過ごす二人。だがムンゾで軟禁されていた母の死が伝えられた時、キャスバルはついにザビ家への復讐を決意する。

親友シャア・アズナブルに成り代わった彼は、ジオンの士官学校に入学した。そこでザビ家の末弟ガルマ・ザビとの運命的な出会いを果たすと、二人は奇妙な、友情にも似た関係を育み始める。

→ジオンの士官学校に入学したシャアはそこでザビ家の末弟、ガルマ・ザビに出会う。

←↓学業、運動、共に秀でたシャアは学内で頭角をあらわし、学生達の信頼を勝ち得ていく。





←母の死を境に異なる道を歩みだした兄妹、シャアとセイラの運命は…?



↑連邦の発見の遅れにより、小天体がジオン本国に衝突し、多くの人命を奪った。

高まる開戦への 機運の中 ジオンは恐るべき新兵器 モビルスーツの 開発に成功していた…

一方、連邦機関の発見の遅れにより小天体がサイド3のコロニーに衝突したことで、ジオンにおける連邦への反感はピークに達していた。それを好機と感じたシャアは、ガルマを扇動して士官学校生による、連邦軍治安部隊の制圧、武装解除を計画する。作戦は成功し、それを指揮したガルマはジオン国民の英雄となった。しかしその反面、ジオンと連邦の対立は決定的なものとなり、蜂起の糸をひいていたシャアも予備役編入の降格処分を命じられる。

その頃、連邦では極秘入手したジオンの新型兵器MSの性能情報に驚愕し、自らもMS開発に着手する方針を固めていた。

そして軍を退いたシャアは、その素性を偽り、地球は南米ジャブローの建設地に…。



↑シャアにのせられたガルマは自ら隊長となり、連邦軍駐屯地への攻撃をはじめ。

機動戦士ガンダム THE ORIGIN¹² —開戦編・後—

C O N T E N T S

SECTION V ————— 005

SECTION VI ————— 061

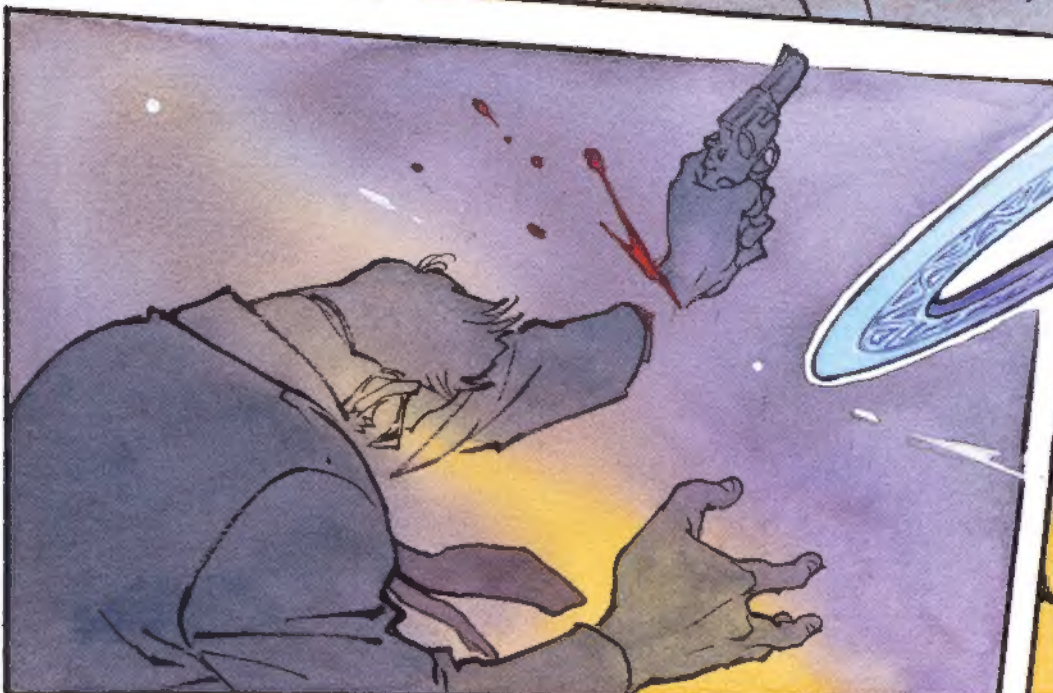
SECTION VII ————— 109

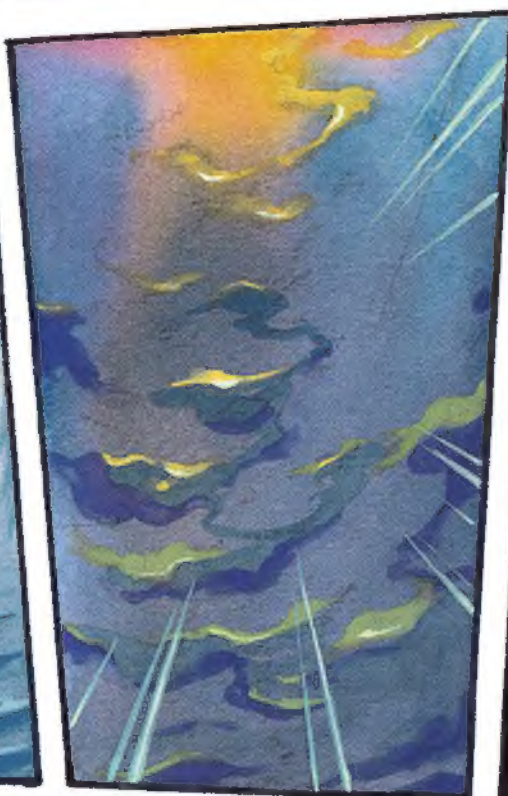
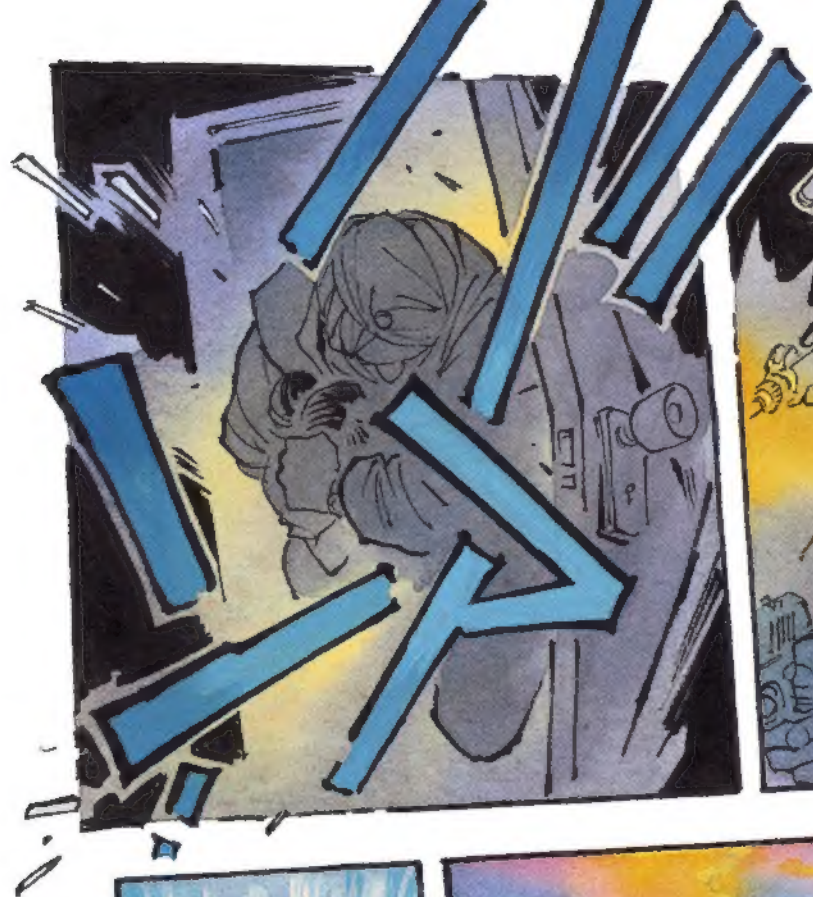
SECTION VIII ————— 157

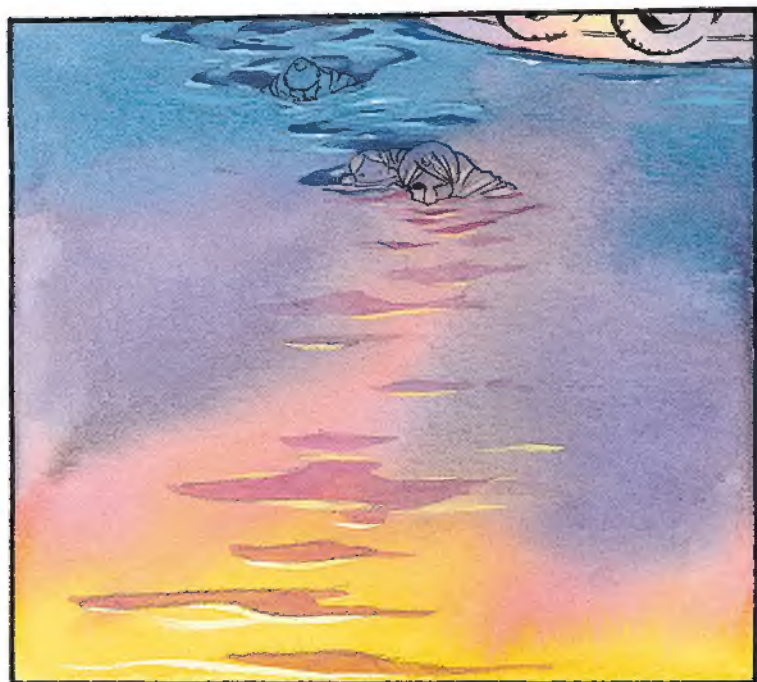
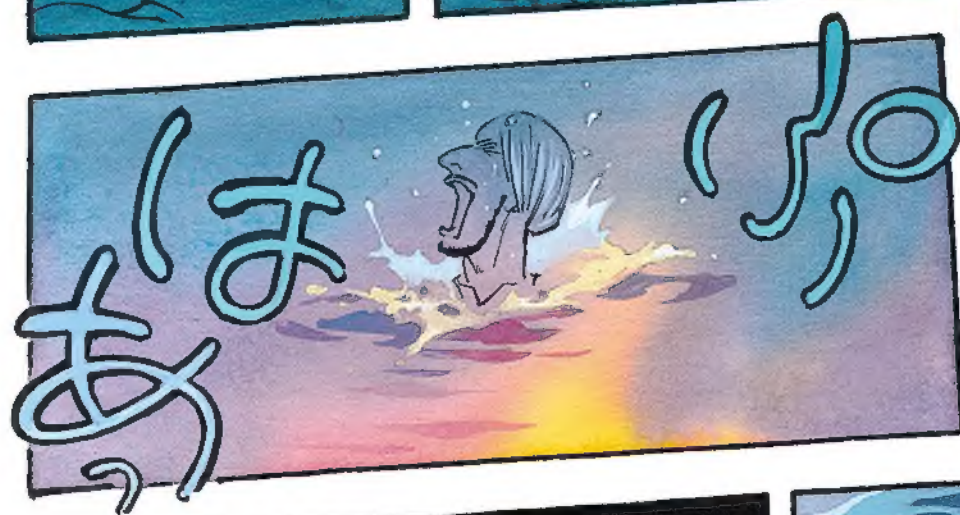
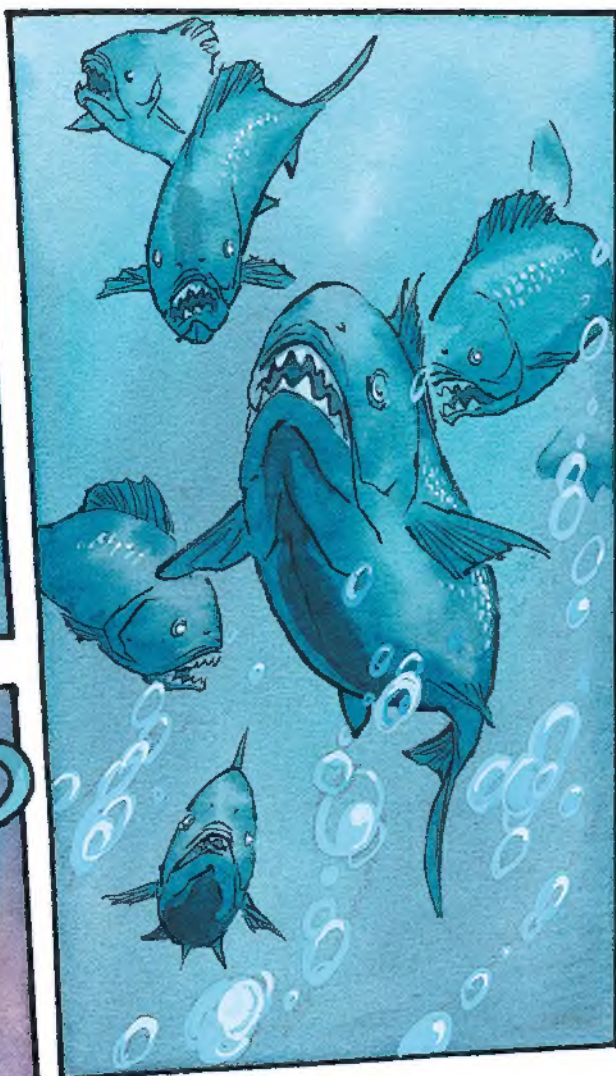
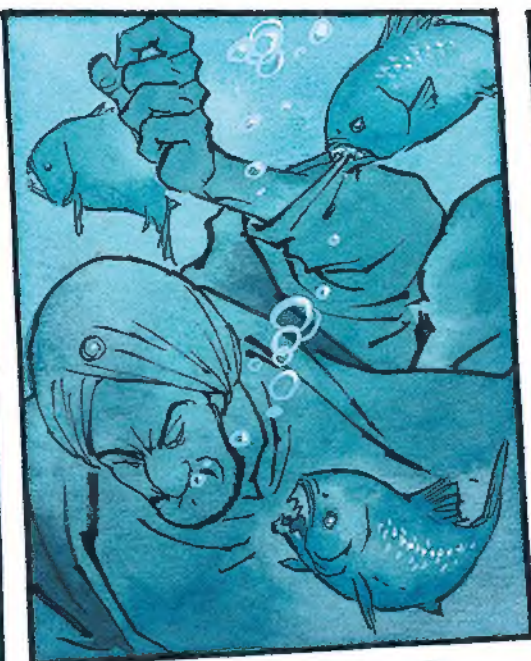
—開戦編・後—

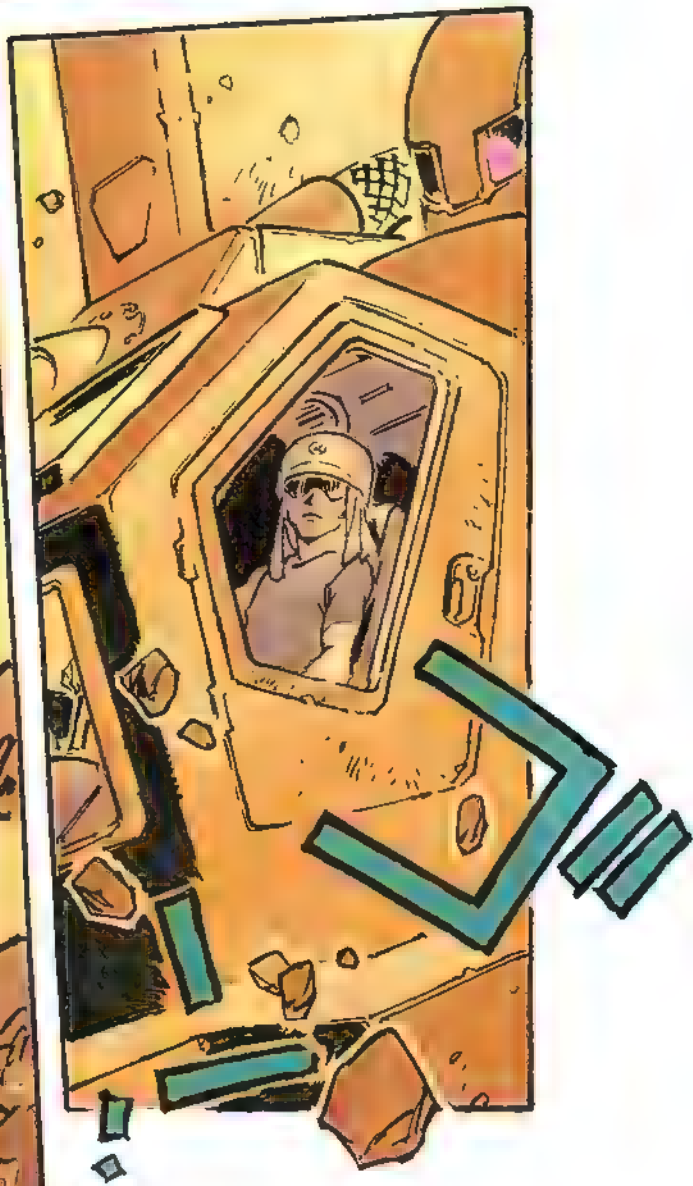
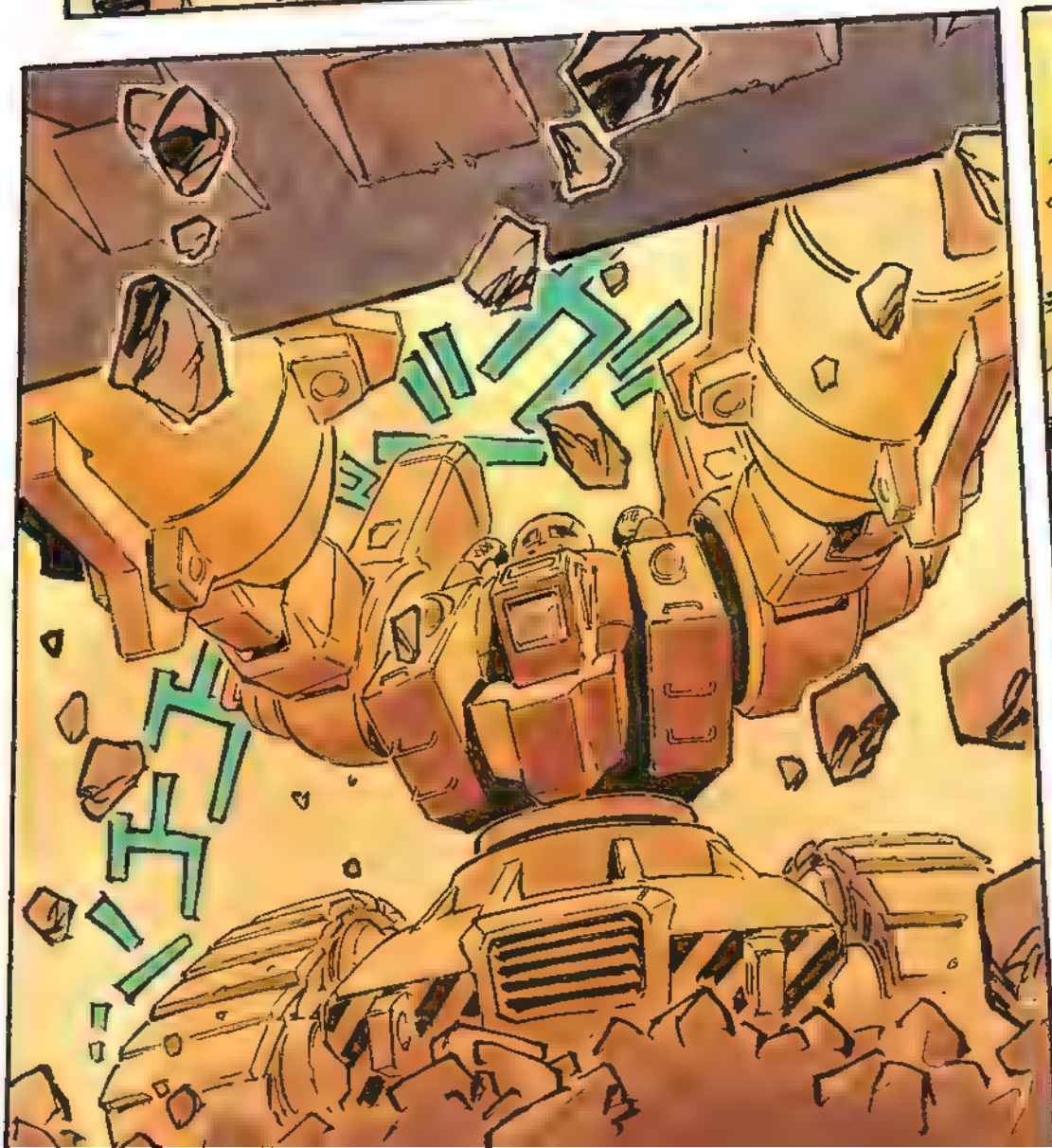
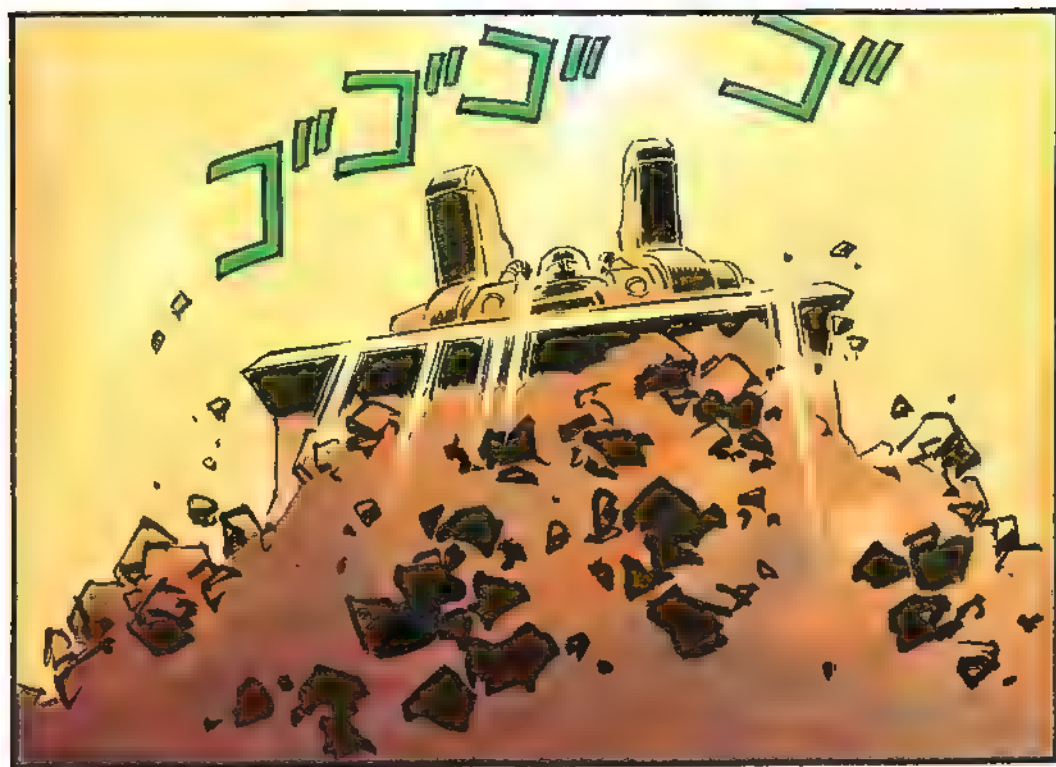
SECTION
V

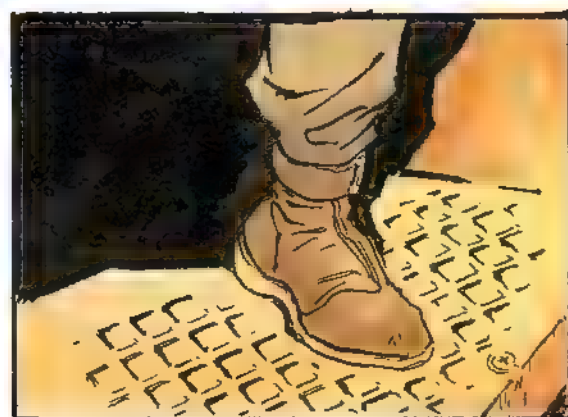
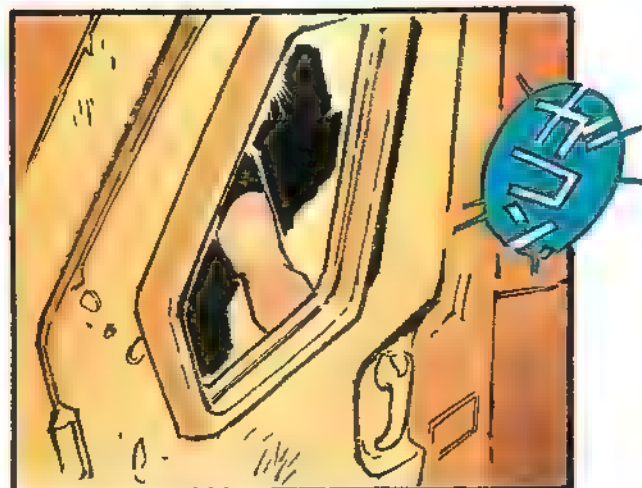
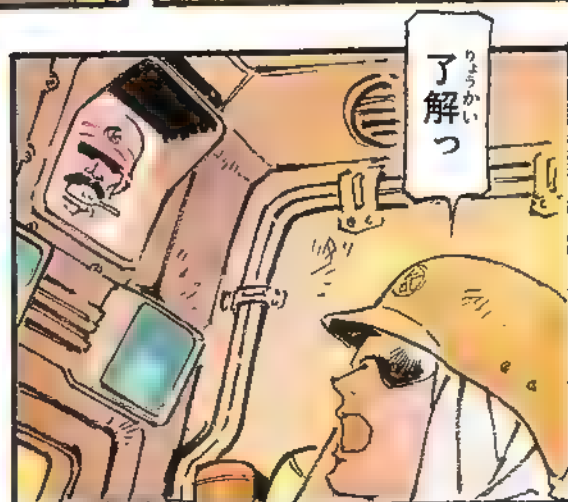
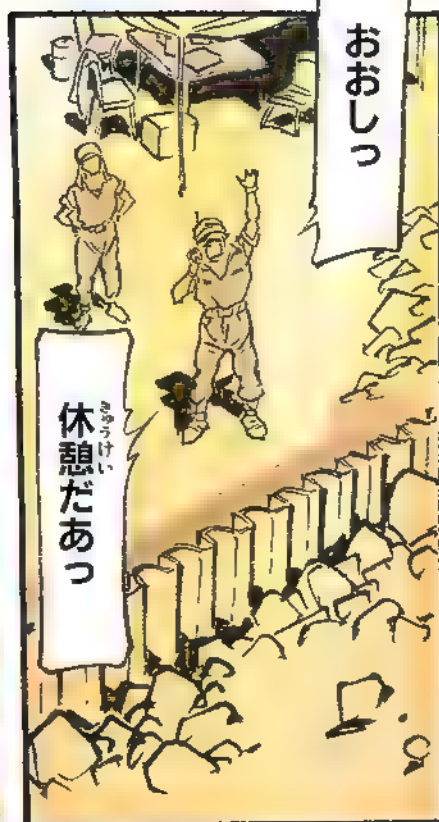
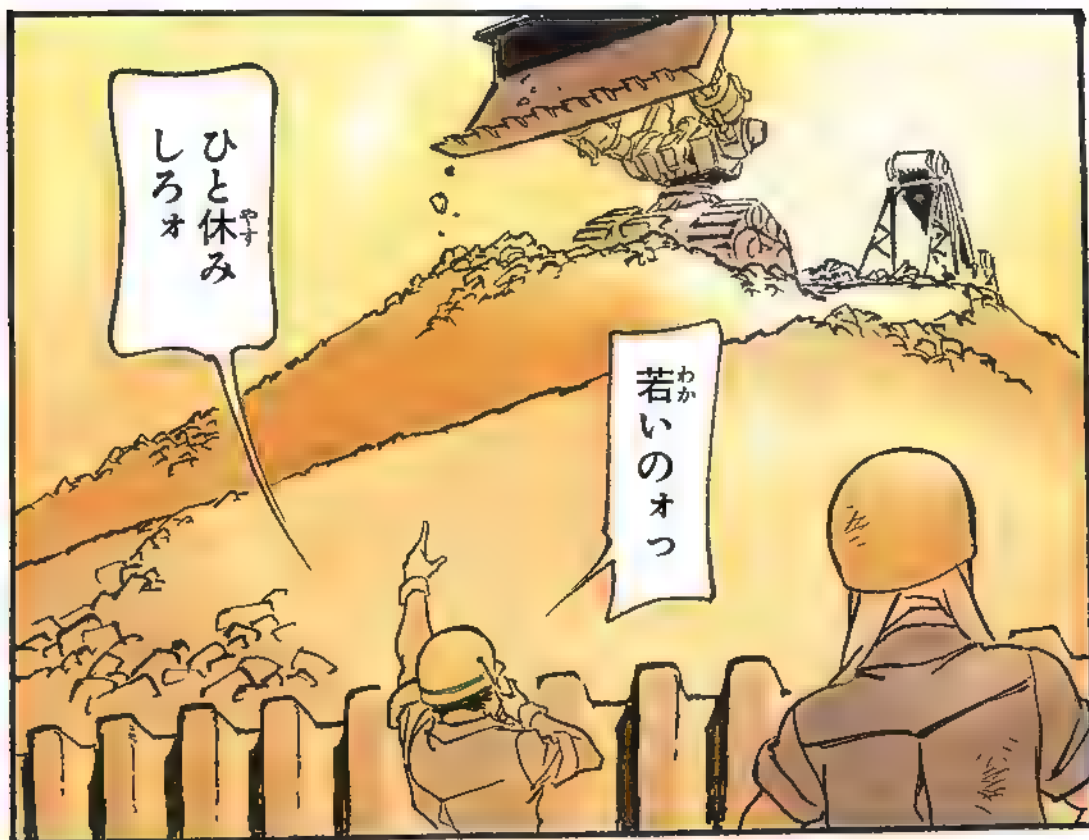


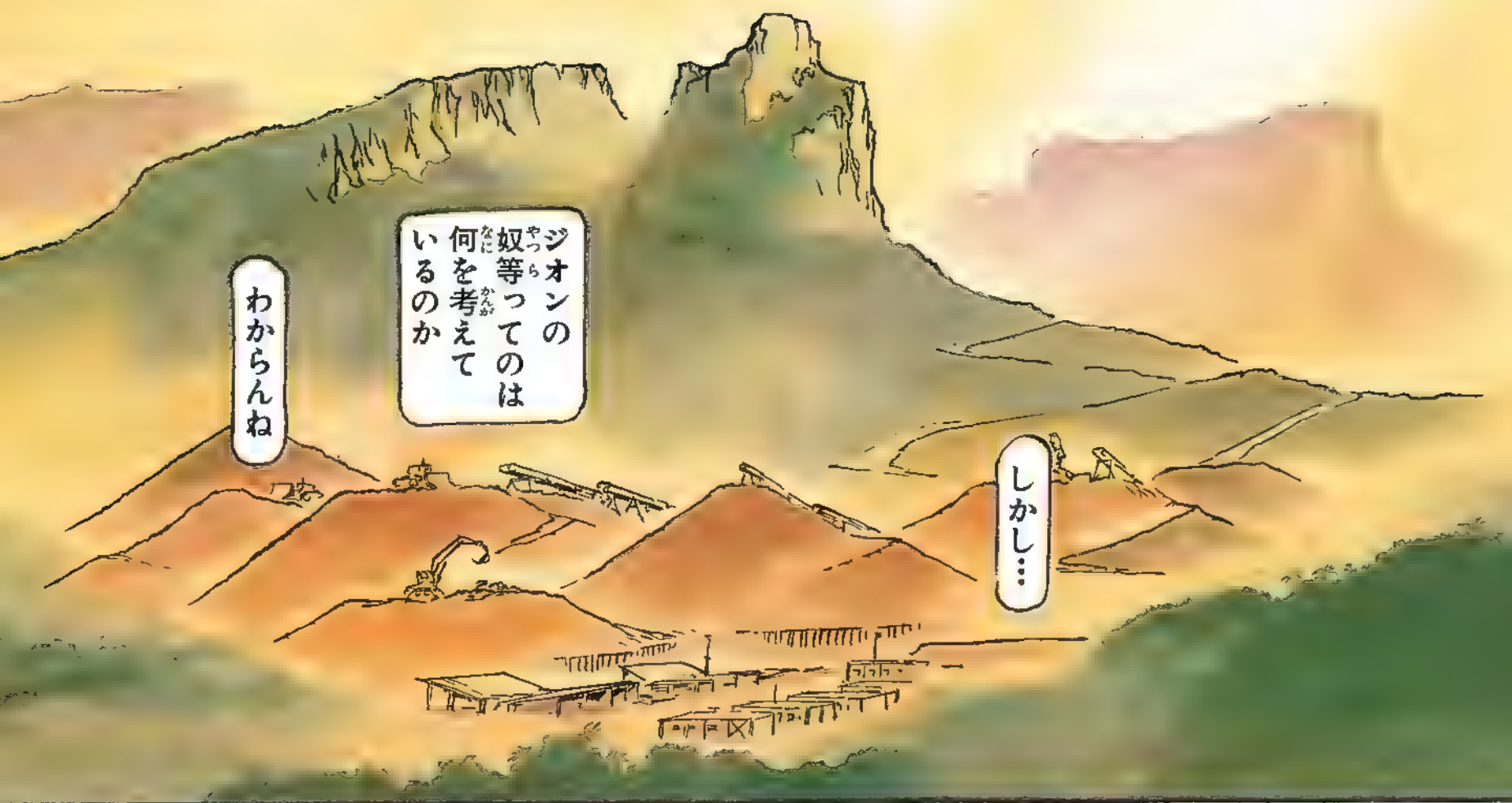












わからんね

ジオンの
奴等ってのは
何を考
えているのか

しかし…



バカヤロー

メンテナンスは
どうすんだよオ

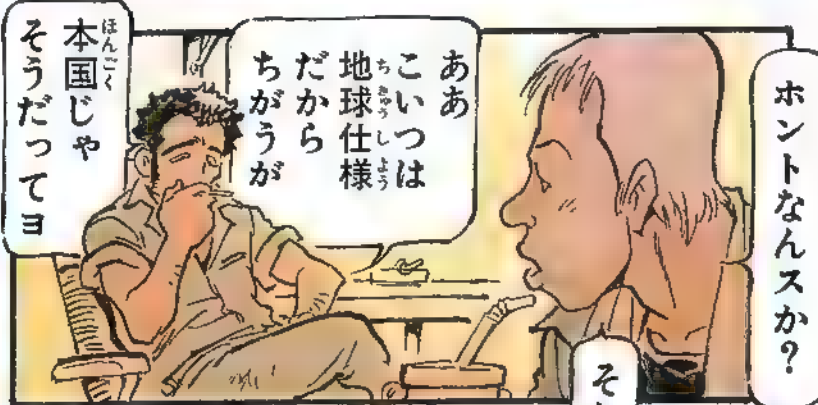
あ
そか

最低っすもんねえ
ジオニック社の
アフターサービス



重機に核融合炉を
背負わせるってえ
発想はいいたい

どこから
来るのか
ねえ



ホントなんスか？

それ

ああ
こいつは
地球仕様
だから
ちがうが

ほんごく
本国じゃ
そうだってヨ



だったらこの
ジャブローの
工事なんか
にはそいつが
欲しかった
ですわねえ



若い
よオ
の

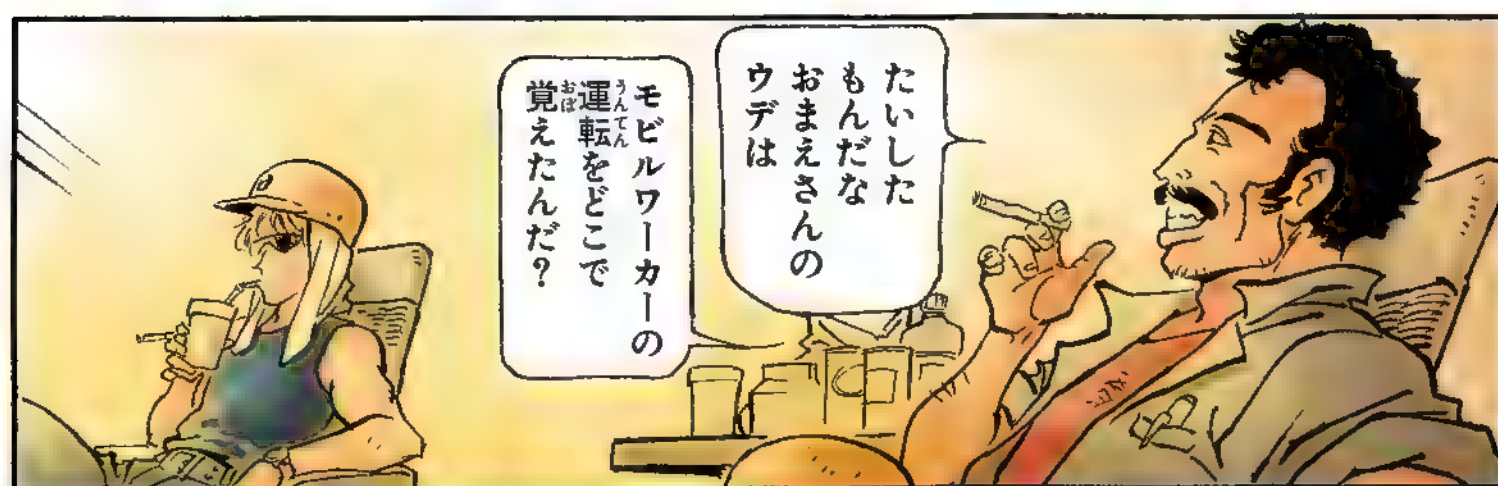
それにしても



アフターサービス
どころか

リースも
打ち切り
だよ

もう
じき



たいした
もんだな
おまえさんの
ウデは

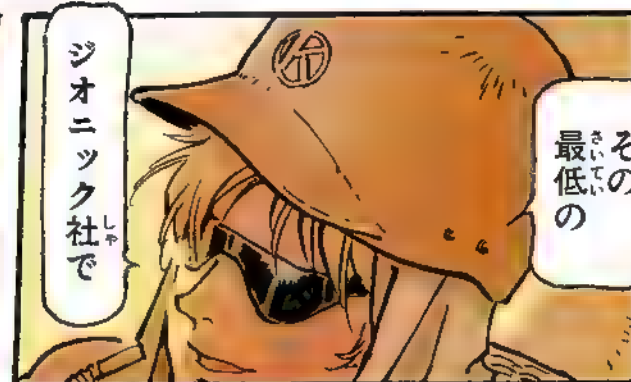
モバイルワーカーの
運転をどこで
覚えたんだ？



地球生まれ
だったんでね

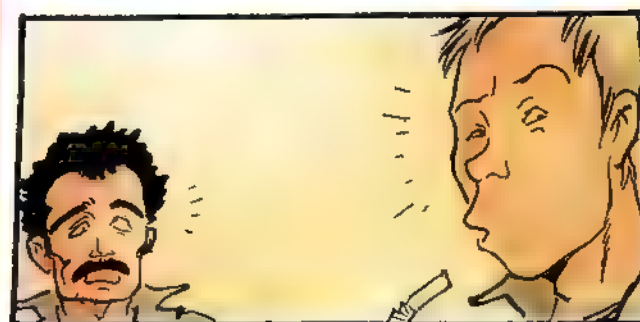
ホント

最低ですよ
ジオンは…



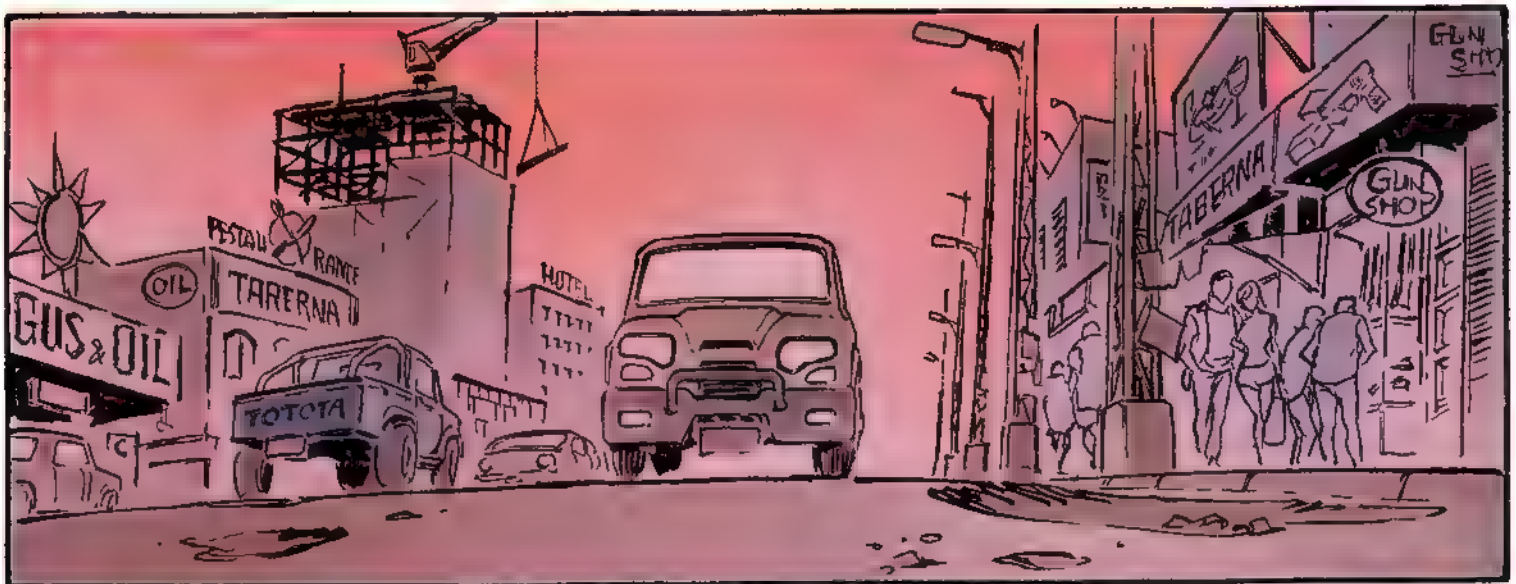
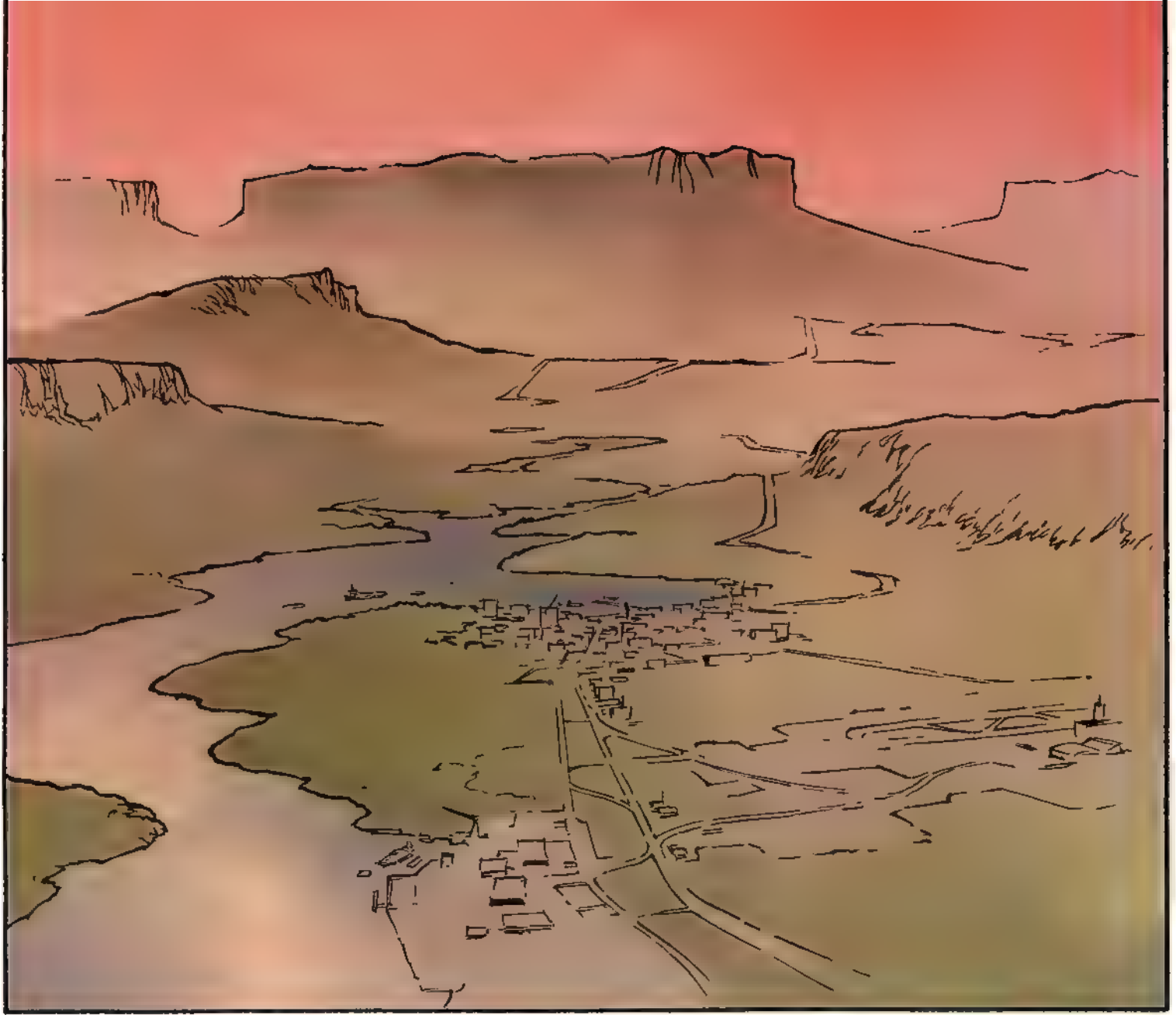
その
最低の

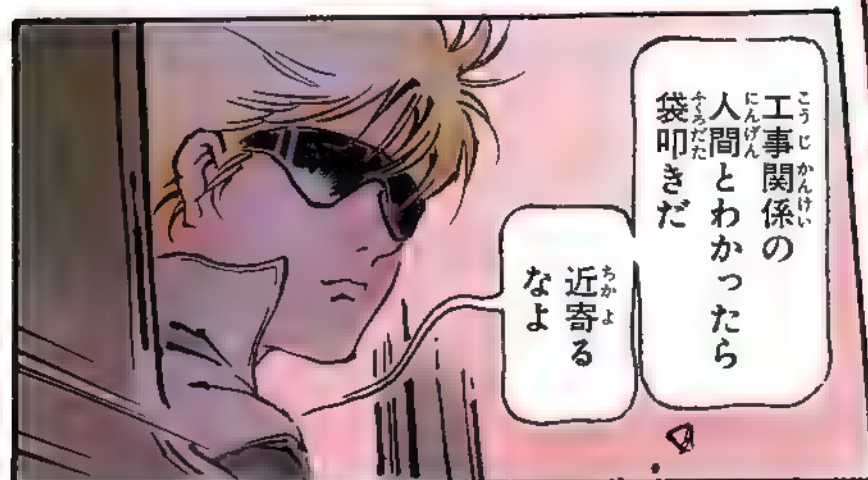
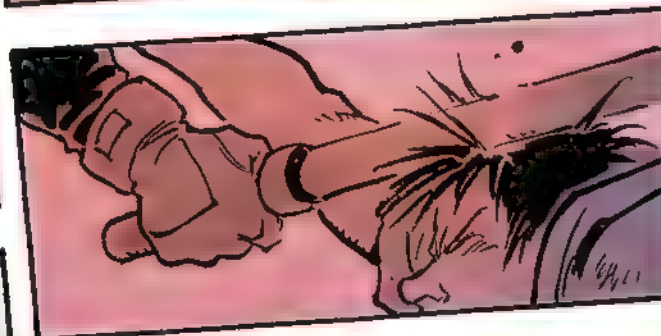
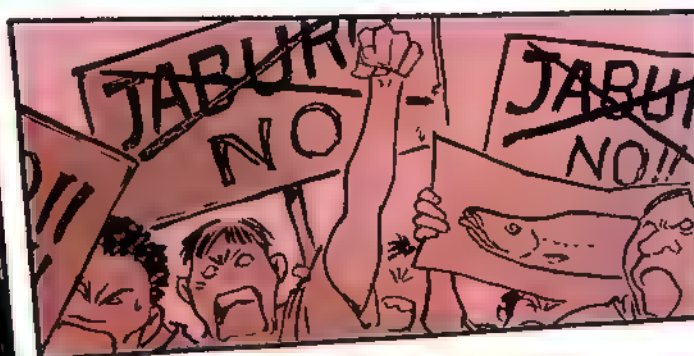
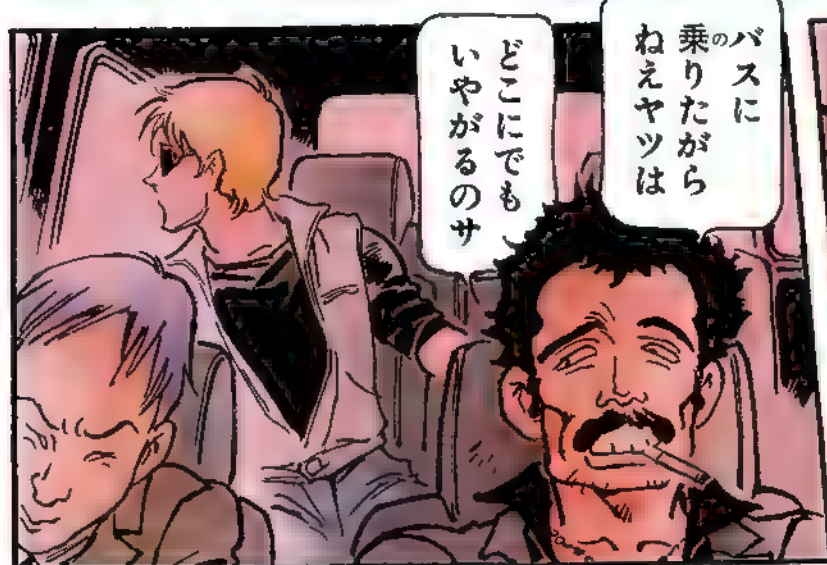
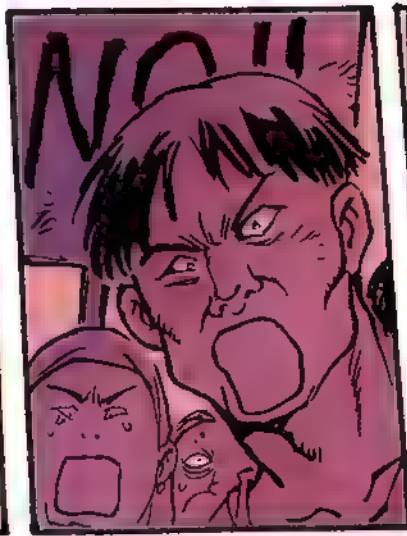
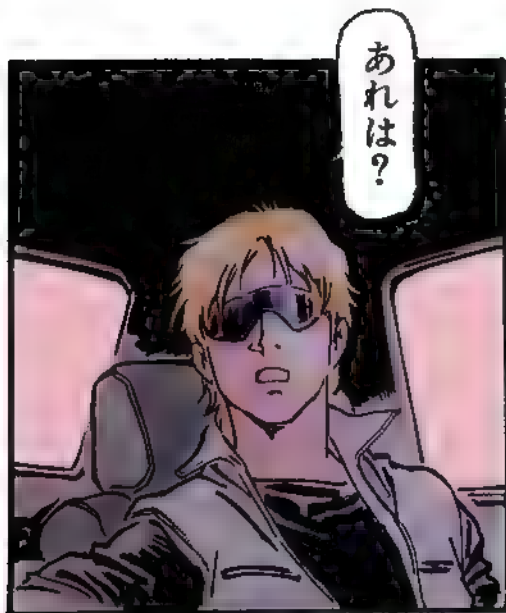
ジオニック社で

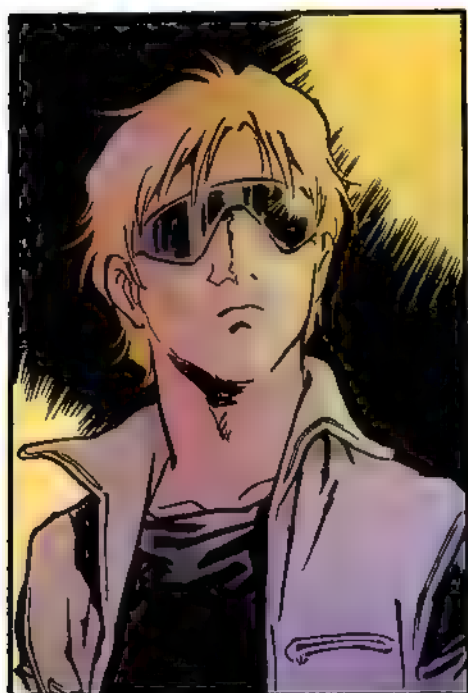
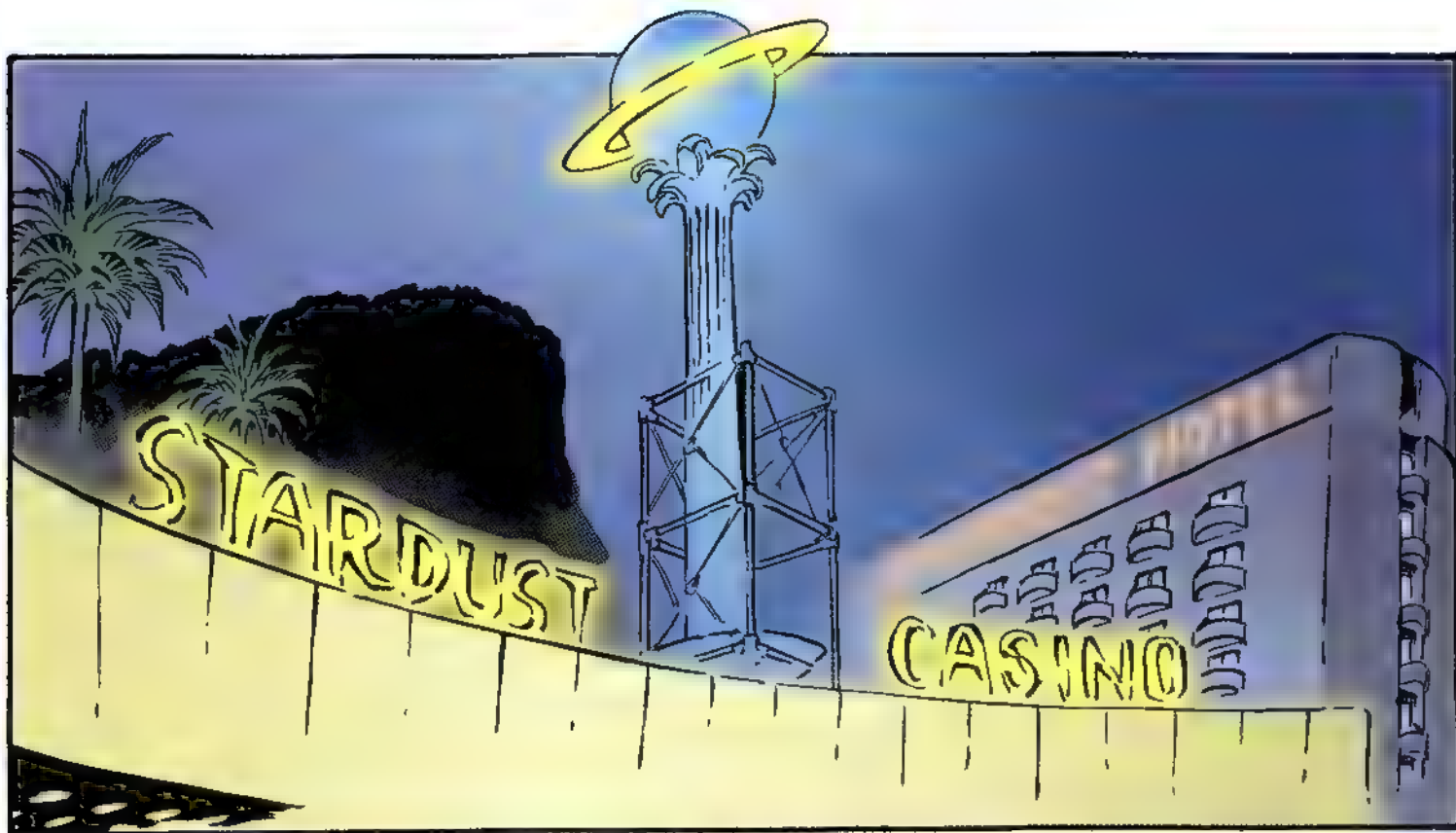


クビになっ
たんですよ

開発部に
いたんだけど



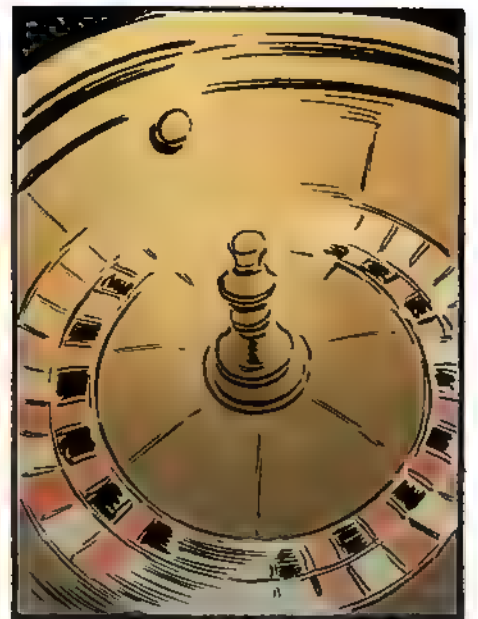






ギャンブル
の女王!

これっ!!
カジノといえは
ルールット!

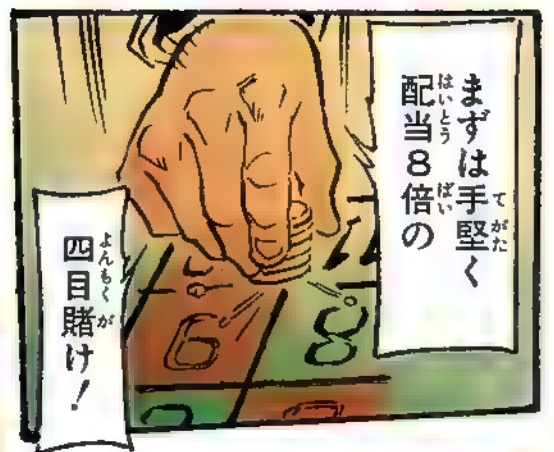
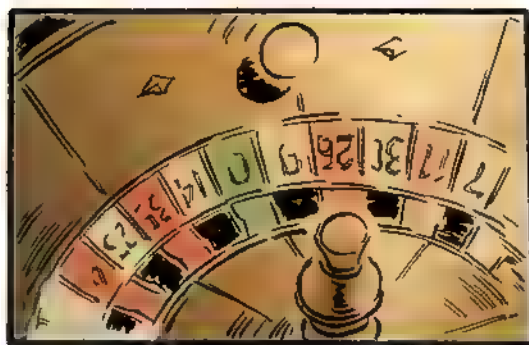
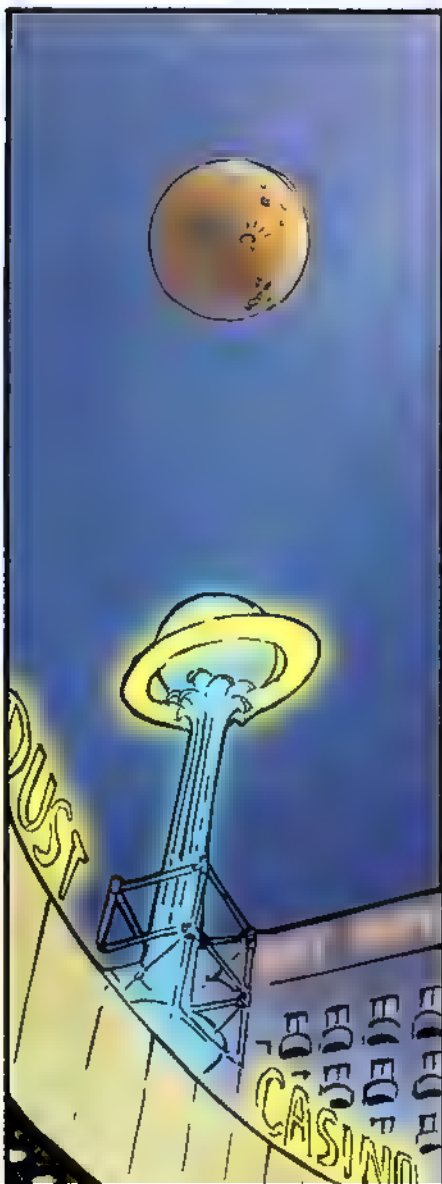


おとな
大人の
遊びかた
教えて
やるぜ

見てな

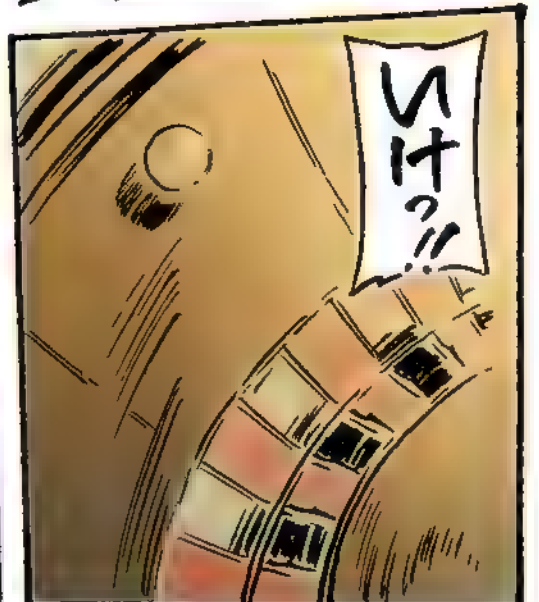
ギャンブラーの
道を行く者の

基本な
ワケよ

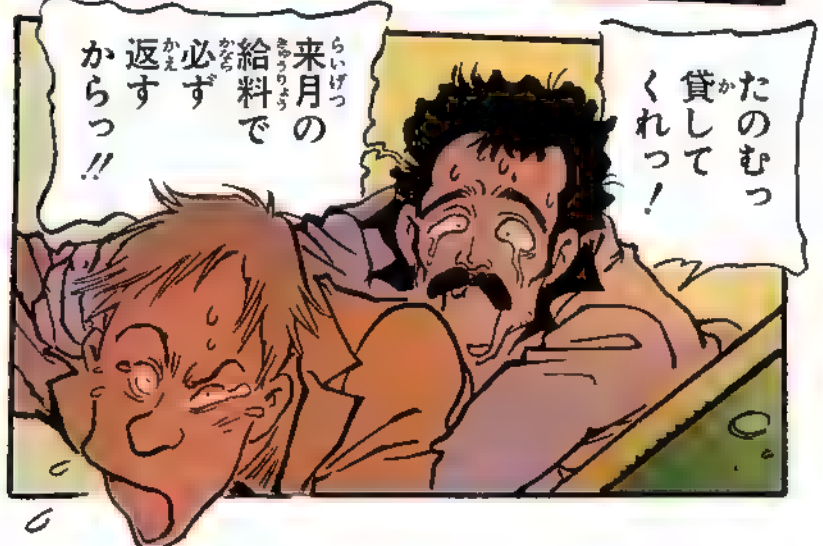
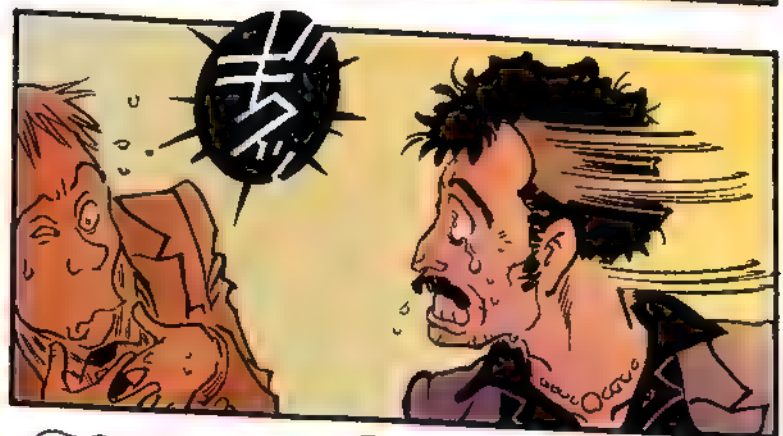
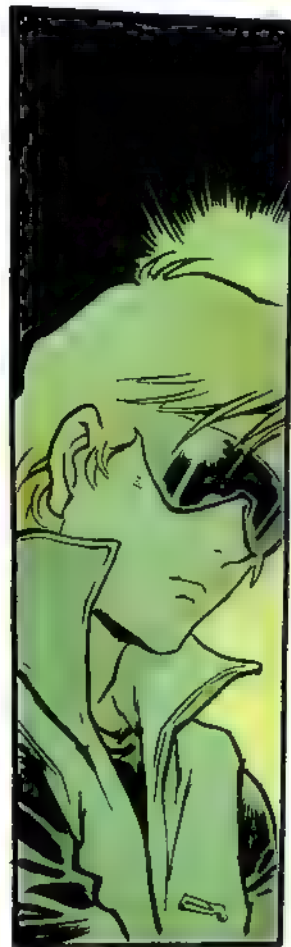
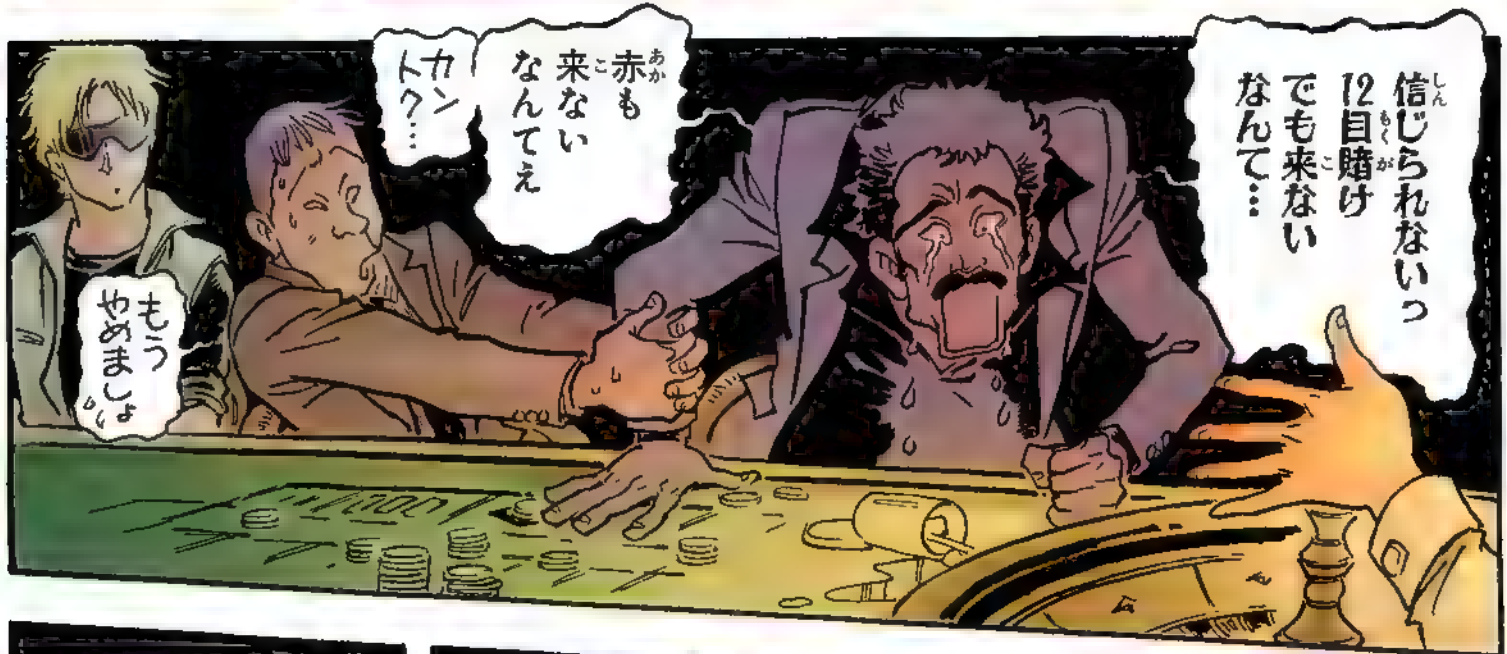


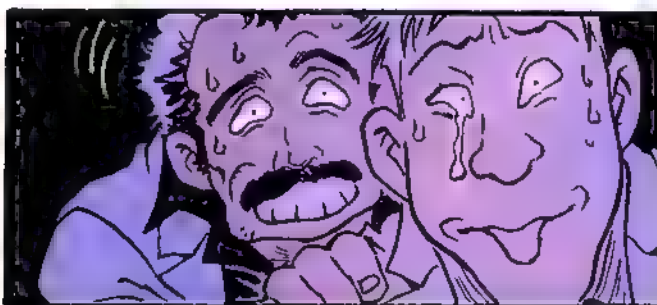
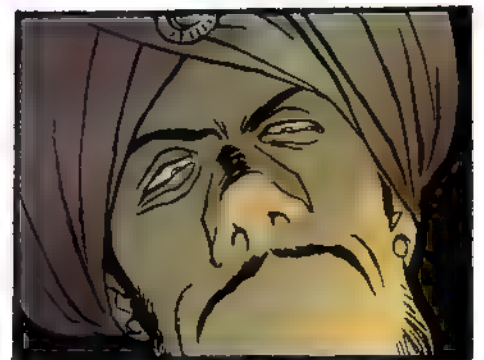
まずは手堅く
配当8倍の

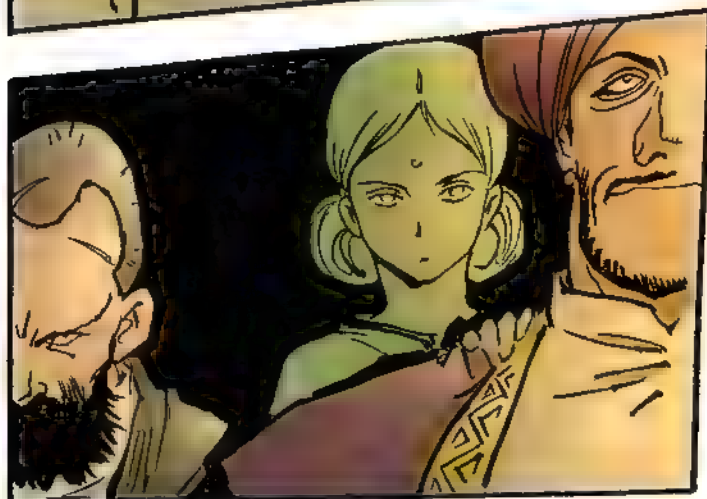
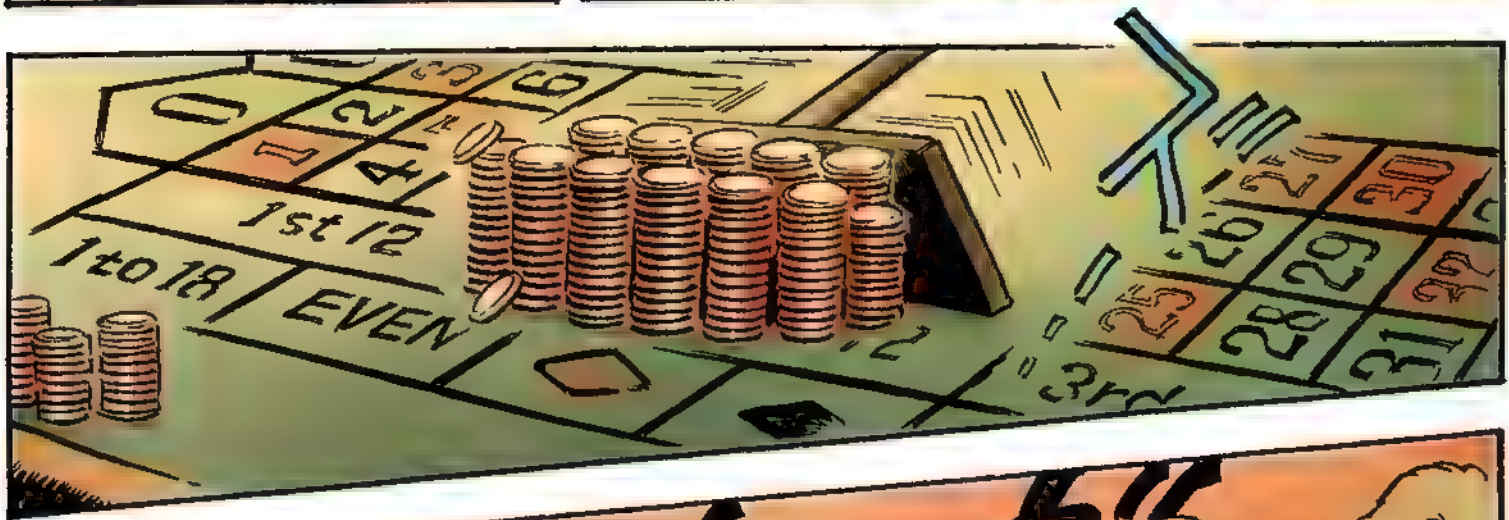
四目賭け!

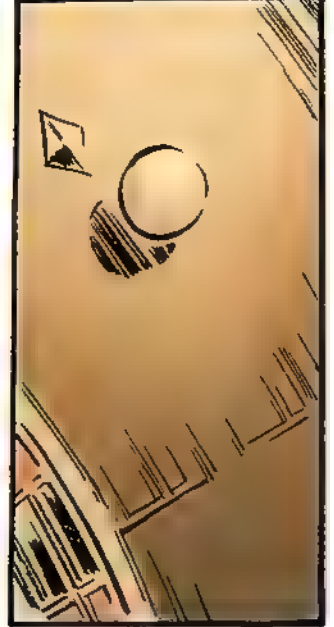
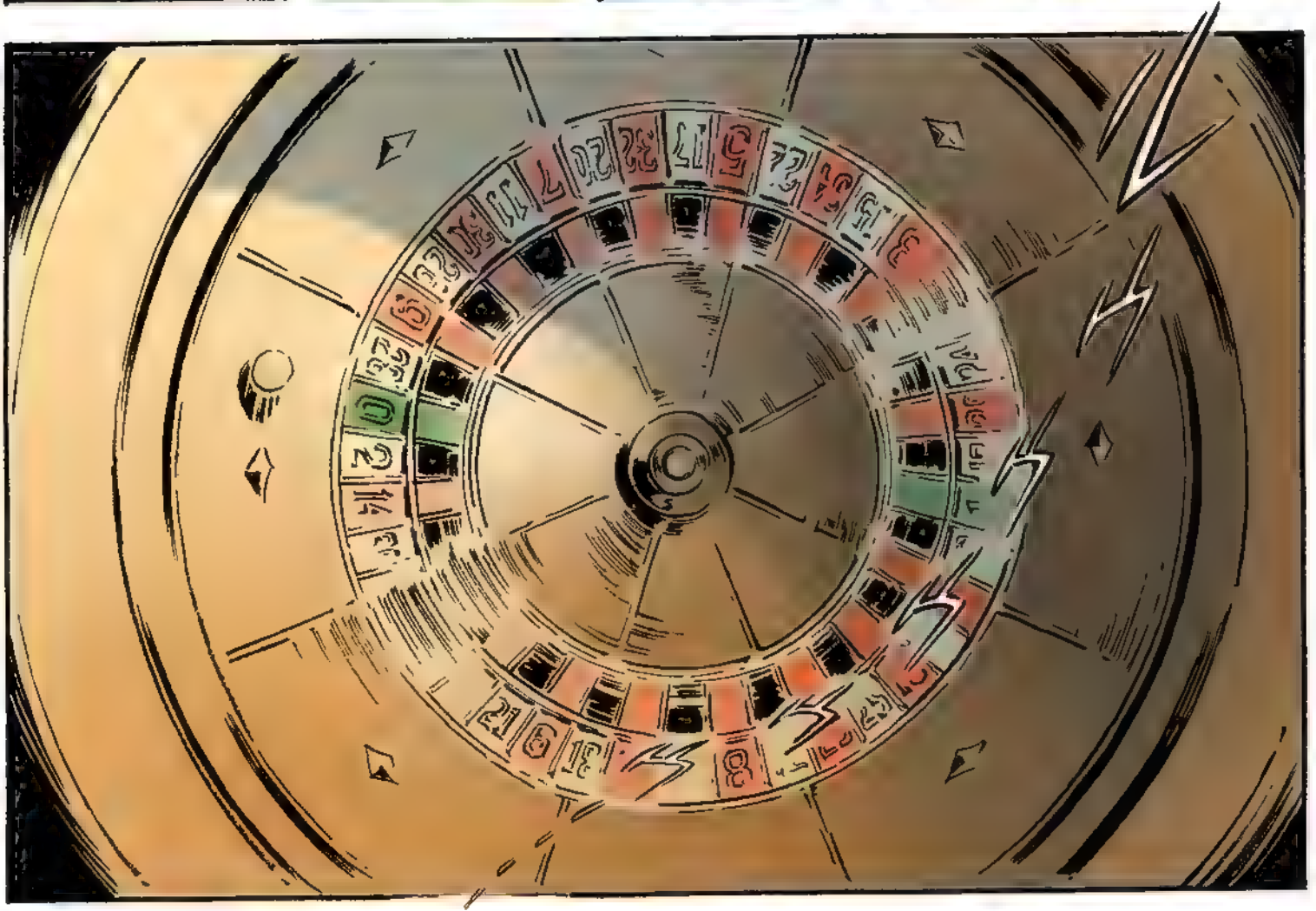
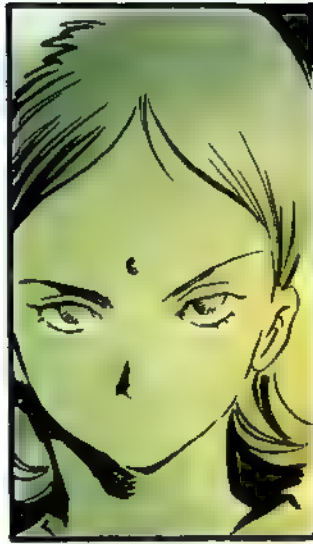
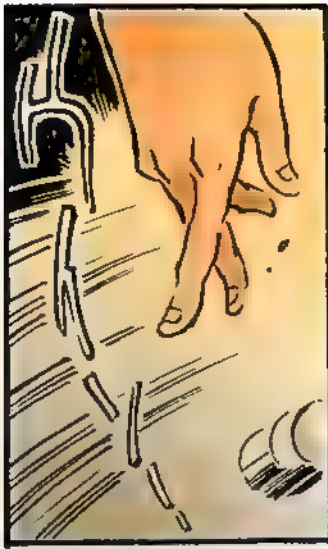


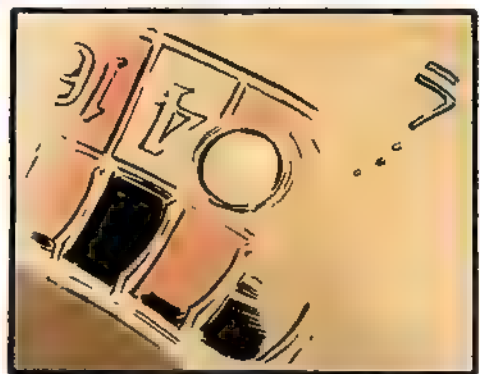
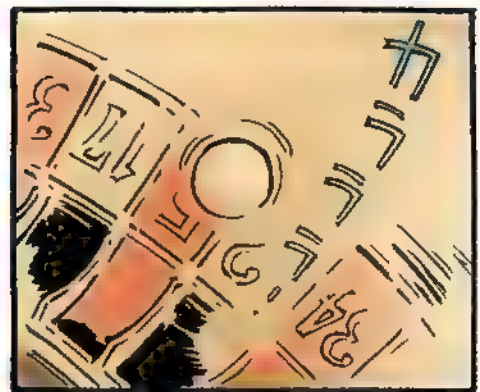
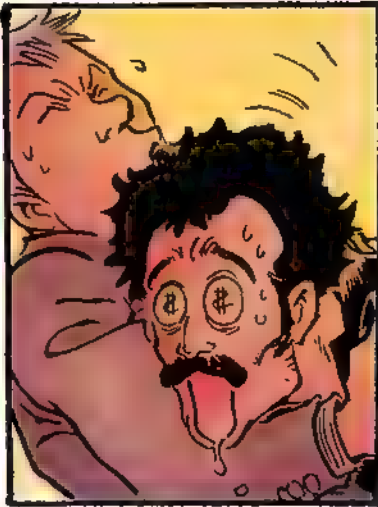
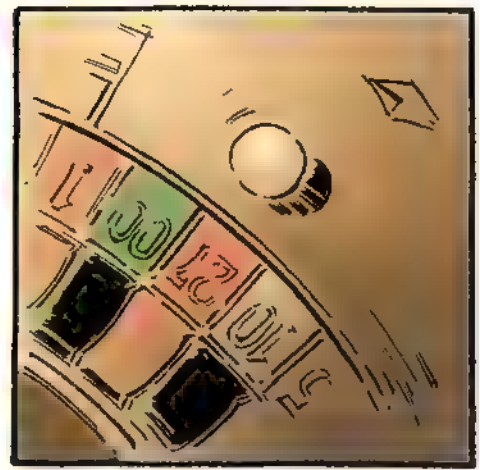
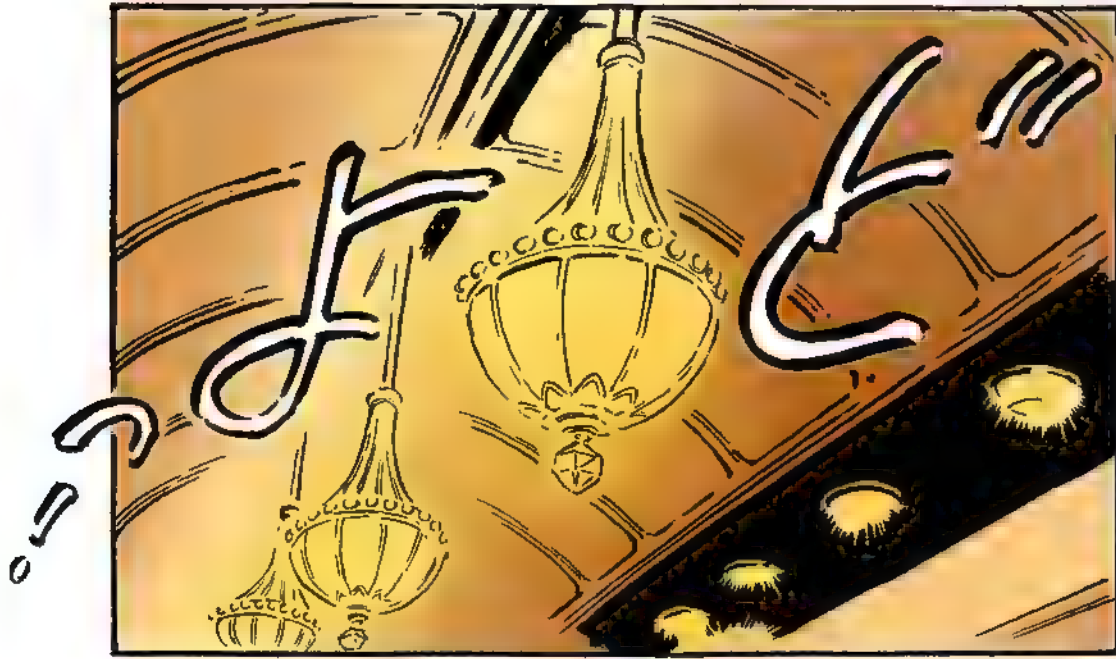
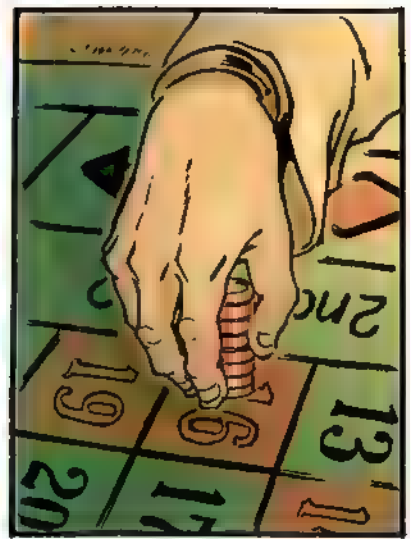
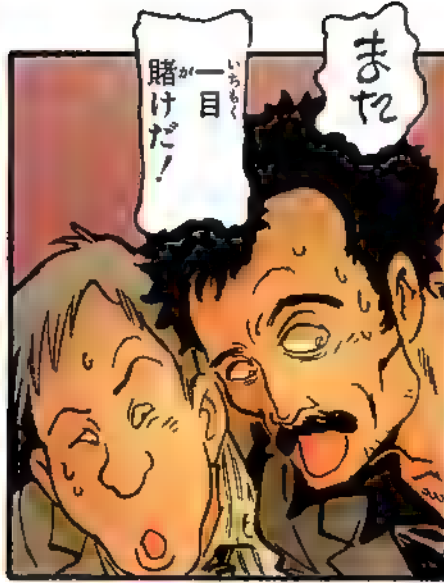
いけ!!

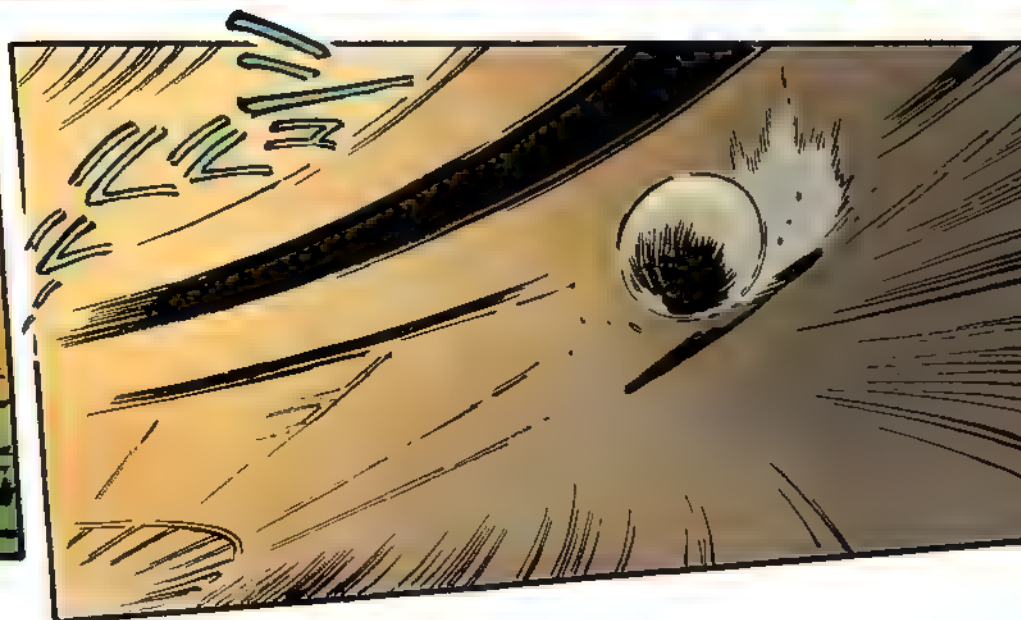
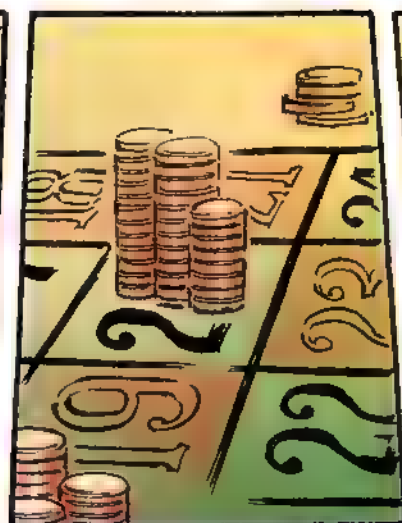
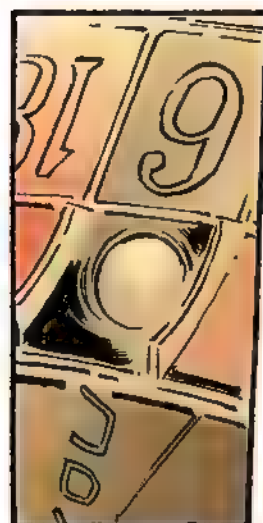
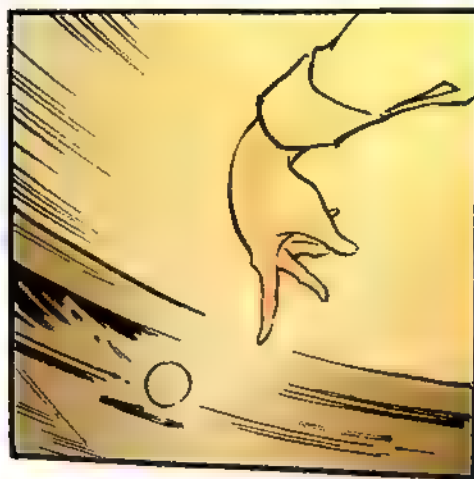
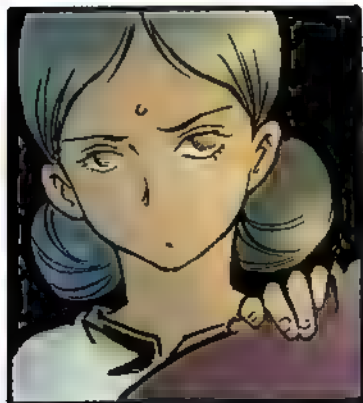
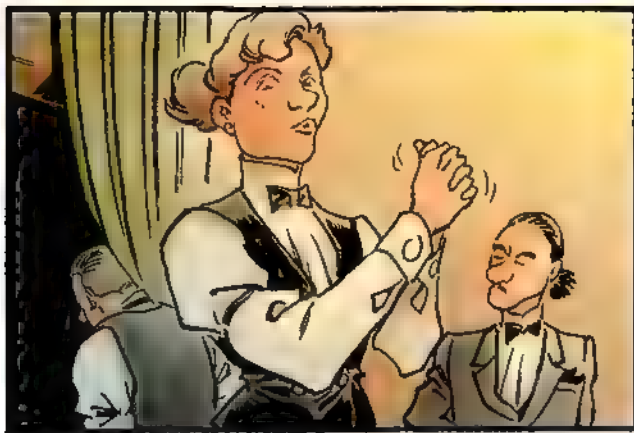


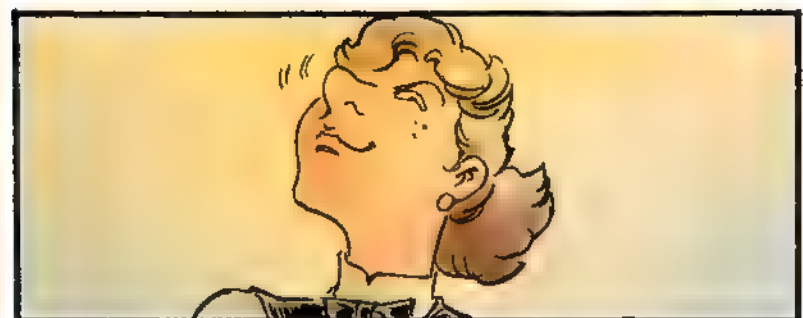
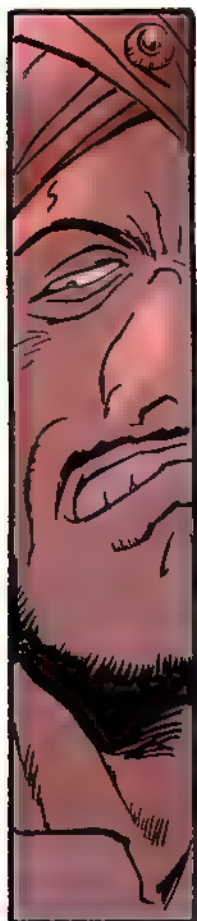
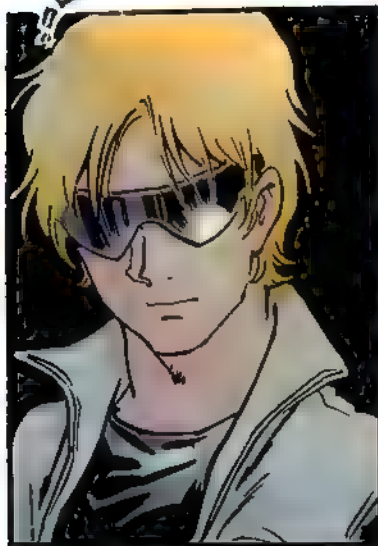
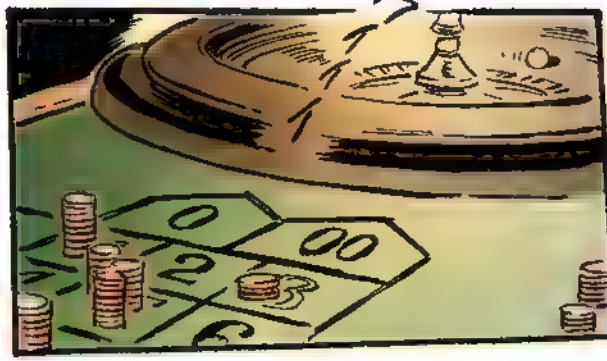
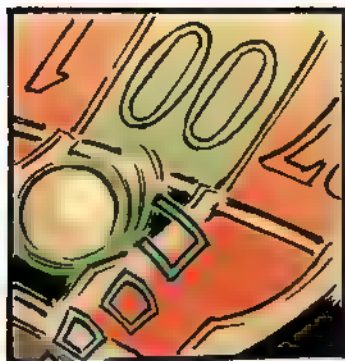
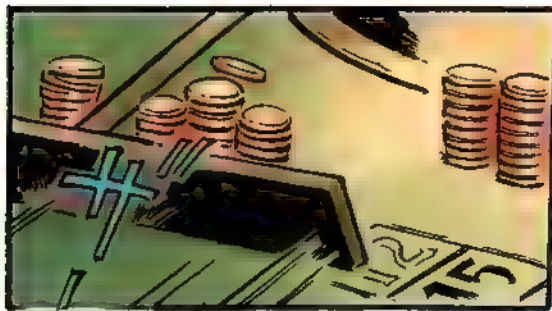


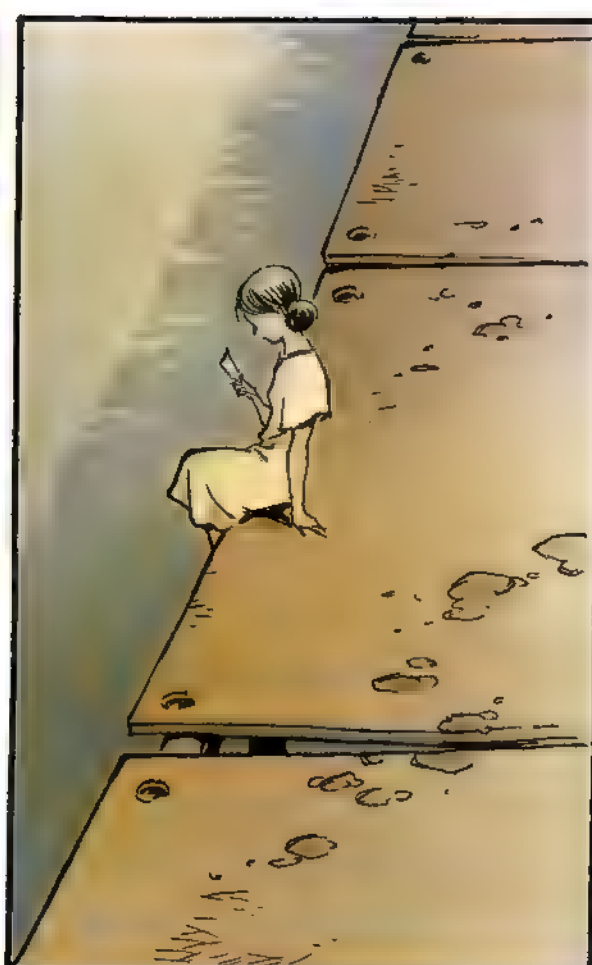
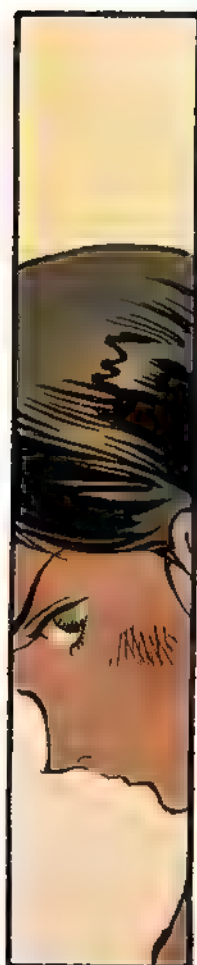
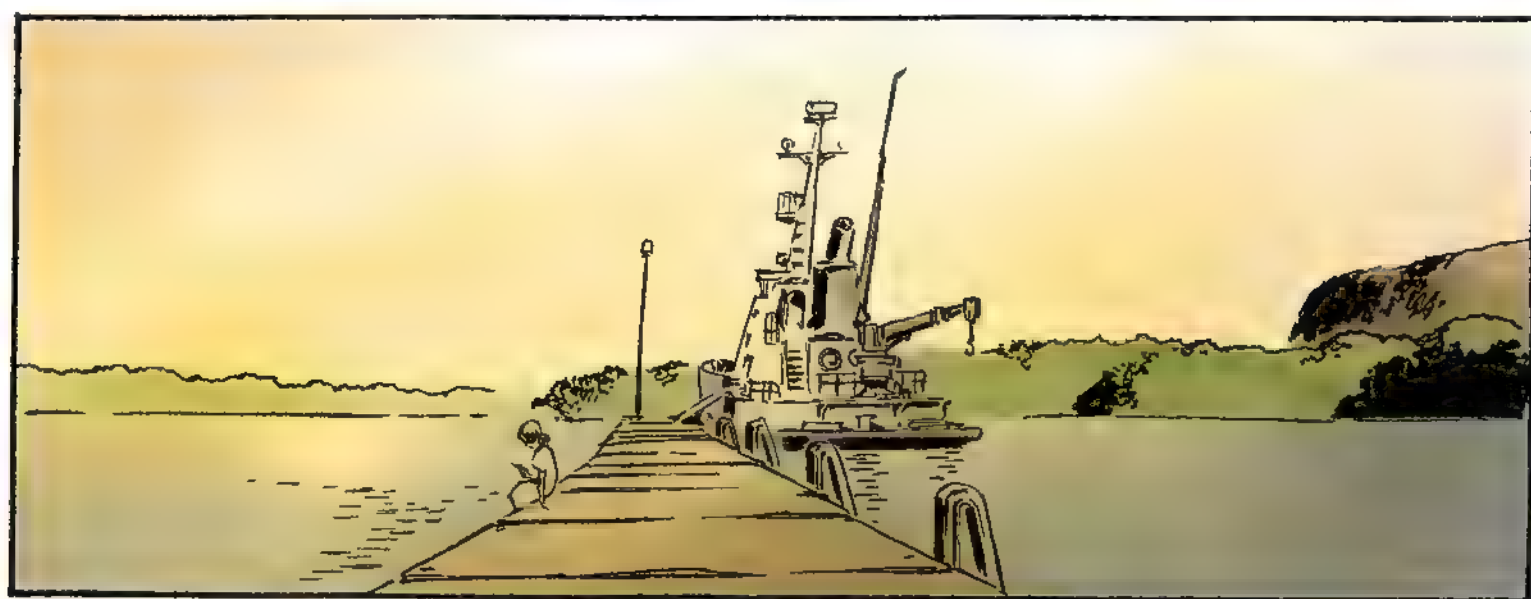


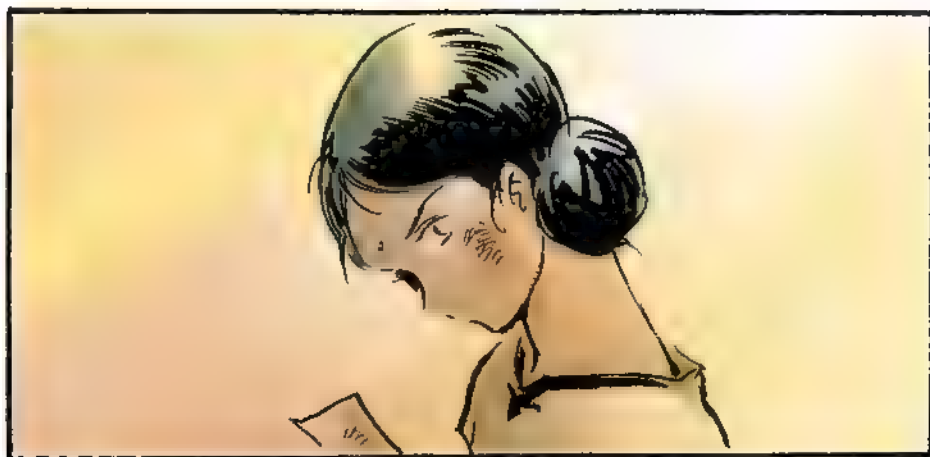










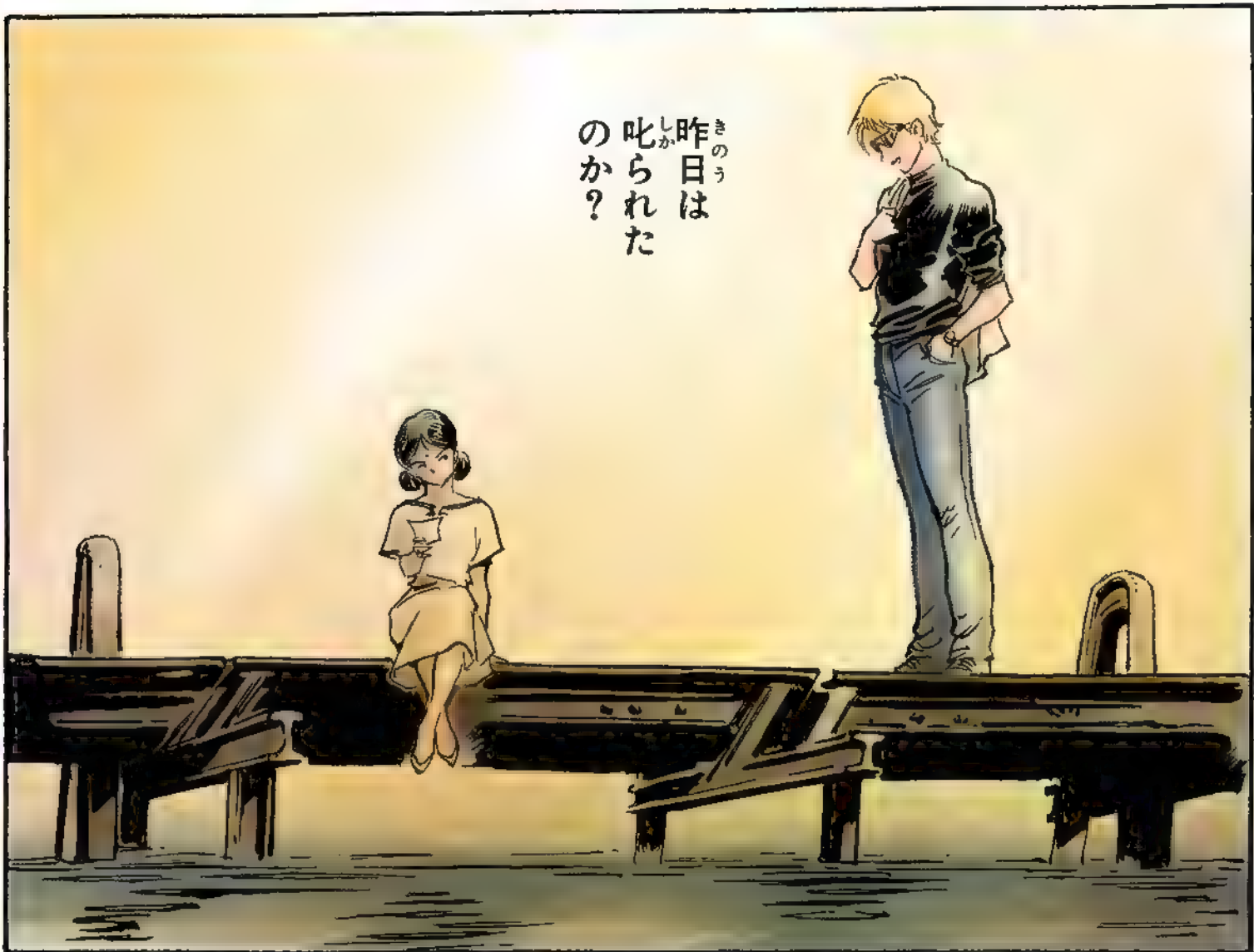


してるんだい？

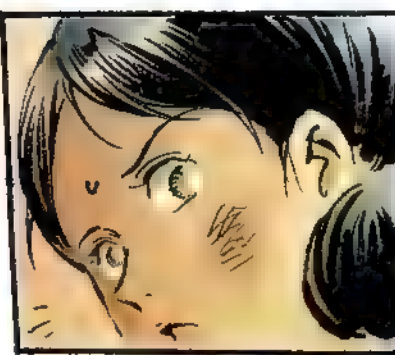
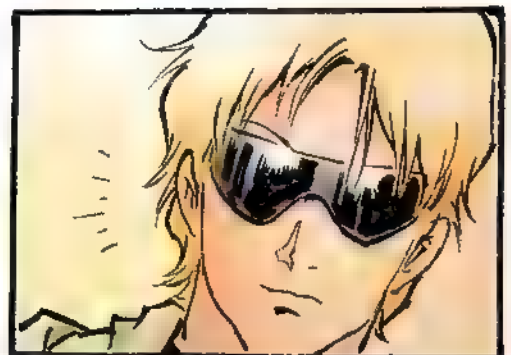
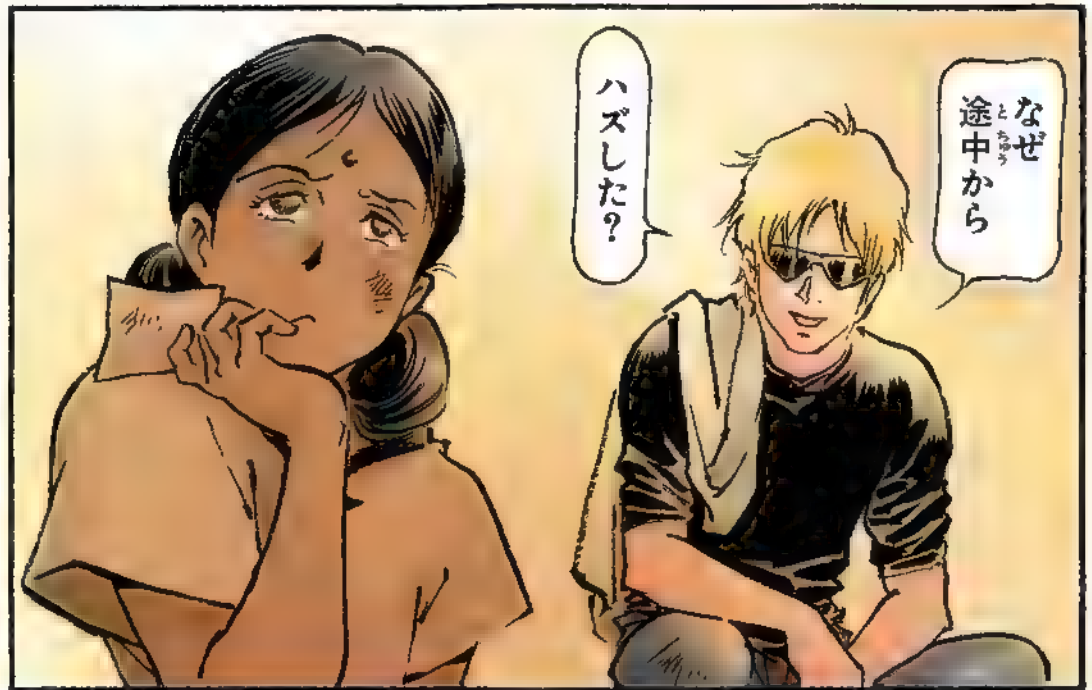
なに

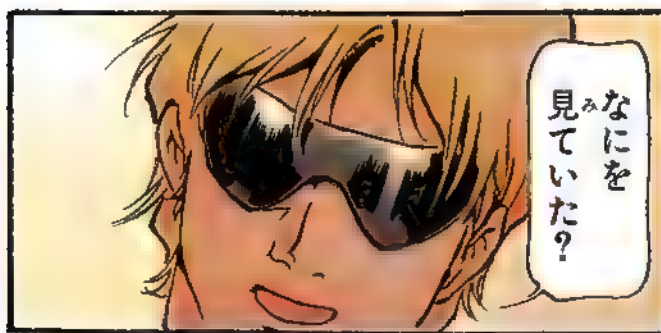
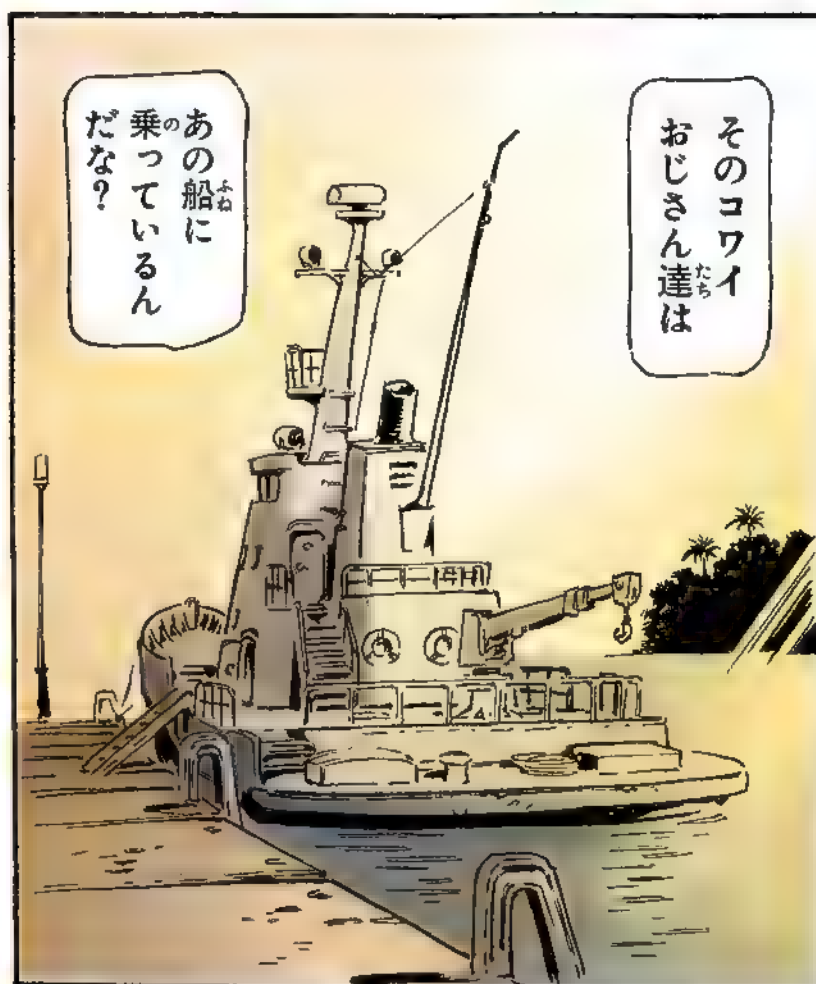
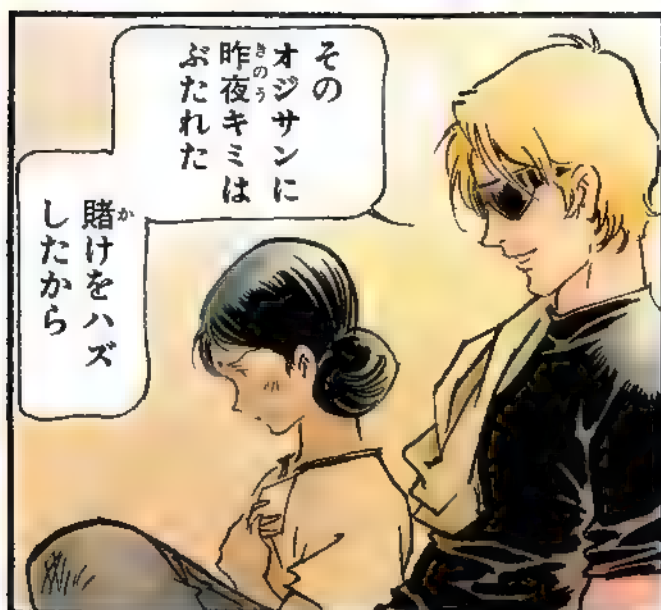
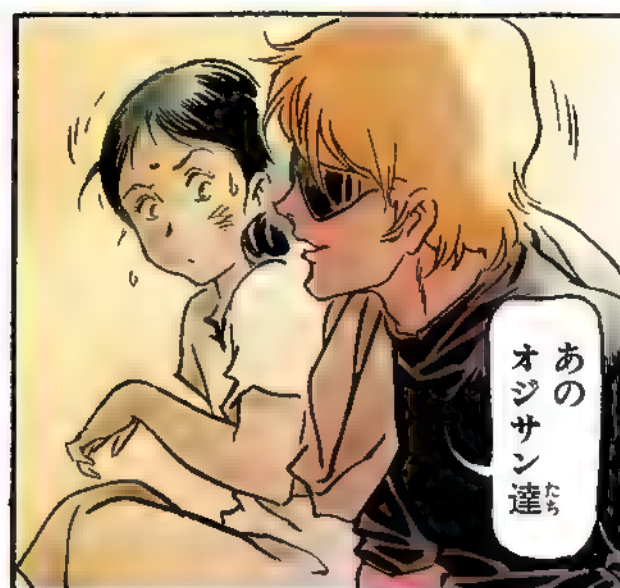
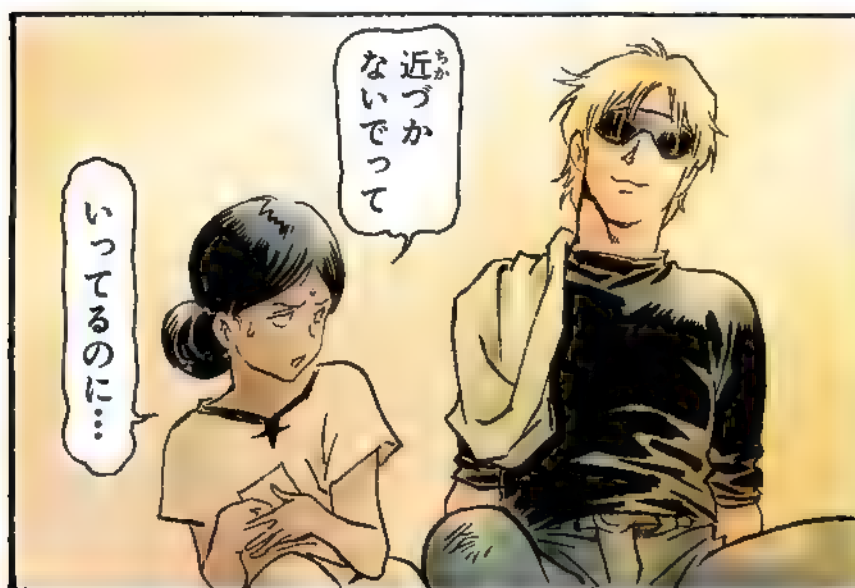


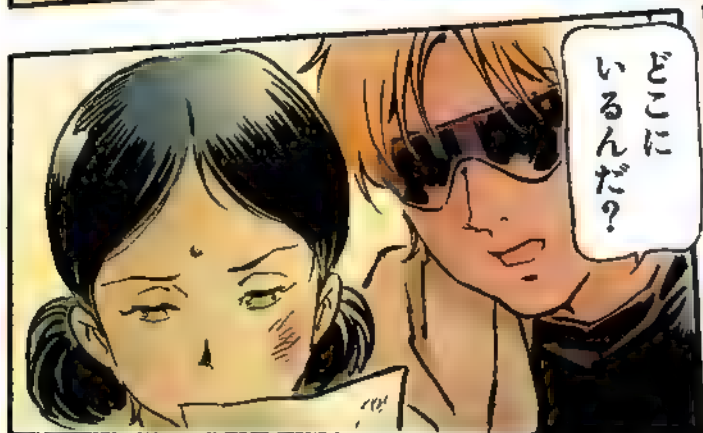
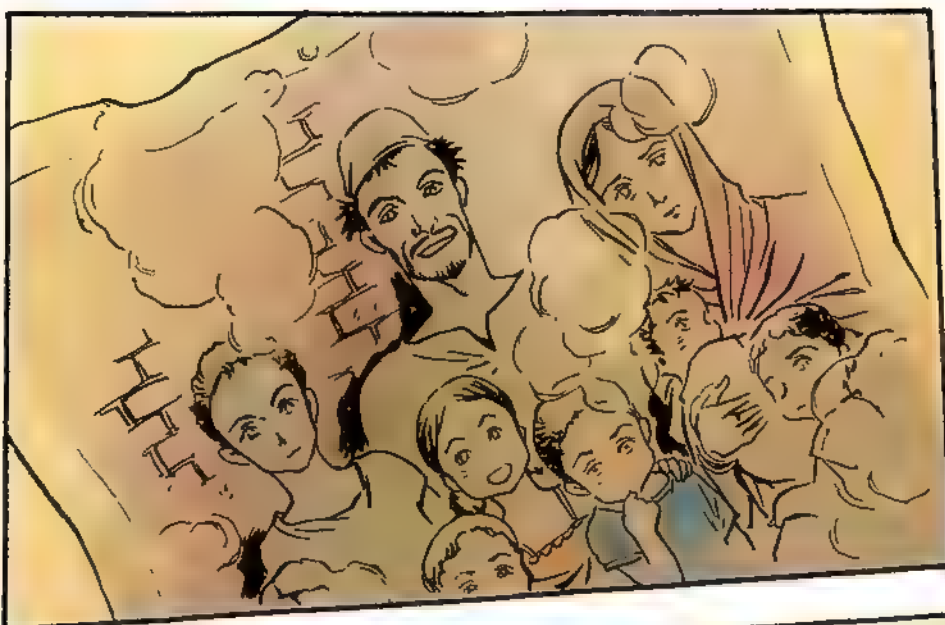
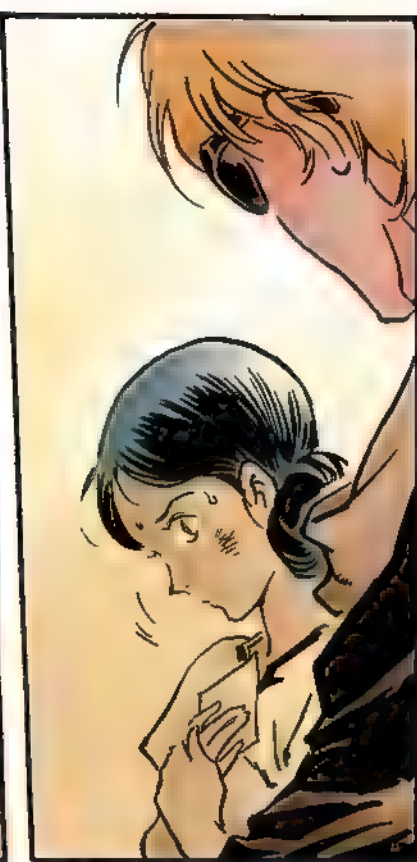
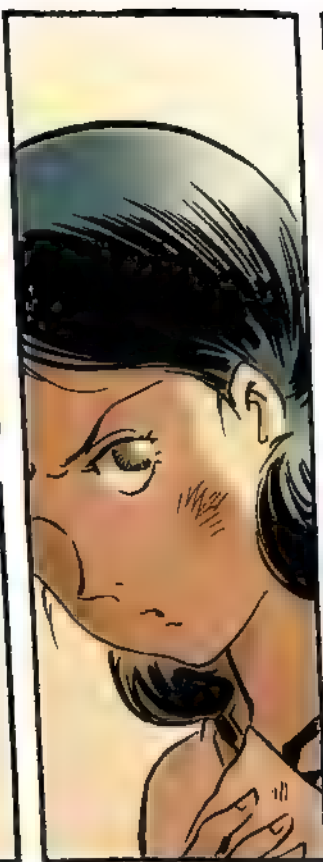
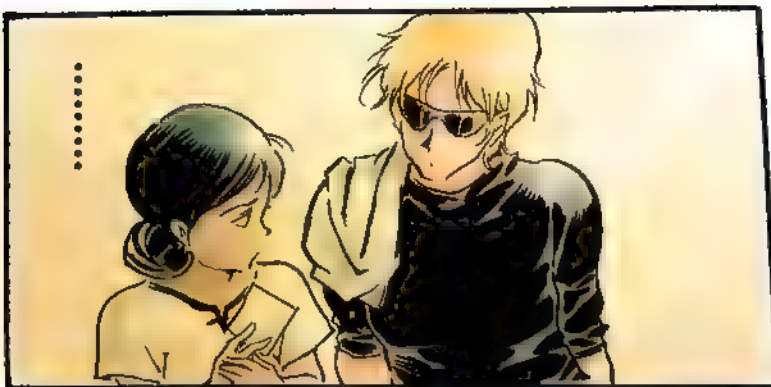
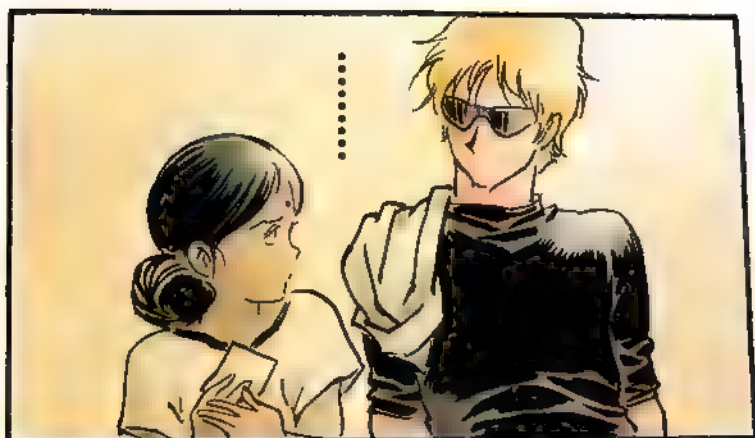
—
やあ

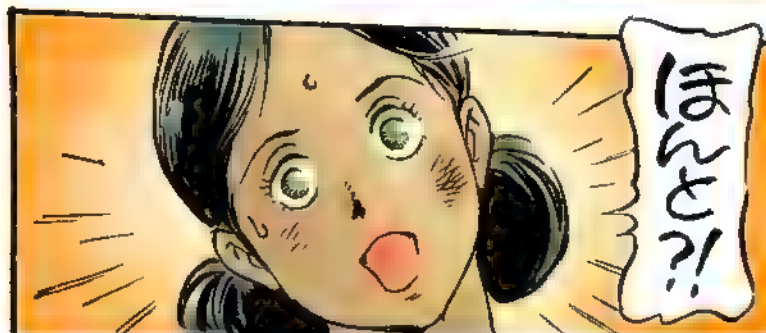
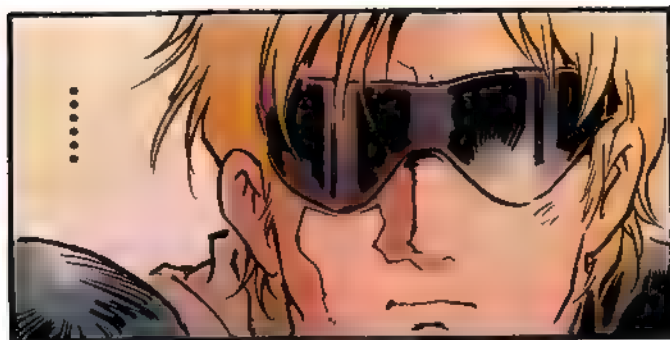
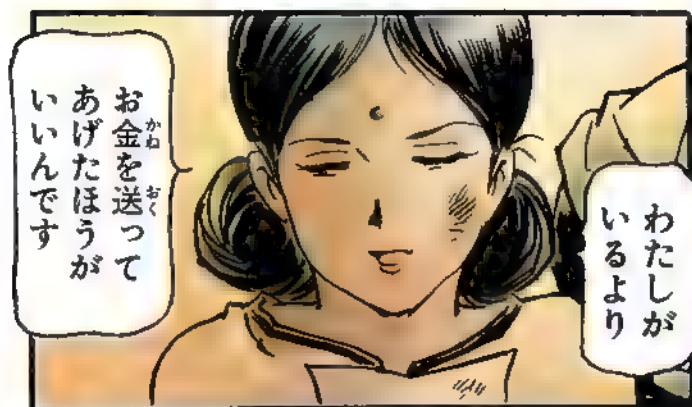


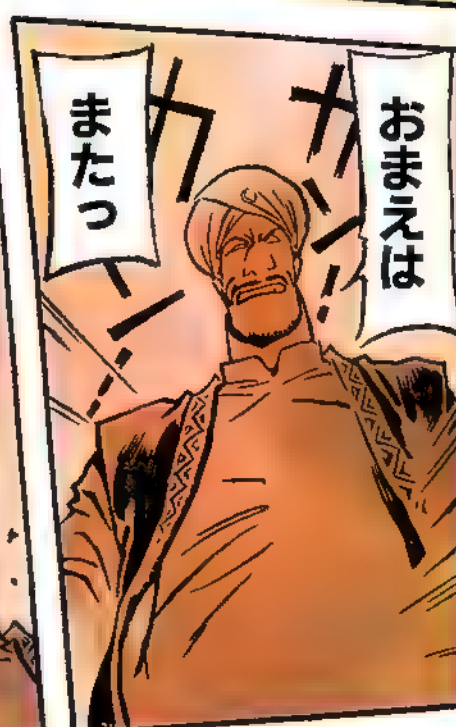
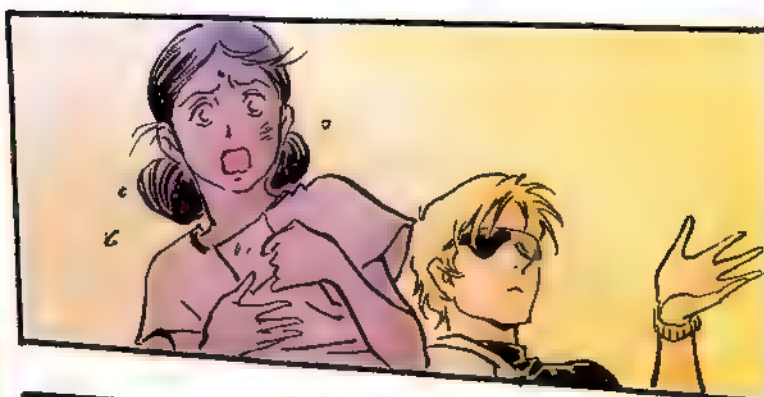
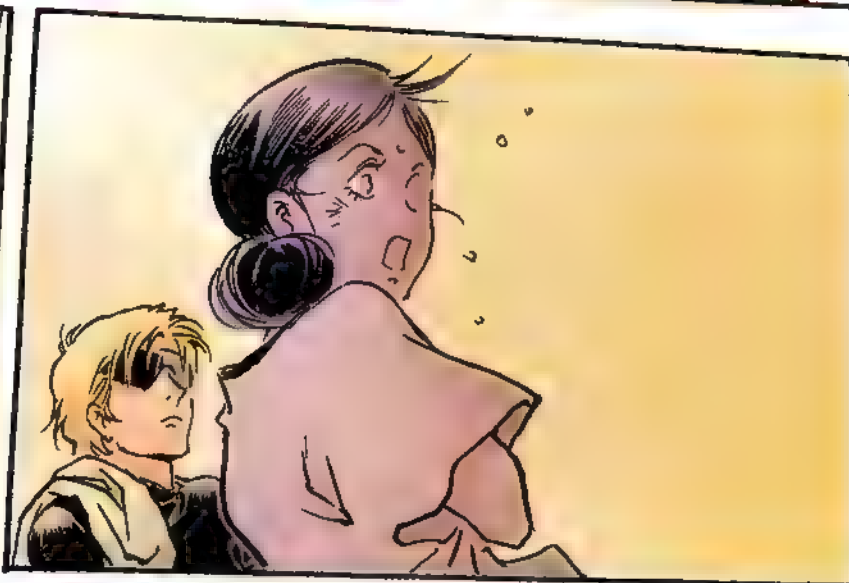
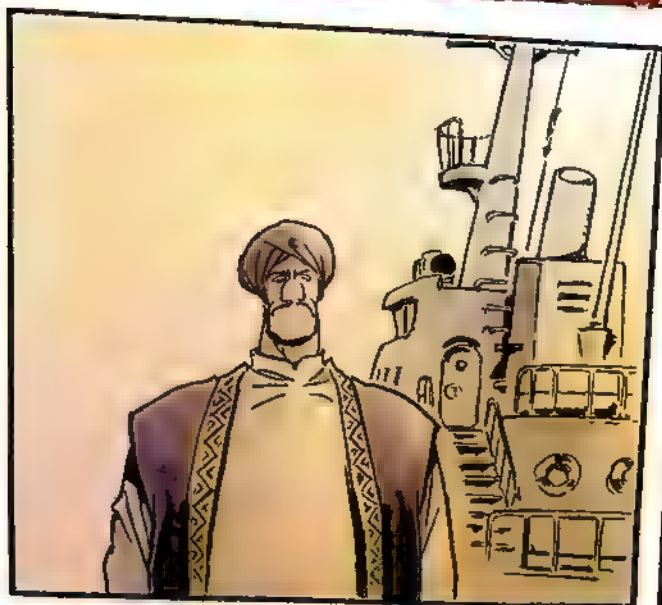
きのう
昨日は
しか
叱られ
た
のか？

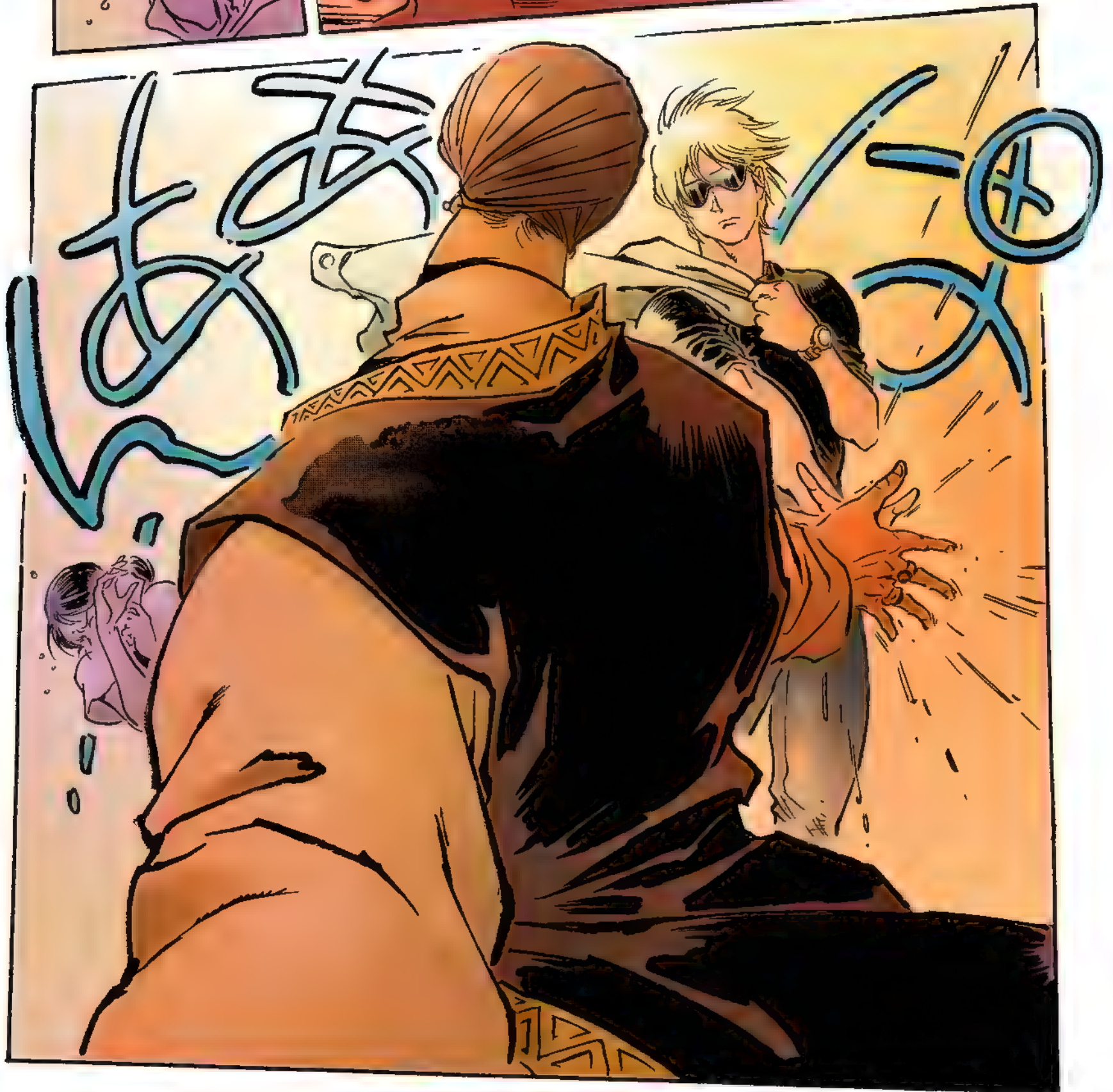
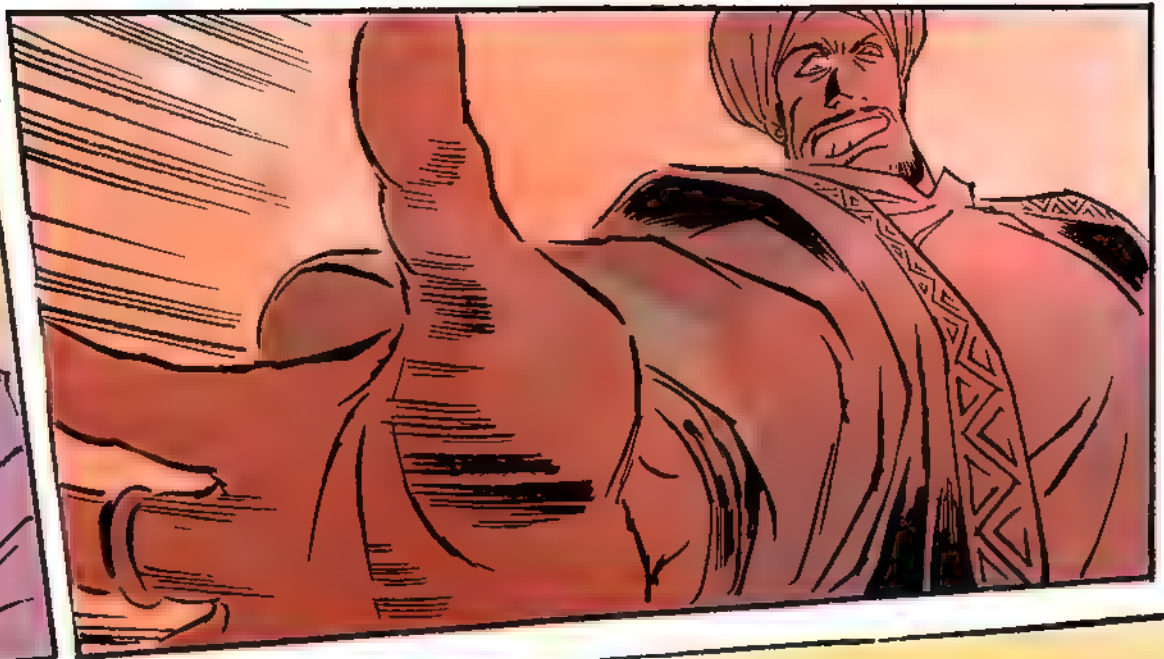
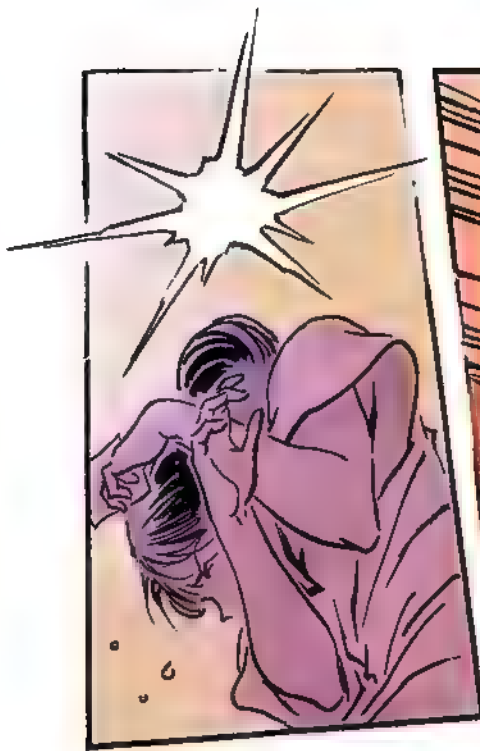


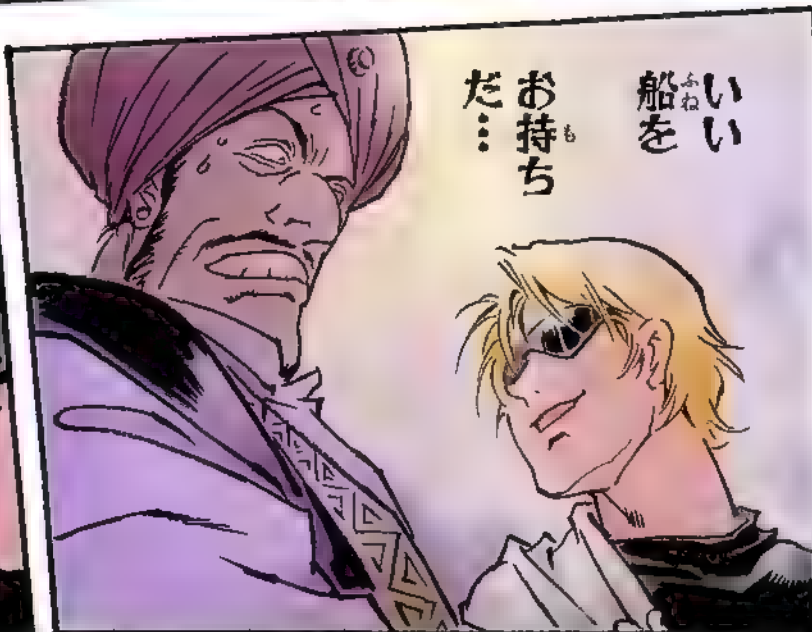
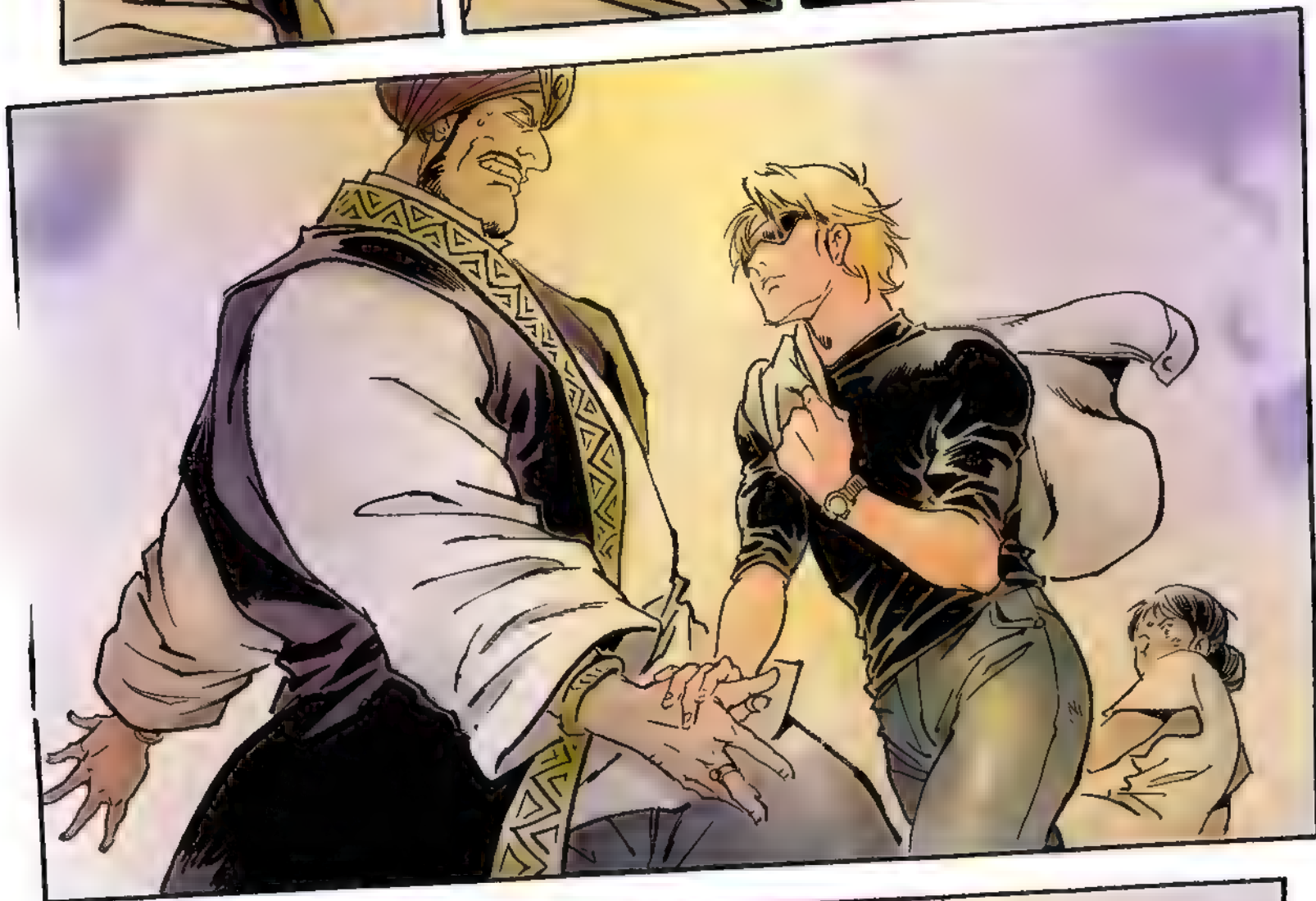
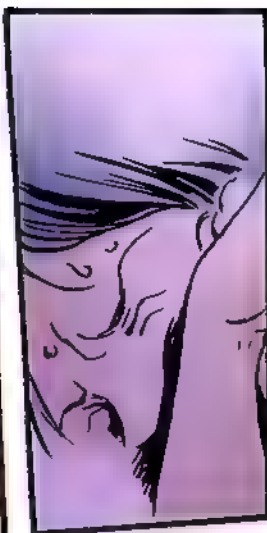
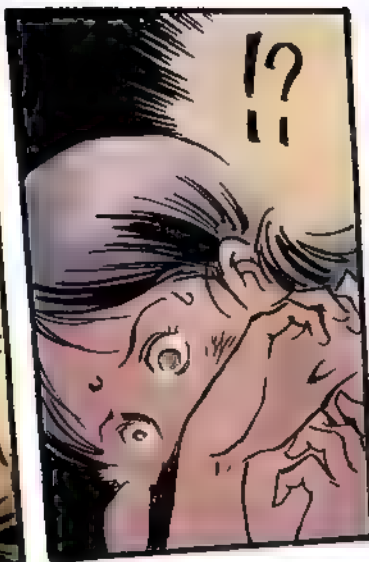
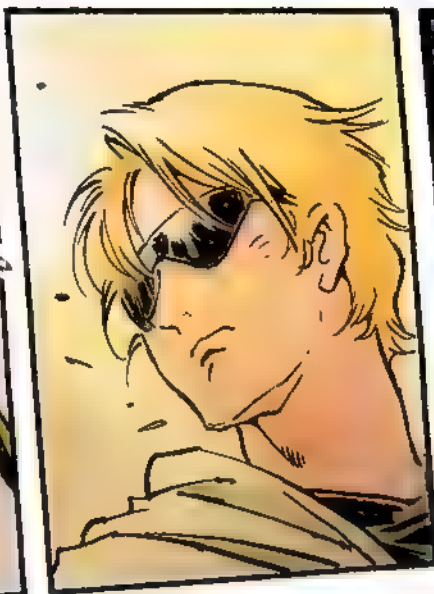
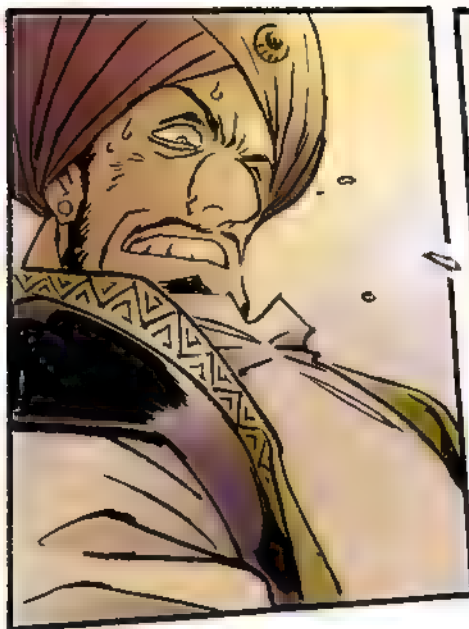


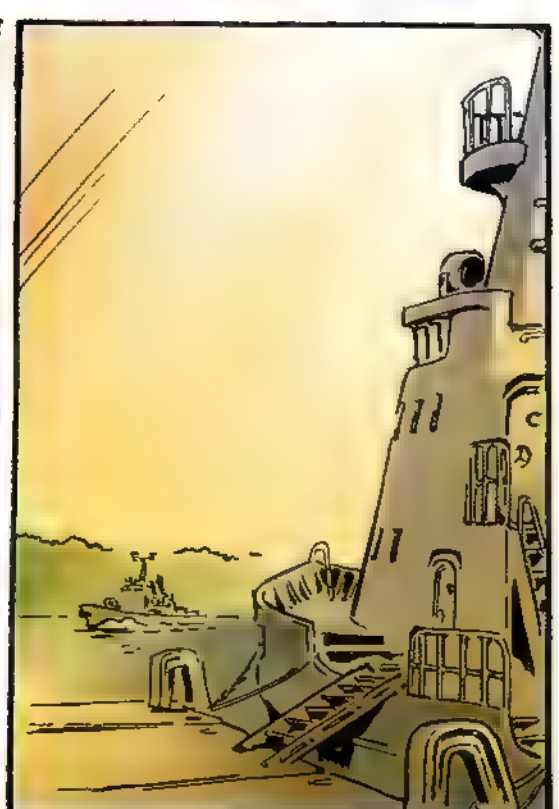
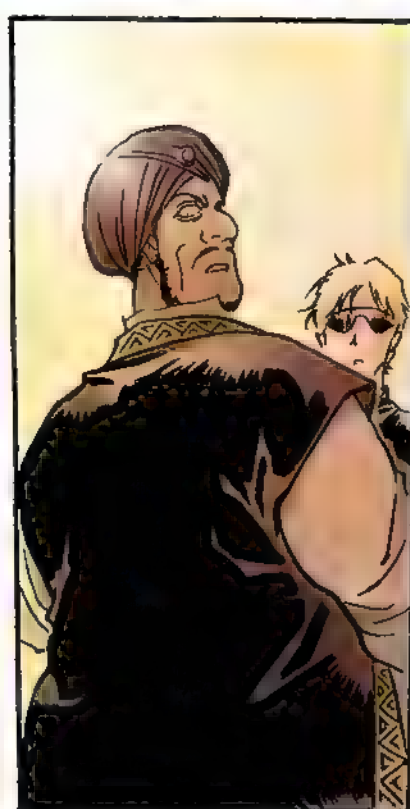
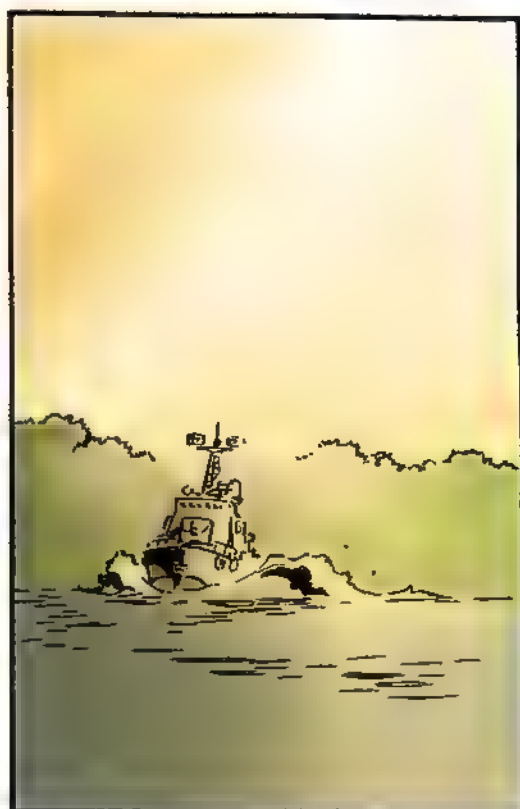
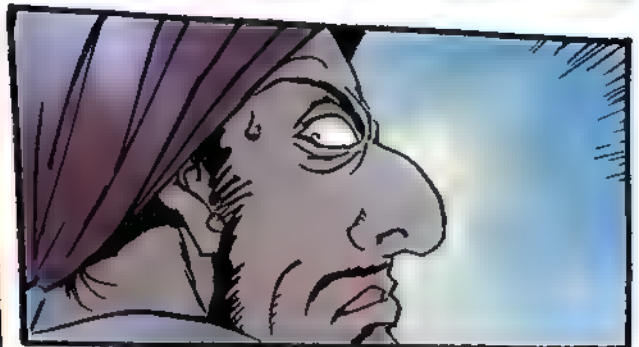


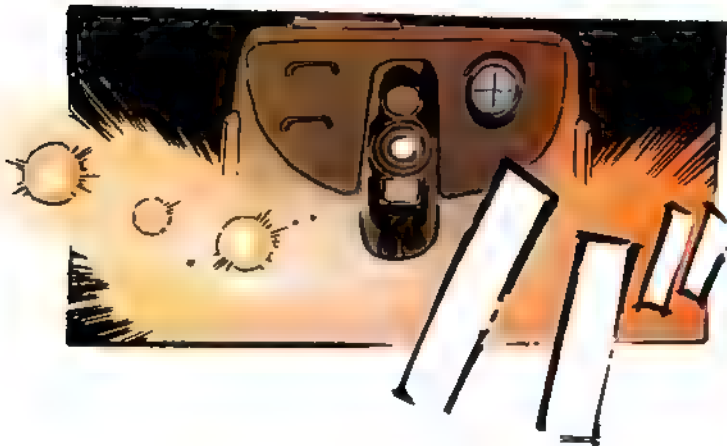
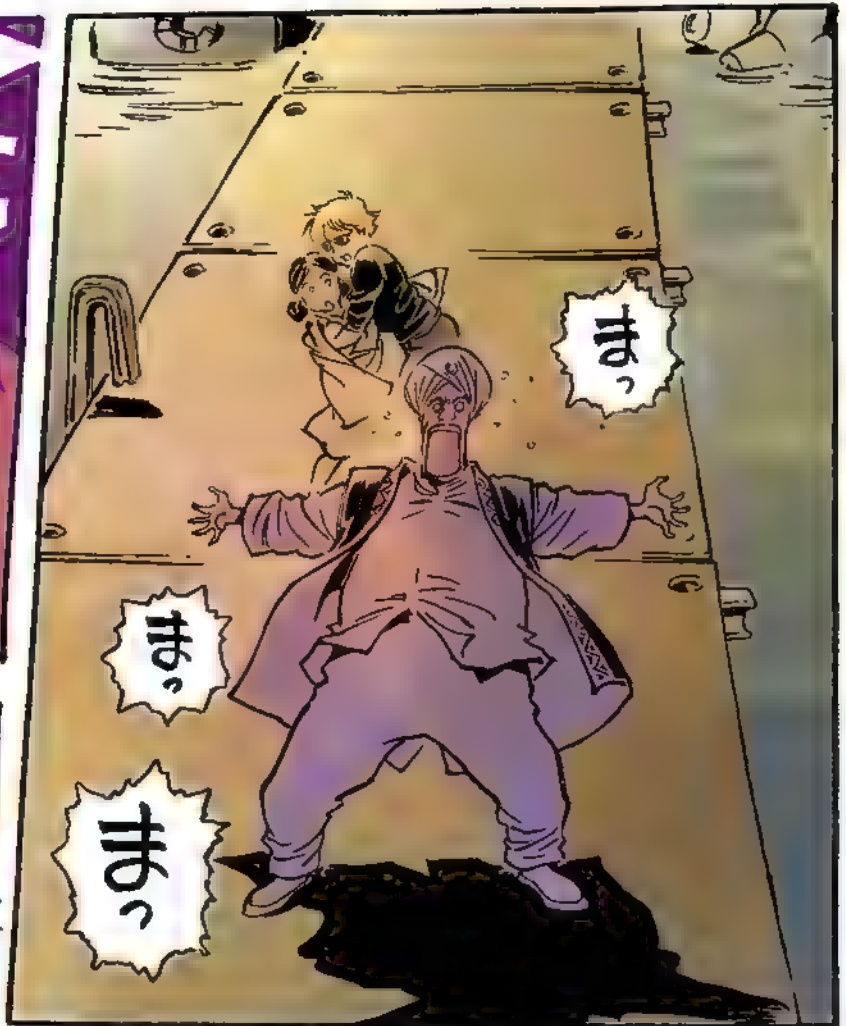
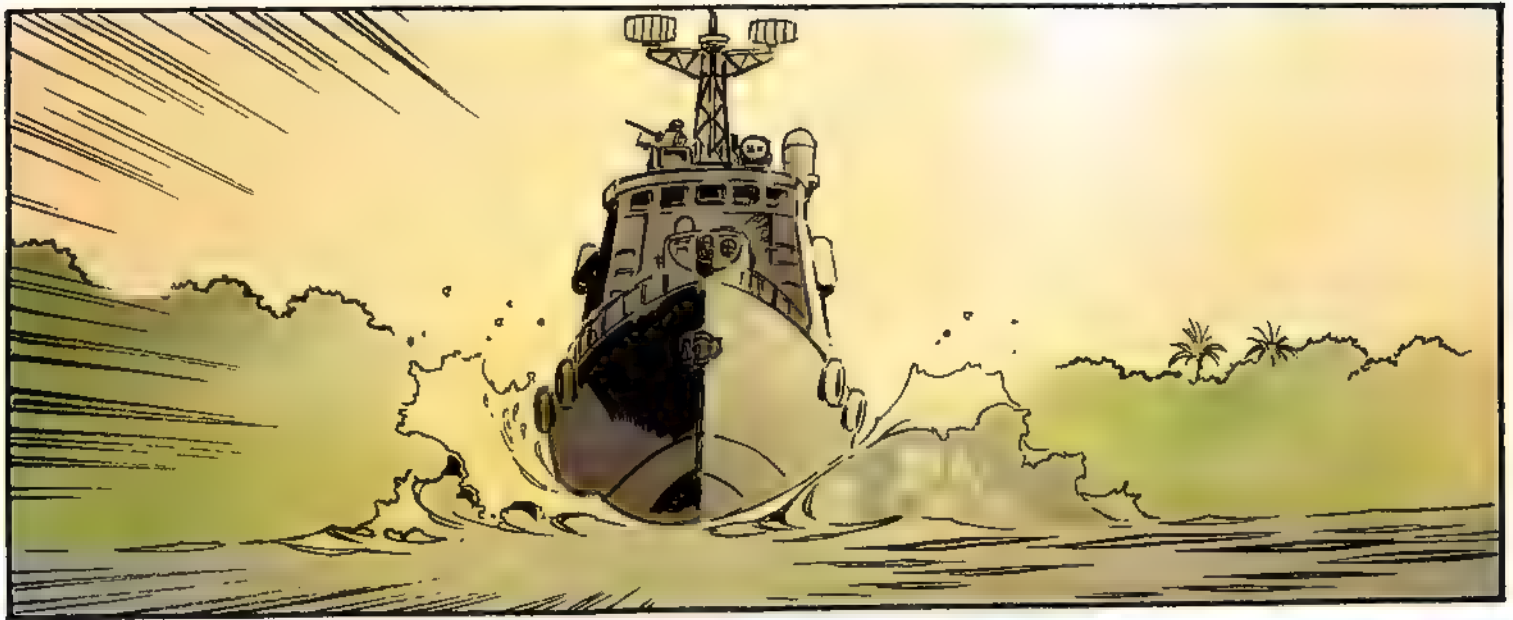
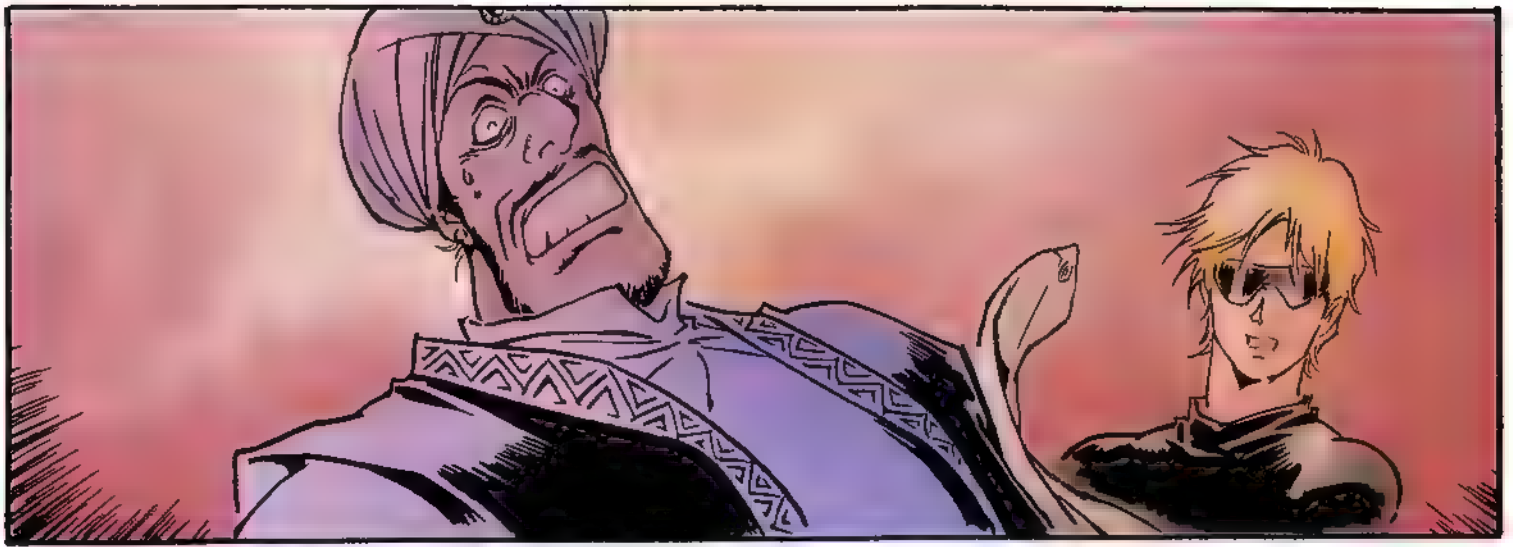


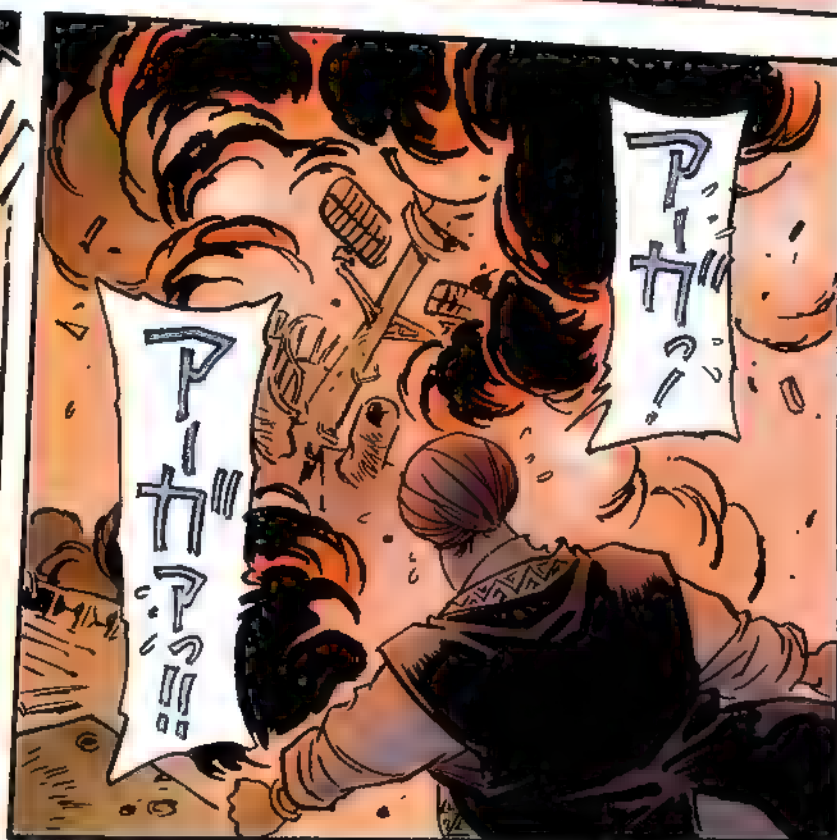
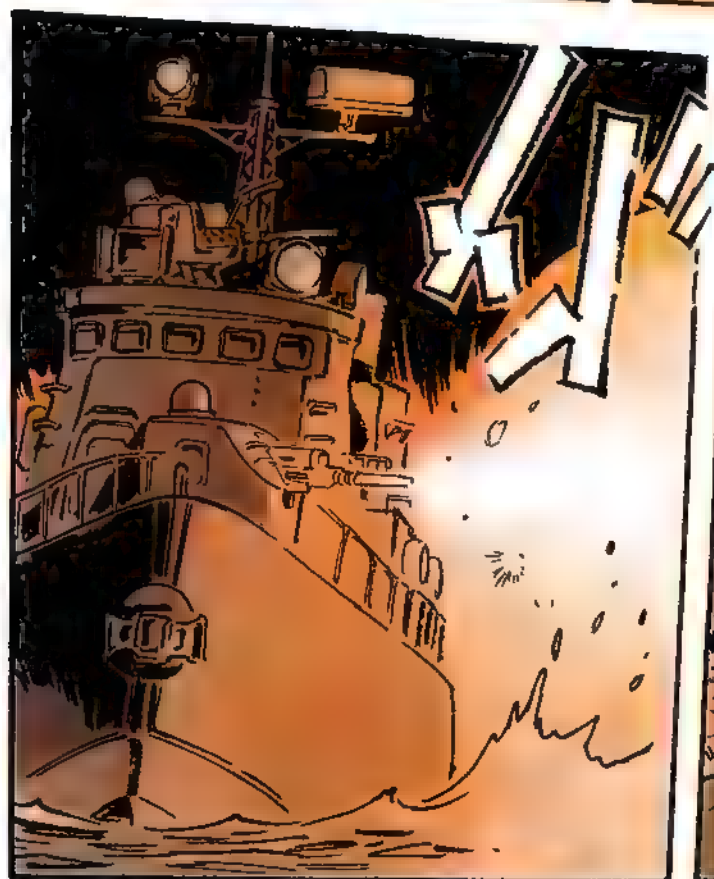
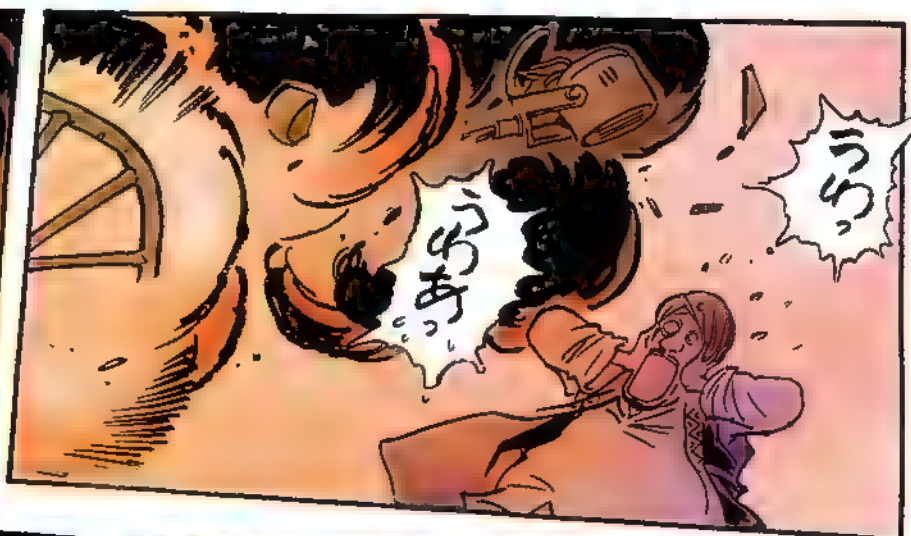
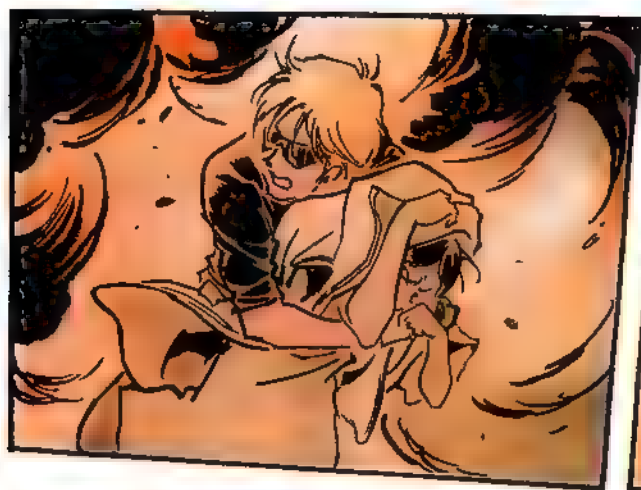
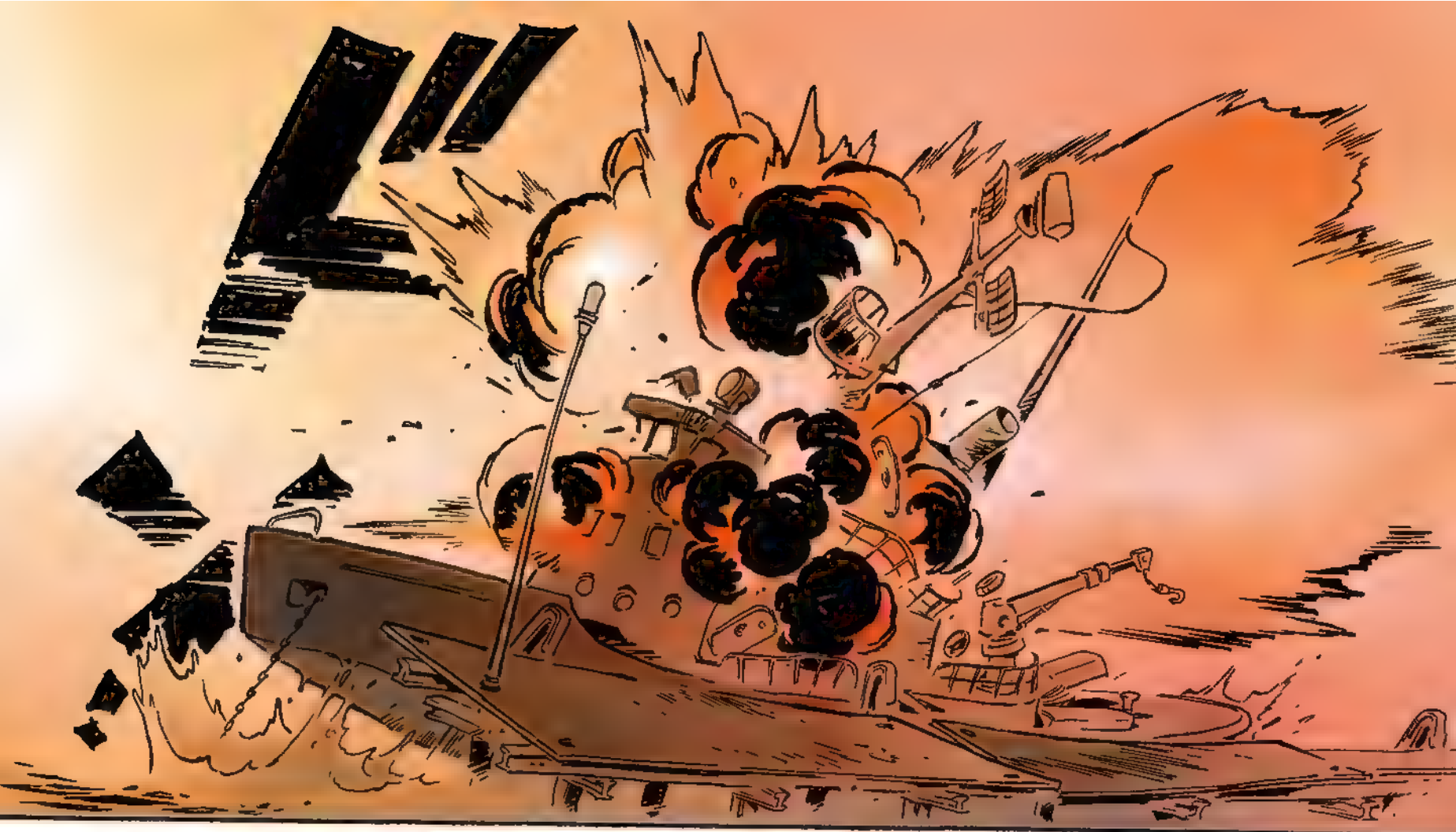


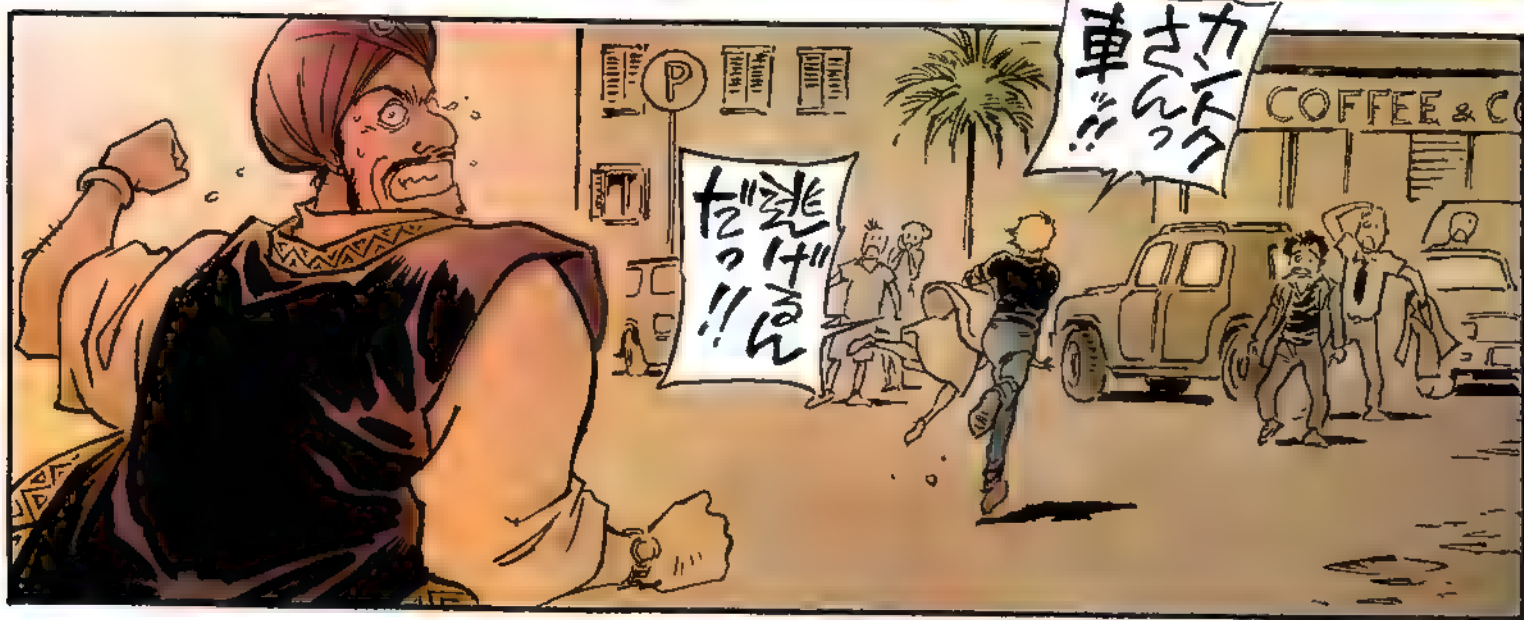


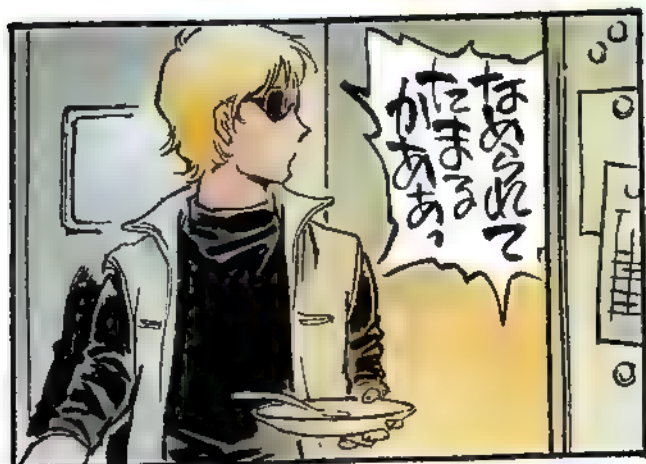


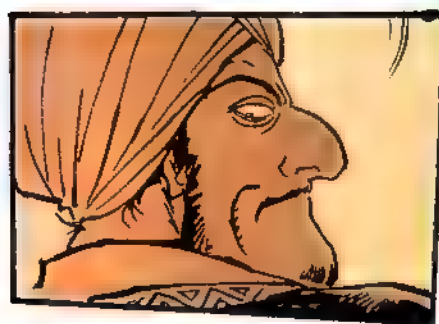












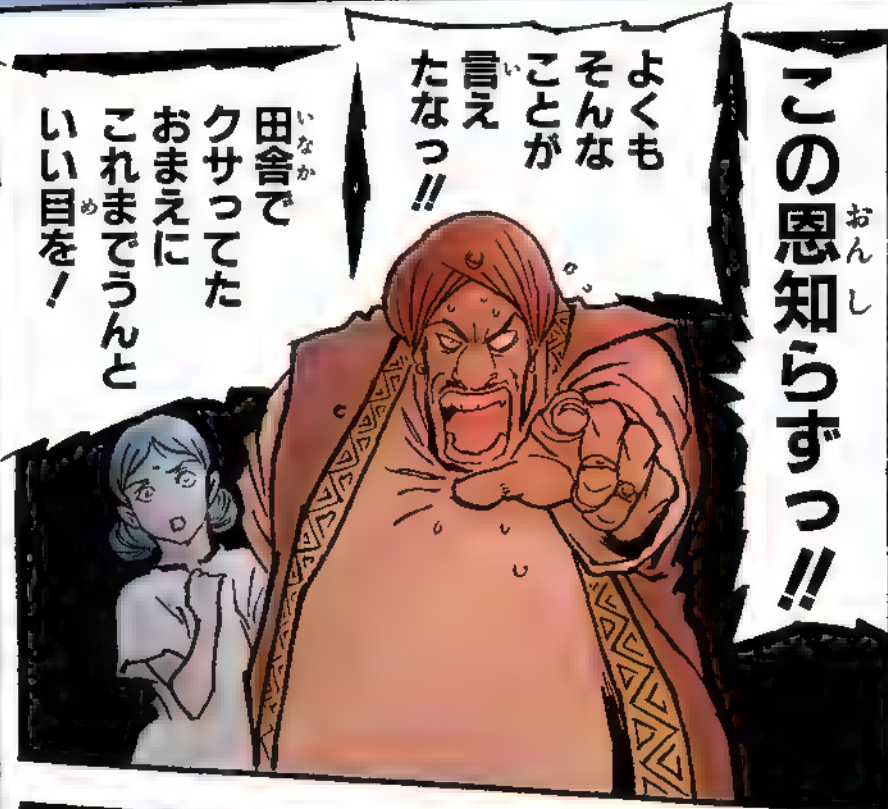




あいつらの子分^{こぶん}になるよ

あいつらのほうが
もっと金^{かね}を
くれるし！

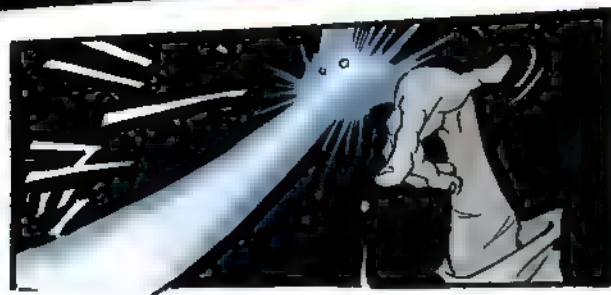
強い

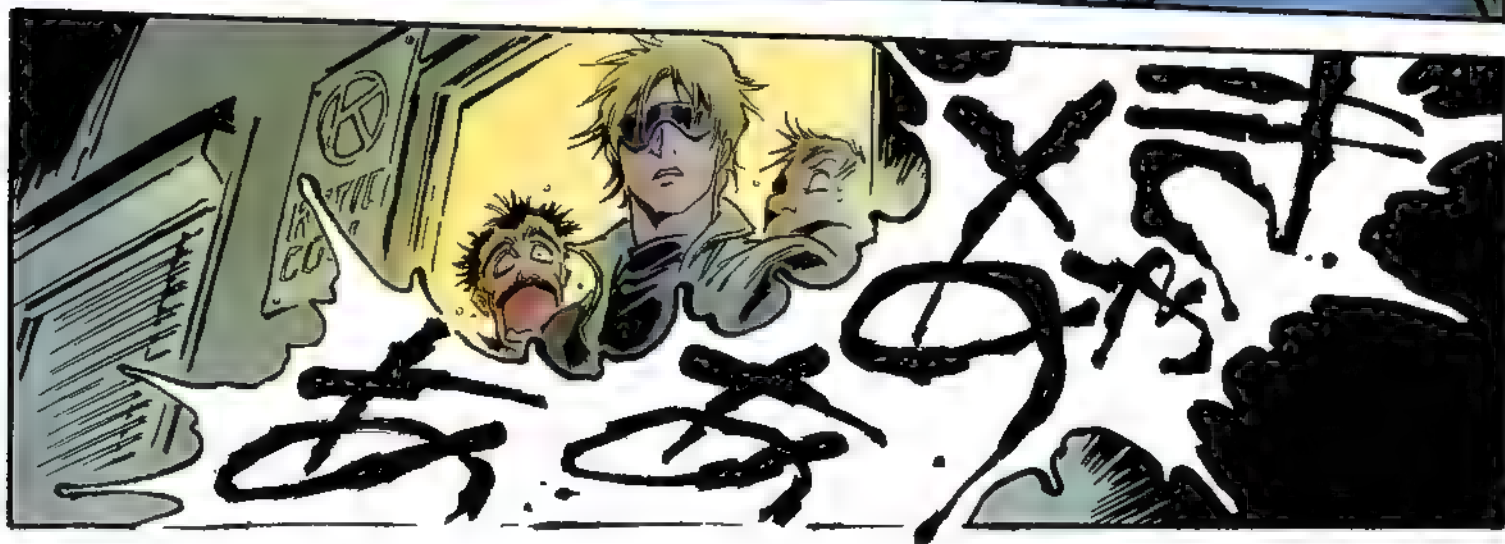
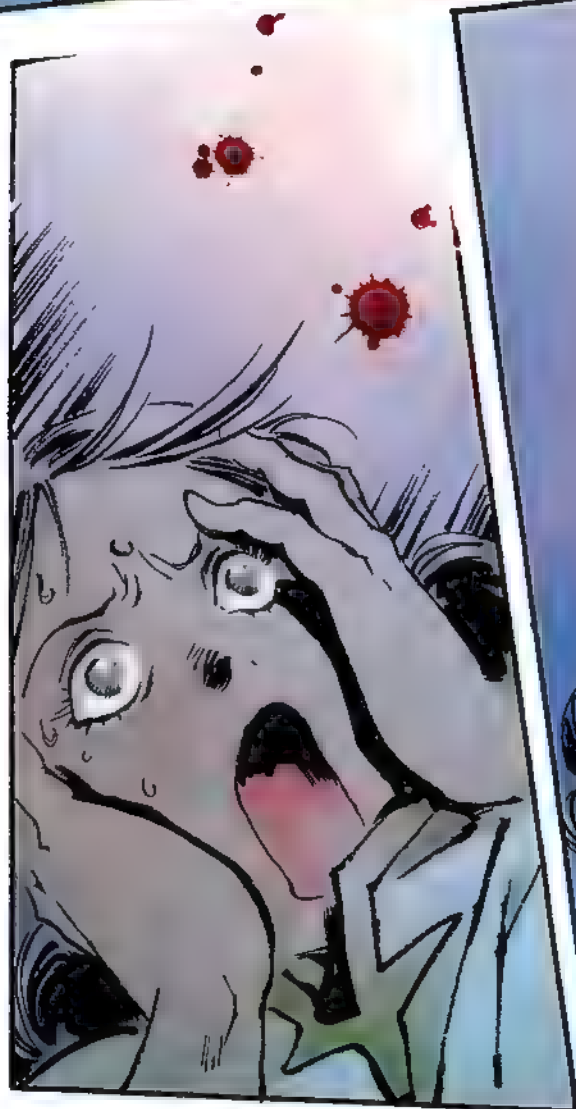


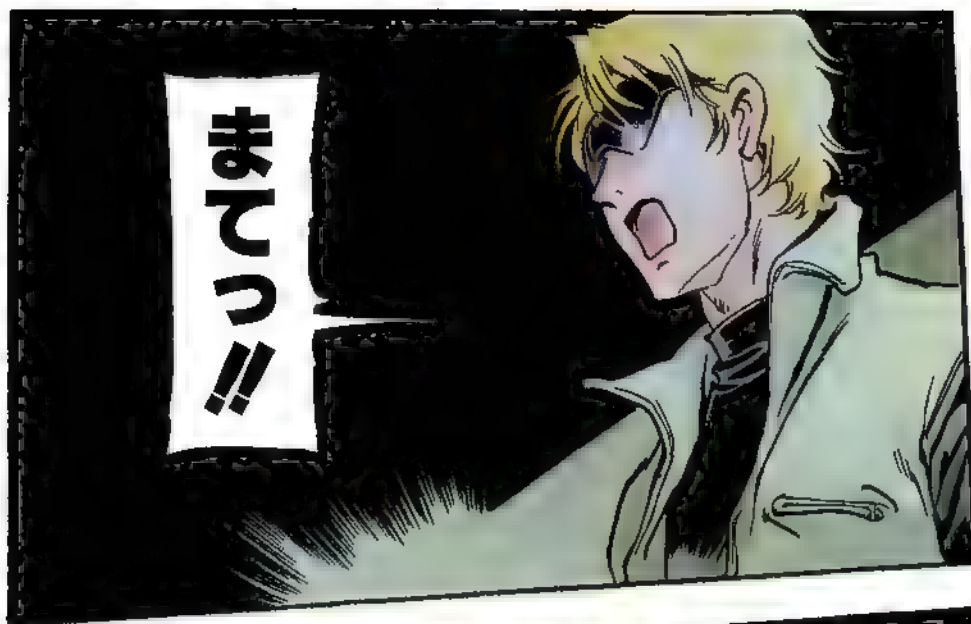
この恩知^{おんし}らずっ！！

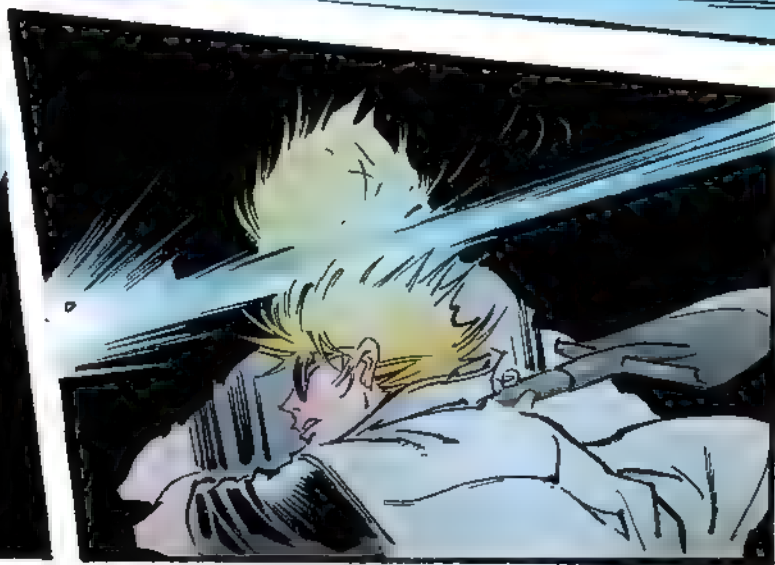
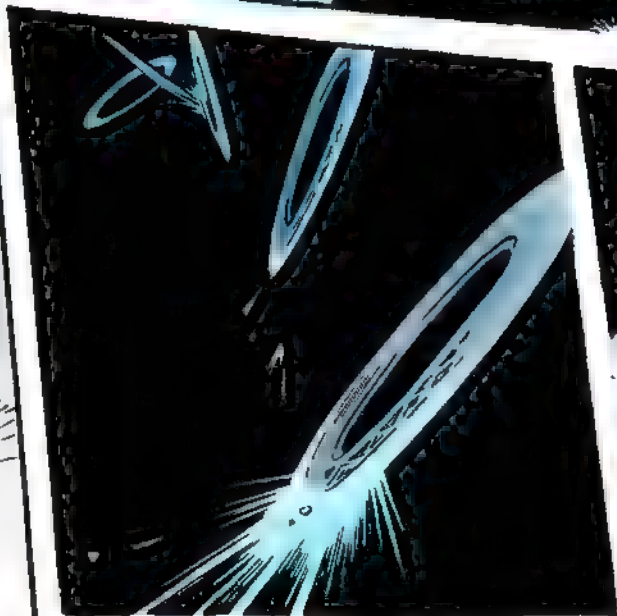
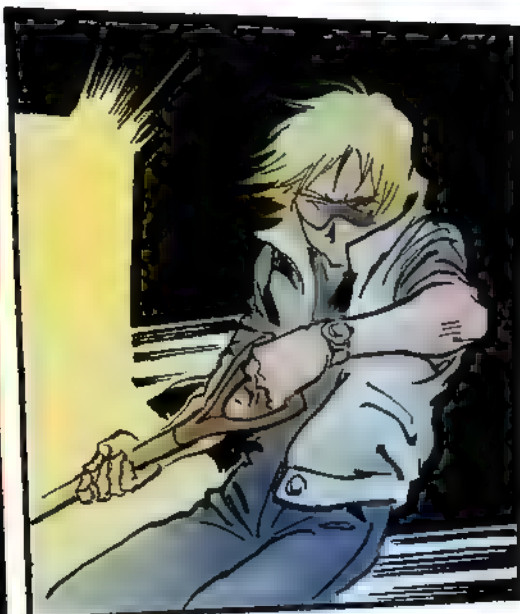
よくも
そんな
ことが
言え
たなっ！！

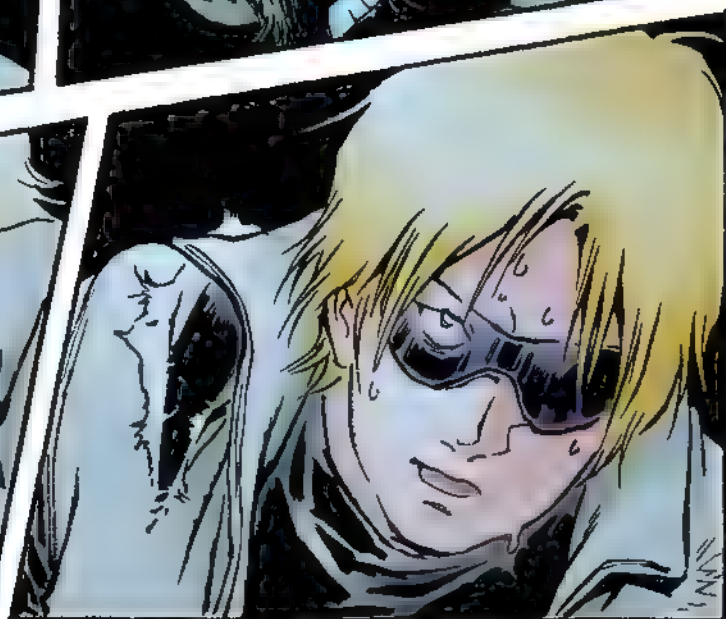
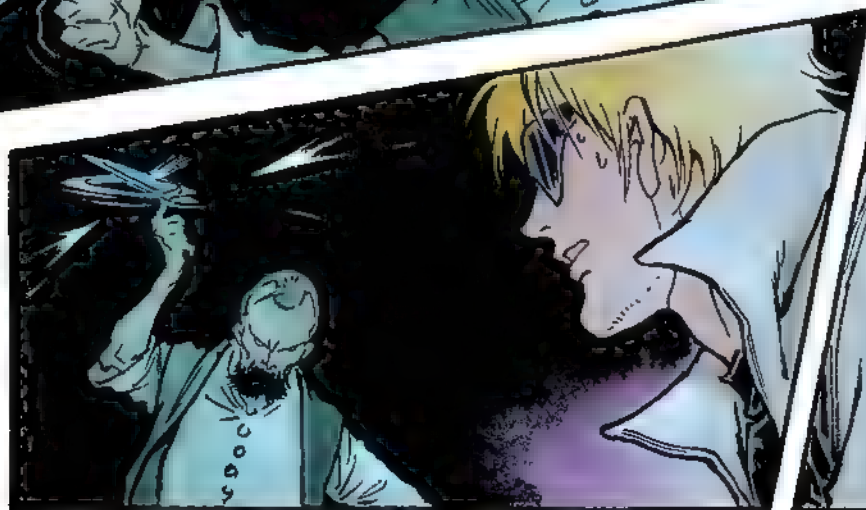
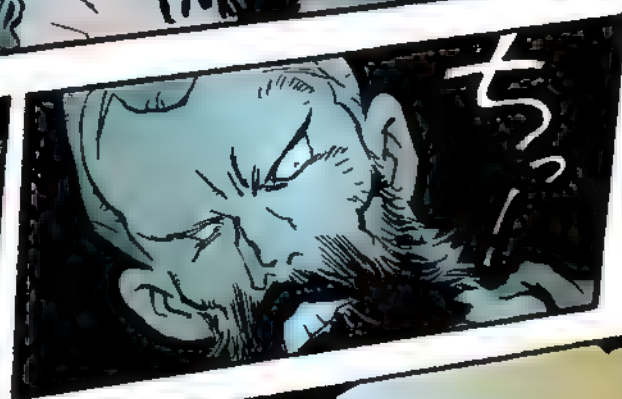
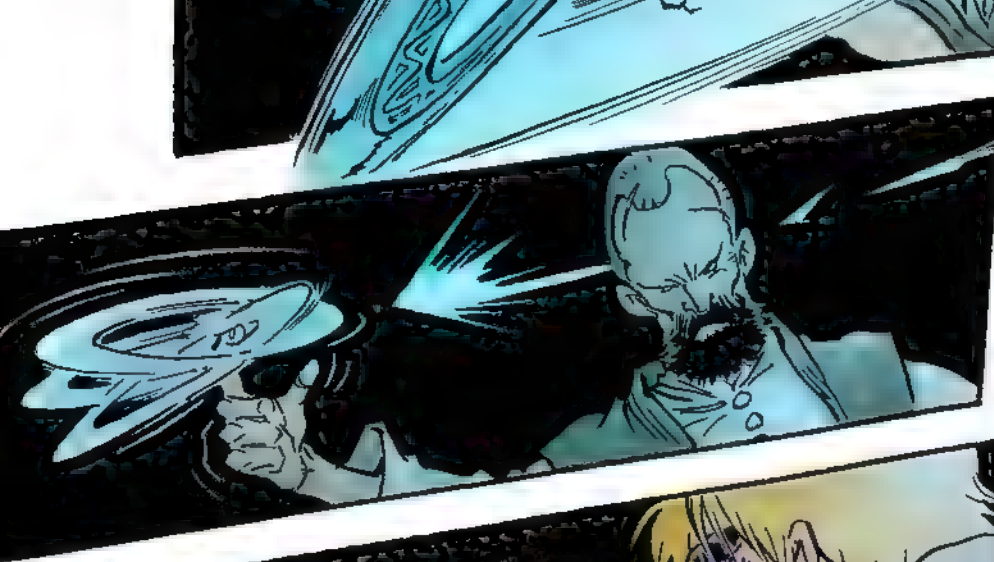
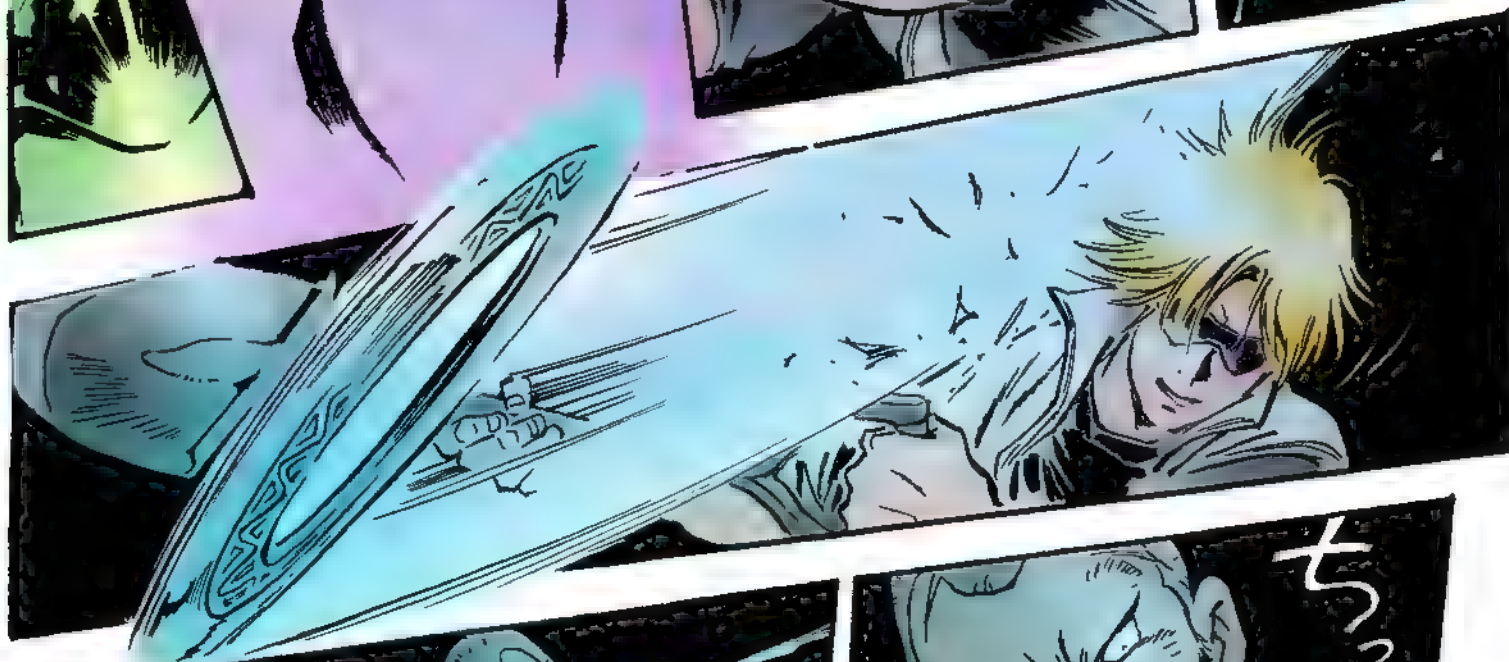
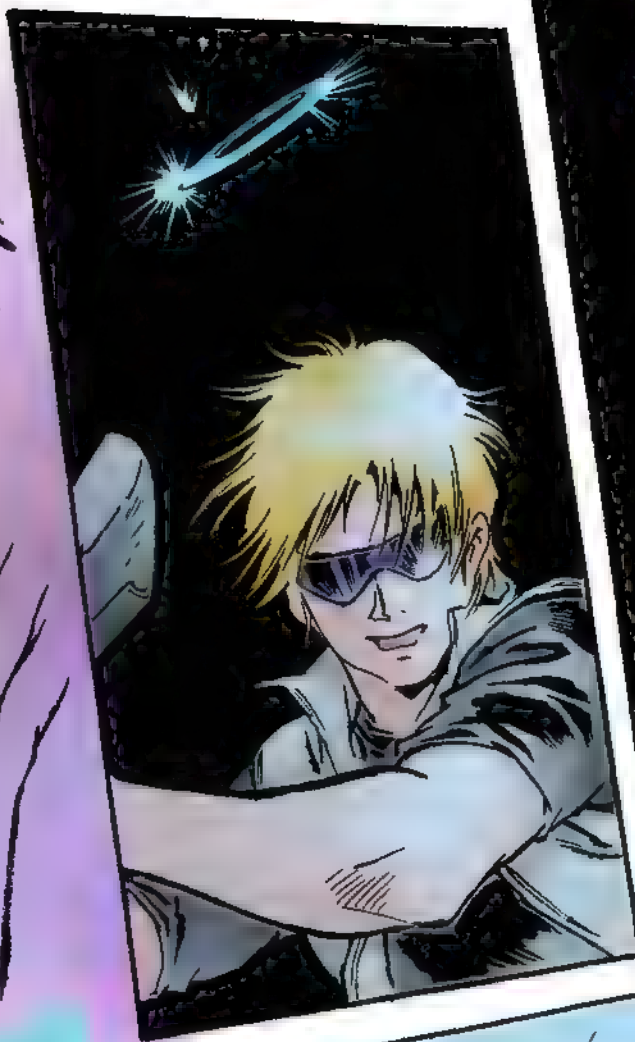
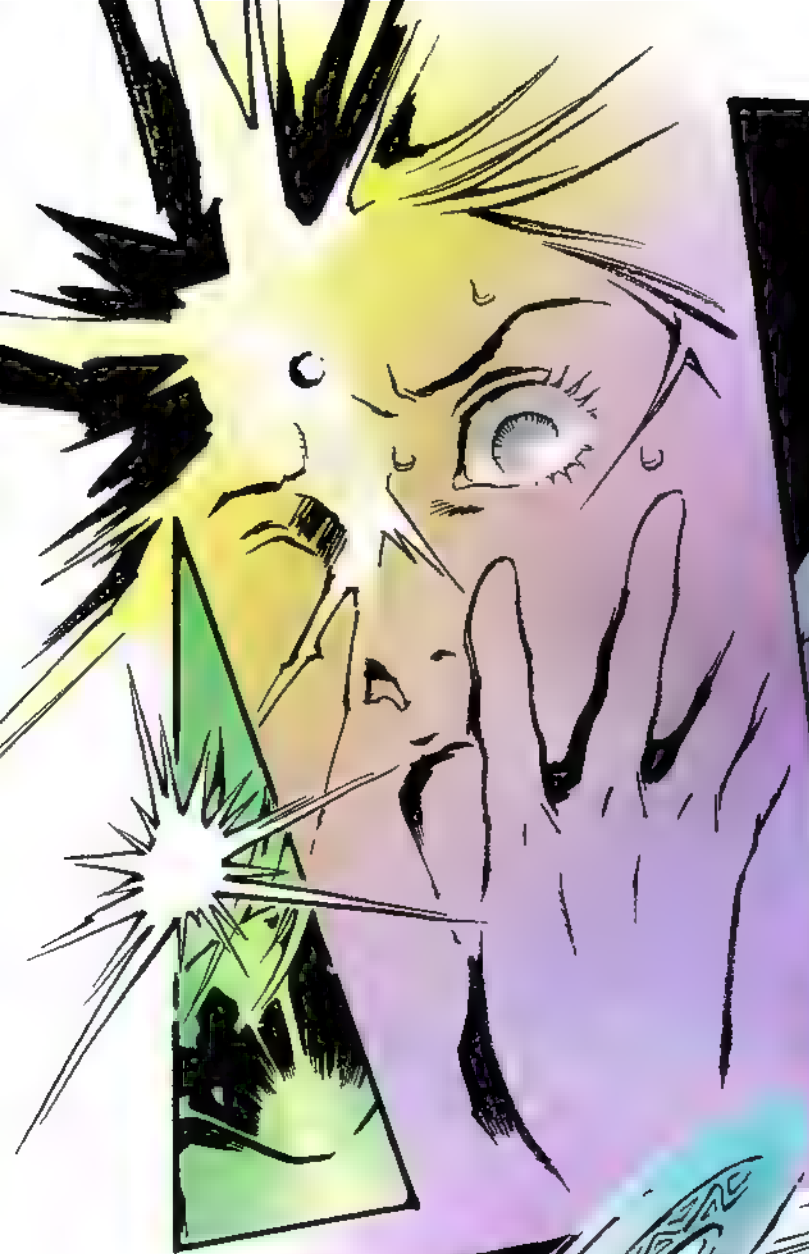
田舎^{いなか}で
クサってた
おまえに
これまでうんと
いい目を！

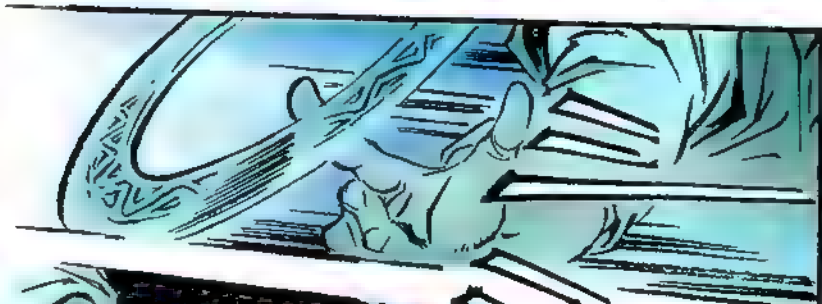
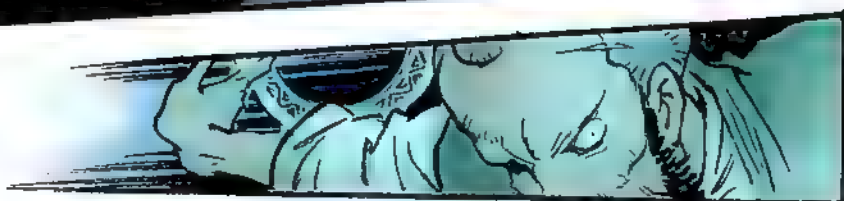
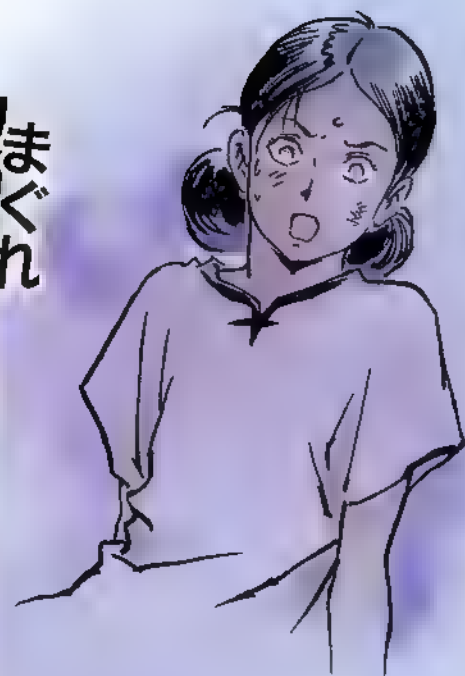
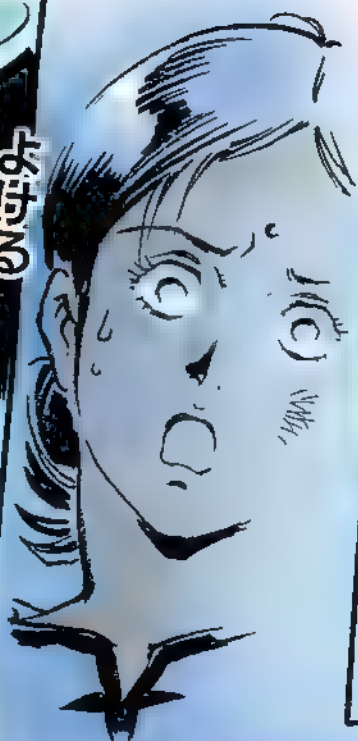


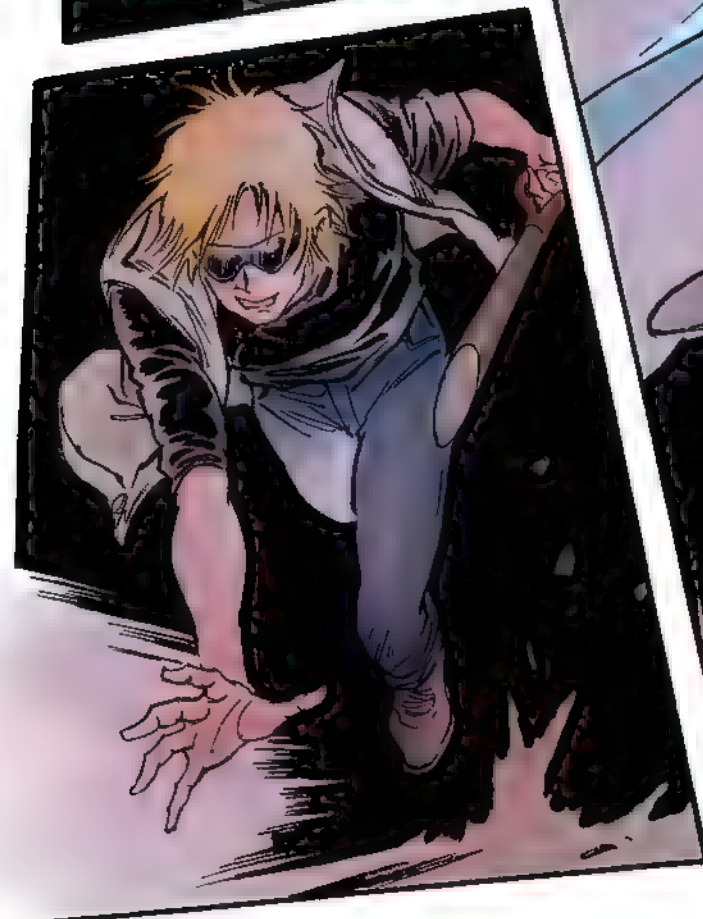


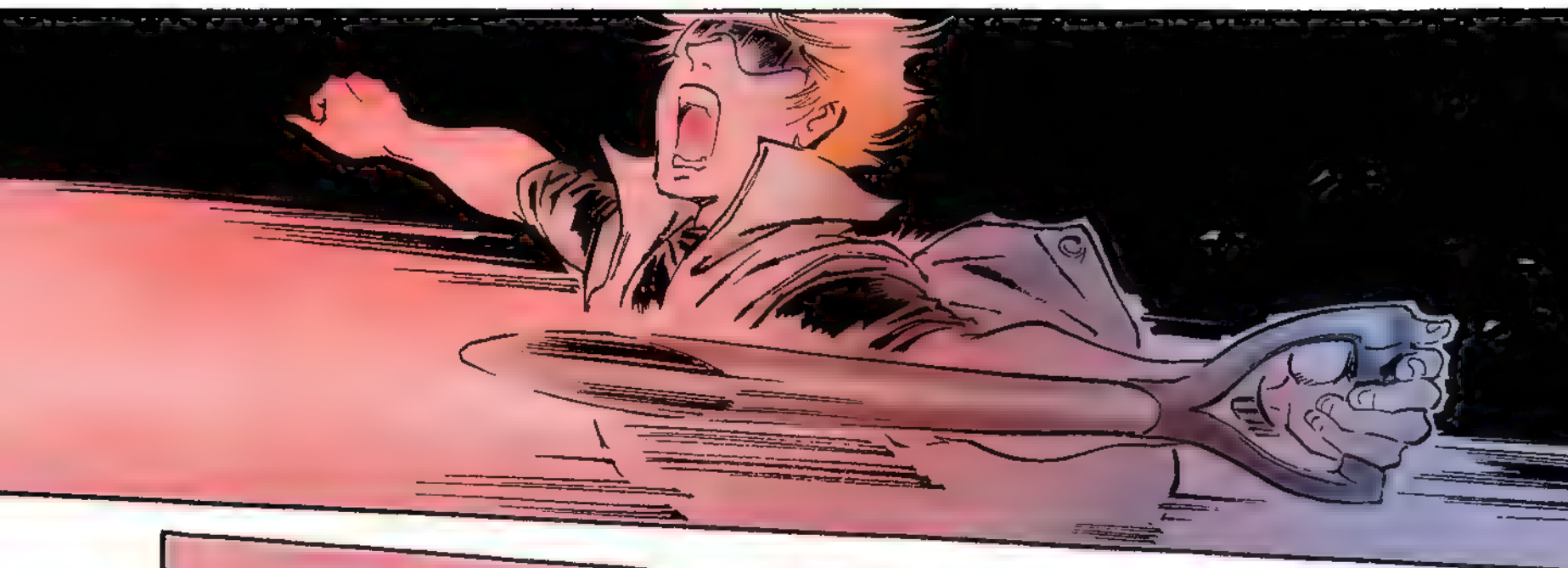


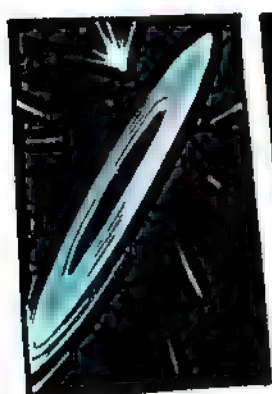
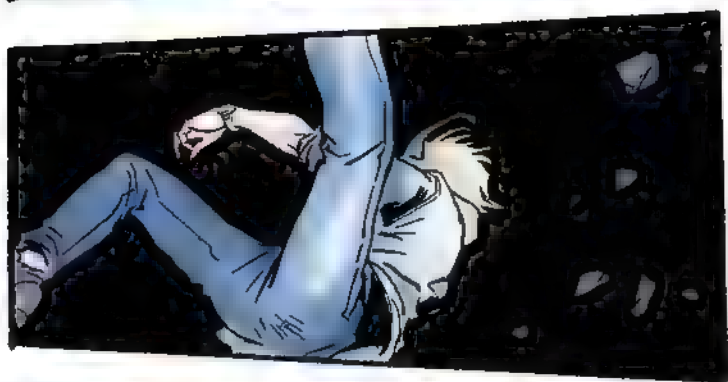
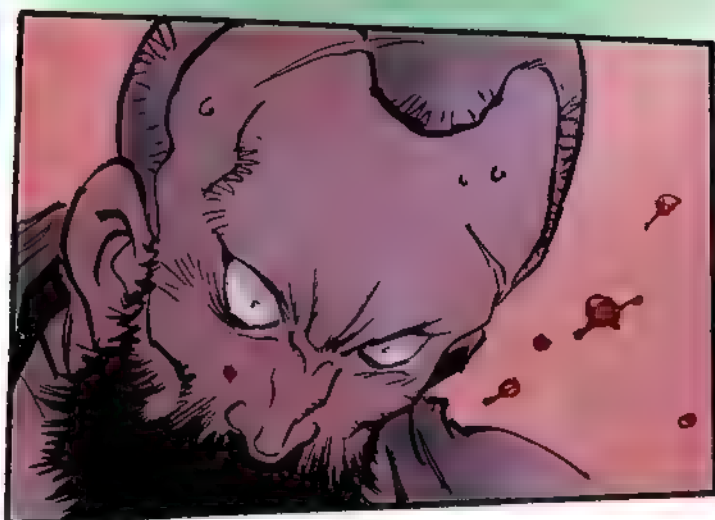
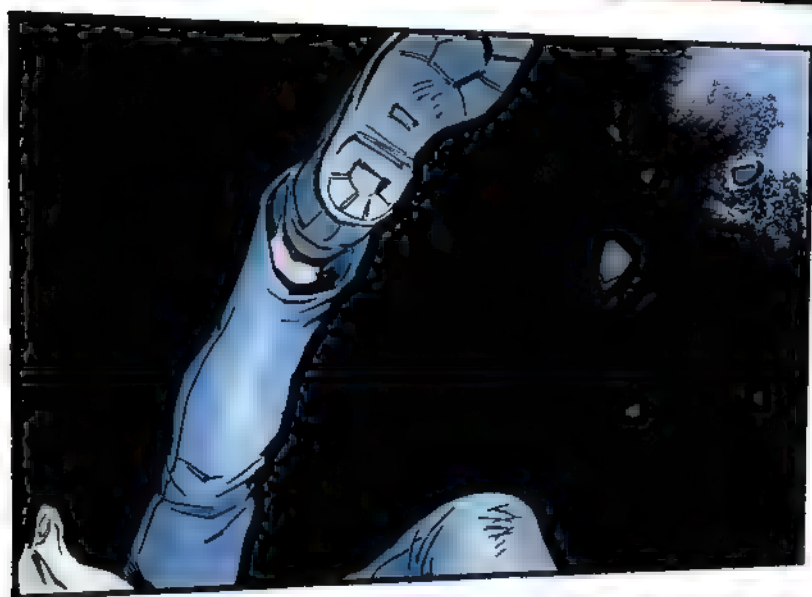
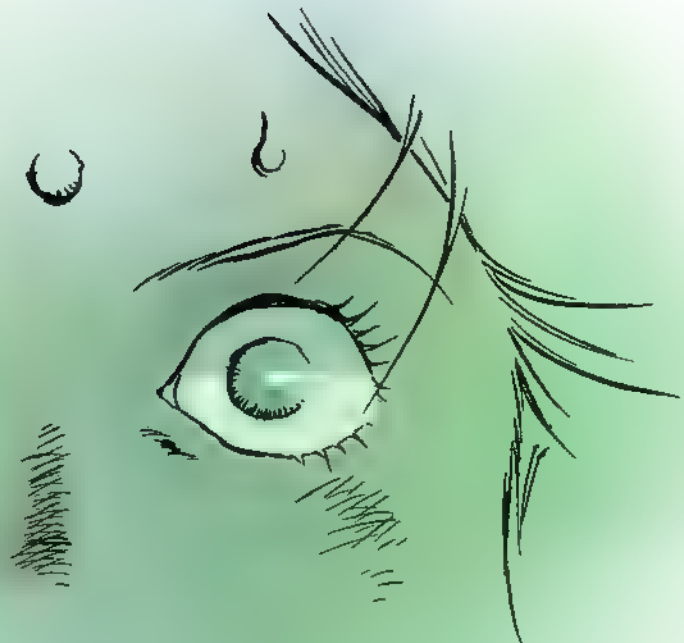
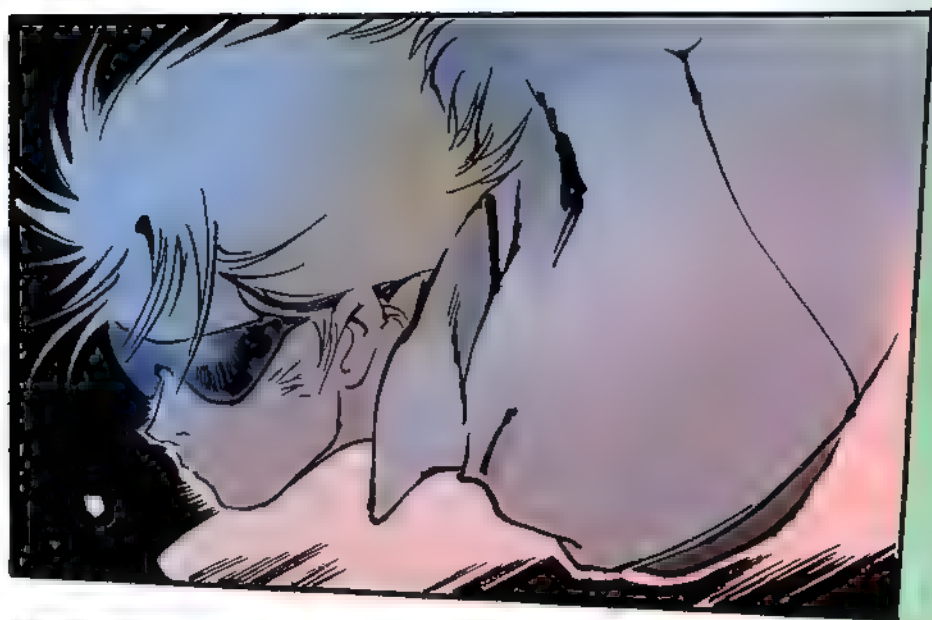


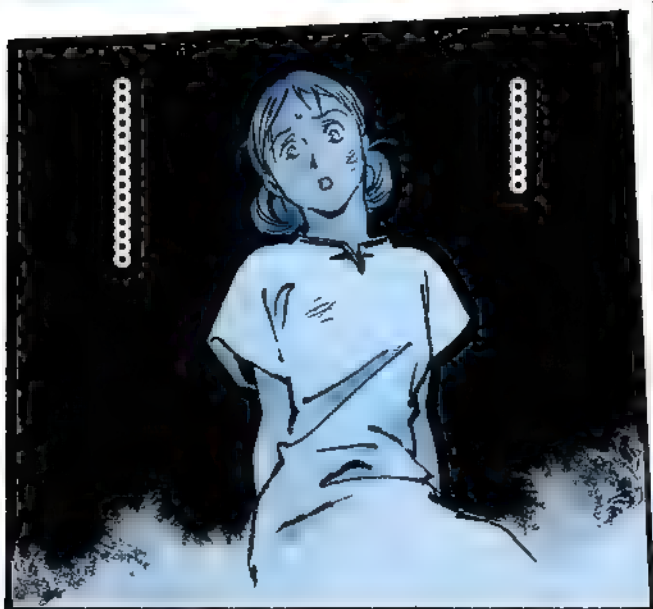
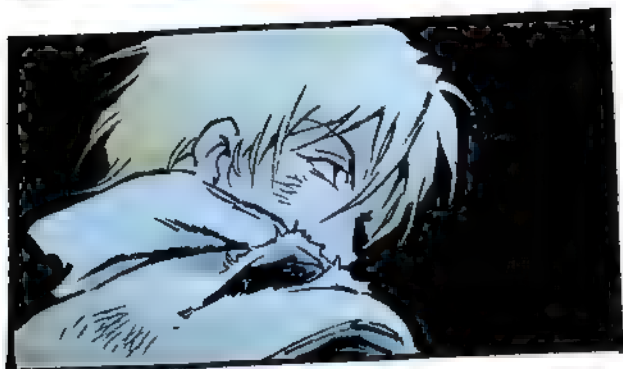
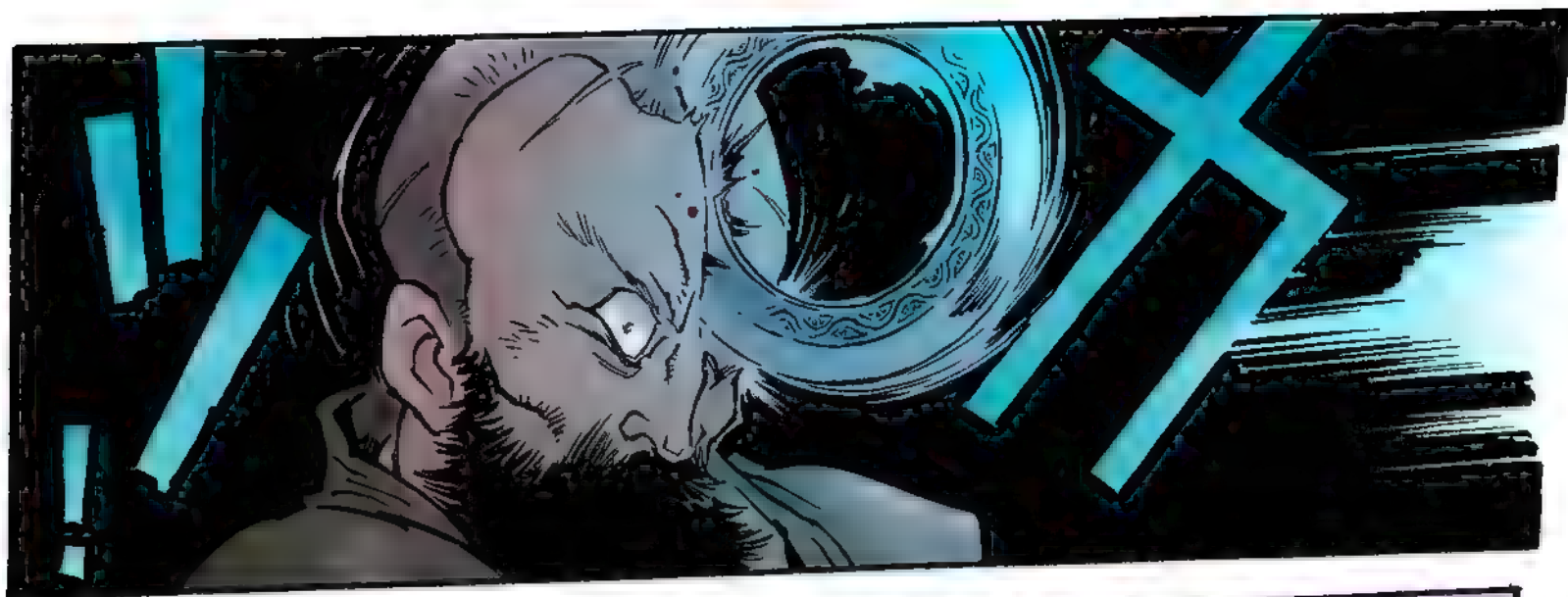


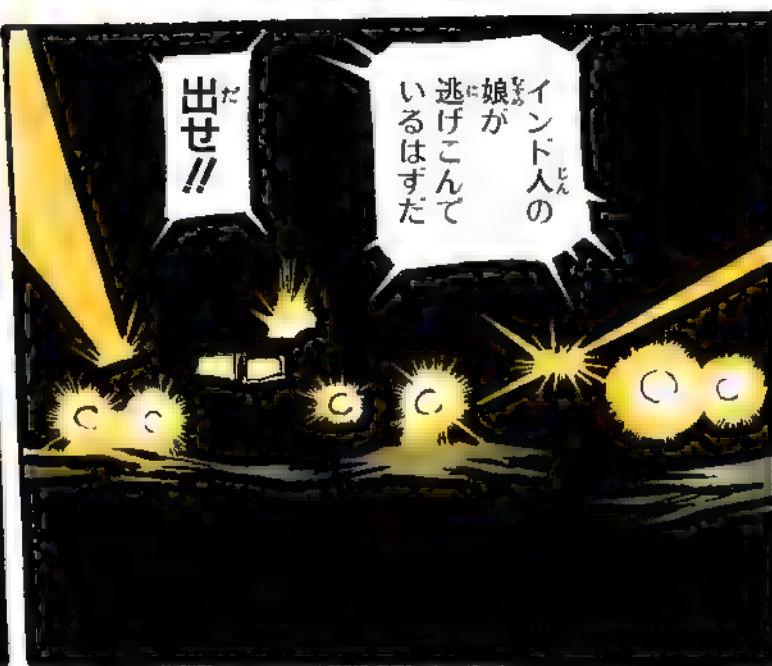
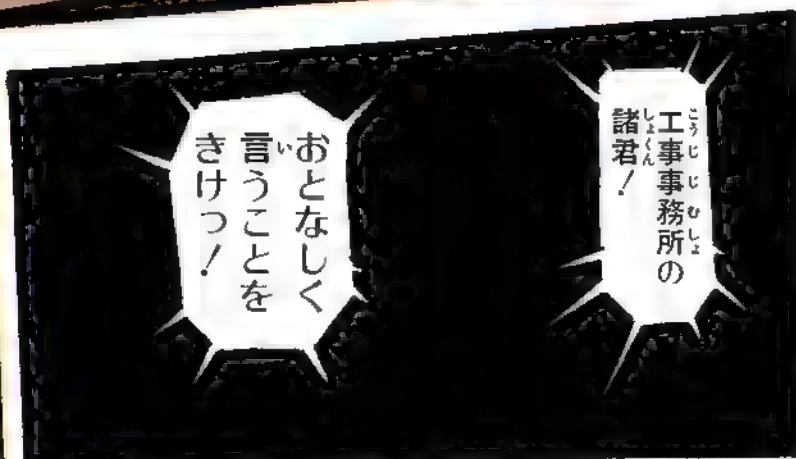


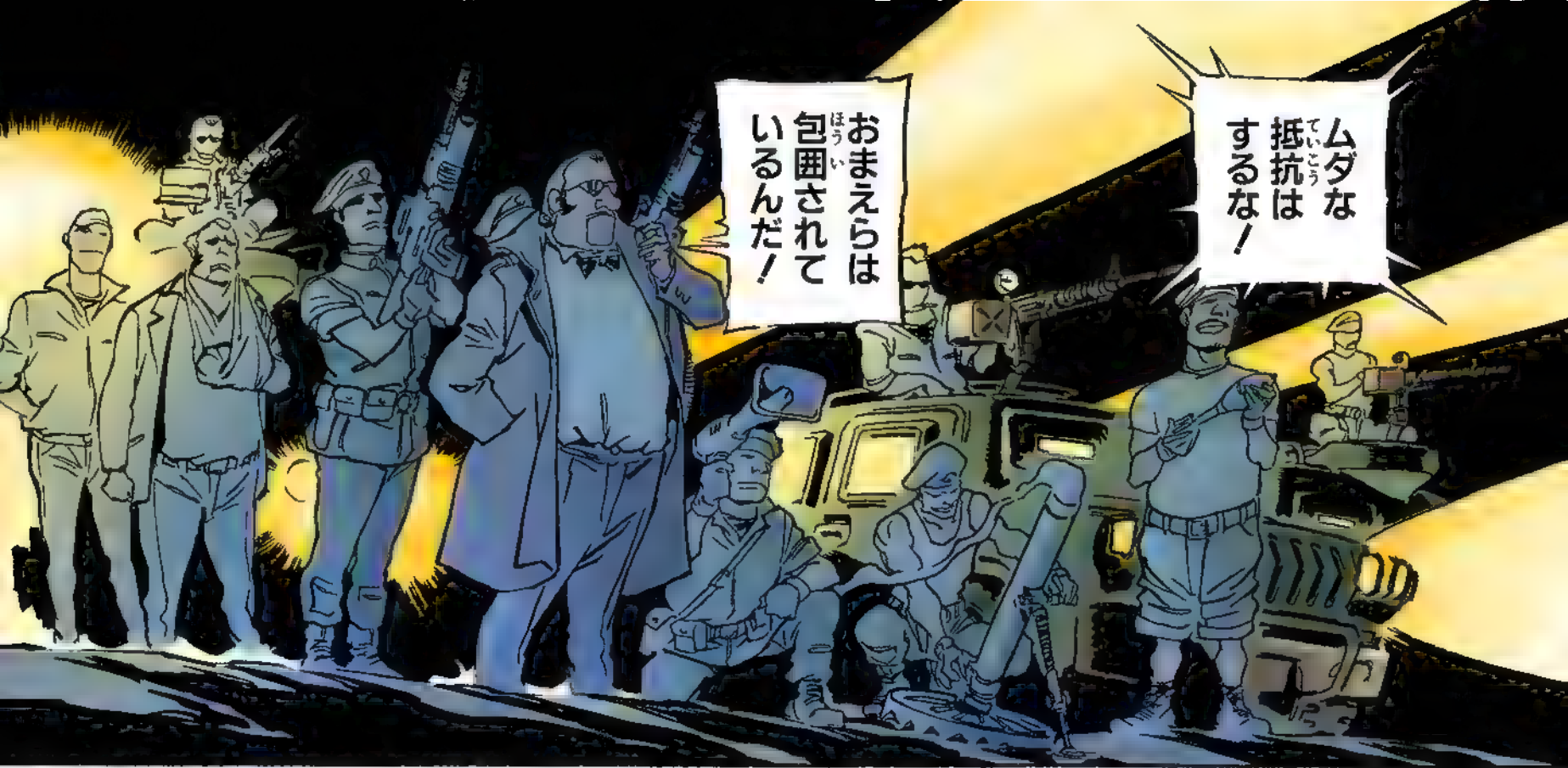






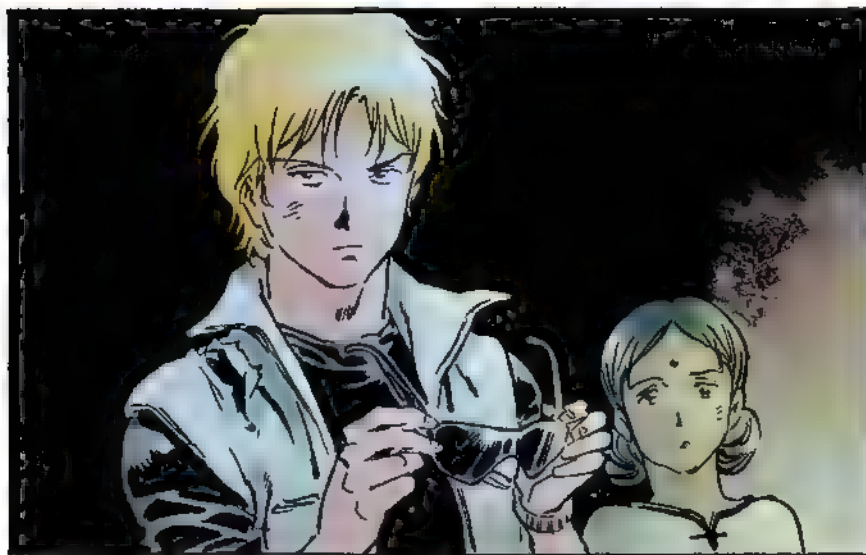






おまえらは
ほうい
包囲されて
いるんだ！

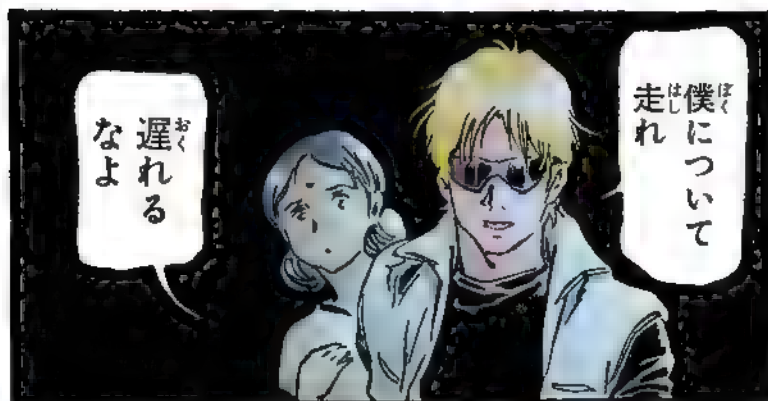
ムダな
抵抗は
するな！



どう
しよう

カン
トク
ウ

すなおに
娘を渡せ！！



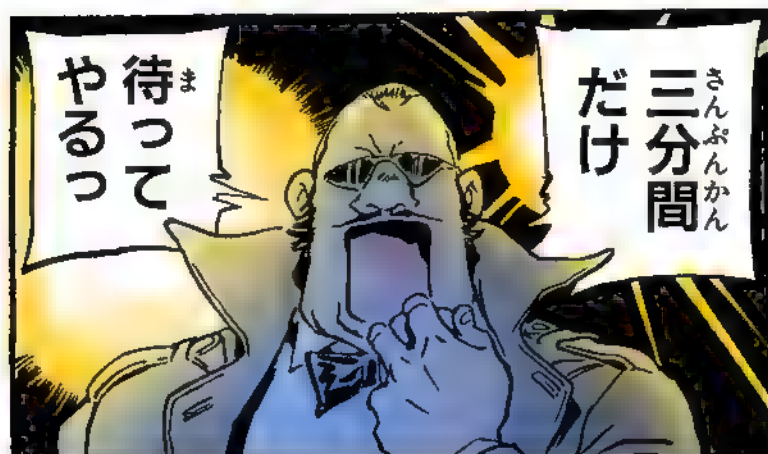
遅れる
なよ

僕について
走れ



立て

どこにも
ケガはないな？



待つて
やるっ

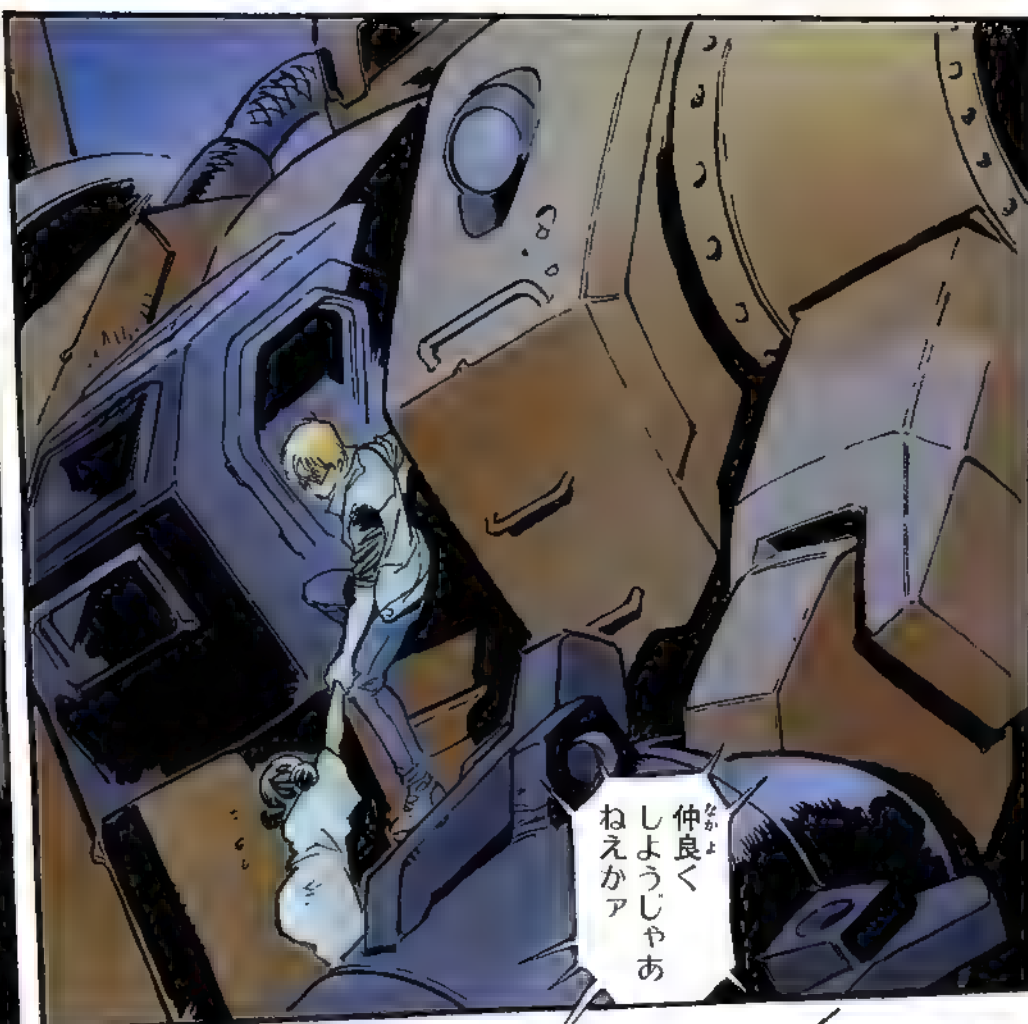
さんぶんかん
三分間
だけ





こぞめひとり
小娘一人
渡しやあ
いいんだ!

なんてこと
はねえっ

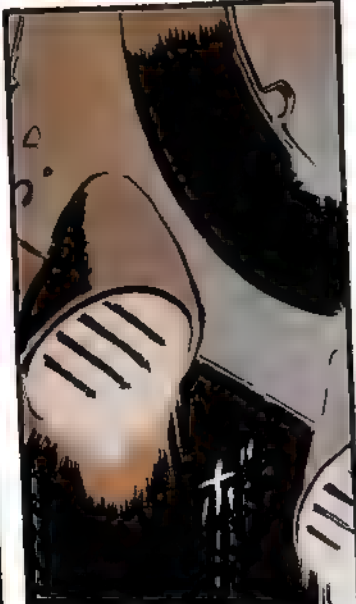
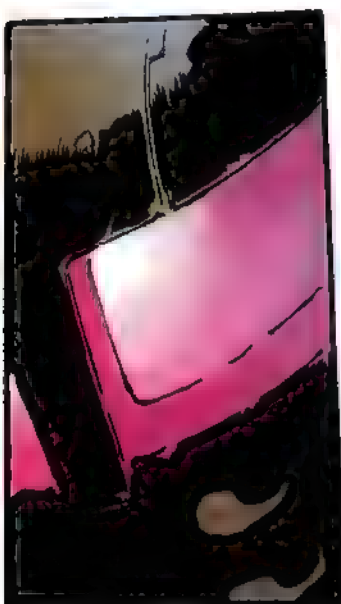


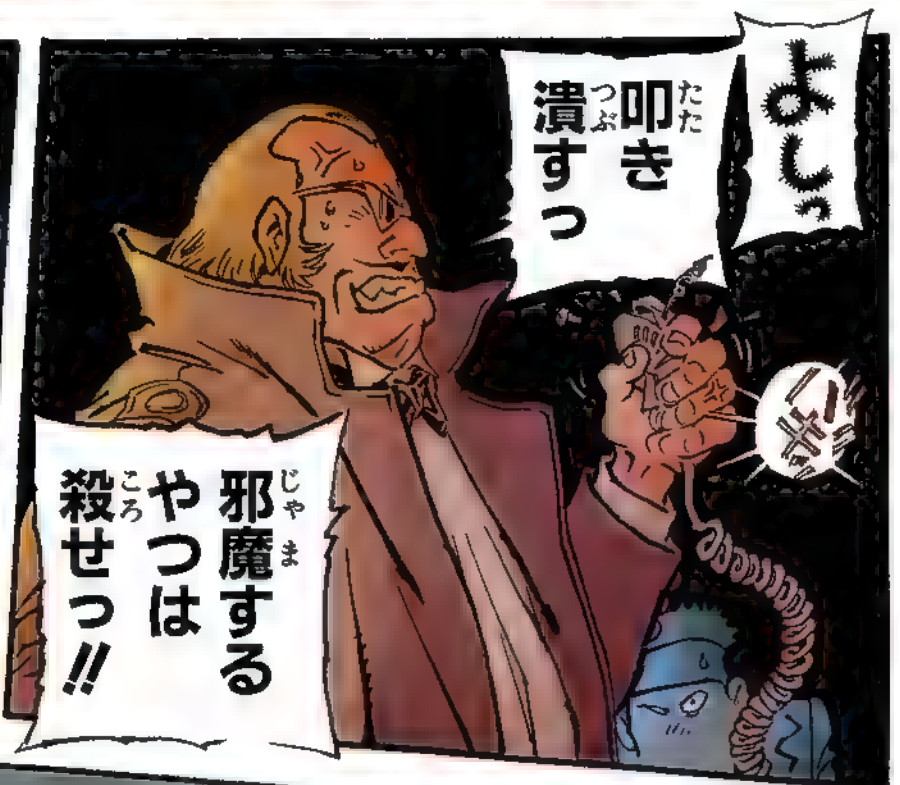
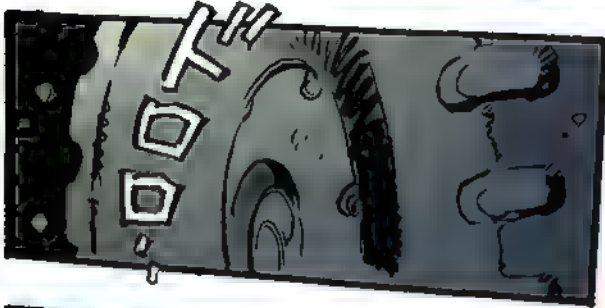
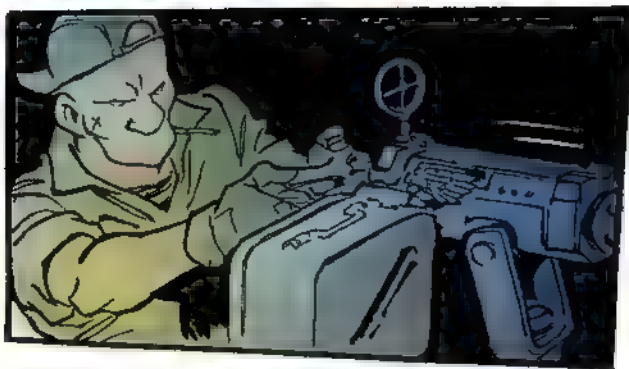
仲良く
しようじゃあ
ねえかア

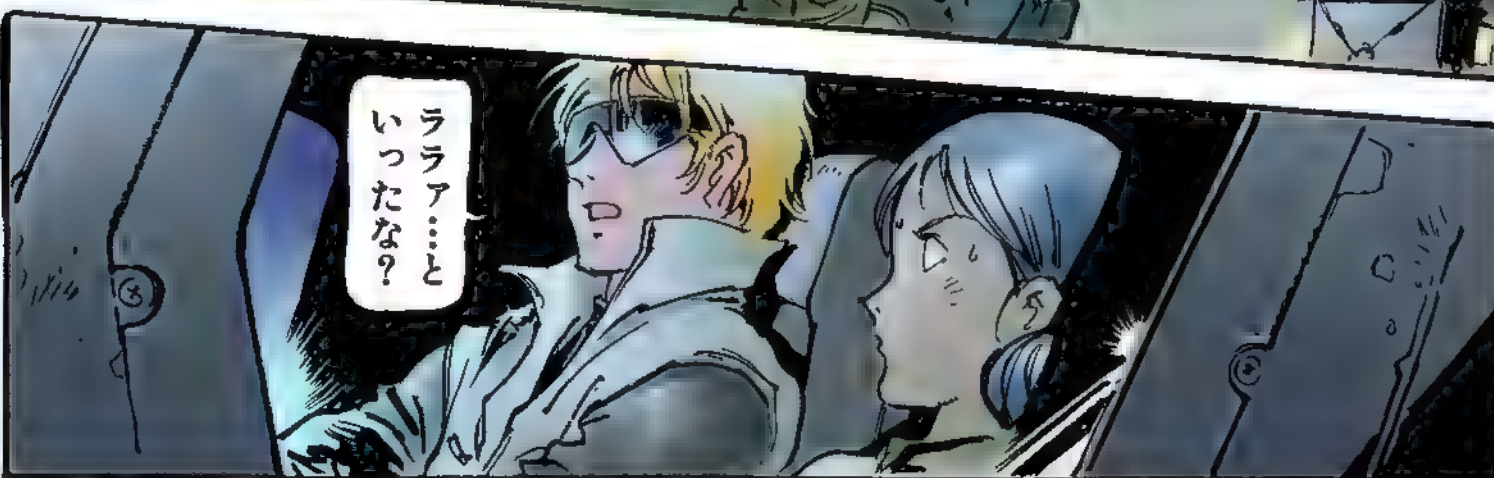
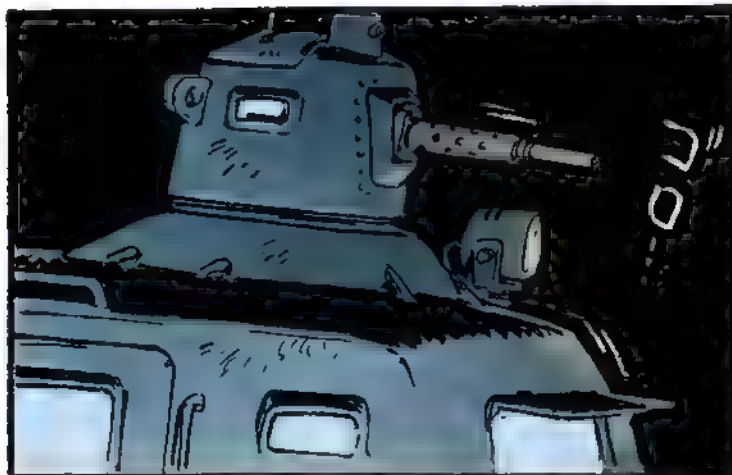
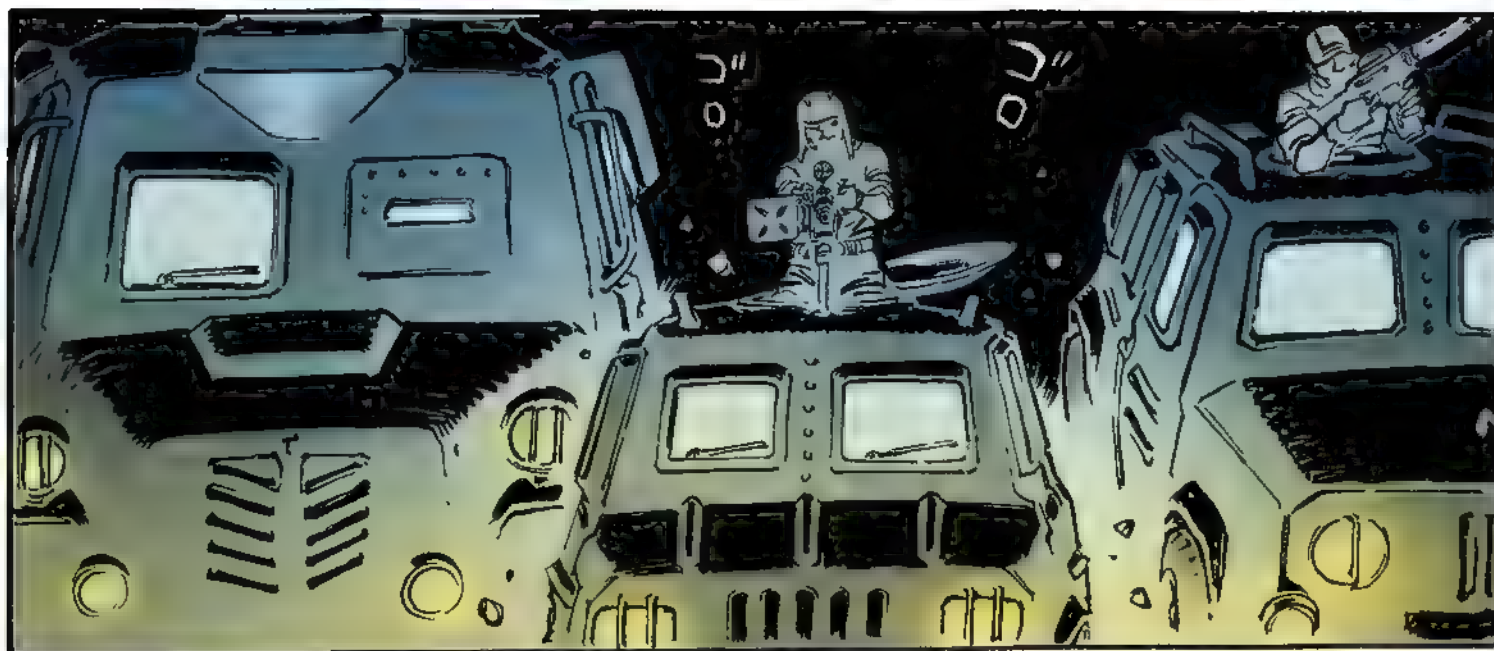


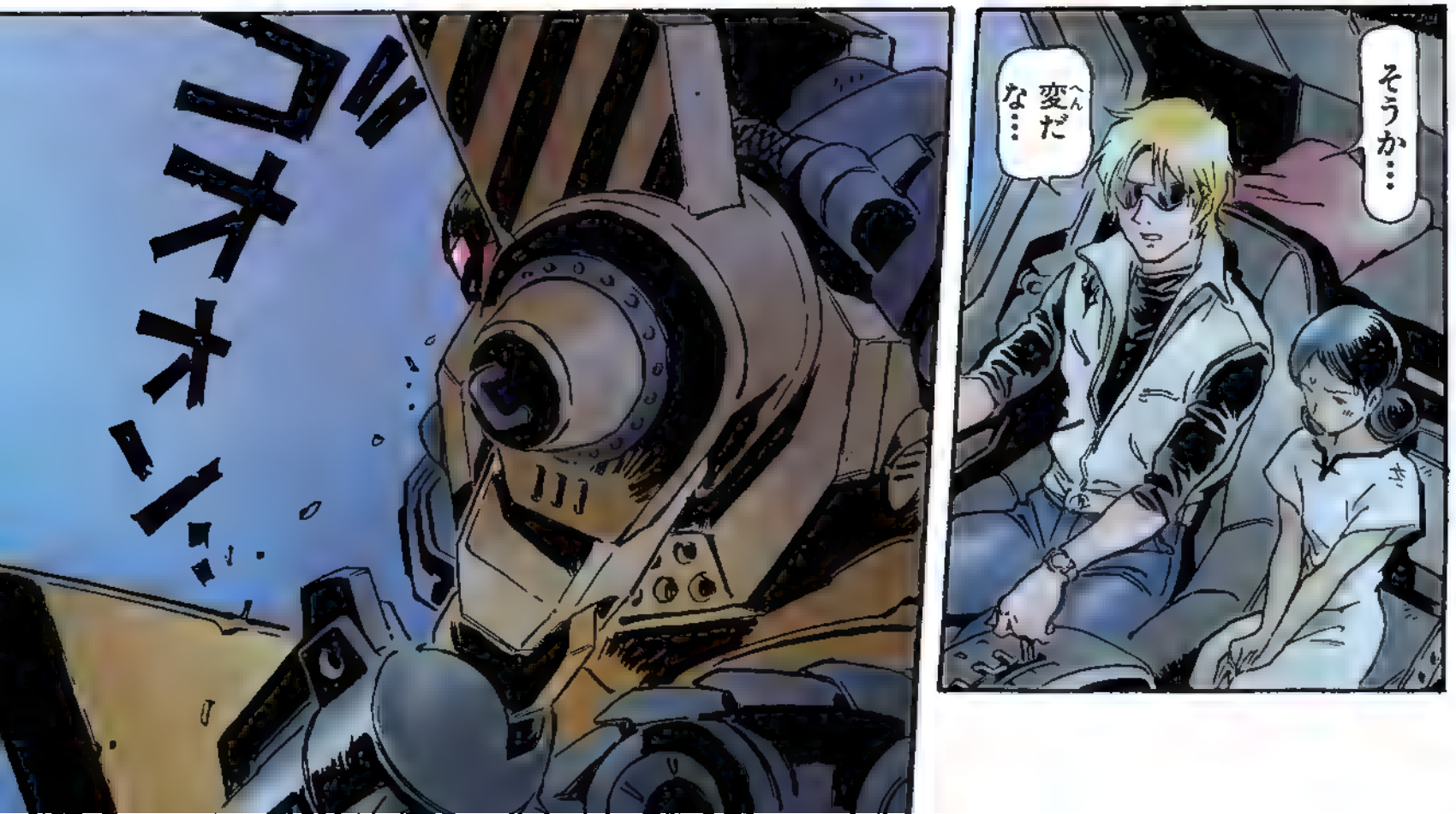
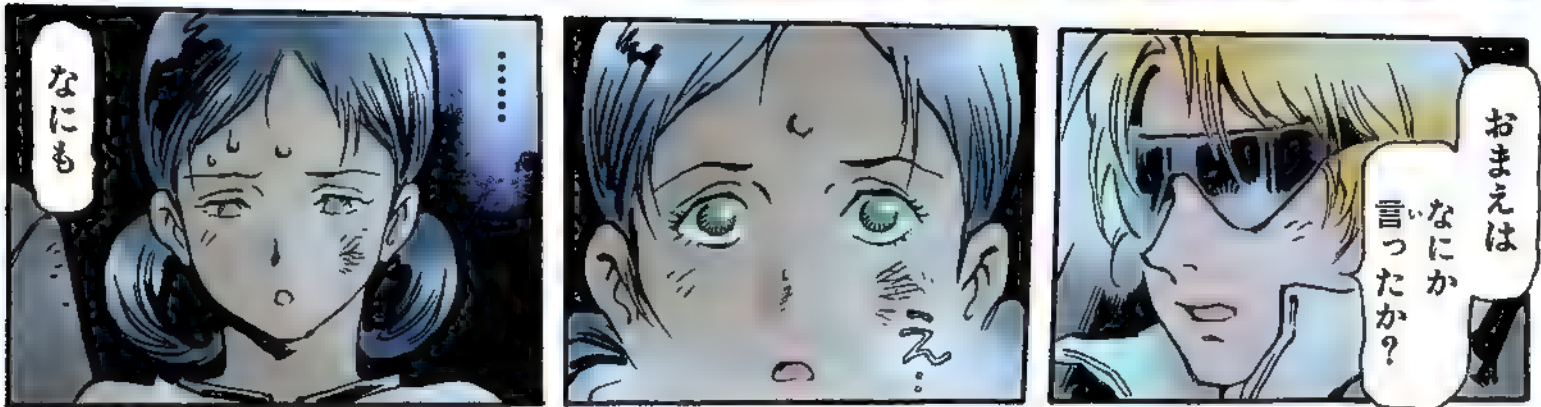
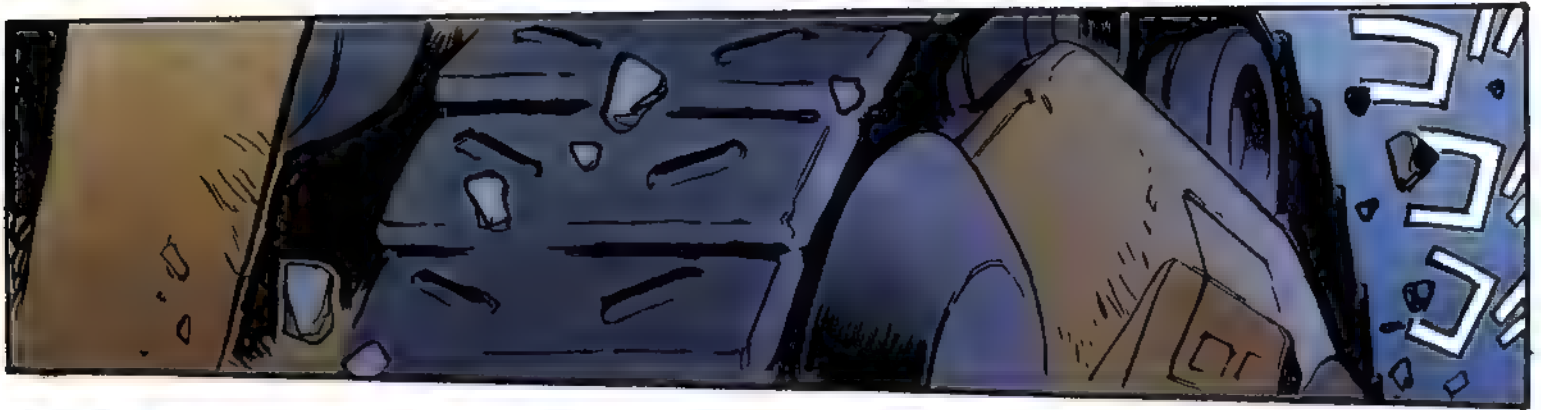
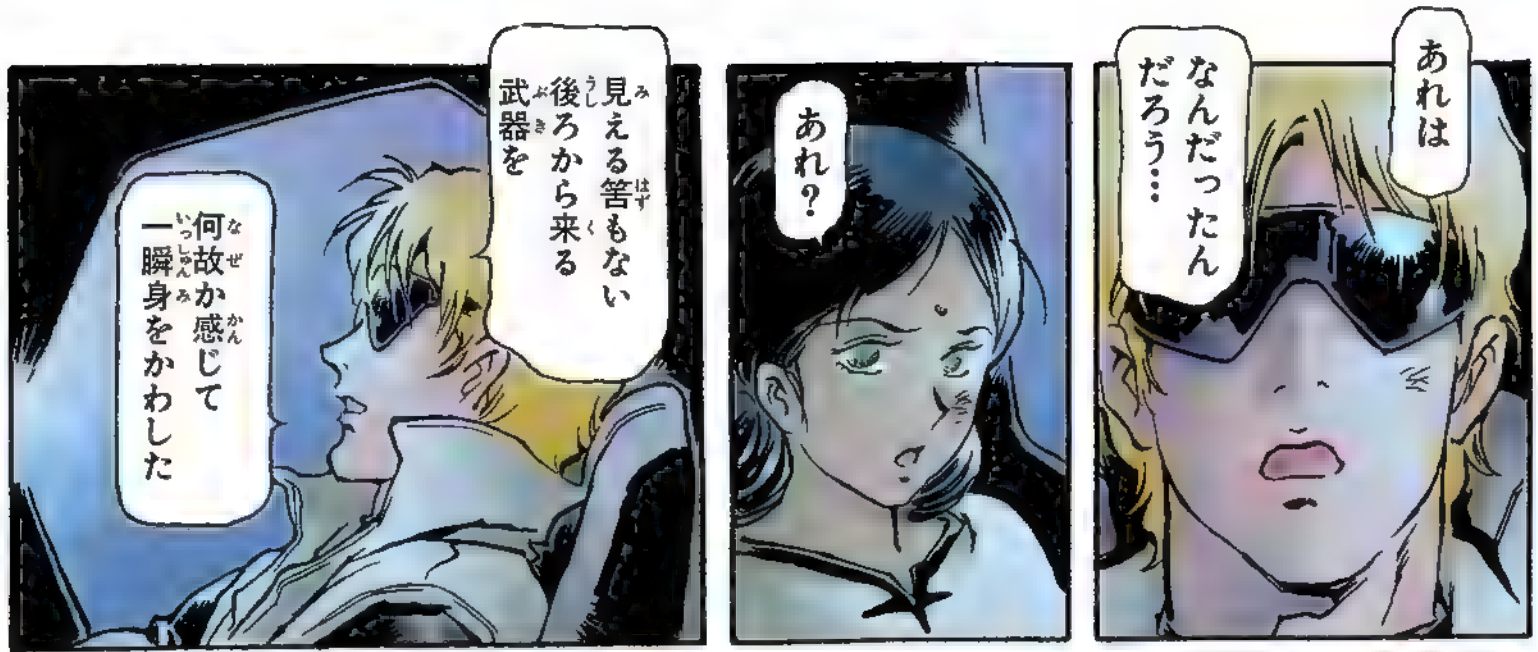
それも
とって喰う
とかいうんじゃ
ねえぞっ

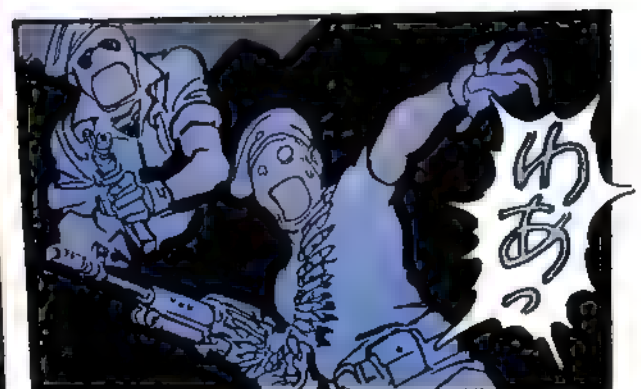
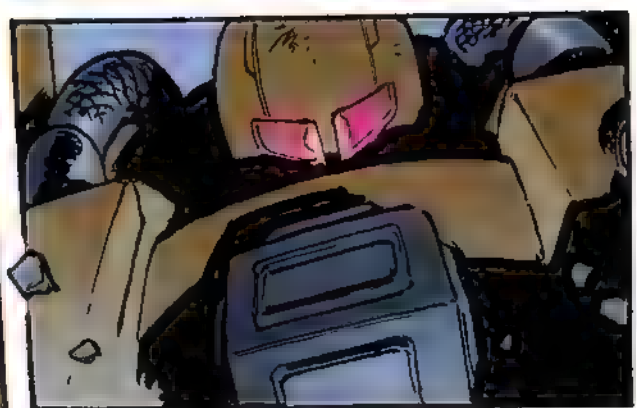
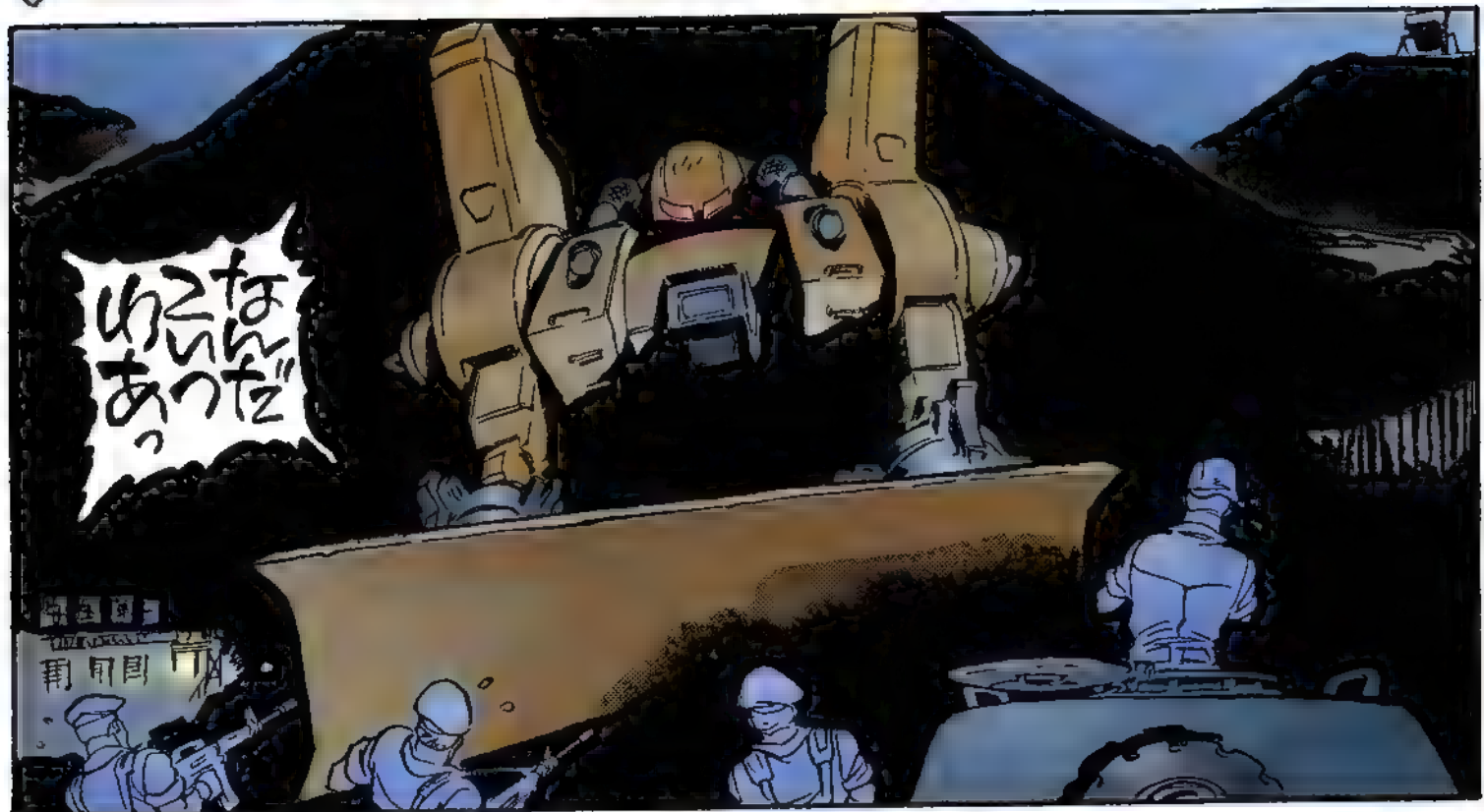
みせ
店でかわい
がってやろう
っというんだっ

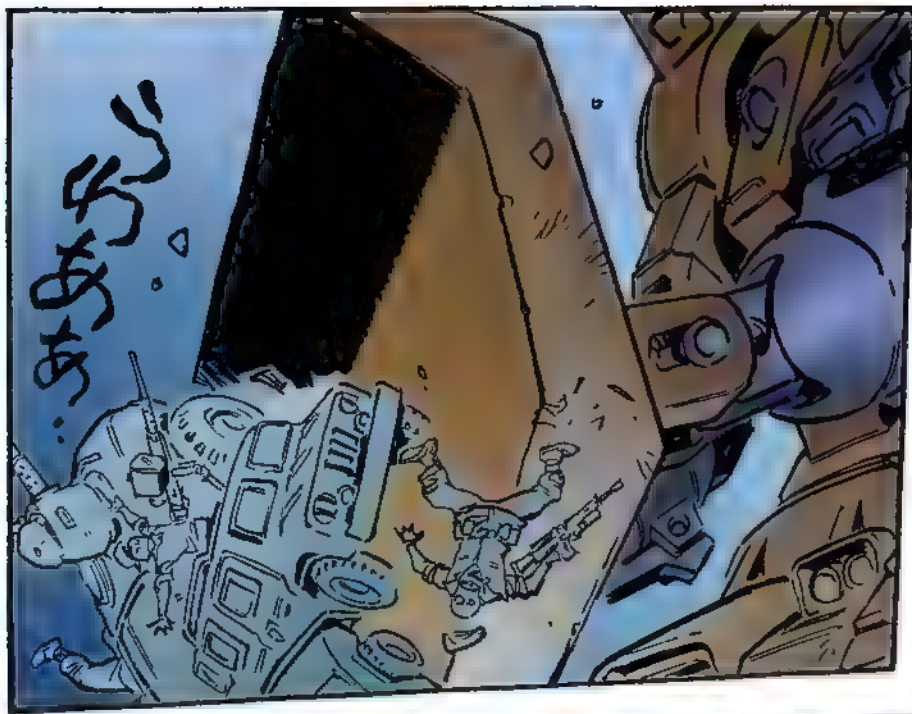








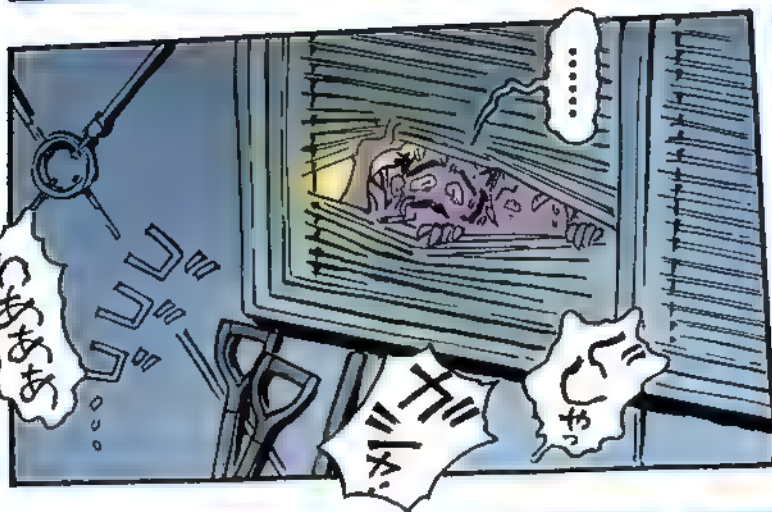




ほんとう
本当に

ララア

家には
帰りたく
ないなら...

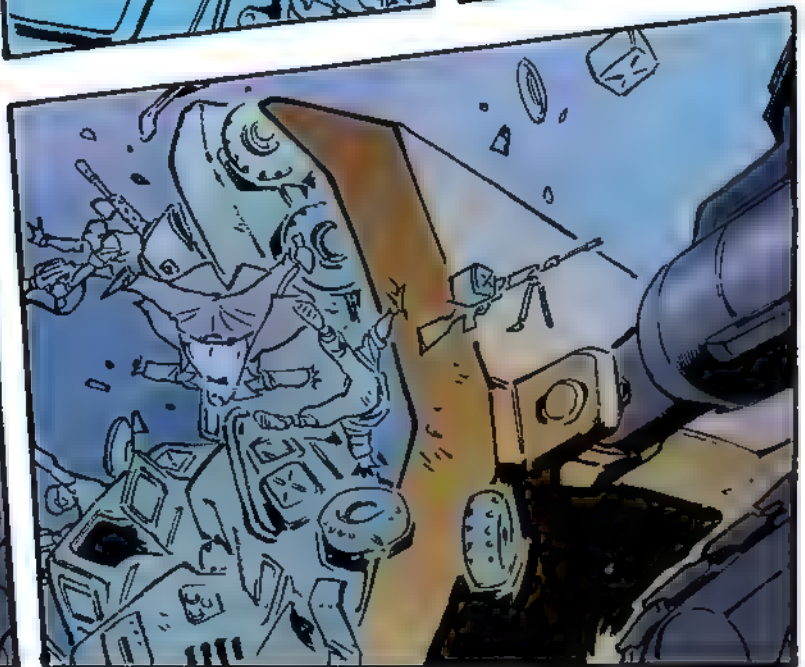
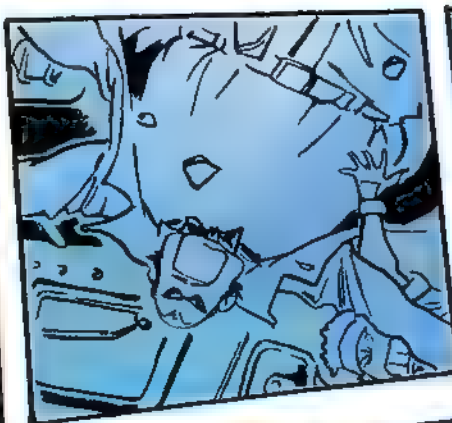


カントク
さんっ
すまない

リリース切
れ
までは
返すよ!



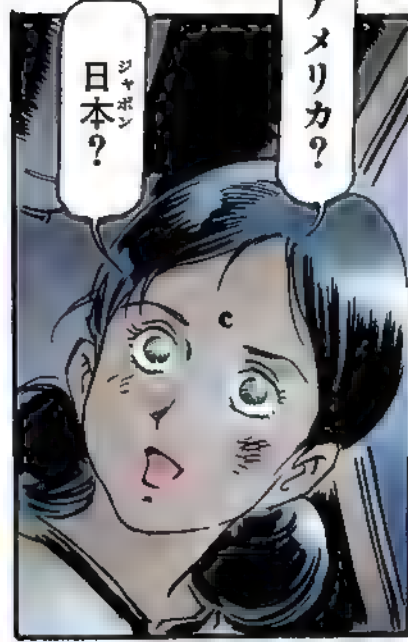
と
遠い所へ
い
行こうか





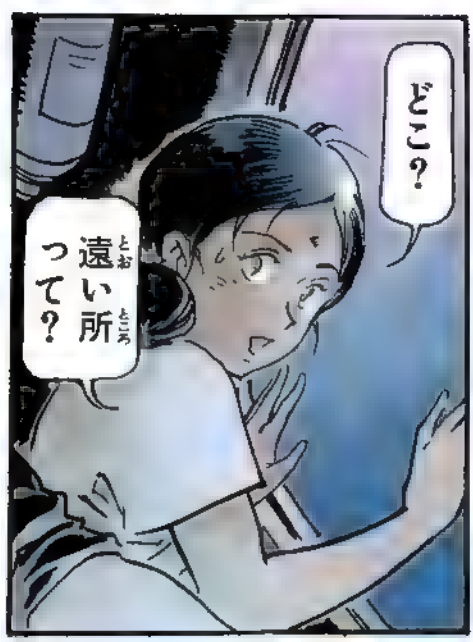
ちがう

もっと
遠い…



アメリカ？

ジャポン
日本？



どこ？

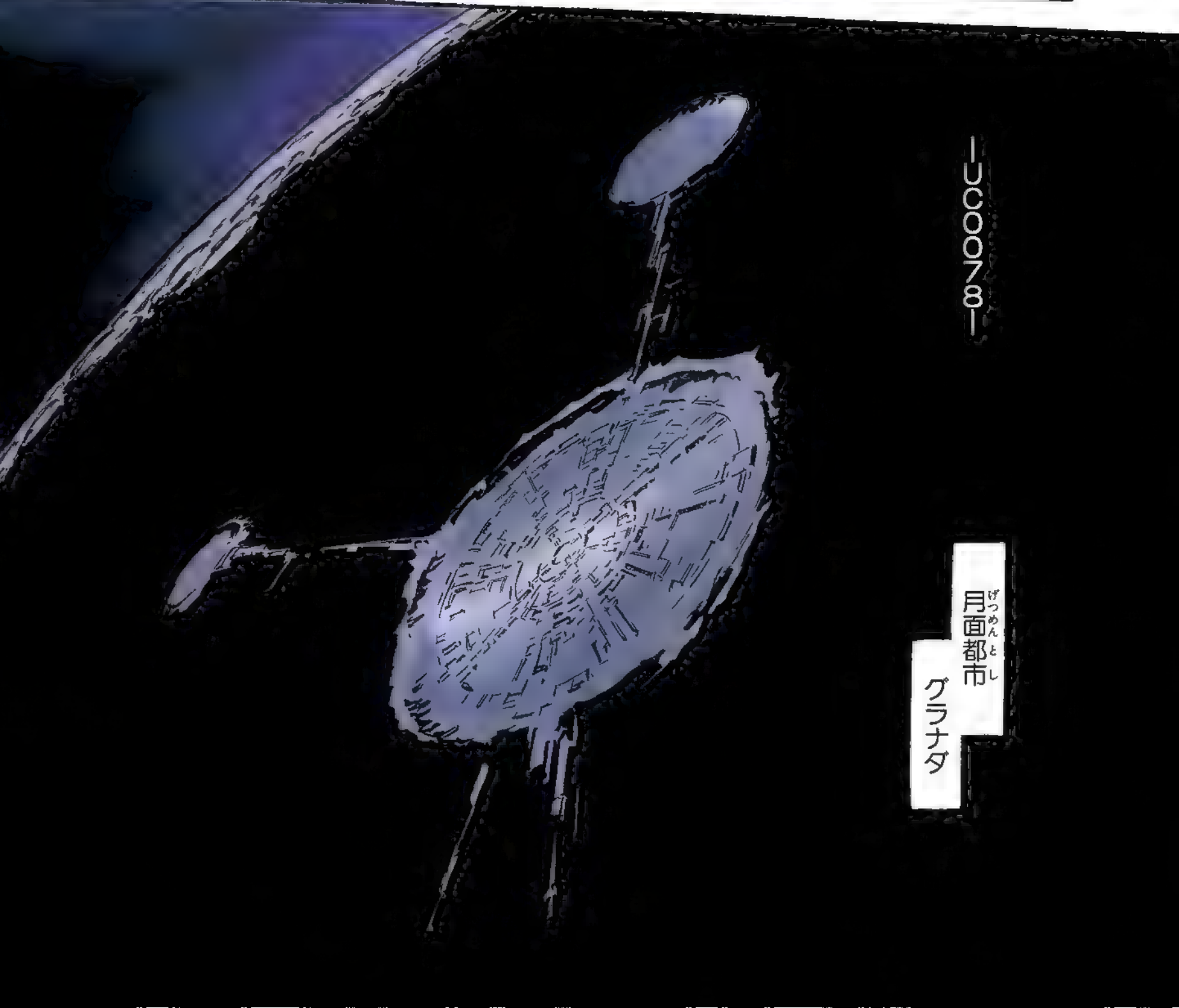
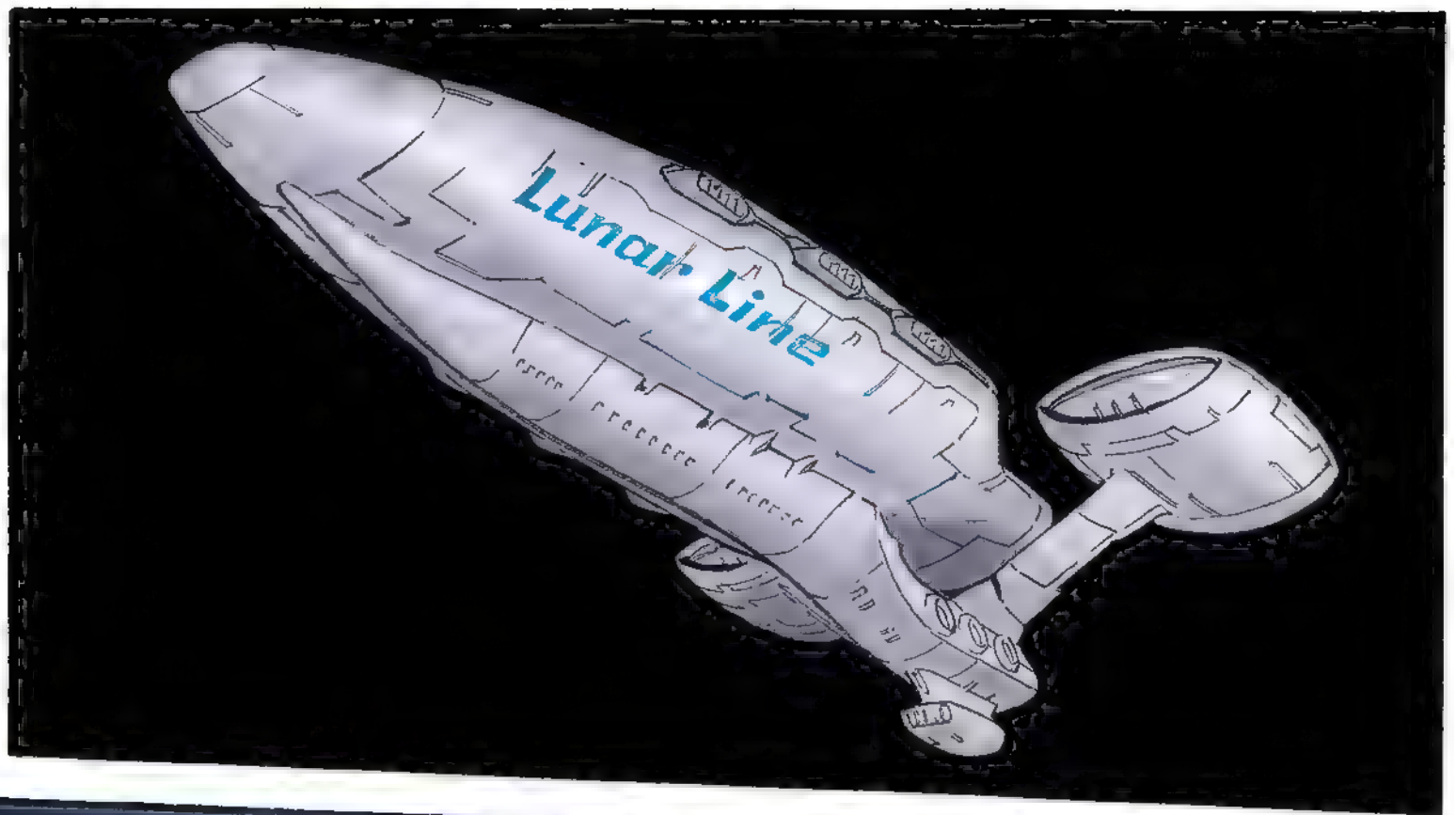
とお
遠い所
って？



ほし
星の
せかい
世界だ

—開戰編・後—

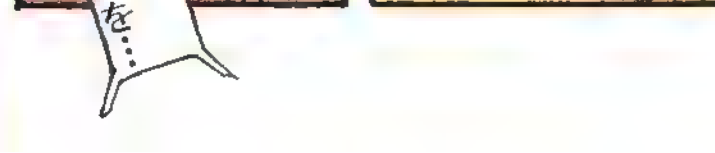
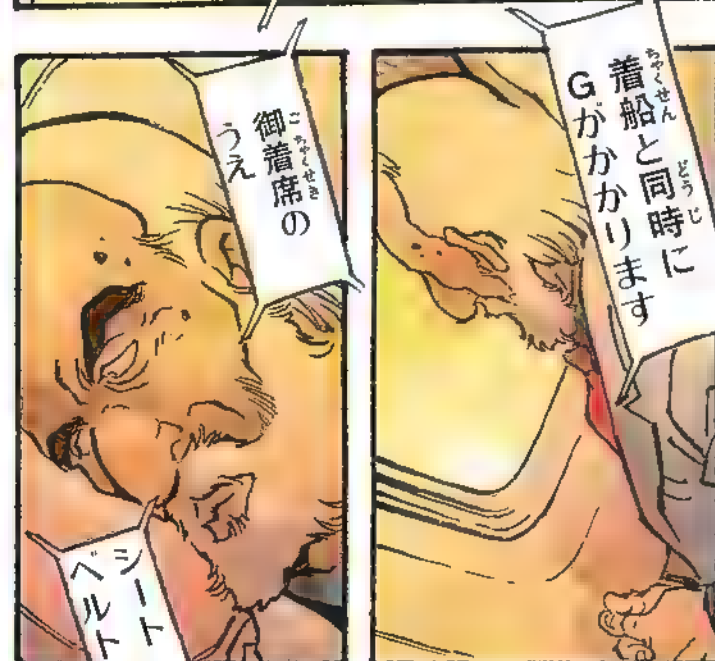
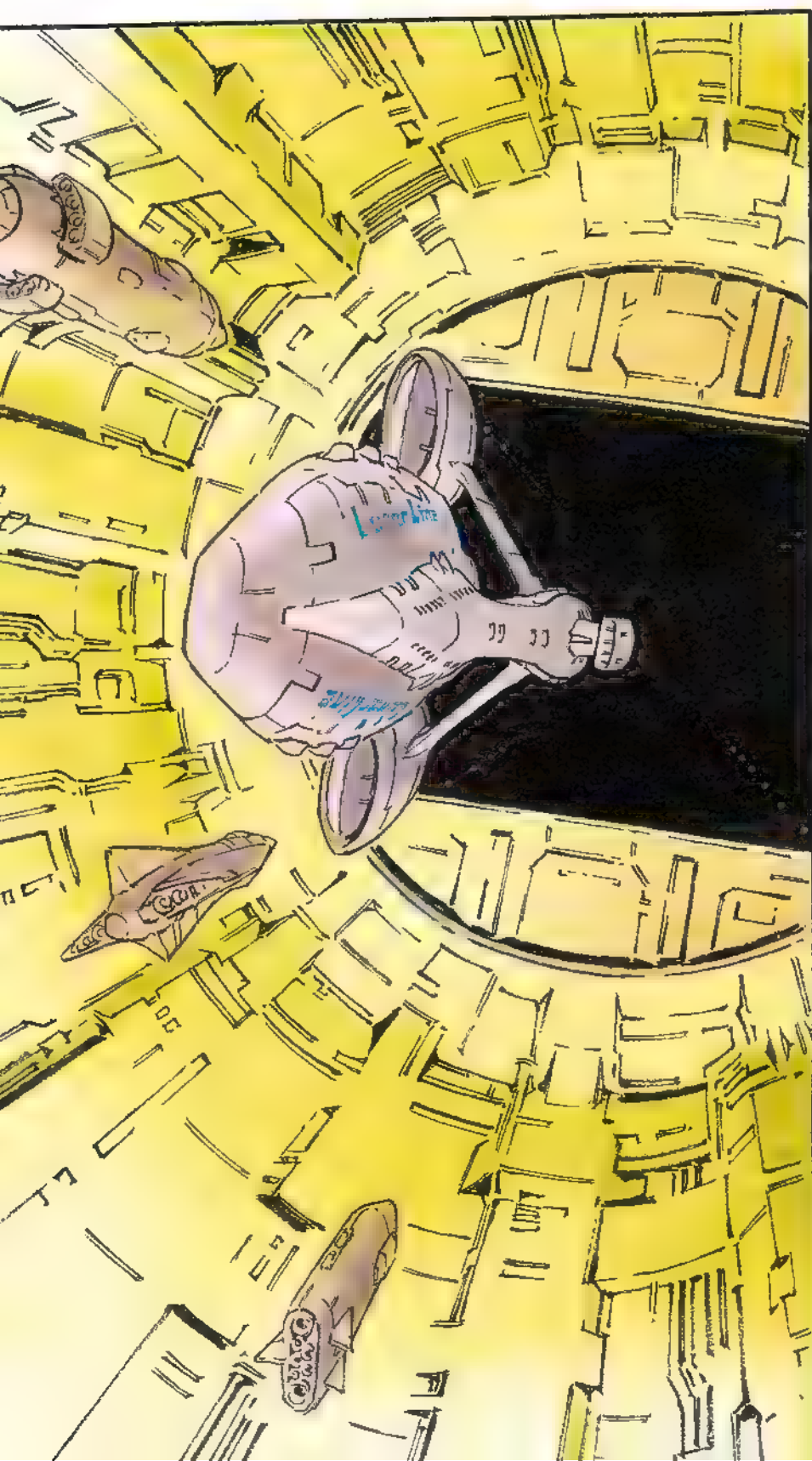
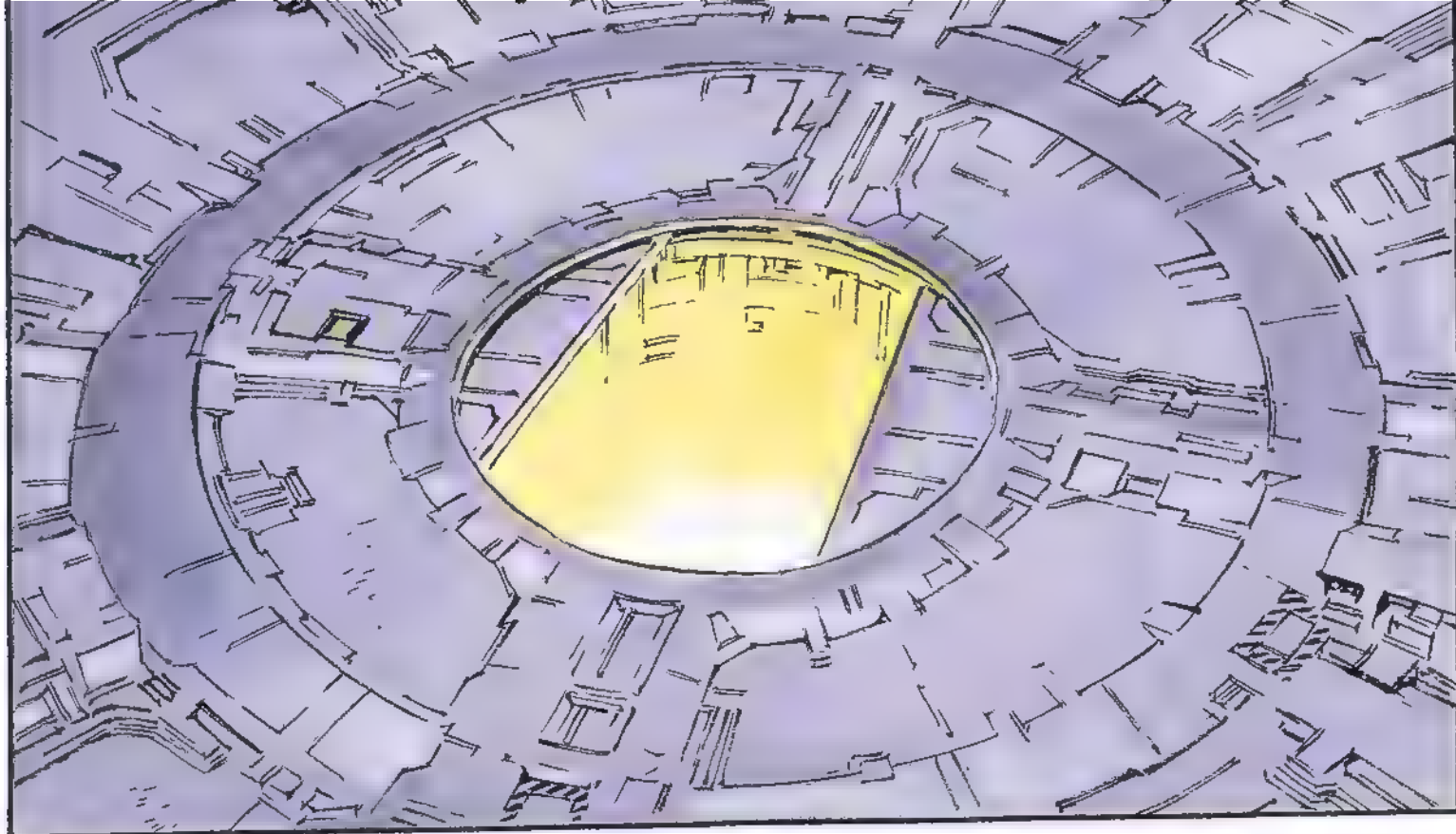


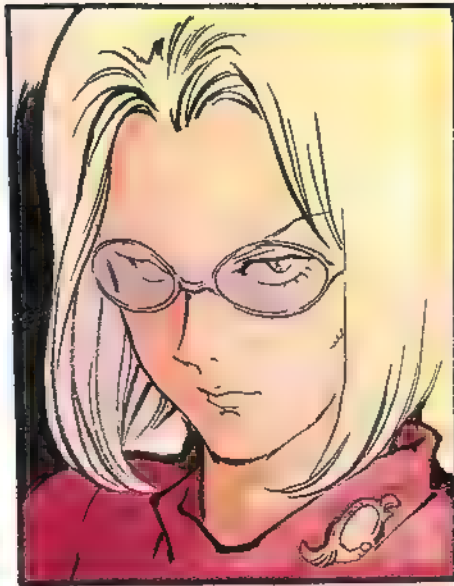
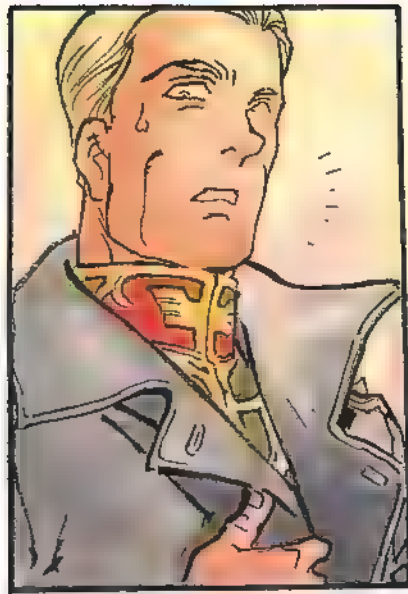


—UCC0078—

げつめんとし
月面都市

グラナタ

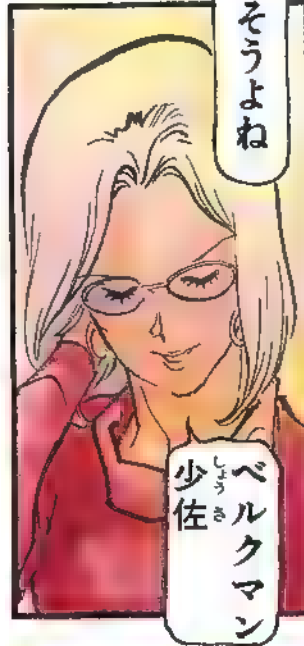




着きました
閣下



夢の
月旅行



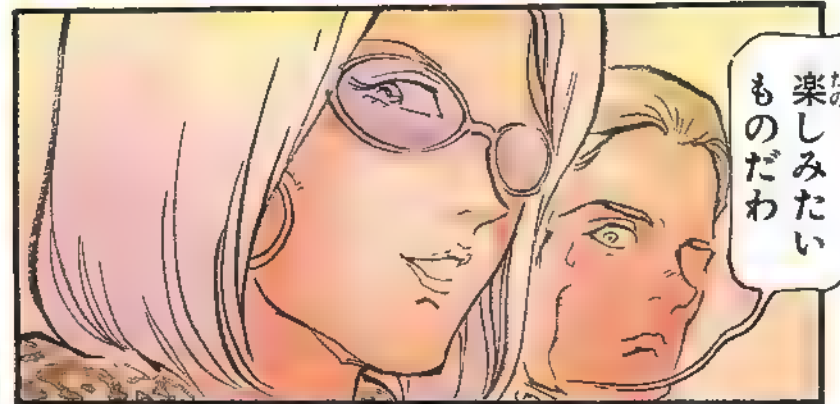
ベルクマン
少佐

そうよね



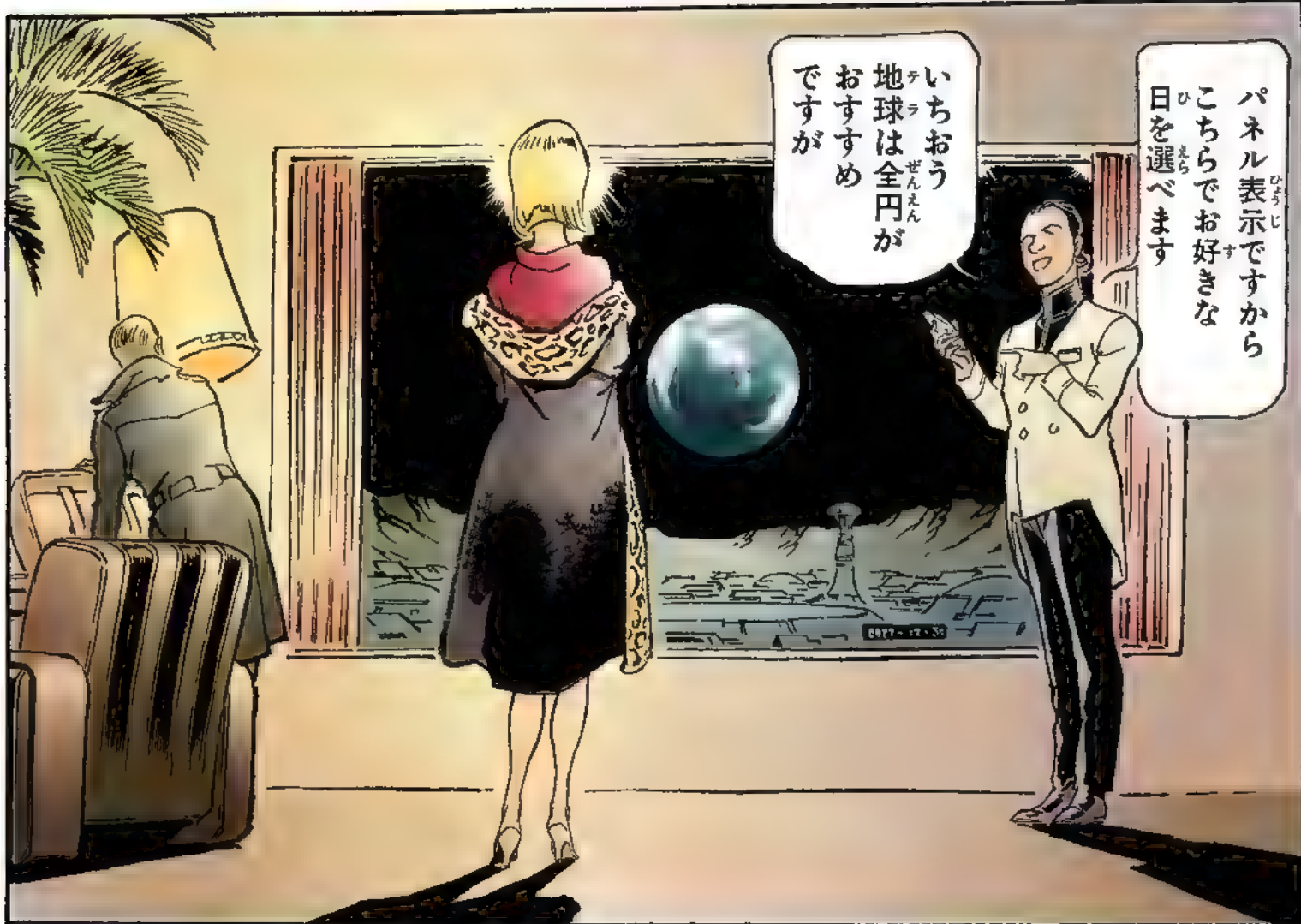
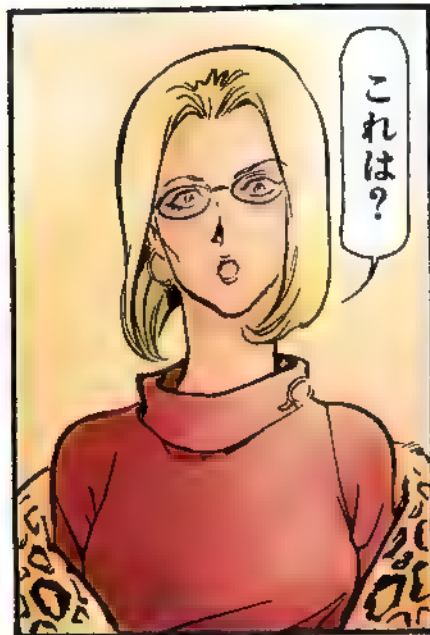
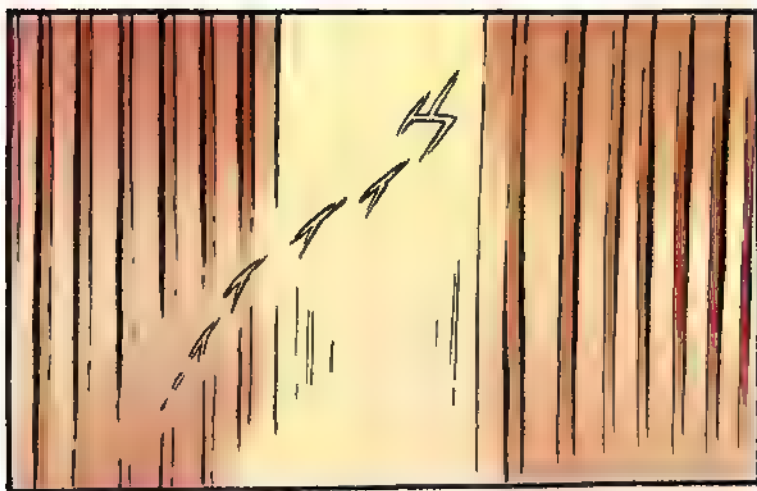
降りよう
キャサリン

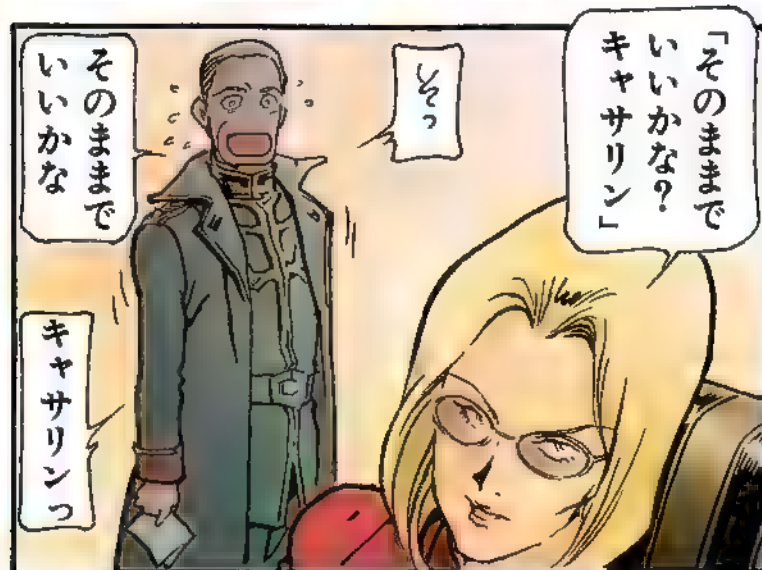
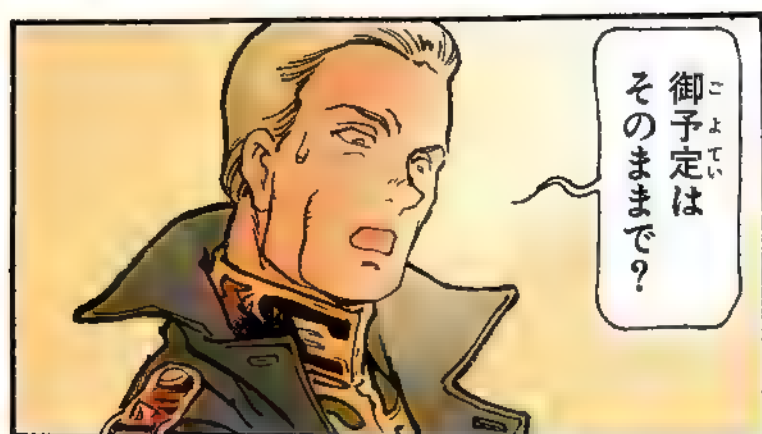
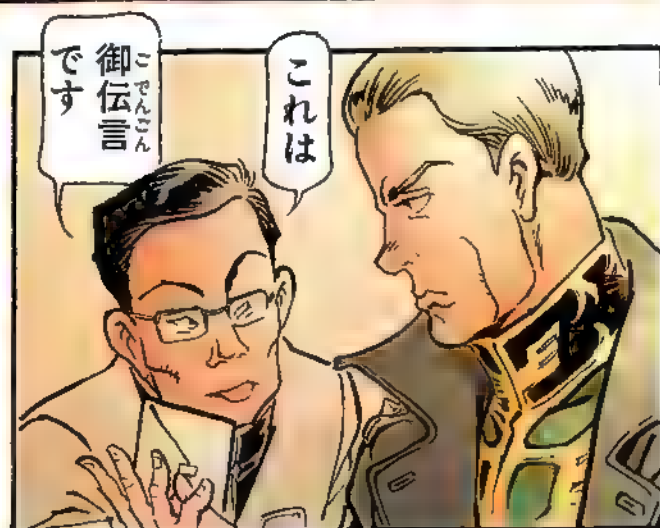
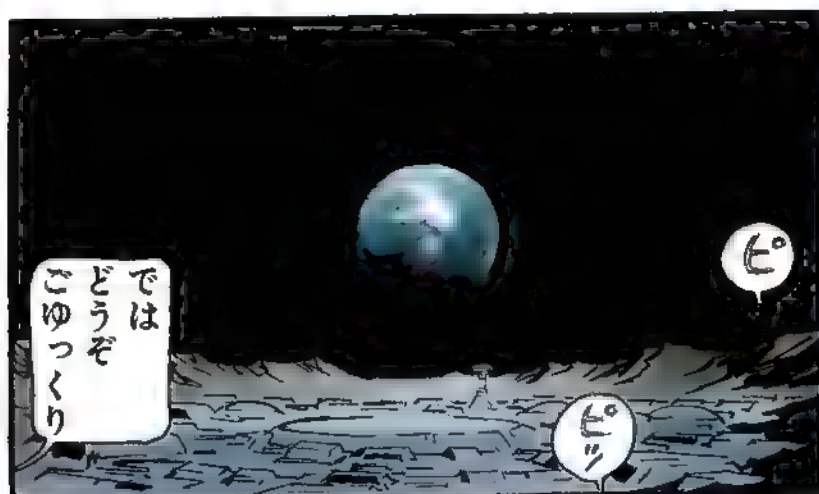
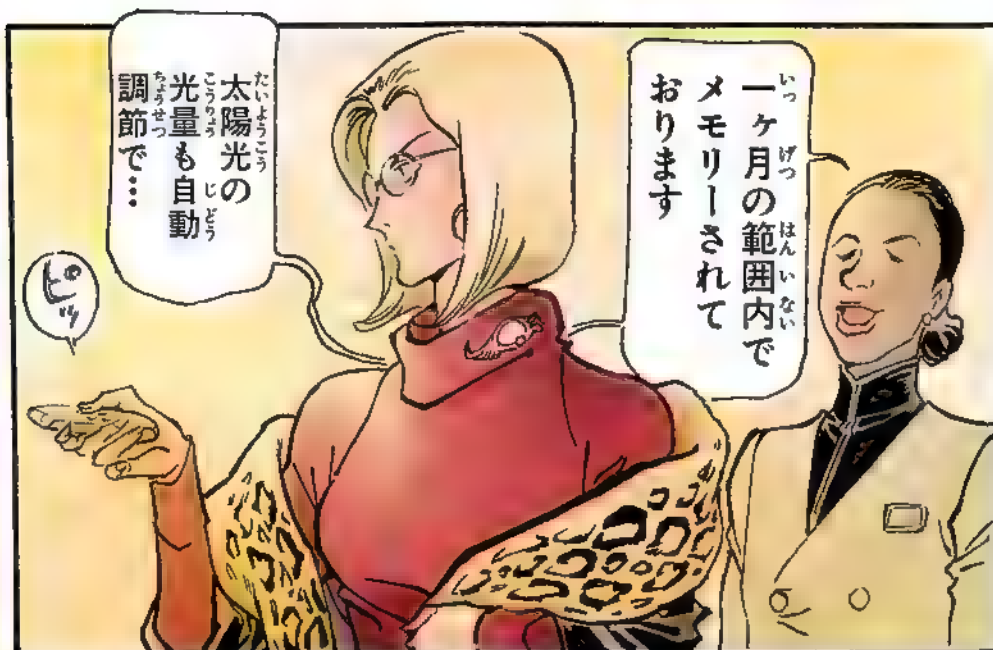
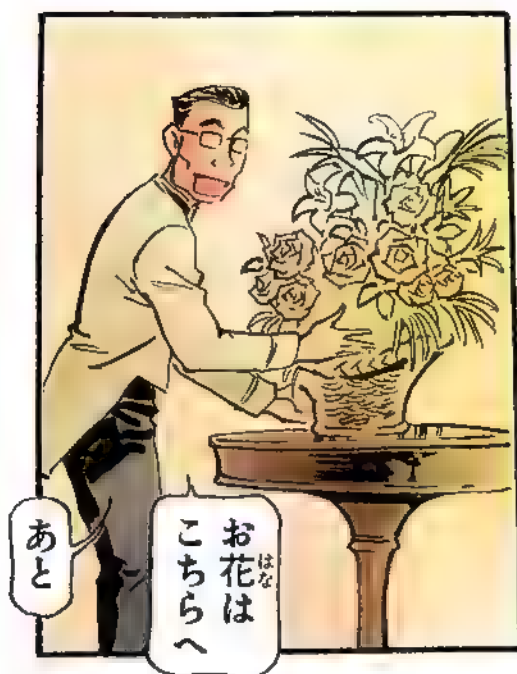
…では
なくて

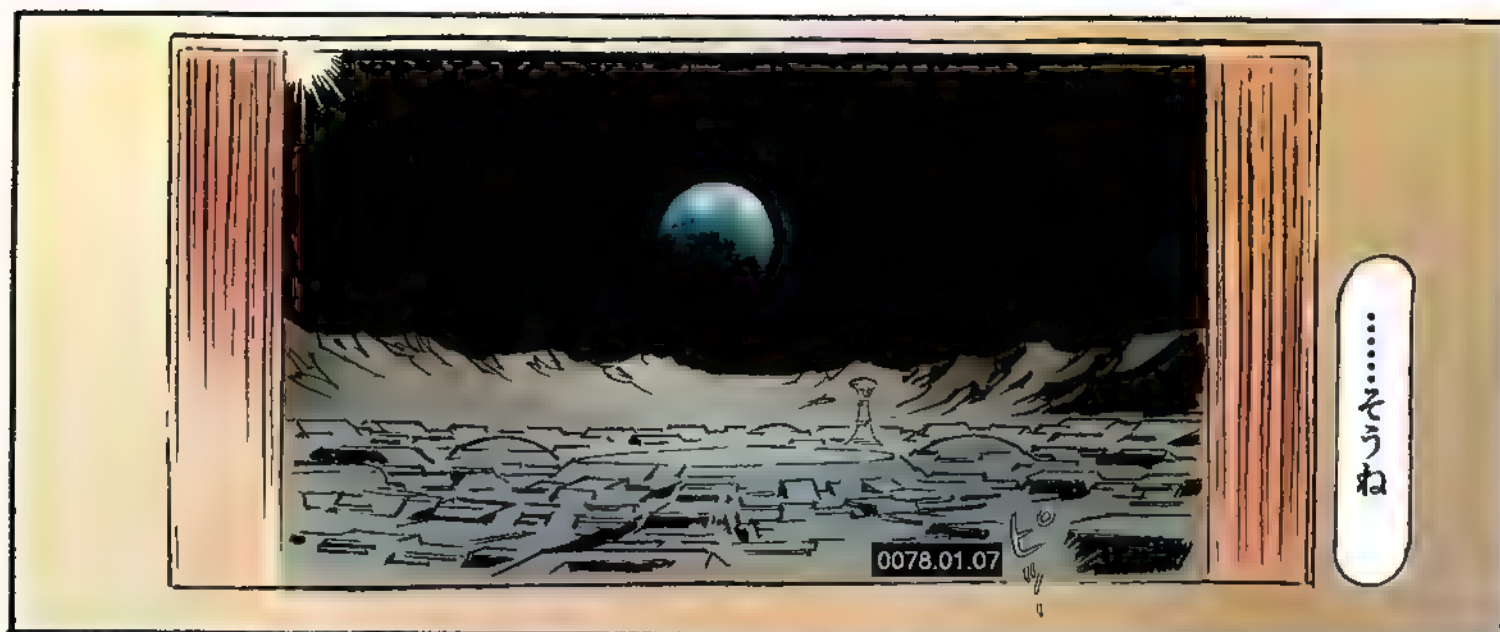


楽しみたい
ものだわ





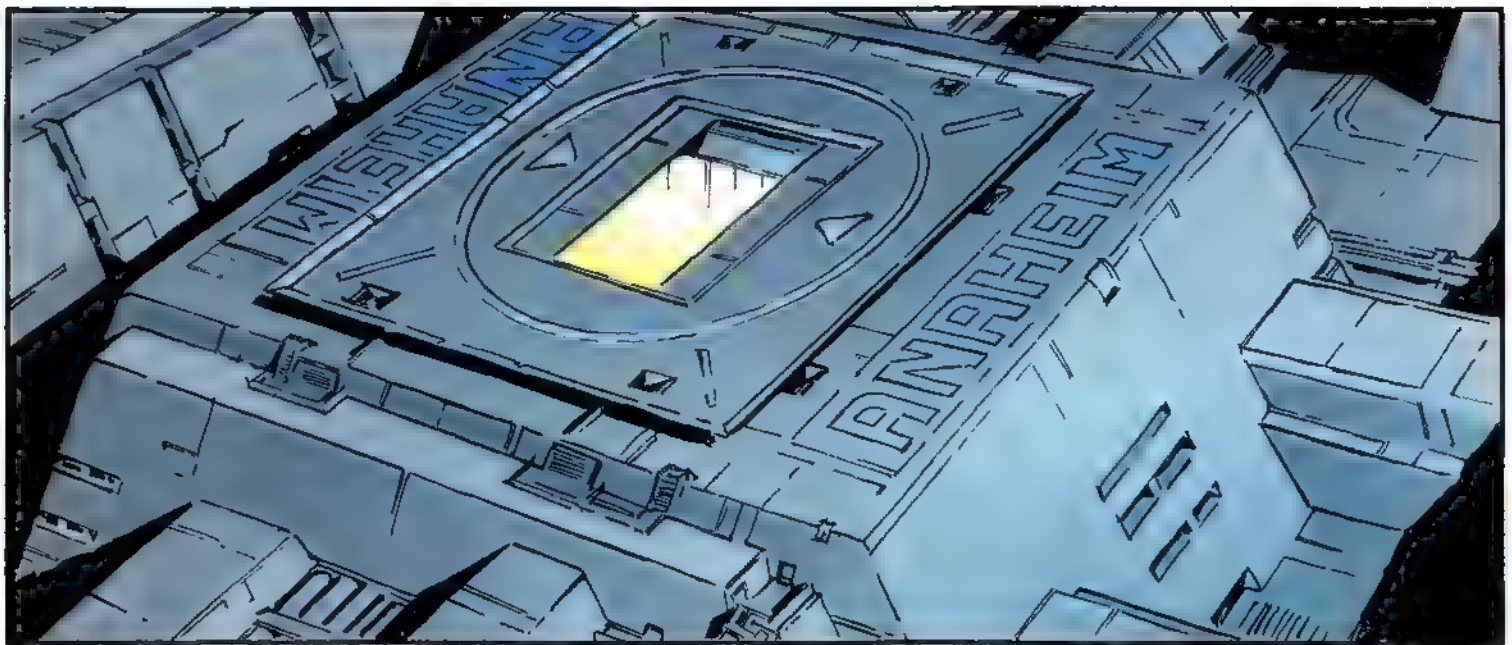




……そうね



フォン・ブラウン



信じられませんか



なぜ連邦政府は
黙認するんですか!?



我が社
との
契約は
どうなる



問題外
ですよ

ダメッ!



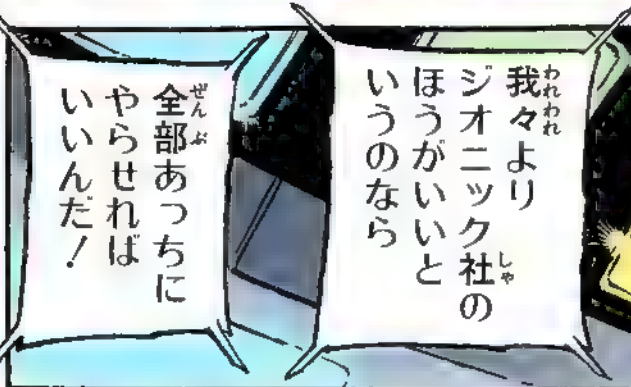
背信行為
以外のなもの
でもないっ!

侮辱
ですよ!



我々より
ジオニック社の
ほうが良いと
いうのなら

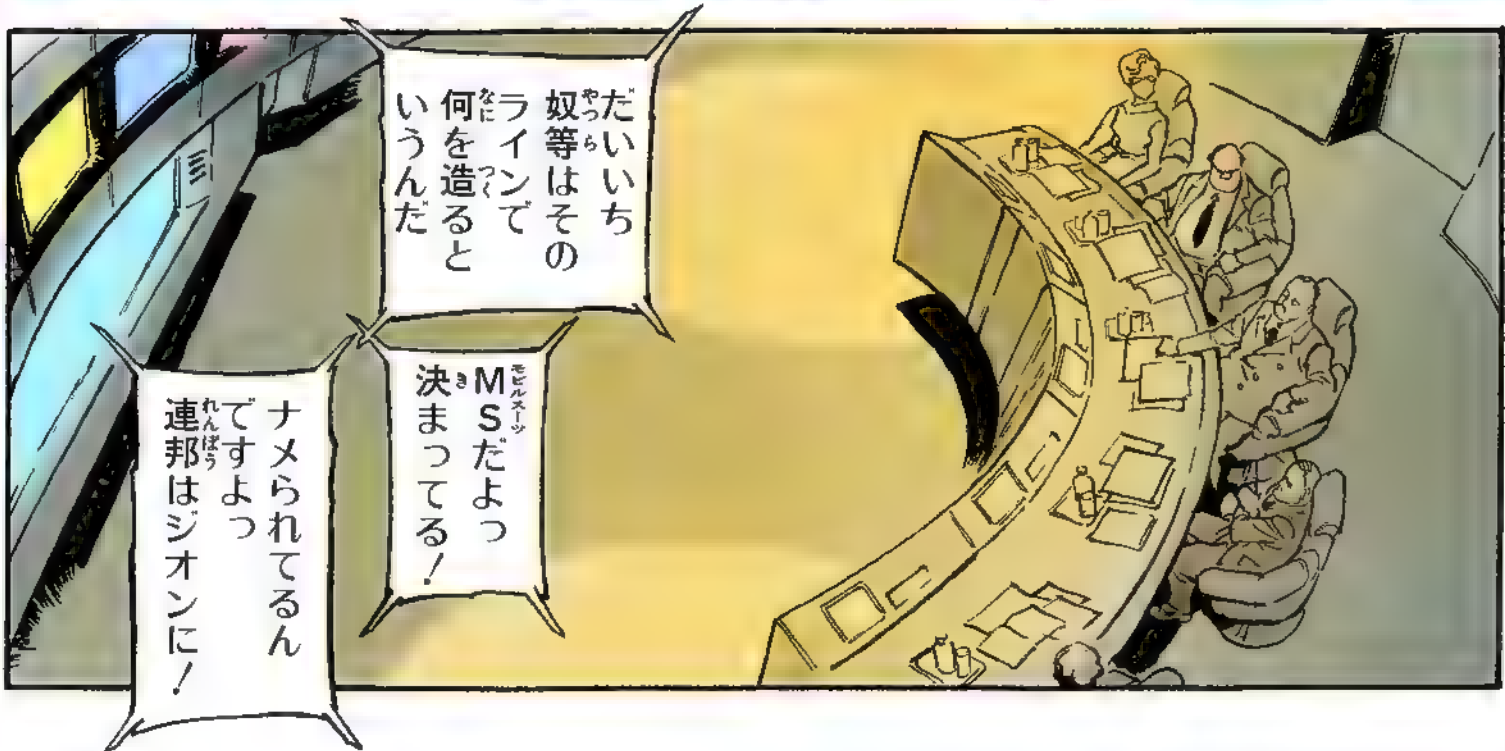
全部あつちに
やらせれば
いいんだ!

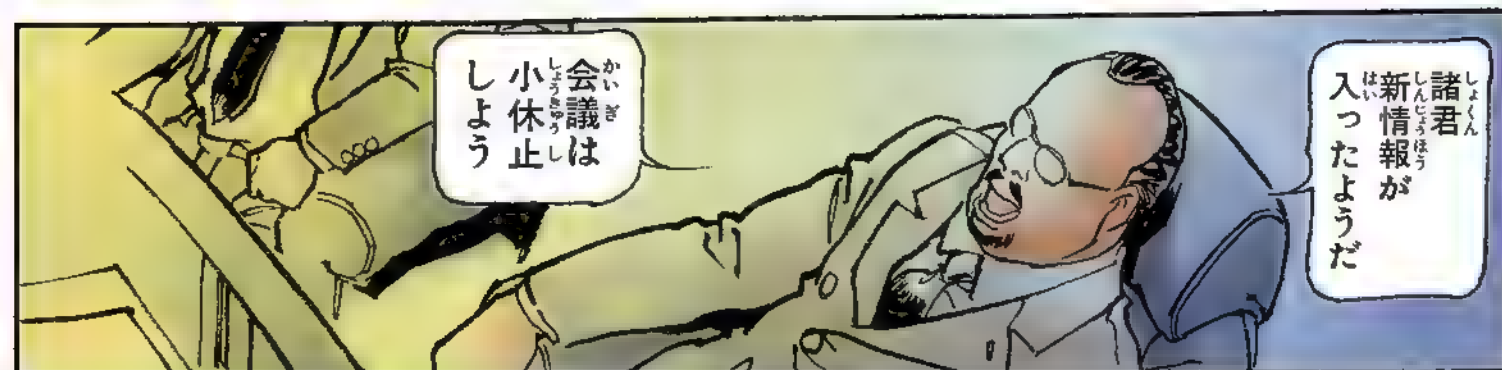
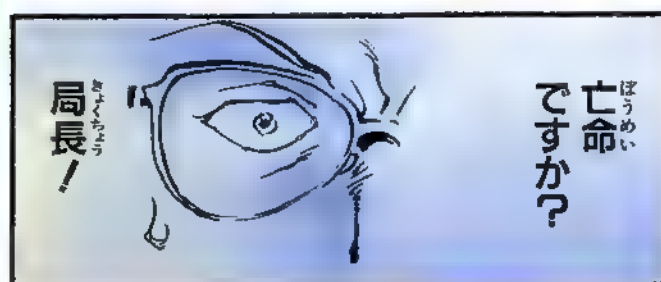
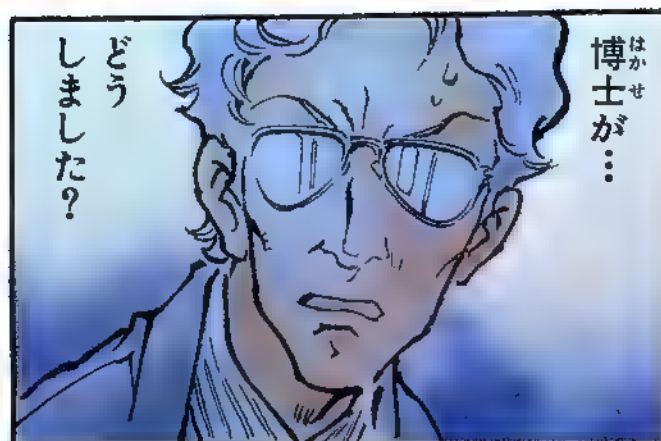
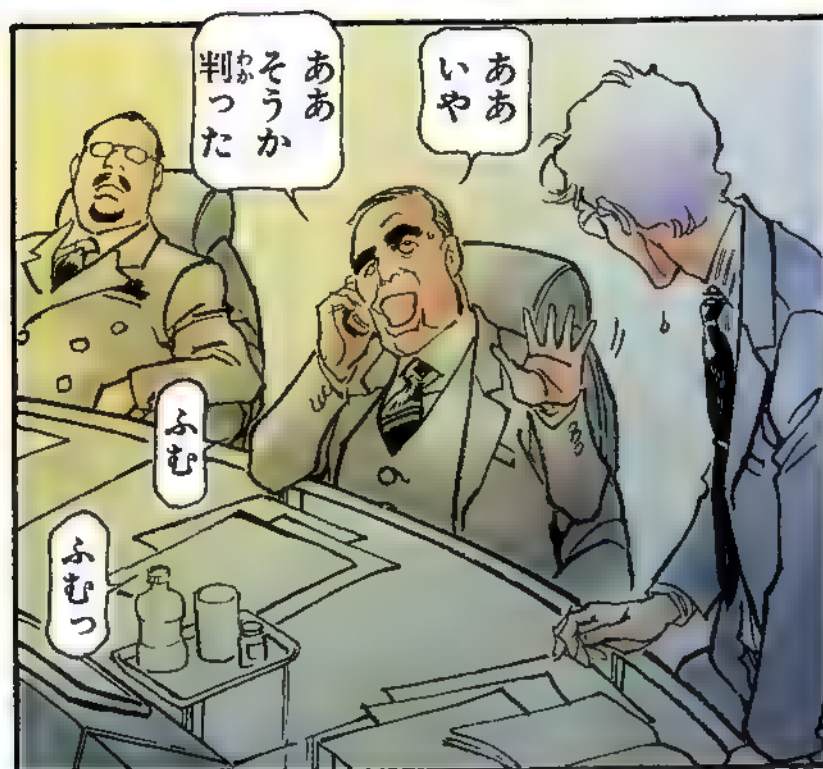
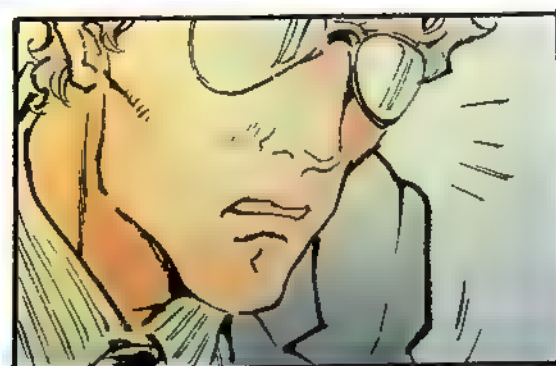


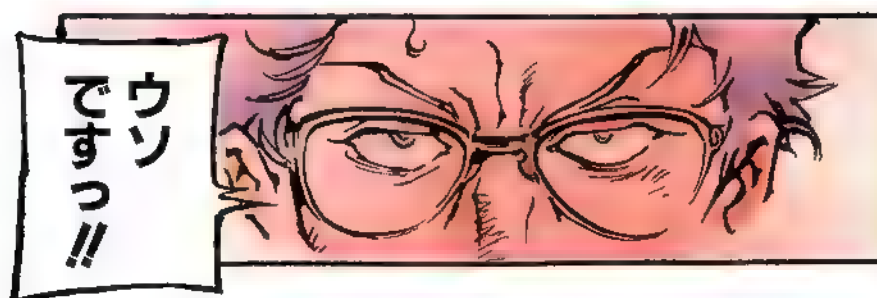
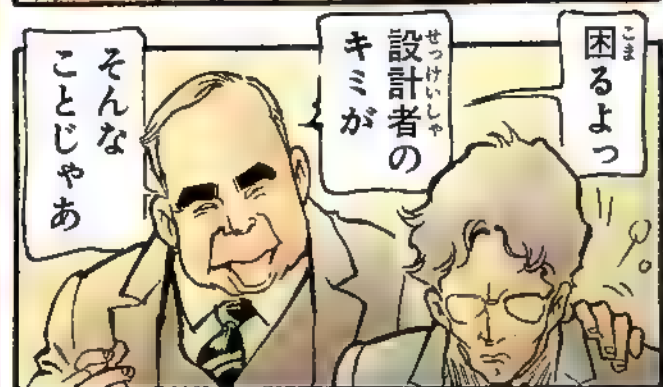
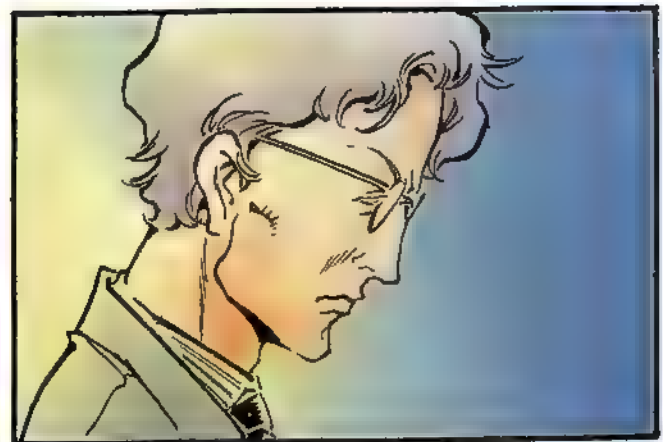
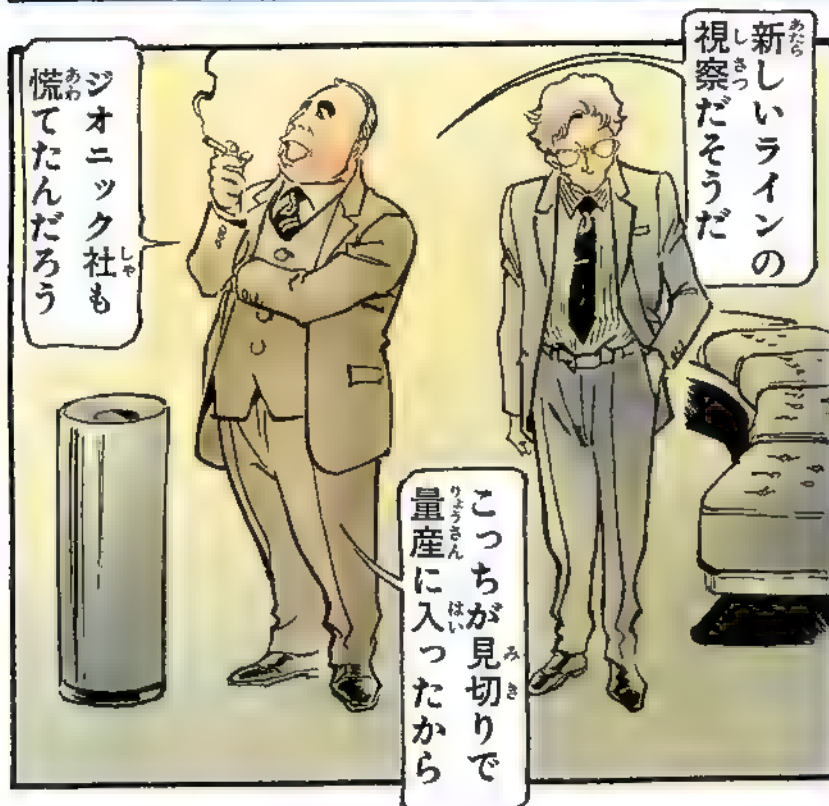
奴等はその
ラインで
何を造ると
いうんだ

MSだよ
決まってる!

ナメられてるん
ですよ
連邦はジオンに!









博士は
亡命する
つもりです

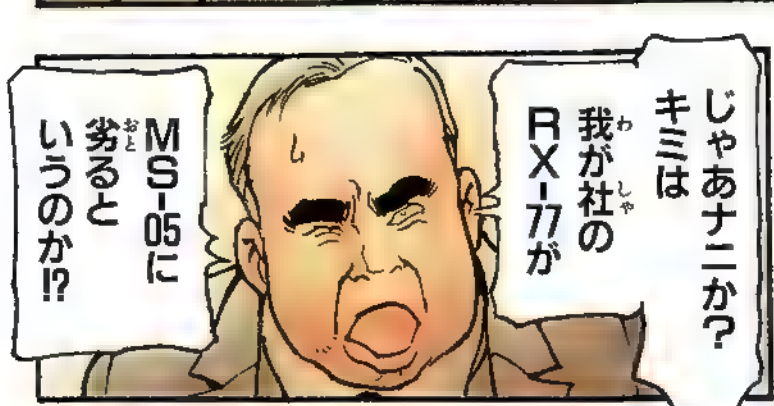


博士は工場になんか
関心がないっ!

ミノフスキー博士
ほどの人が
その程度の用事で

グラナダへ
やって来たりは
しません!

その博士が
来る以上...



じゃあナニか?
キミは

我が社の
RX-17が

MS-05に
劣ると
いうのか!?



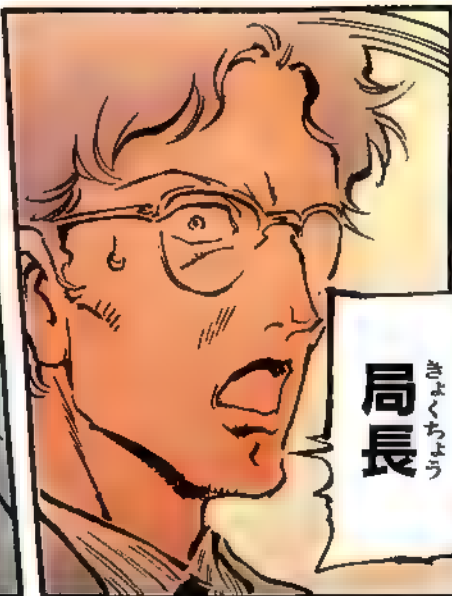
重大な意味が
あるはずだ

例えば...

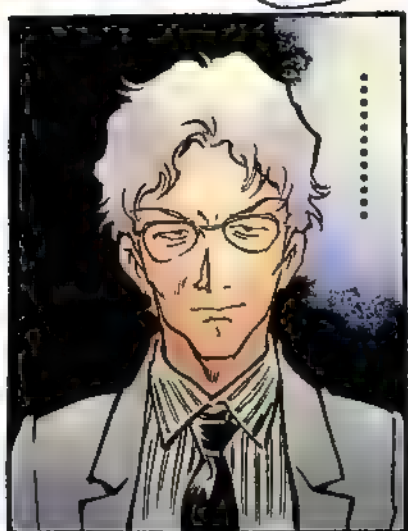
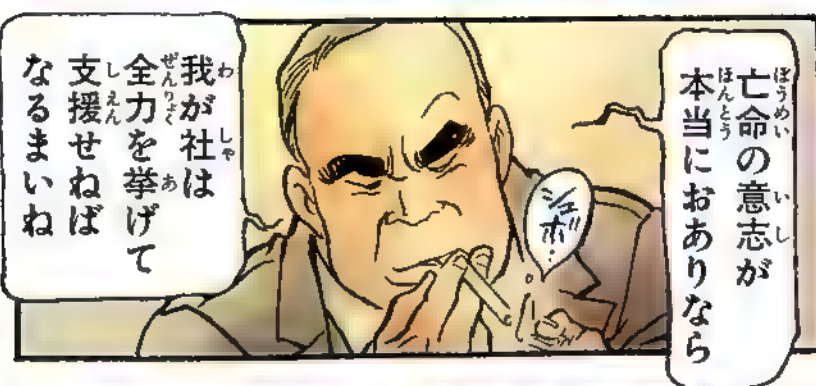
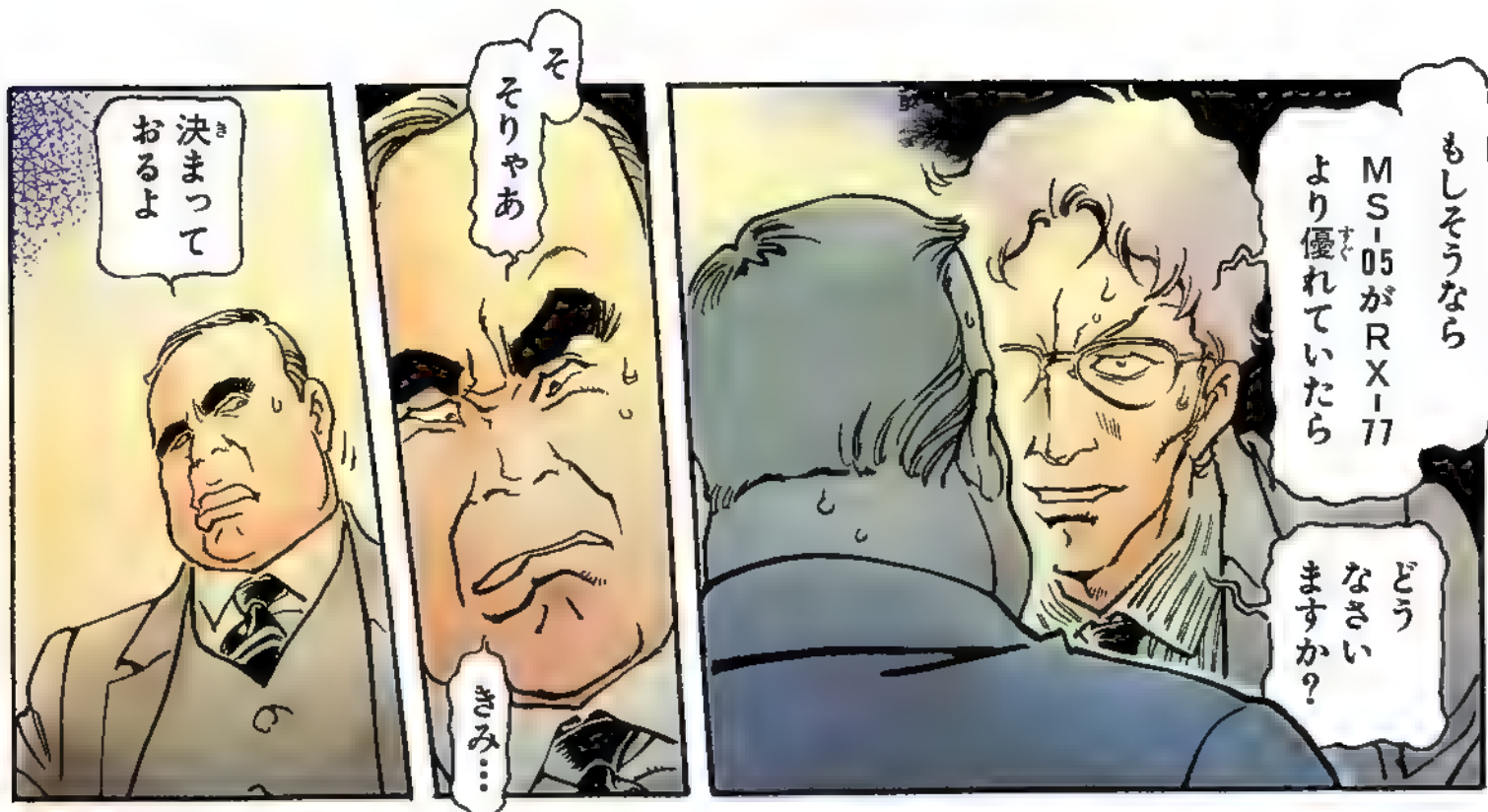
MS計画は
完璧に軌道に
乗った
...もはや

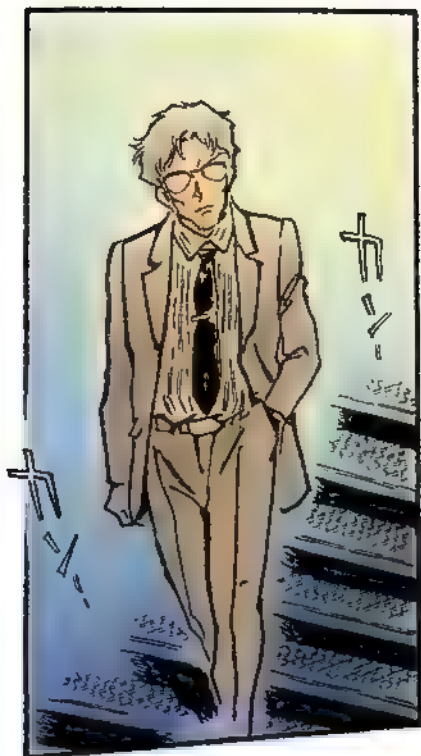
博士を必要と
しない所まで来た
だから...

レイ君!



局長



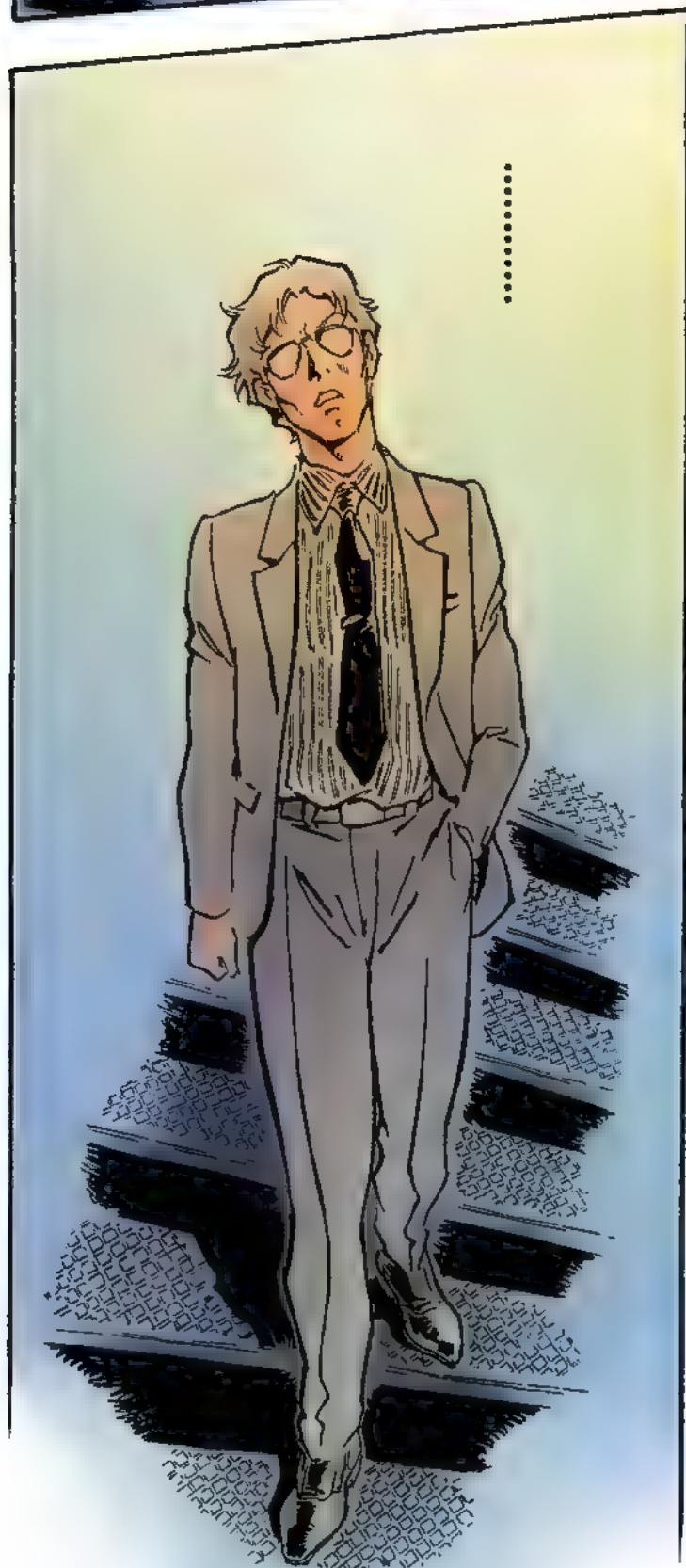


ジオニック社に
勝つために
それが
必要なら



私も同感です

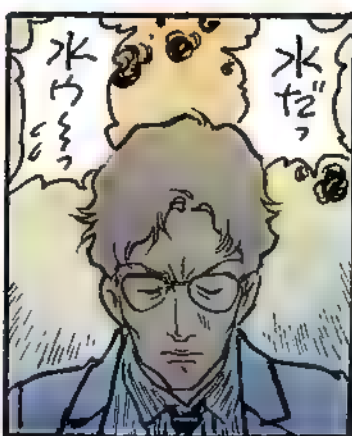
ミノフスキー博士を
お迎えすべきです！



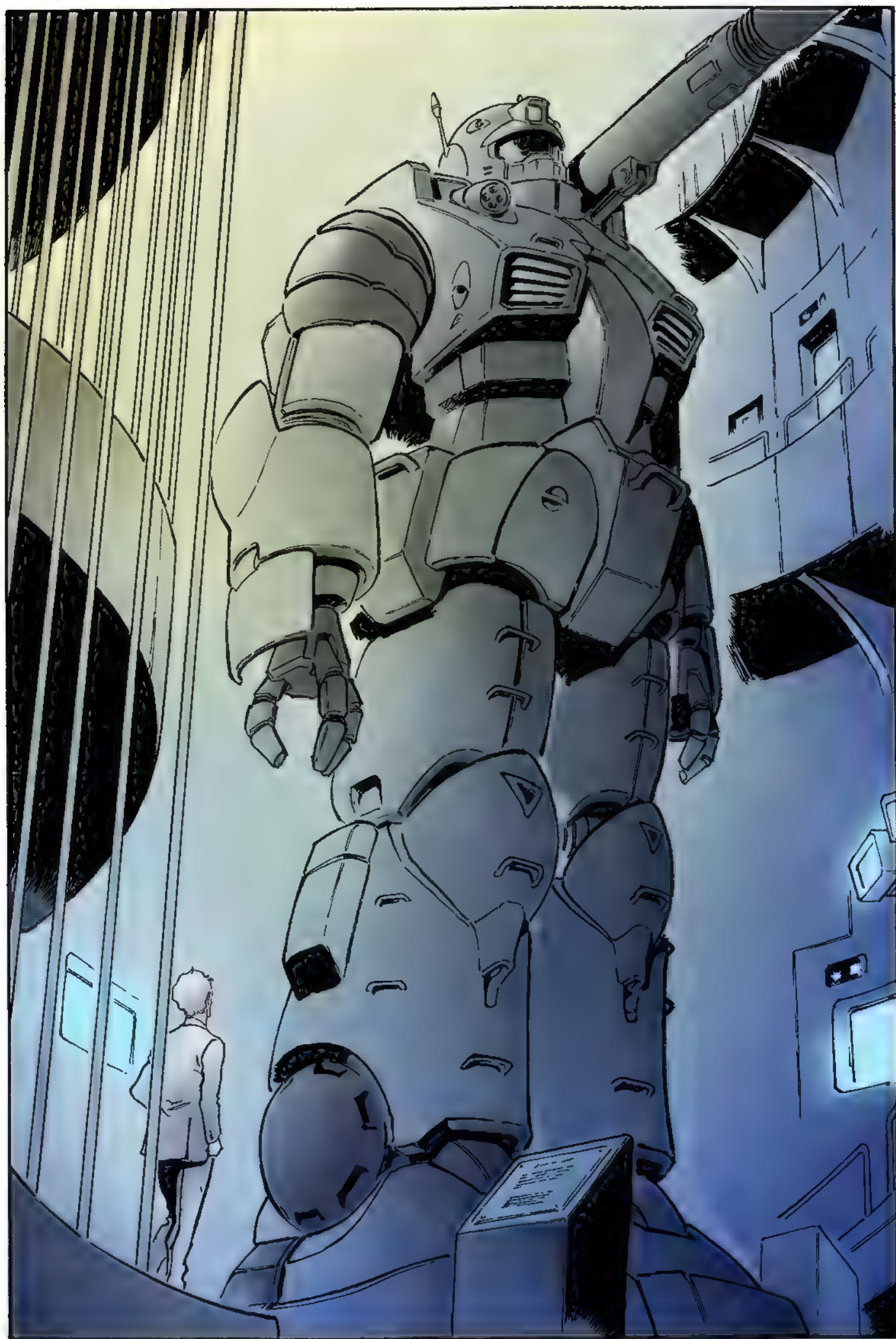
きみイ



まだ
会議が

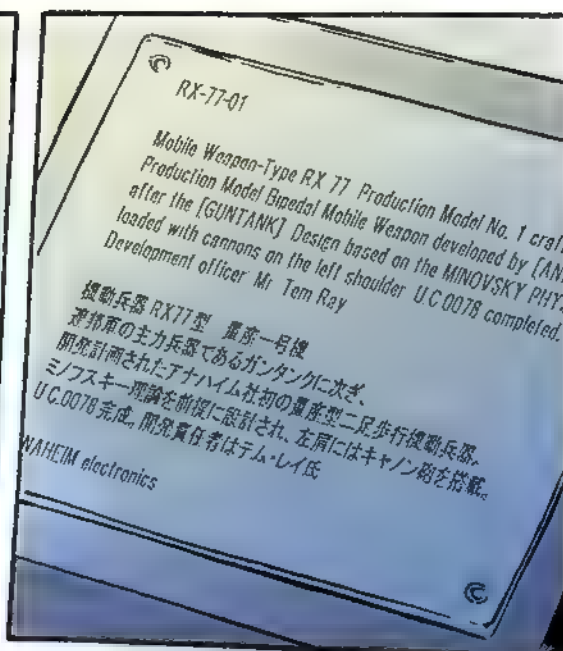
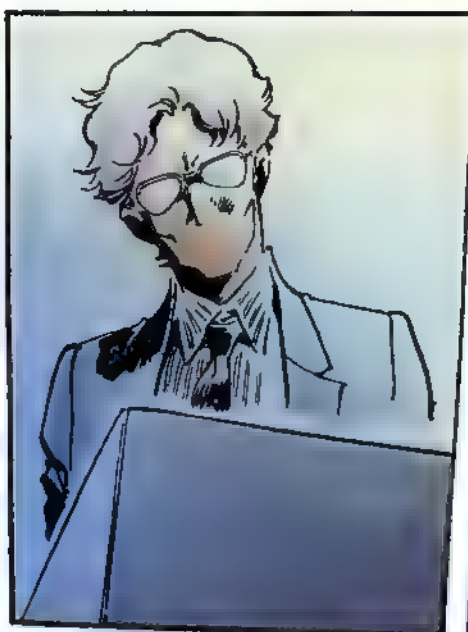


水だ
水だ



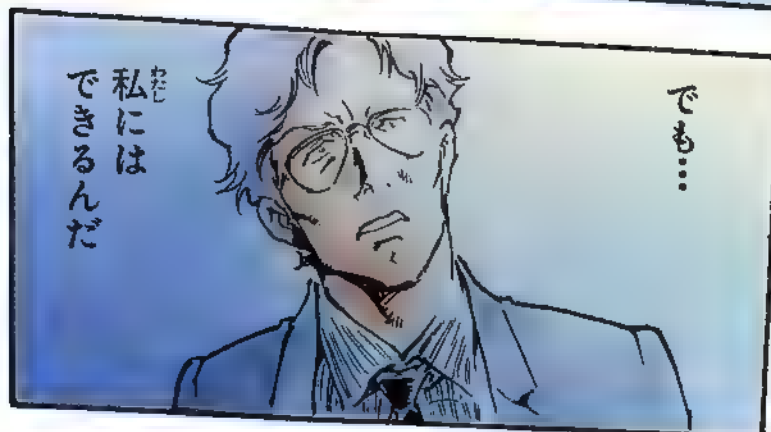


ちがう



これではない

ミノフスキー博士が
モビルスーツと名付けたのは



私には
できるんだ

でも...



サイド7の施設が
使えるようになれば

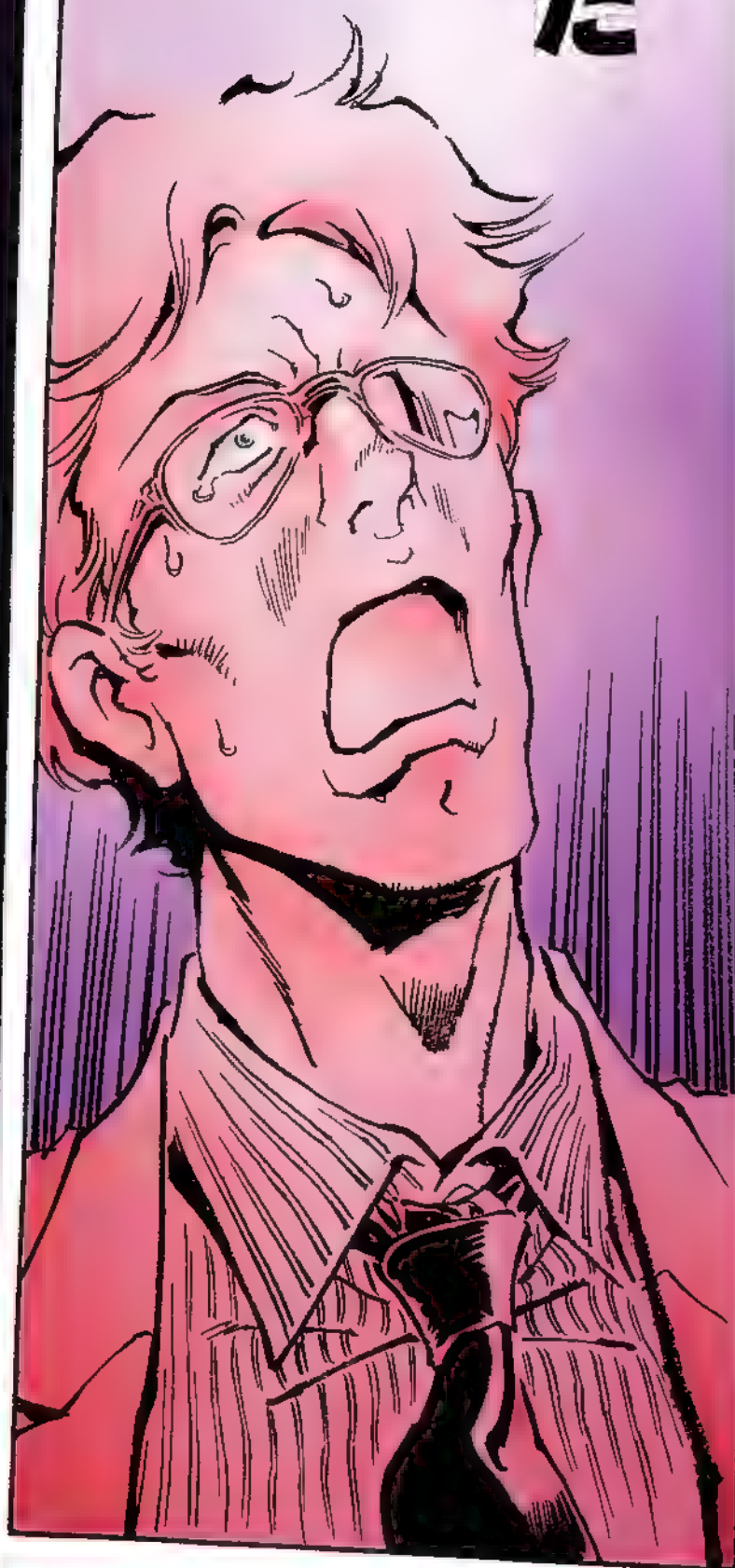
正規の...

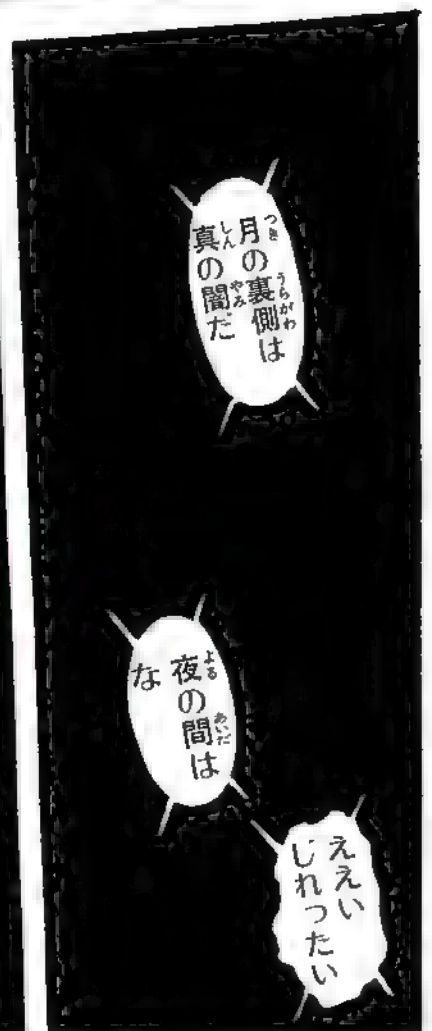
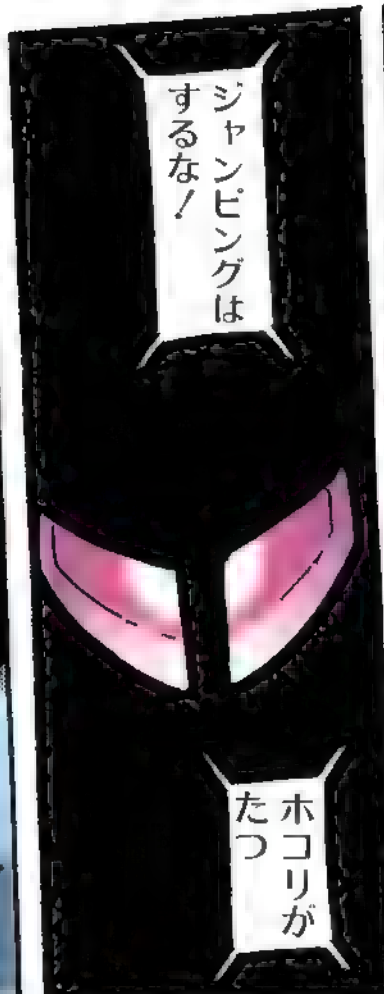
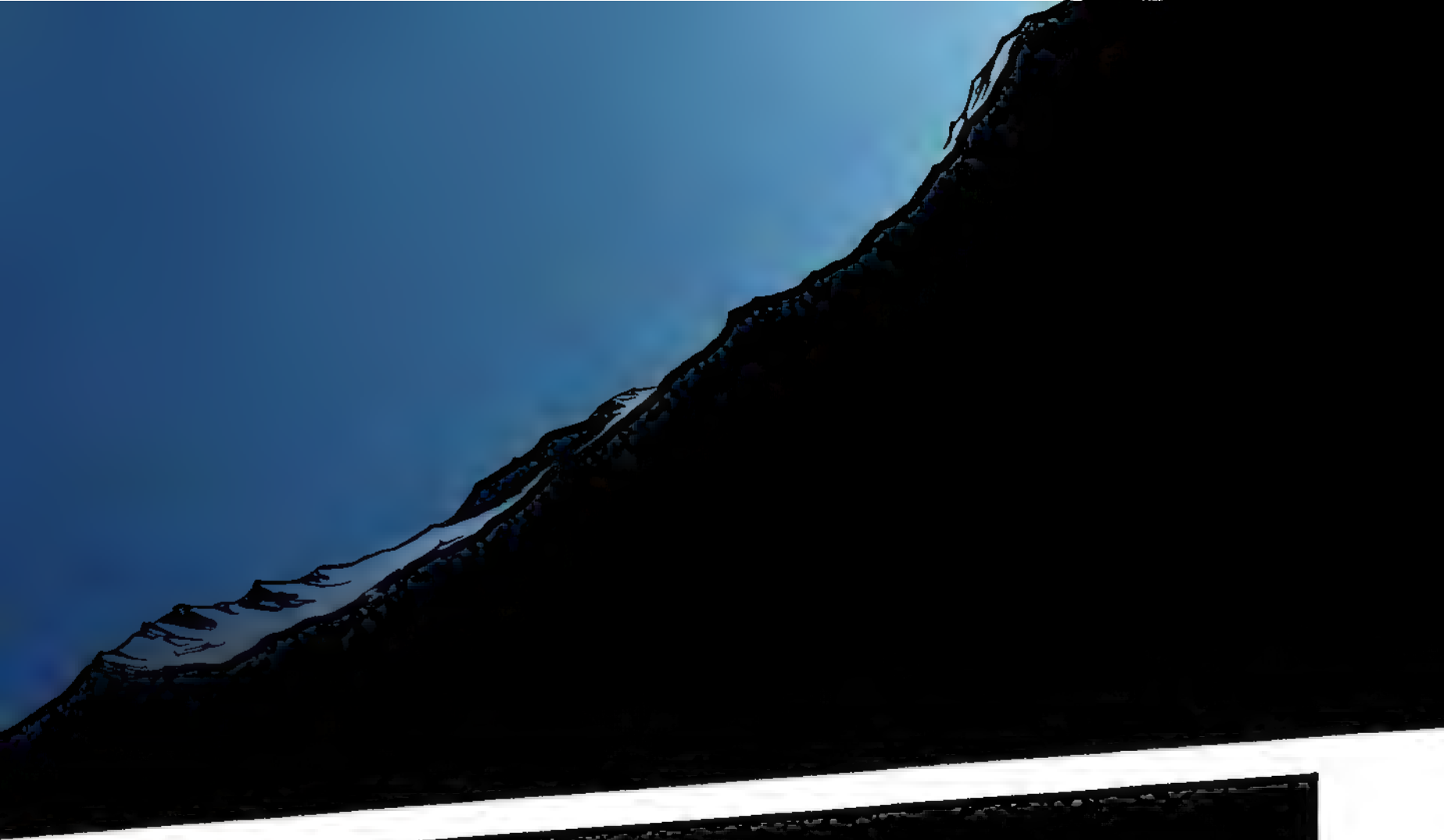
こんな工場
ではなく

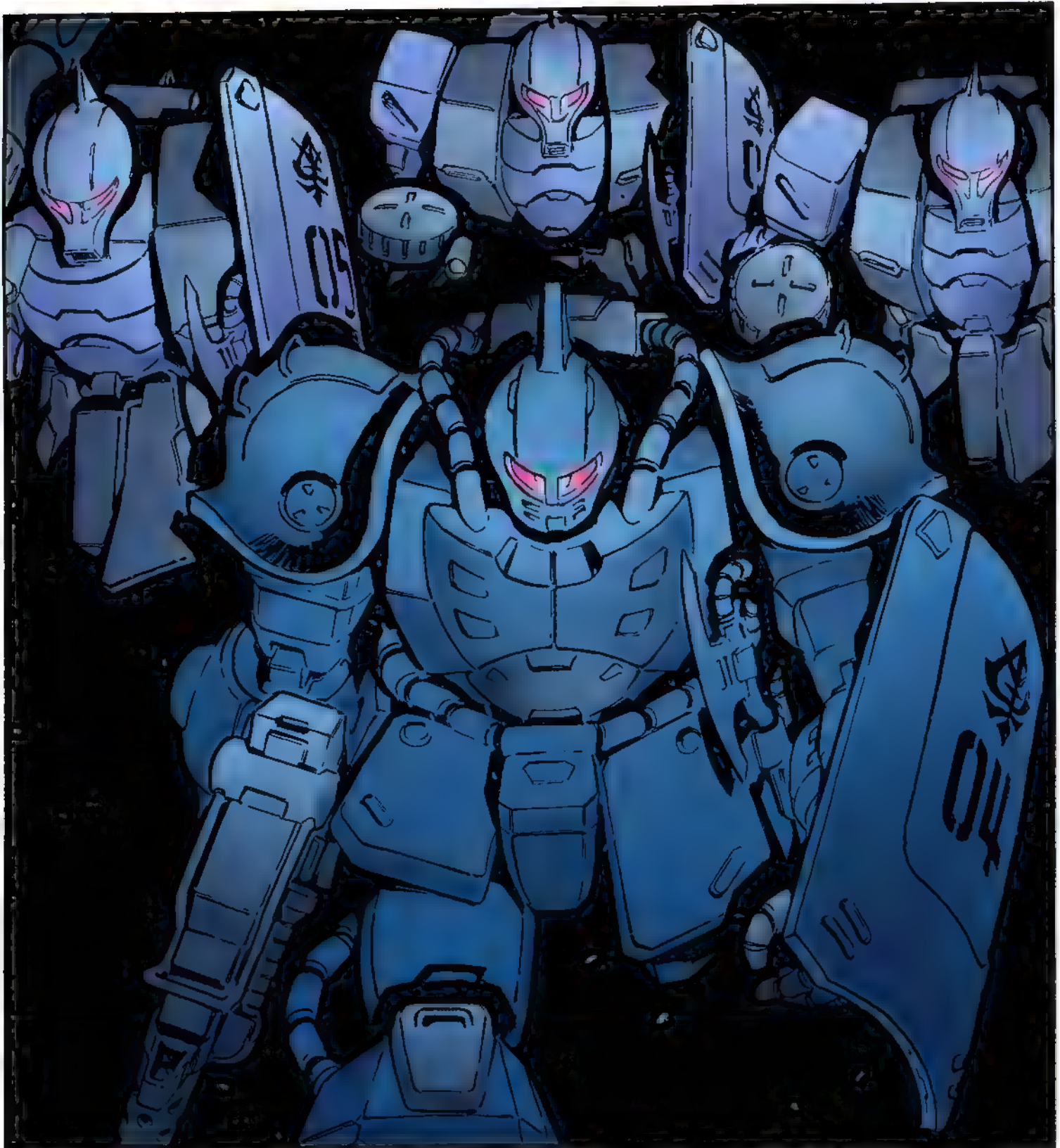
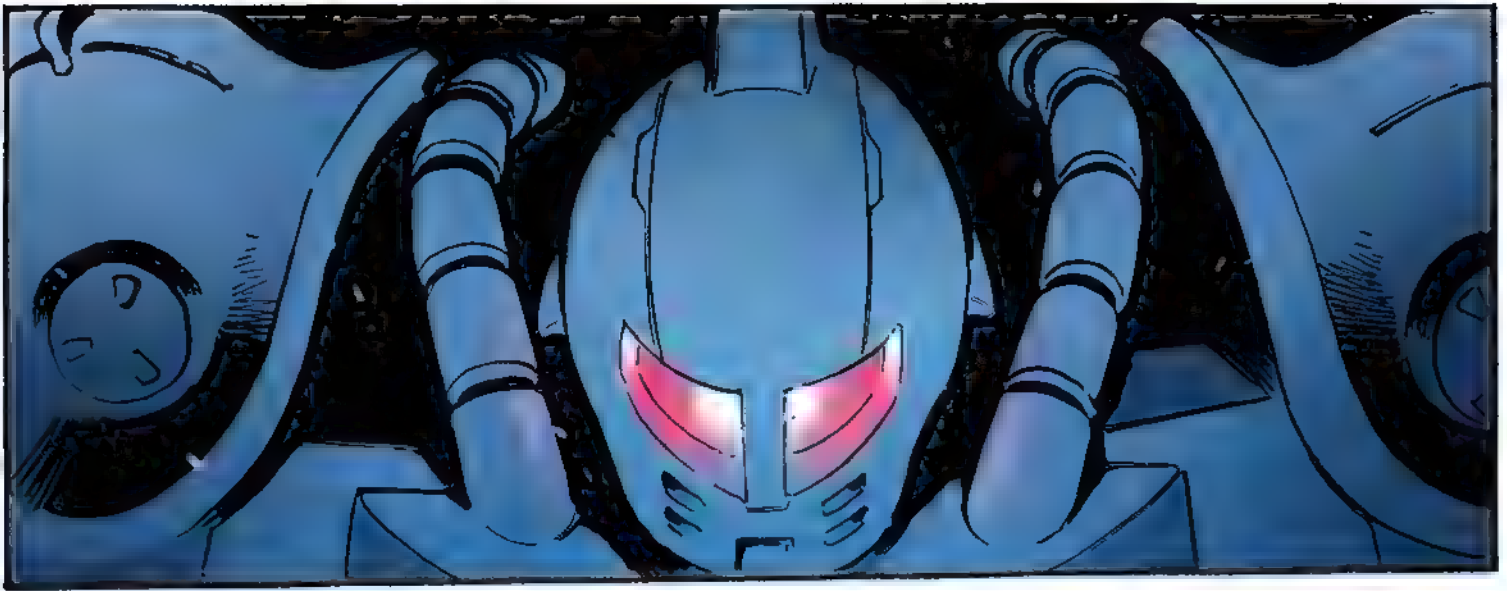


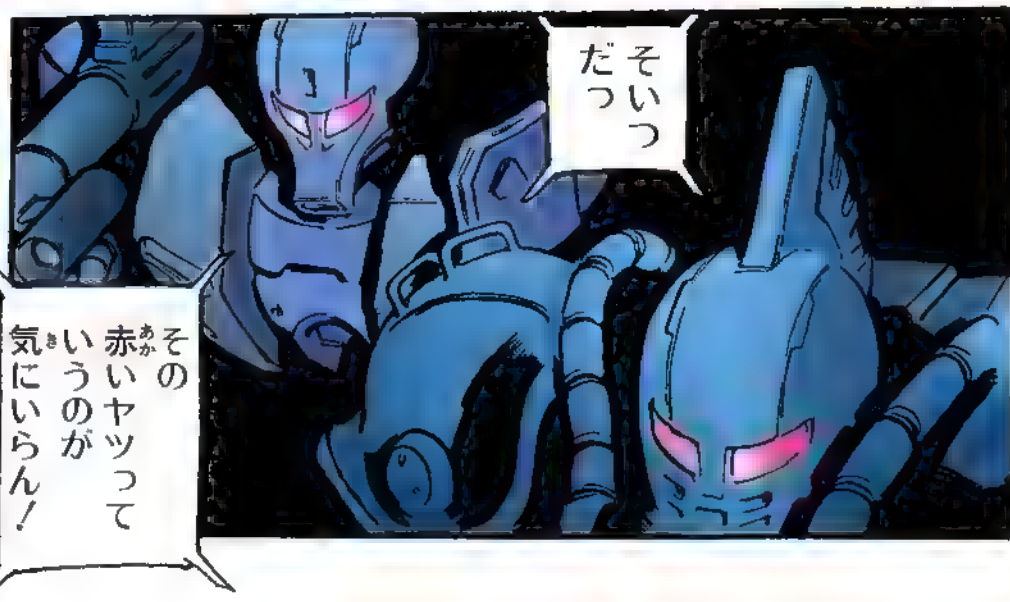
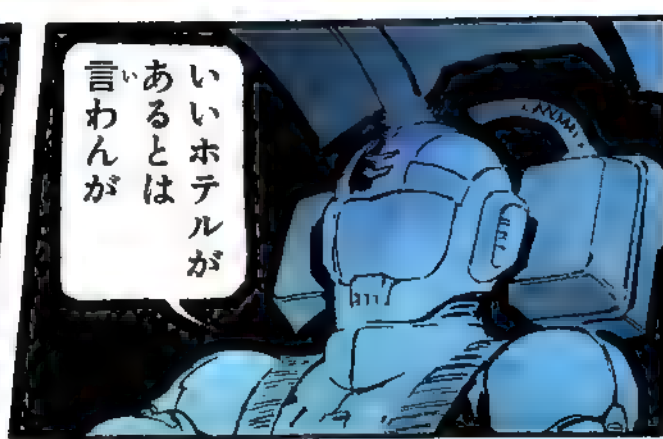
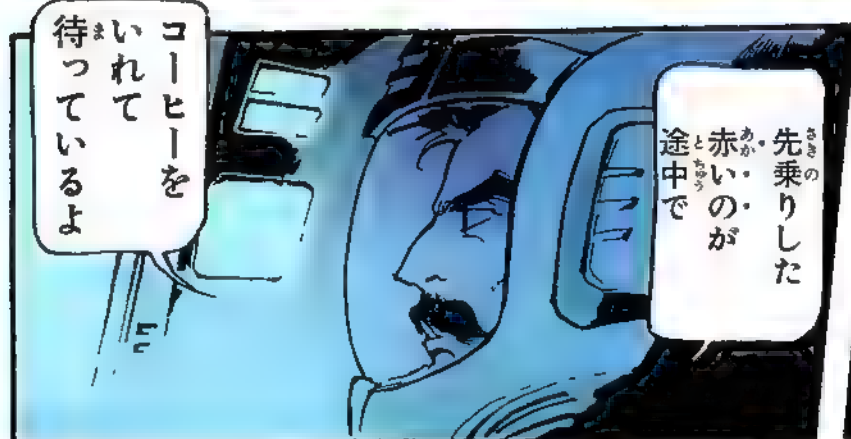
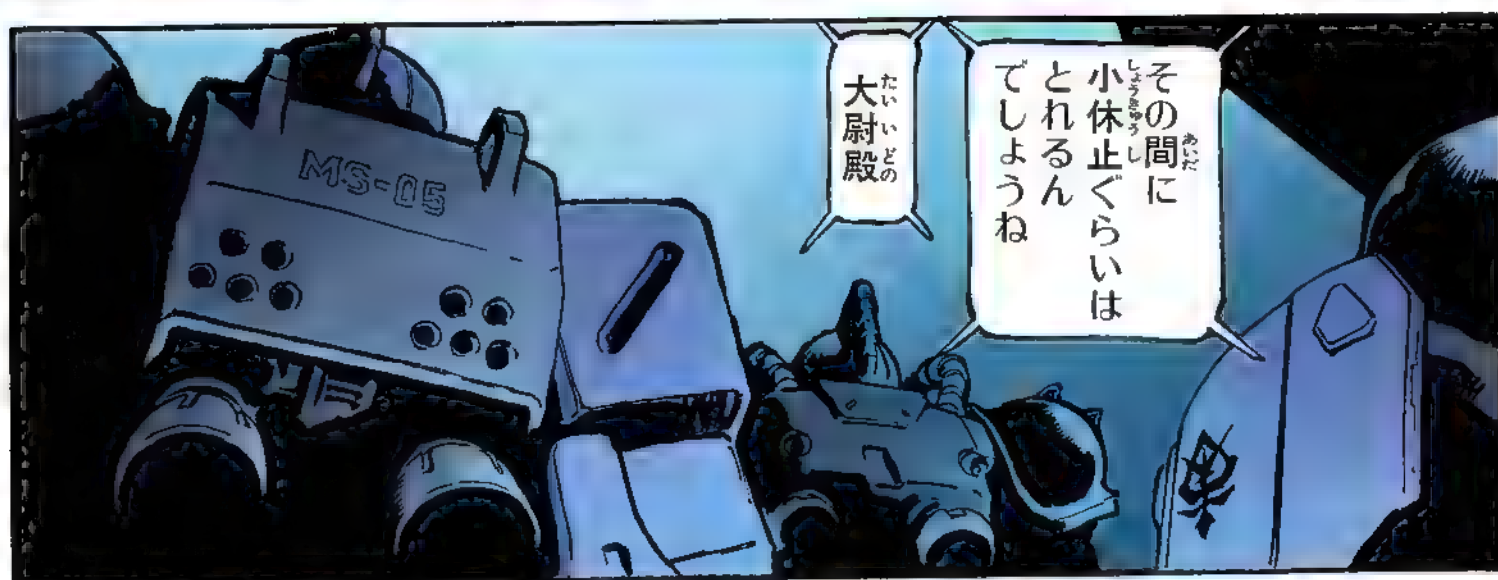
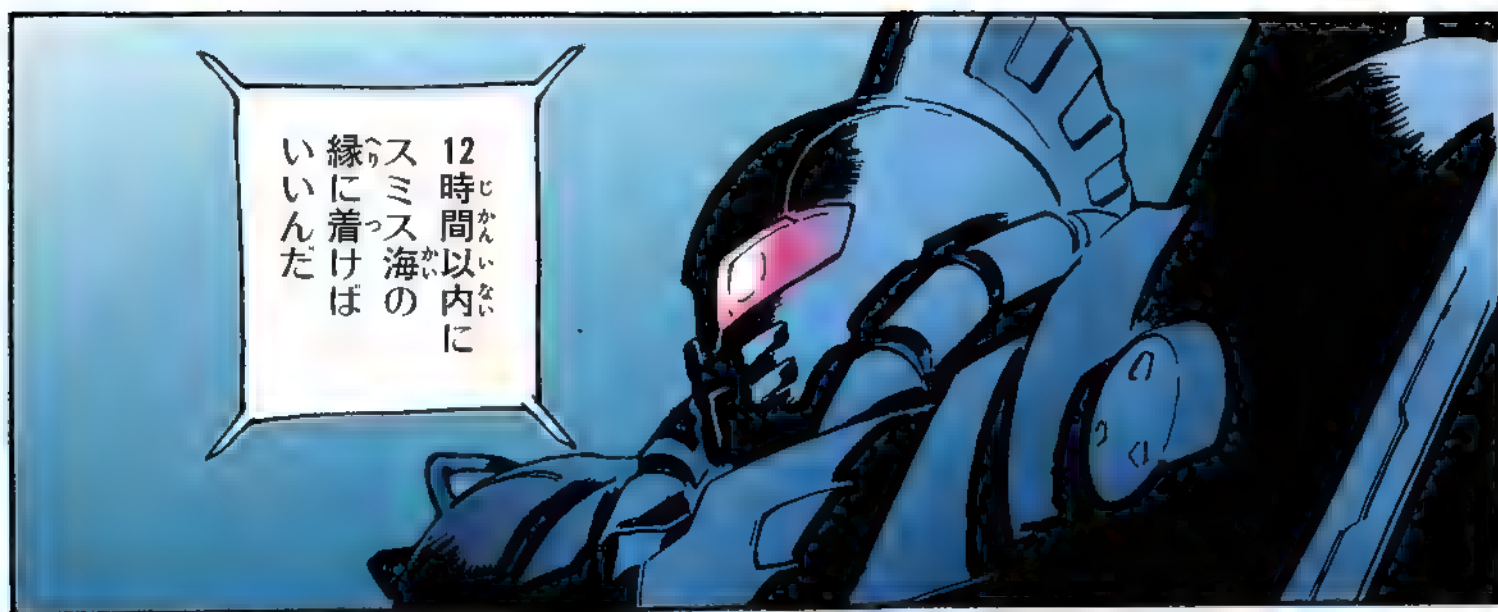
できるんだ

オレに
だって!!











腕はいいぞ

要領は知らんが



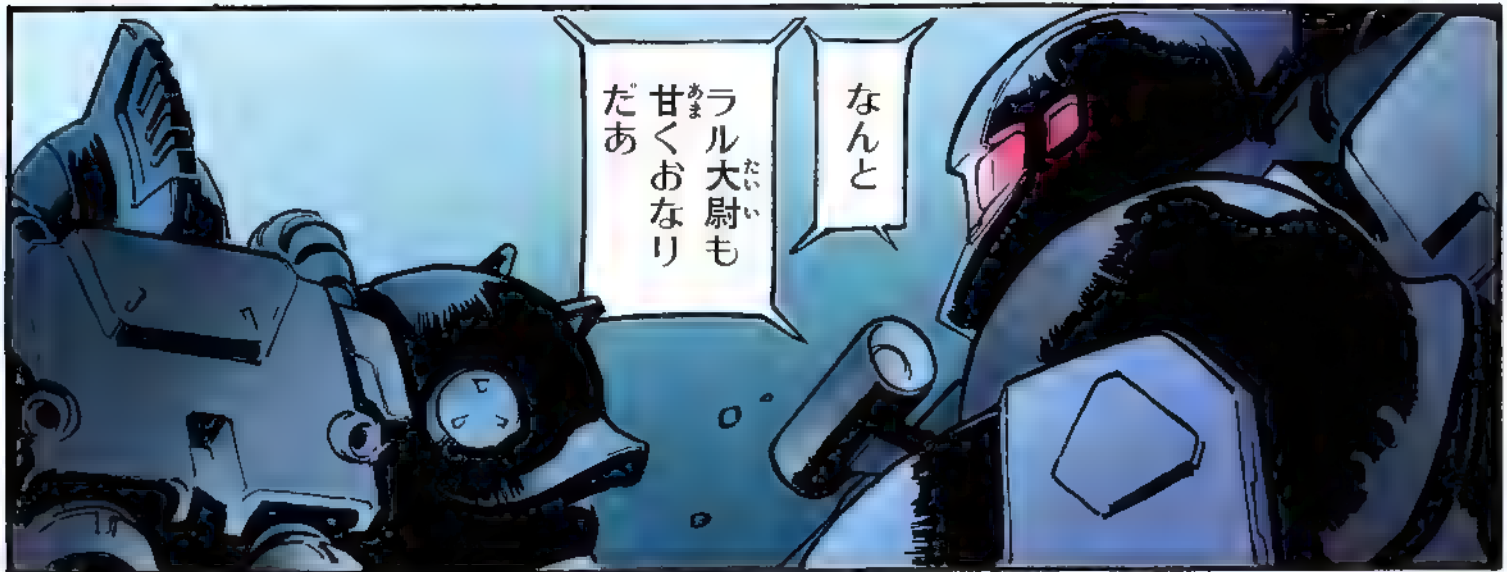
要領のいいっ!

けっ

ドズル大佐にとり入りやがったんだろ



士官学校退学の前科者だってね



なんと

ラル大尉も甘くおなりだあ



へへ...

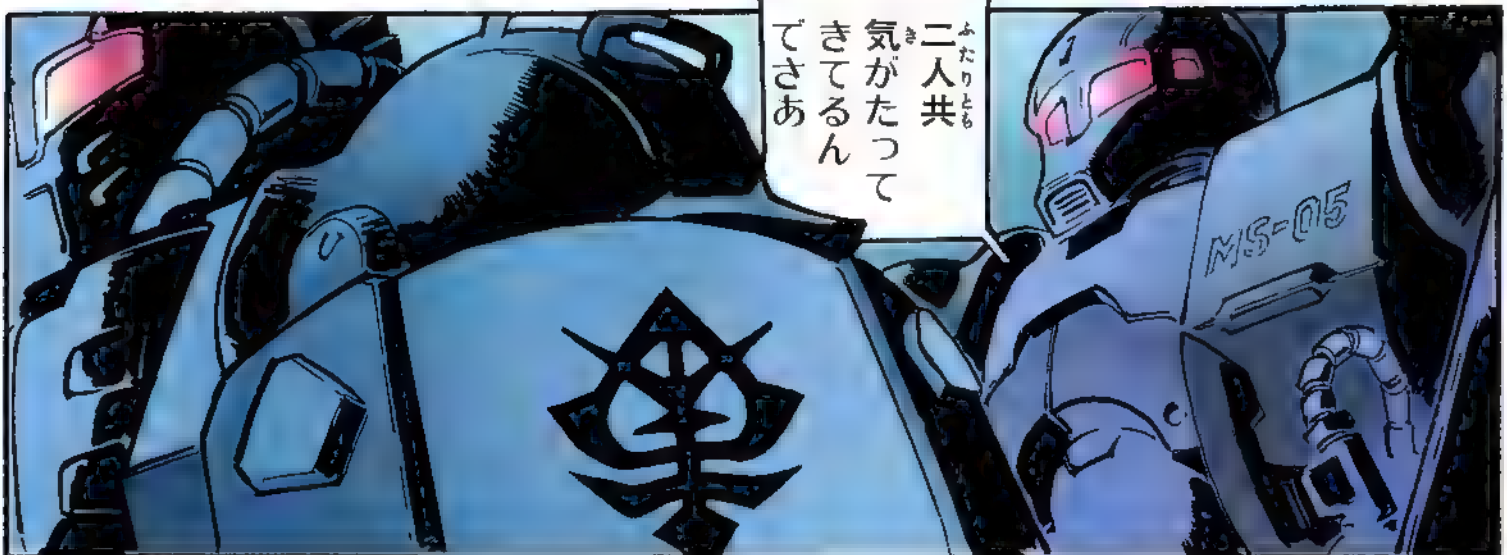
大尉殿

こらえてやってくださいよ



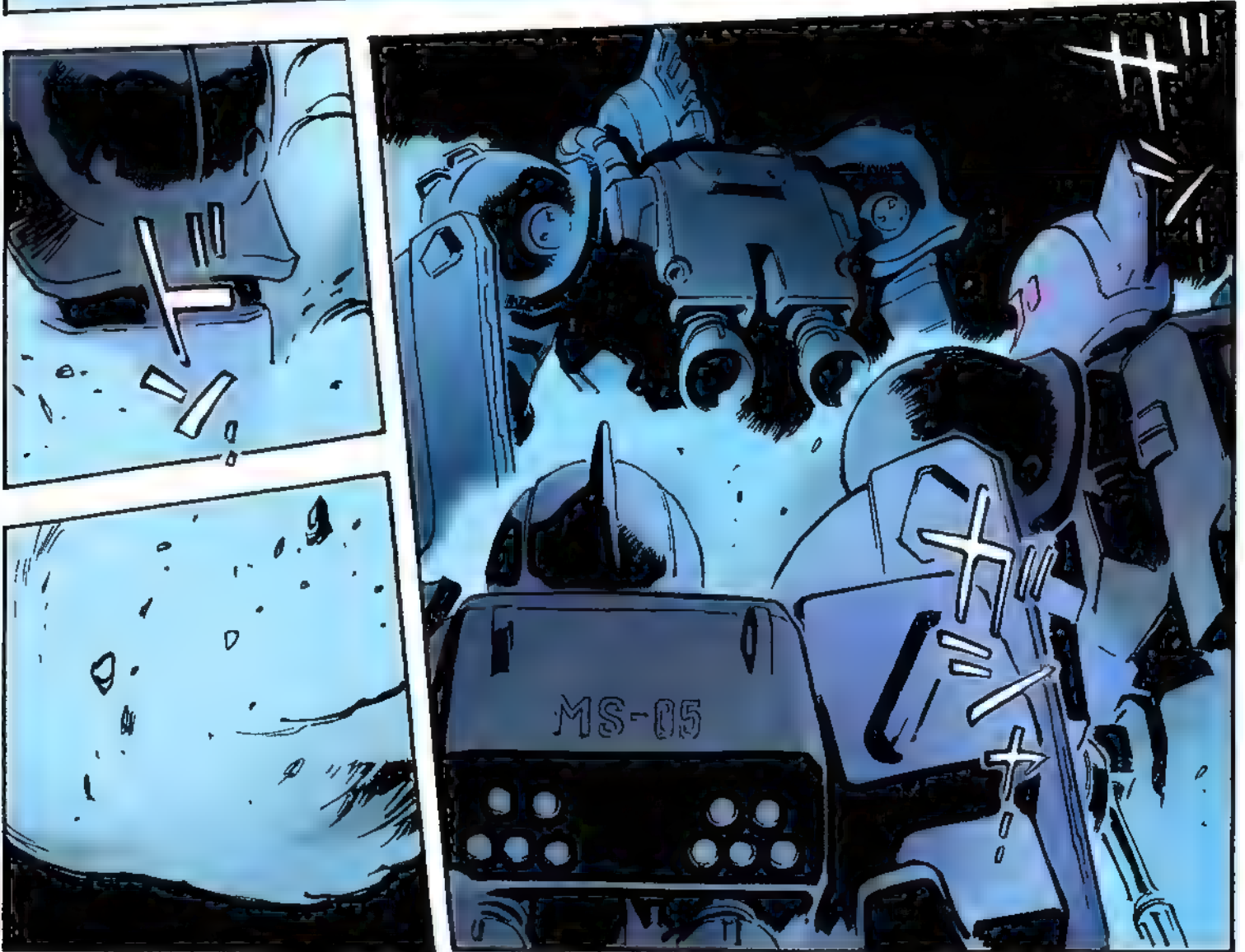
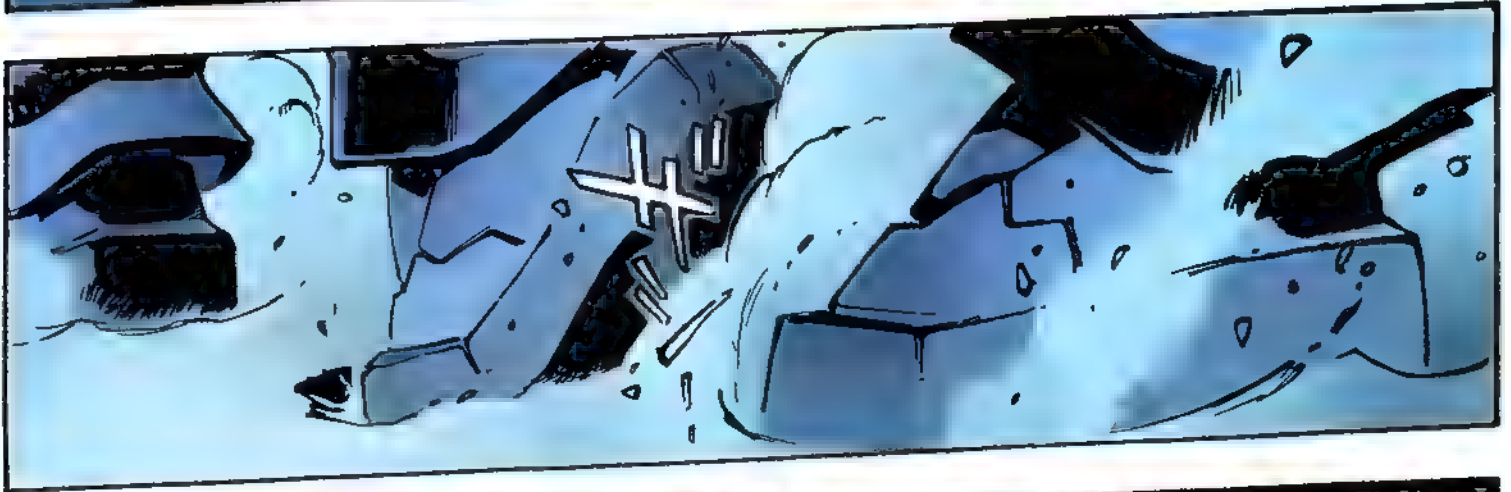
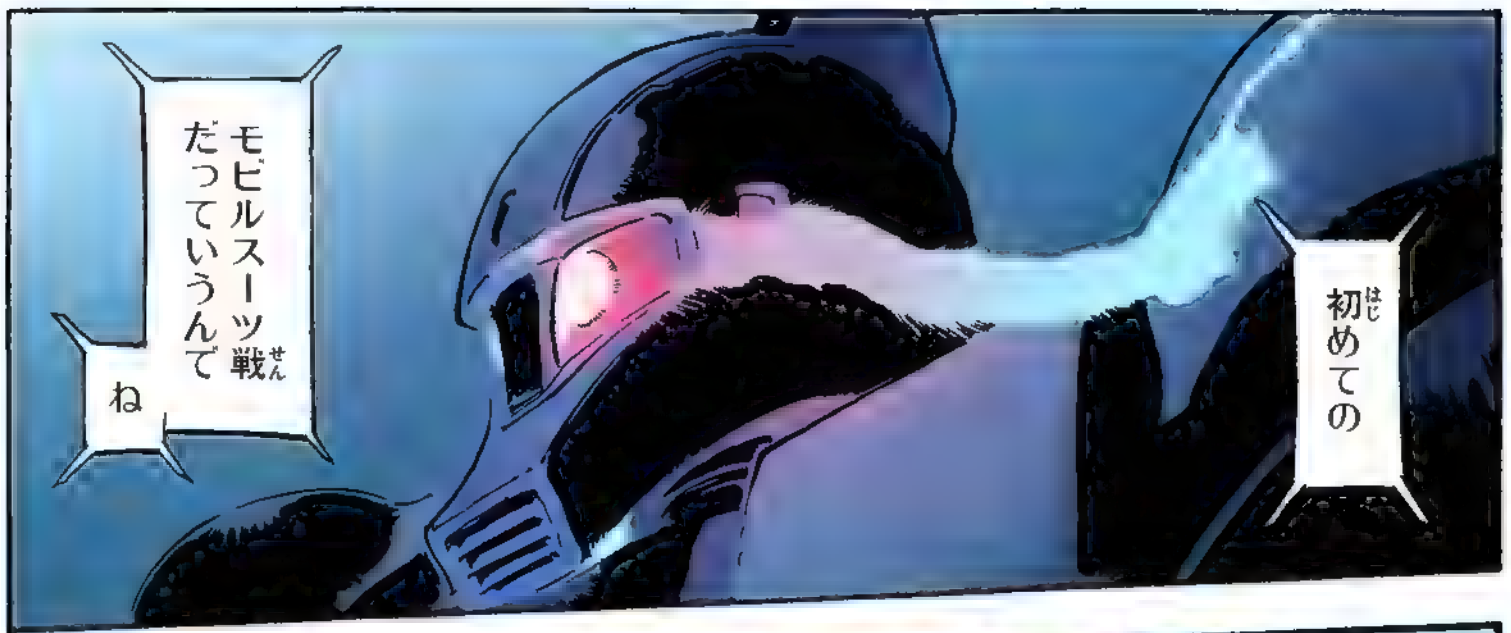
ガイア!

ふたりを黙らせる!!

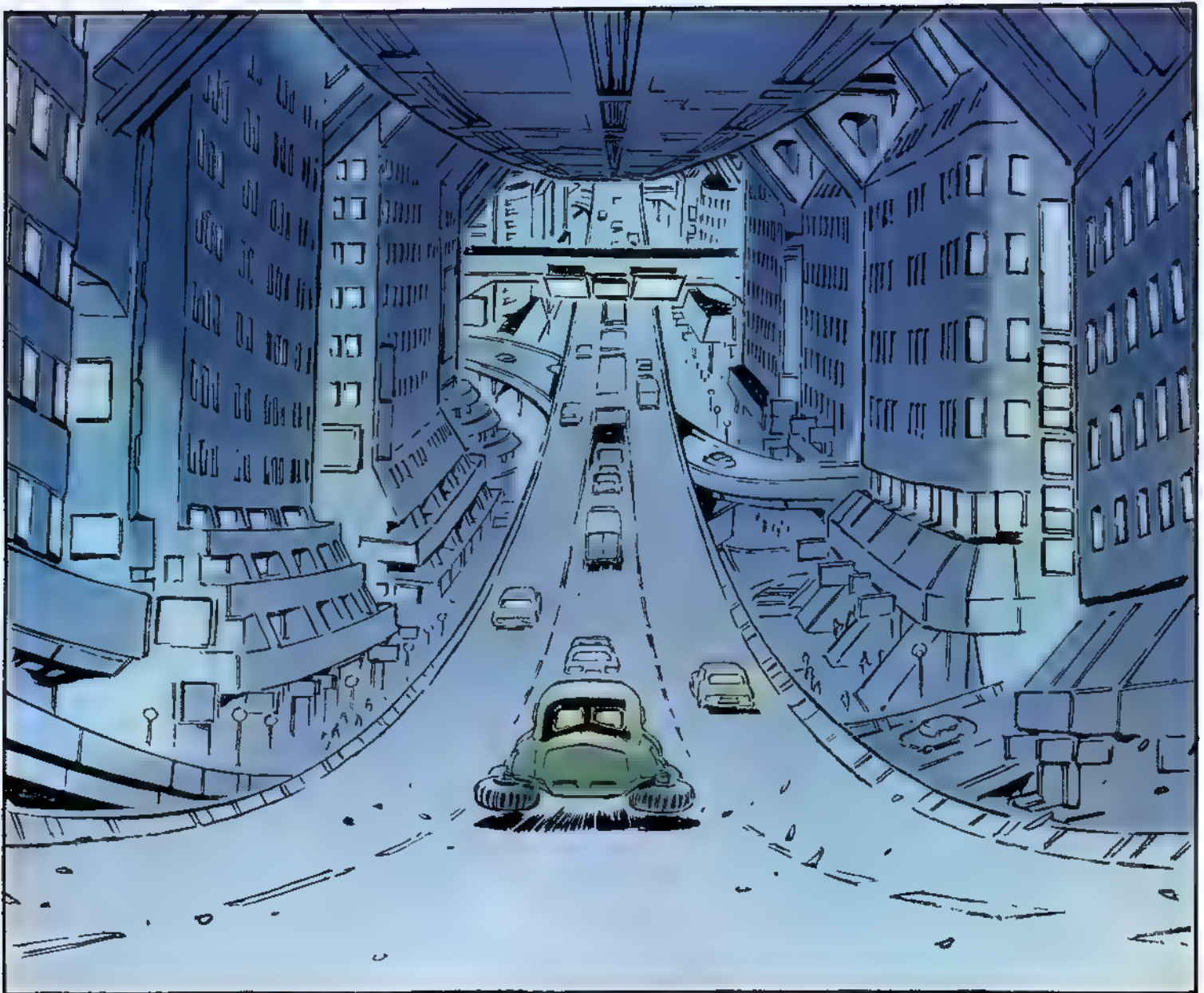
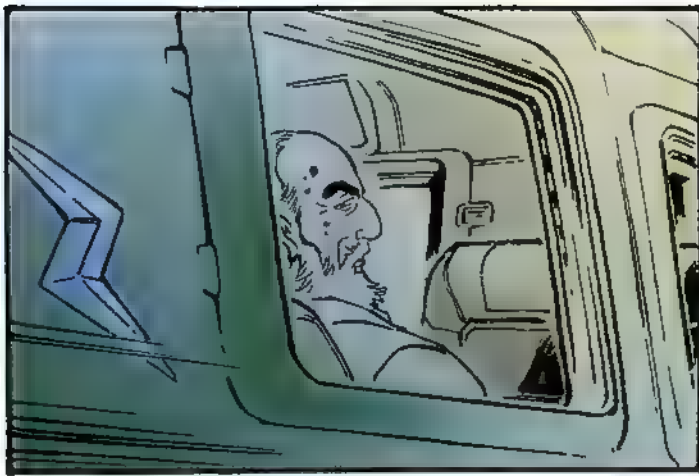


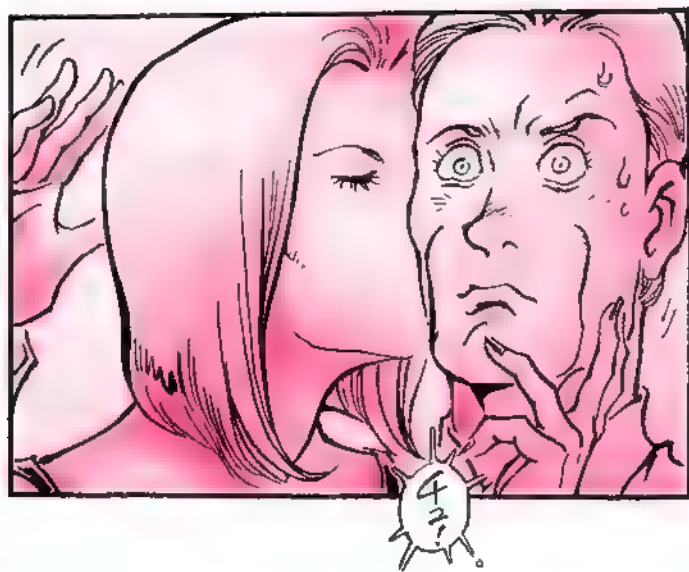
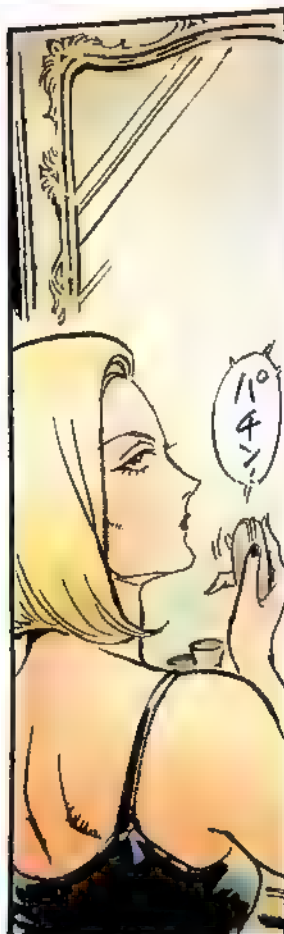
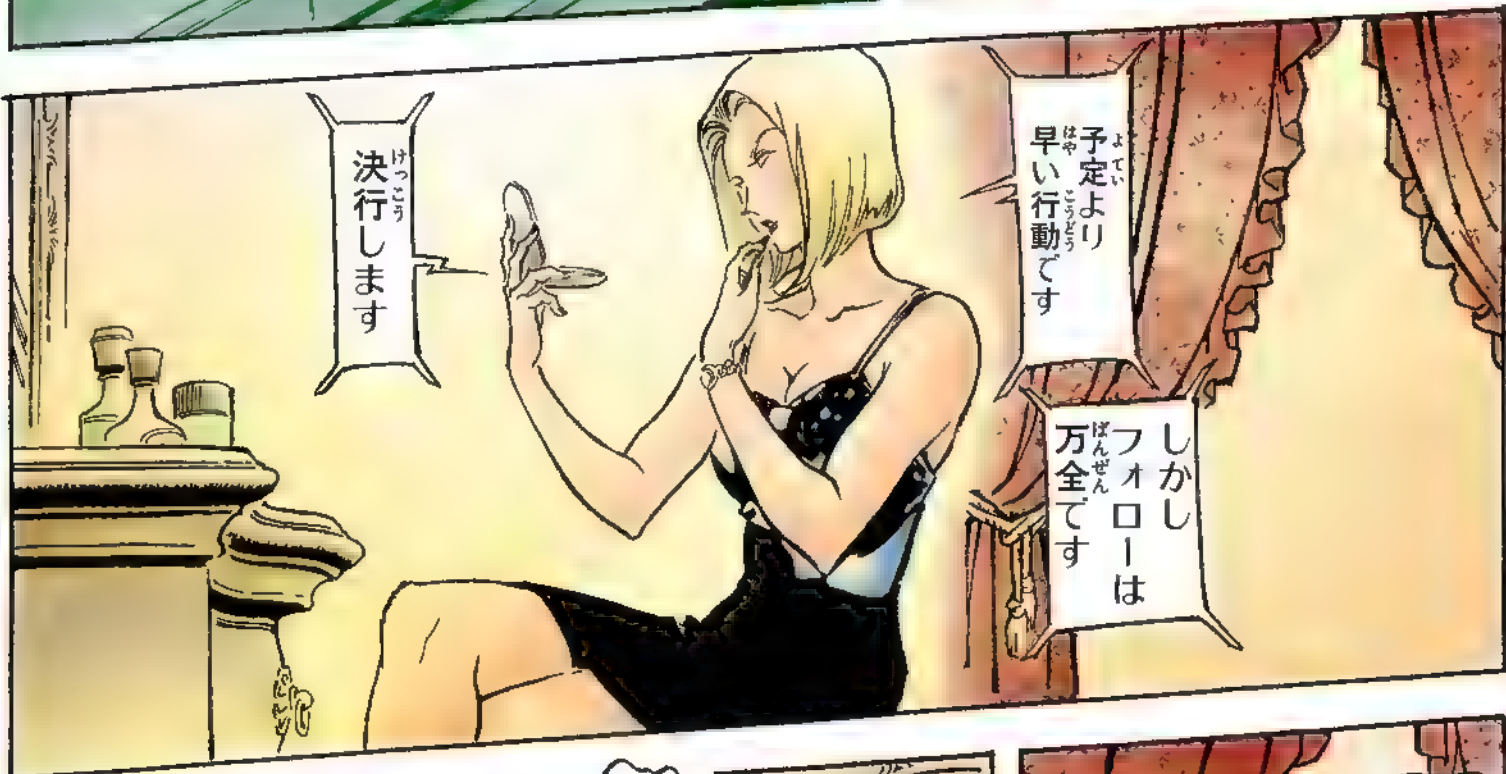
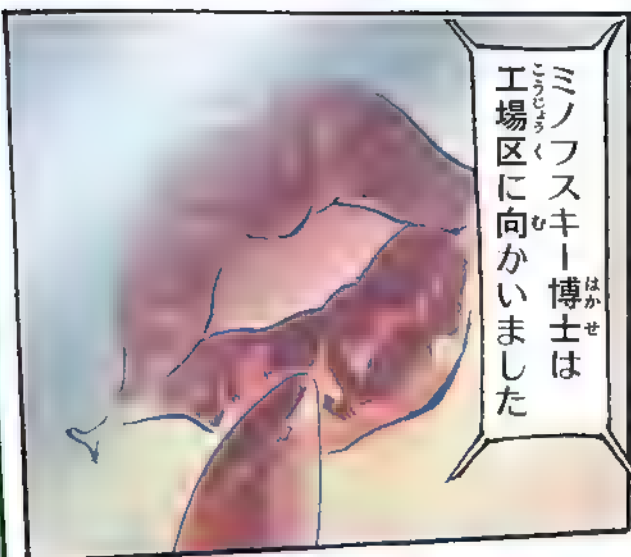
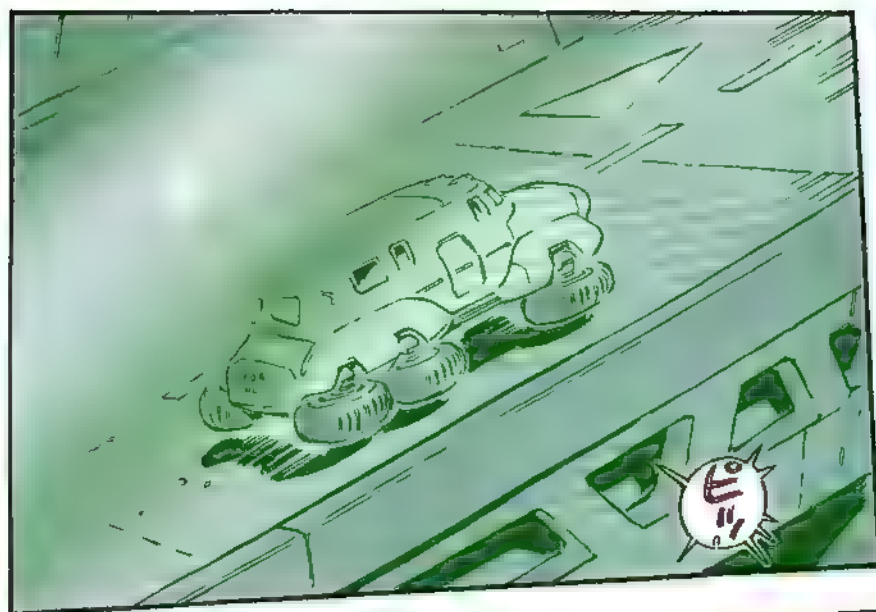
ふたりとも二人共気がたつてきてるんでさあ

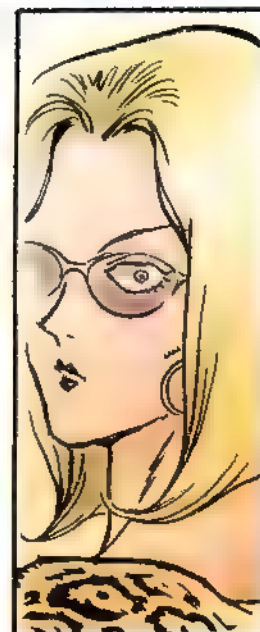
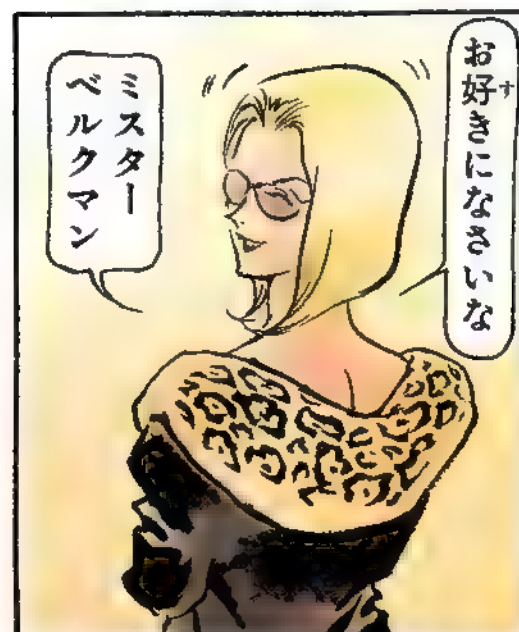
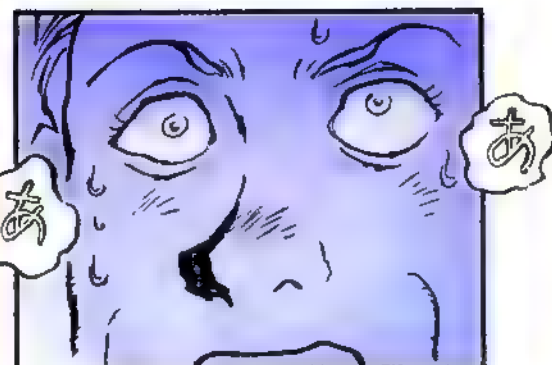
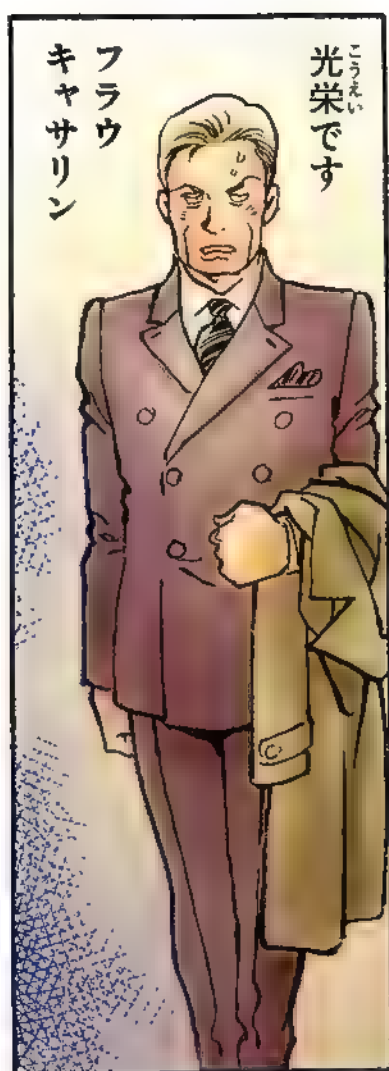
MS-05

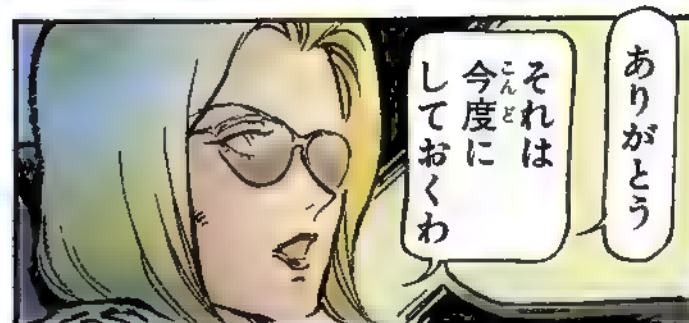
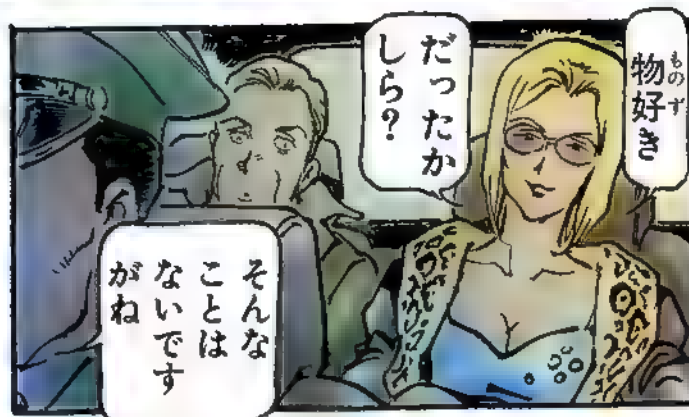
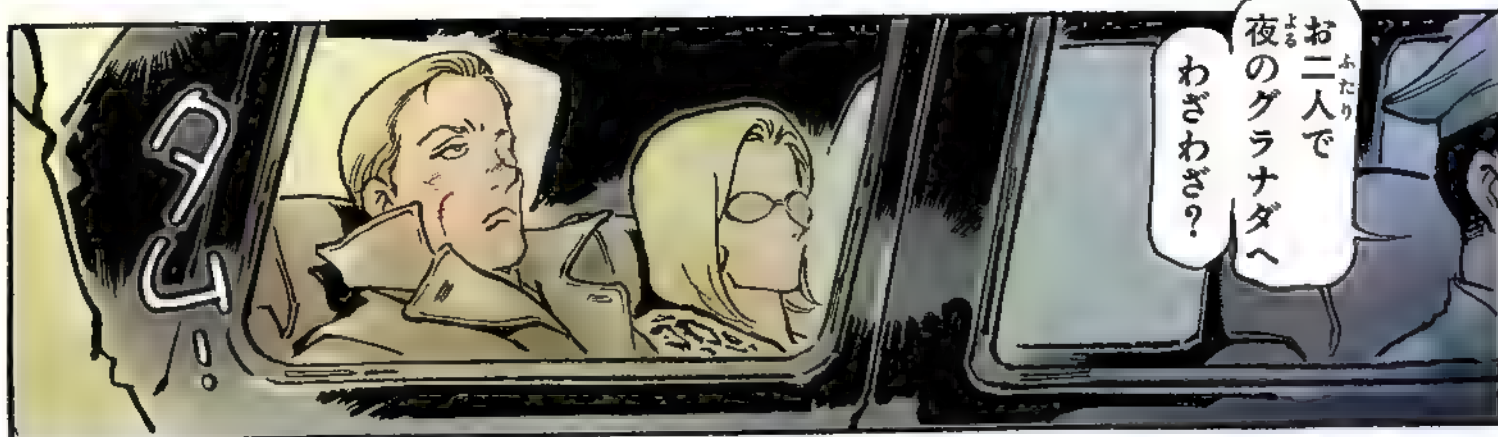
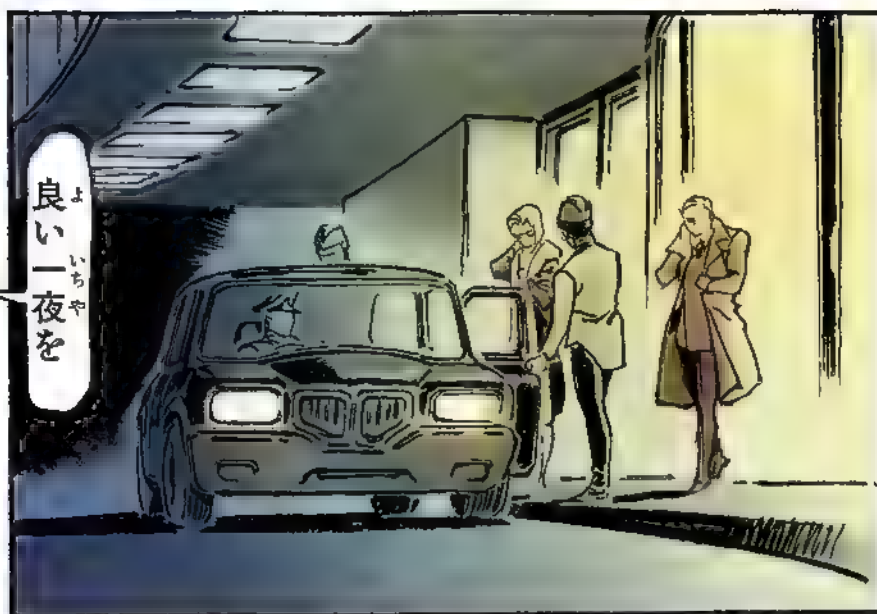
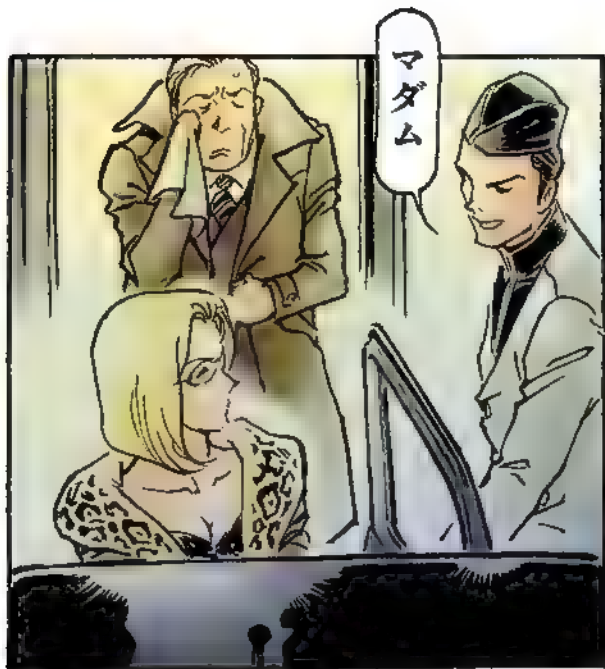


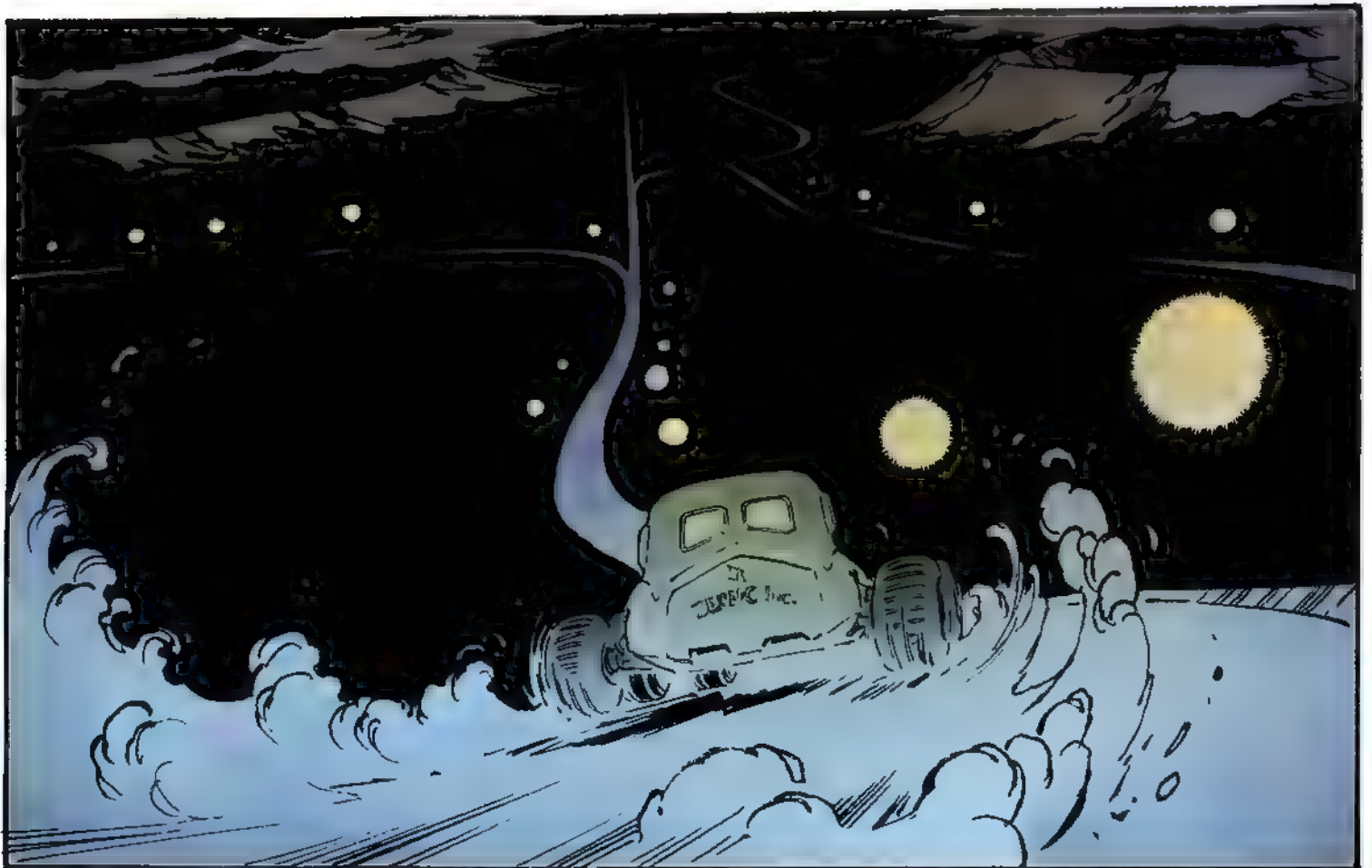
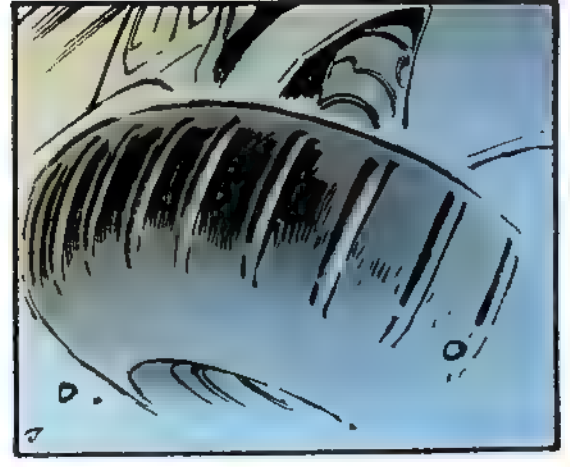
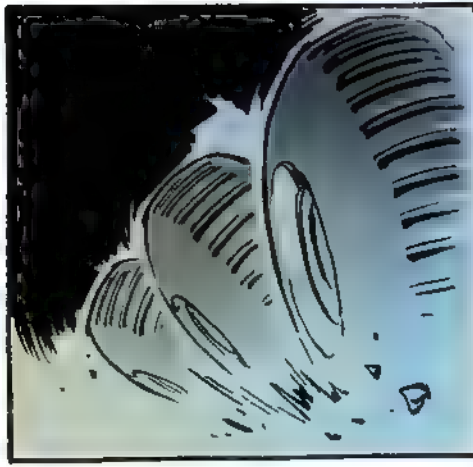
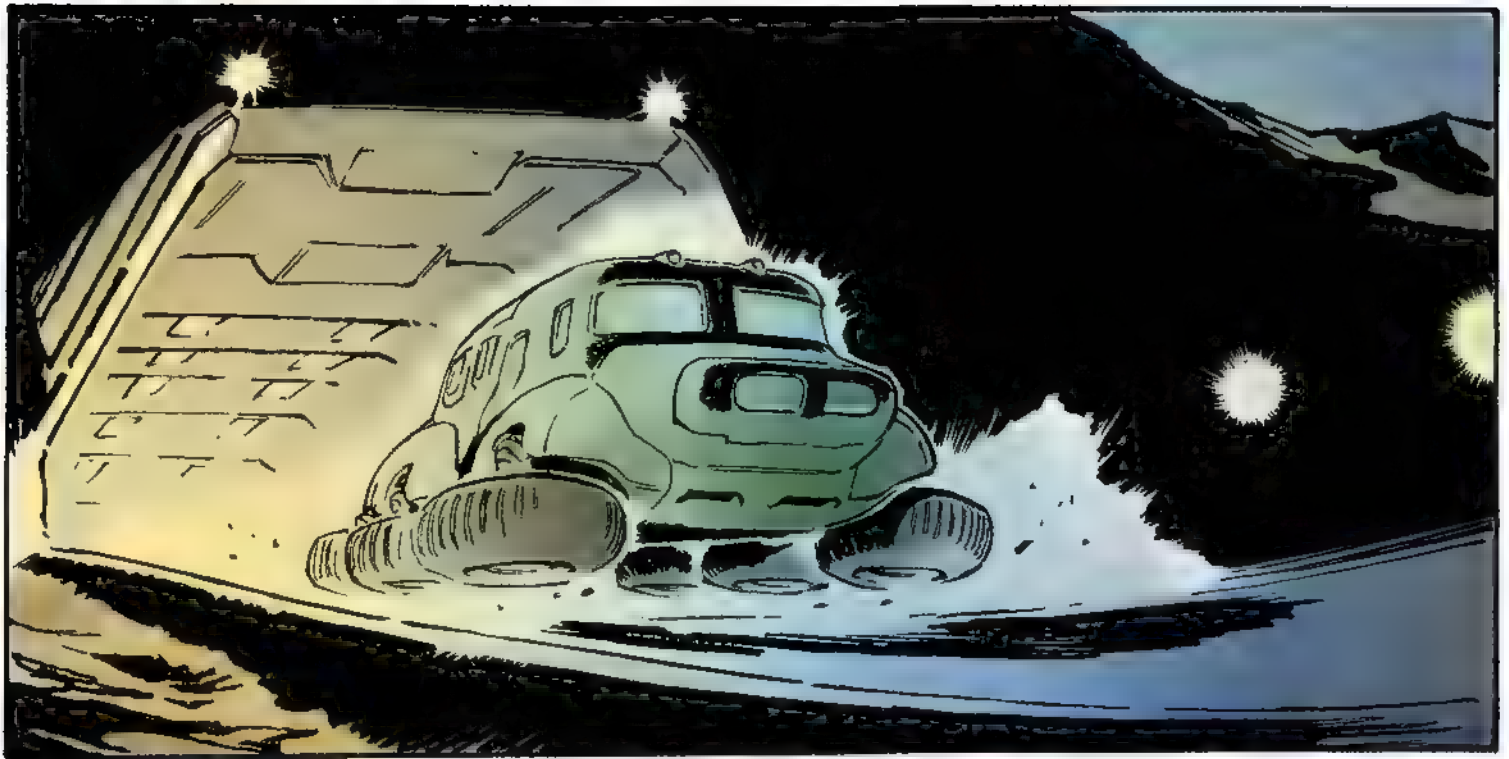


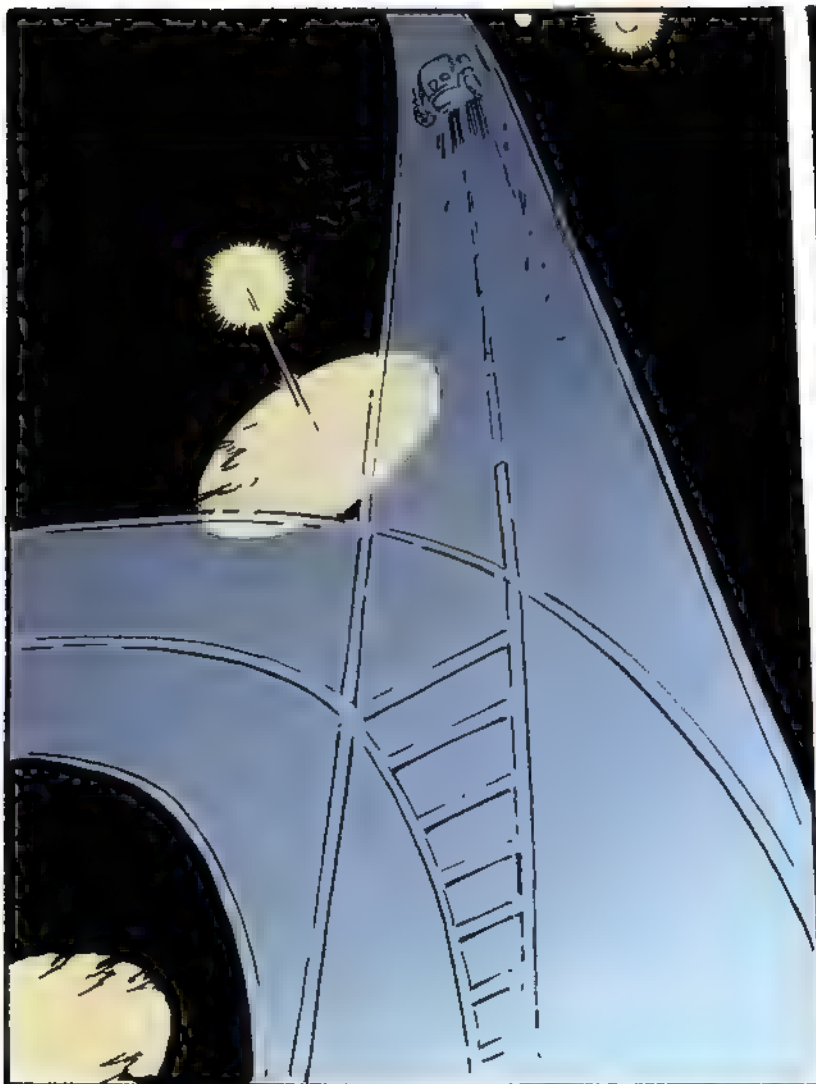
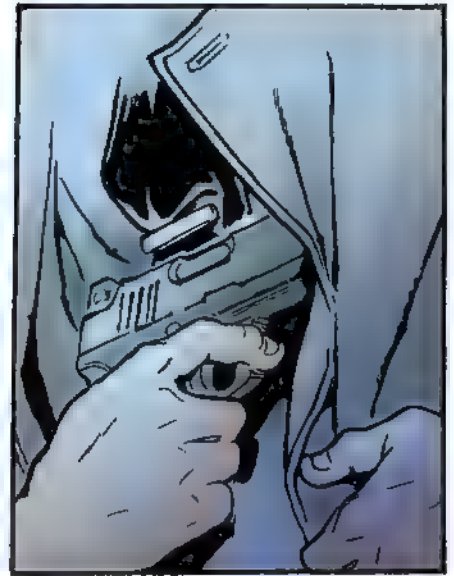
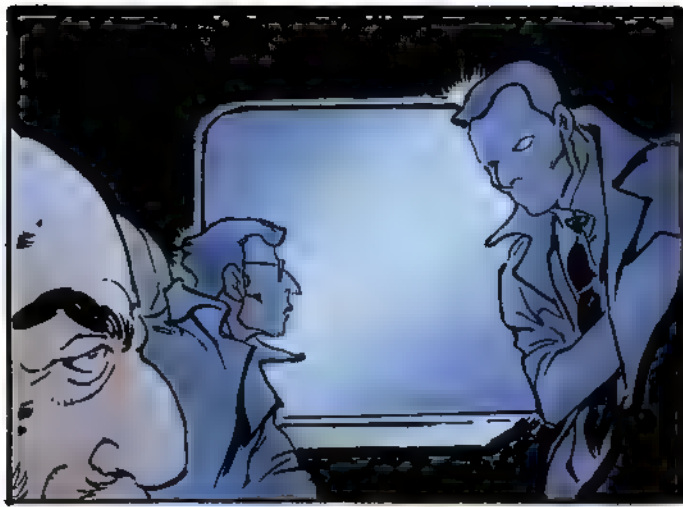


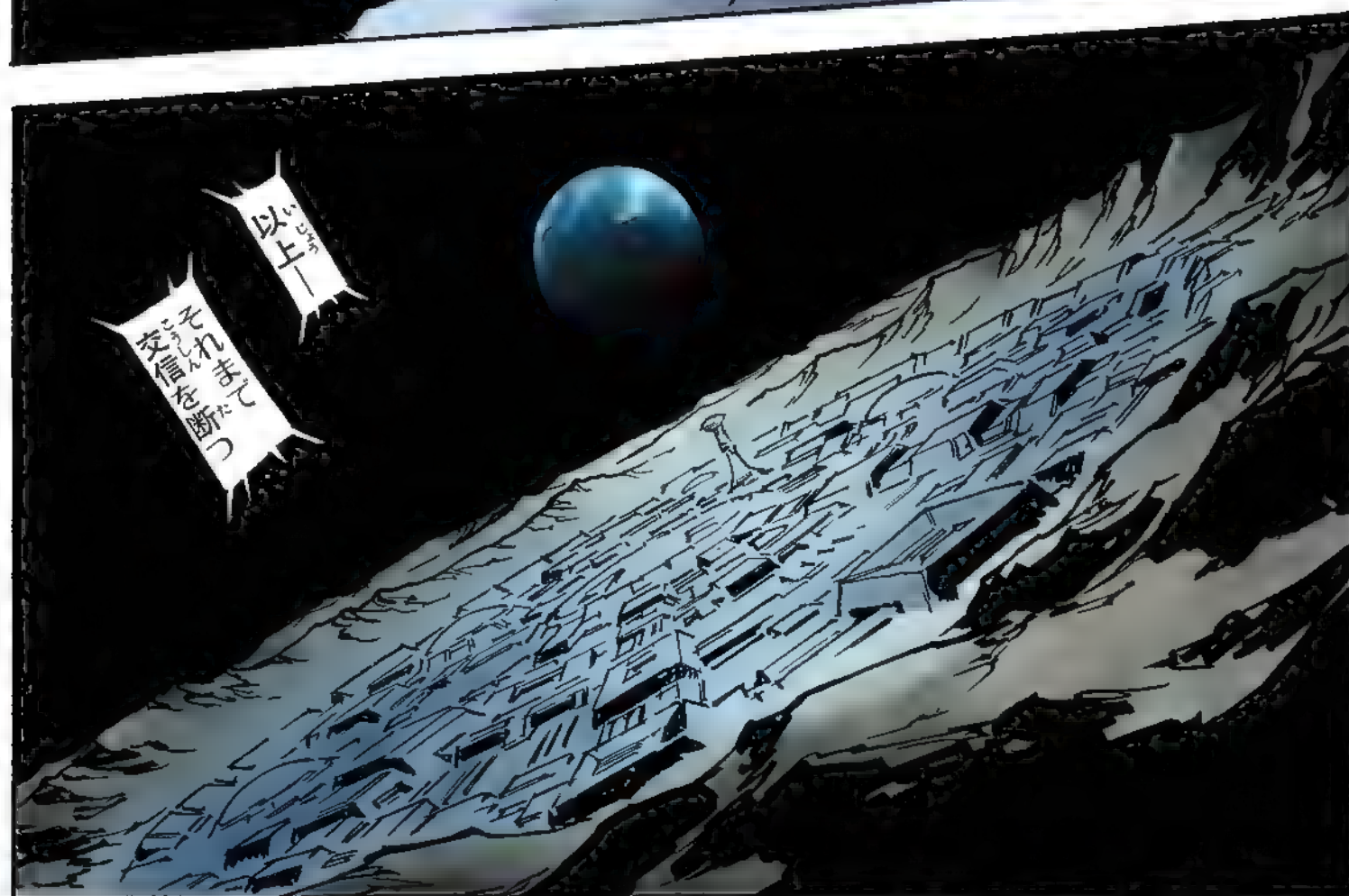
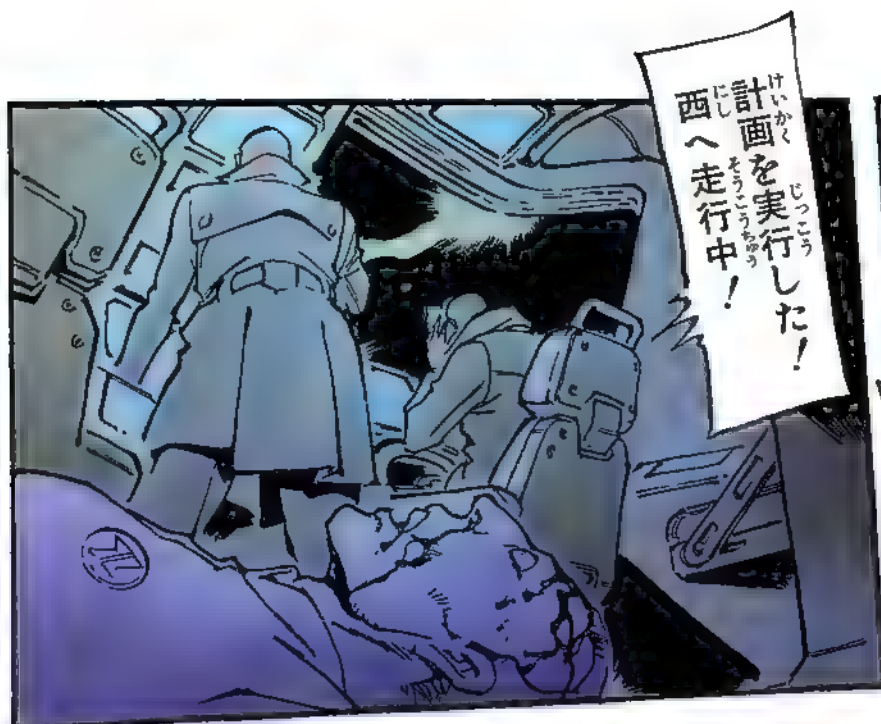














博士が

亡命!



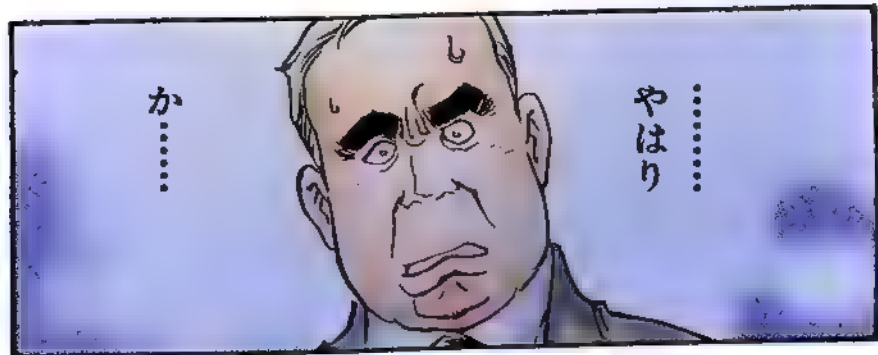
連邦軍も
これを傍受
しました

動き出す
ようです



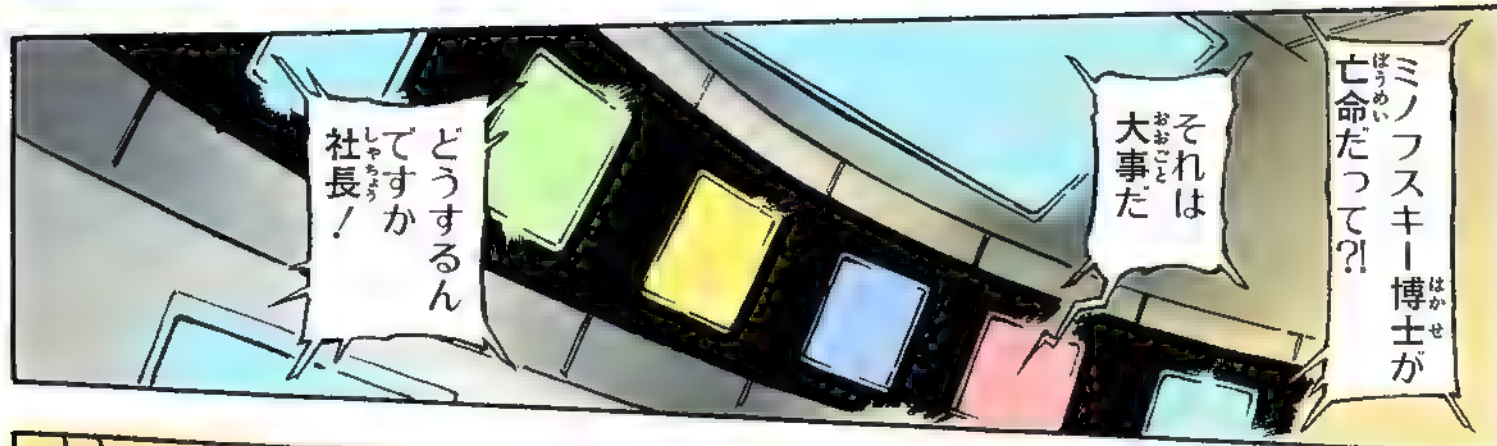
我が社にあてた
通信をキャッチ
しました

アブル・ワファを経て
スミス海へ向かうと
いう内容です



やはり

か



ミノフスキー博士が
亡命だつて?!

それは
大事だ

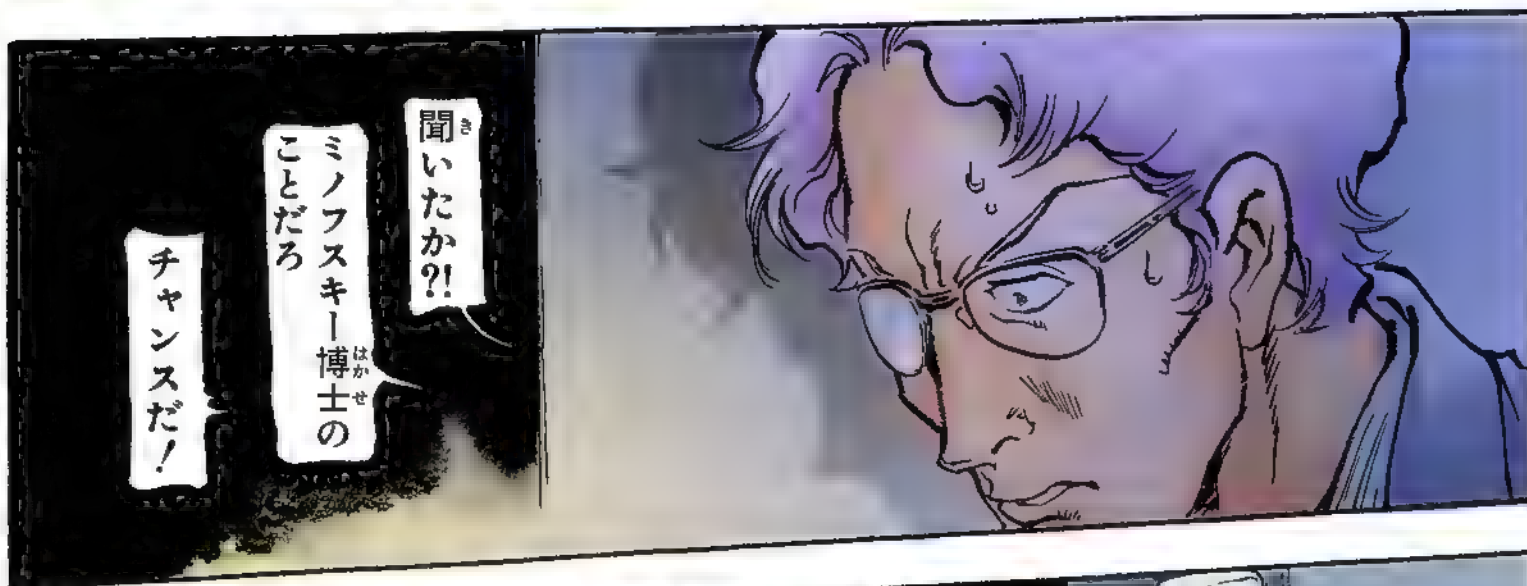
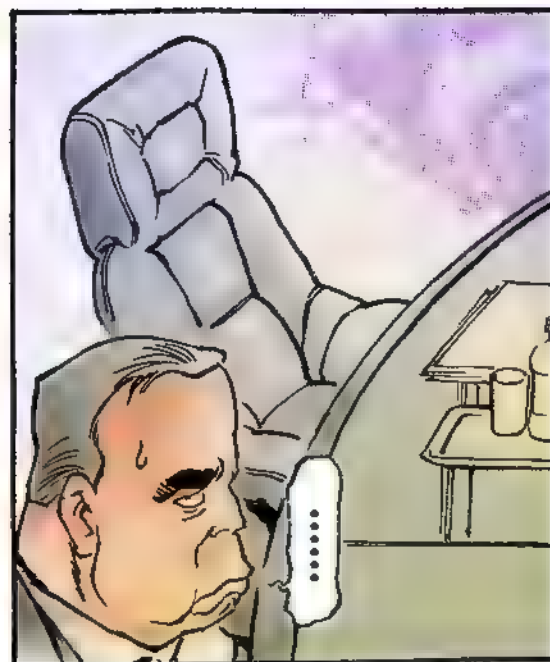
どうするん
ですか
社長!

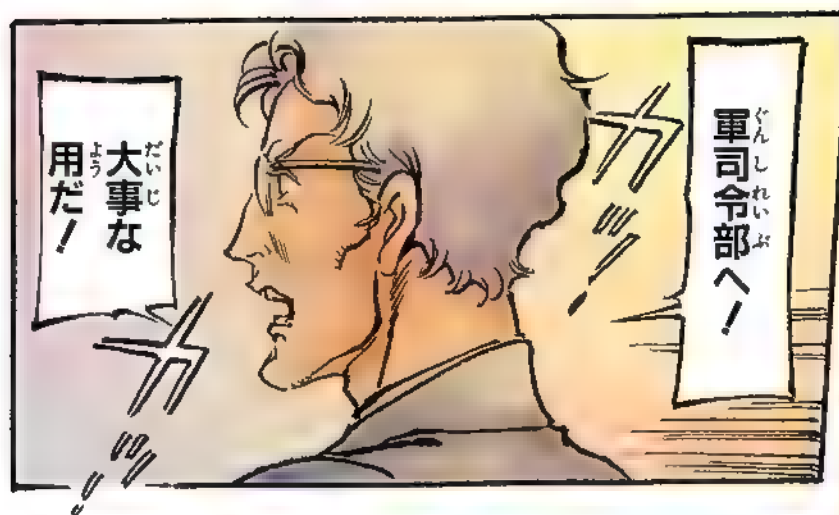
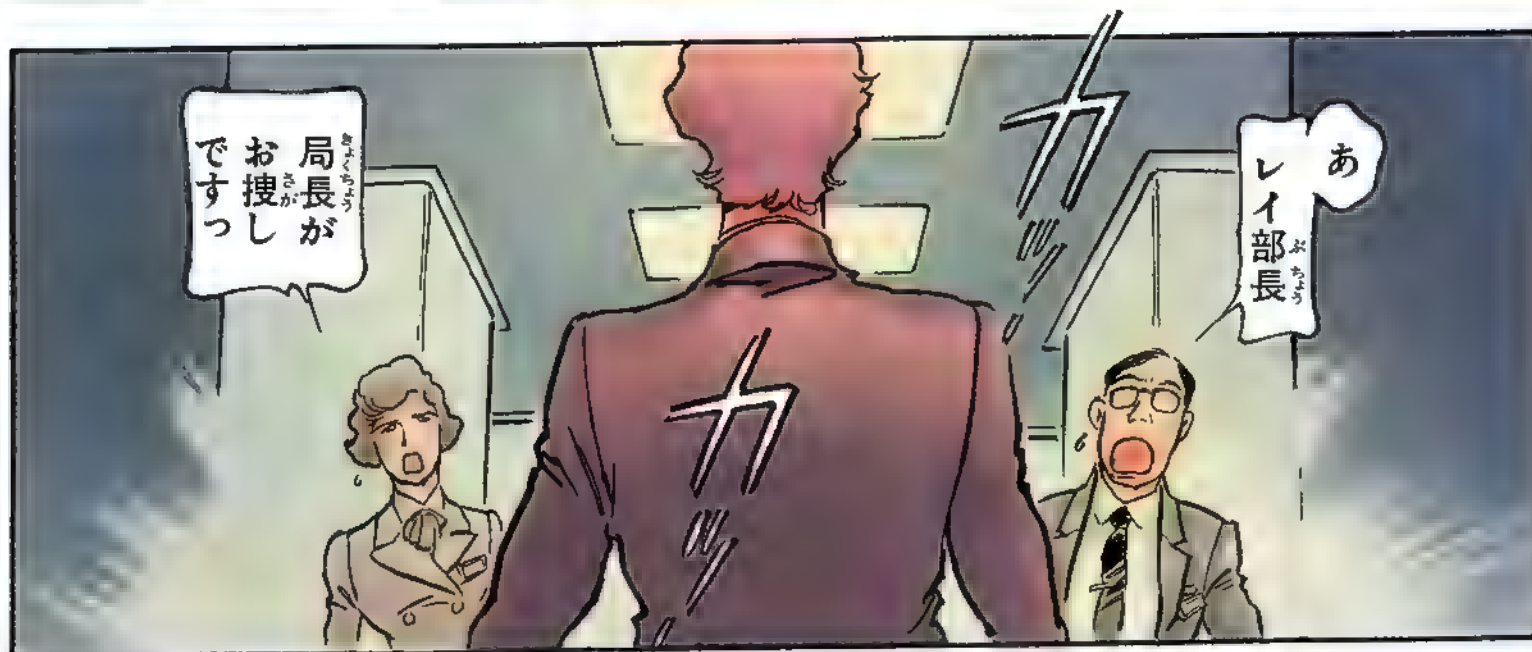
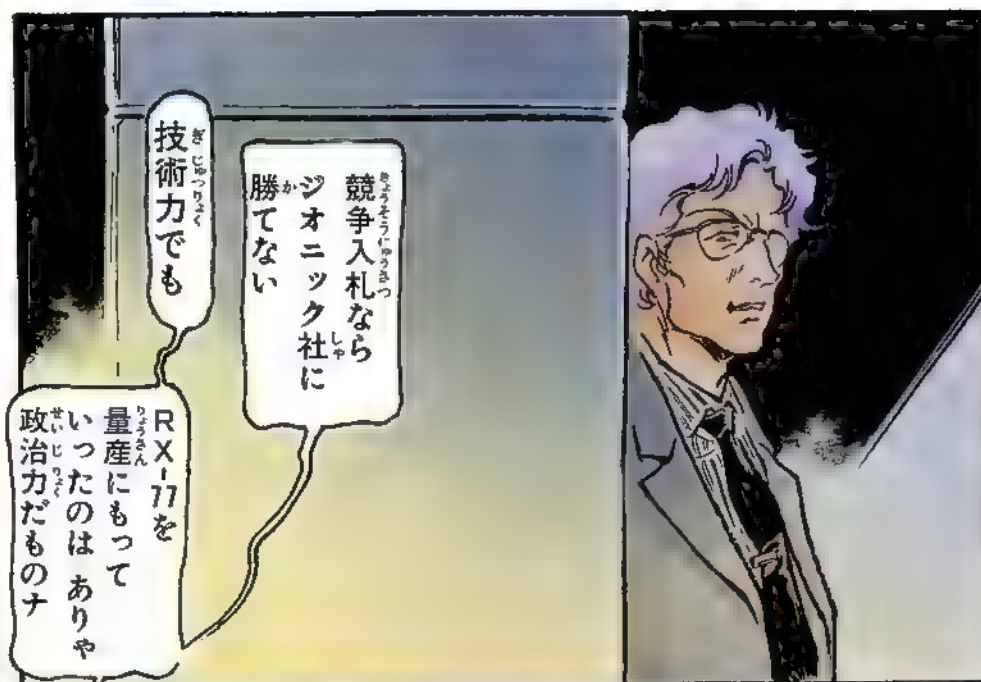


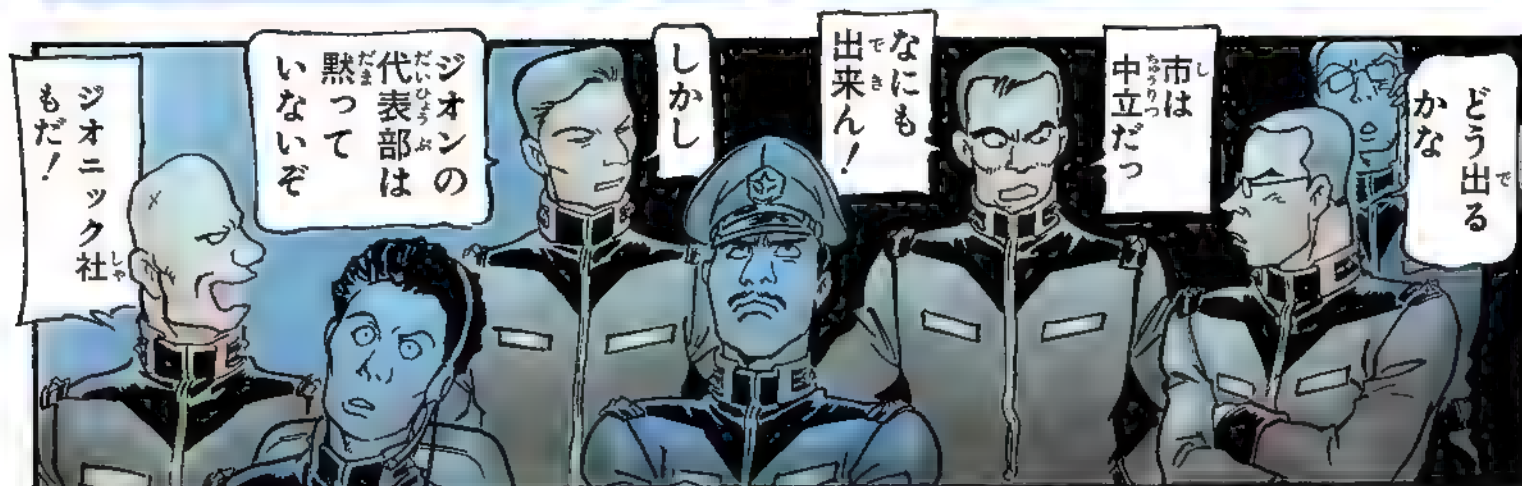
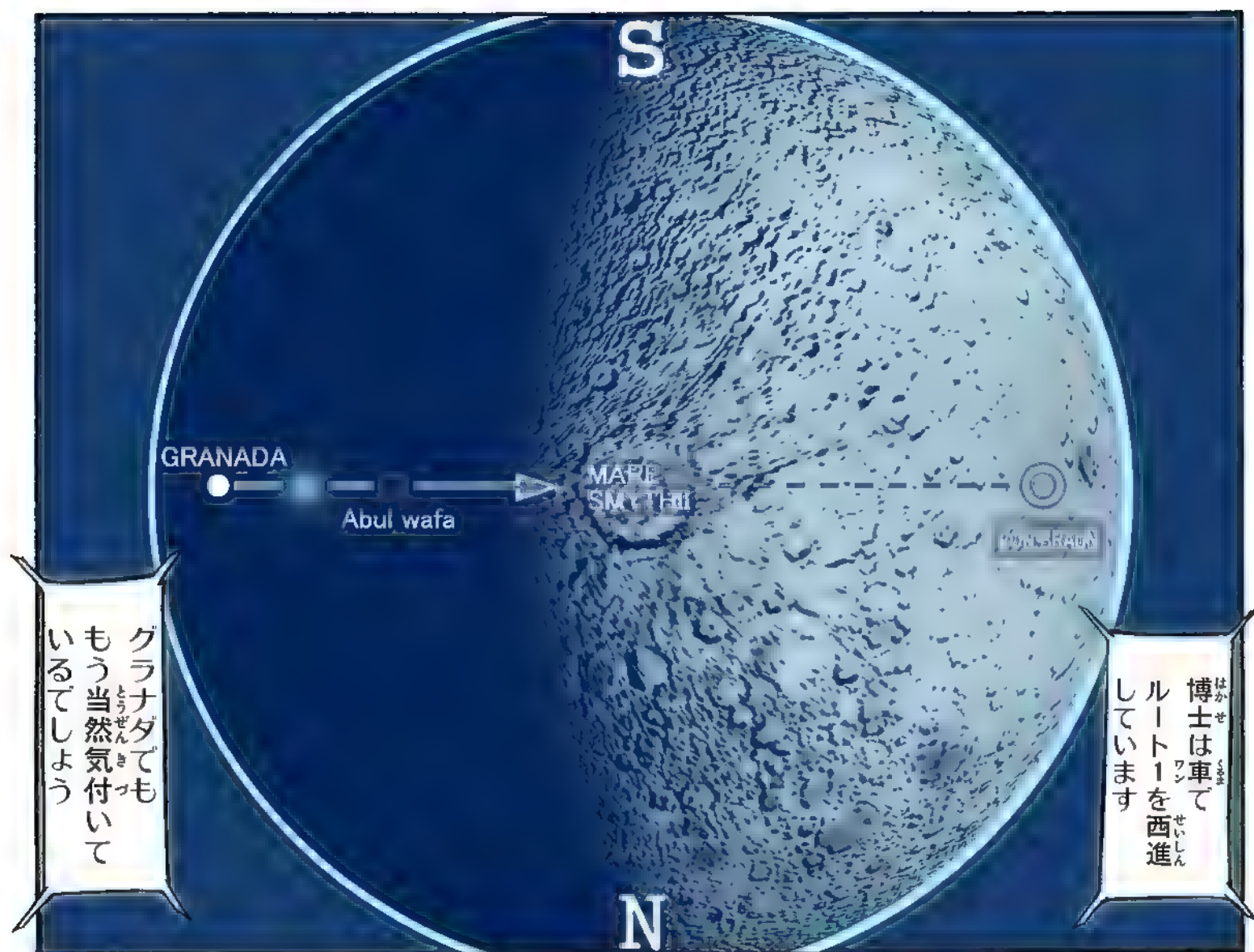
予期せぬ
新事態だ
諸君

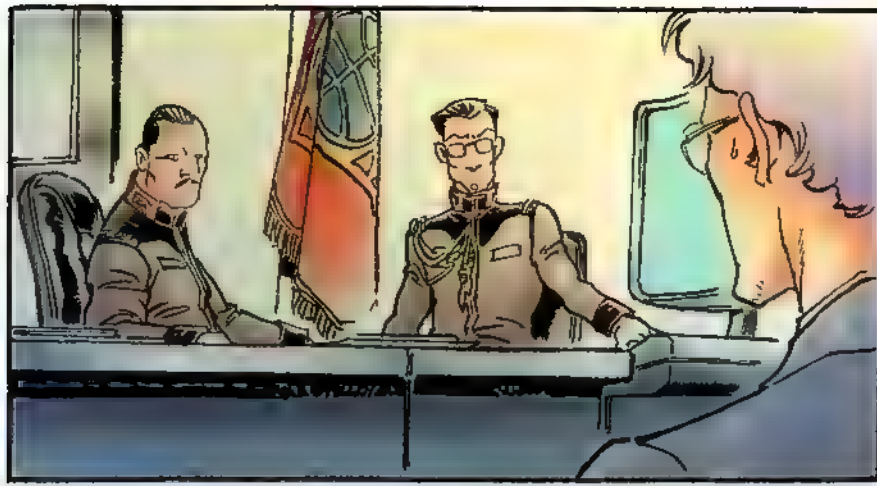
対応を
協議する

会議は
日を改めて
また



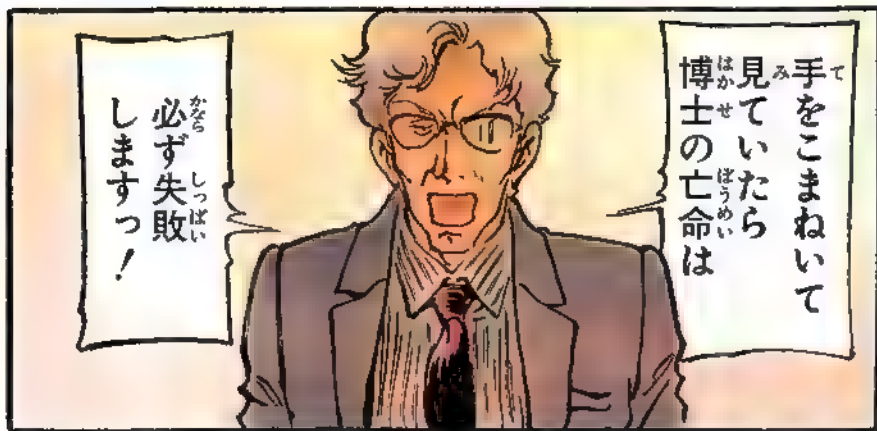






救援機を出して

私をそれに
乗せて下さいっ！



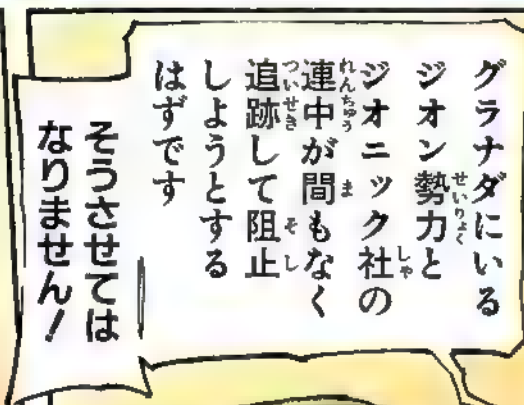
手をこまねいて
見ていたら
博士の亡命は

必ず失敗
しますっ！



博士は

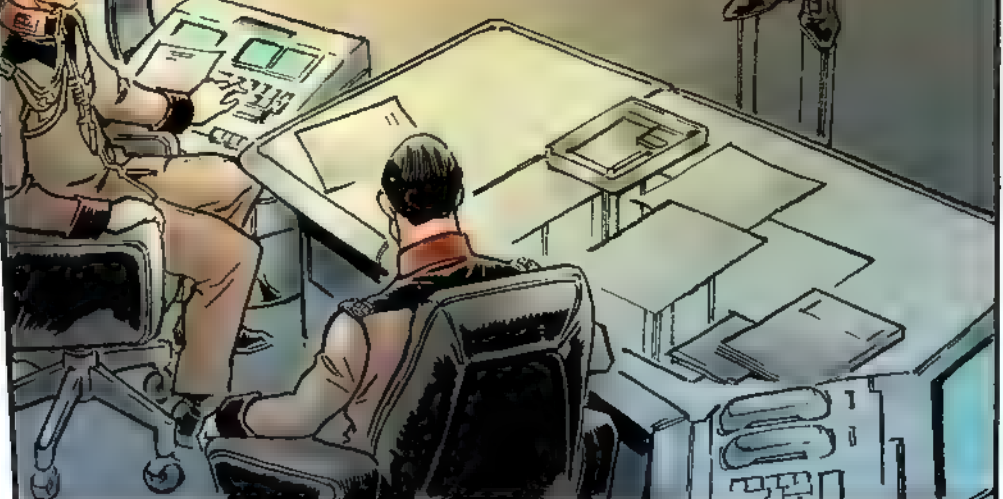
RX計画
にとつて
どうしても
必要な人です！

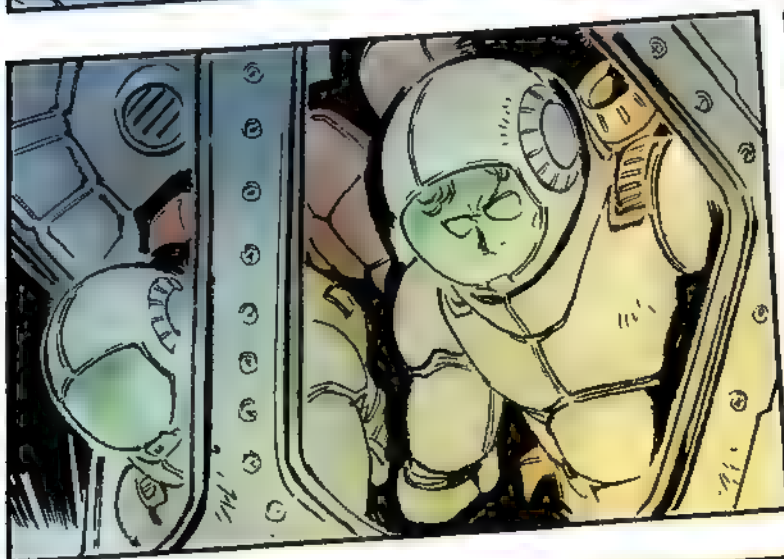
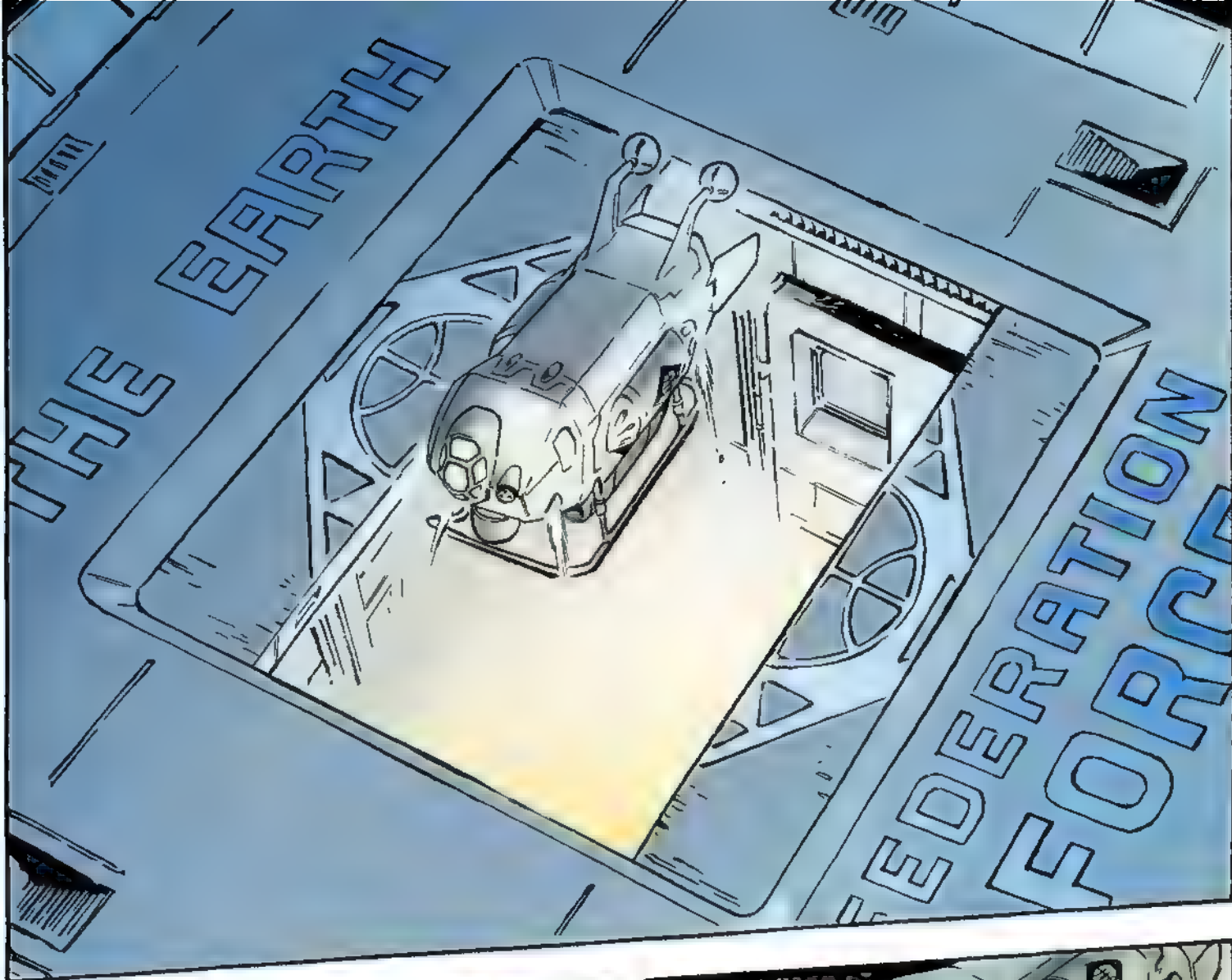


グラナダにいる
ジオン勢力と
ジオニックス社の
連中が間もなく
追跡して阻止
しようとする
はずです
そうさせては
なりません！

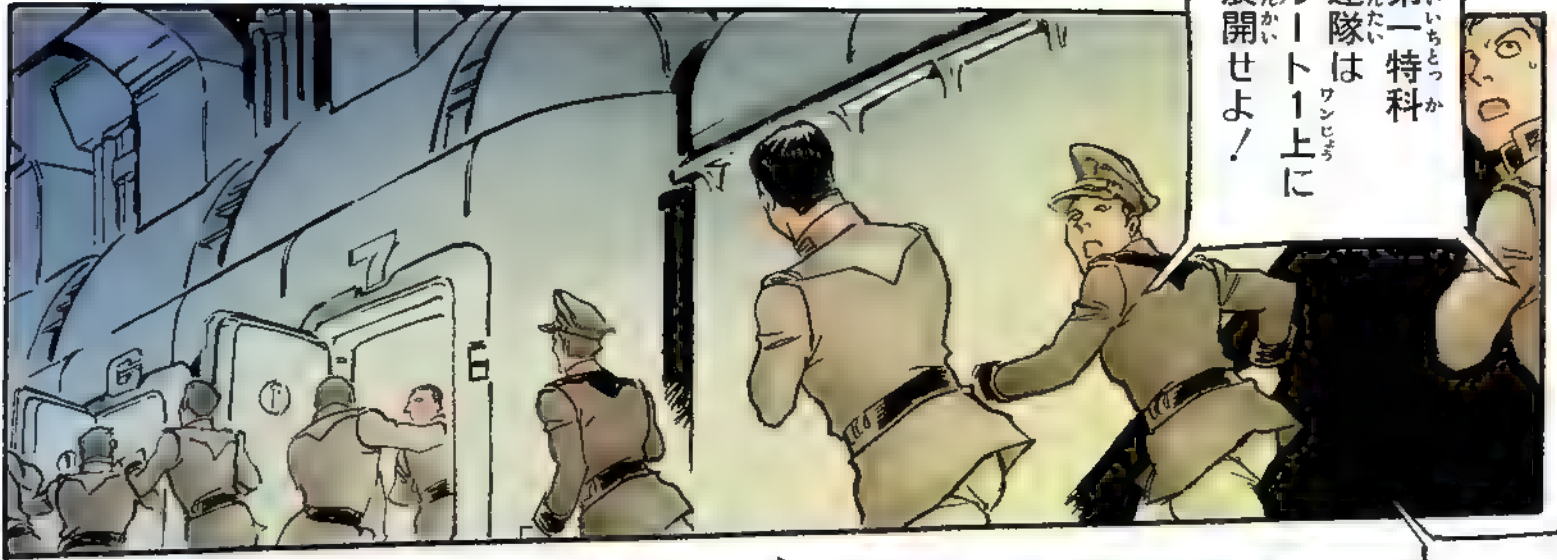


グラナダ、フォン・ブラウン間の
四千キロは単独逃避行には
長くて苛酷すぎます！

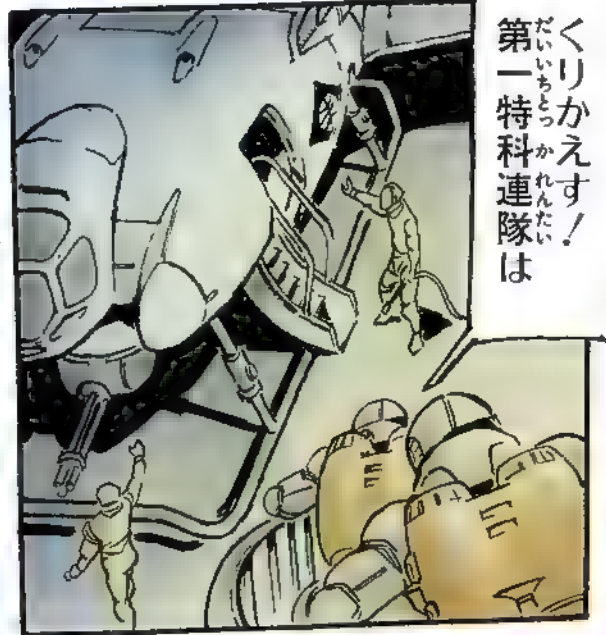




第一特科連隊はルート1上に展開せよ!

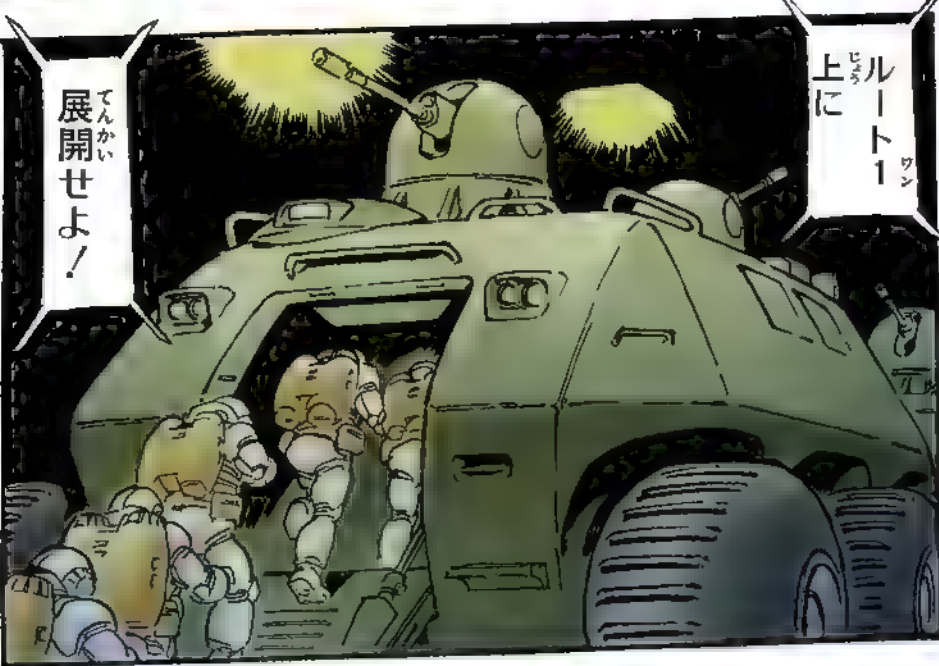


くりかえす! 第一特科連隊は

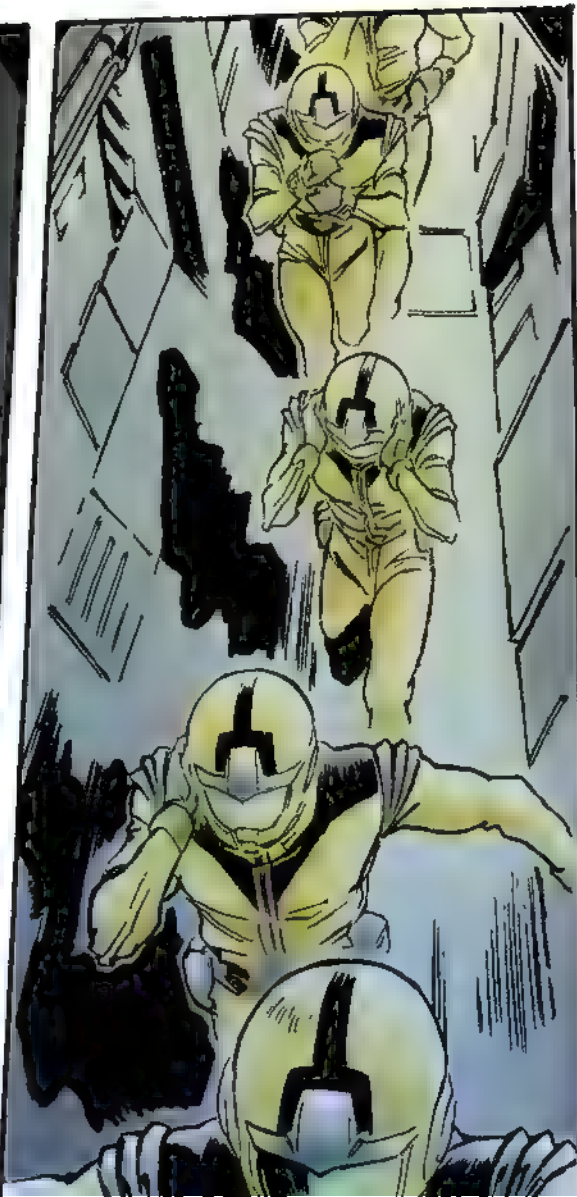


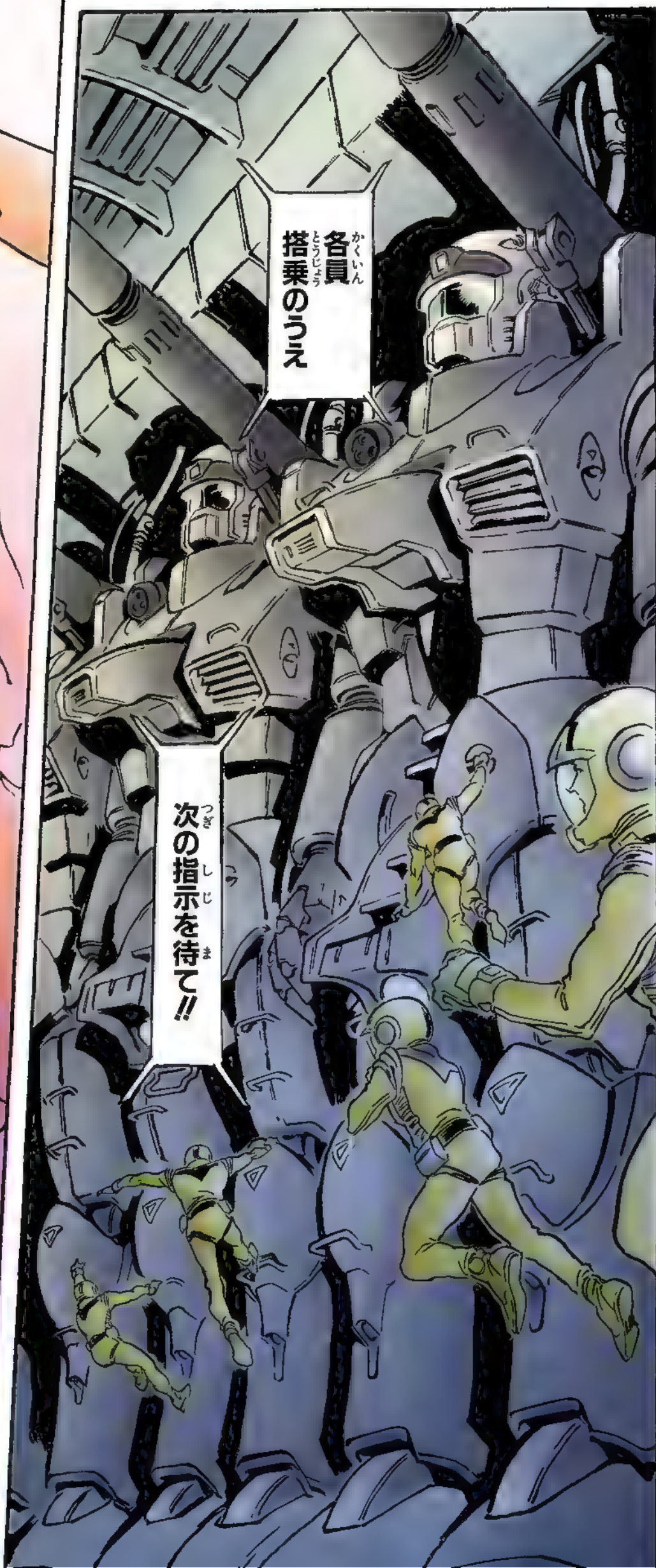
ルート1上に

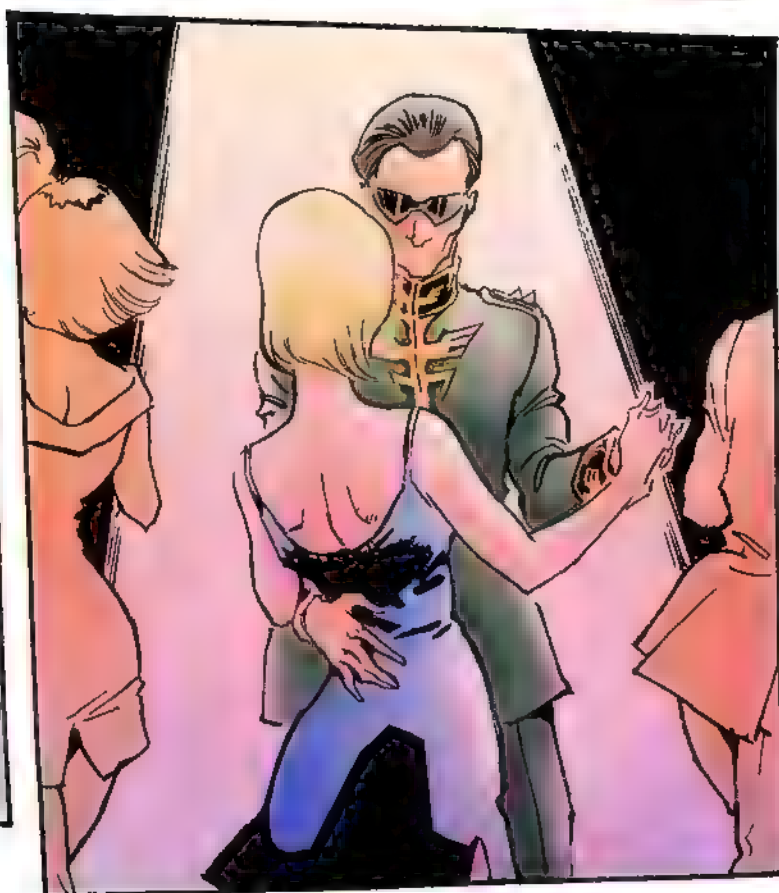
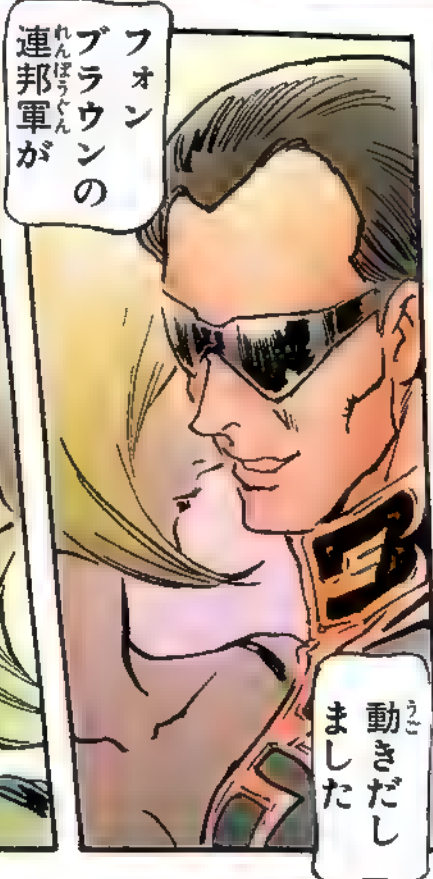
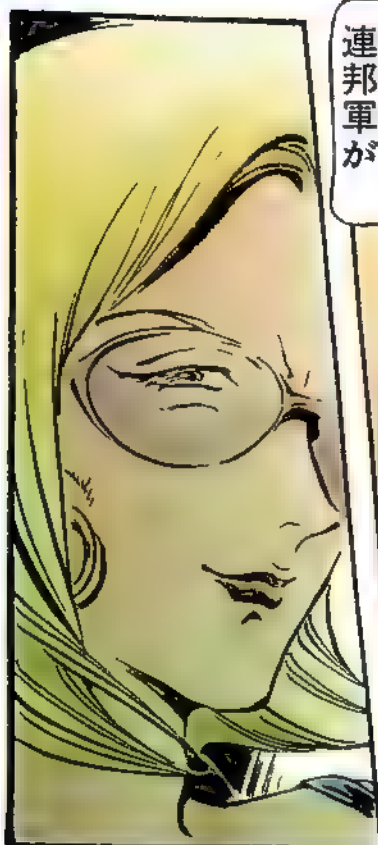
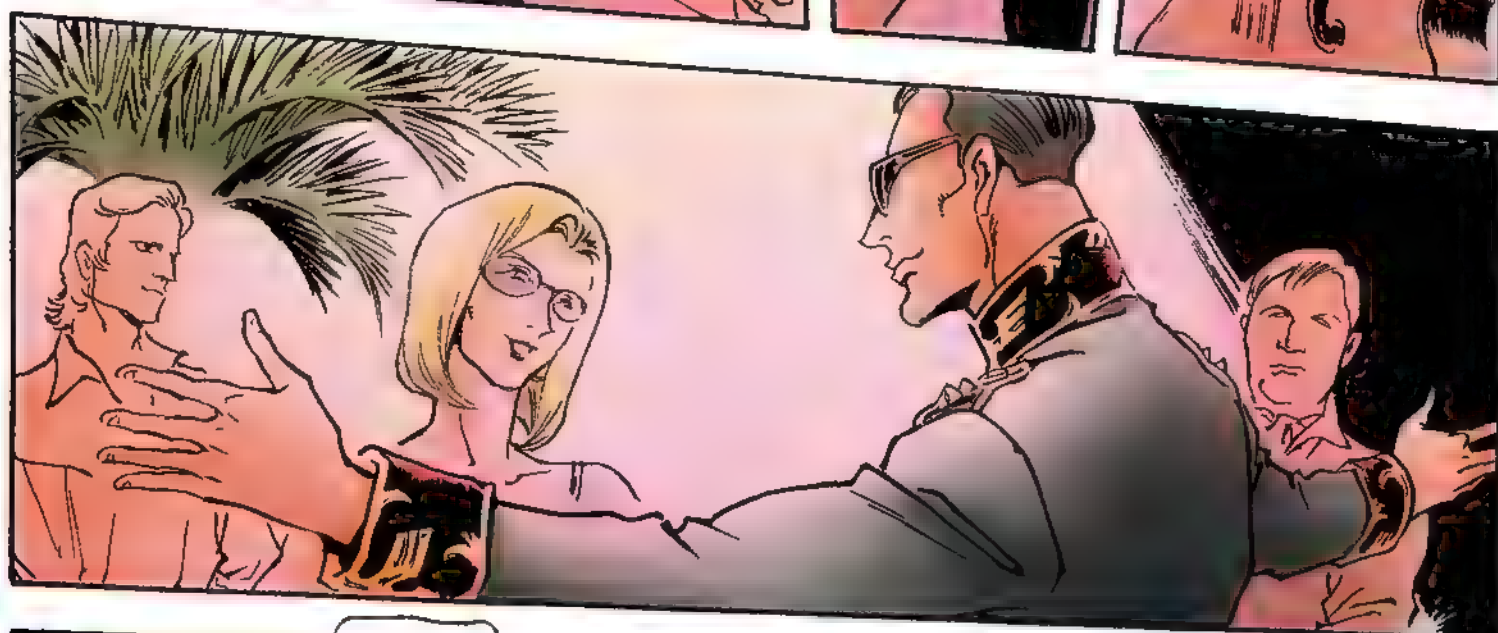
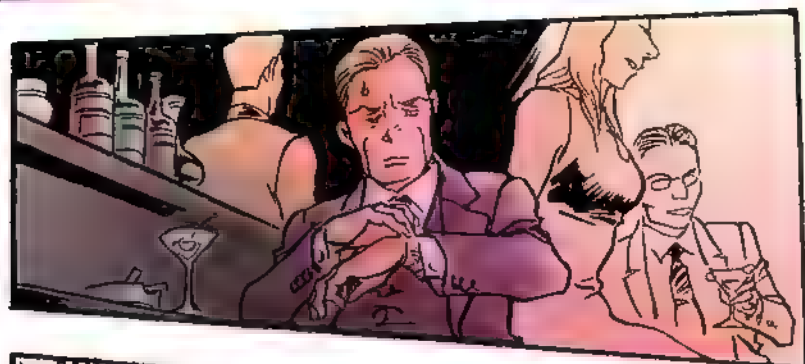
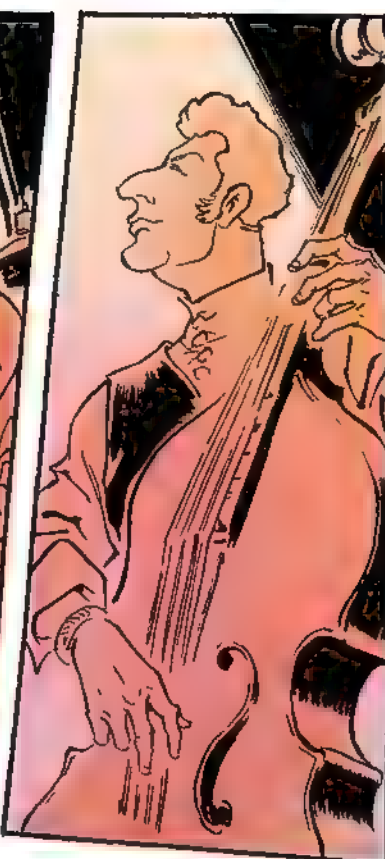
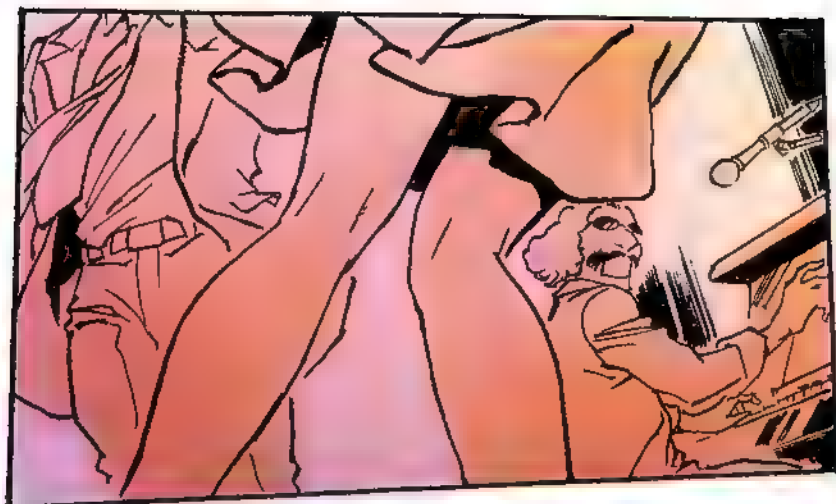
展開せよ!

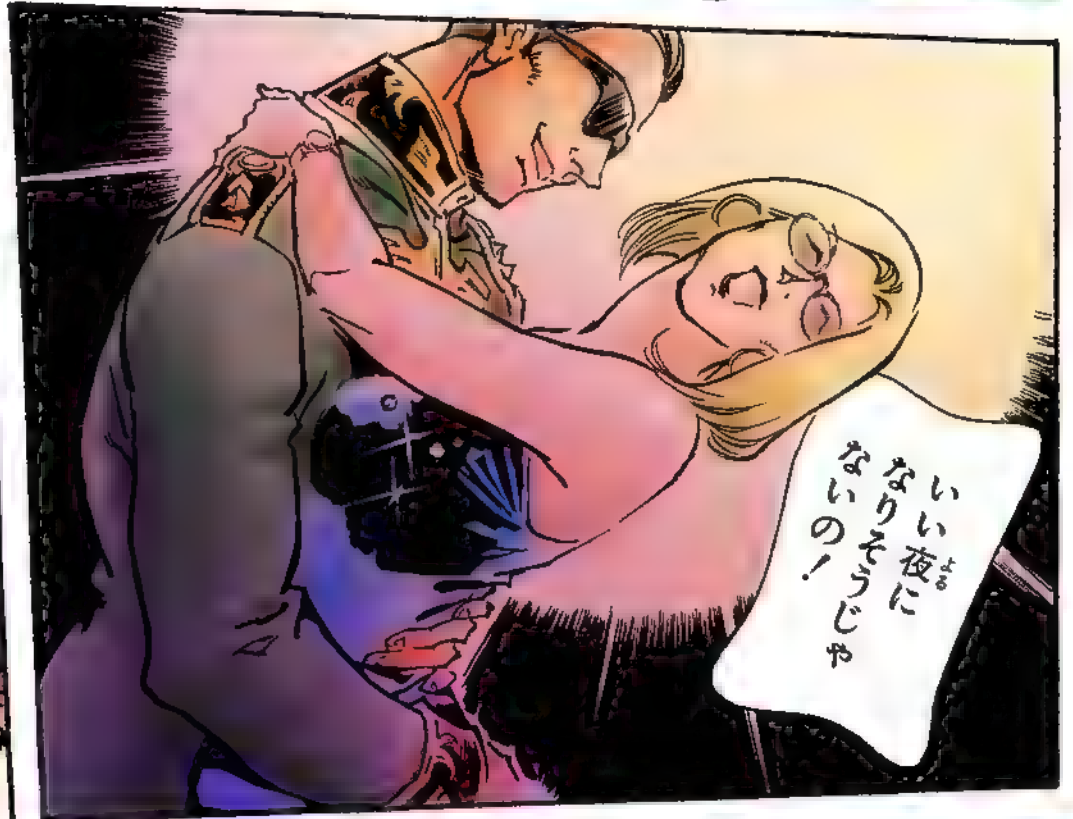
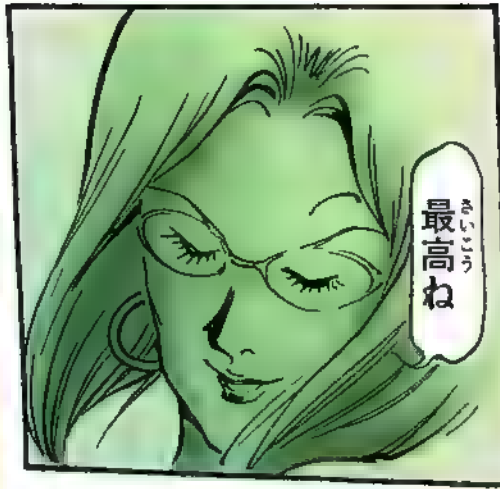


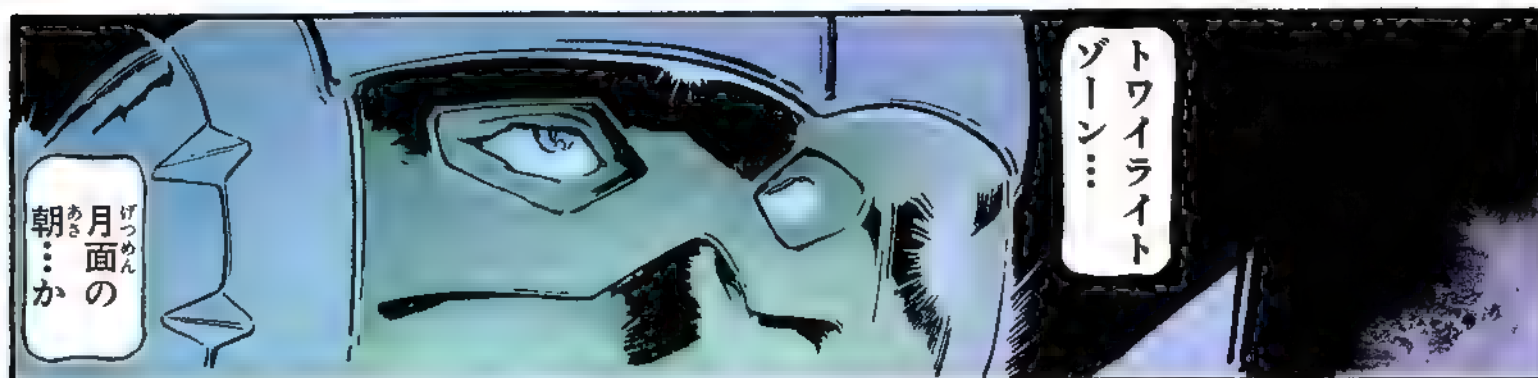
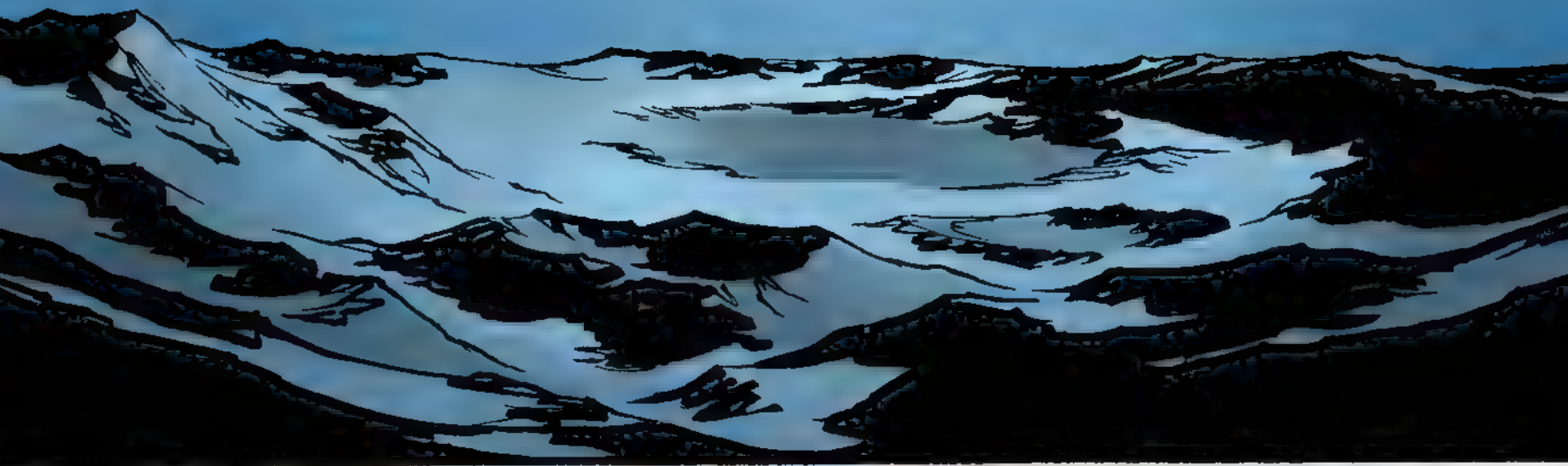
鉄騎兵大隊も
出動準備態勢!

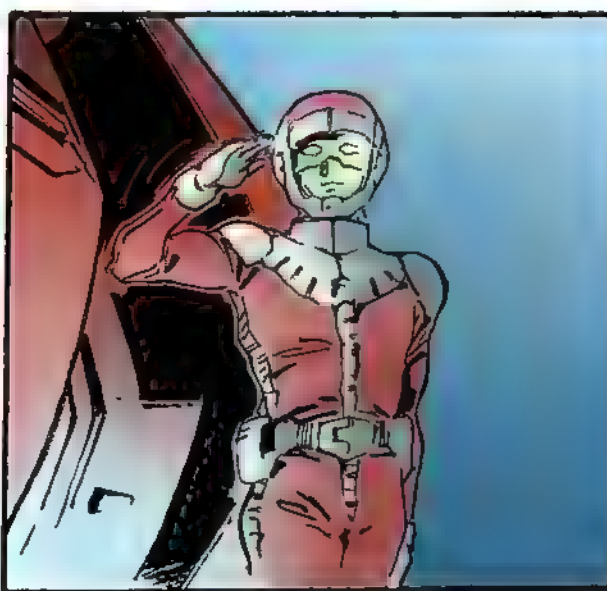
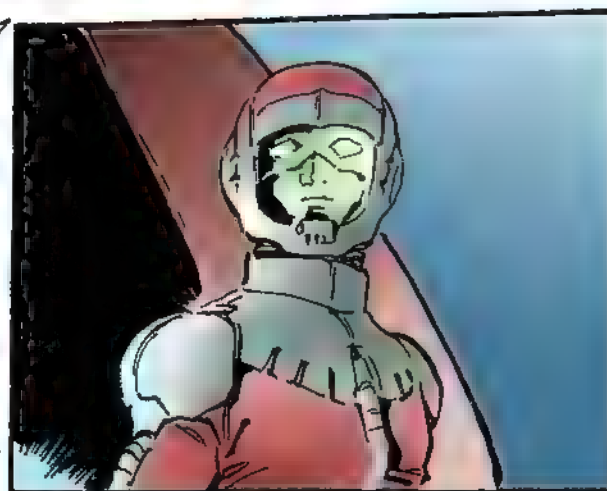
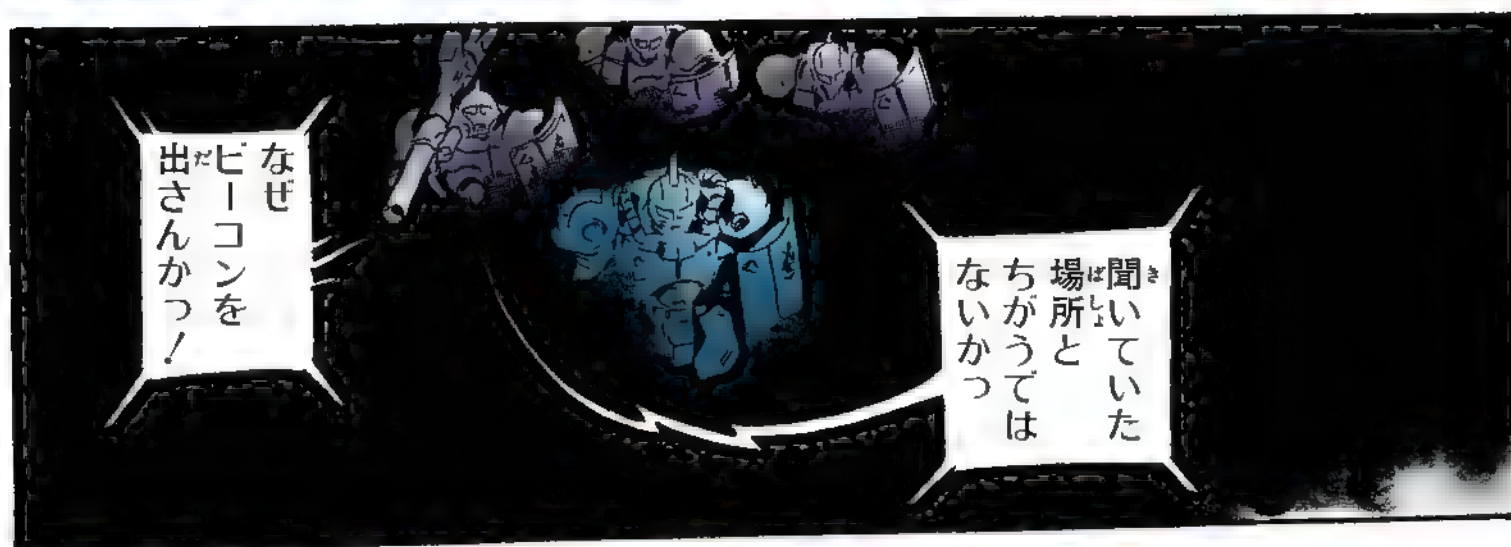
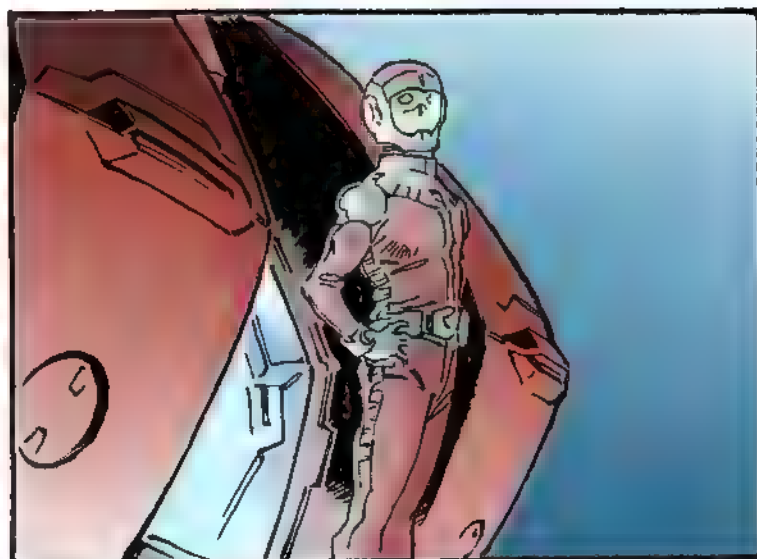


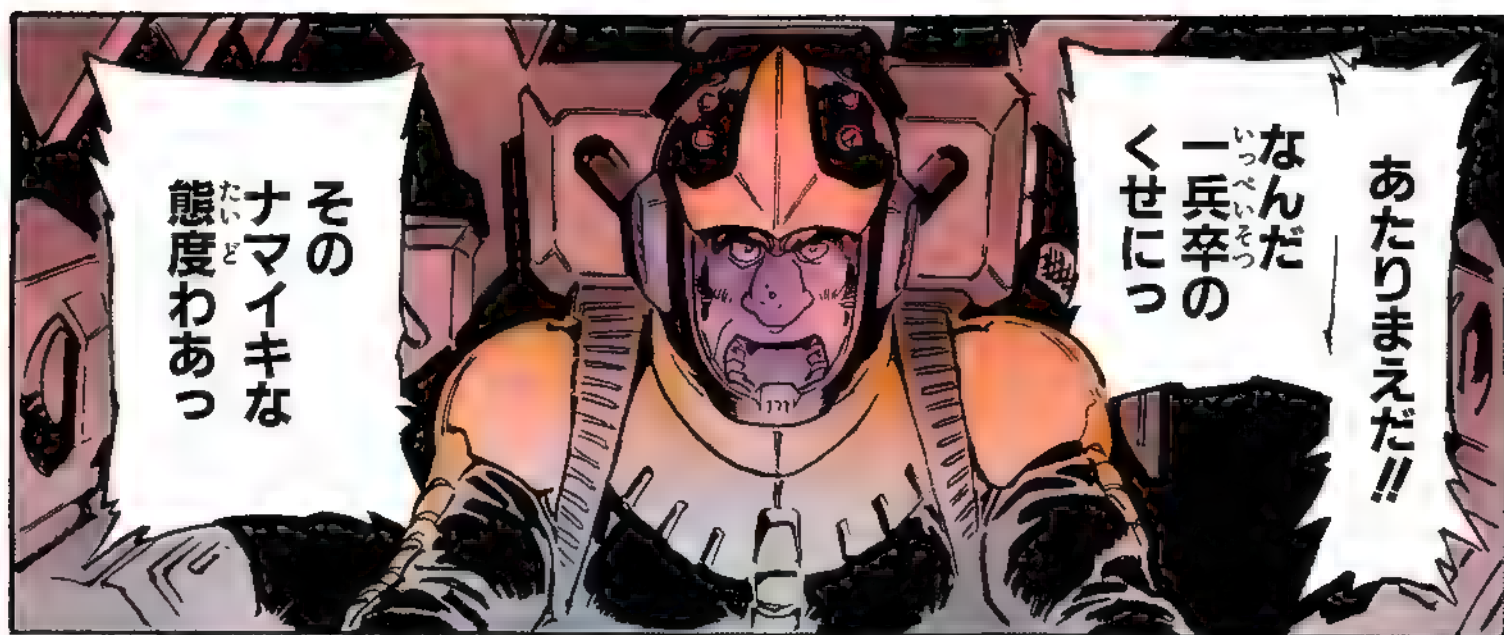








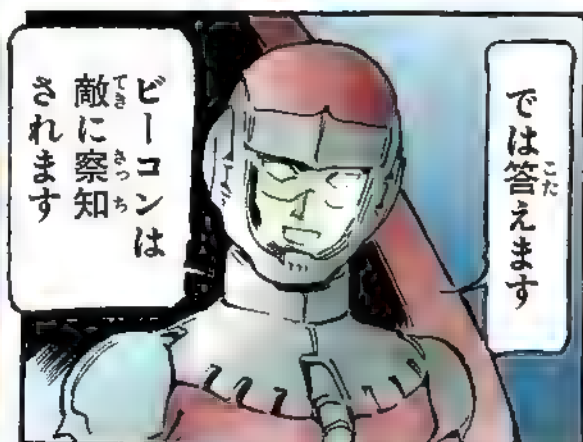




あたりまえだ!!

なんだ
いっぺいそつ
一兵卒の
くせにつ

その
ナマイキな
態度わあつ



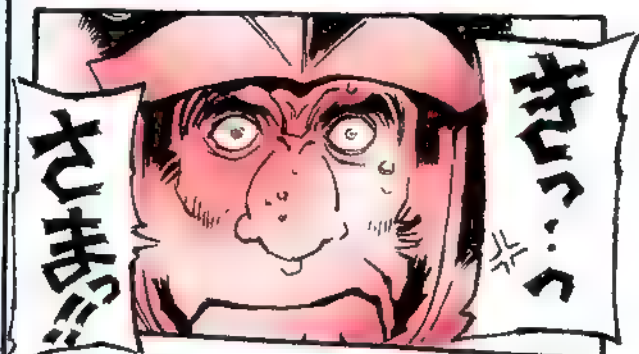
では答えます

ビーコンは
敵に察知
されます



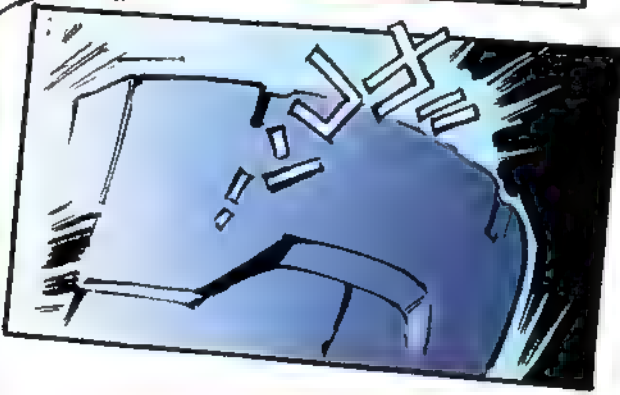
そんなものが
なくても充分に
探索できるから

准尉殿はここに
来られたのでしょうか?

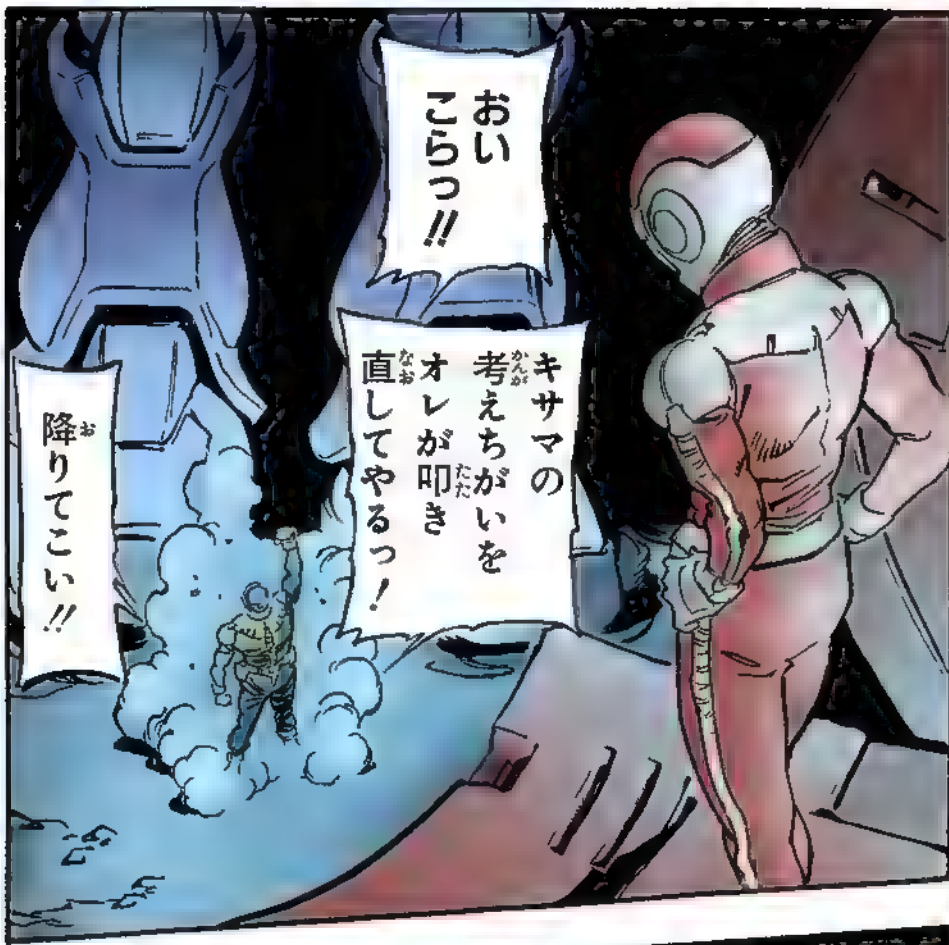
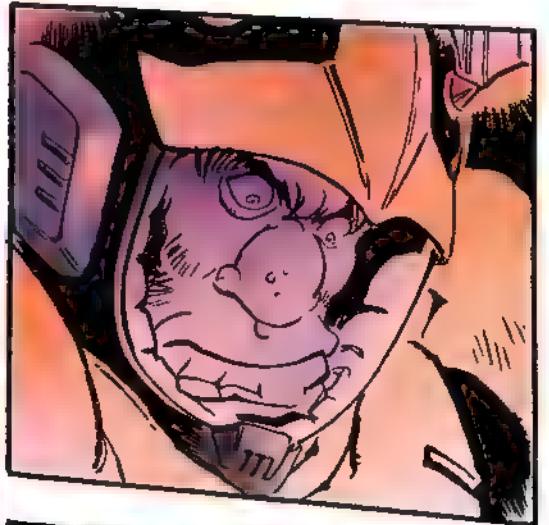
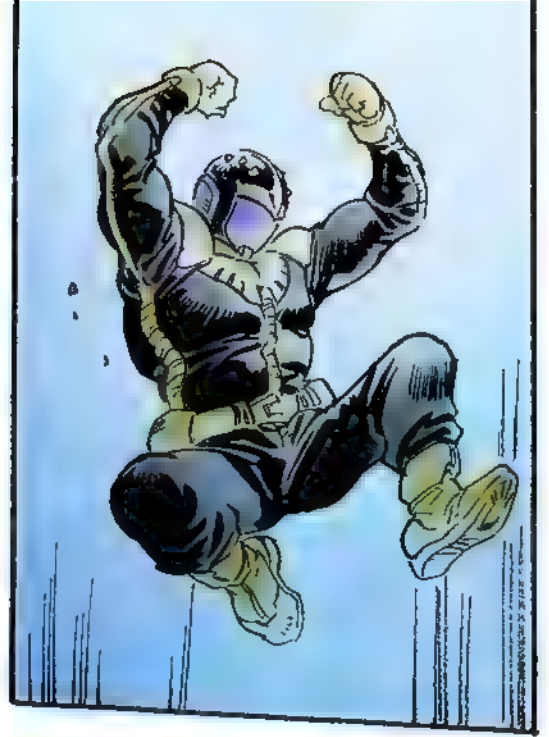


きっ

さあ



オル



おい
こらっ!!

キサマの
考えちがいを
オレが叩き
直してやるっ!

降りてこい!!



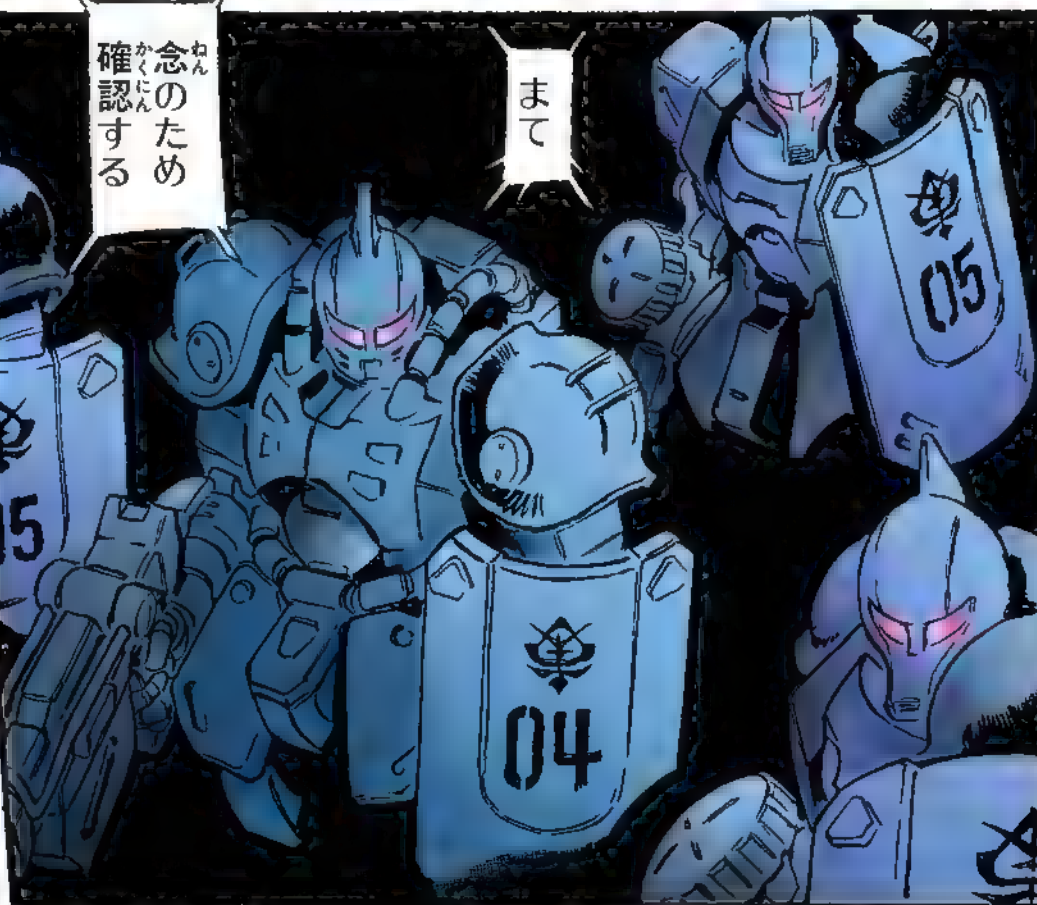
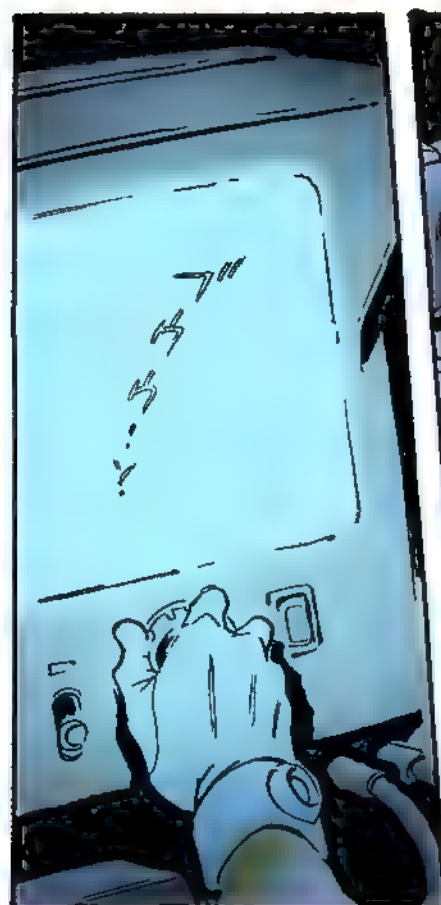
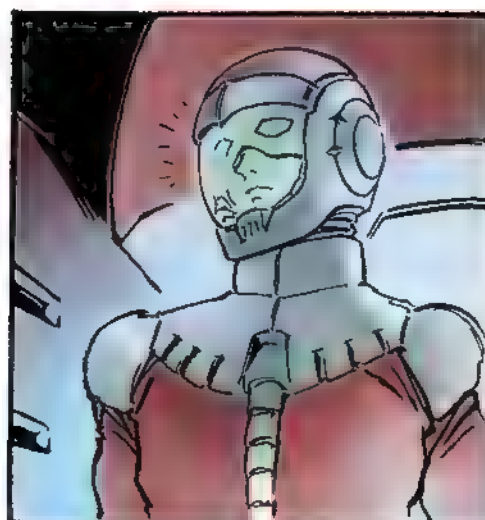
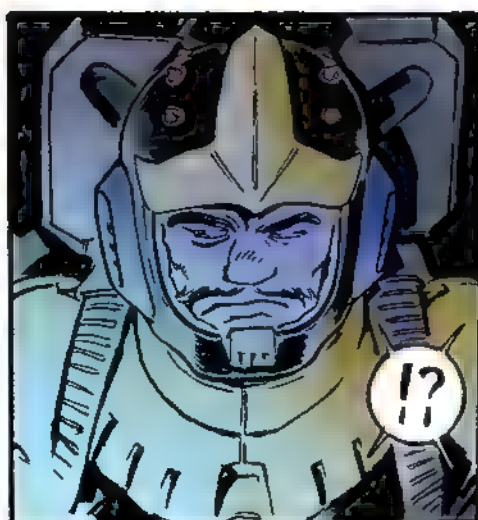
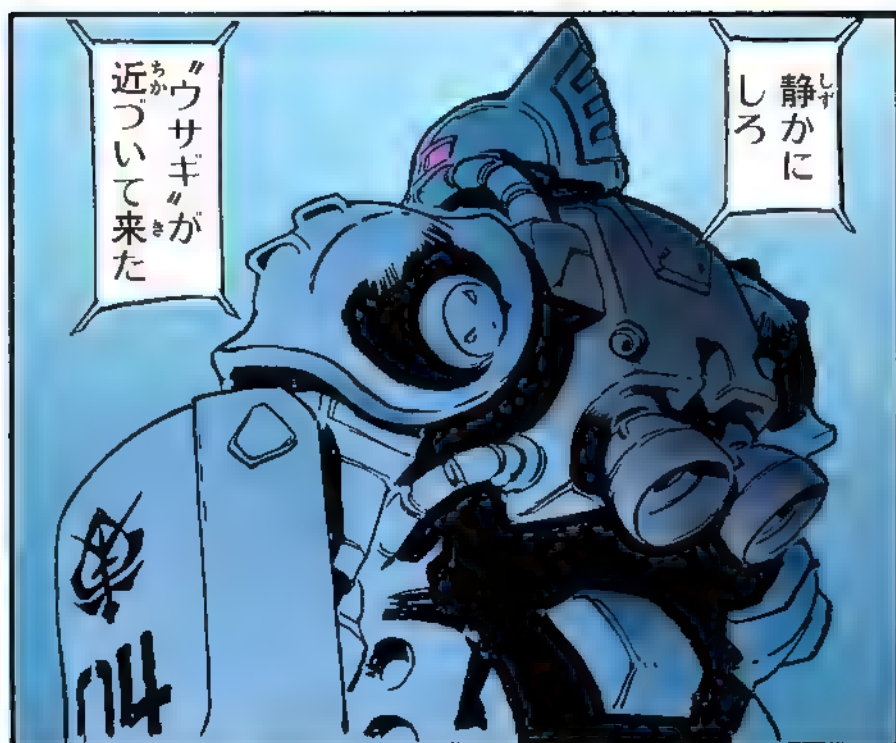
なんだキサマ!!

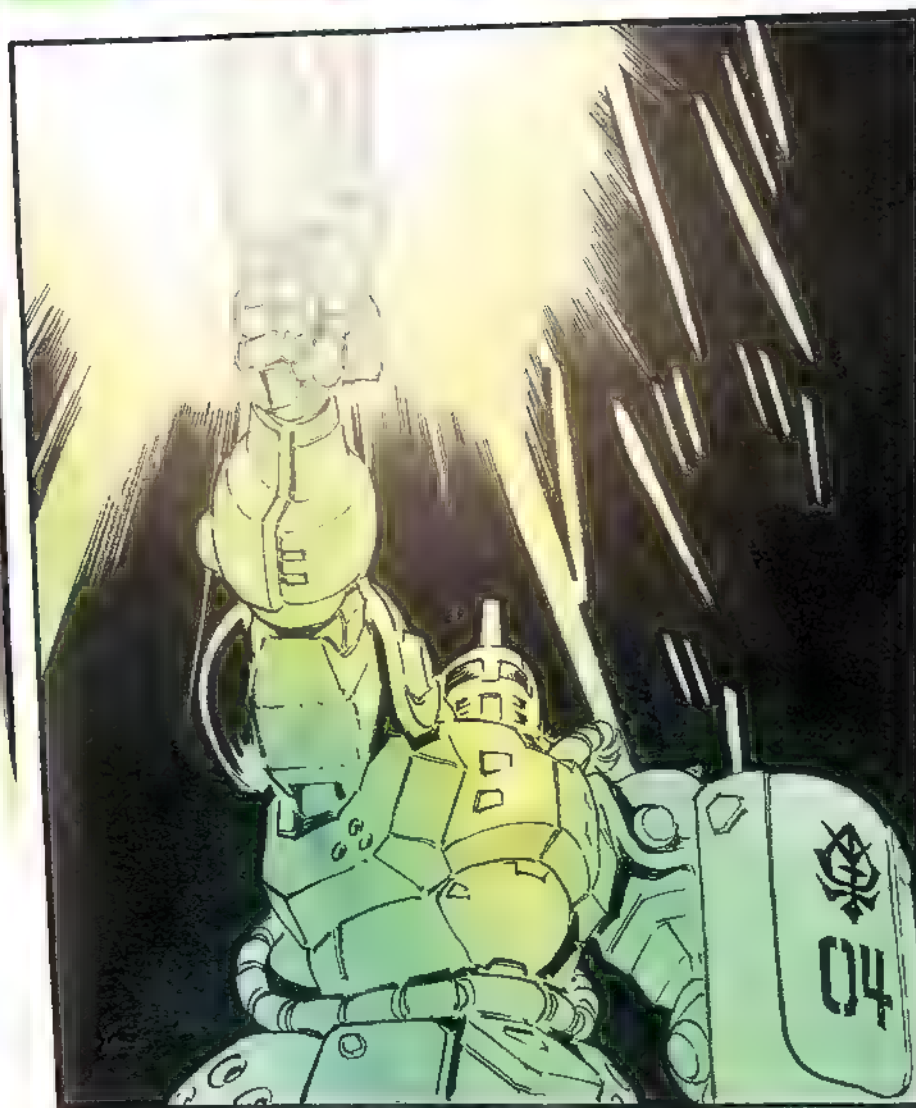
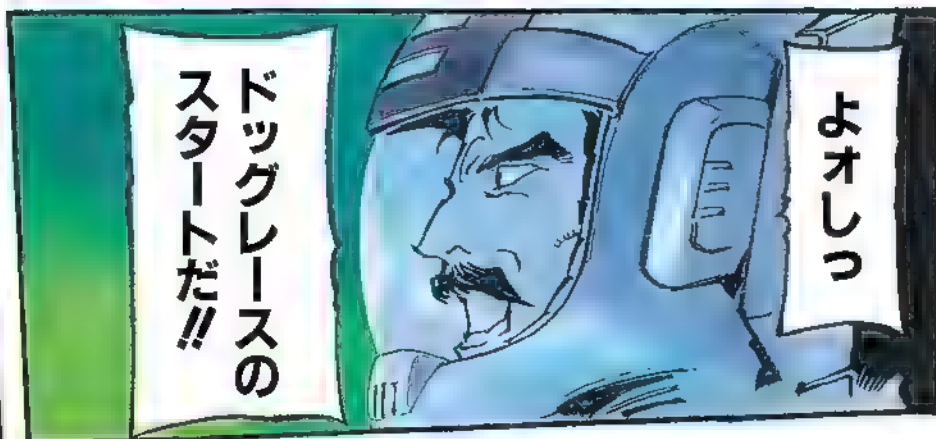
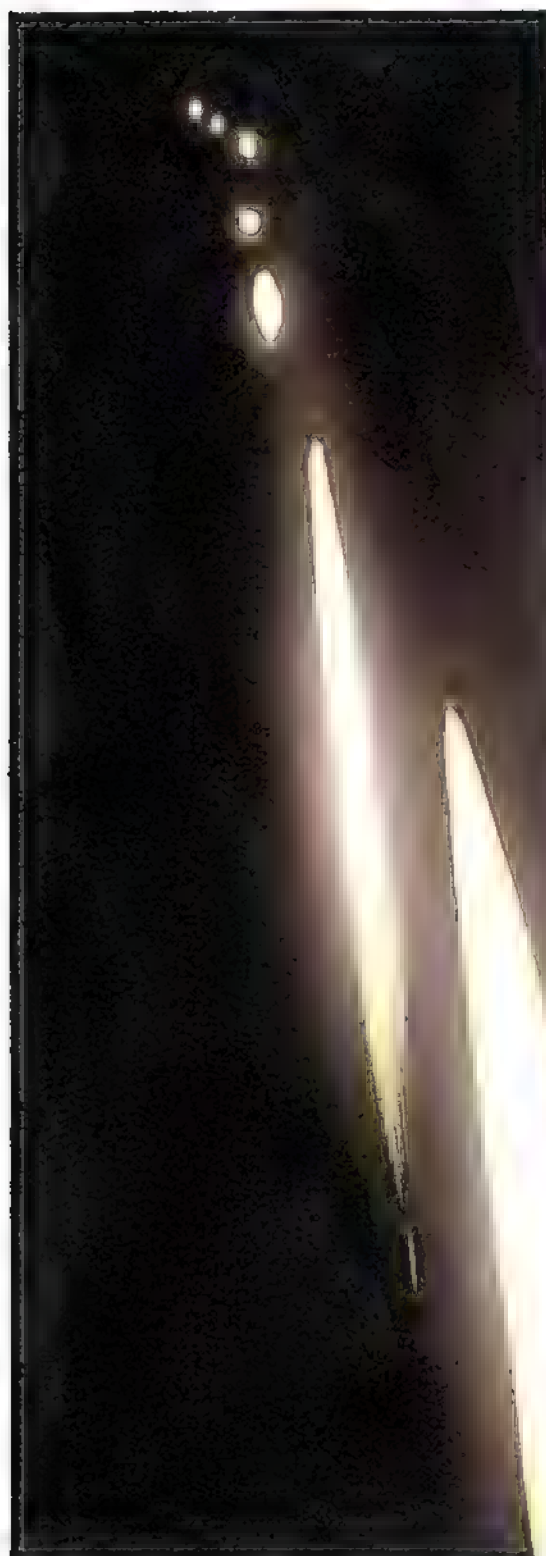
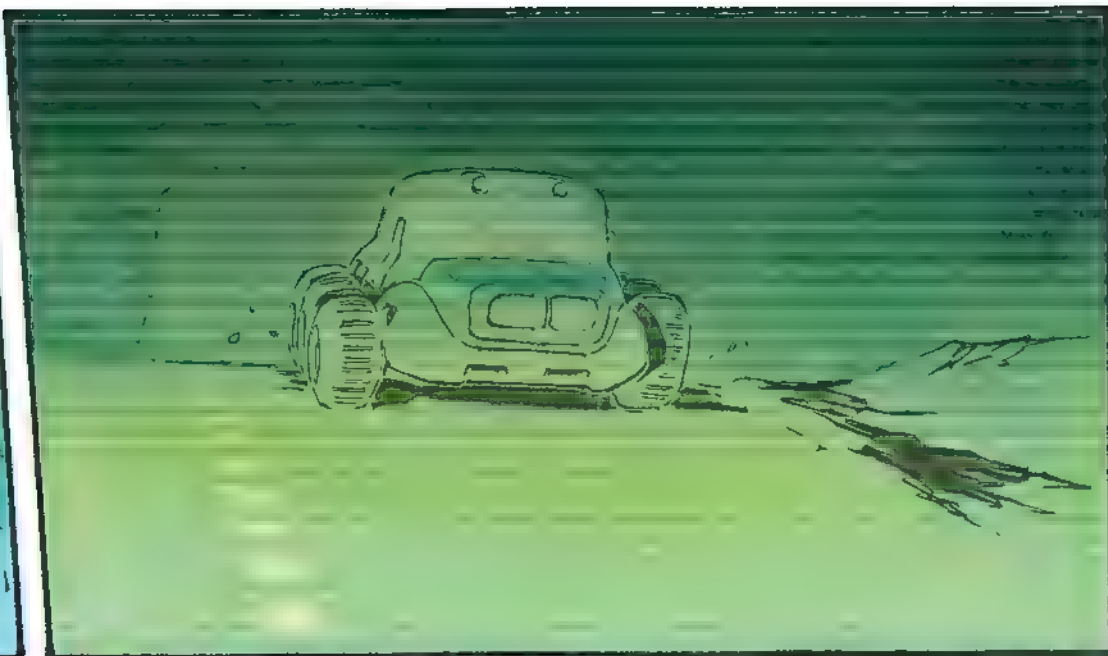
上官を上から
見おろして
ニヤけているなっ!!

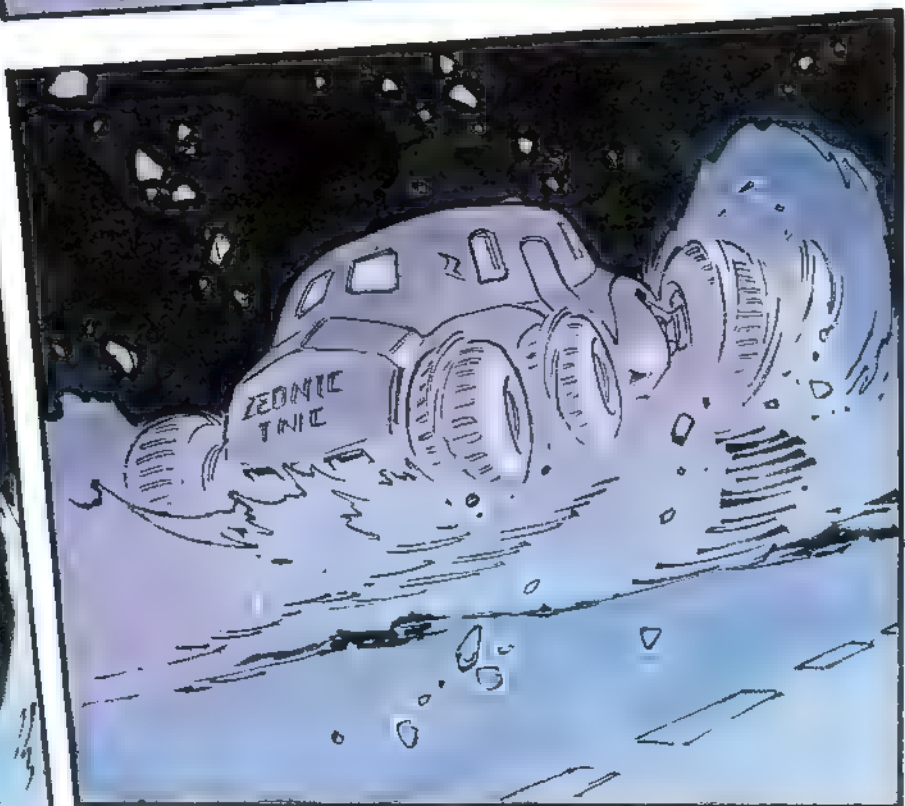
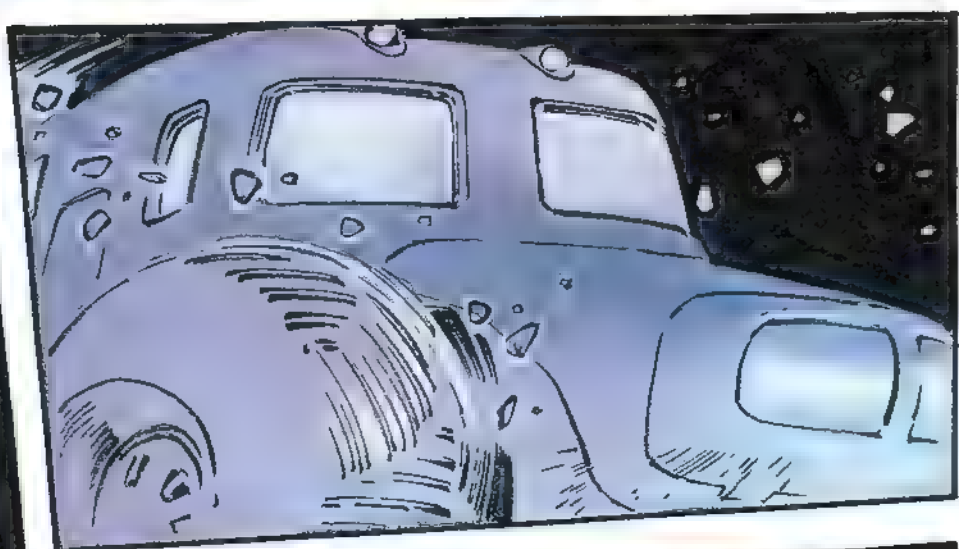
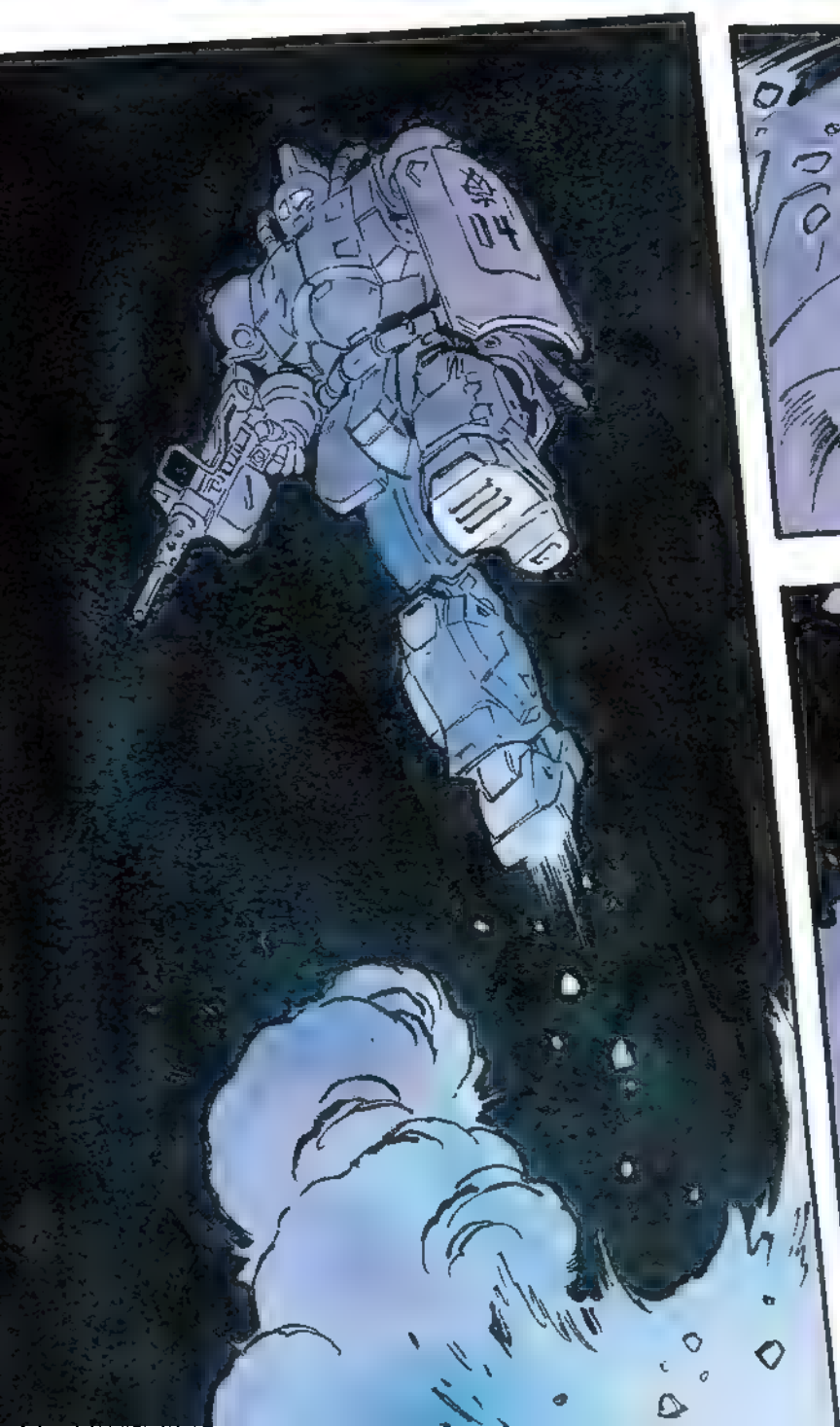
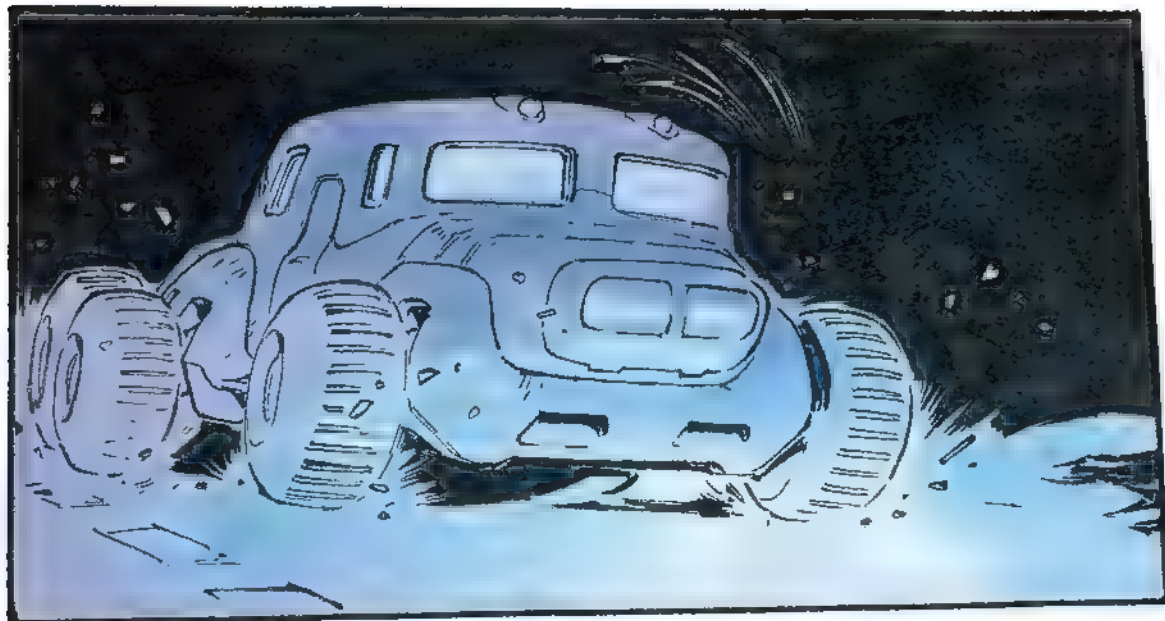
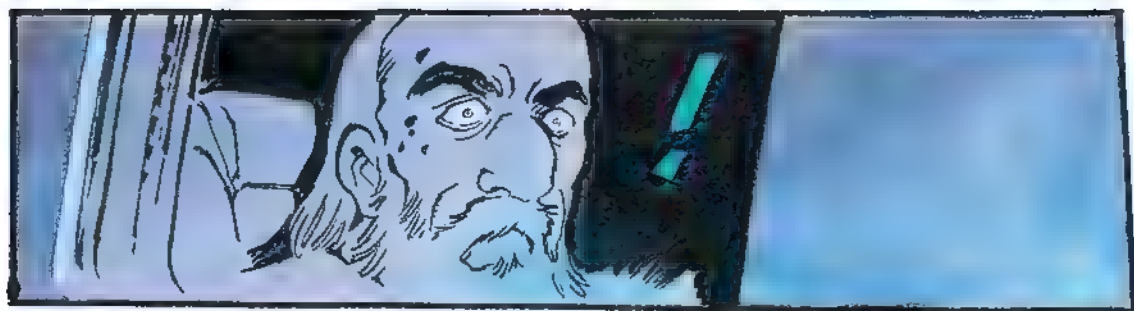


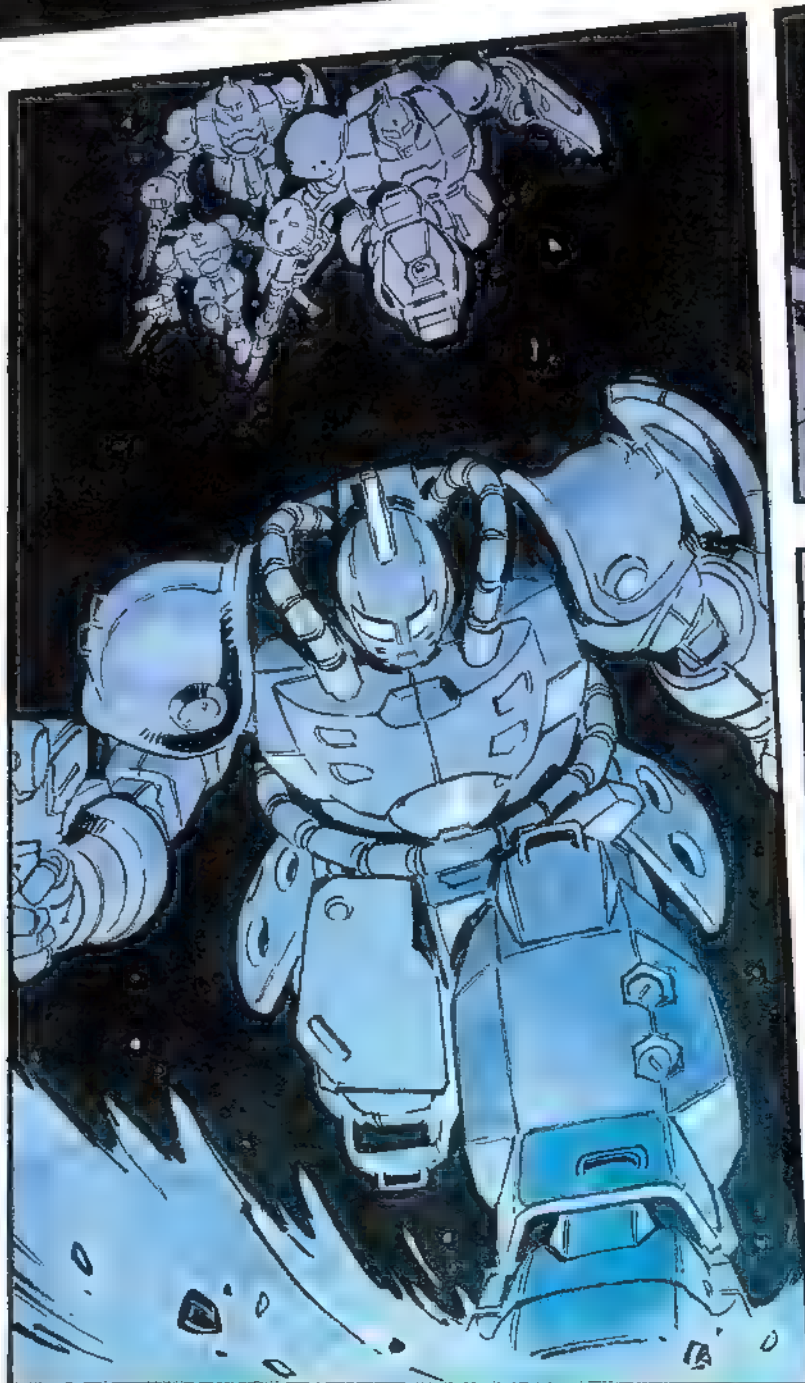
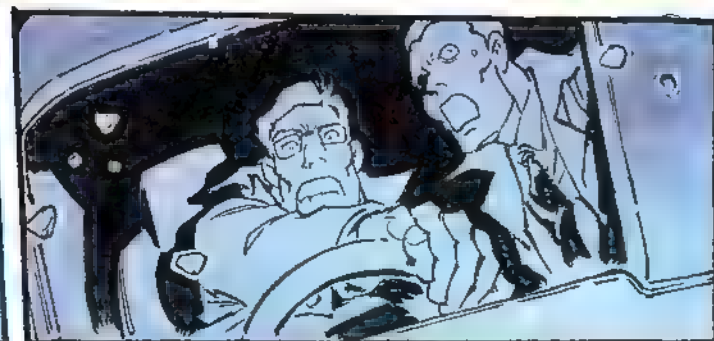
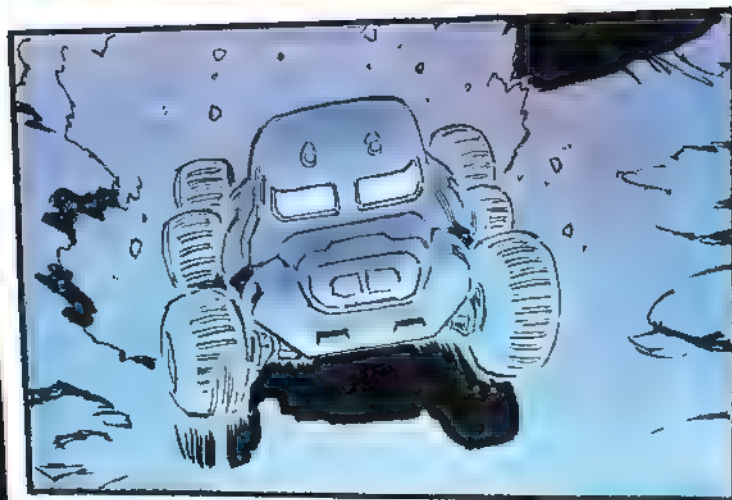
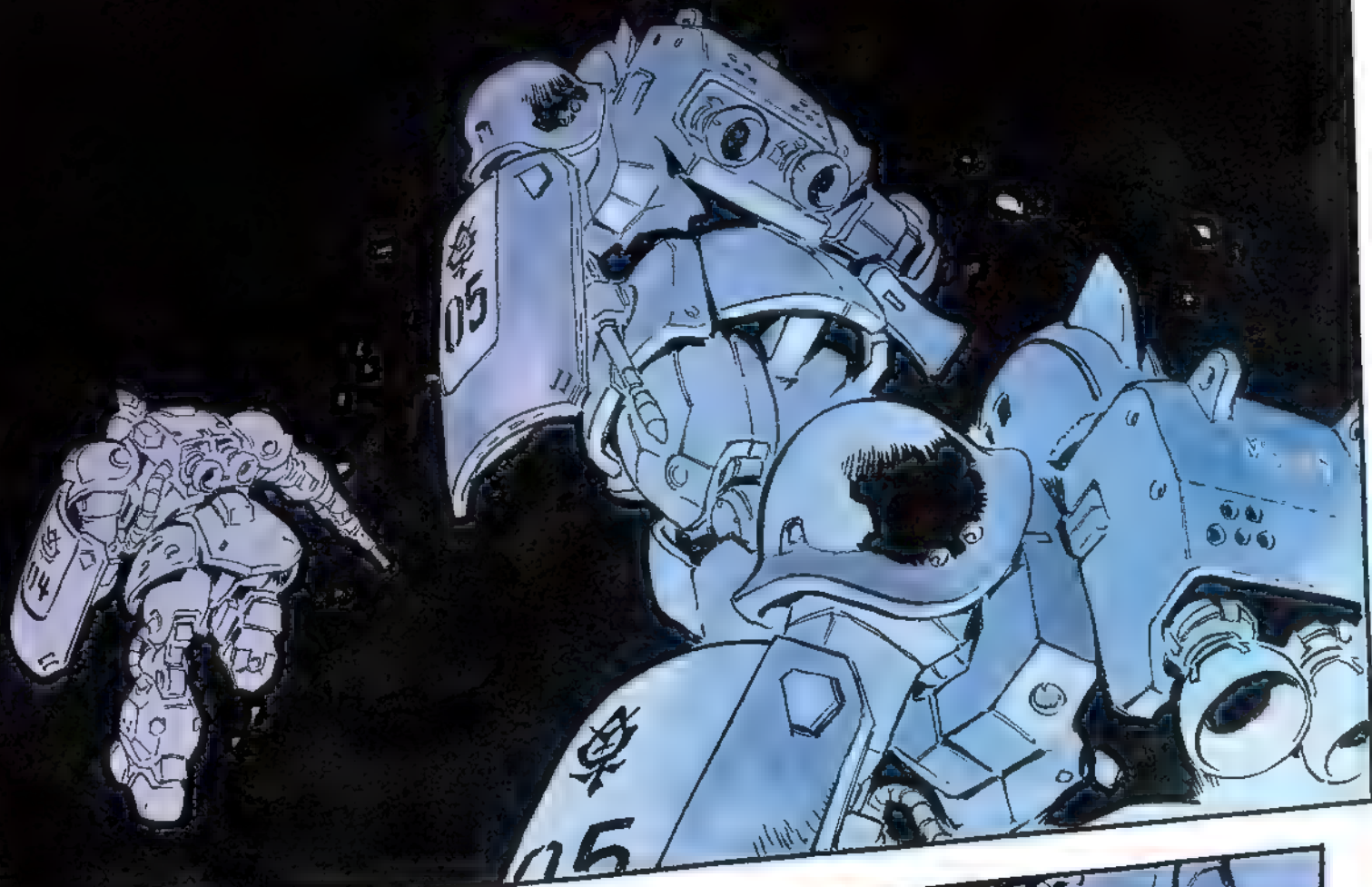
勝手に
とびおり
られたの
でしょう
准尉殿

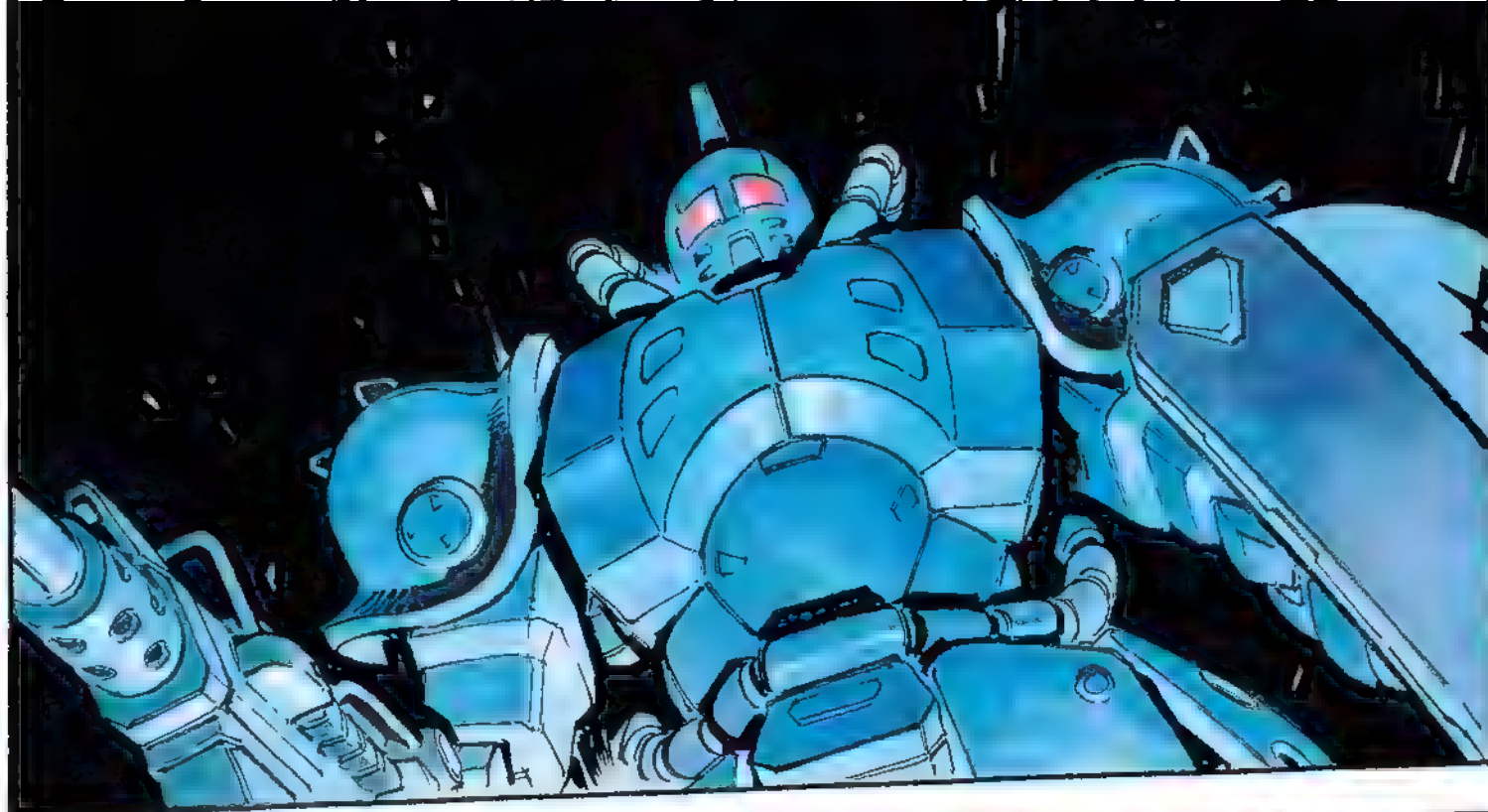
戻られたほうが良くは
ありませんか?

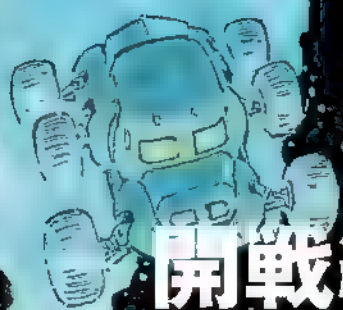






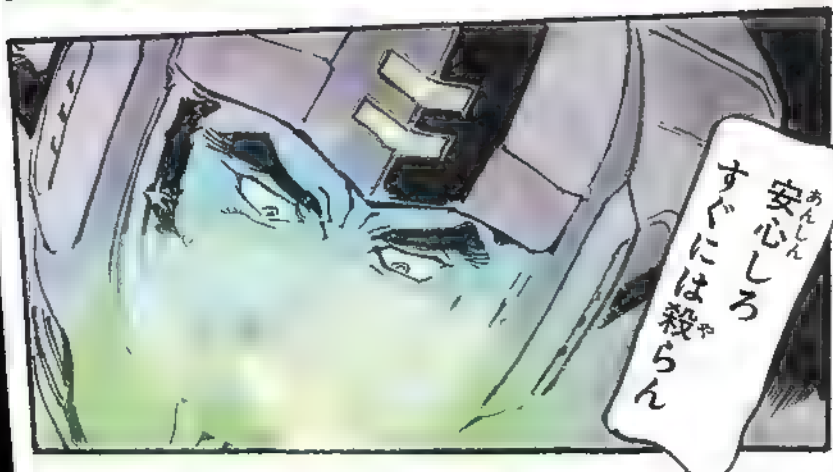
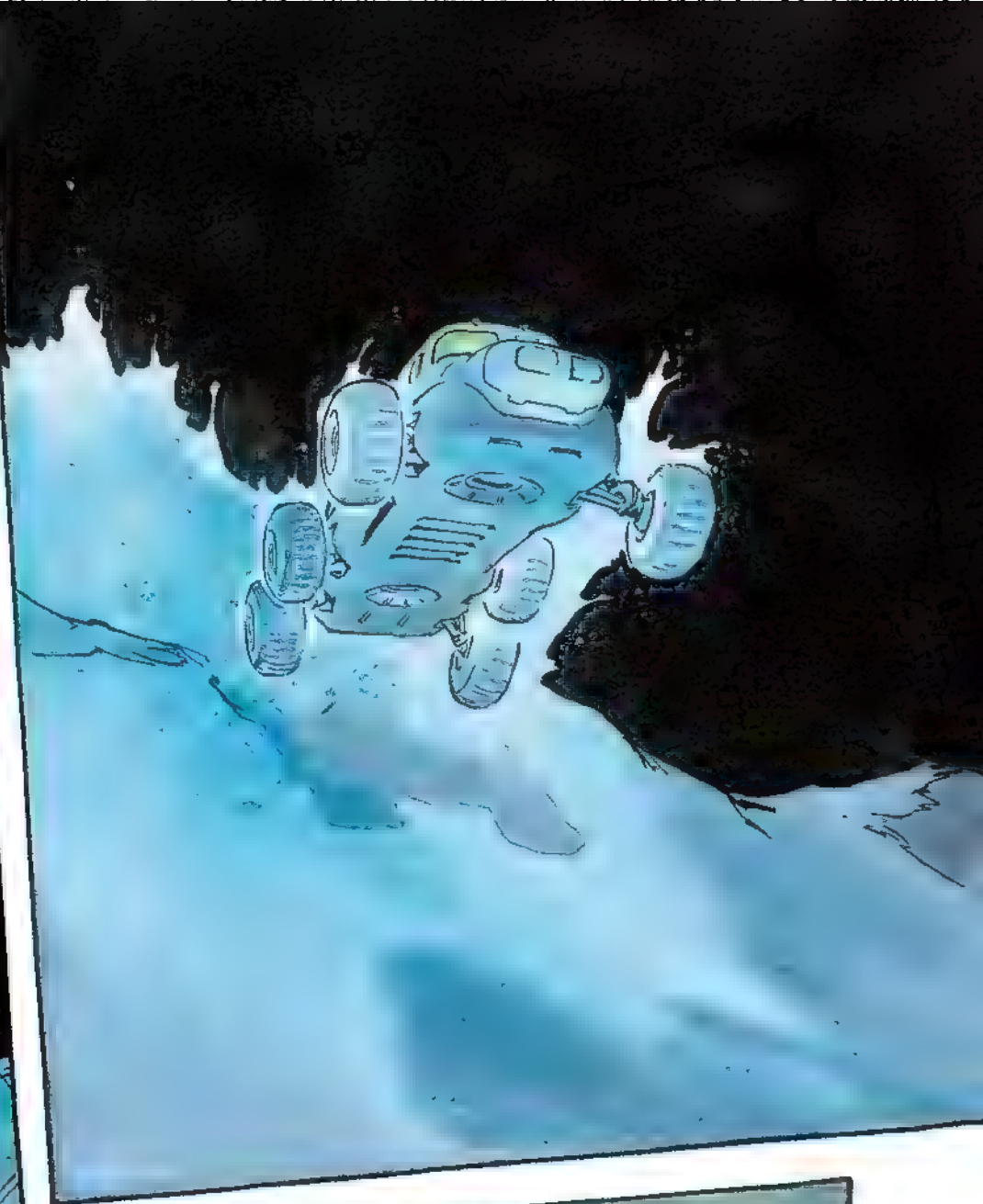
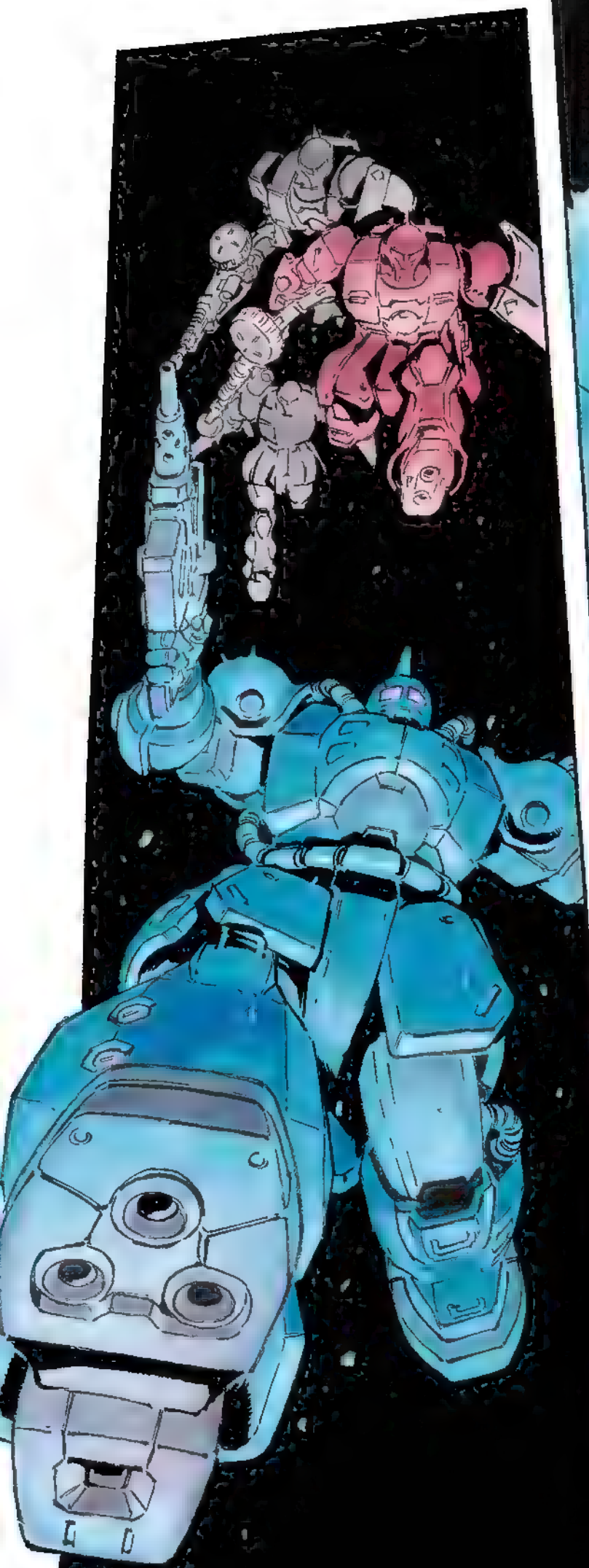


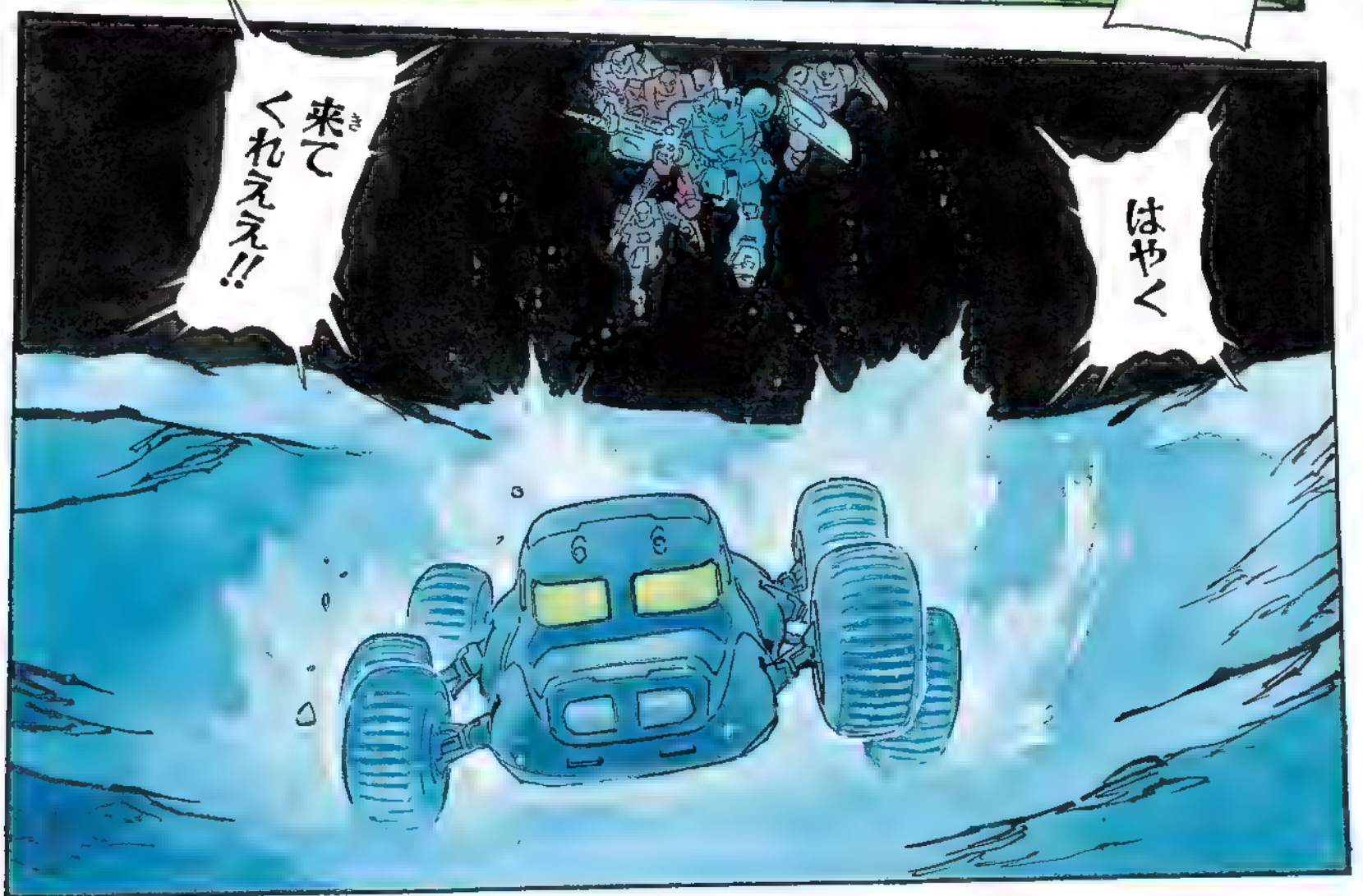
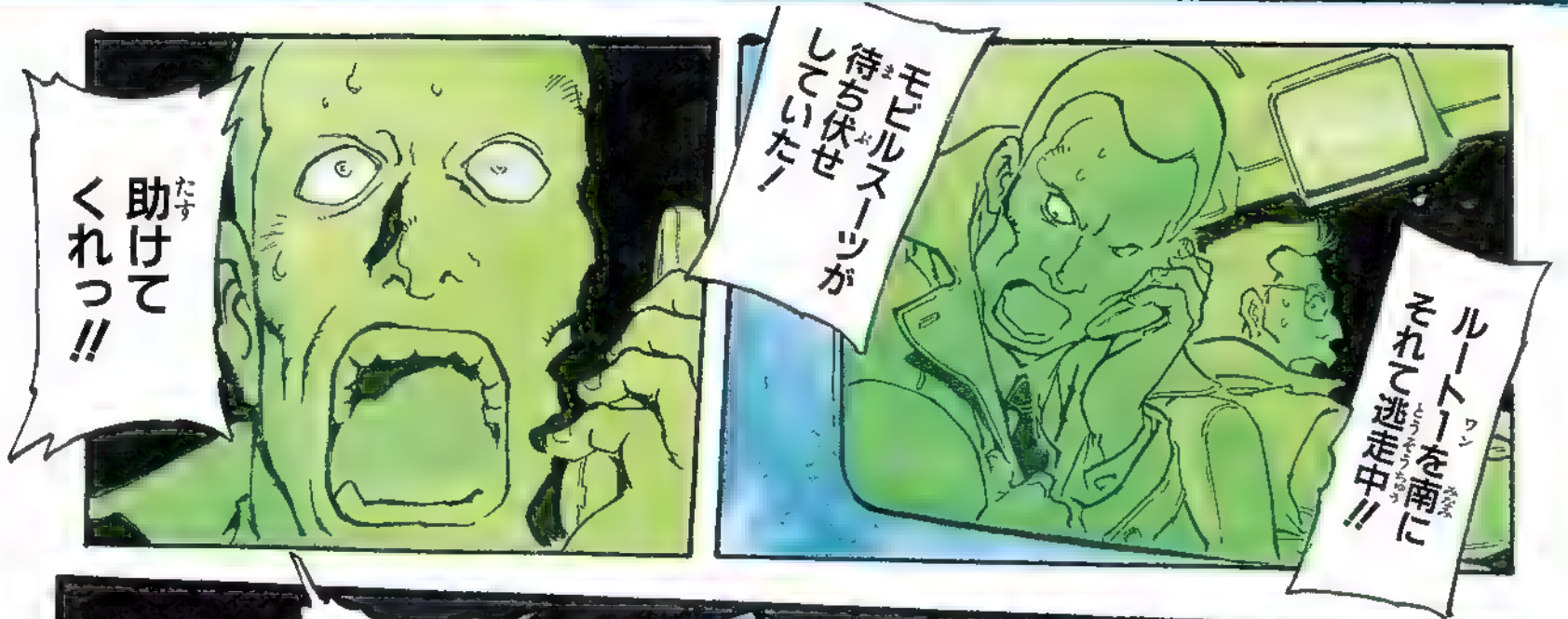
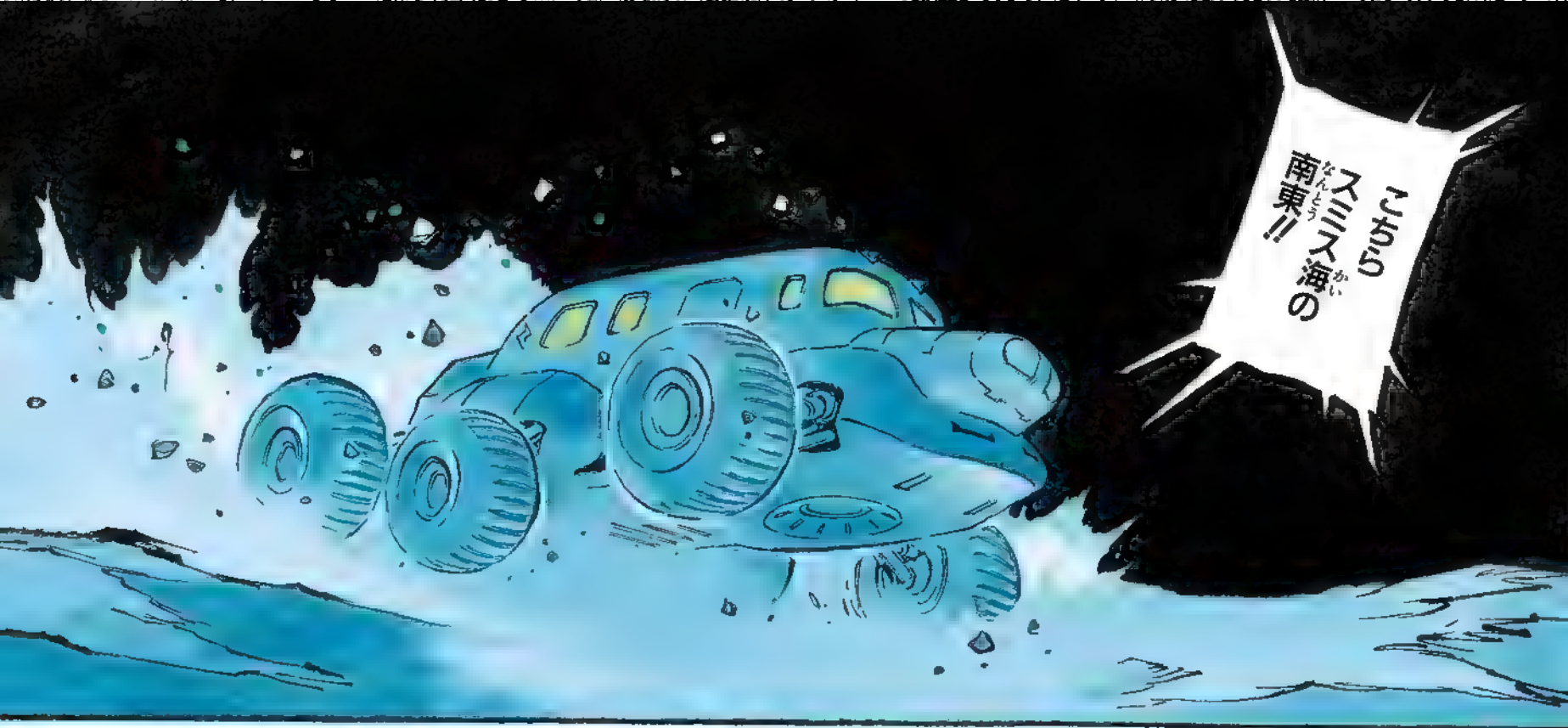


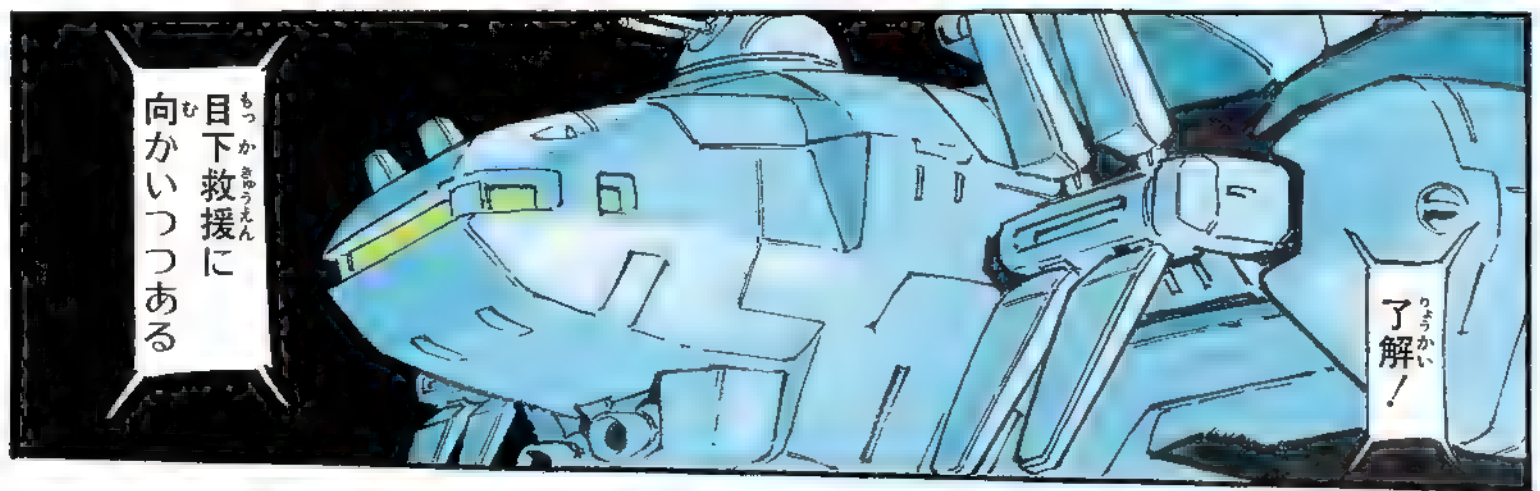


開戦編・後――

SECTION
VII

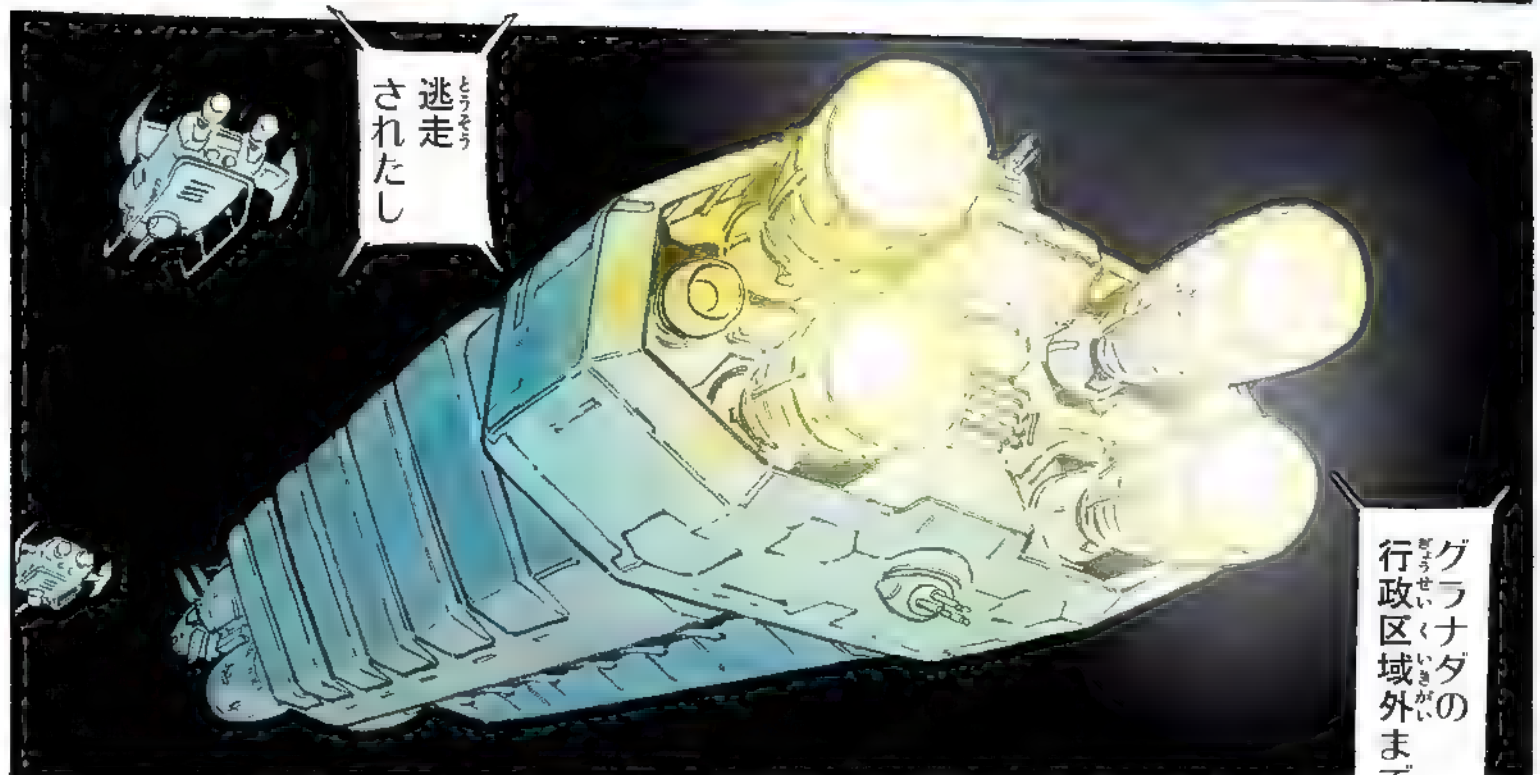






もっかきゅうえん
目下救援に
向かいつつある

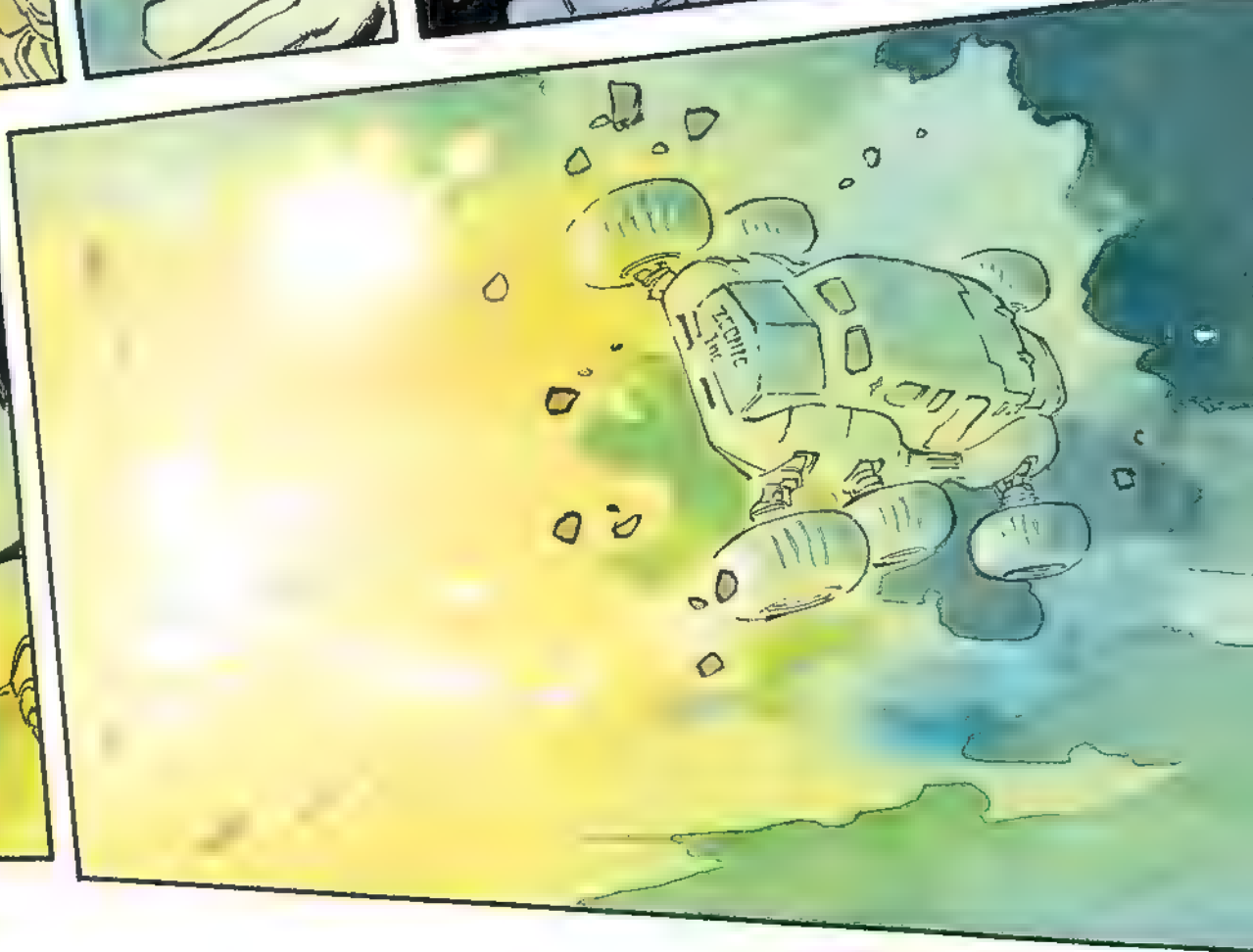
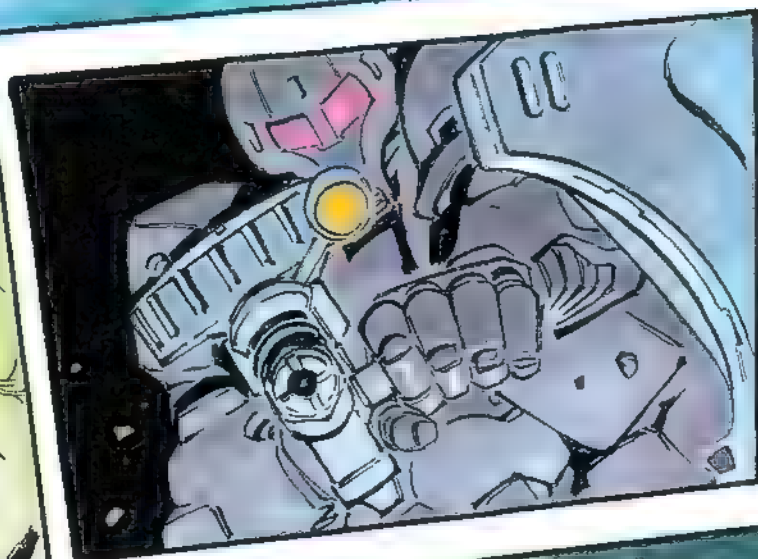
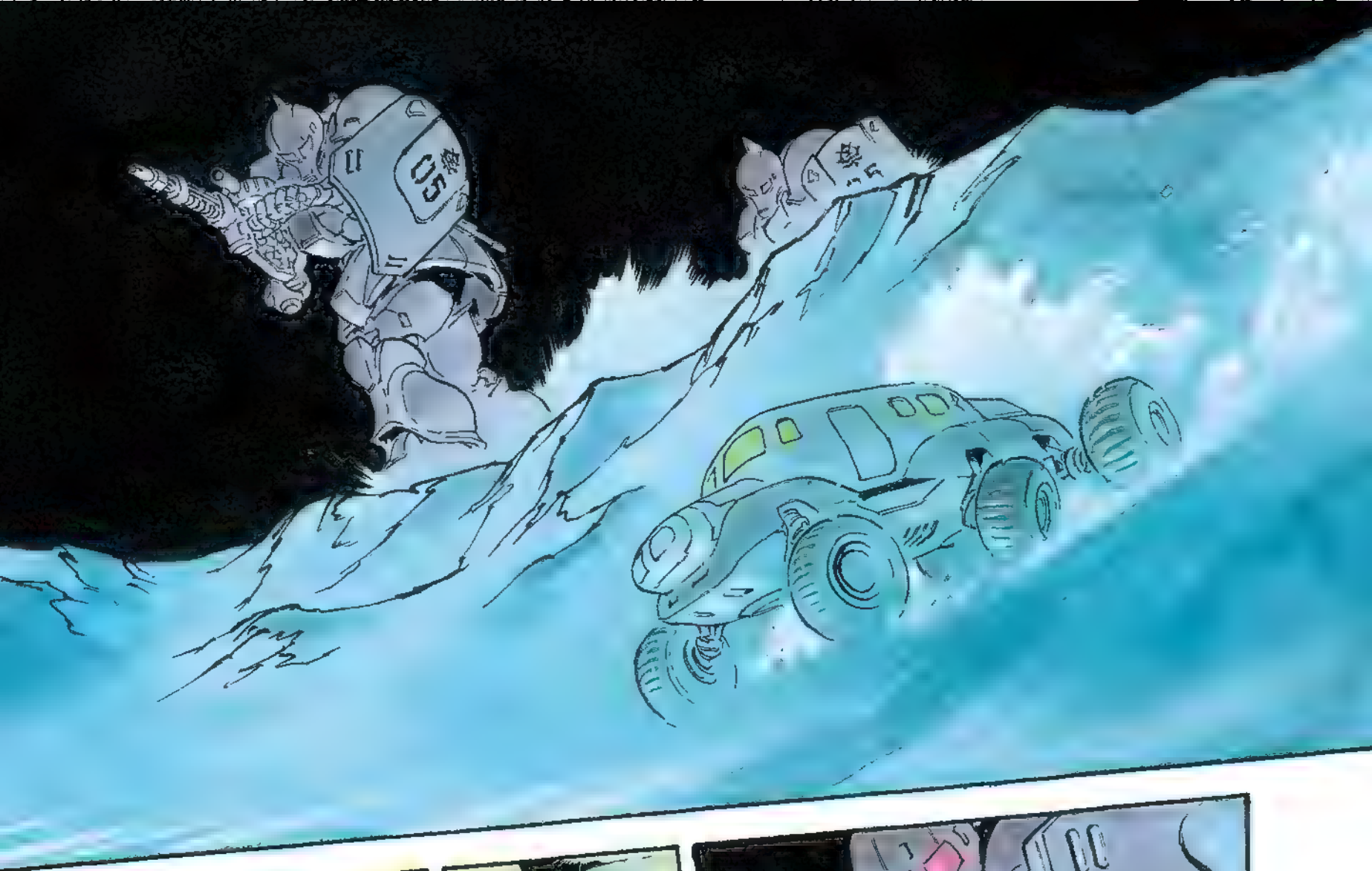
了解！
りようかい



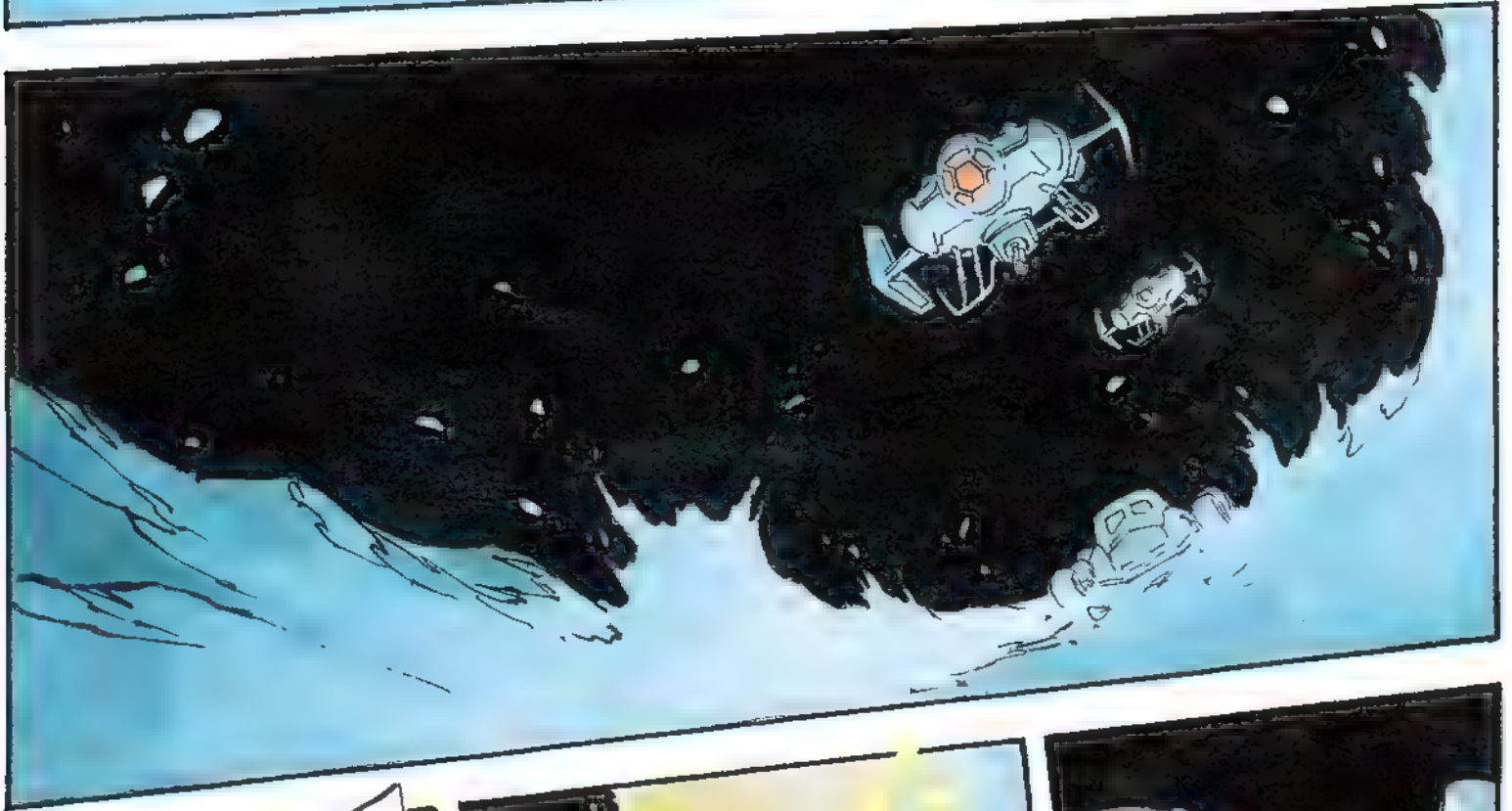
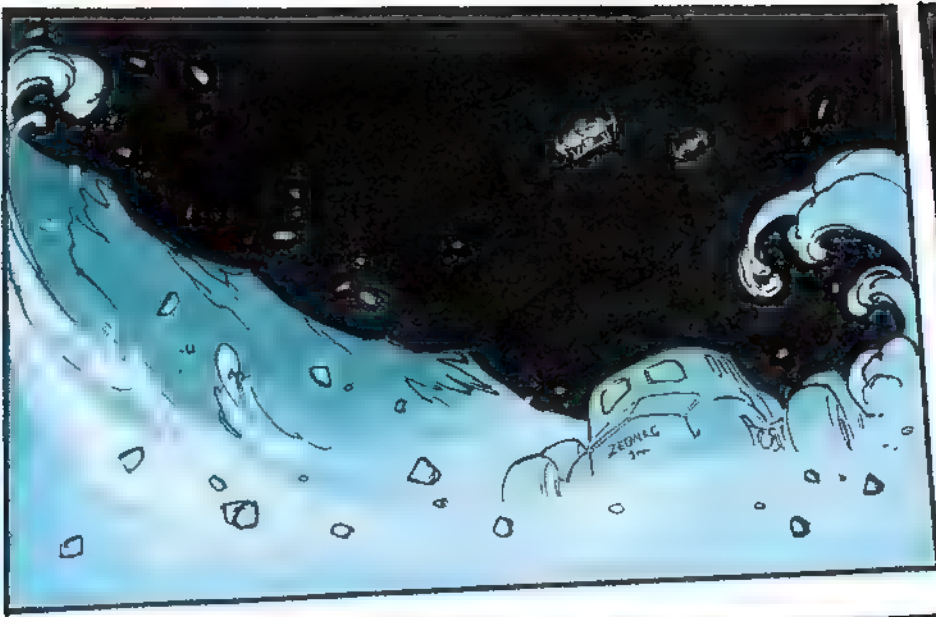
逃走
とらそゆう
されたし

グラナダの
ぎょうせいくいきがい
行政区域外まで



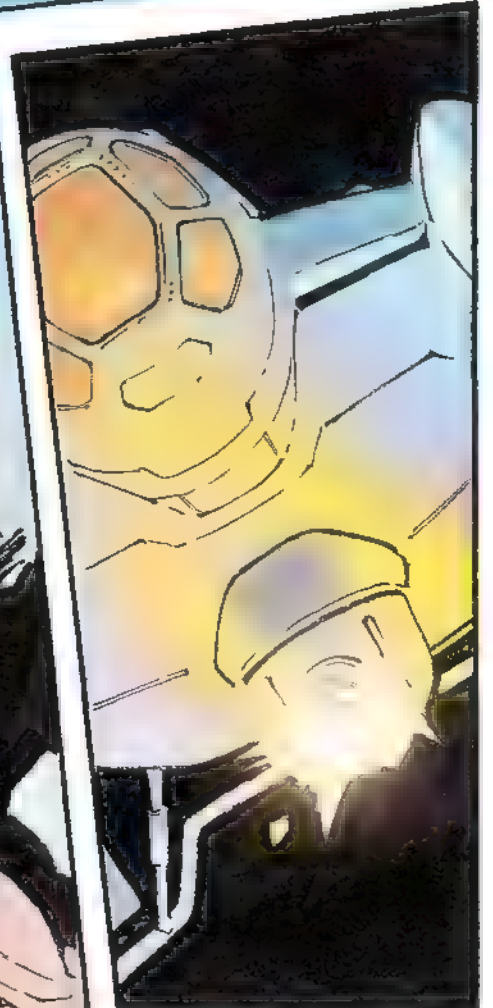
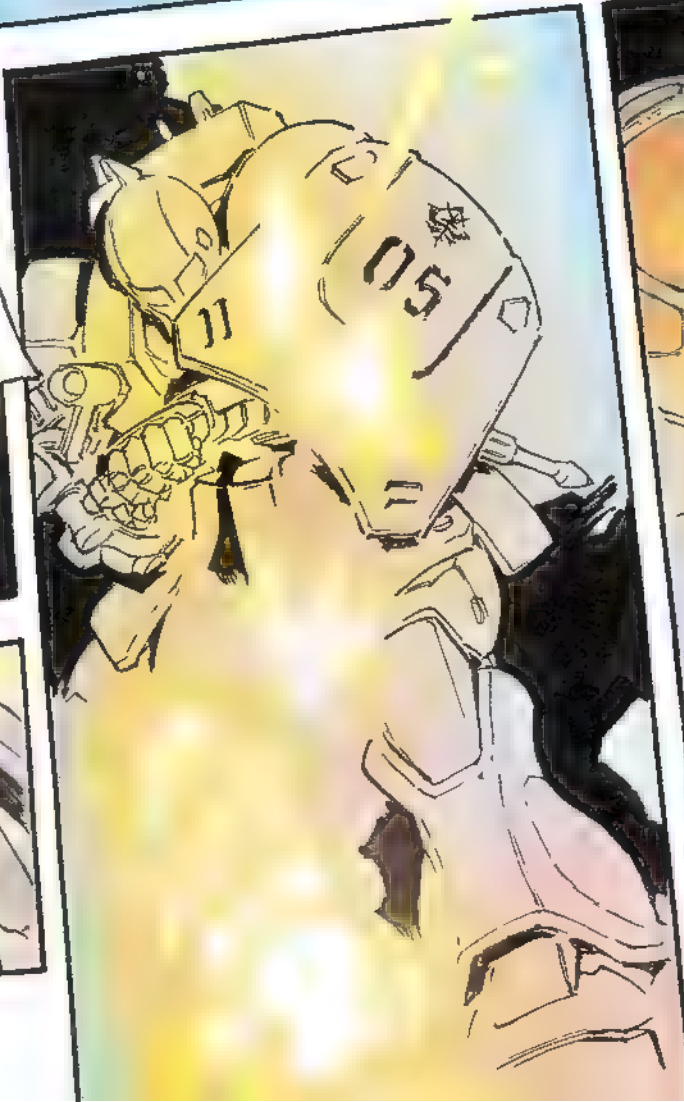
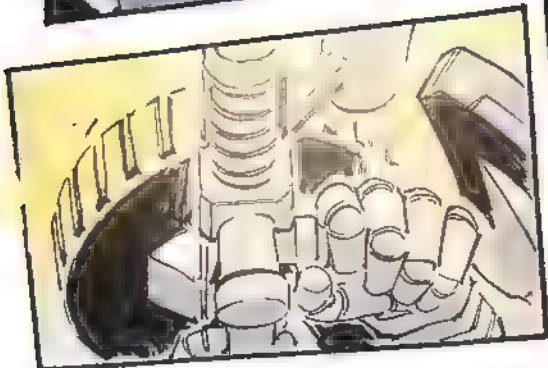


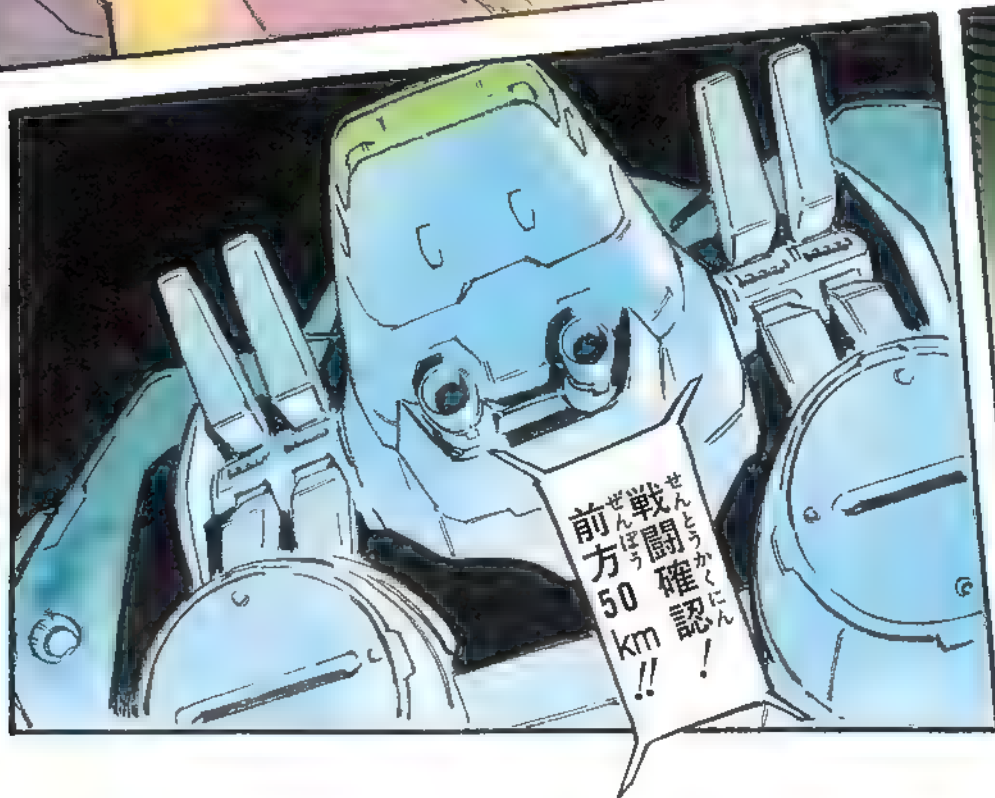
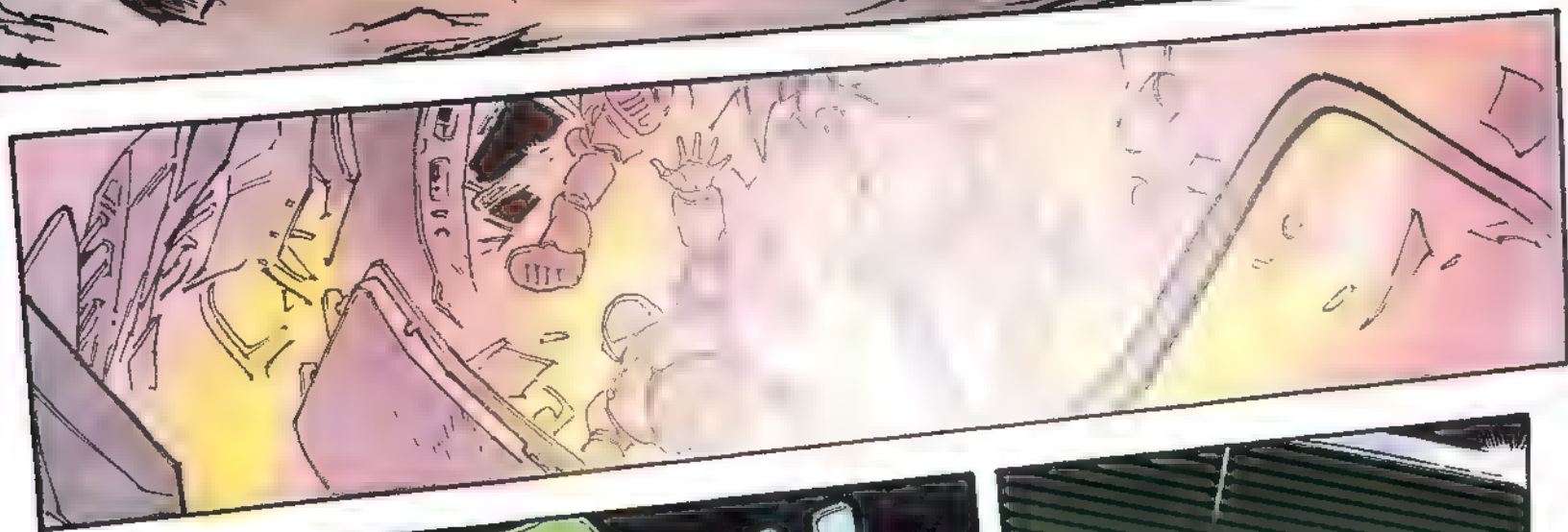
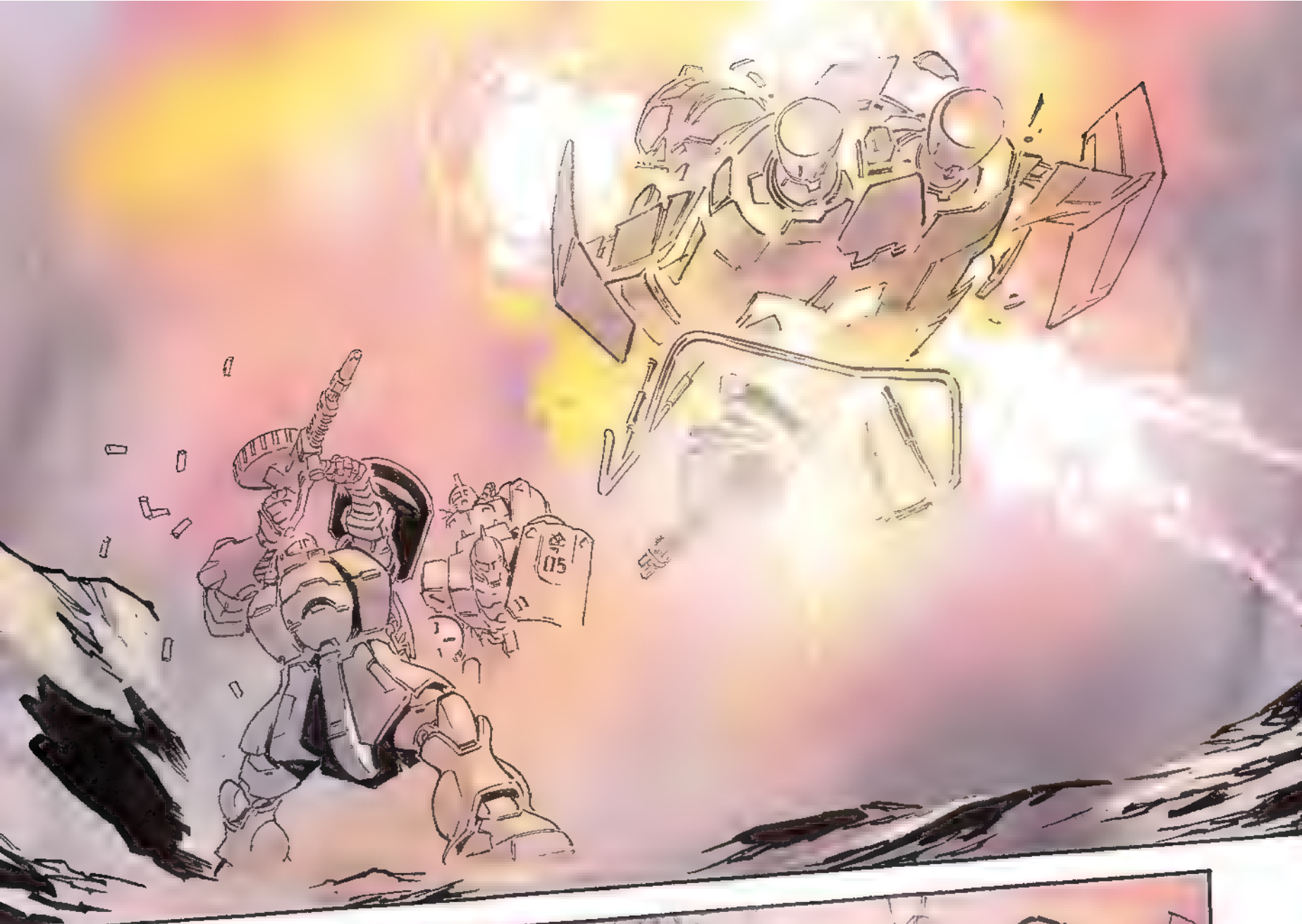
あ
てたらこの後の
お楽しみがフイに
なるからなあっ！

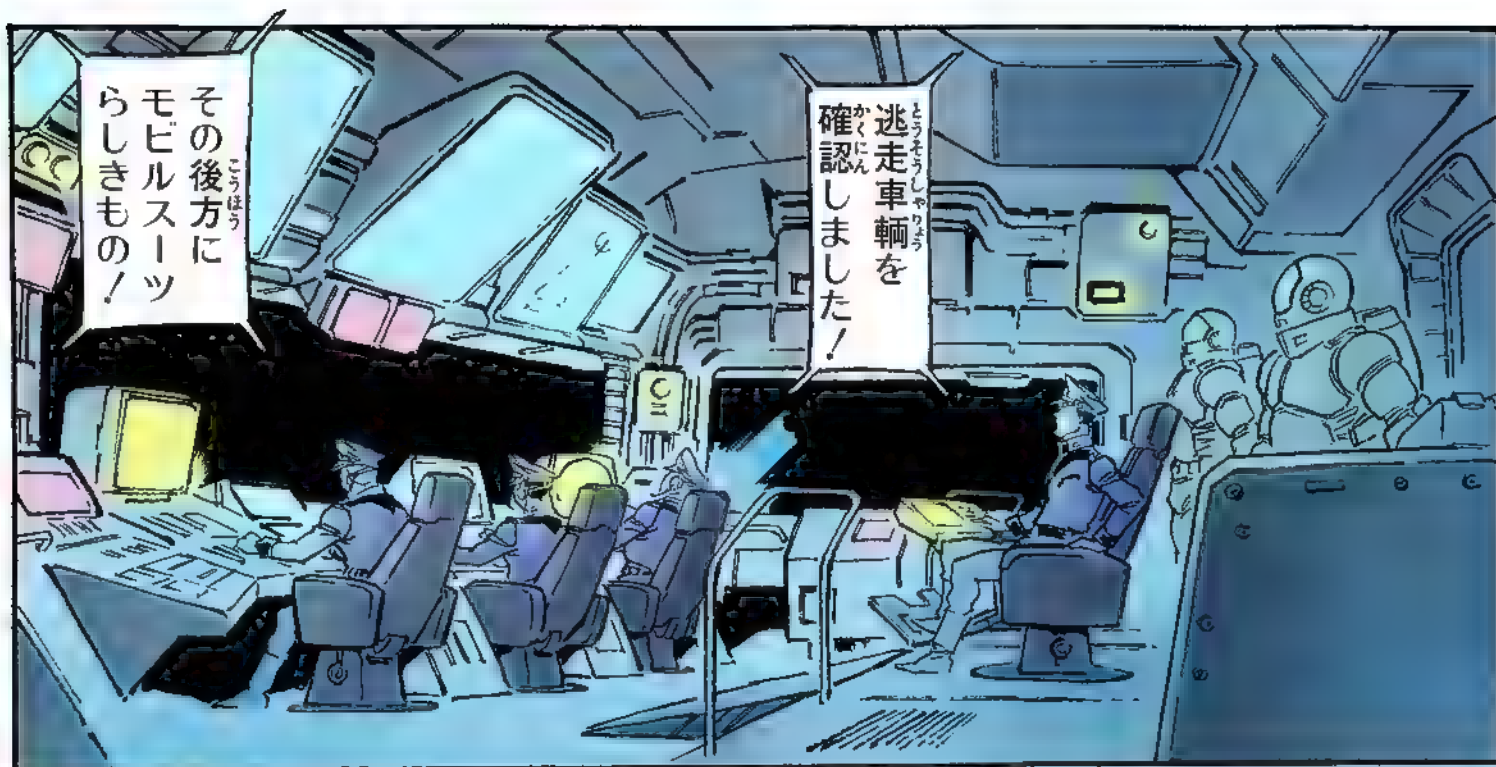


少尉!!

こいつらは
いいんだろ！

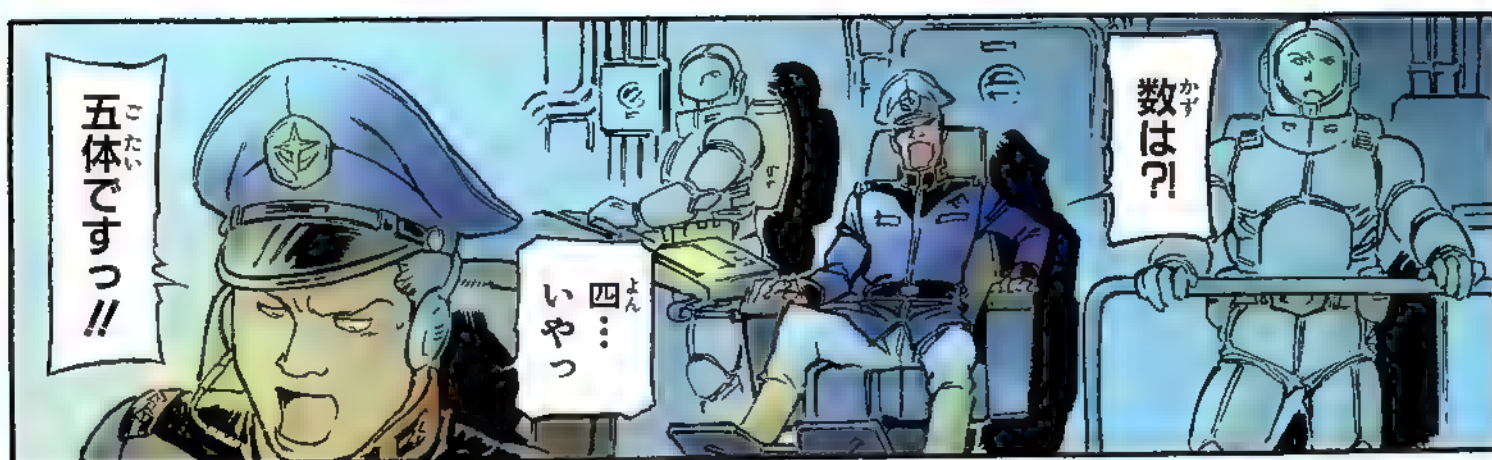






その後方に
モビルスー
らしきもの！

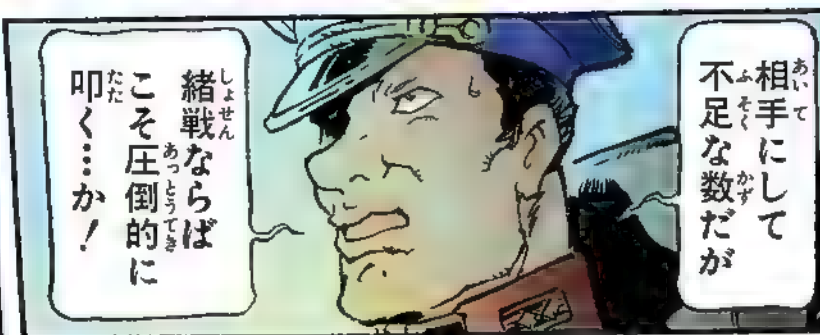
逃走車輛を
確認しました！



五体ですっ！！

四…
いやっ

数は？！

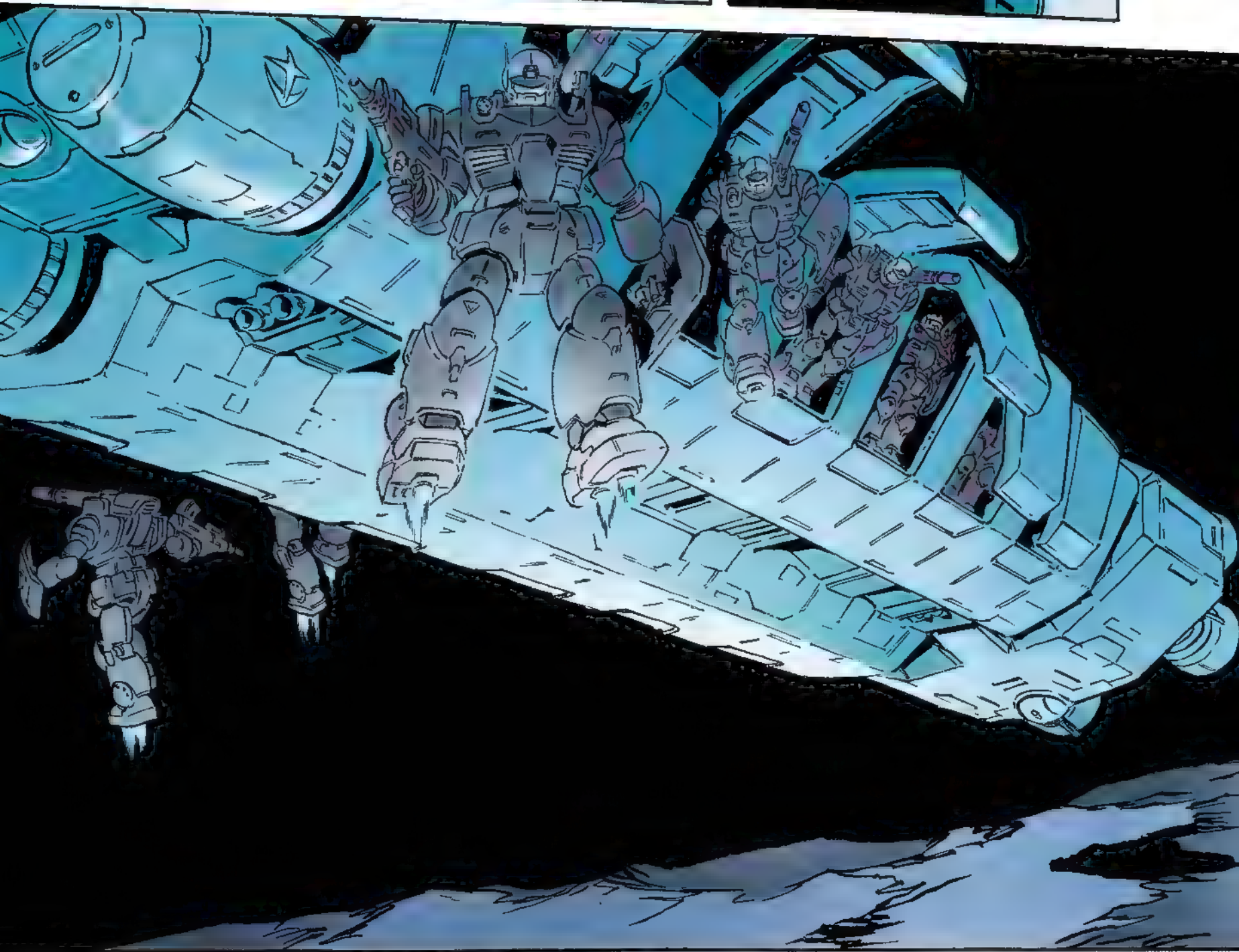
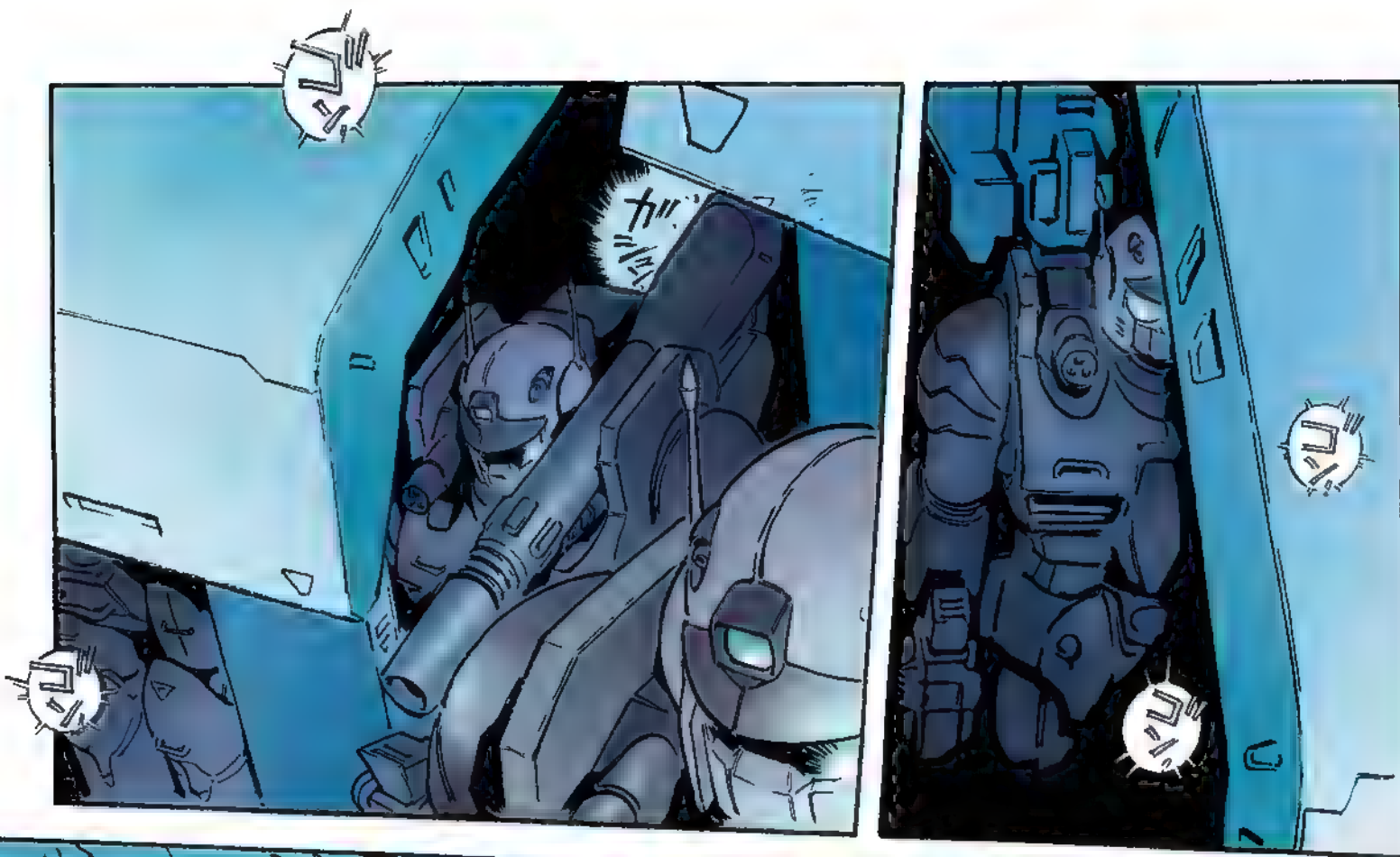


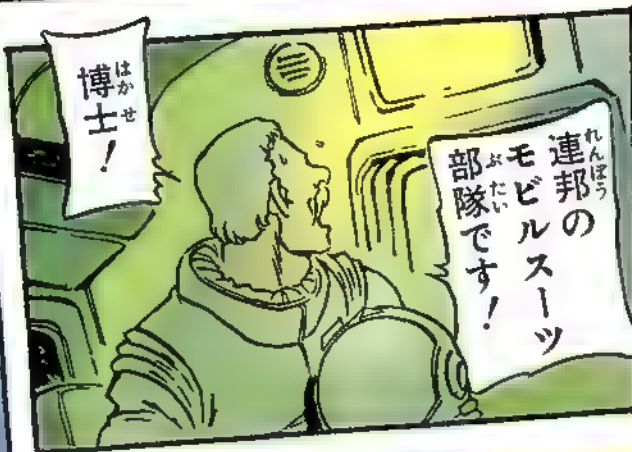
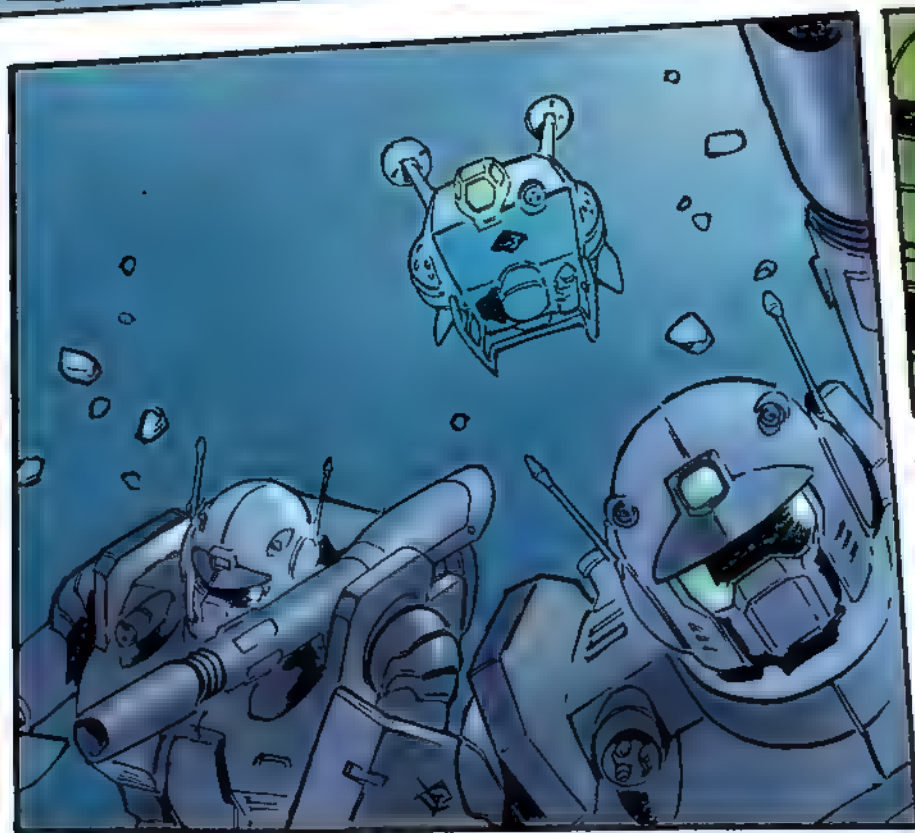
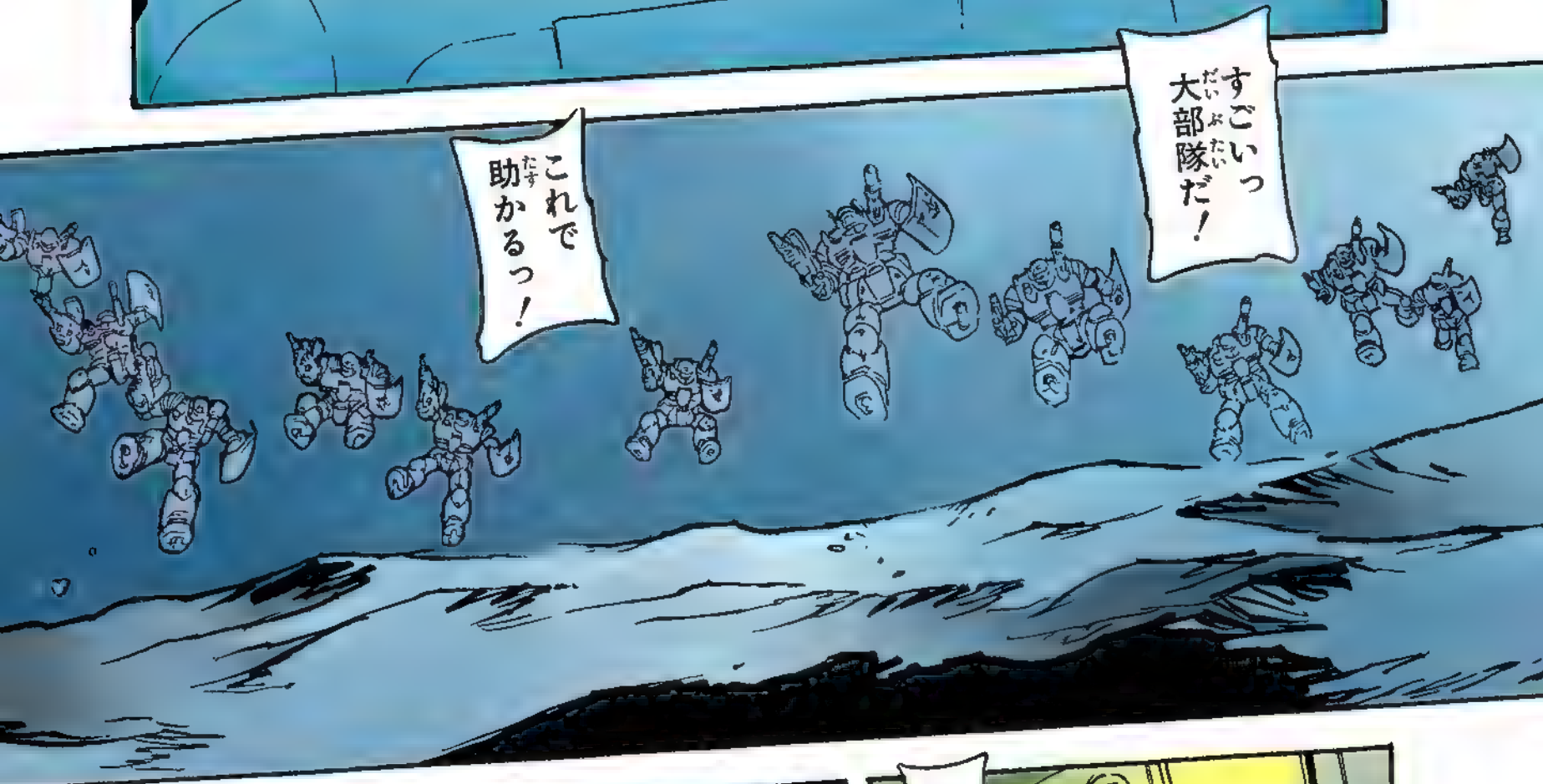
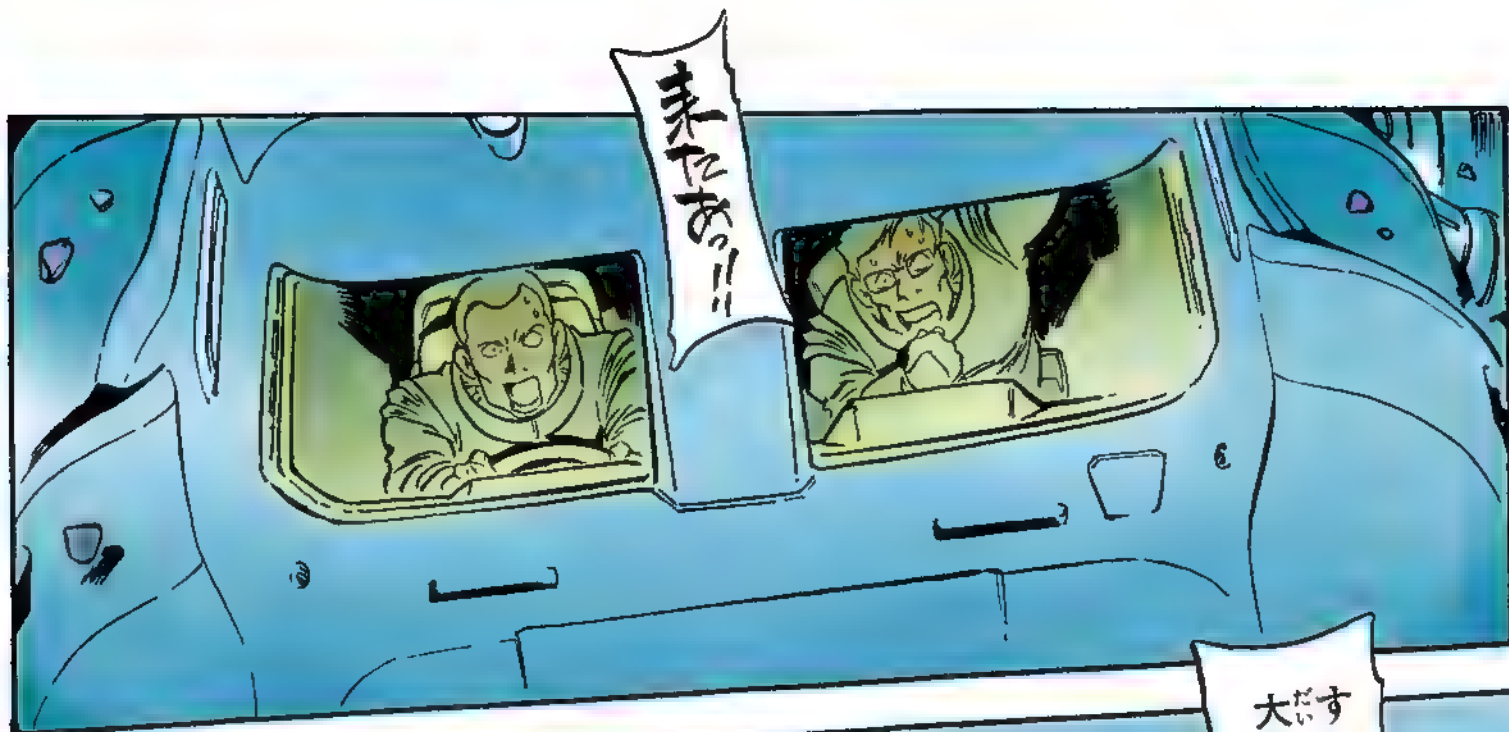
緒戦ならば
こそ圧倒的に
叩く…か！

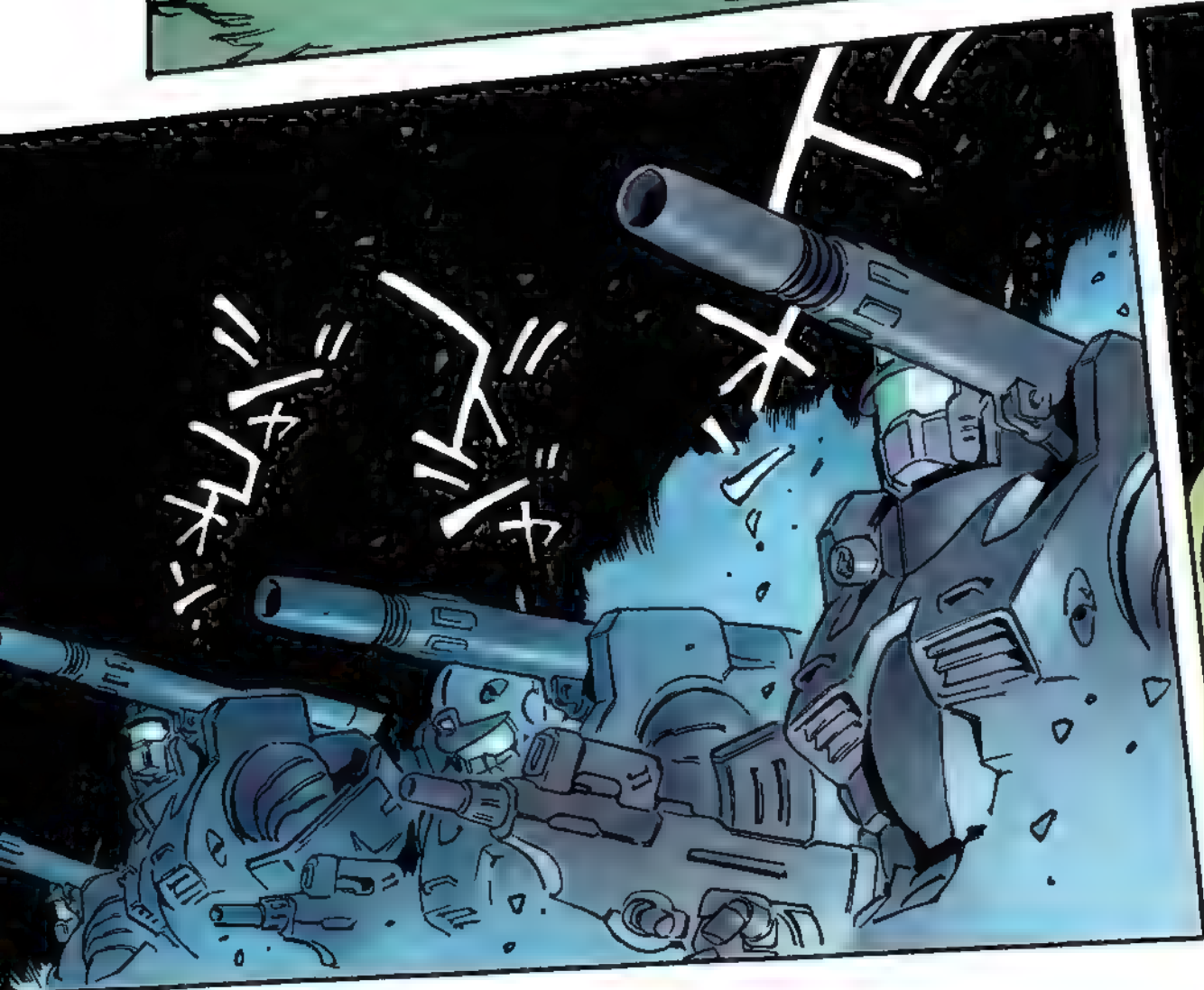
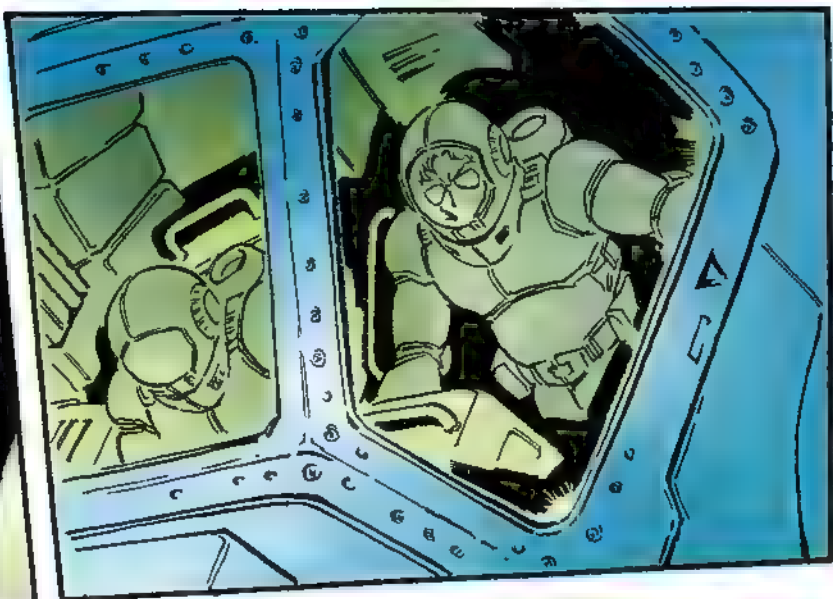
相手にして
不足な数だが

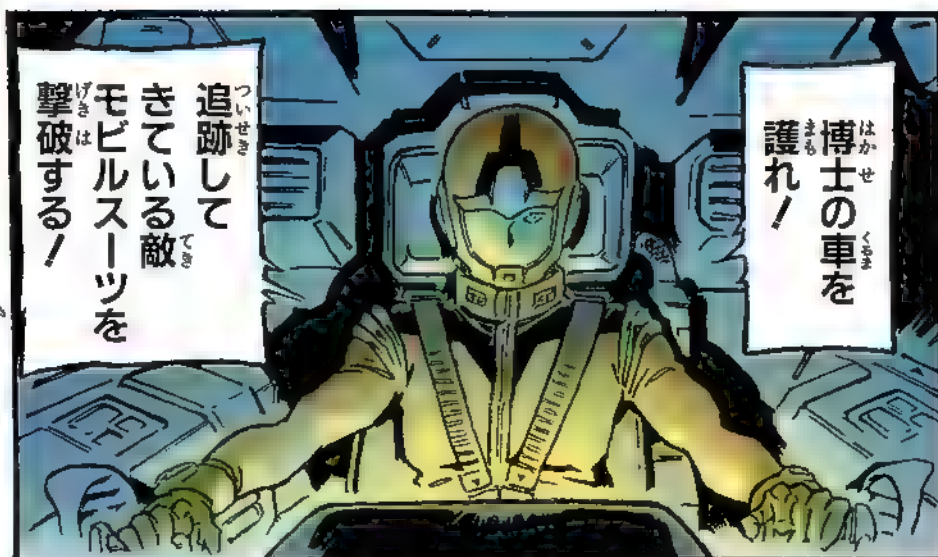


全機
出動せよ！！







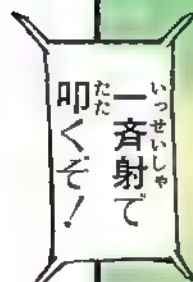


はかせ
博士の車を
まも
護れ！

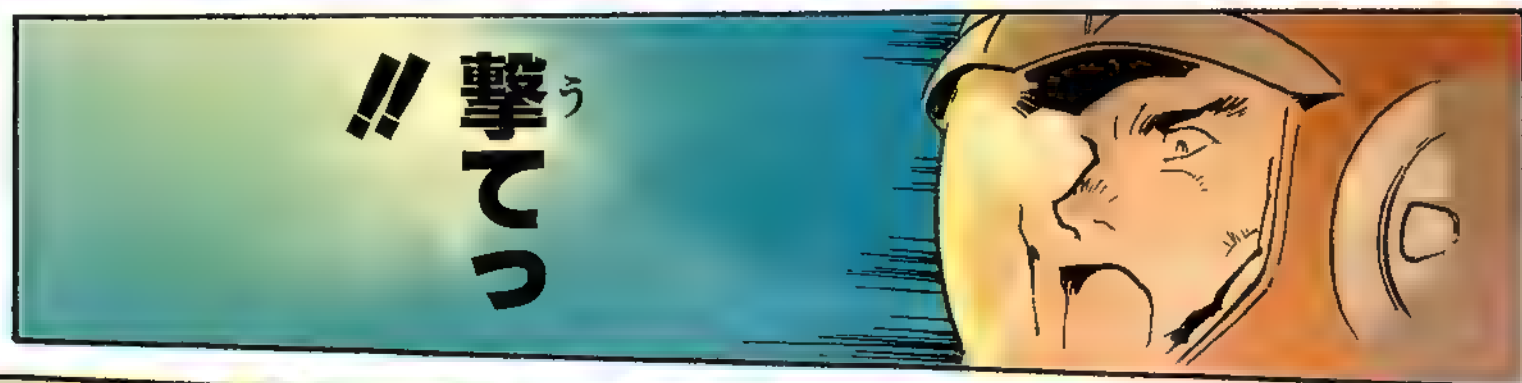
追跡して
きている敵
モビルスーツを
撃破する！



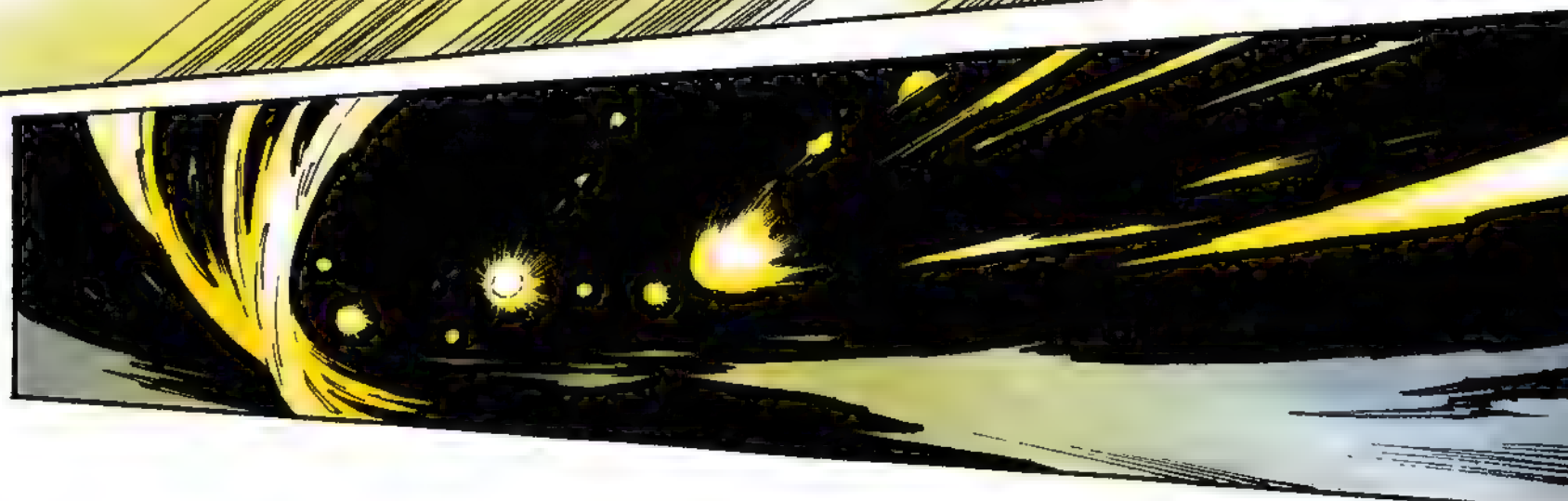
目標五！
距離四〇〇！

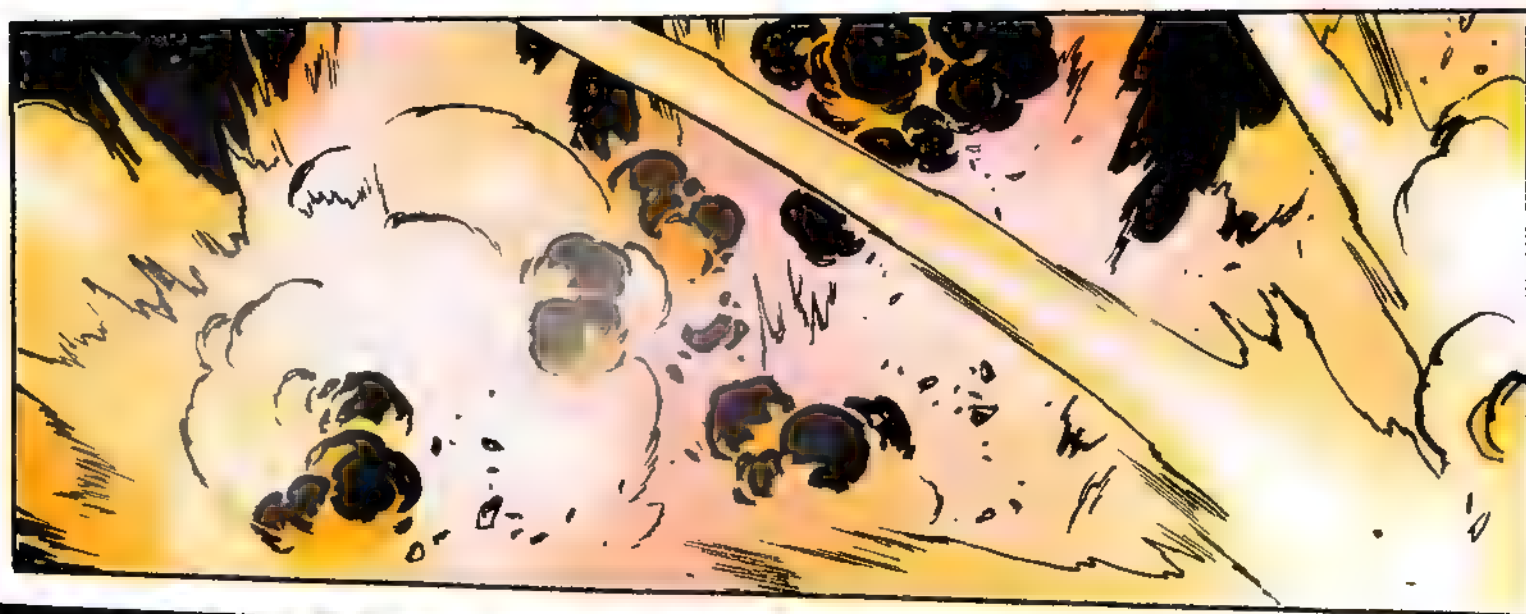
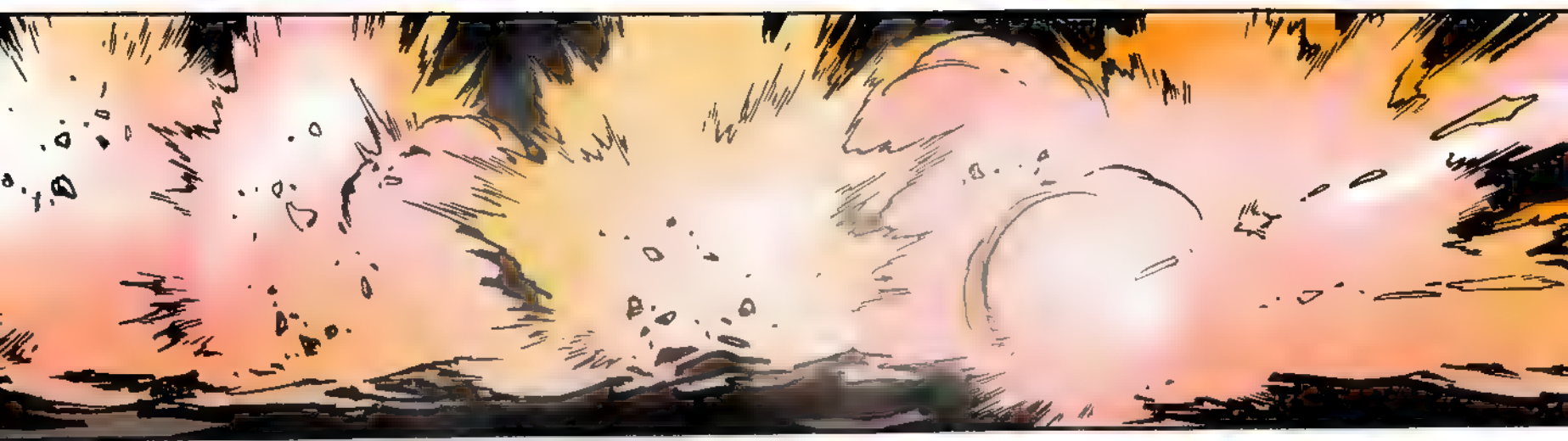


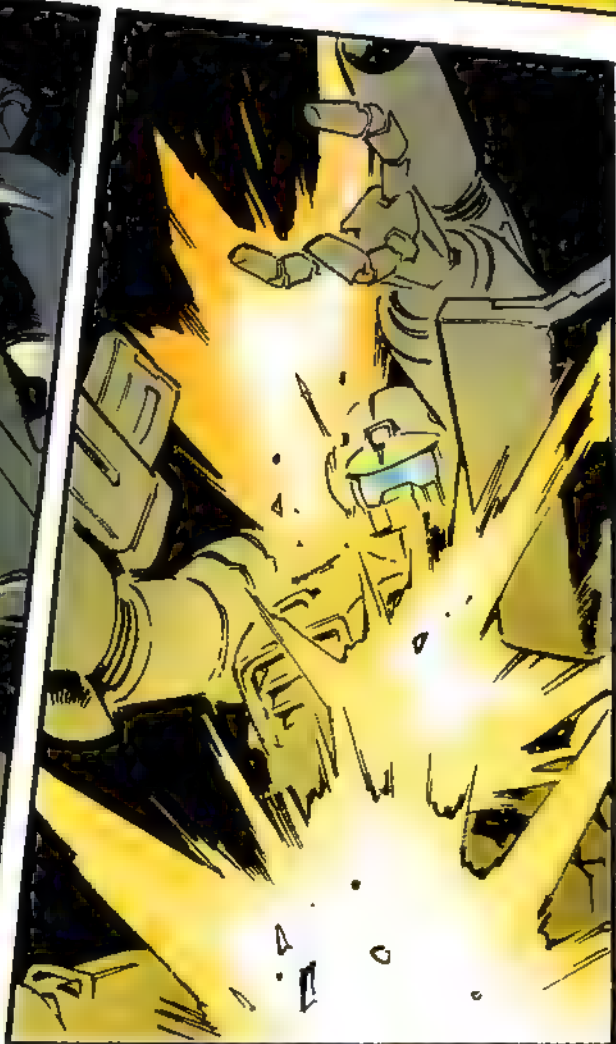
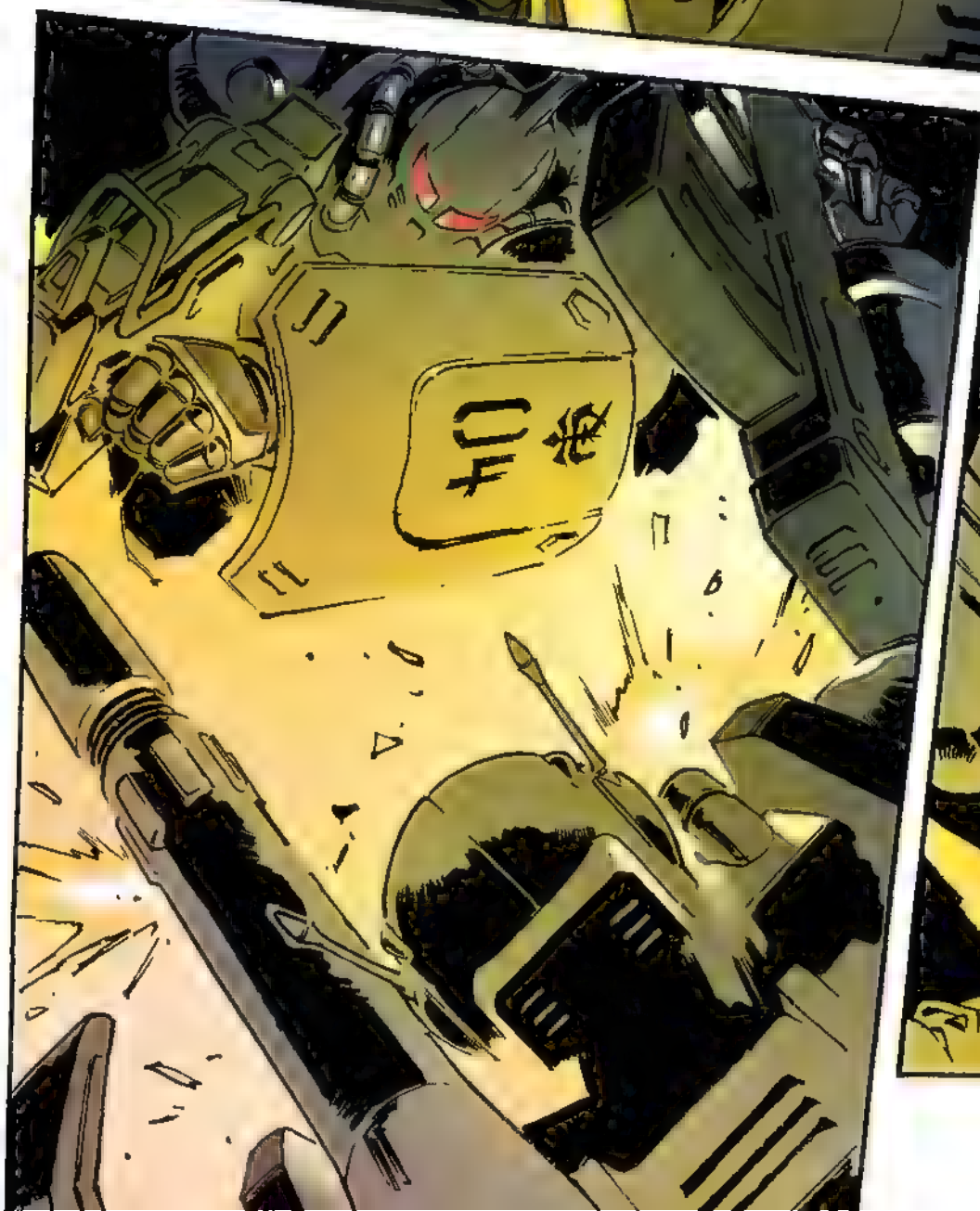
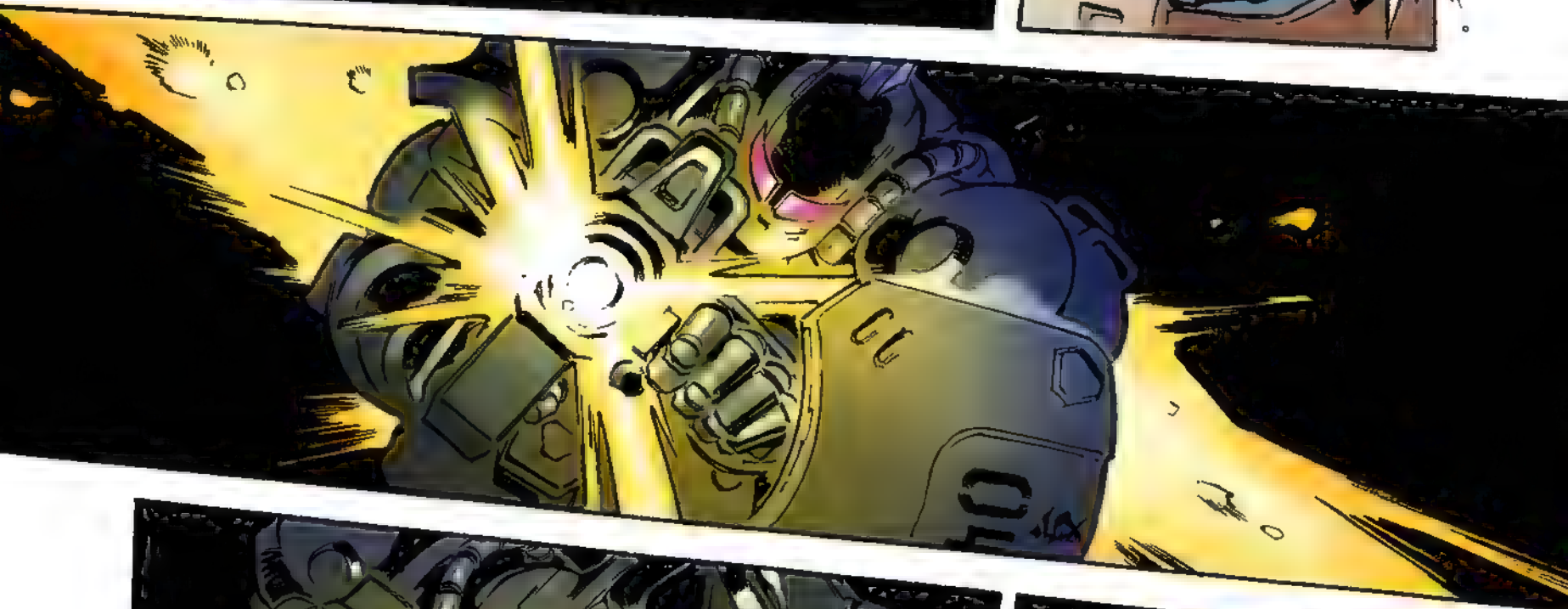
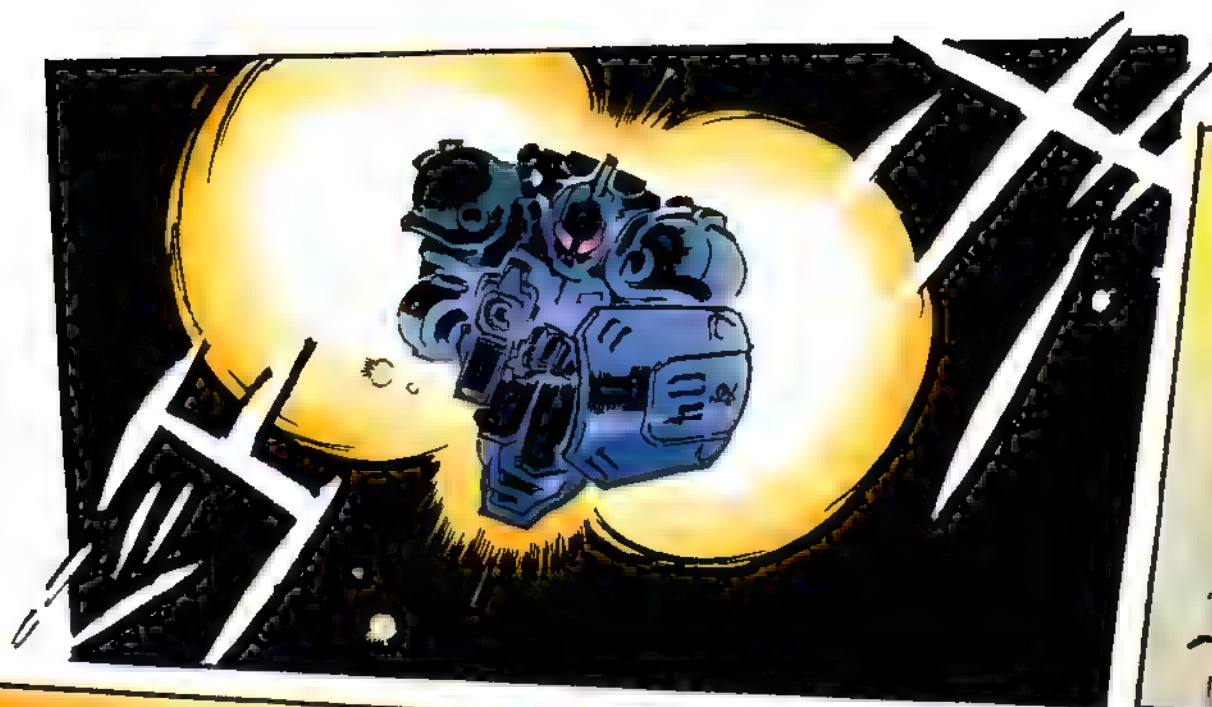
一斉射で
叩くぞ！

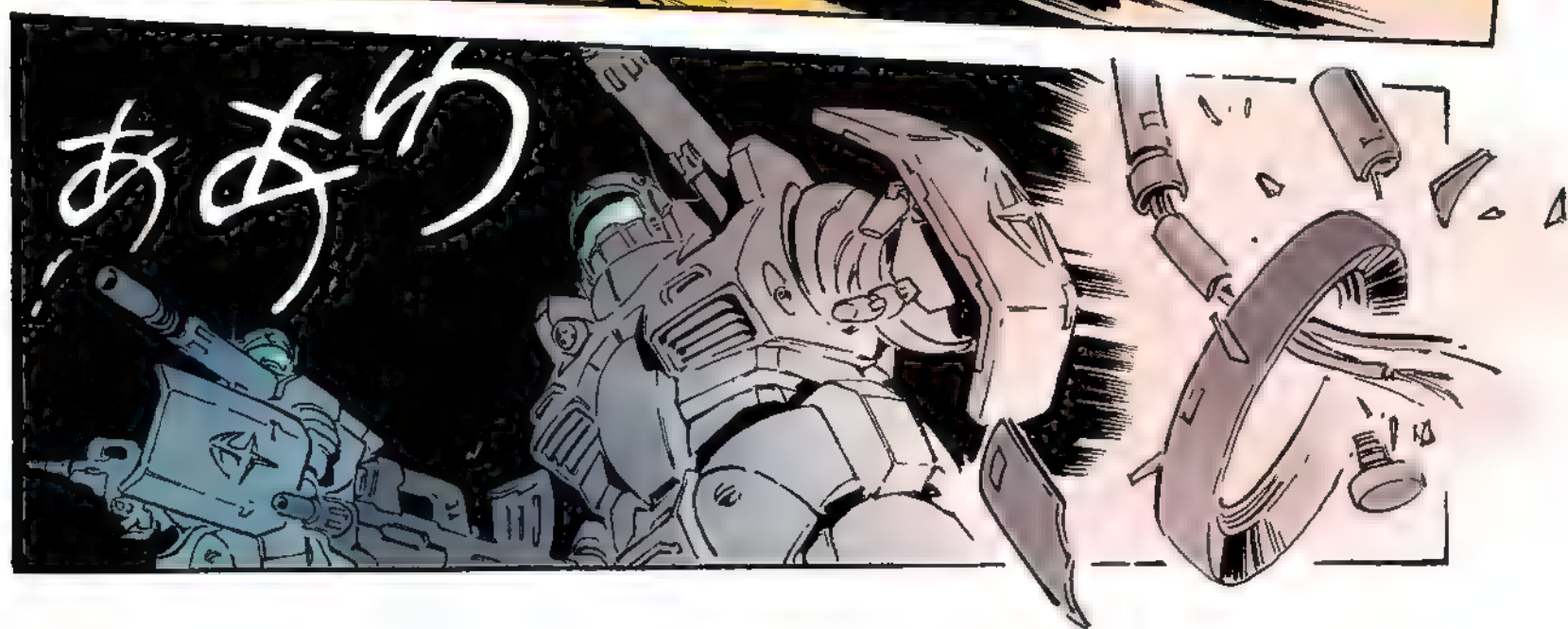
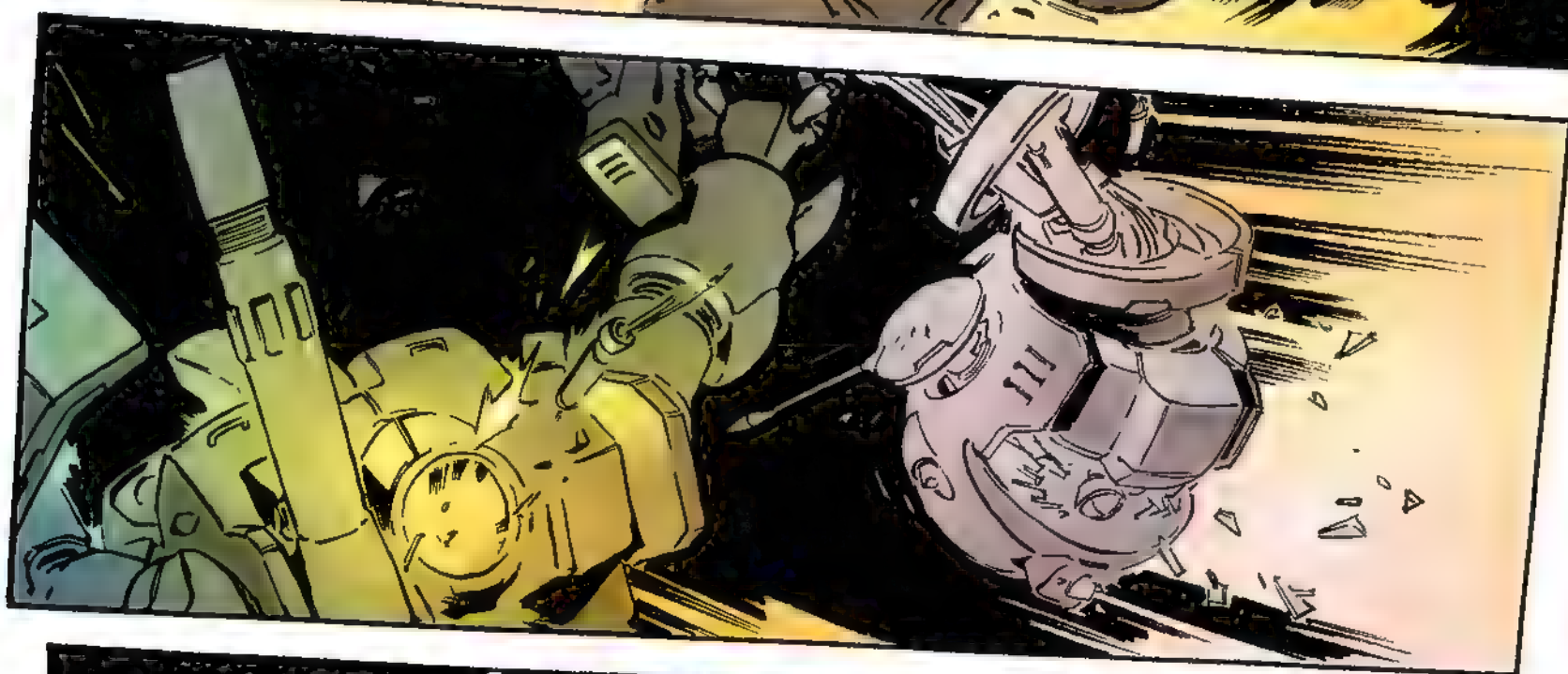


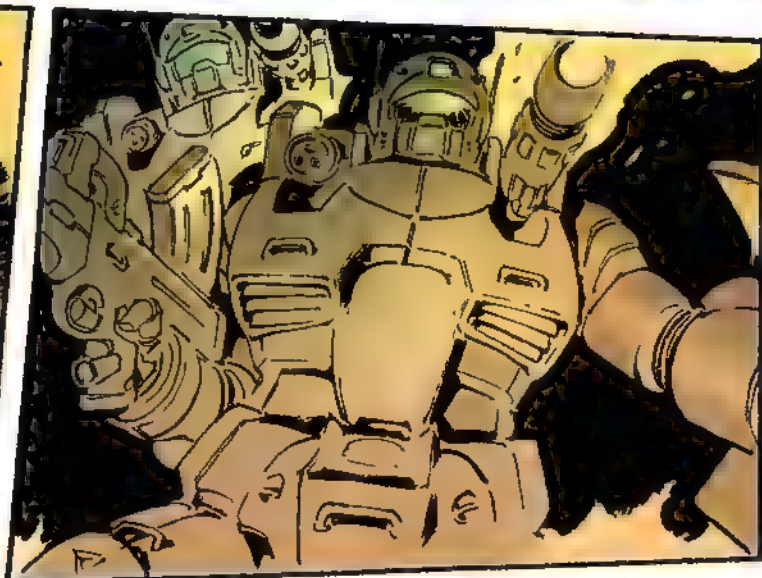
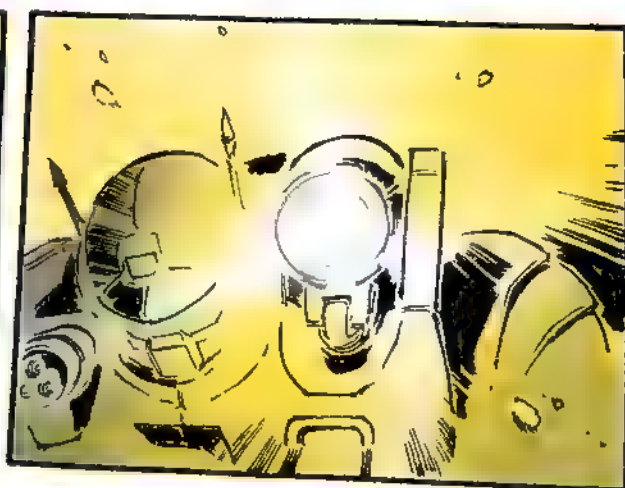
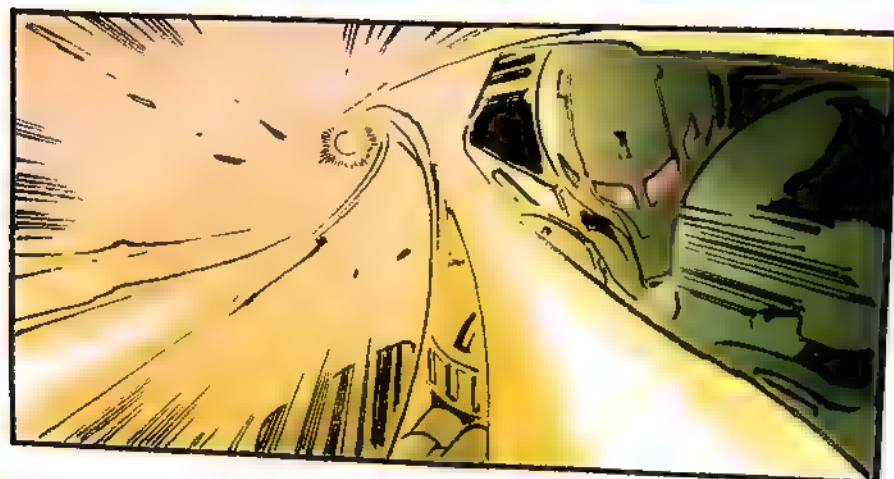
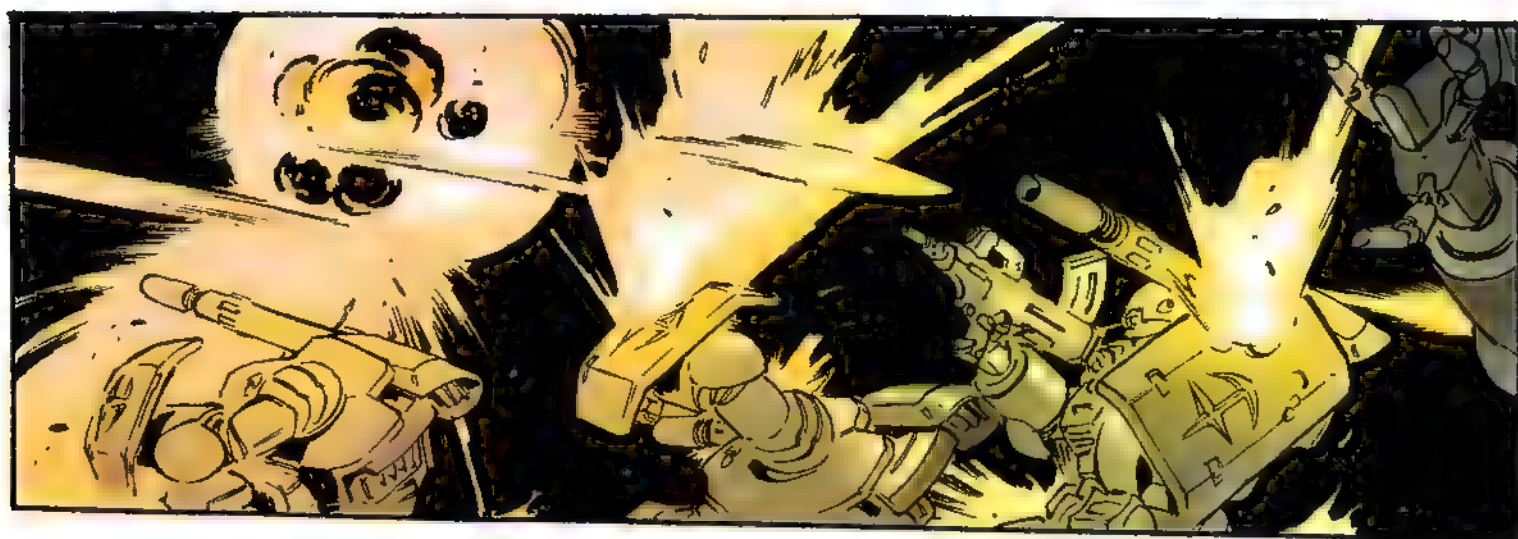
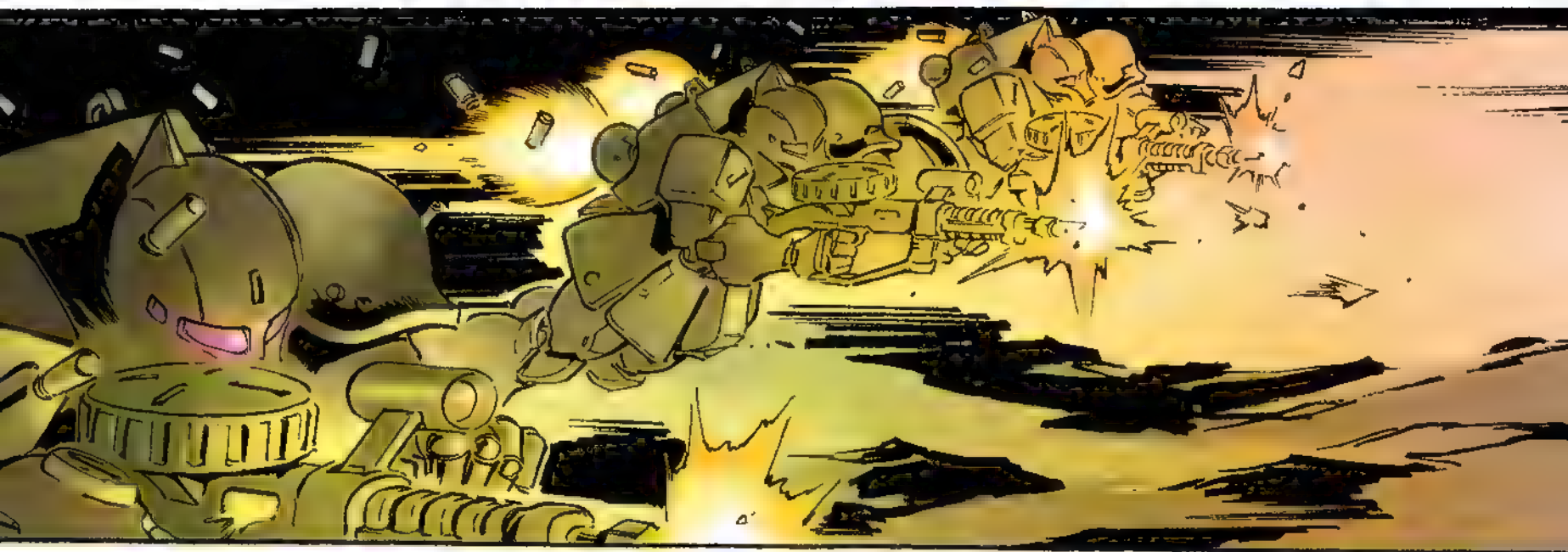
撃てっ！！

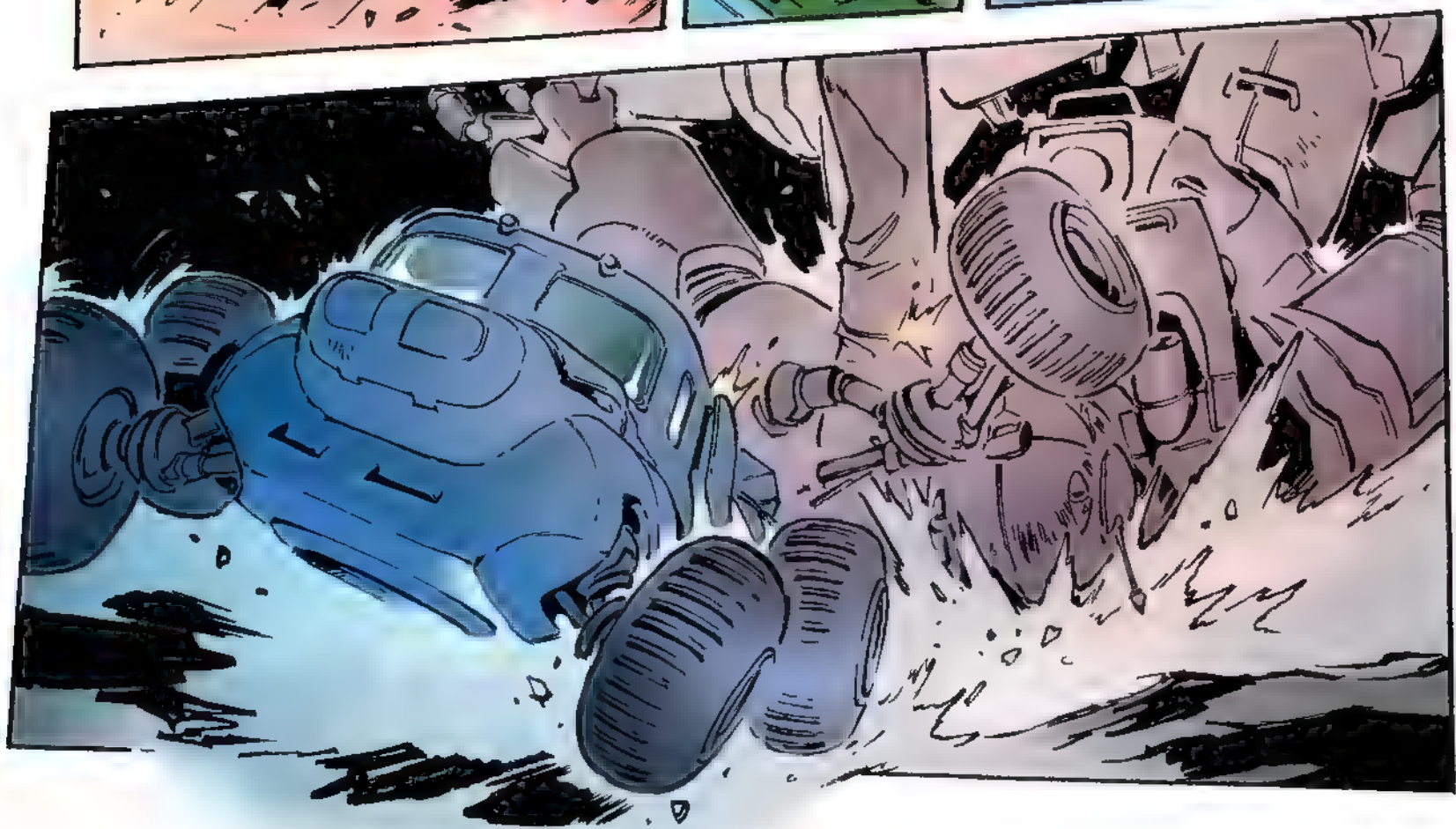
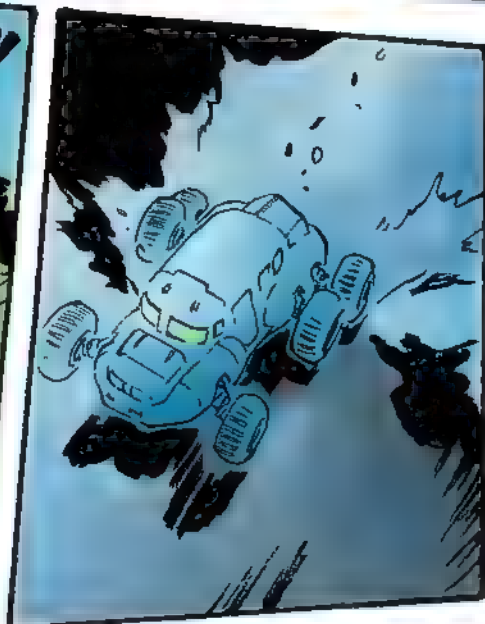
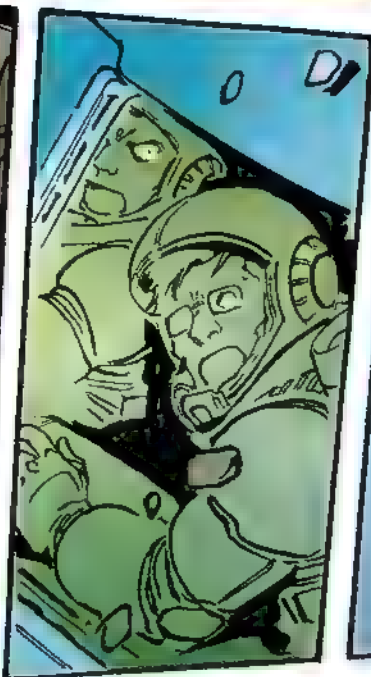
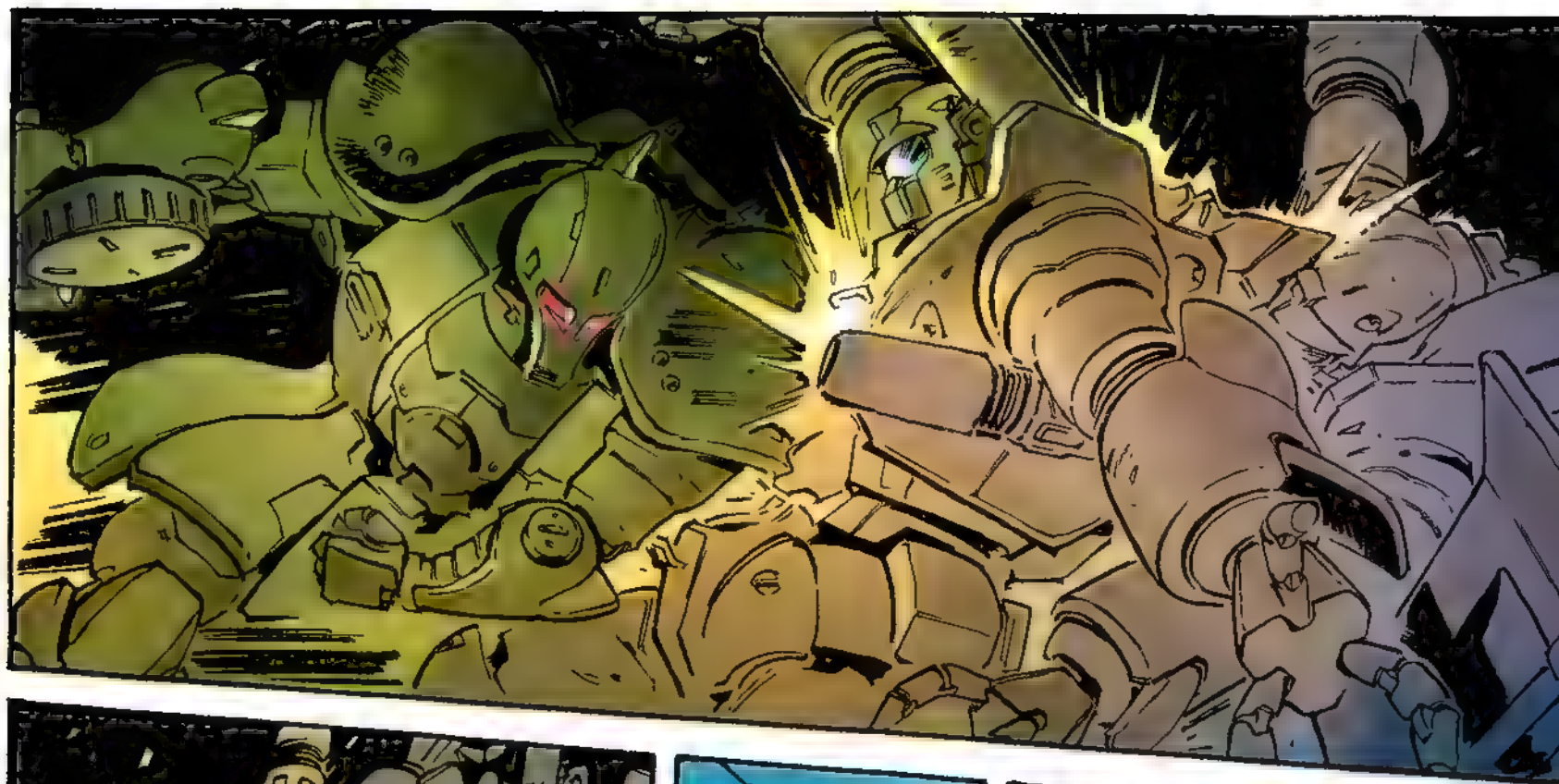


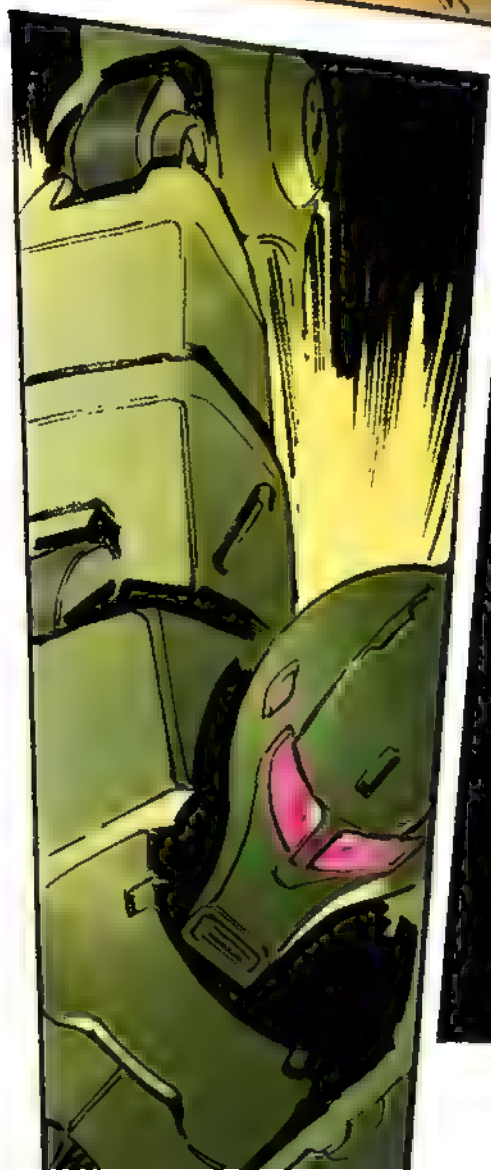
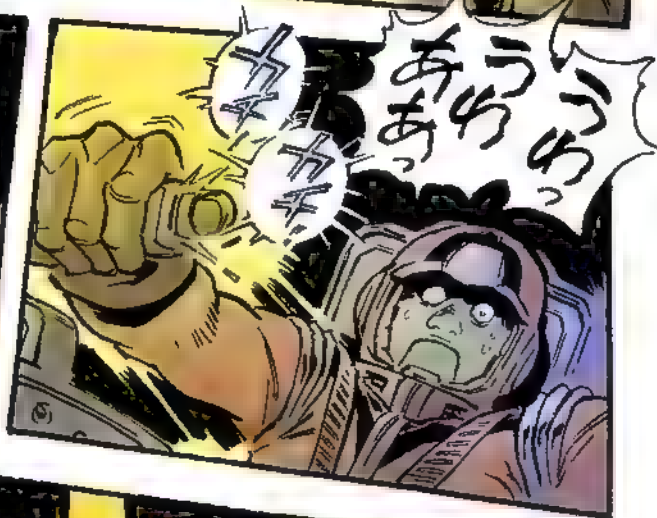
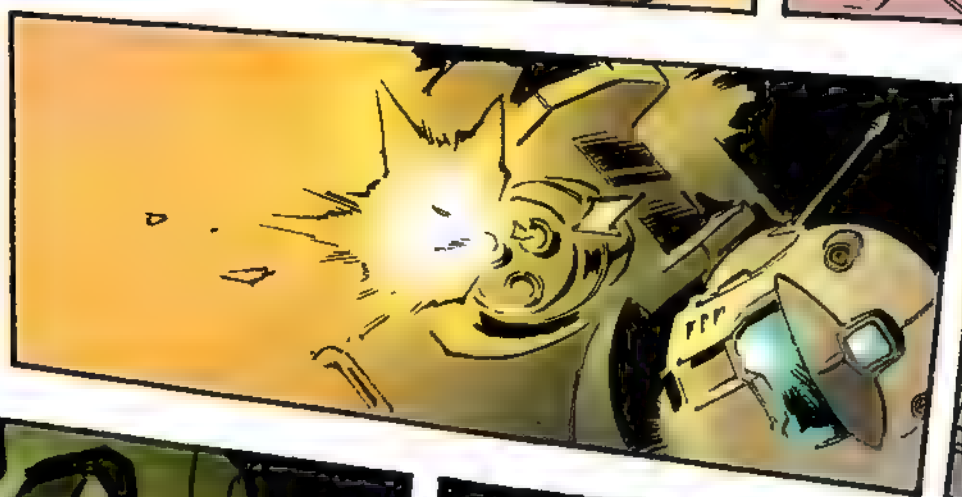
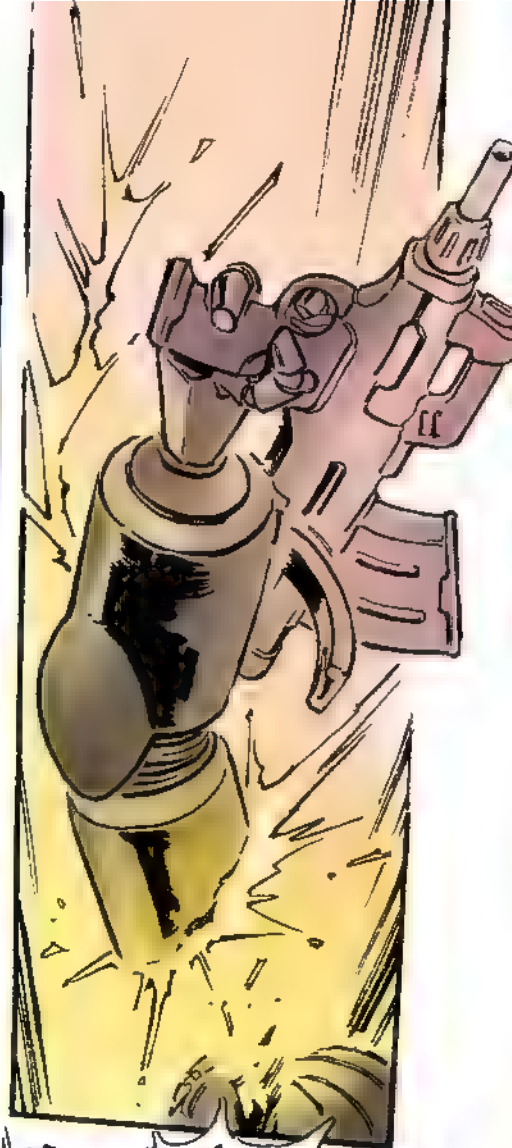
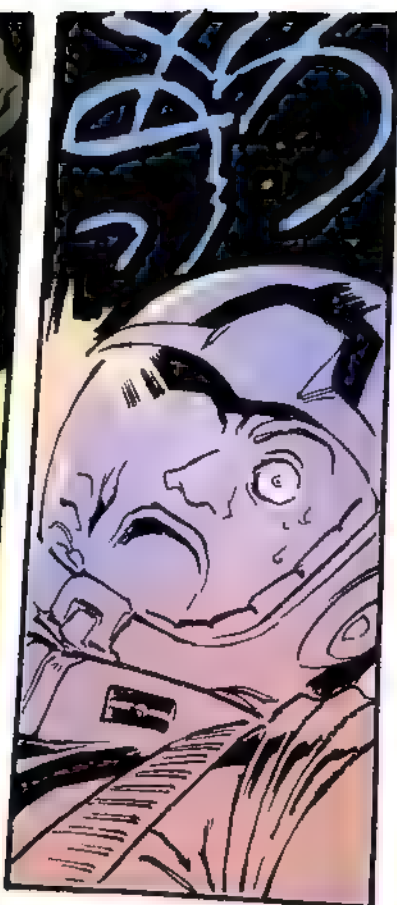


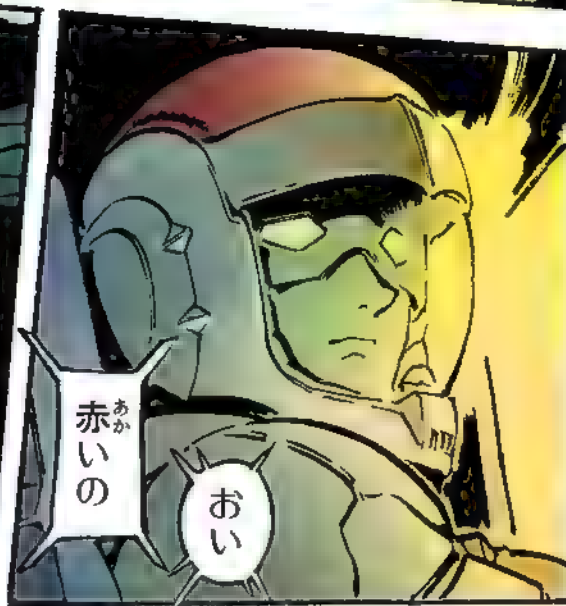
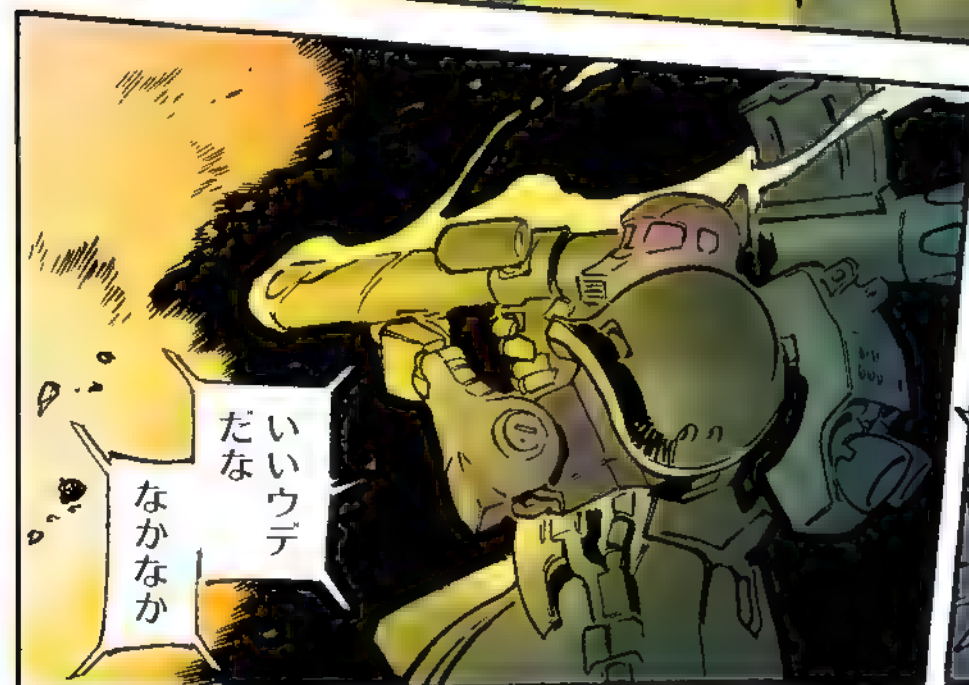
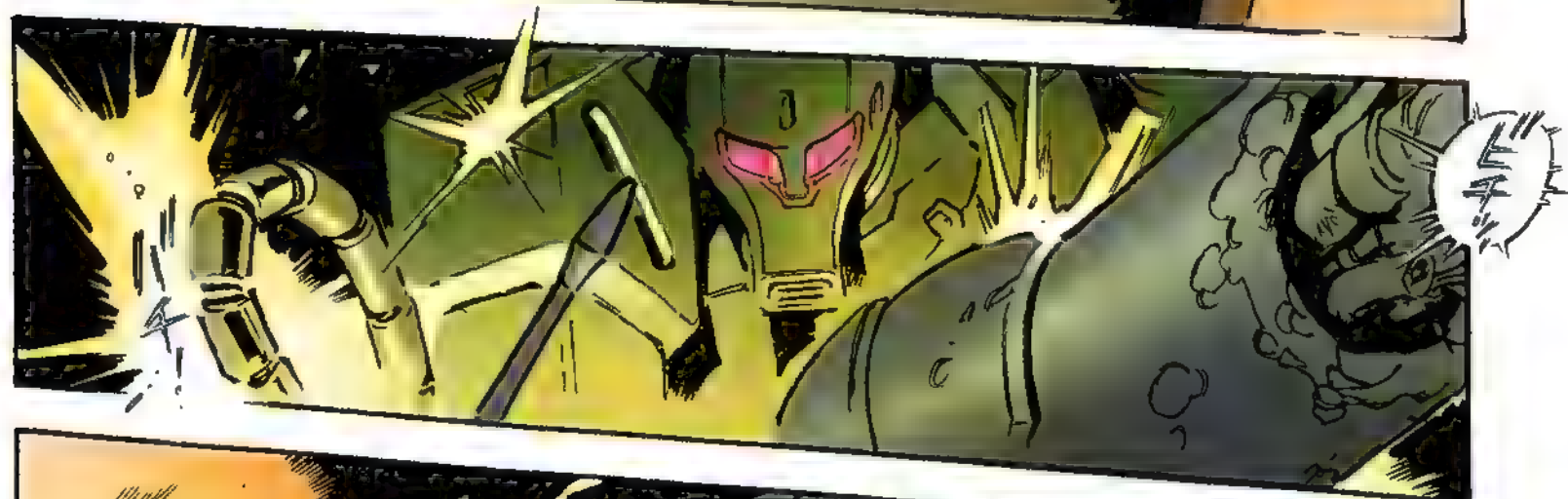
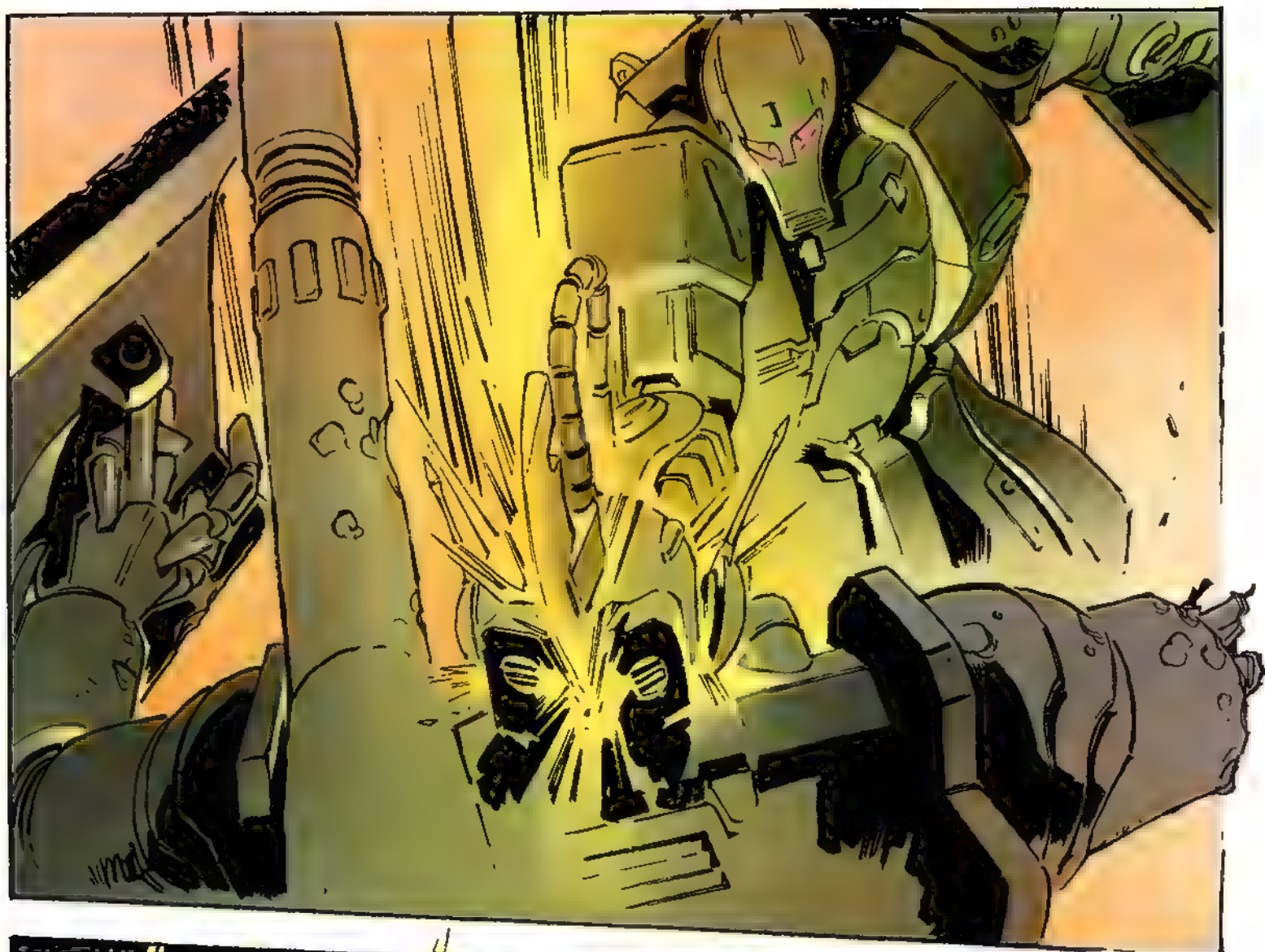


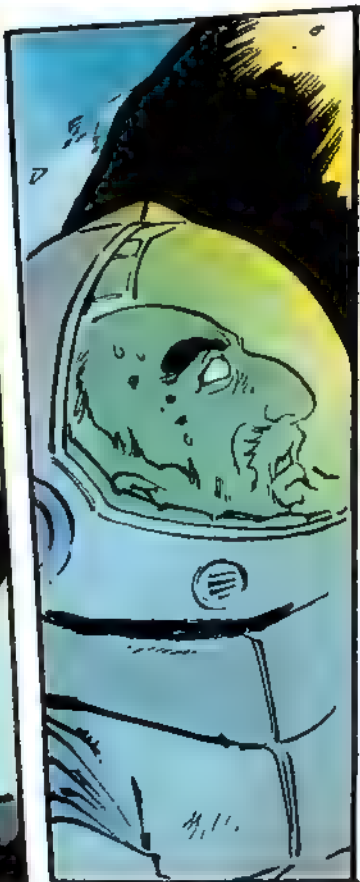
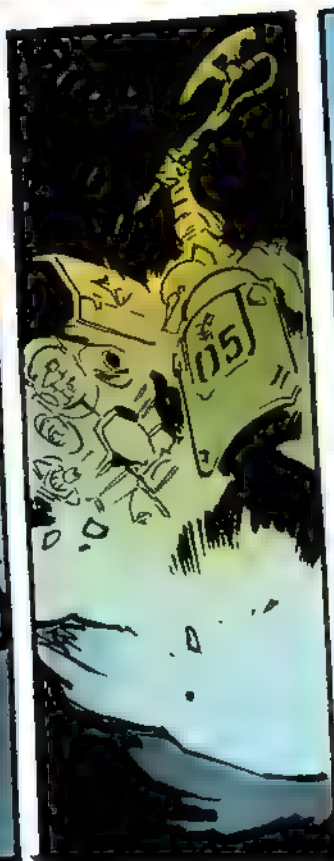
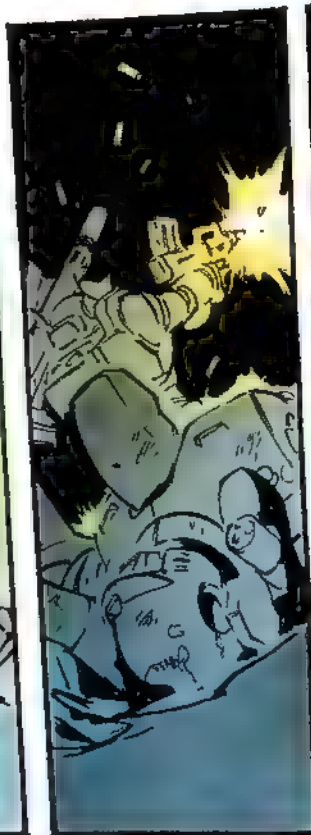
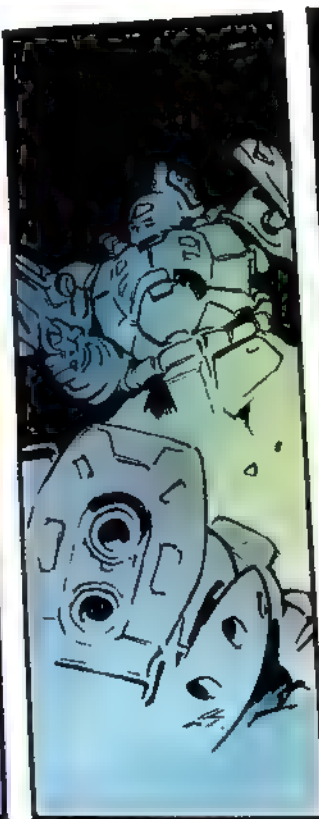
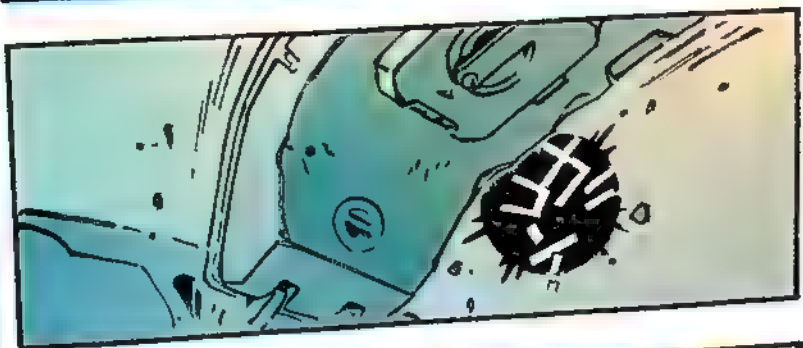
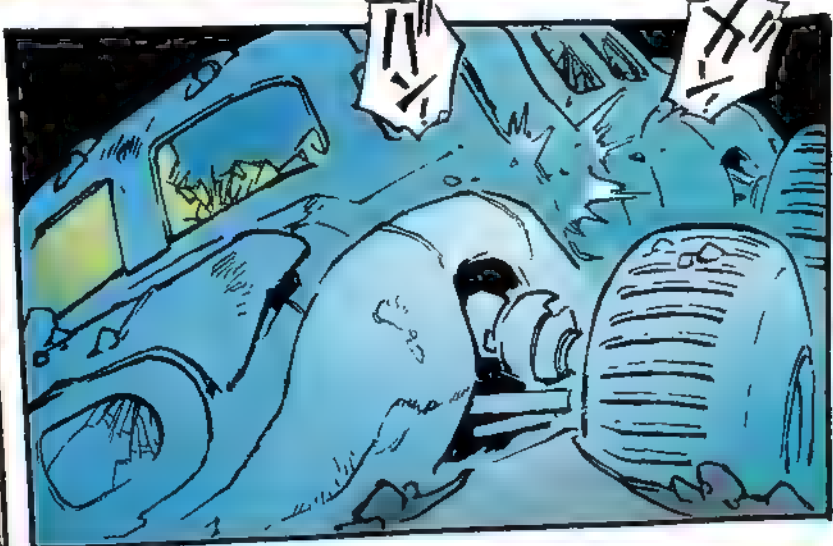
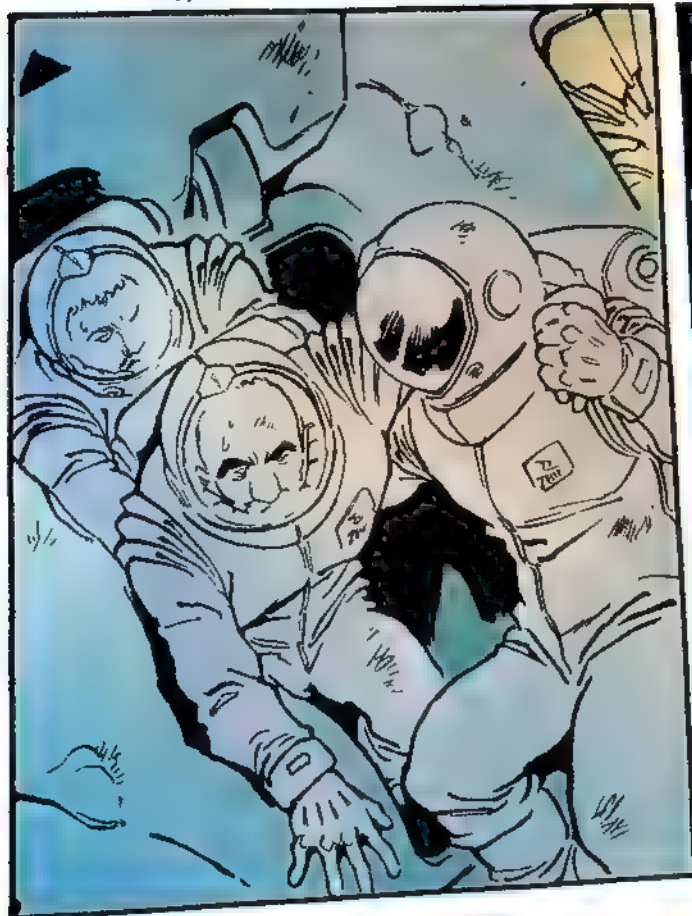
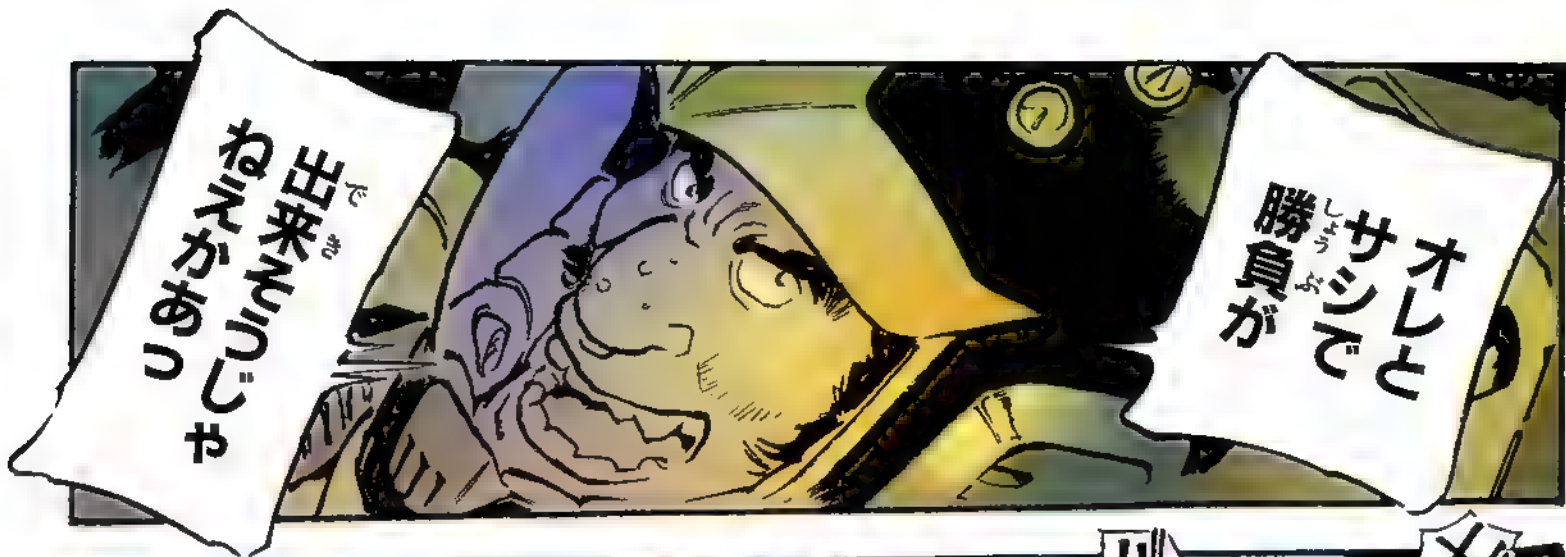




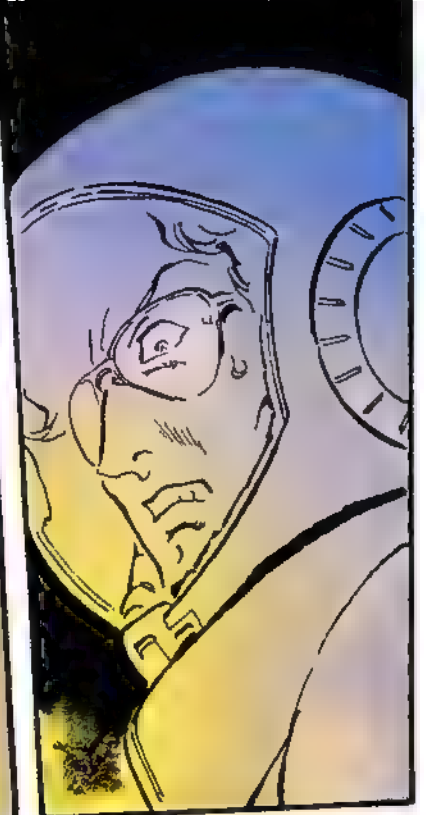
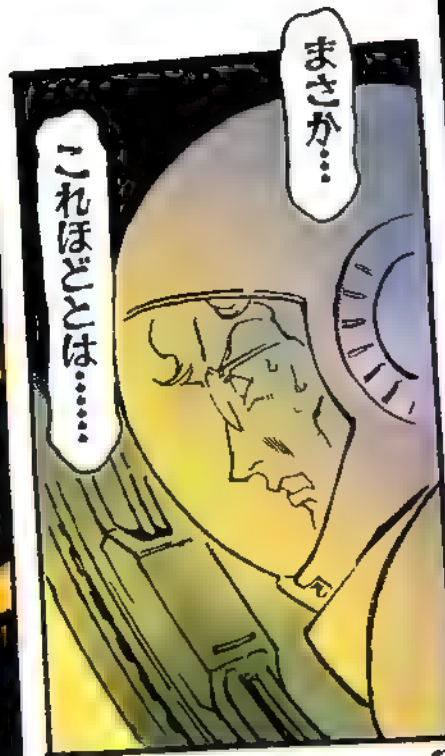
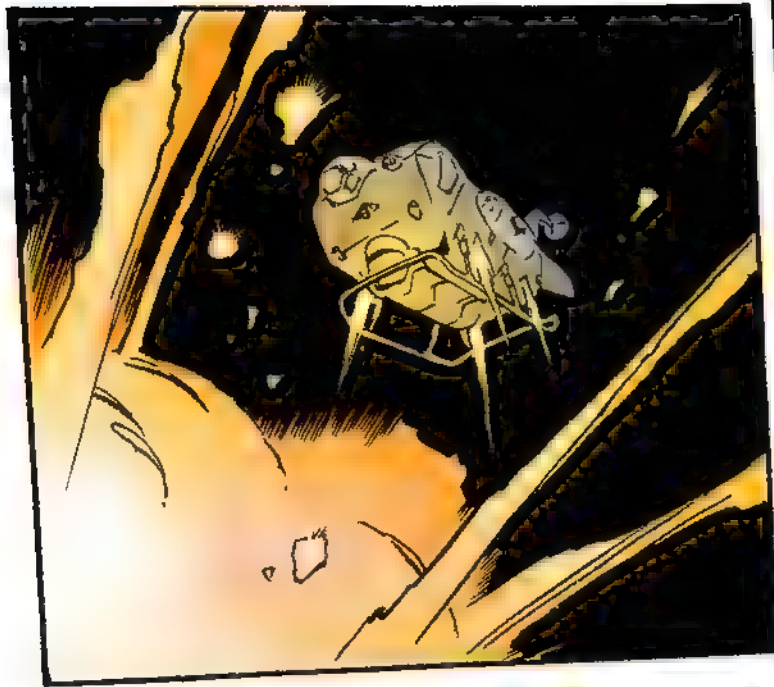


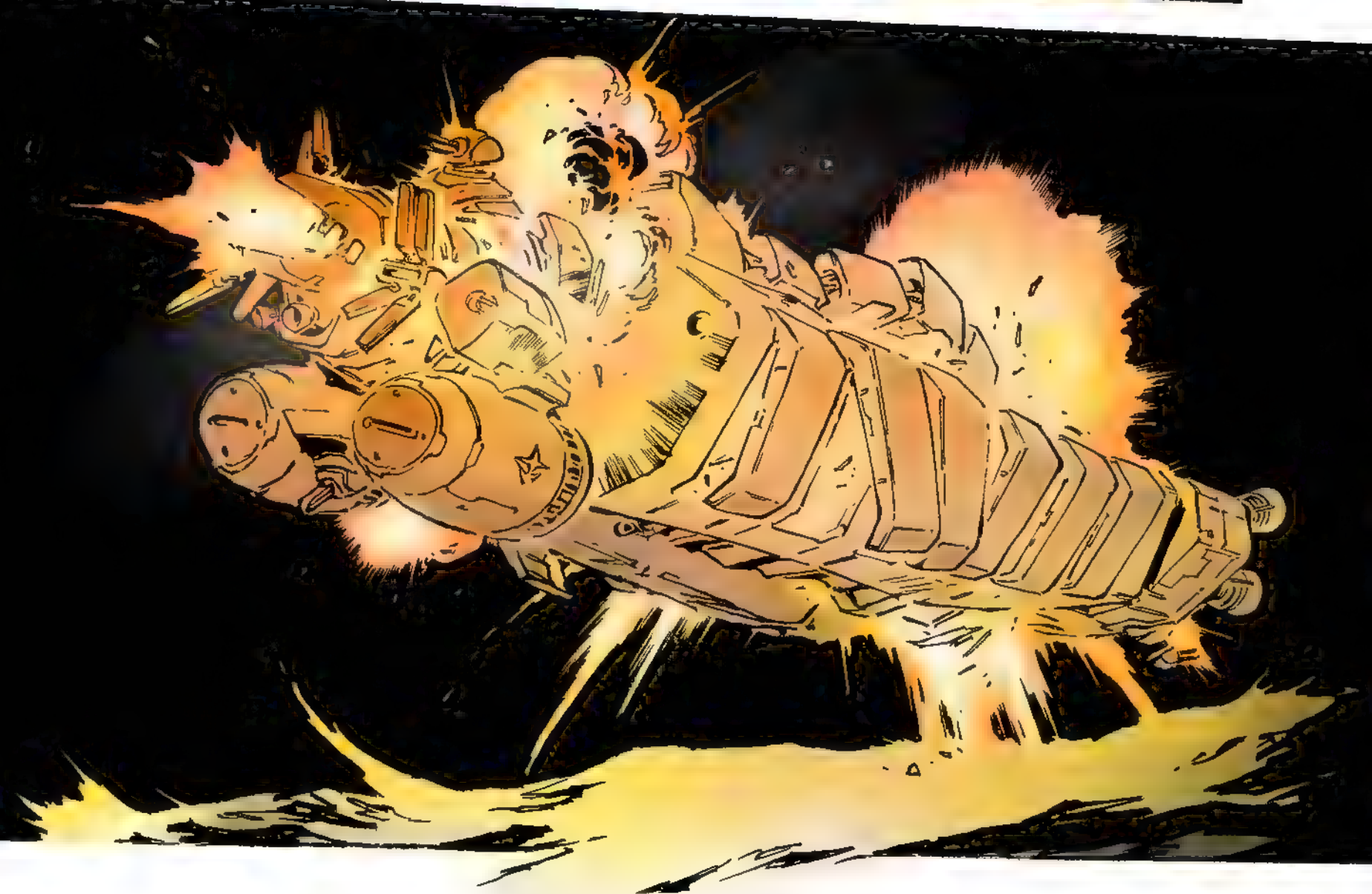
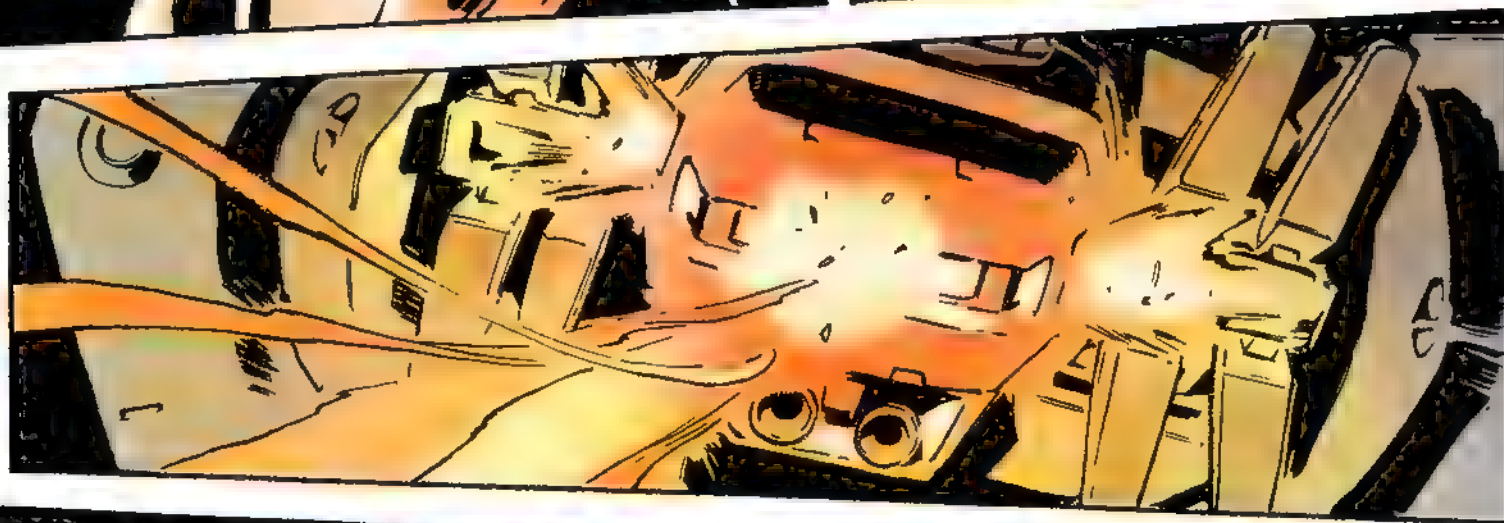
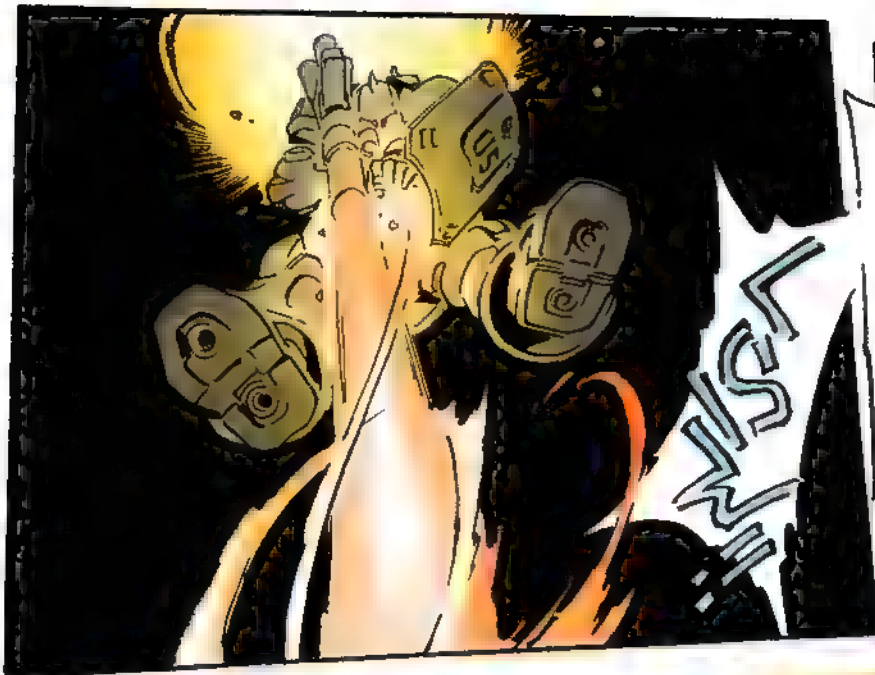












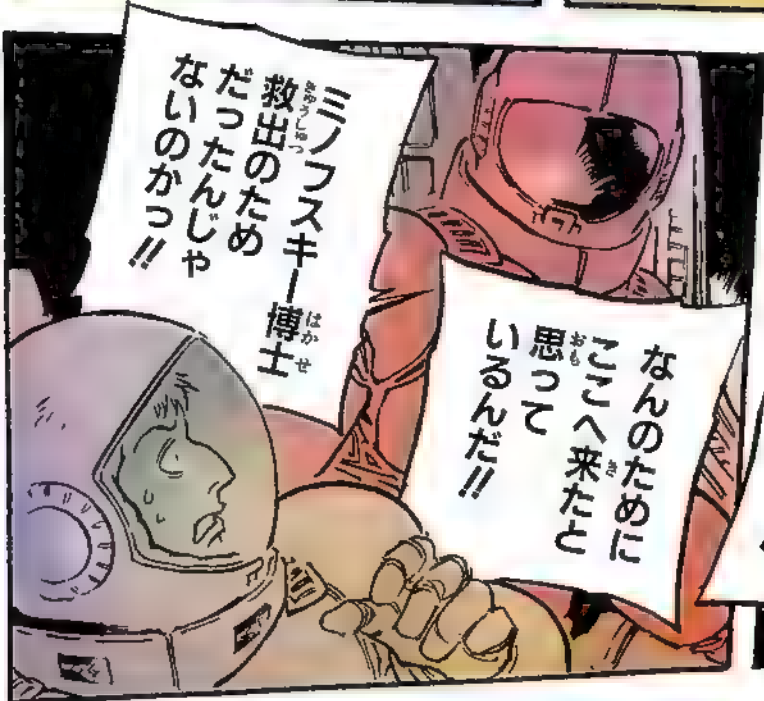


撤収
しましょう！

危険です
レイ部長！



ばかもの
馬鹿者ッ！！



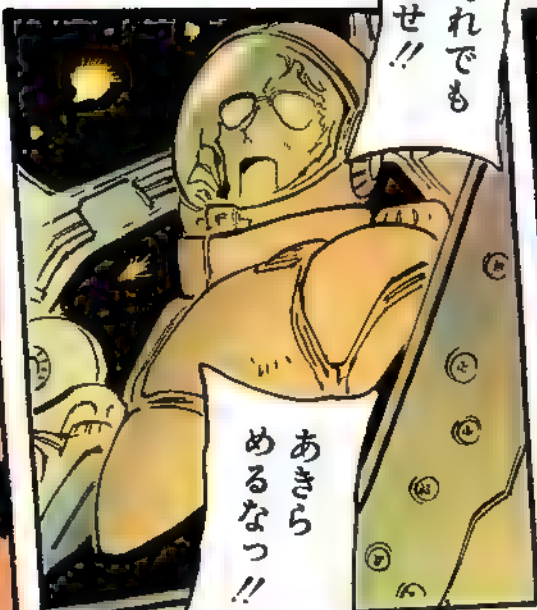
ミノフスキー博士
救出のため
だったんじゃないのかッ！！

なんのために
ここへ来たか
と思って
いるんだ！！



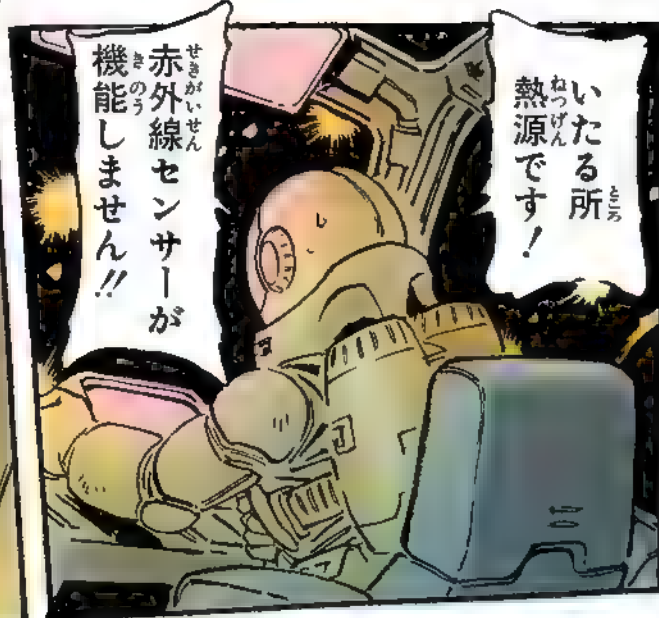
センサーから
目を離すなッ！！

博士を捜せ！



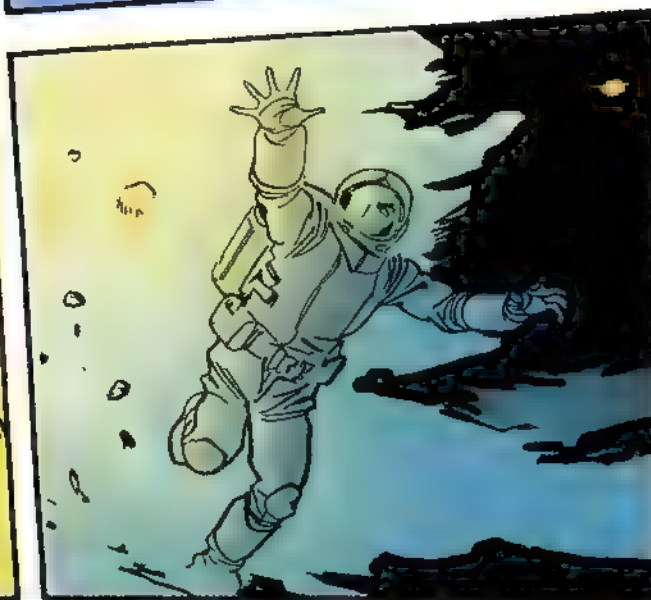
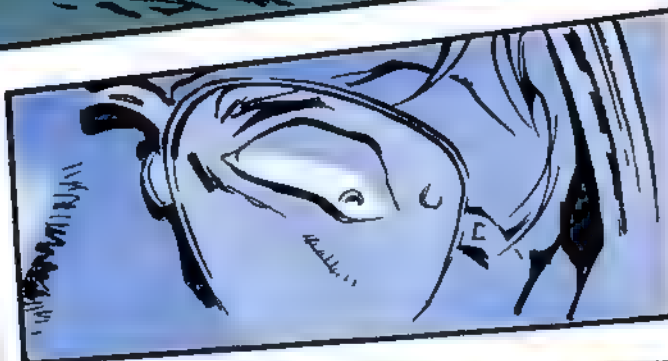
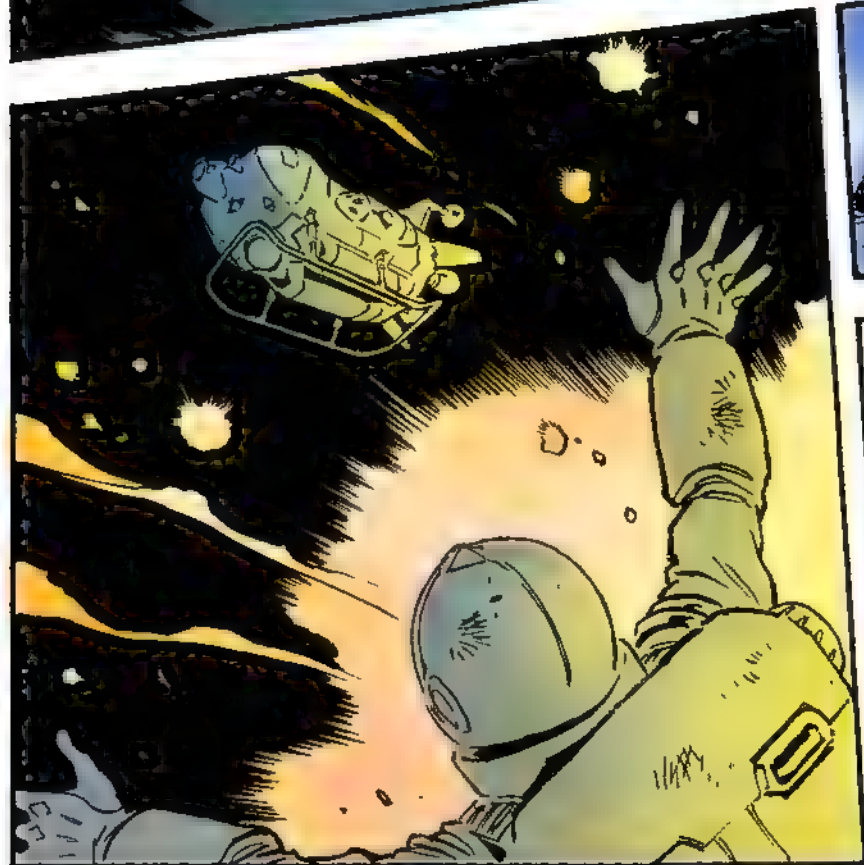
それでも
捜せ!!

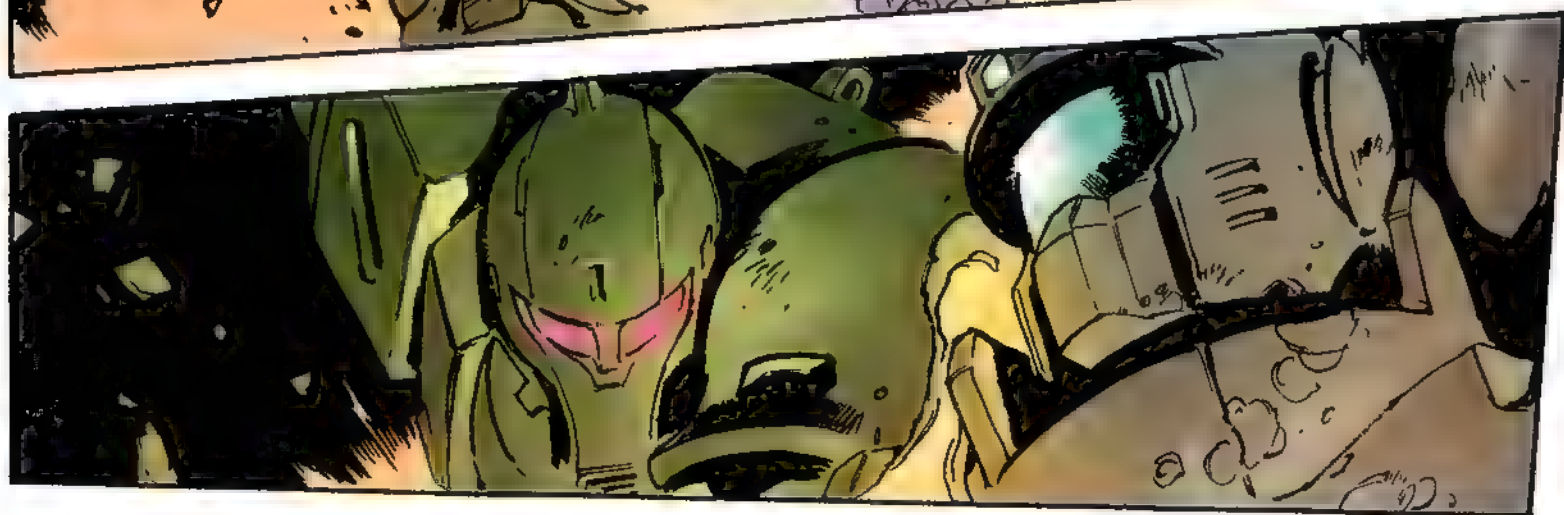
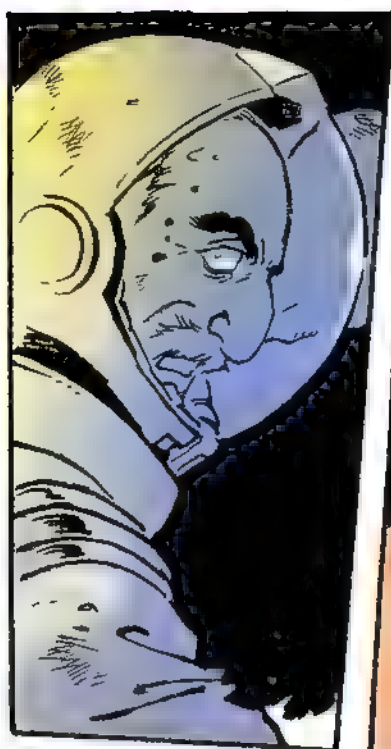
あきら
めるなっ!!

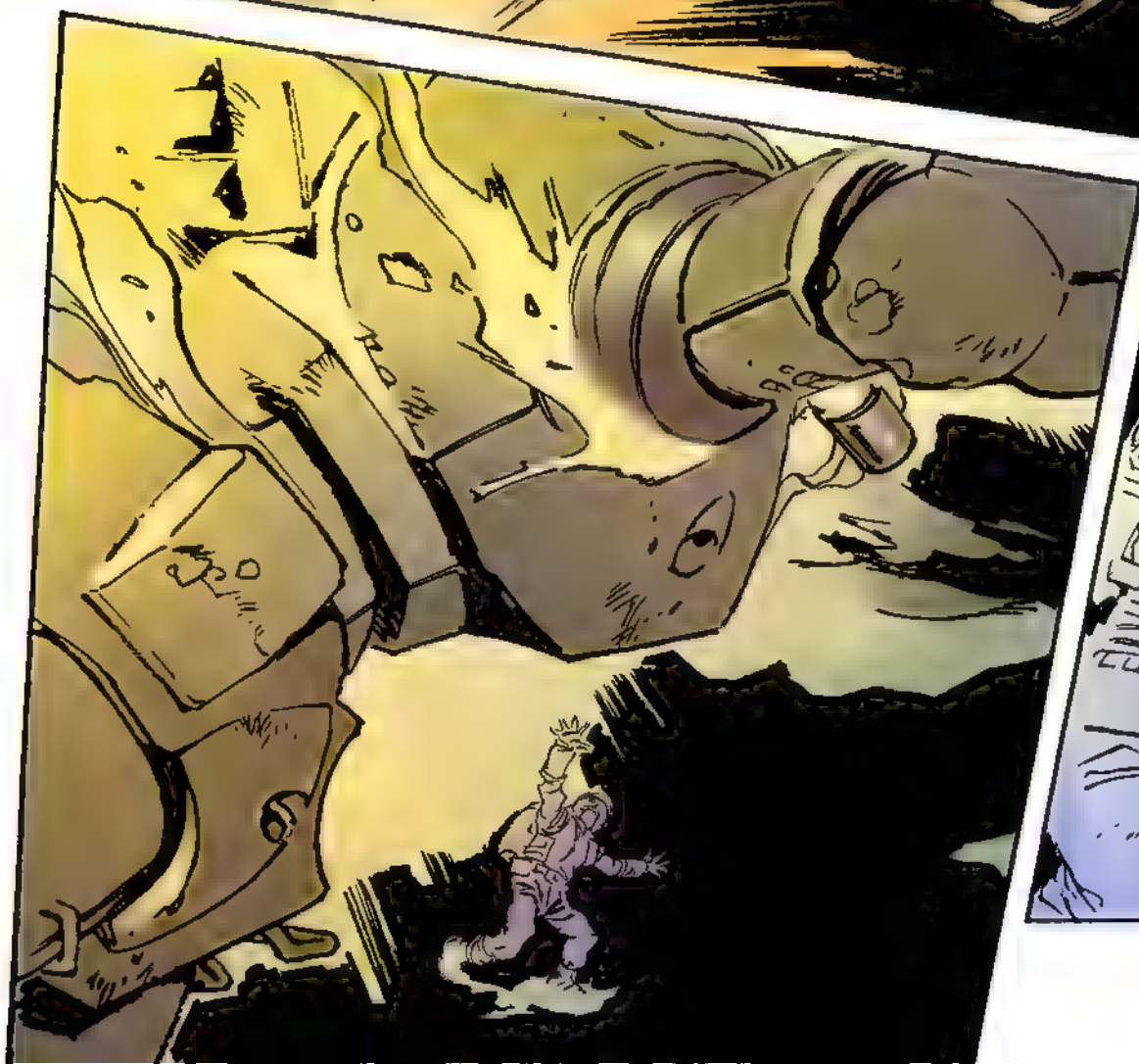
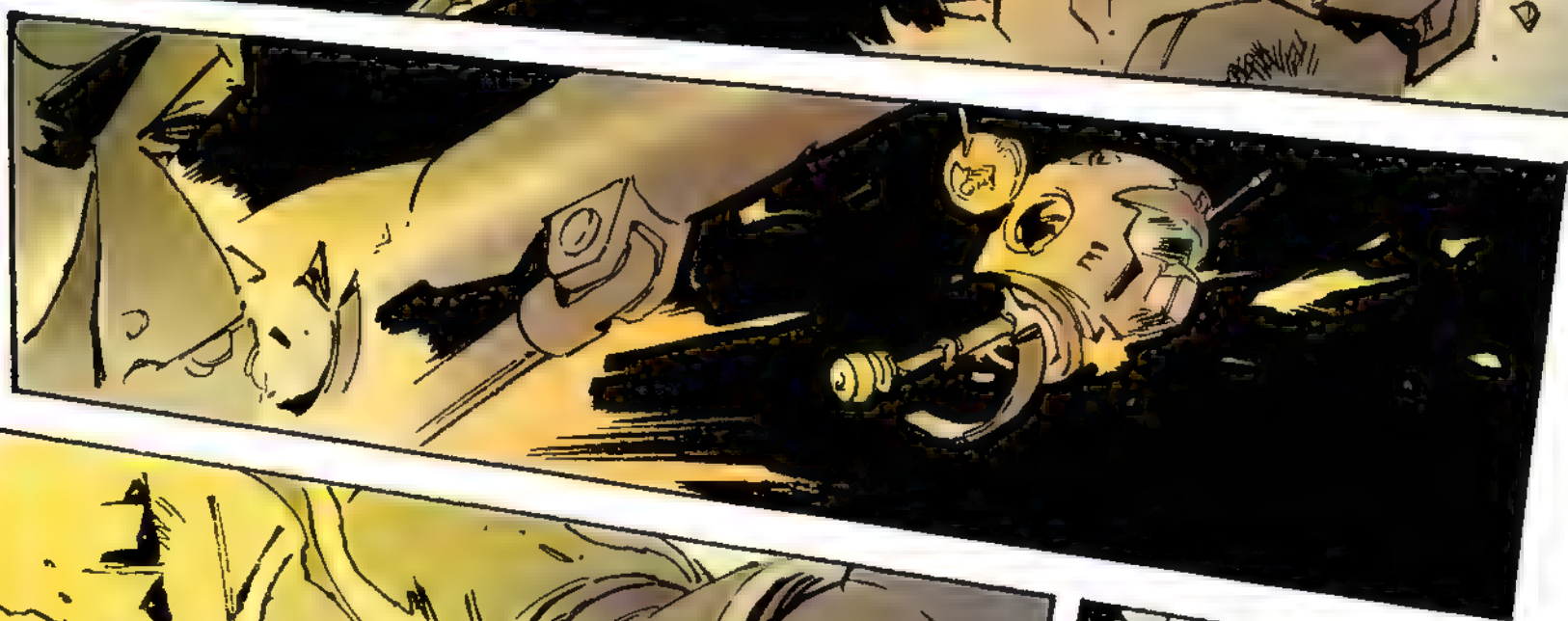
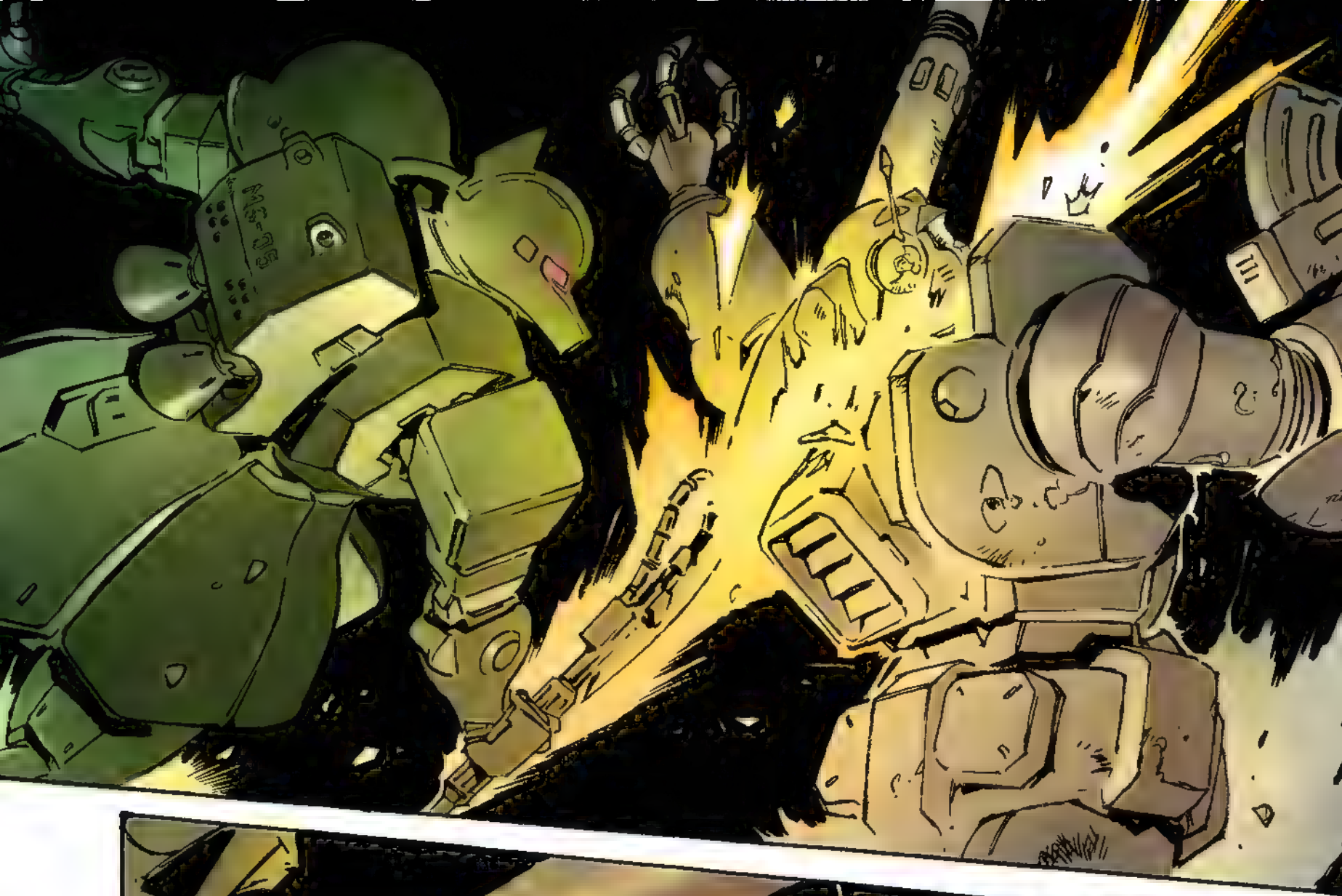


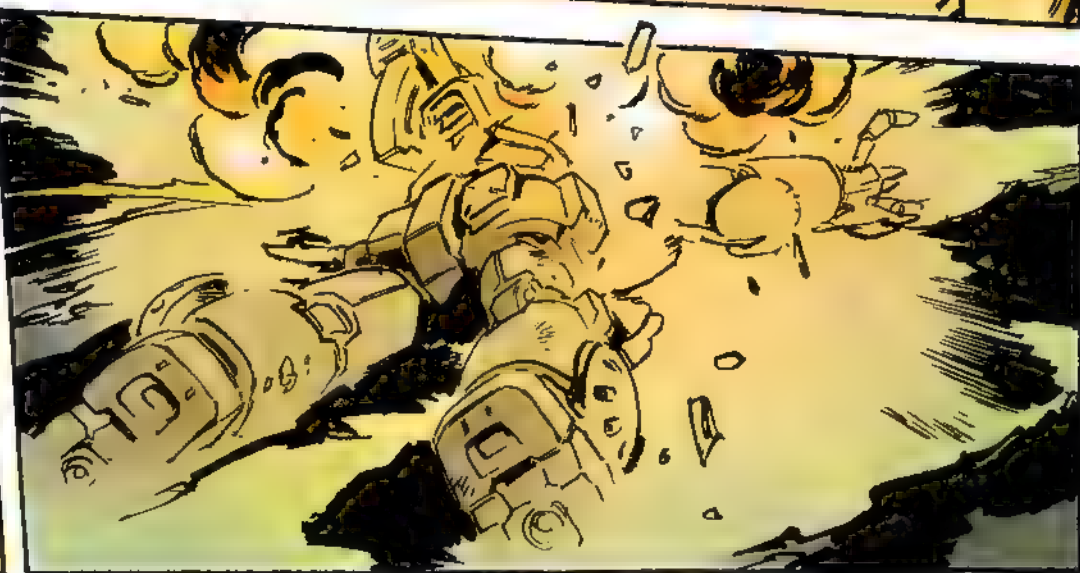
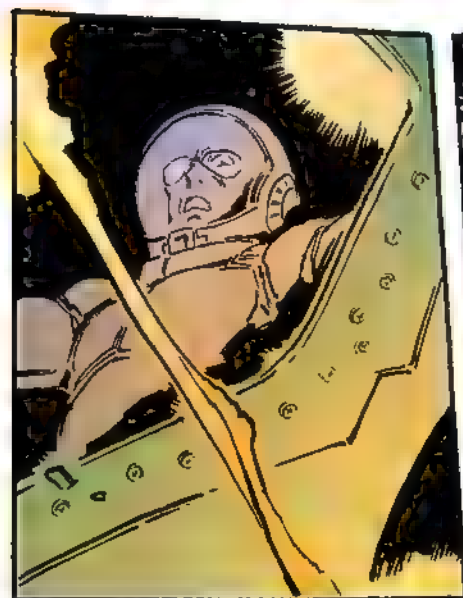
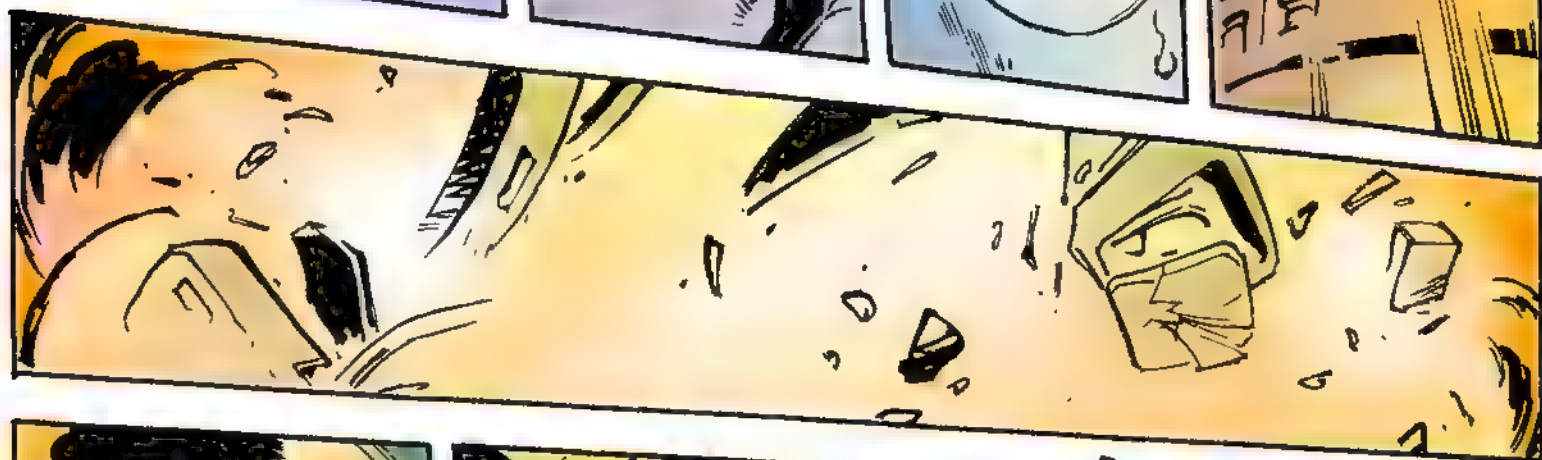
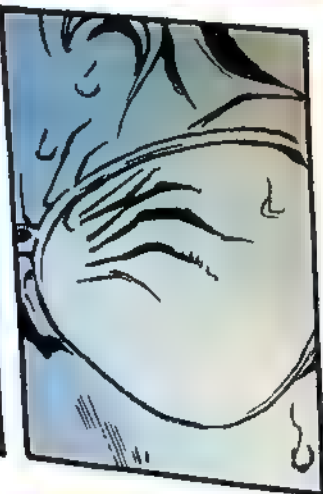
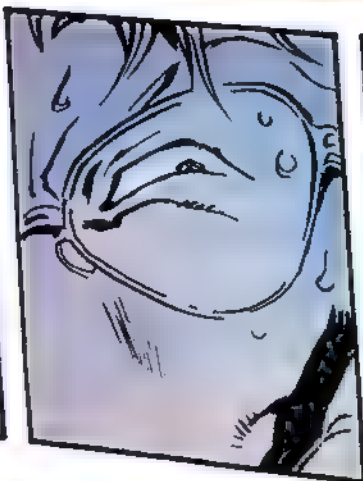
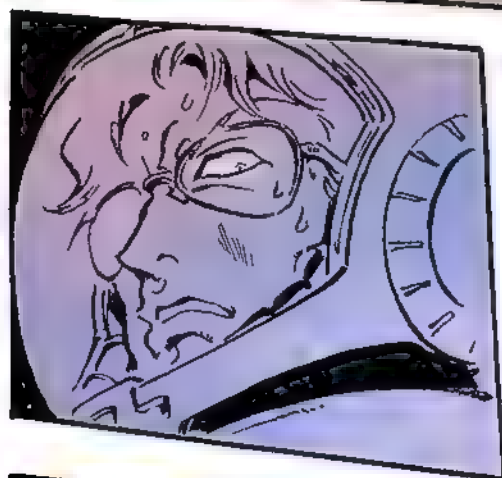
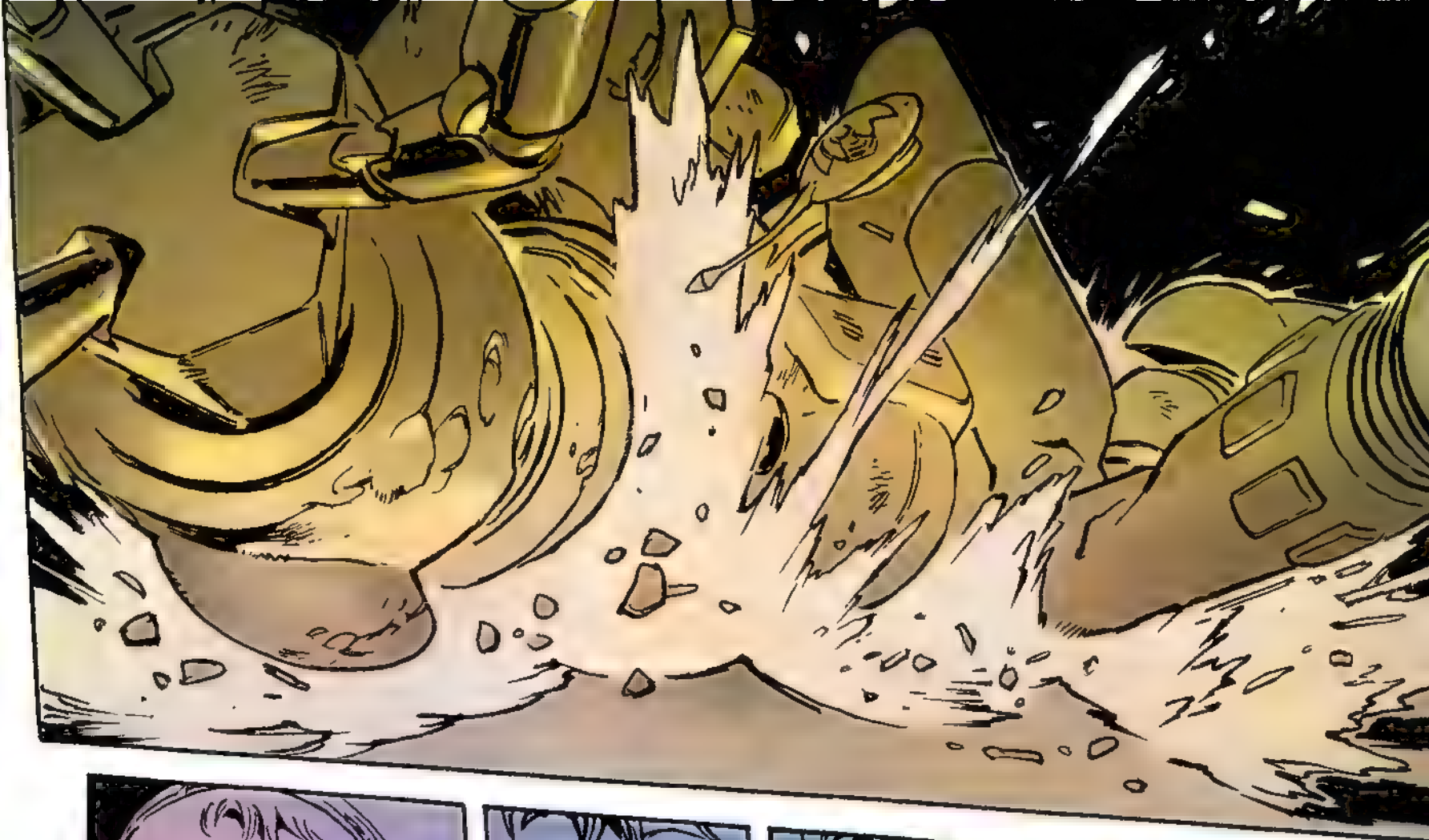
いたる所
熱源です!

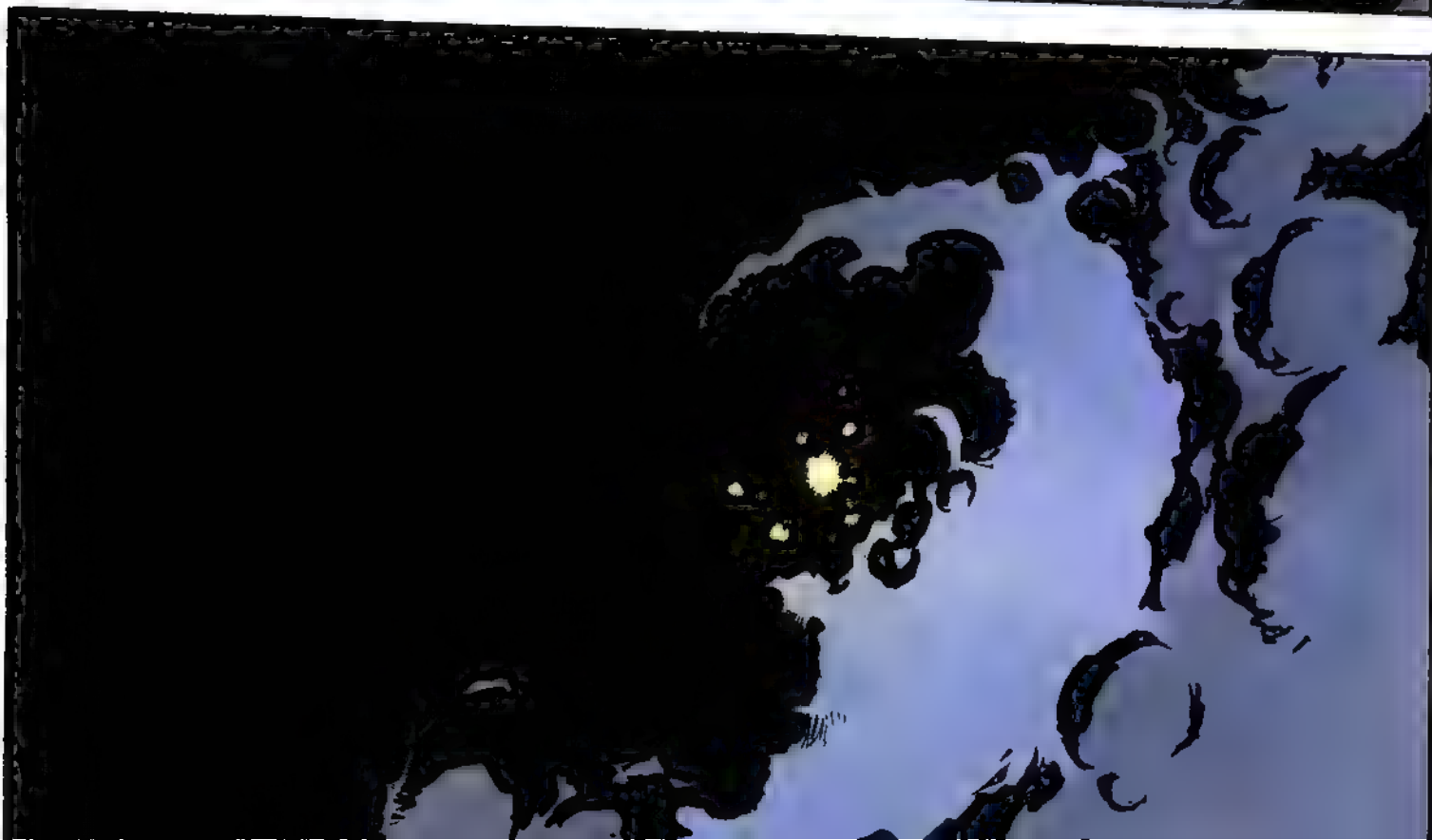
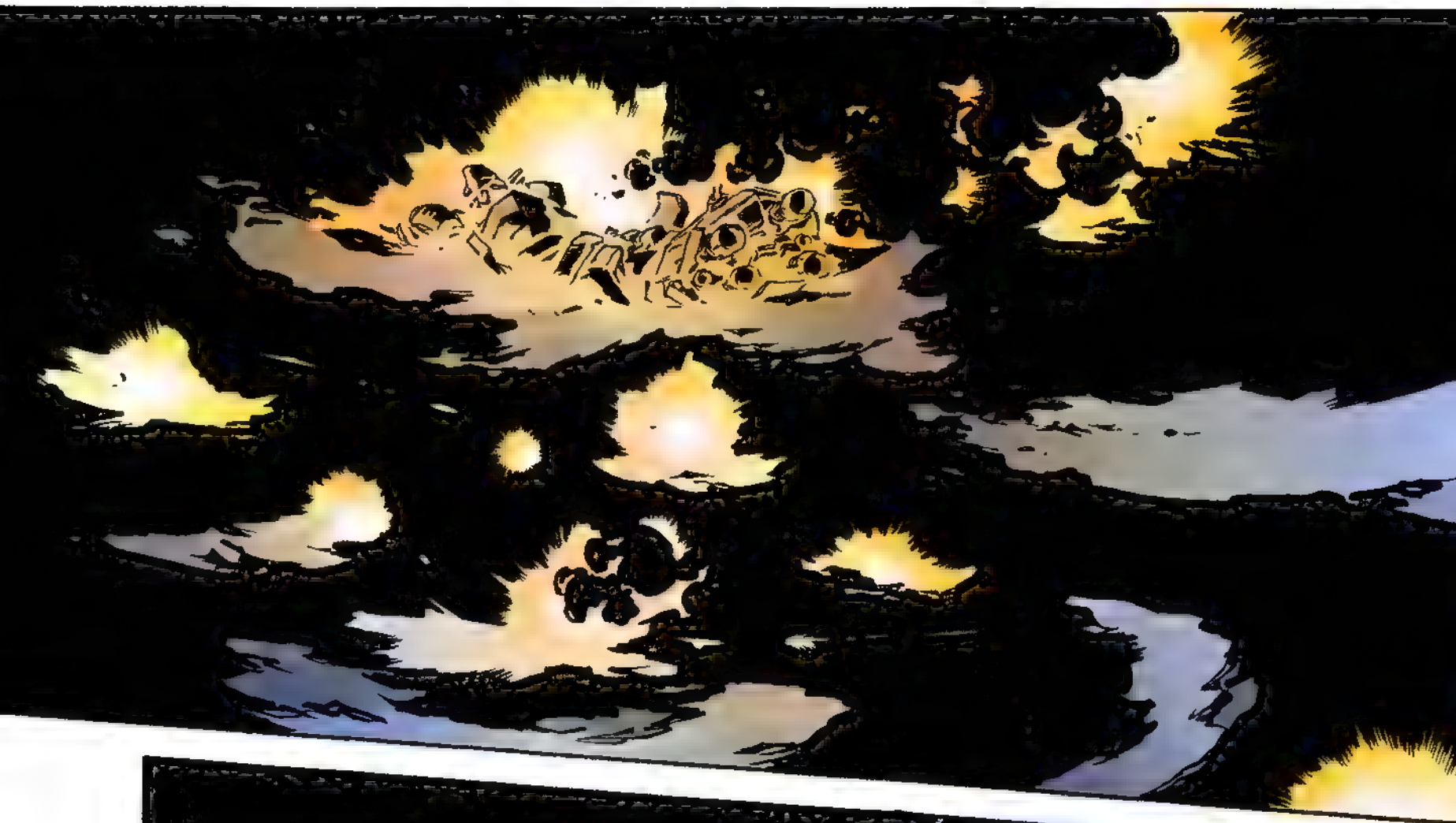
赤外線センサーが
機能しません!!

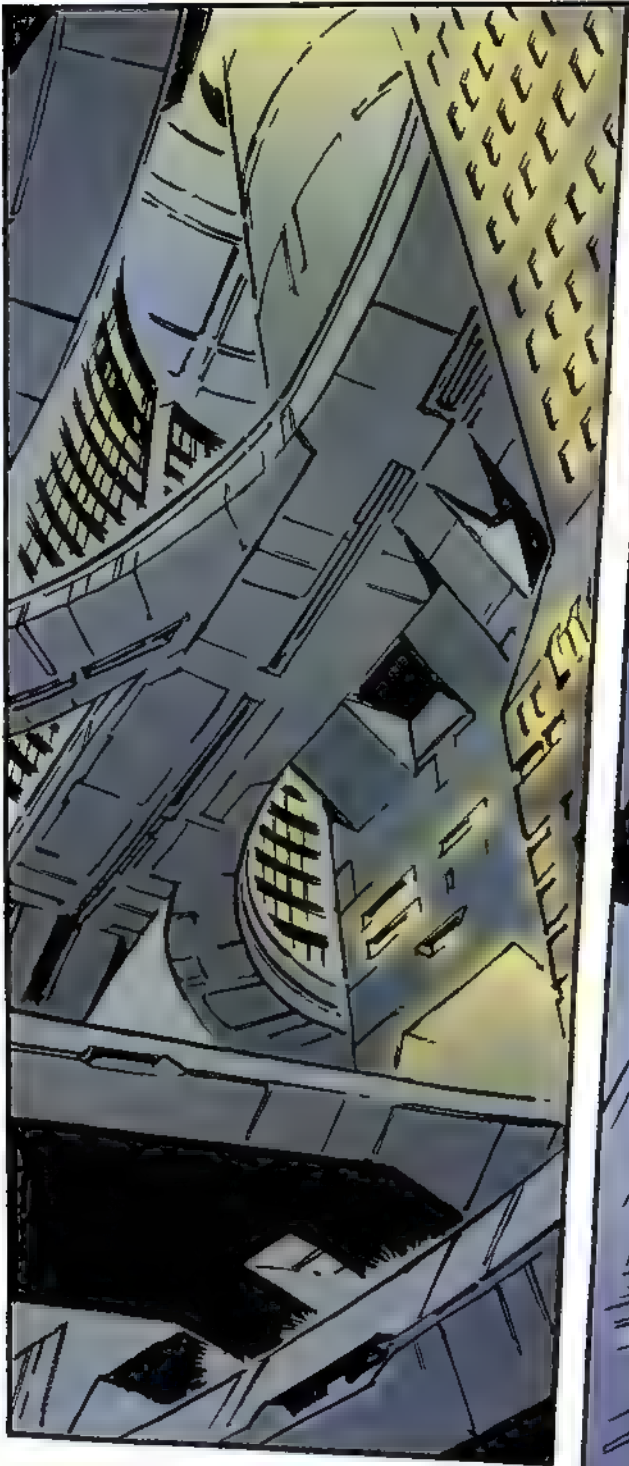


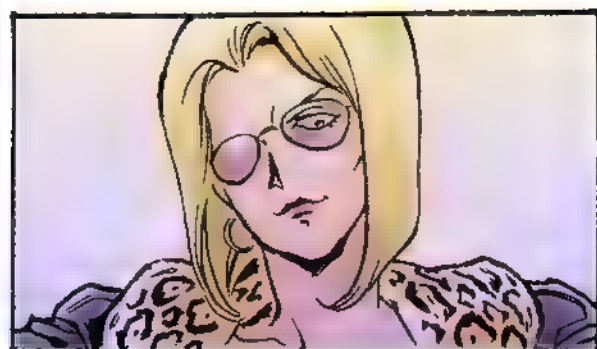
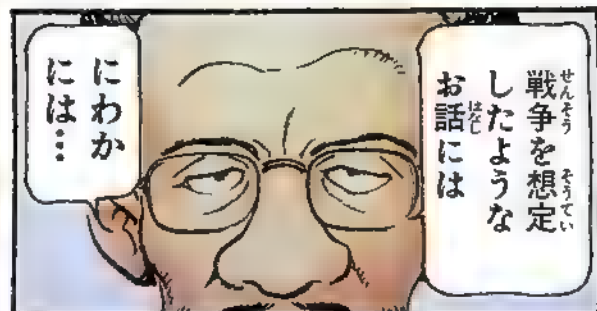
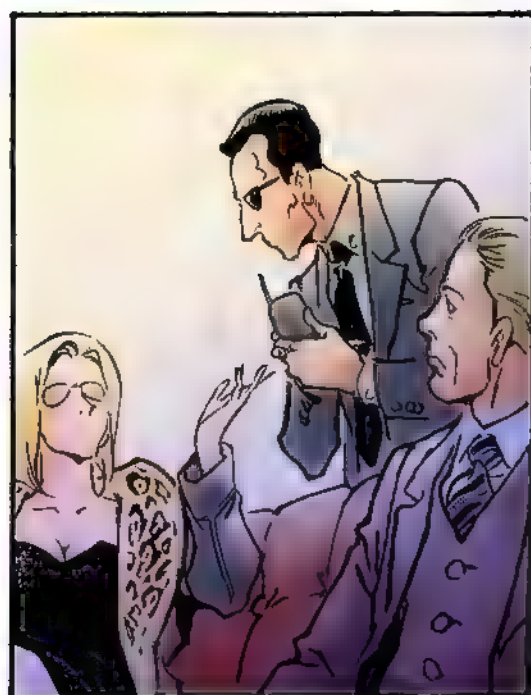
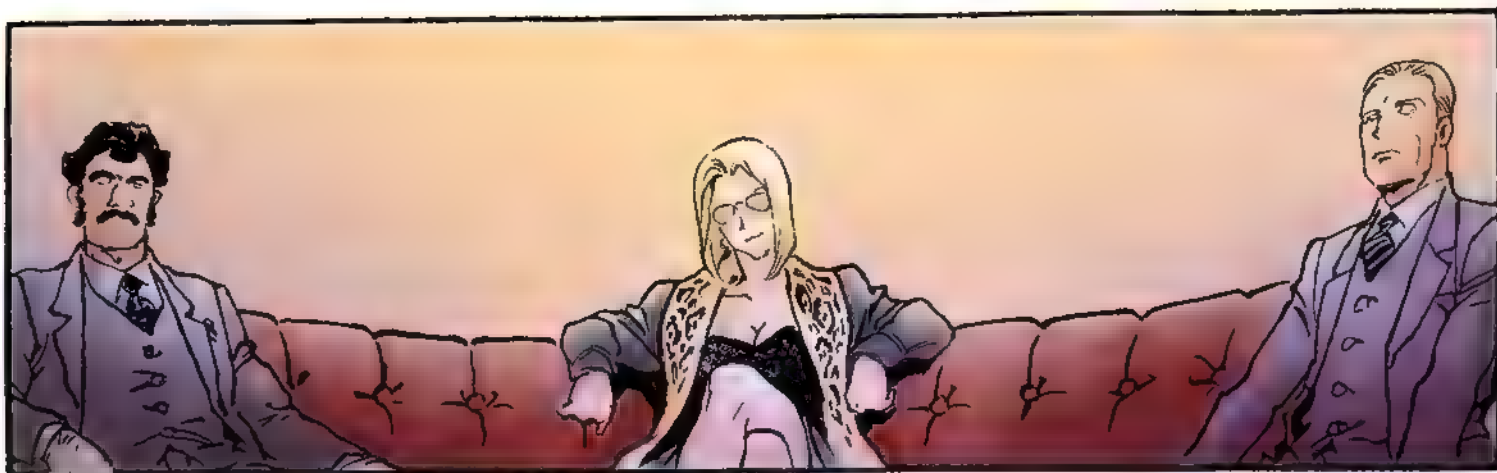
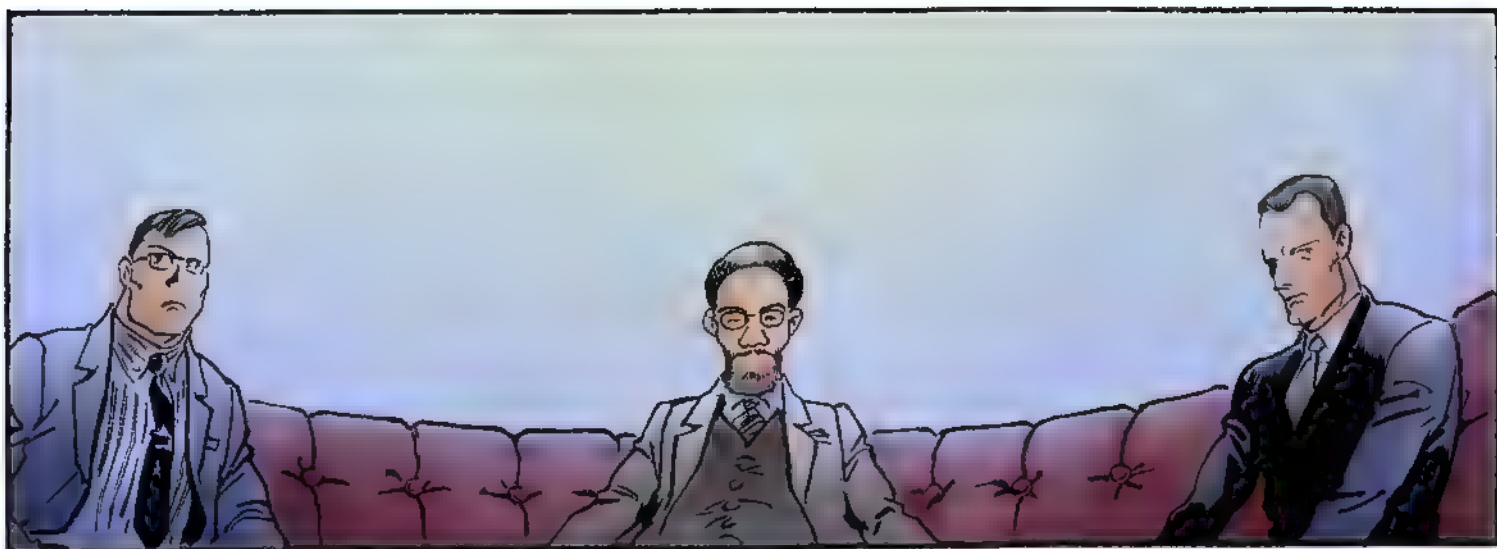


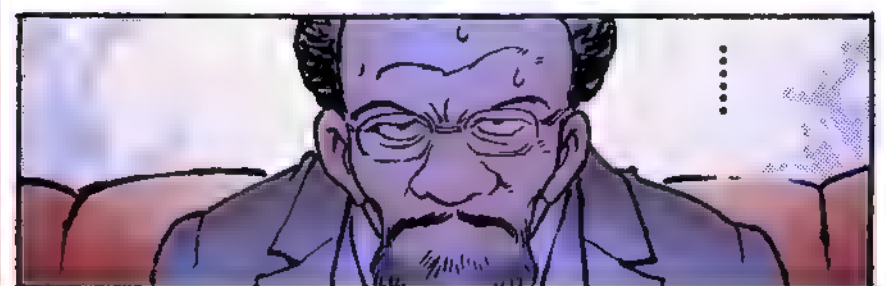
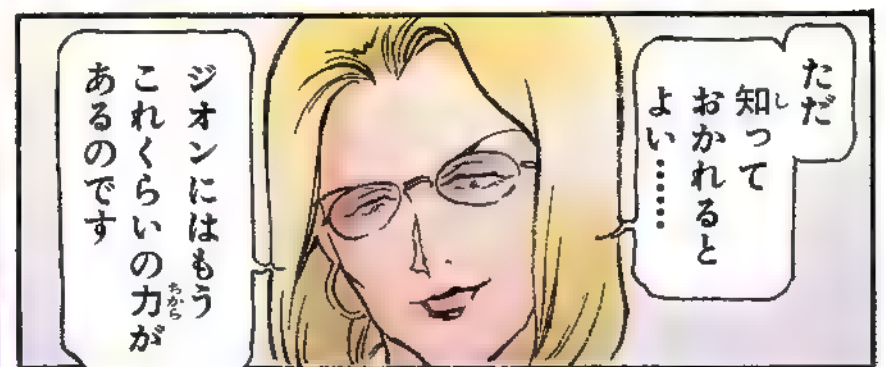
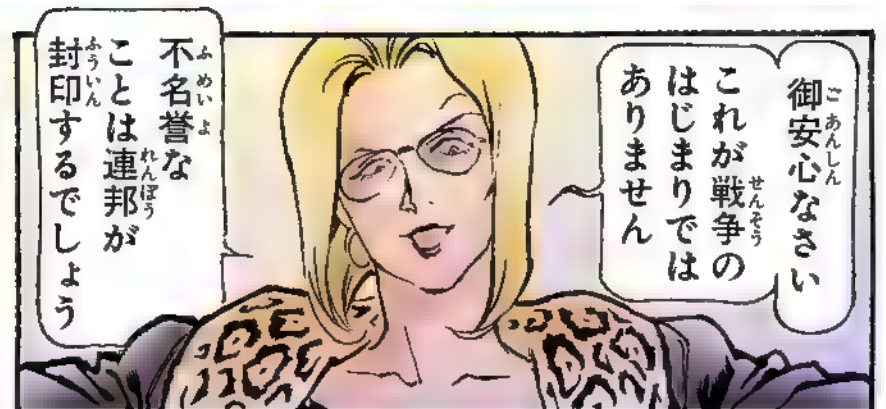
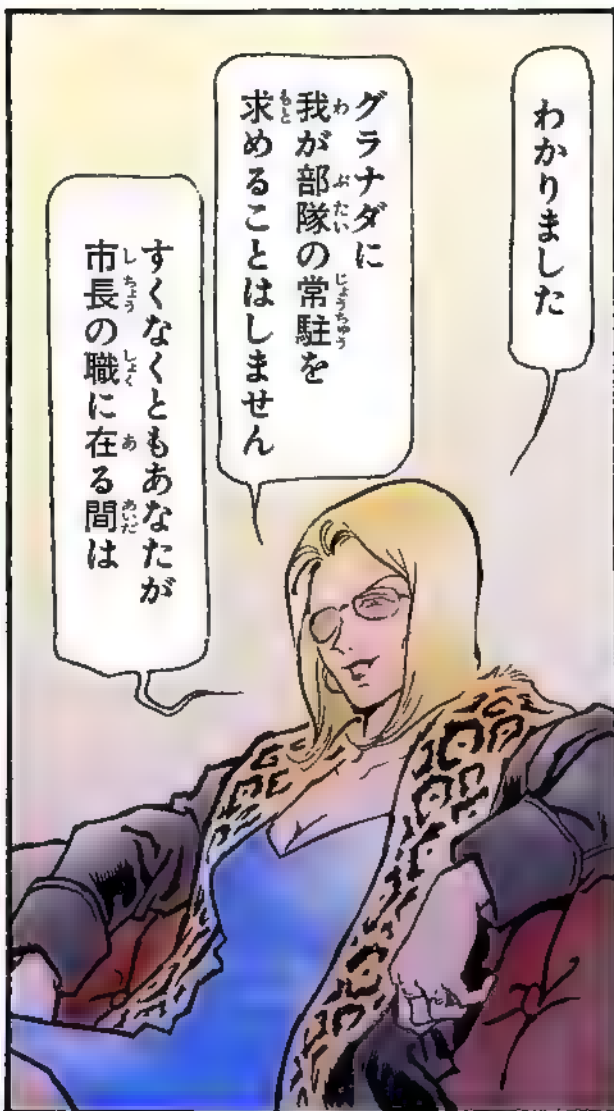
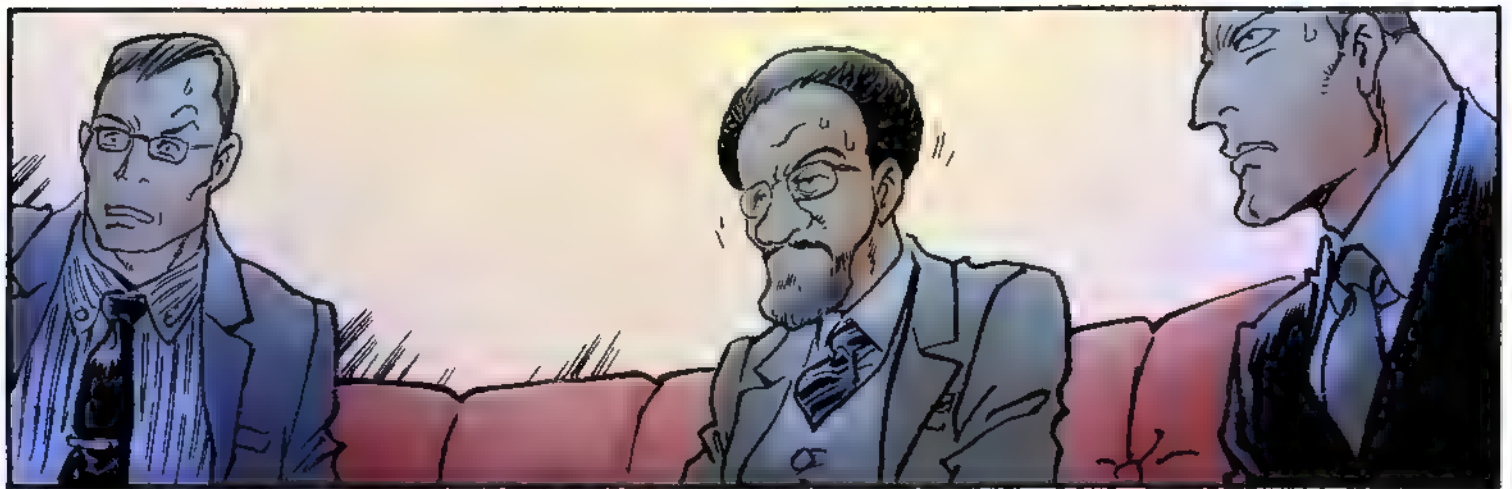
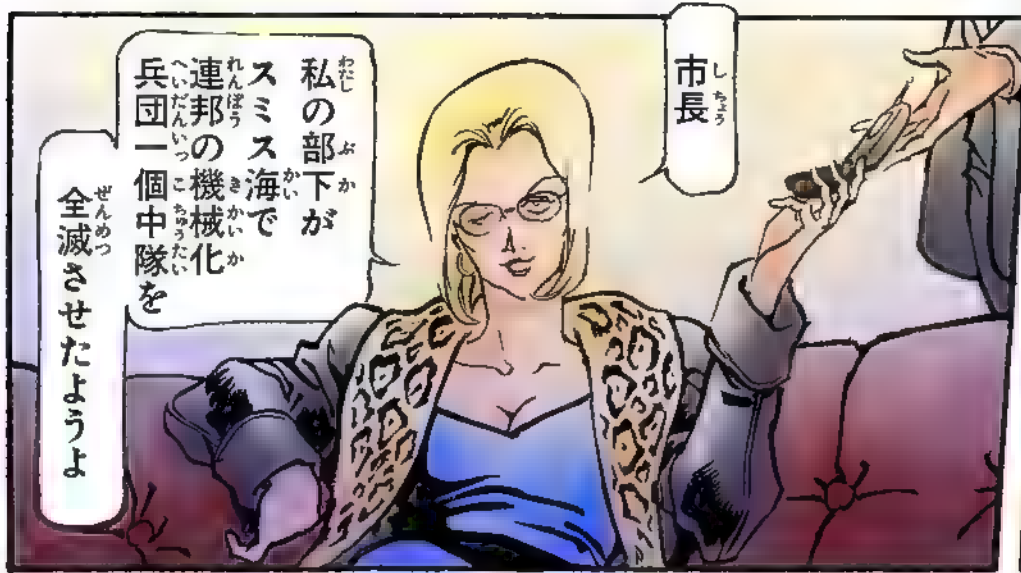


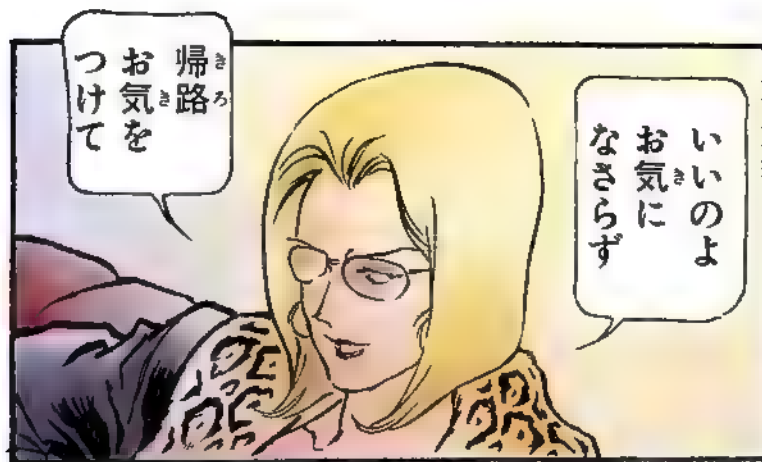












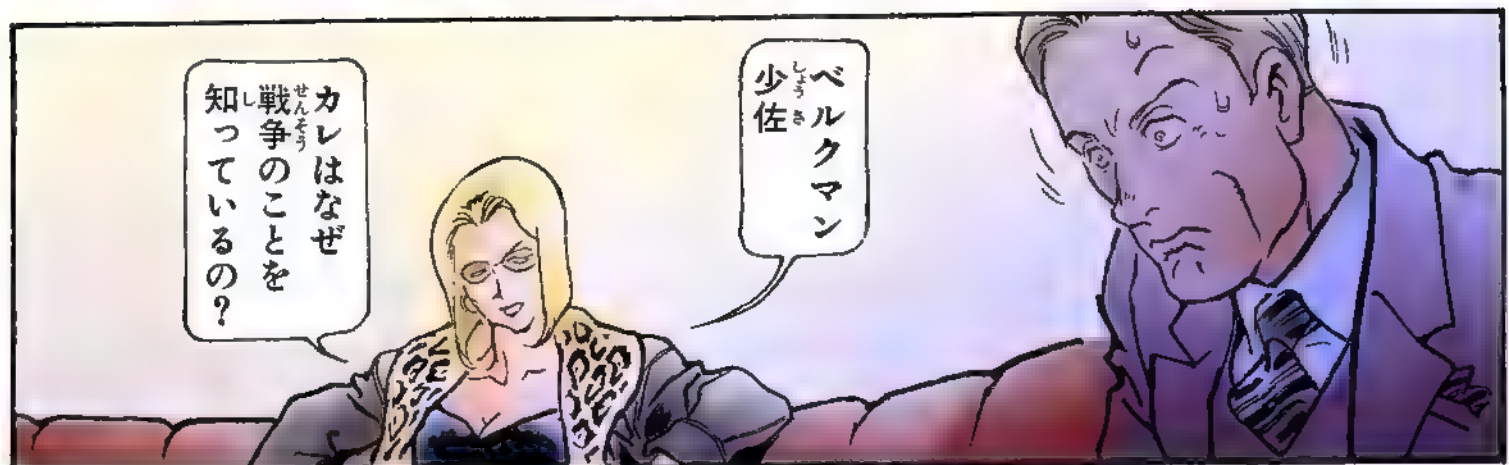
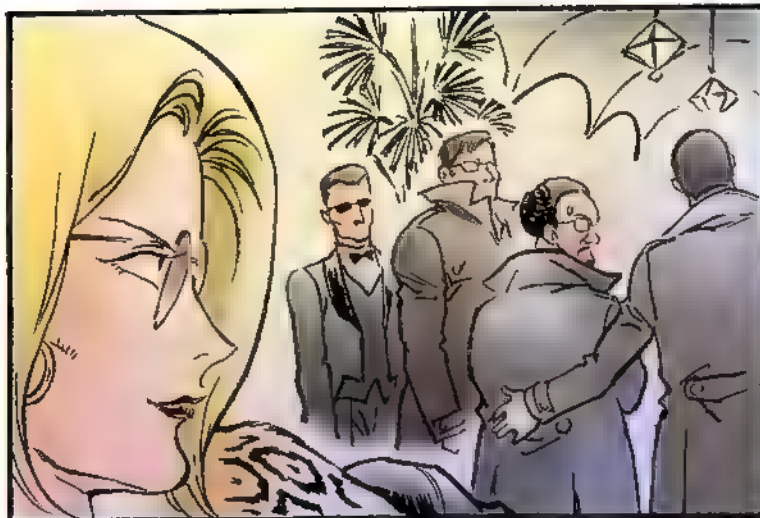
帰路
お気を
つけて

いいのよ
お気に
なさらず



御要望に
応えられず

あいすみませんな
キシリア様



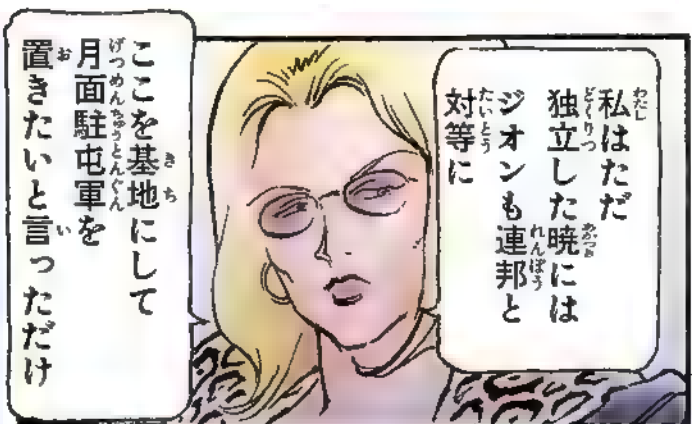
ベルクマン
少佐

カレはなぜ
戦争のことを
知っているの？



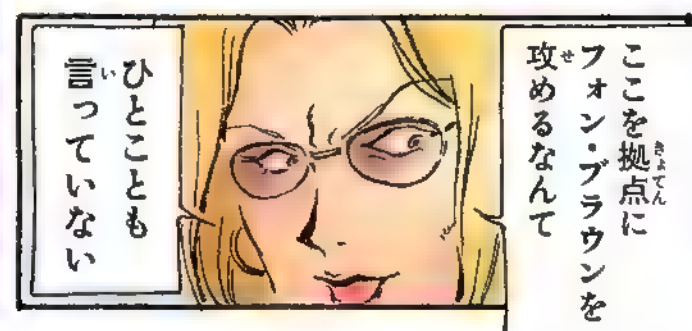
要らないわ

諜報部に
おしやべりは



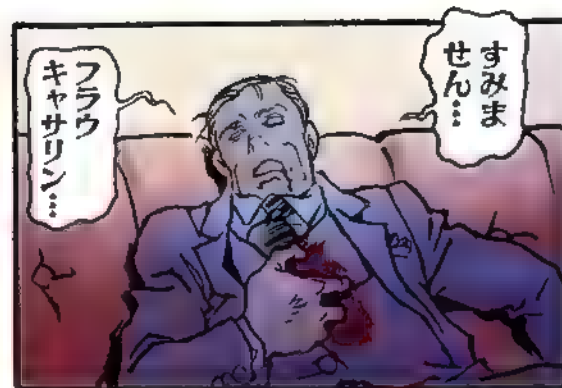
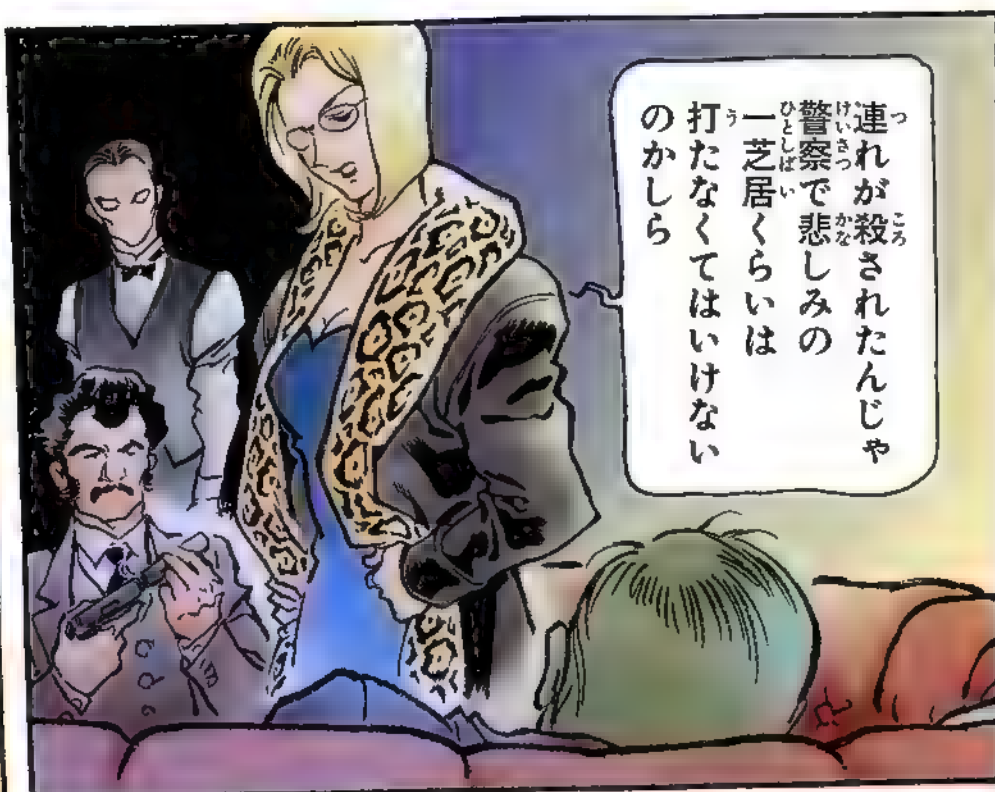
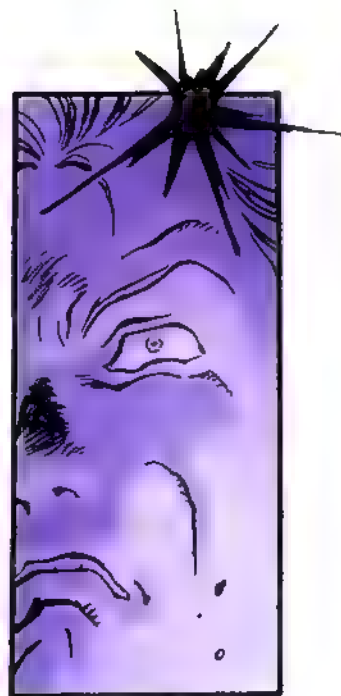
私はただ
独立した暁には
ジオンも連邦と
対等に

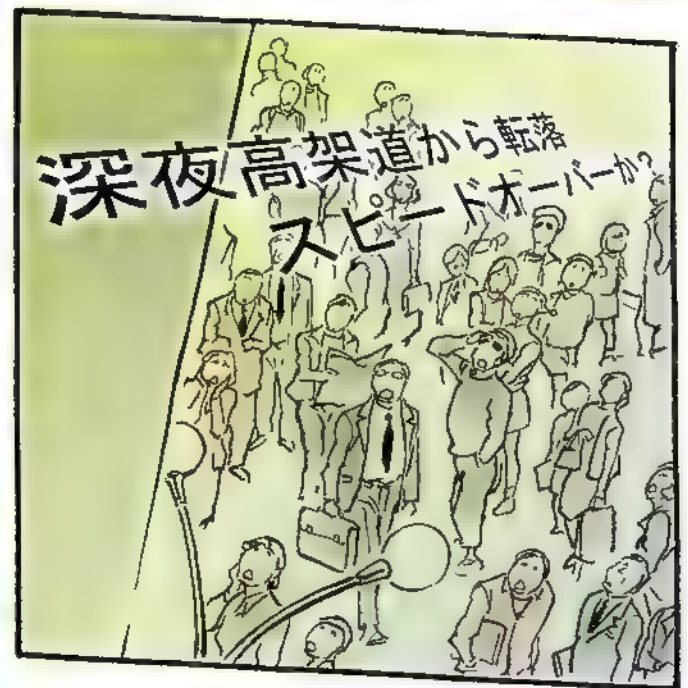
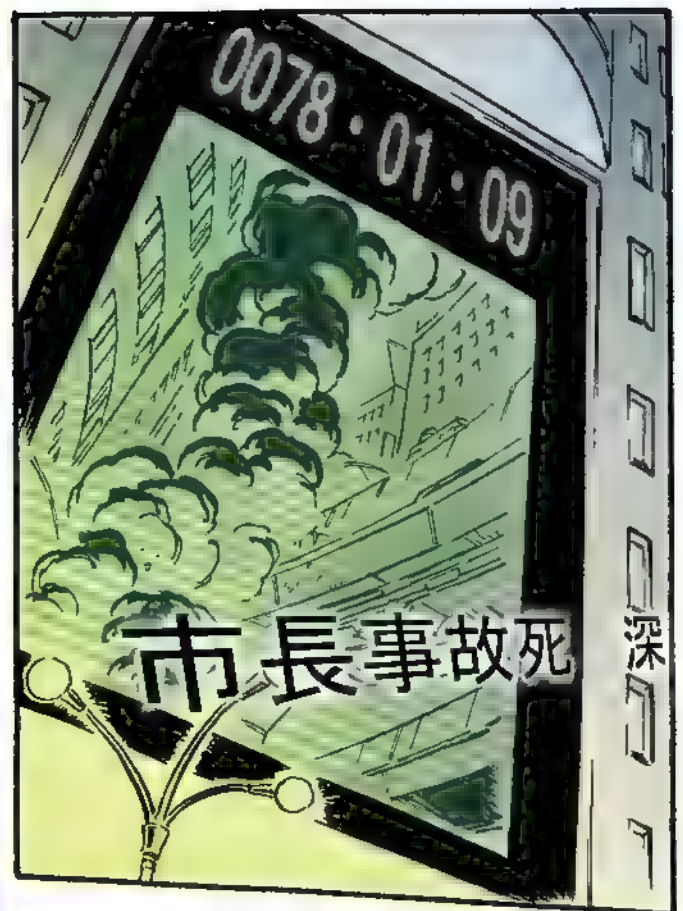
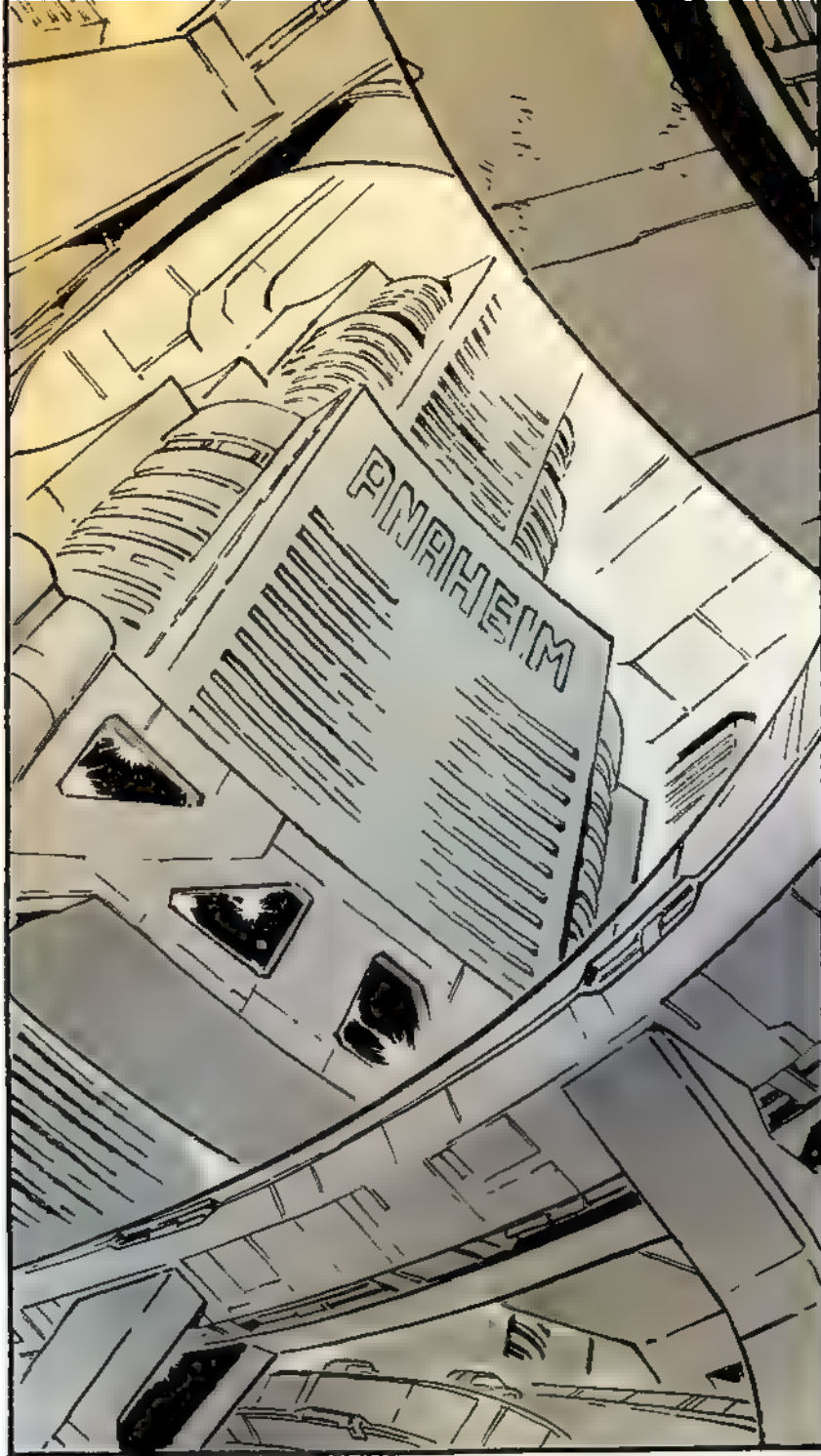
ここを基地にして
月面駐屯軍を
置きたいと言っただけ



ひとことも
言っていない

ここを拠点に
フォン・ブラウンを
攻めるなんて

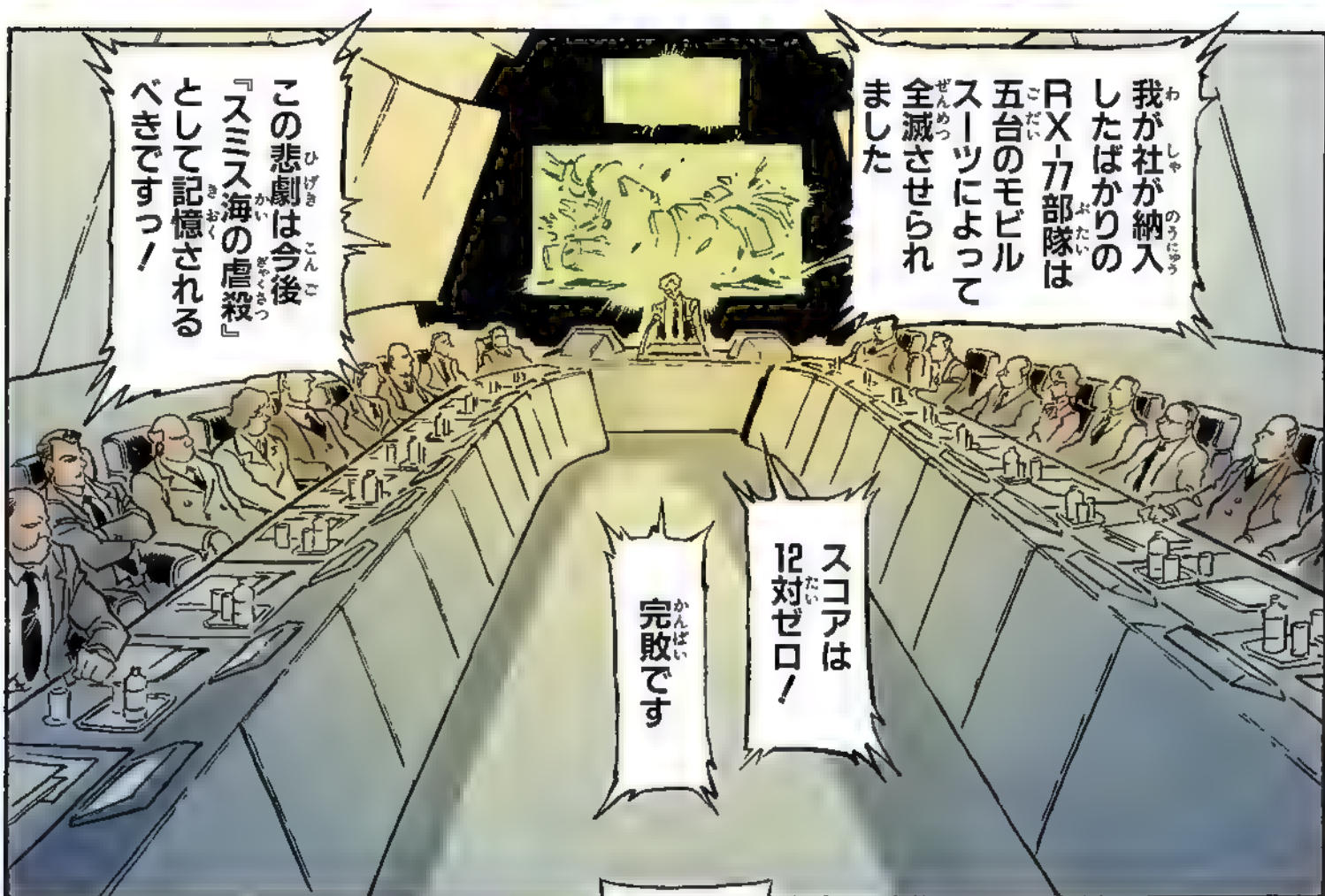






ジオニック社製の
モビルスーツは

おそろへべき
戦闘マシーン
ですっ！

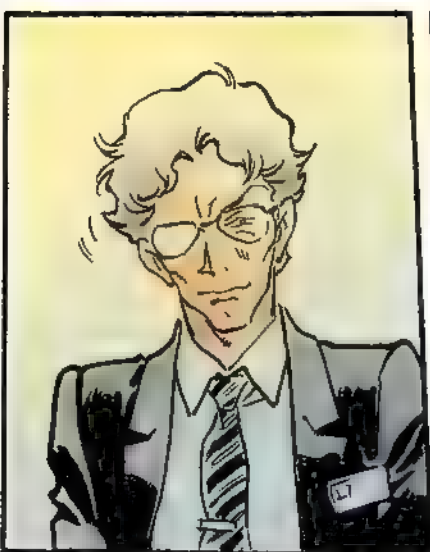


我が社が納入
したばかりの
RX-17部隊は
五台のモビル
スーツによって
全滅させられ
ました

この悲劇は今後
『スミス海の虐殺』
として記憶される
べきですっ！

スコアは
12対ゼロ！

完敗です



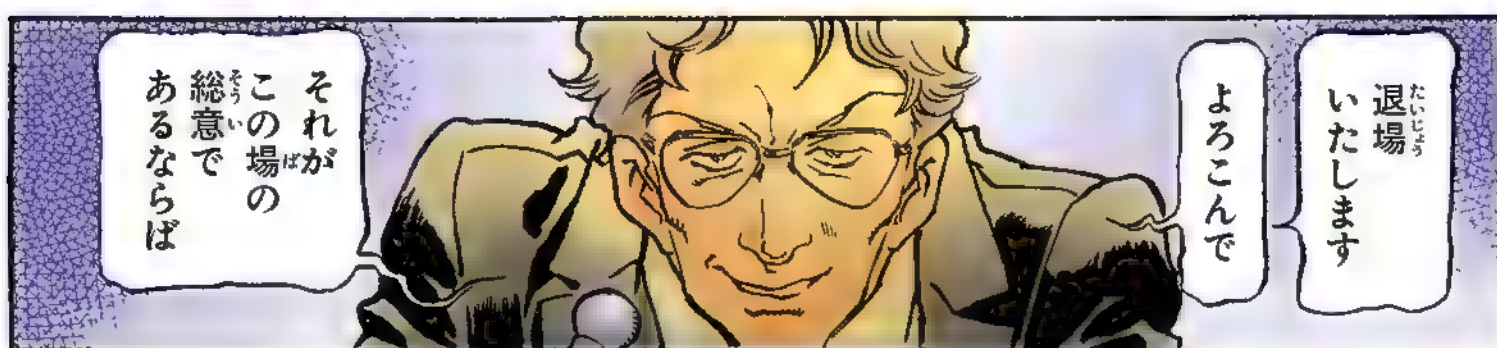
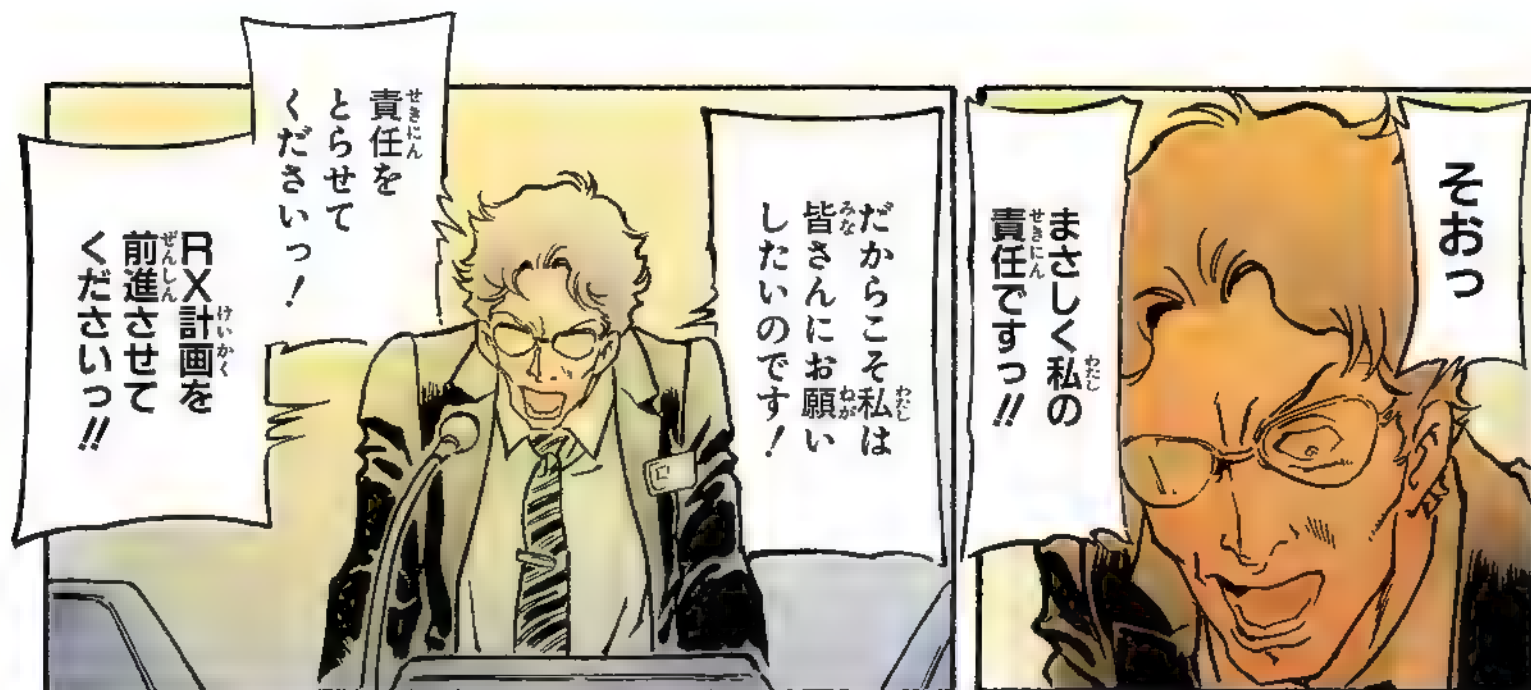
キミの
責任だ！

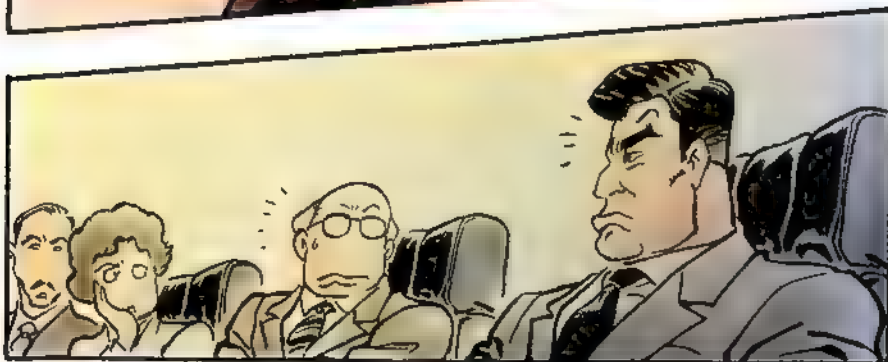
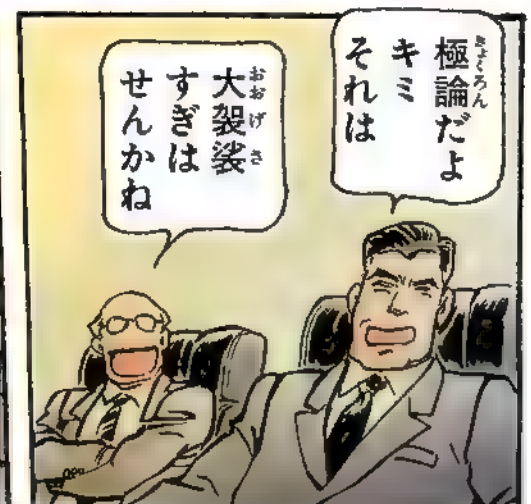
RX-17は
キミの設計
だぞ！

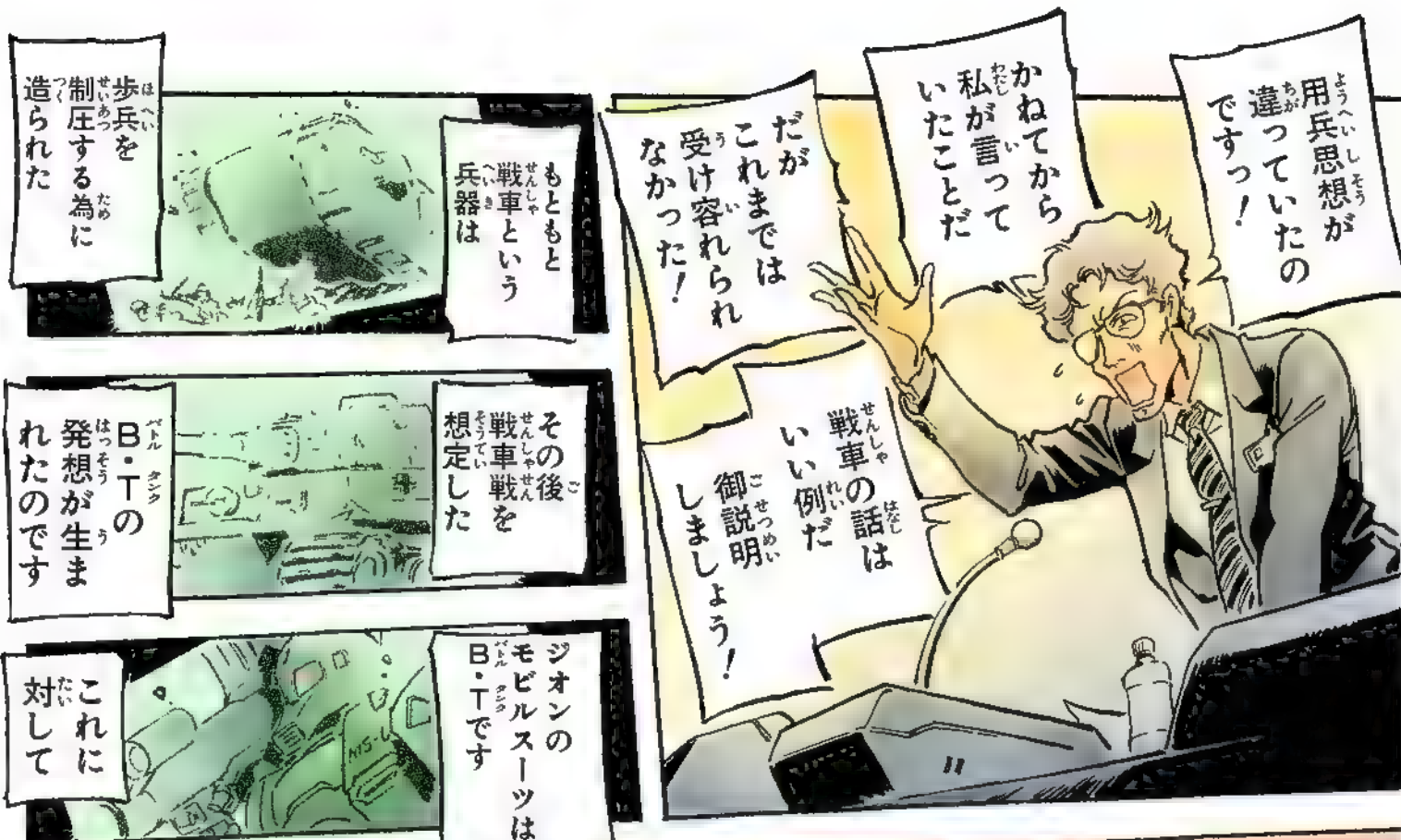
そうっ！



まるで
他人事だな
レイ君







用兵思想が
違っていたの
ですっ！

かねてから
私が言っ
たことだ

だが
これまでは
受け容れられ
なかった！

もともと
戦車という
兵器は

歩兵を
制圧する為
に
造られた

戦車の話
はいい例だ
御説明
しましょう！

その後
戦車戦を
想定した

B・Tの
発想が生ま
れたのです

ジオンの
モビルスーツは
B・Tです

これに
対して



RX-7は
対歩兵戦闘車
ですっ！

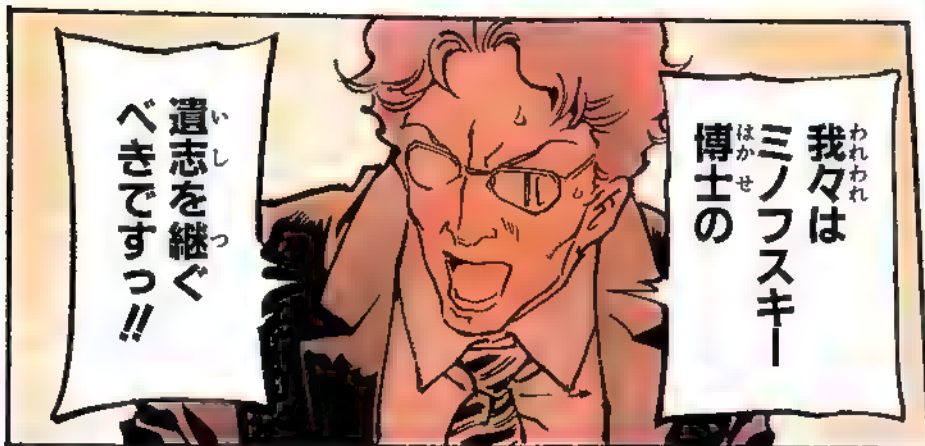
勝てる
わけが
ないっ！

ミノフスキー
博士は戦う
モビルスーツを
追求して
いたのですっ！！



その博士も混乱に
まき込まれて
亡くなられた

私達は
救出できな
かった...



我々は
ミノフスキー
博士の

遺志を継ぐ
べきですっ！！

おもはかせ博士の亡命は
贖罪の意志から出たの
かもしれないっ！

自らが確立した
ミノフスキー物理学と
その産物たる
モビルスーツによって
ジオンが軍事大国化
しつつあるのを知り

それを危惧されて
我々連邦の側に
身を投じようと
なされた！

しかしっ

その志は遂げ
られなかった！！

開発の更なる推進は
博士の無念に成る事に
他ならないのですっ！！

リーダー
じゃあ
なああ

0対12の
負けチームの

この劣勢を
挽回できるのか？

きみに？

おっしゃりたい
ことは

わかり
ますが...

『ガンダム』！

RX-78！

コード名は

御心配は
無用です

既に

決定的に
なるであろう
プランがあります

これ
ですっ！



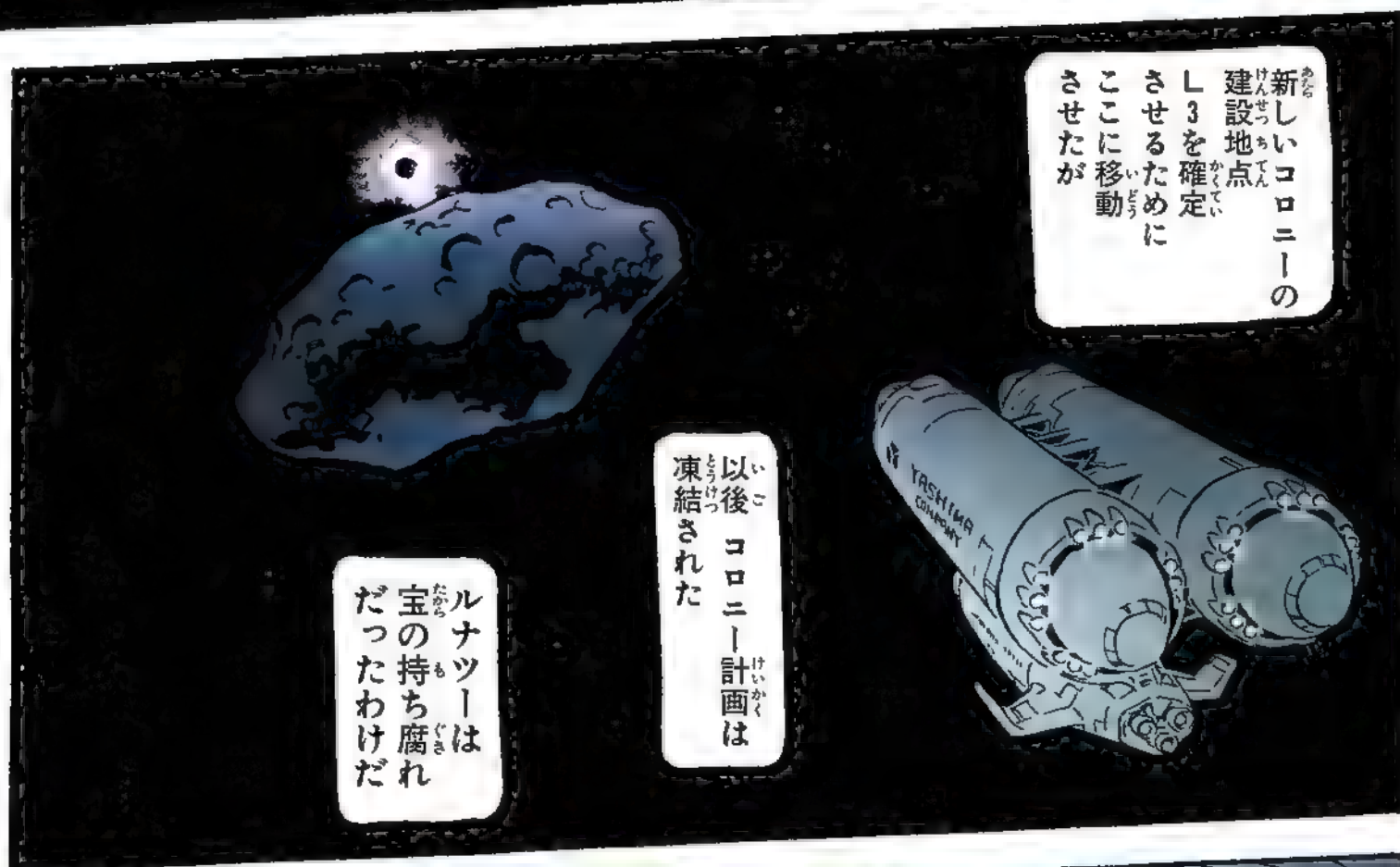
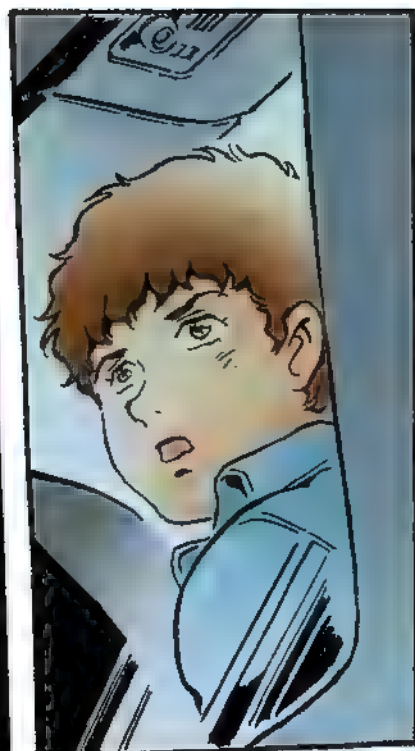
ルナツーだ

あれが



スペース
コロニーの
母体のような
ものだ

もとは小惑星
ユノー



新しいコロニーの
建設地点
L3を確定
させるため
ここに移動
させたが

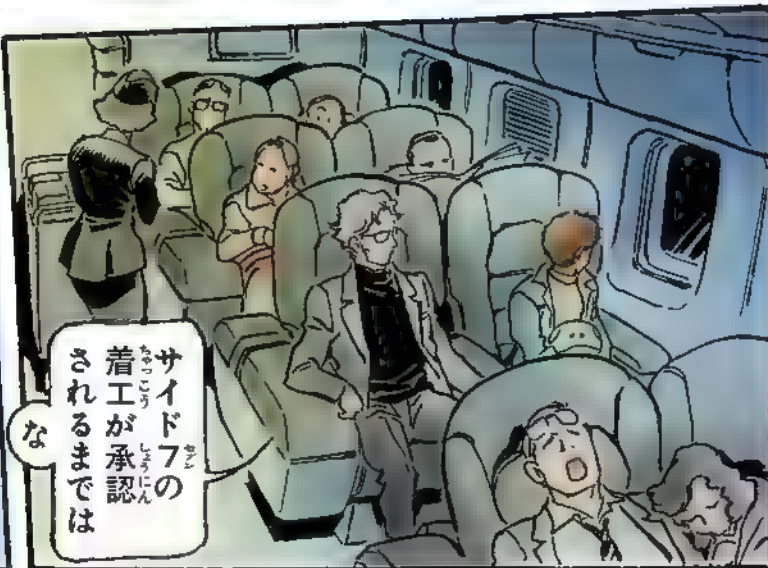
以後コロニー計画は
凍結された

ルナツは
宝の持ち腐れ
だったわけだ

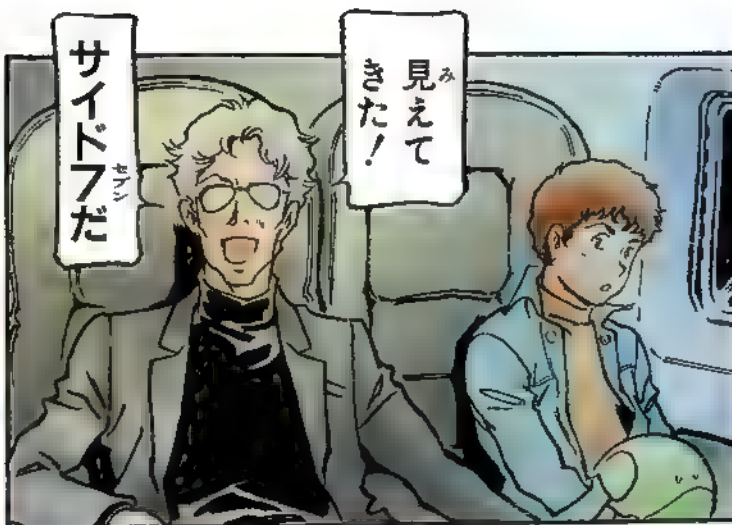
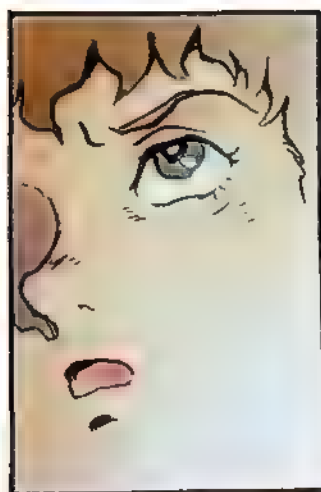


父さんも

ずいぶん
ホネを折った

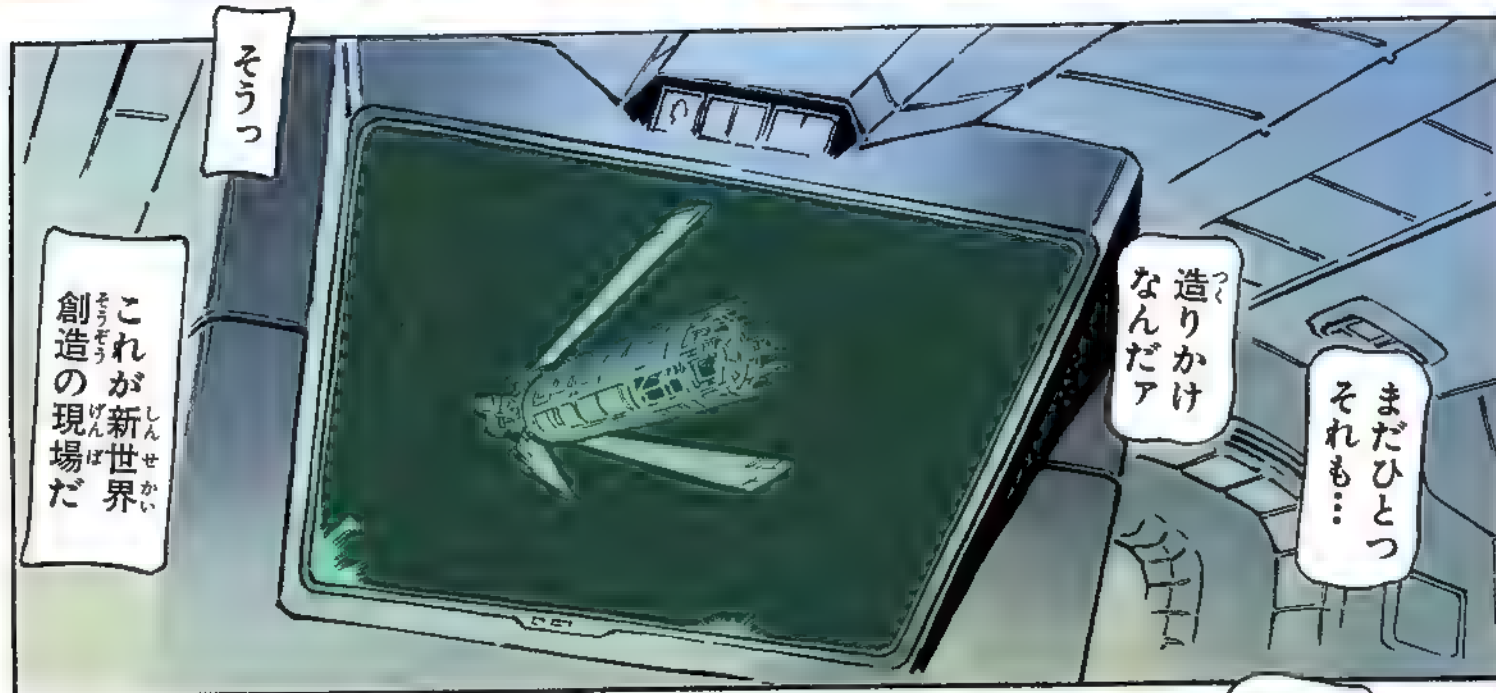


サイド7の
着工が承認
されるまでは
な



見えて
きた！

サイド
ブ
だ



まだひとつ
それも…

造りかけ
なんだア

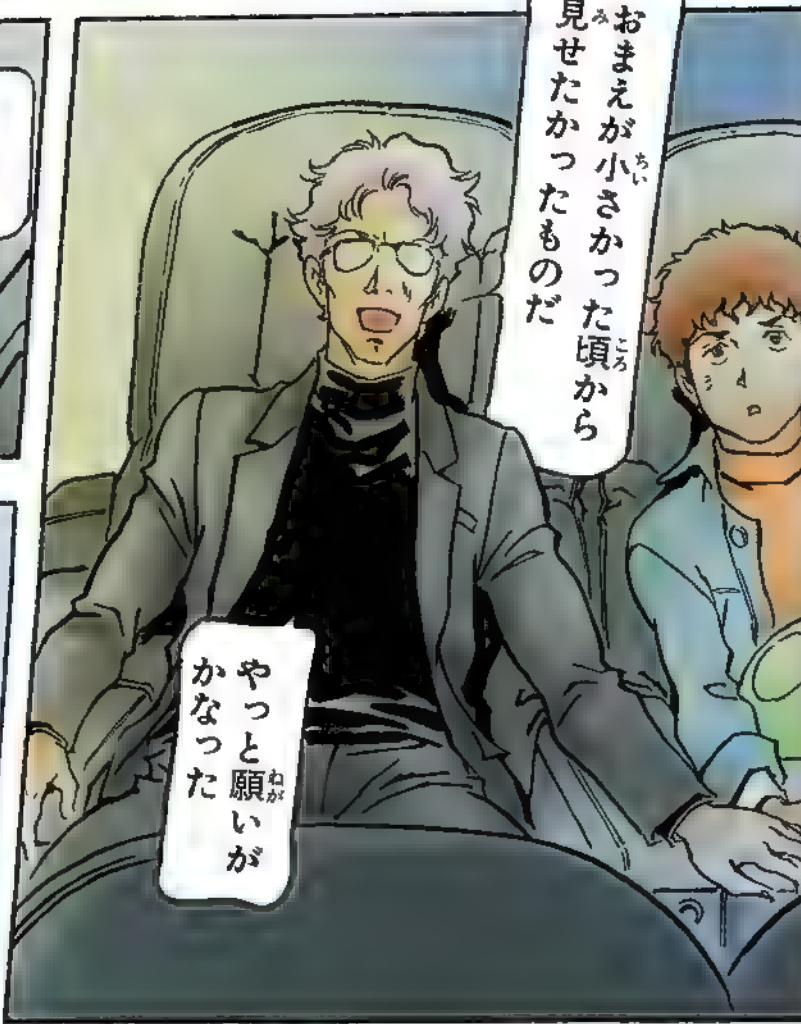
そうっ

これが新
世界の
創造の現場だ



だが
アムロ

父さんは
これからもっと
忙しくなる



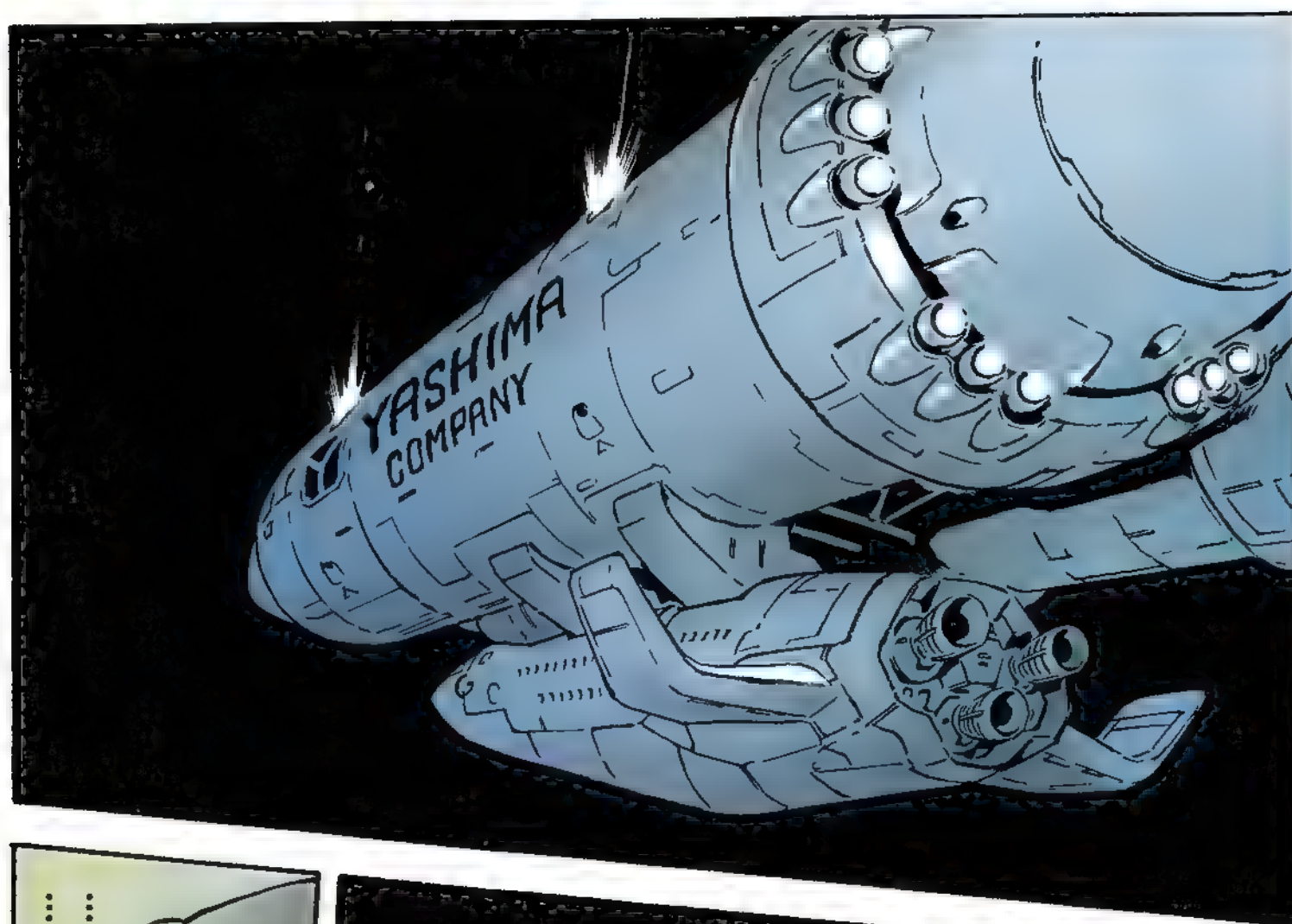
おまえが小さかった頃から
見せたかったものだ

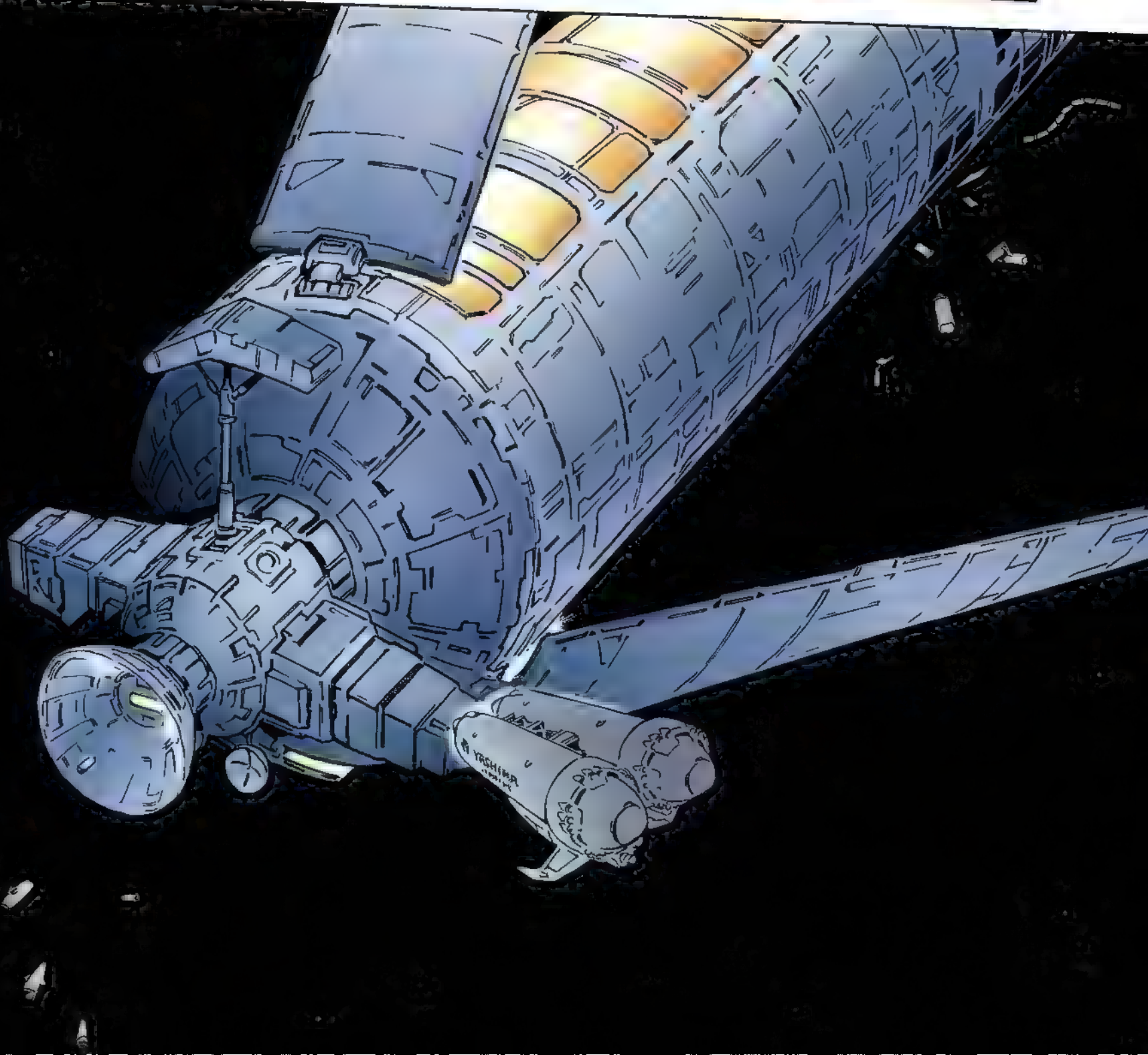
やっと願いが
かなった

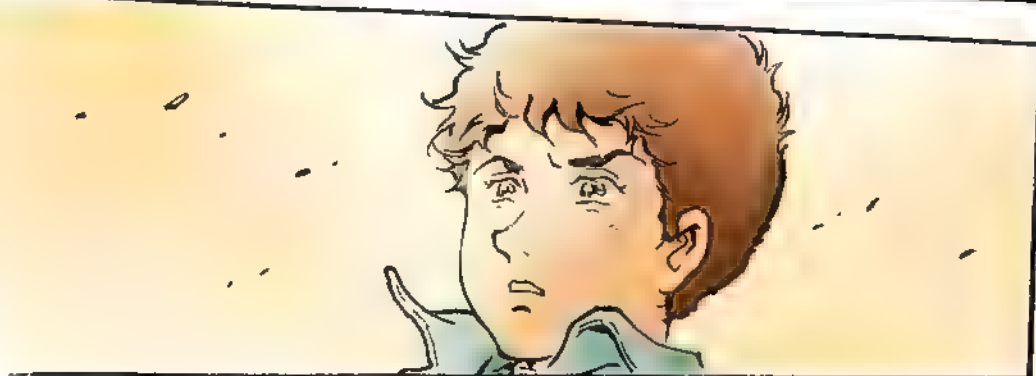
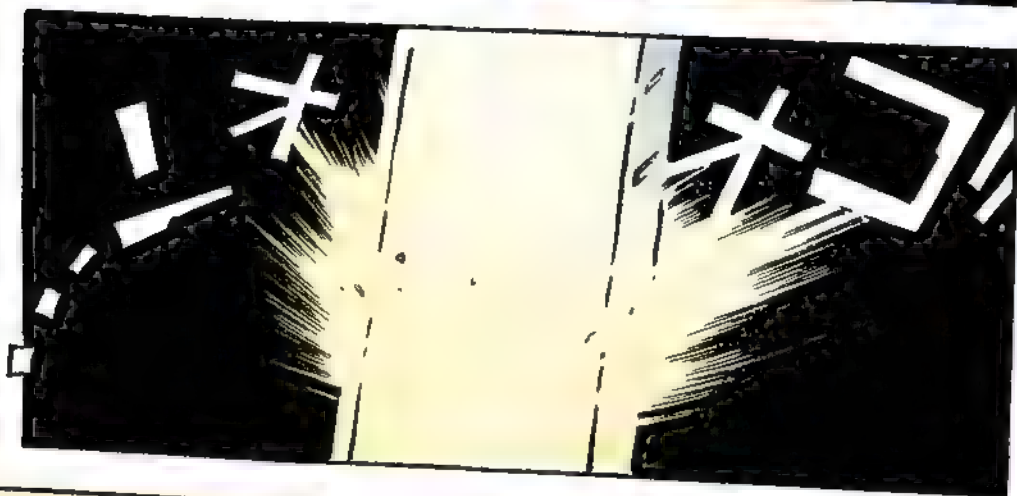
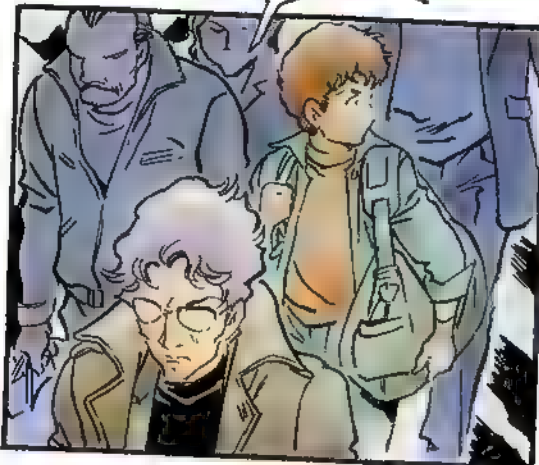
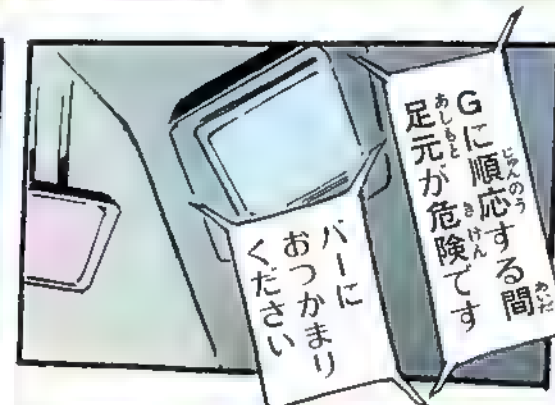
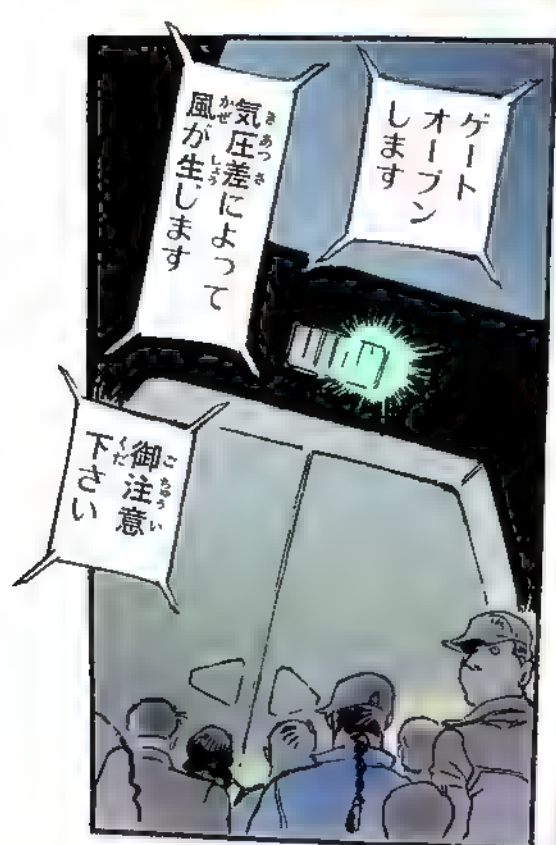
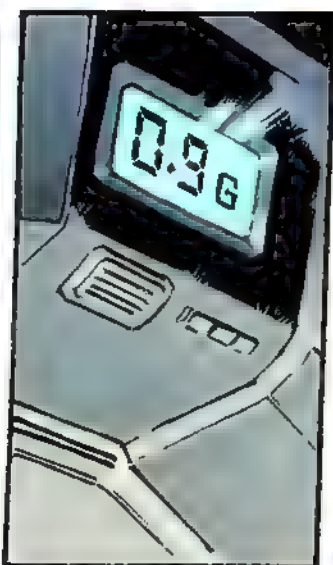
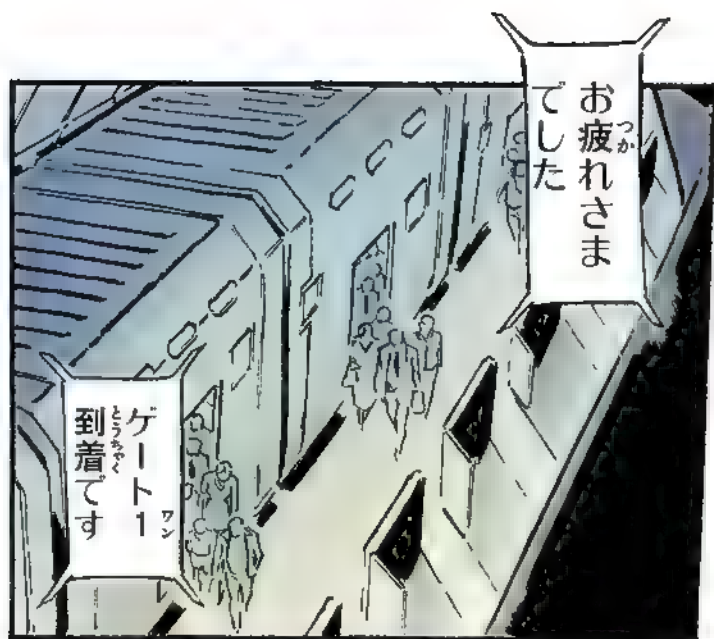


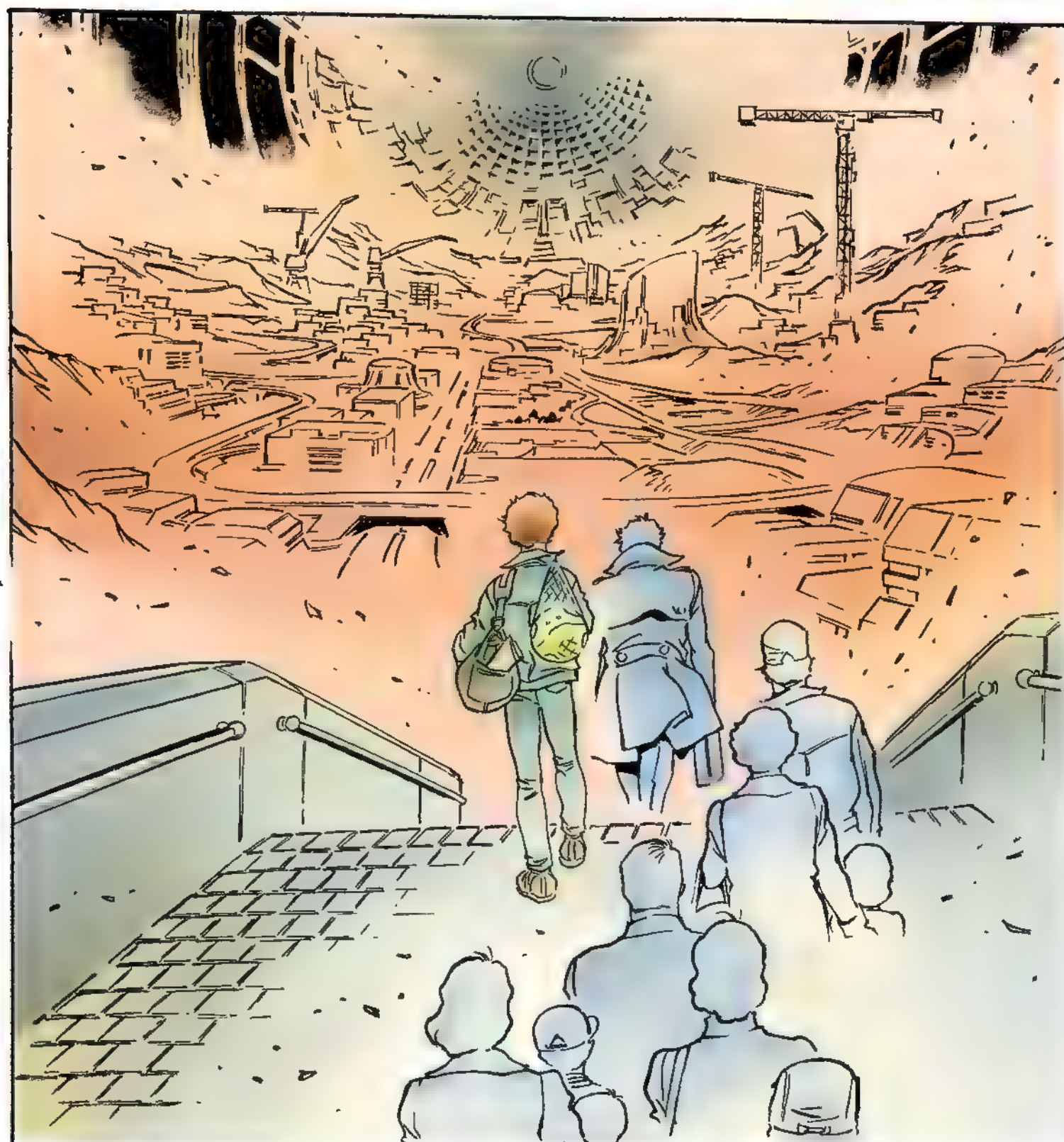
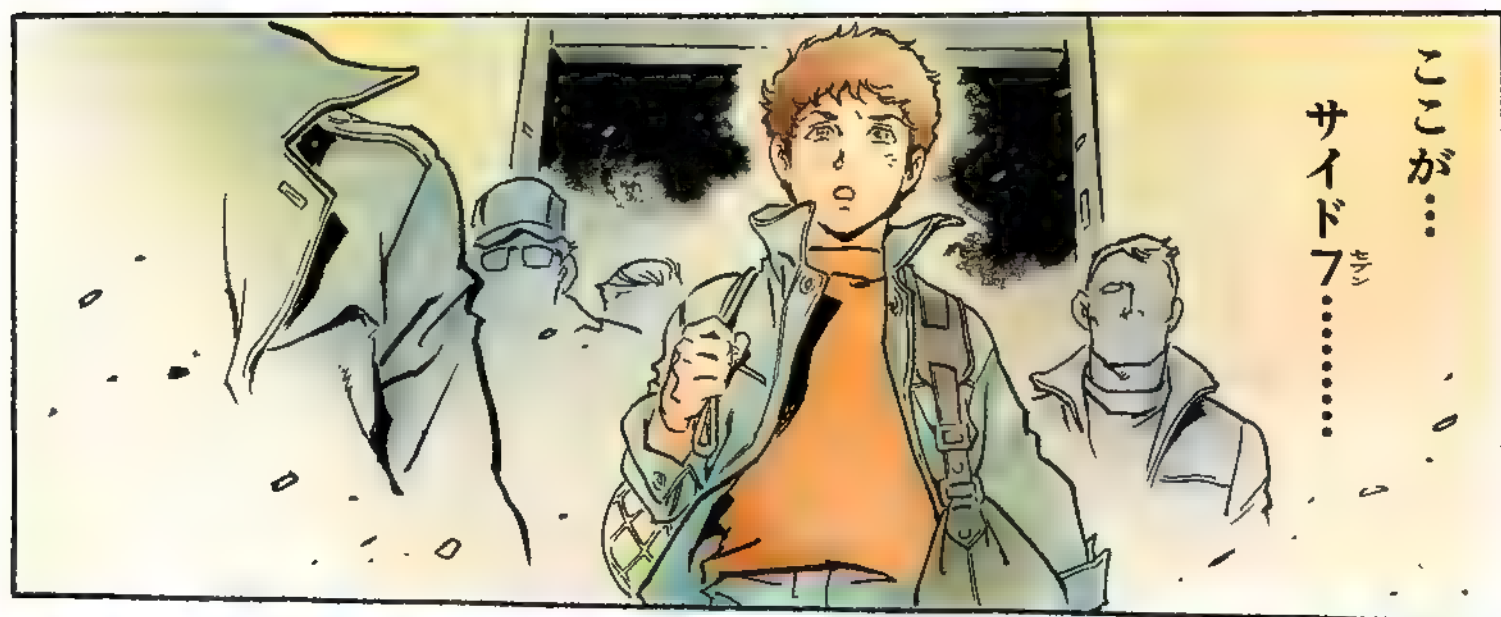
家を空ける
ことも多
くなるが

しっかり
やるんだぞ！





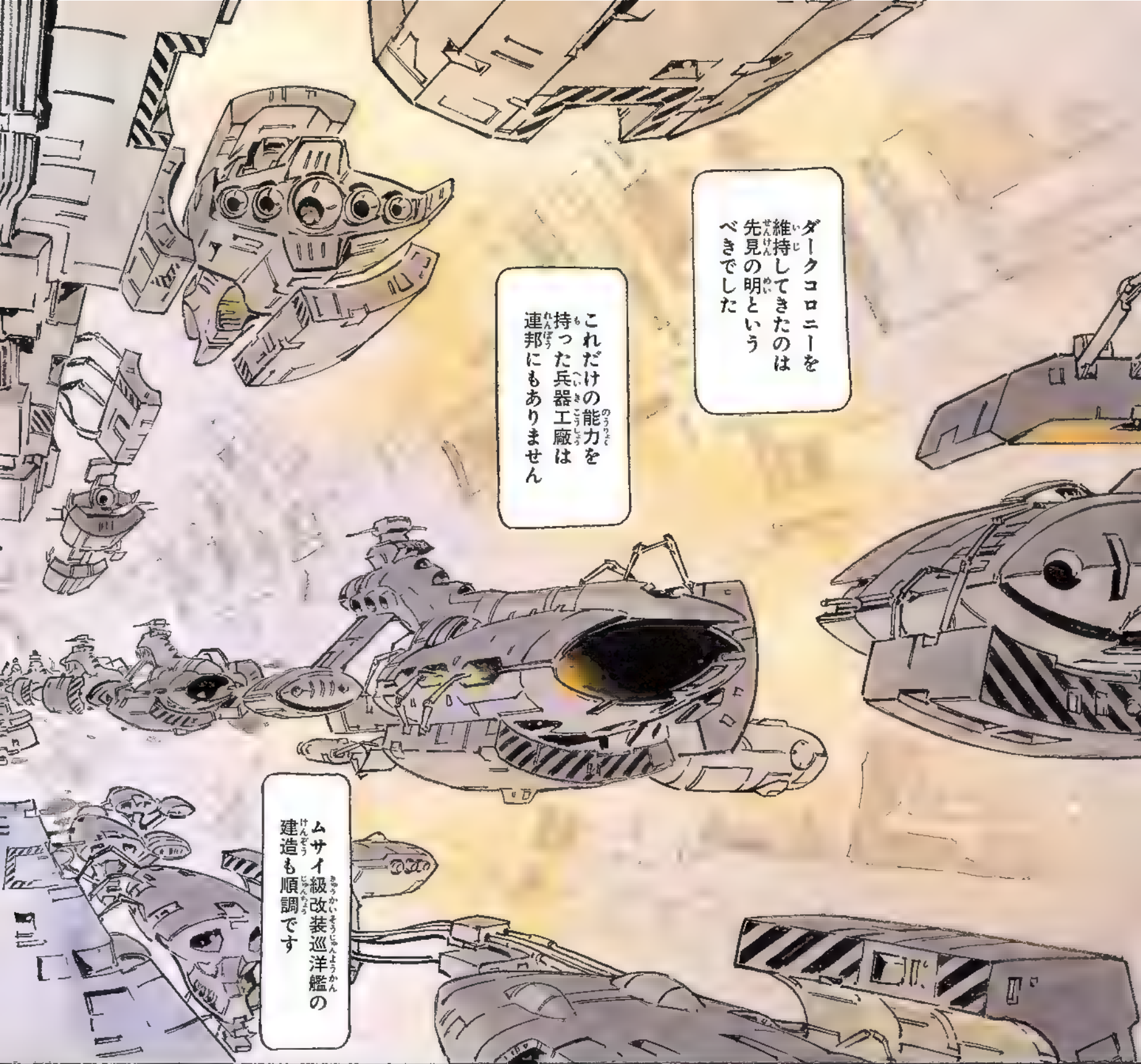




開戰編・後

SECTION
VIII





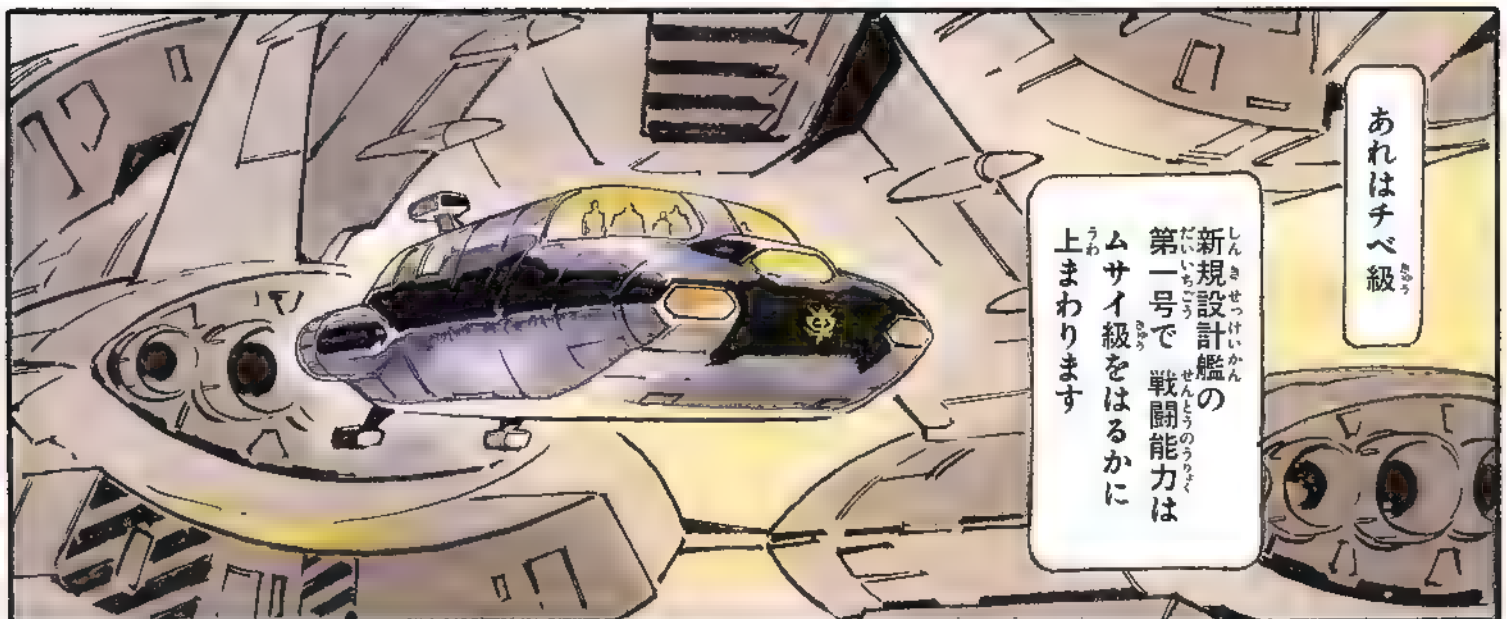
ダークコロニーを
維持してきたのは
先見の明という
べきでした

これだけの能力を
持った兵器工廠は
連邦にもありません

ムサイ級改装巡洋艦の
建造も順調です

あれはチベ級

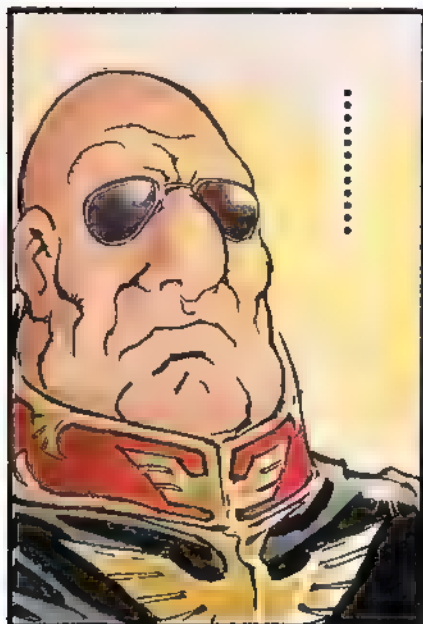
新規設計艦の
第一号で 戦闘能力は
ムサイ級をはるかに
上まわります



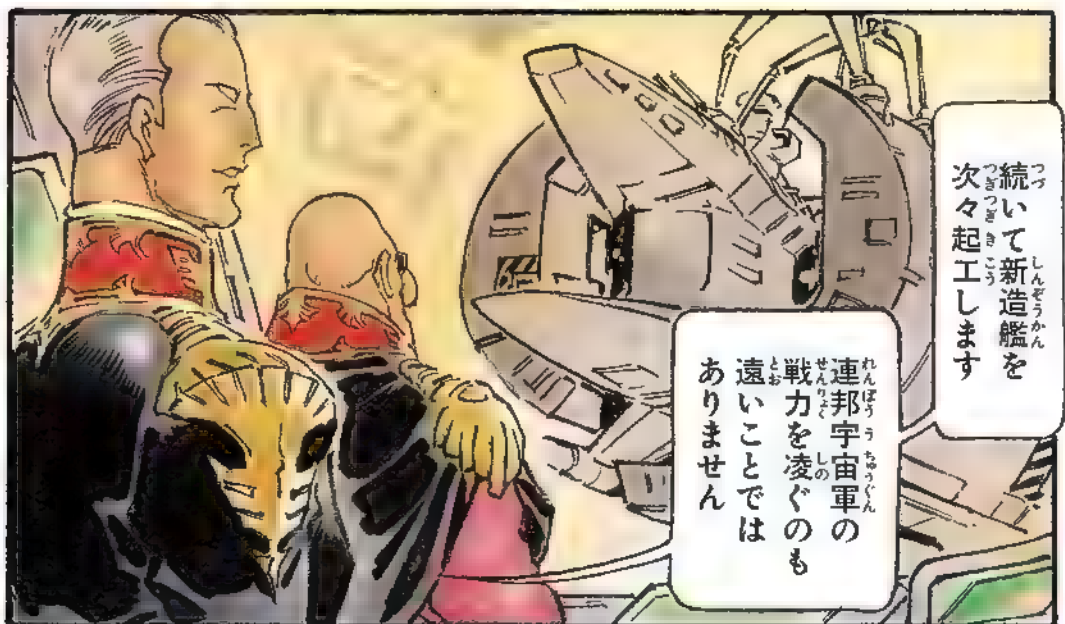


もともとが
輸送船ですから

モビルスーツの積載能力も
申し分ありません

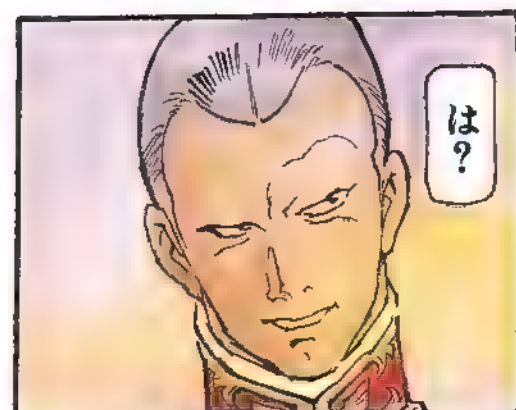
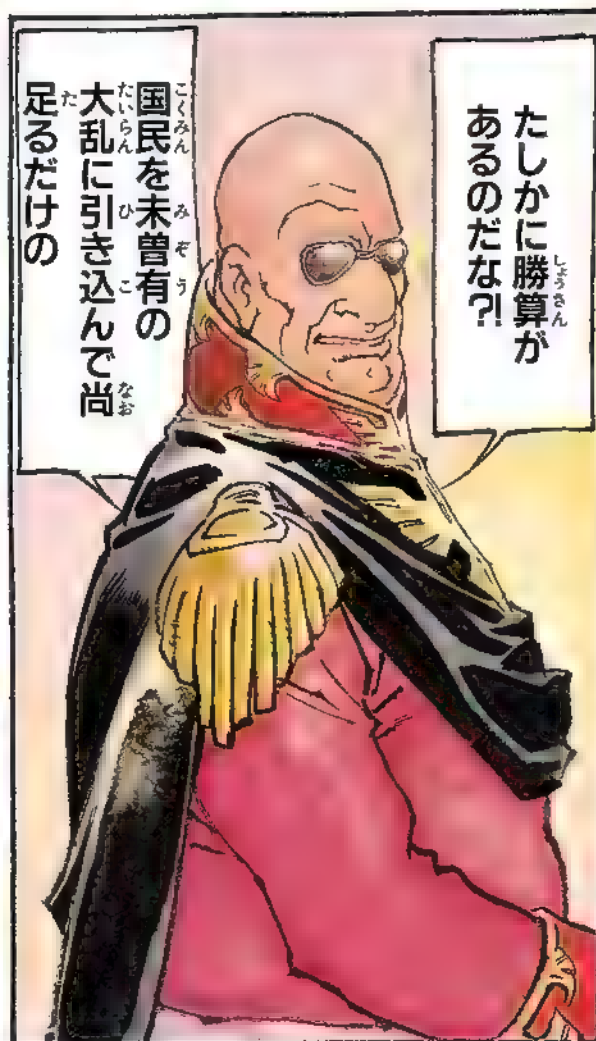
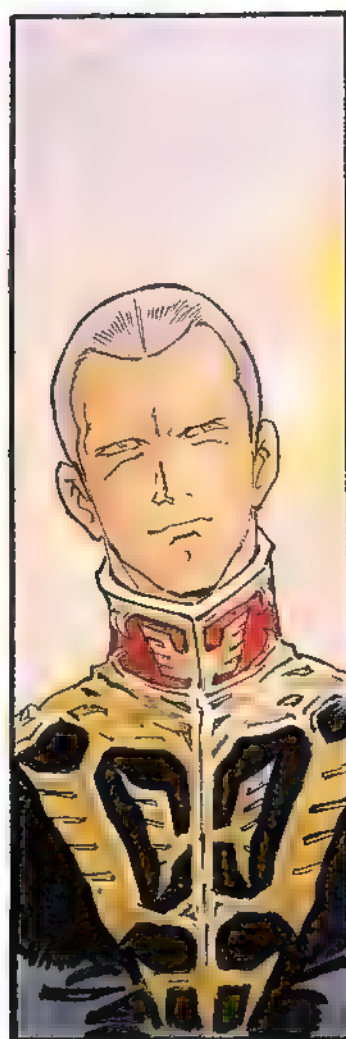
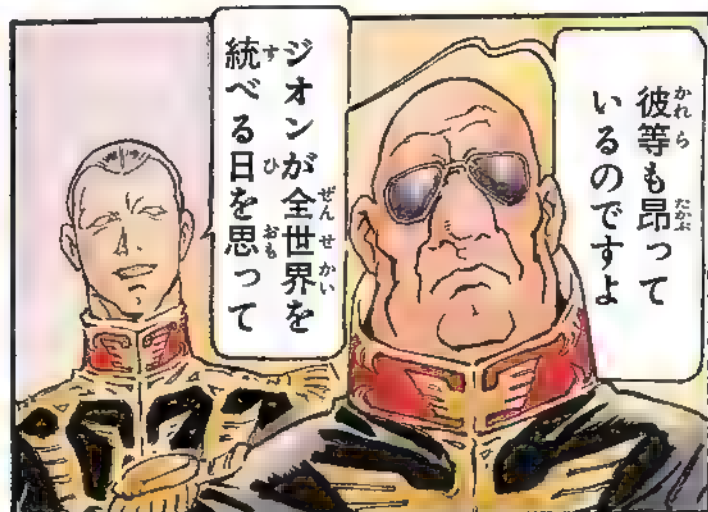
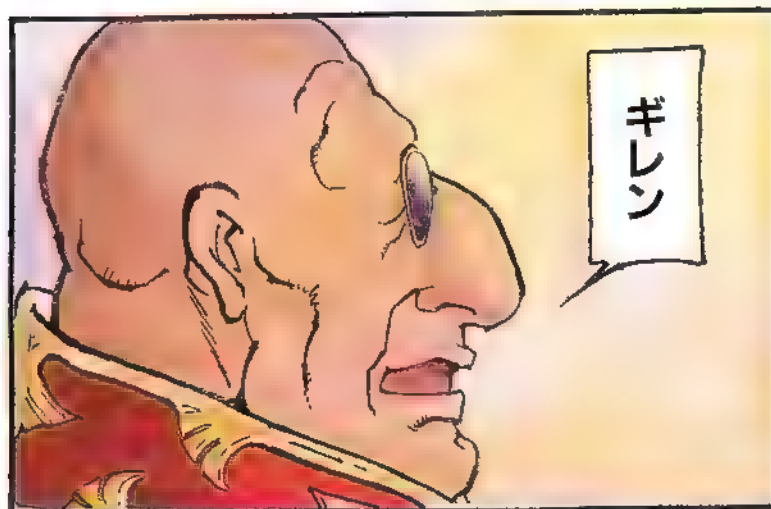
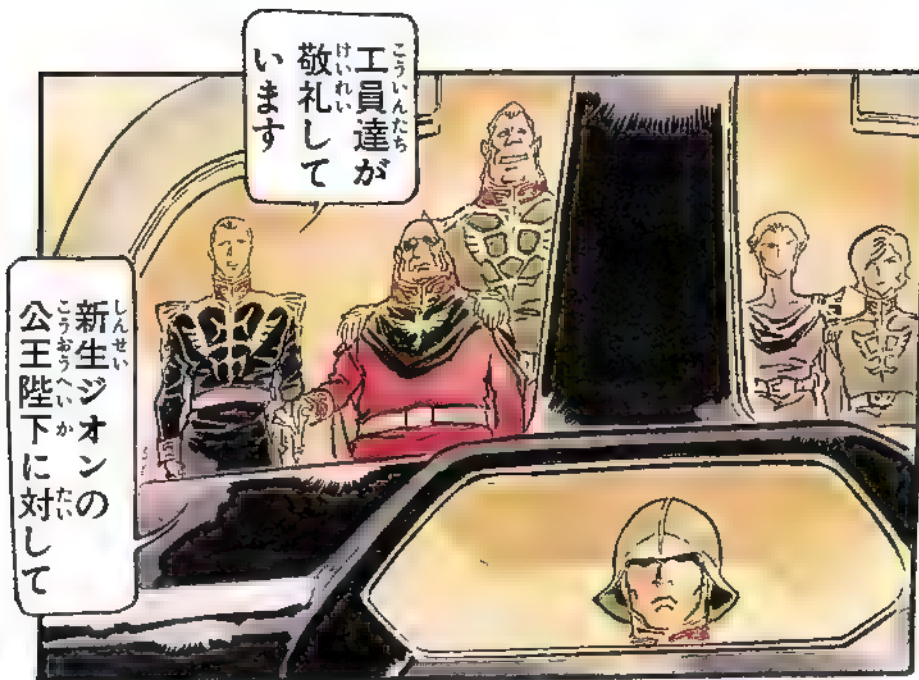


.....



つづいて新造艦を
次々起工します

連邦宇宙軍の
戦力を凌ぐのも
遠いことでは
ありません

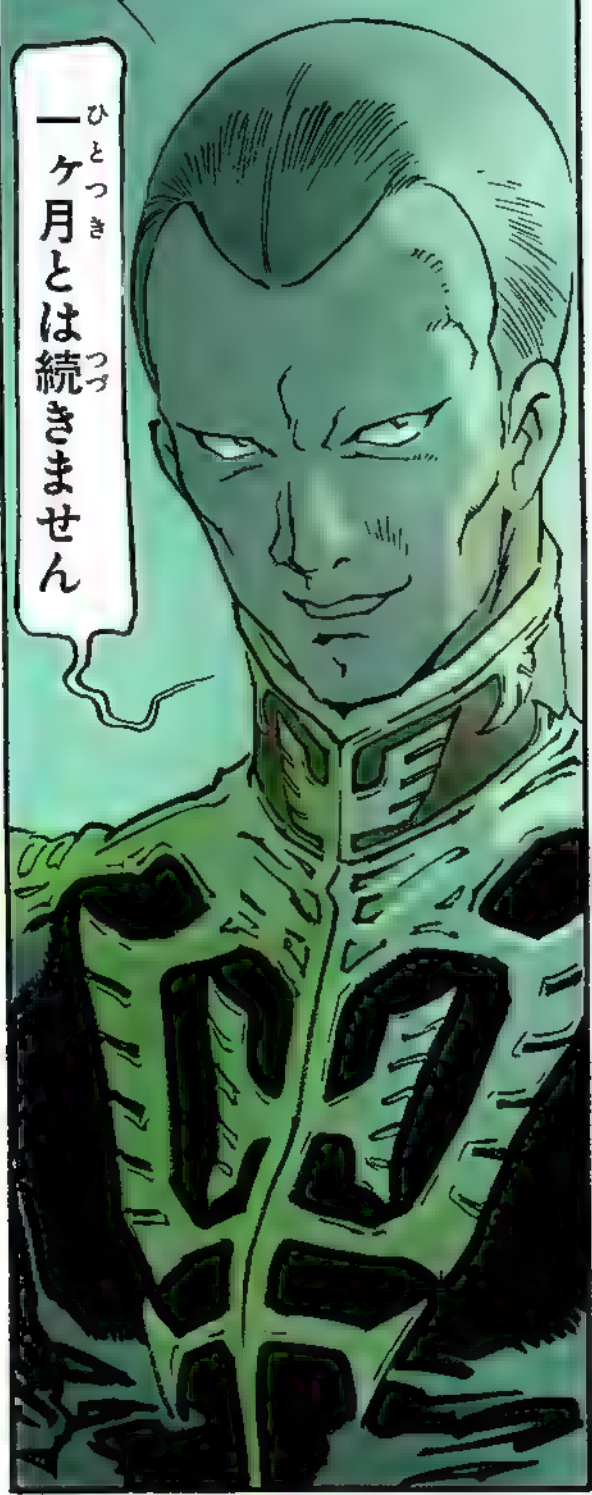


ごあんしん
御安心ください

そくせんそつけつ
速戦即決のプランが
あります

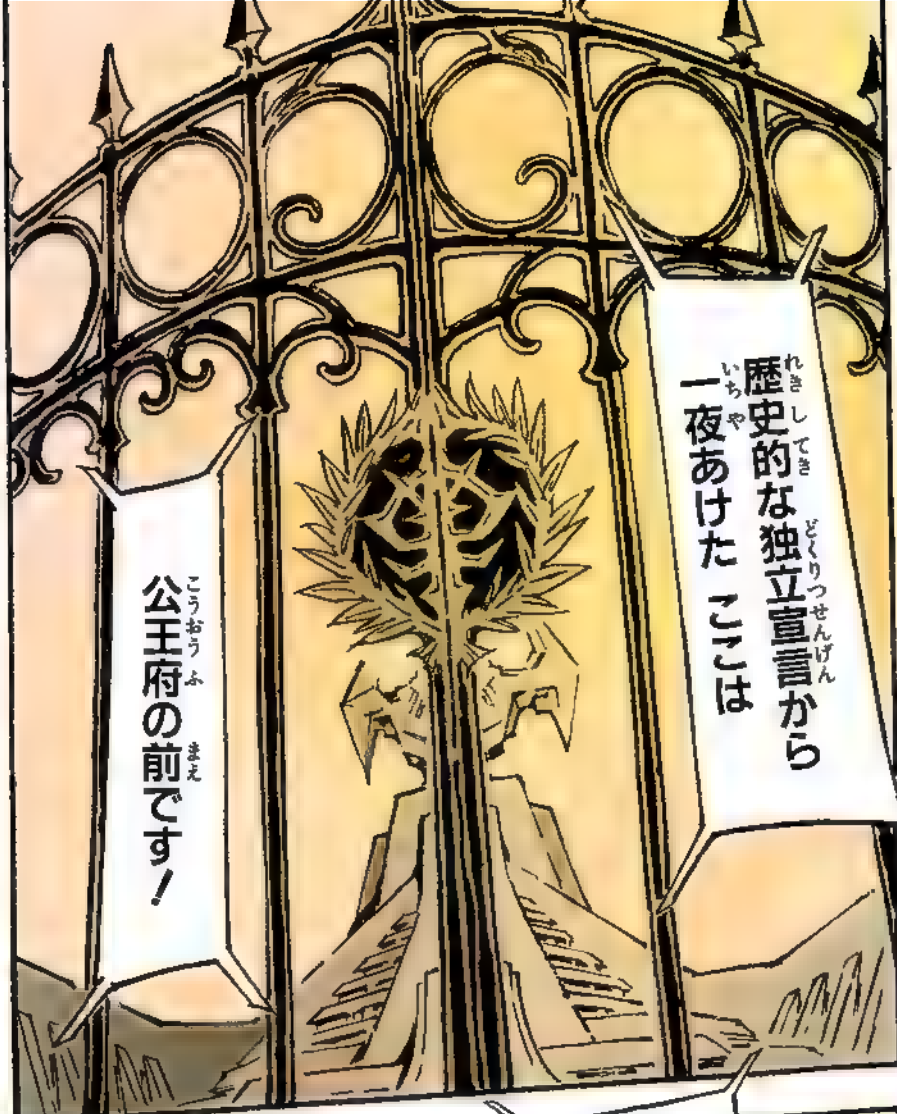
せんそう
戦争は

ひとつき
一ヶ月とは続きません



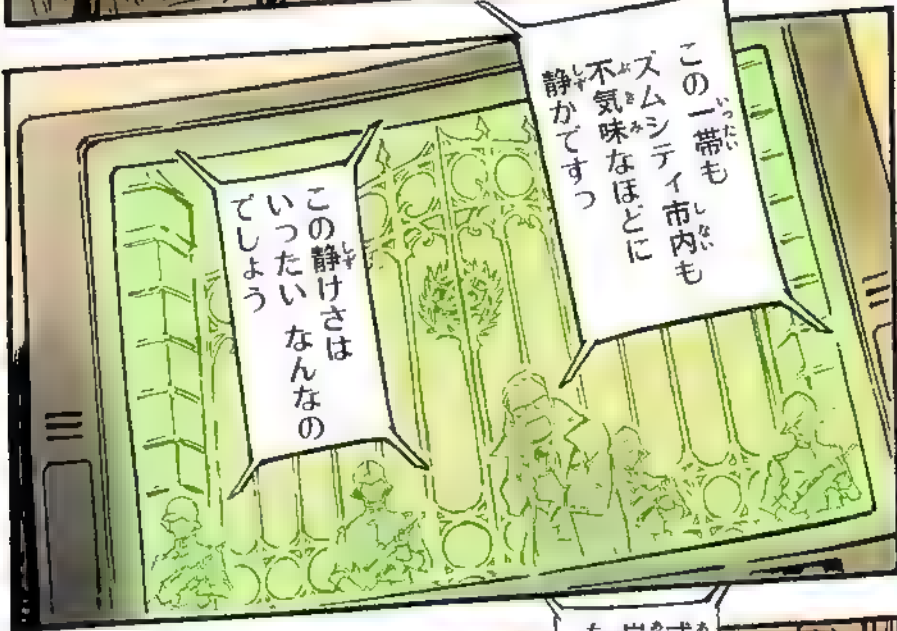
れきしてき
歴史的な独立宣言から
いちや
一夜あけたここは

こうおうふ
公王府の前です！

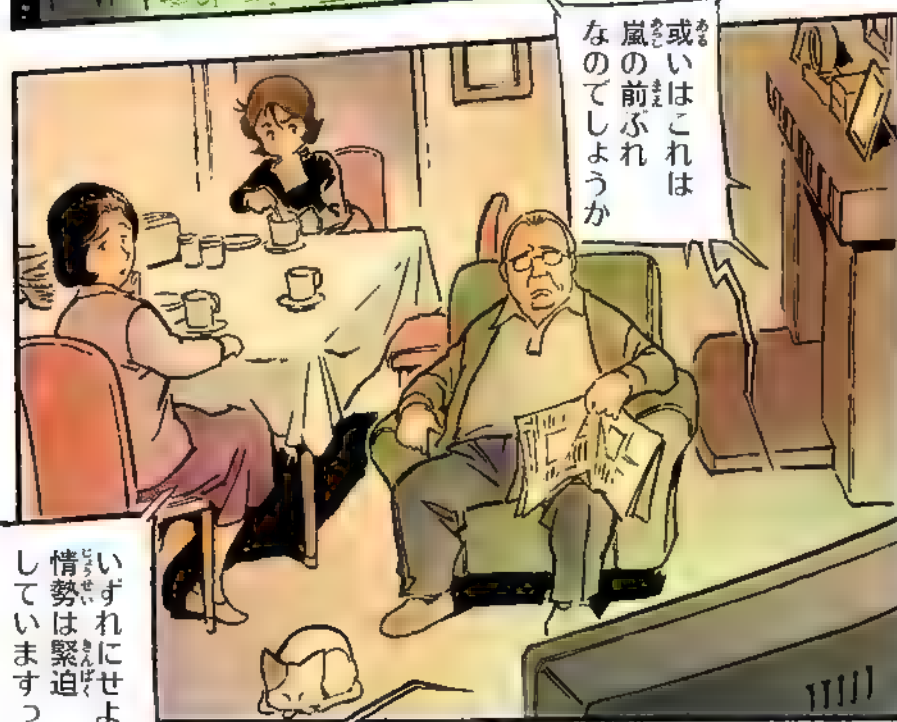


この一帯も
スムシテイ市内も
不気味なほどに
静かです

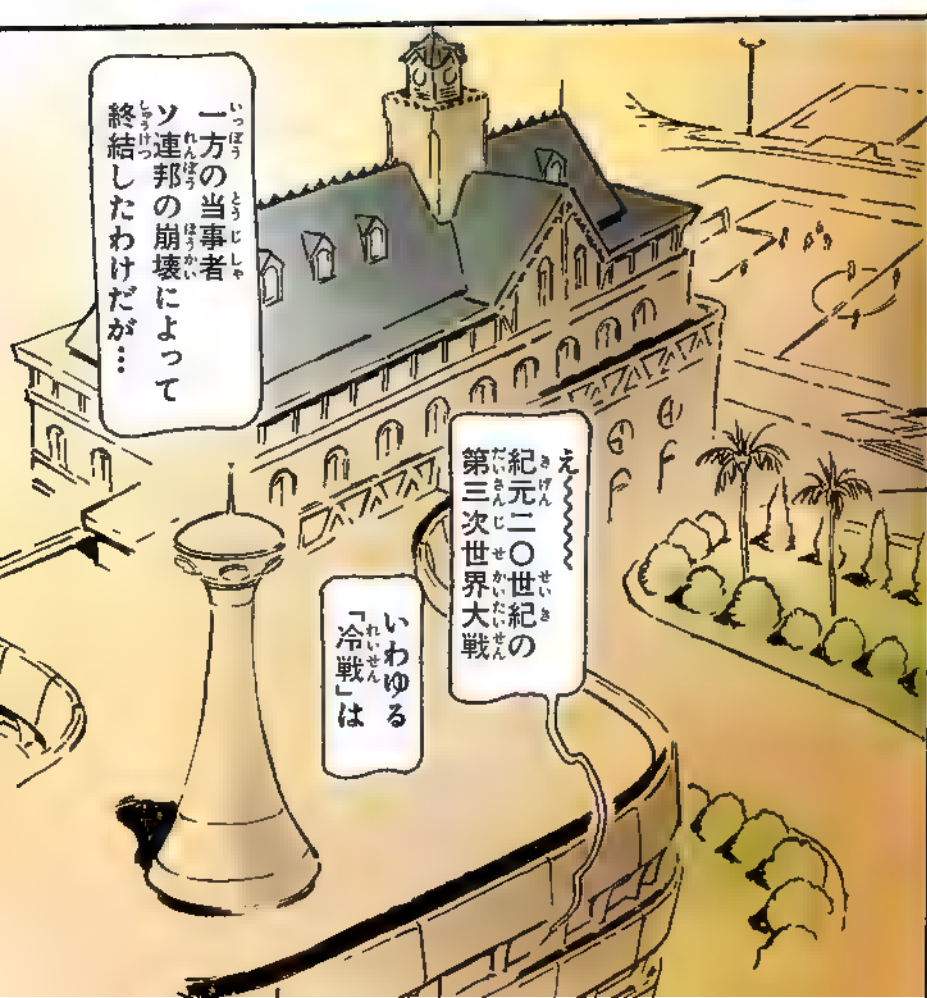
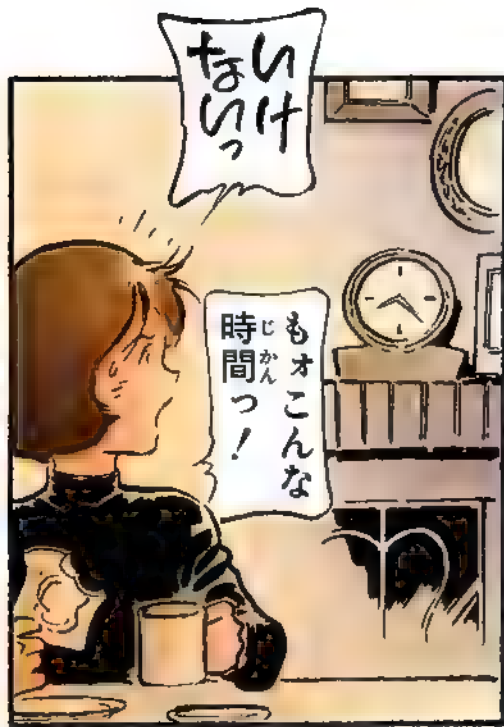
この静けさは
いったいなんなの
でしょう

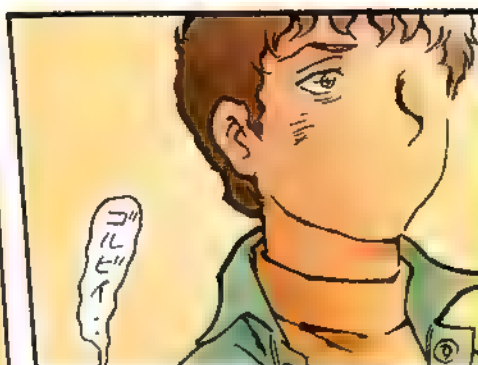
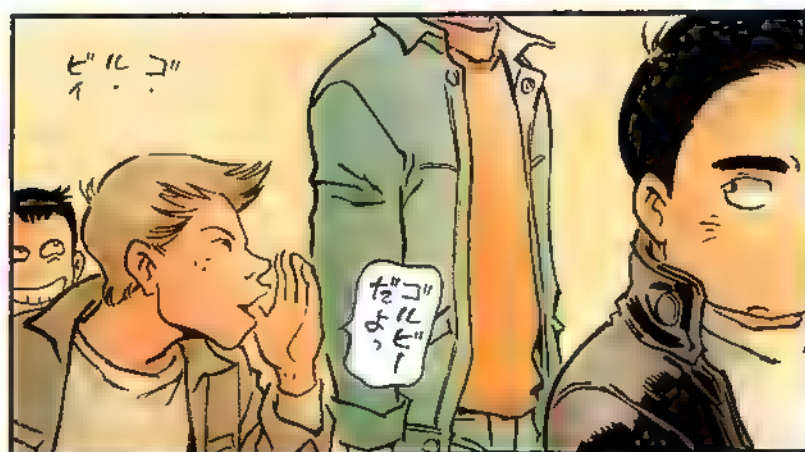
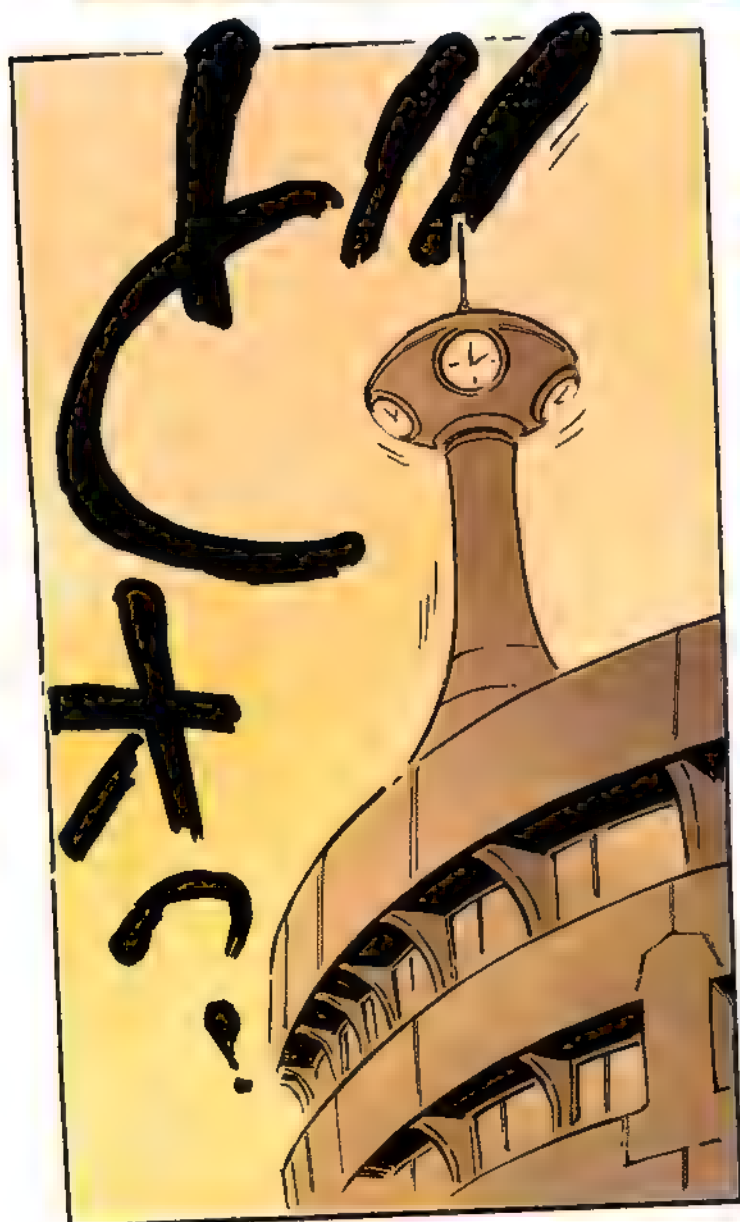
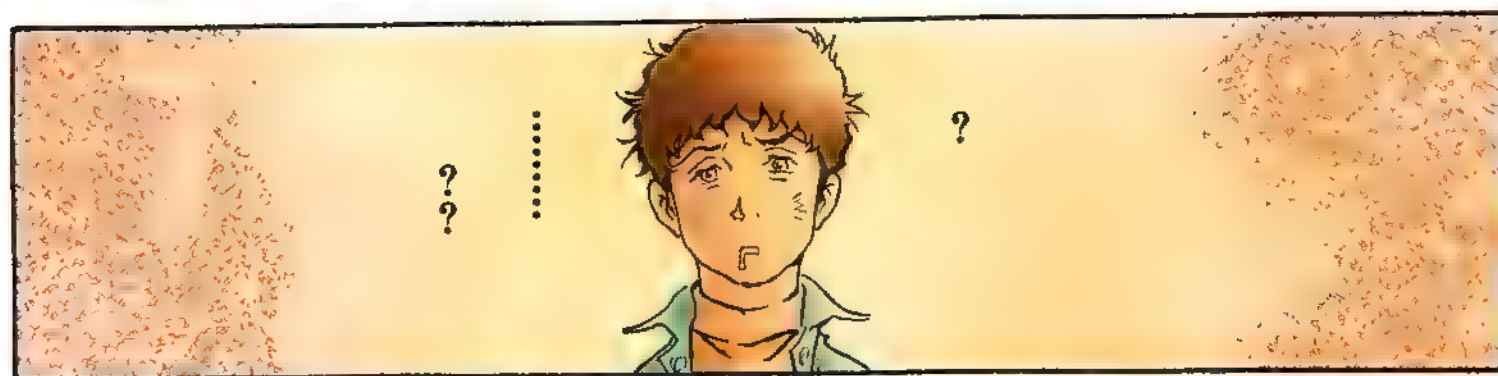
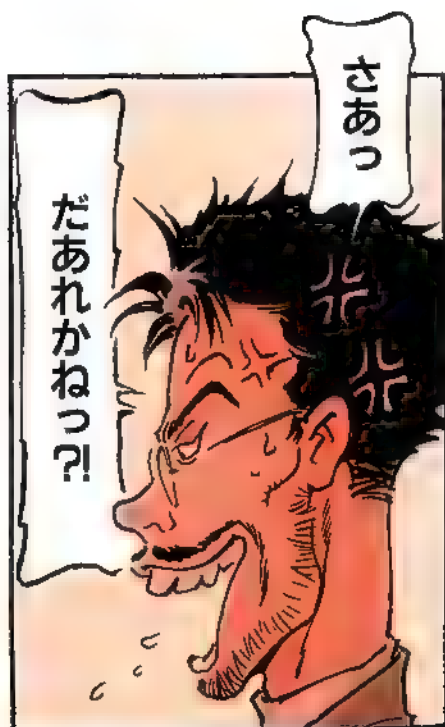


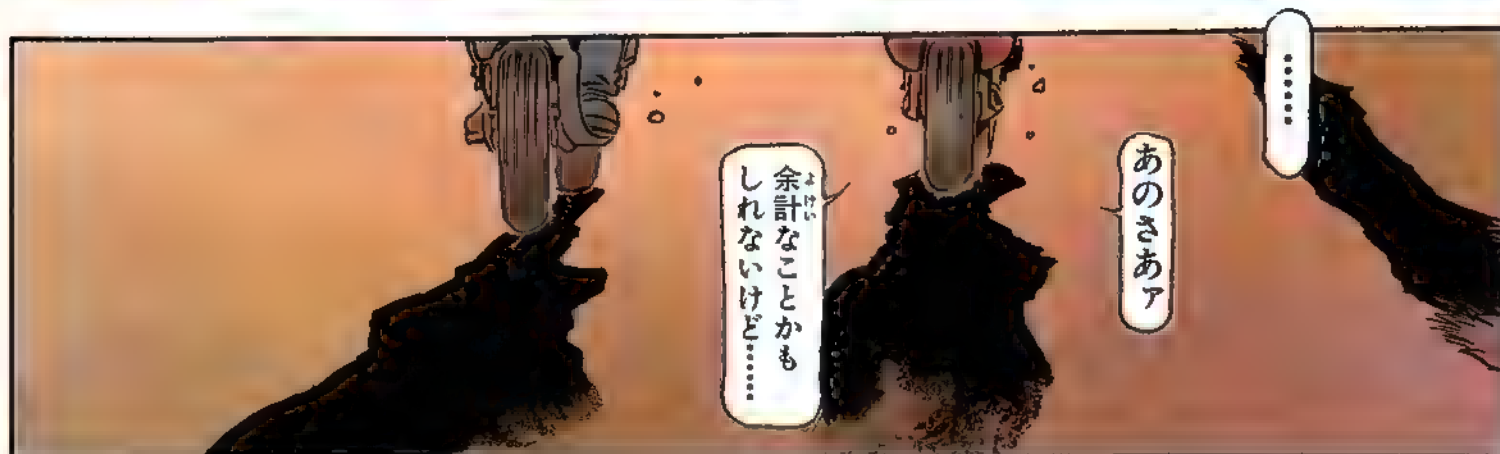
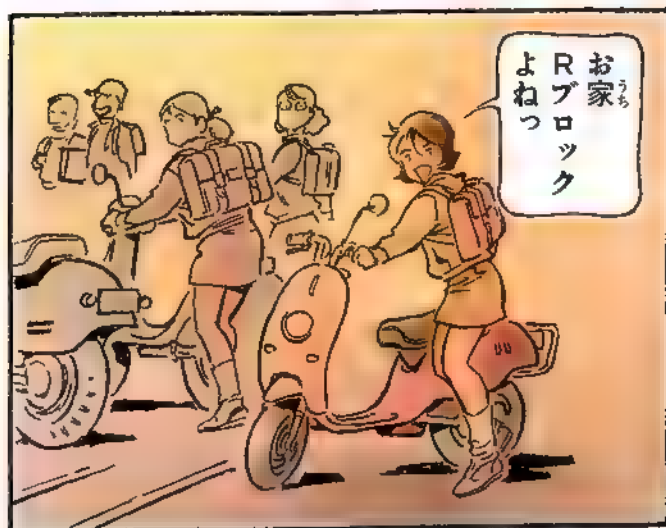
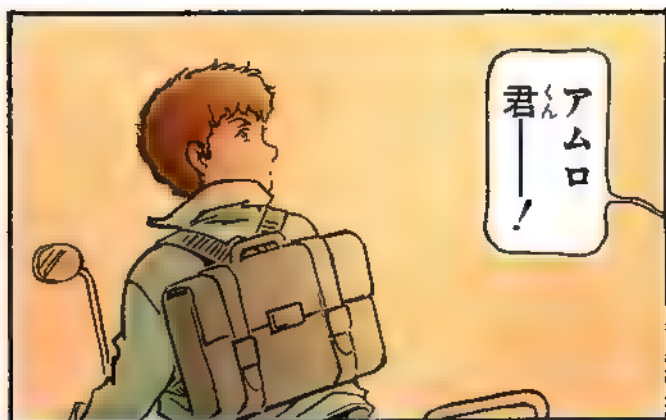
或いはこれは
嵐の前ふれ
なのでしょうか

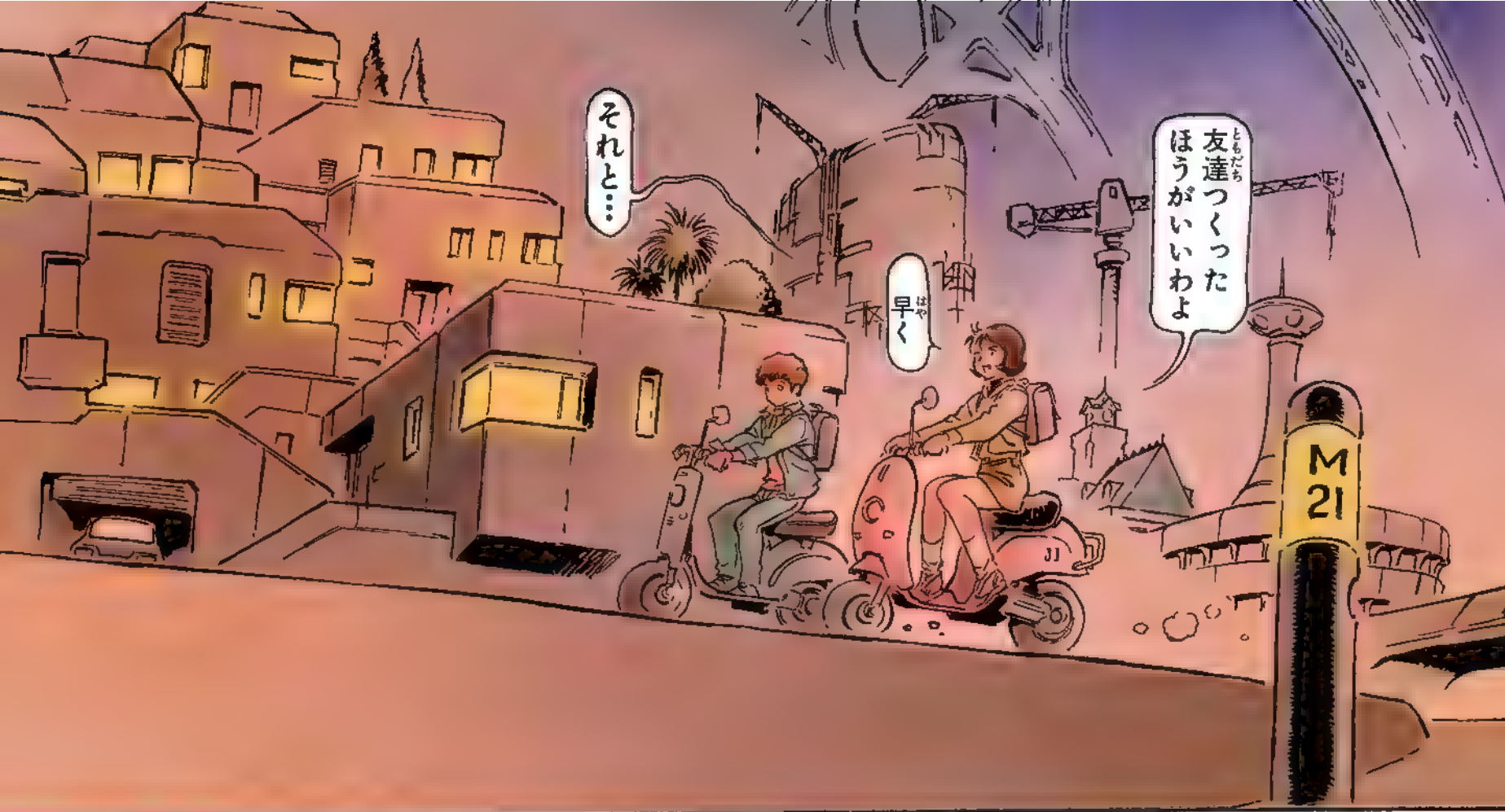


いずれにせよ
情勢は緊迫
していますっ！





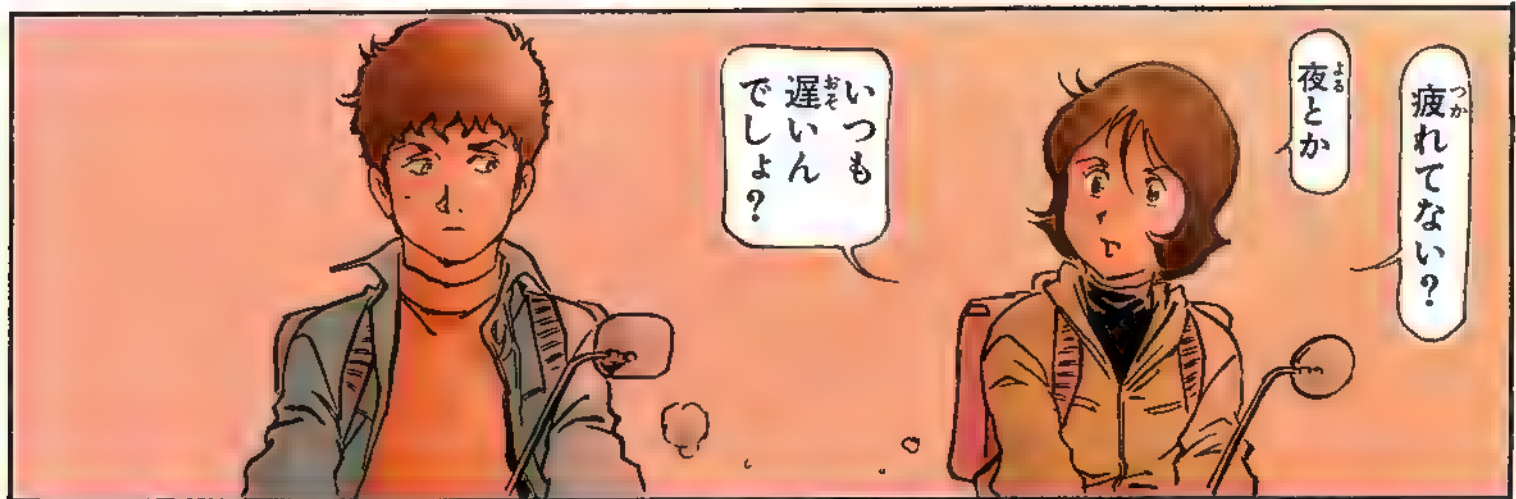




それと...

友達^{ともだち}つくった
ほうがいいわよ

早く^{はや}



つか
疲れてない?

よる
夜とか

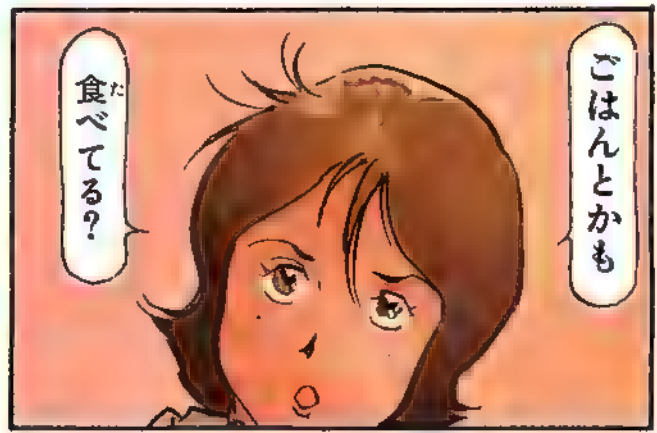
いつも
遅い^{おそ}ん
でしょ?



そ?

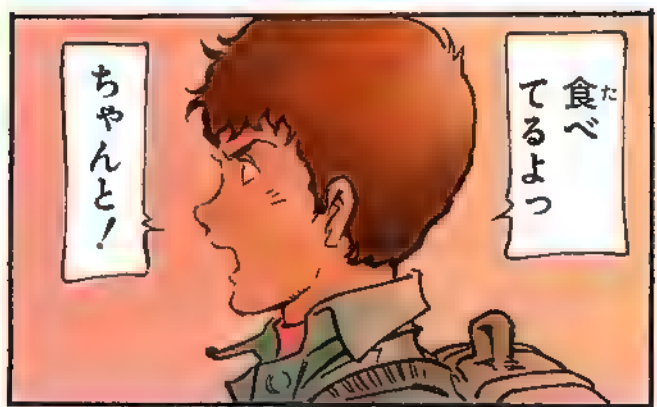
ならいいん
だけど...

.....



ごはんとかも

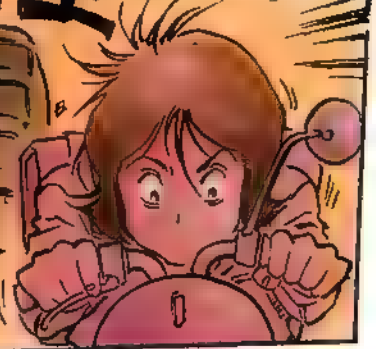
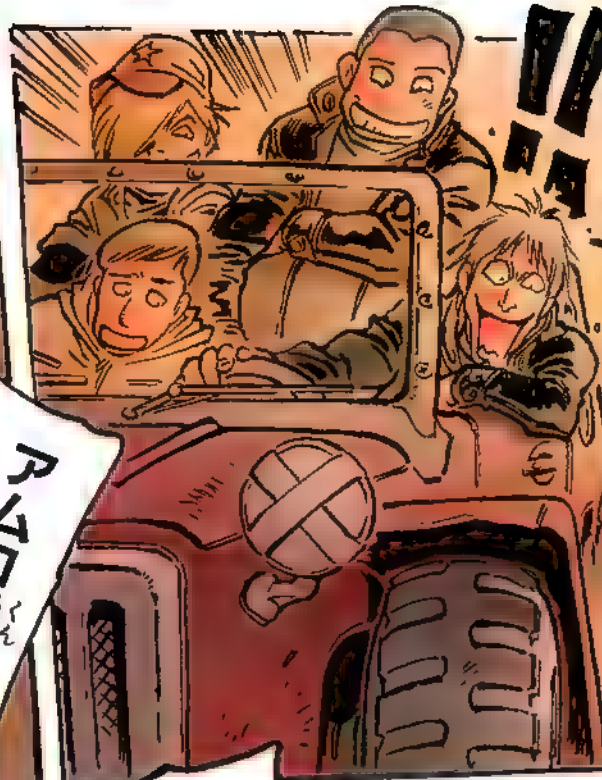
た
食^たべてる?



た
食^たべてるよっ

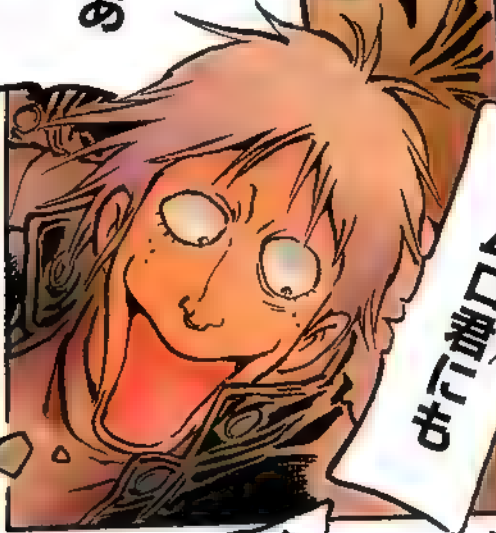
ちゃんとし!

おれは風紀委員だ



せいかつ生活指導ですかあ

アムロ君

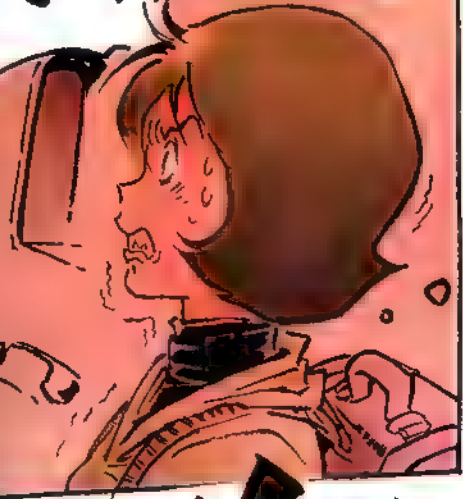
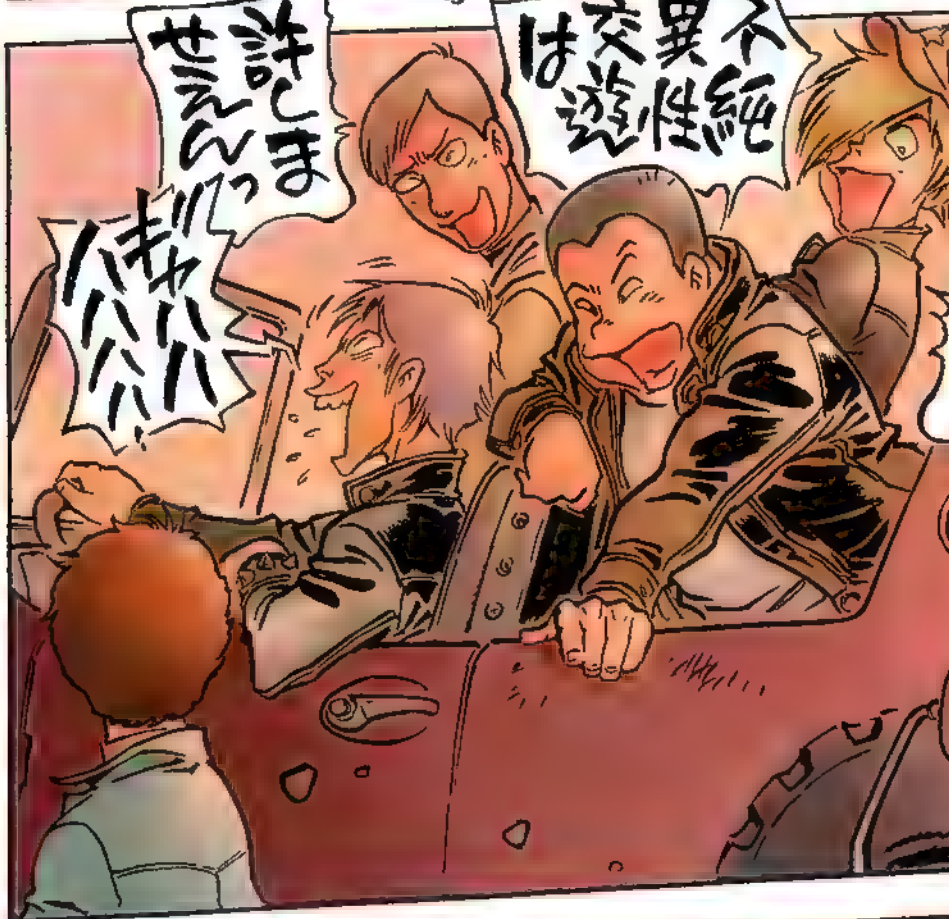


不純異性交遊は

許さへん

ハハハハ

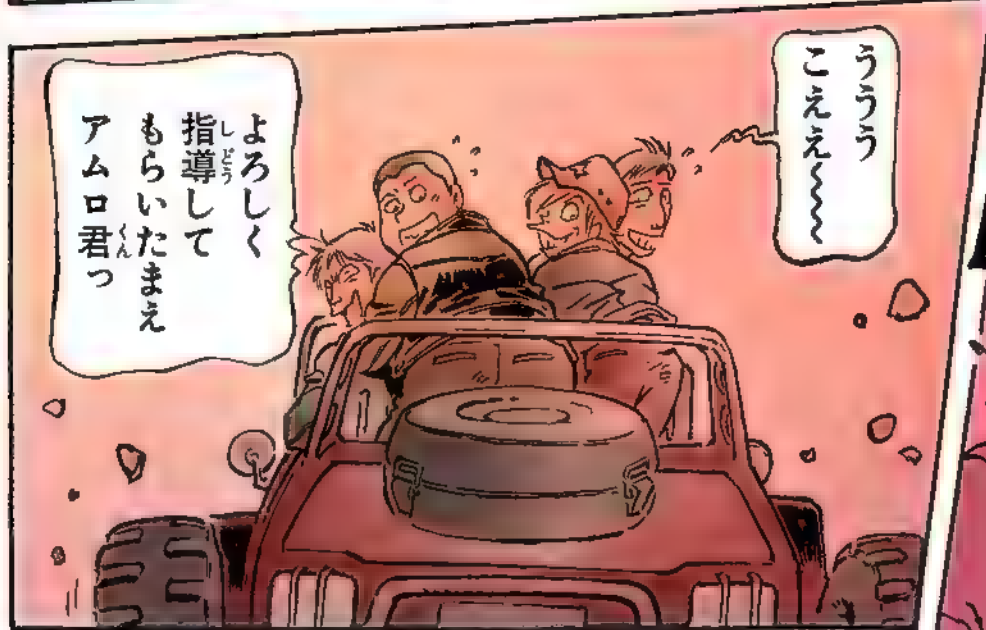
夜更かしはよくありません
授業中の居眠りはダメですよ

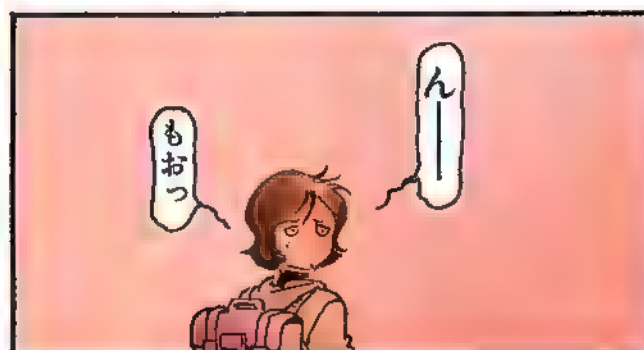
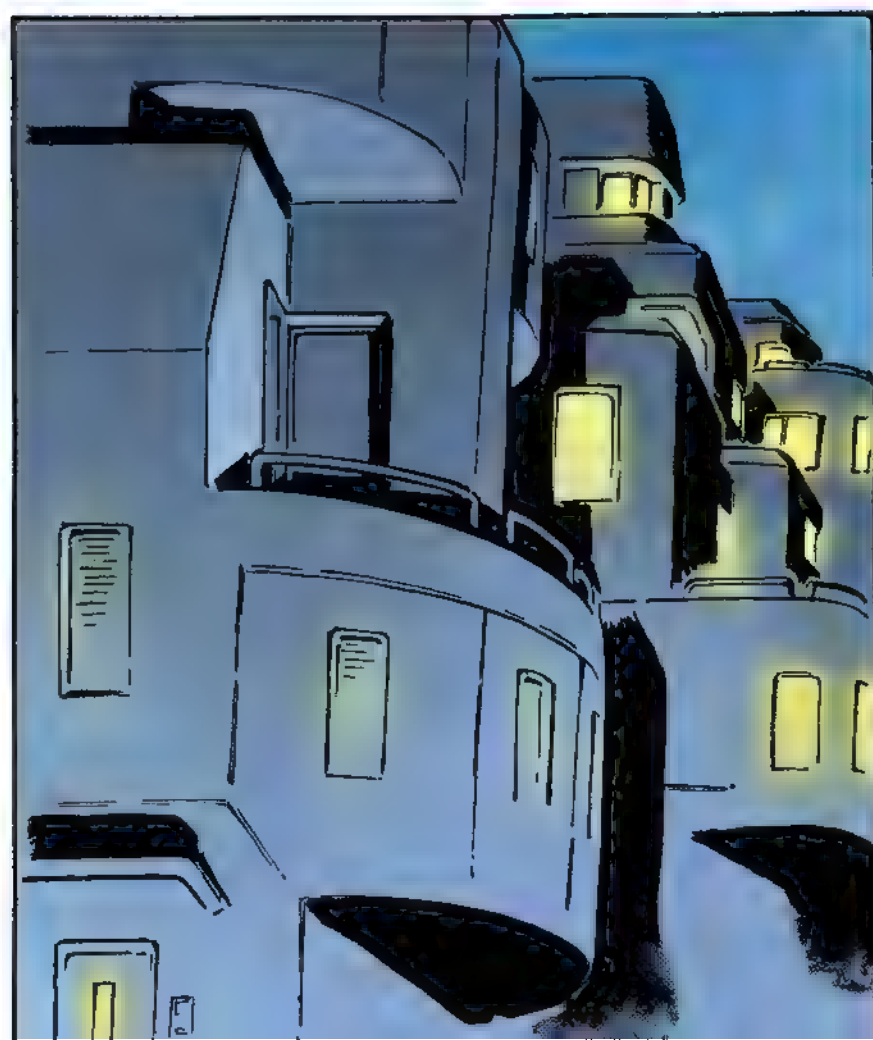
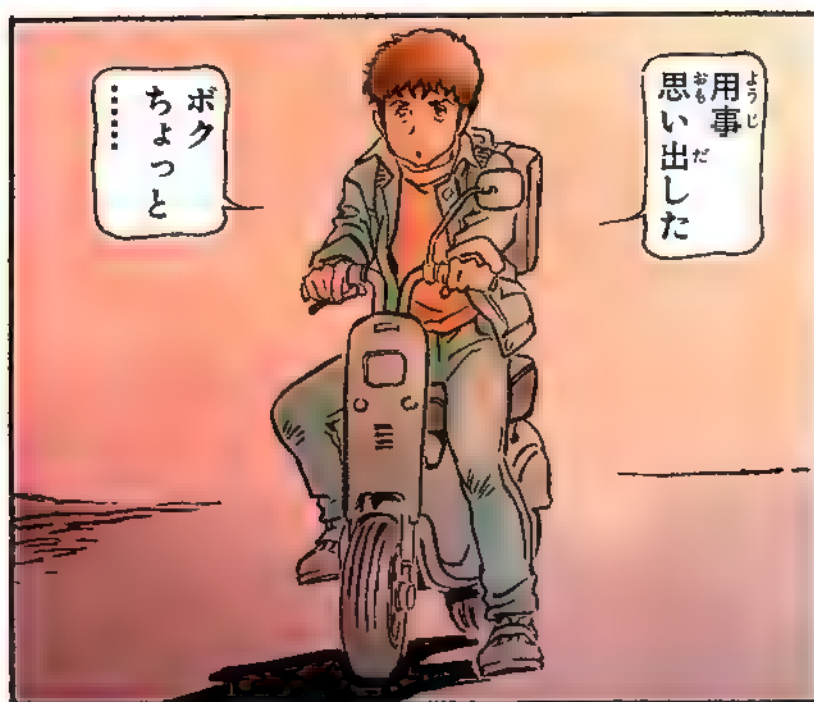
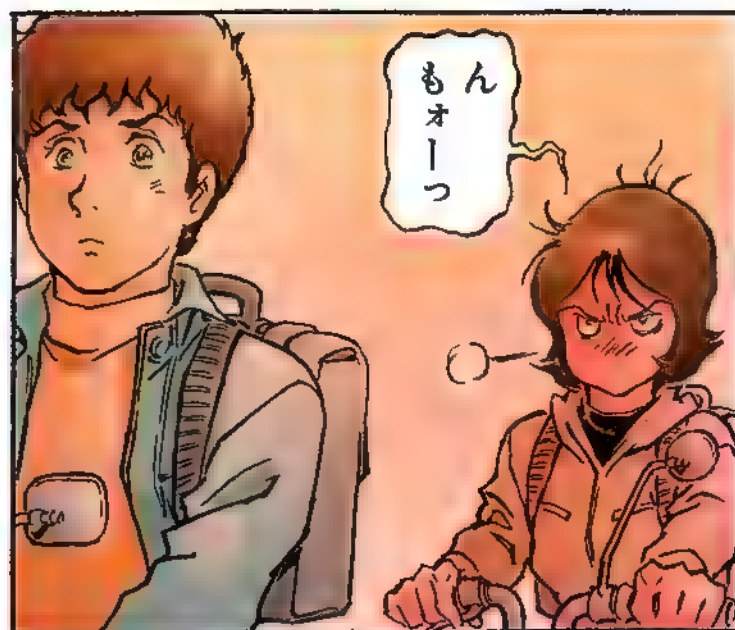


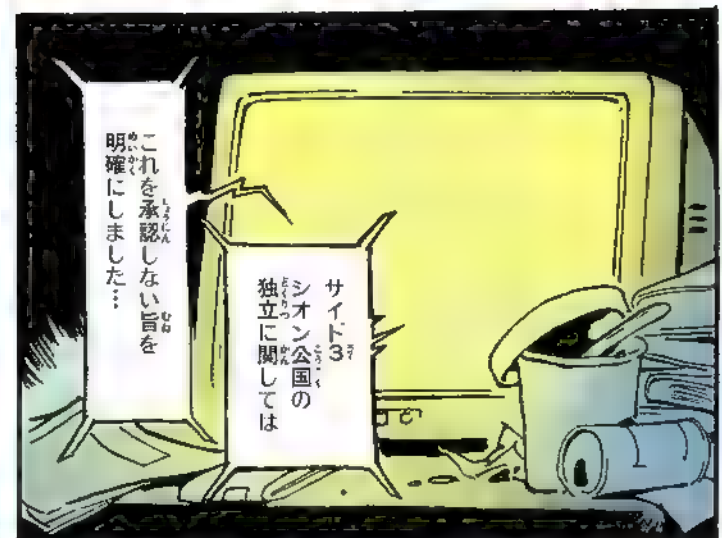
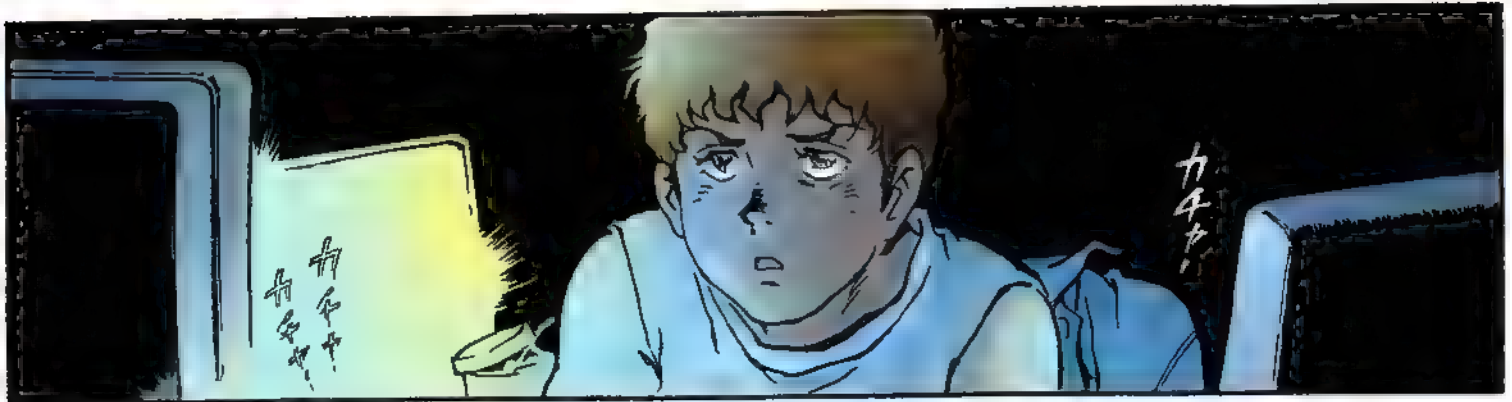
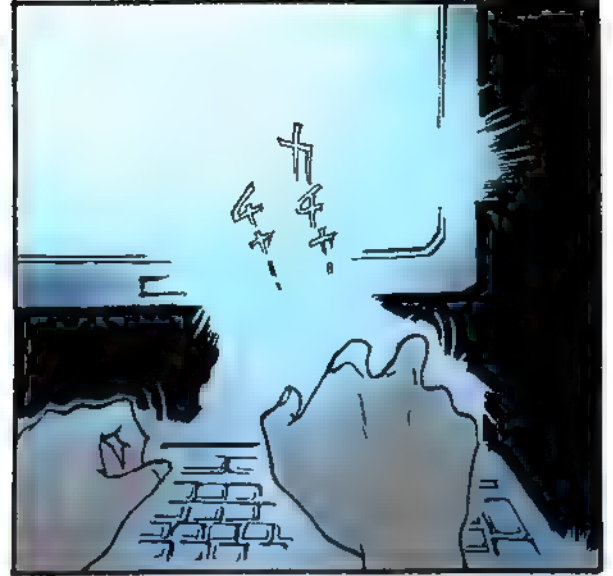
おれは風紀委員だ

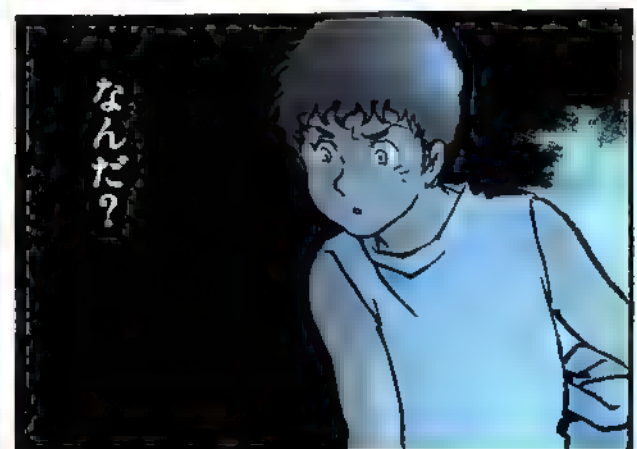
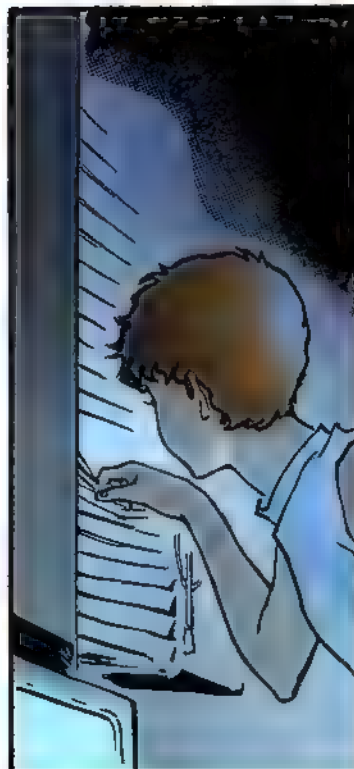
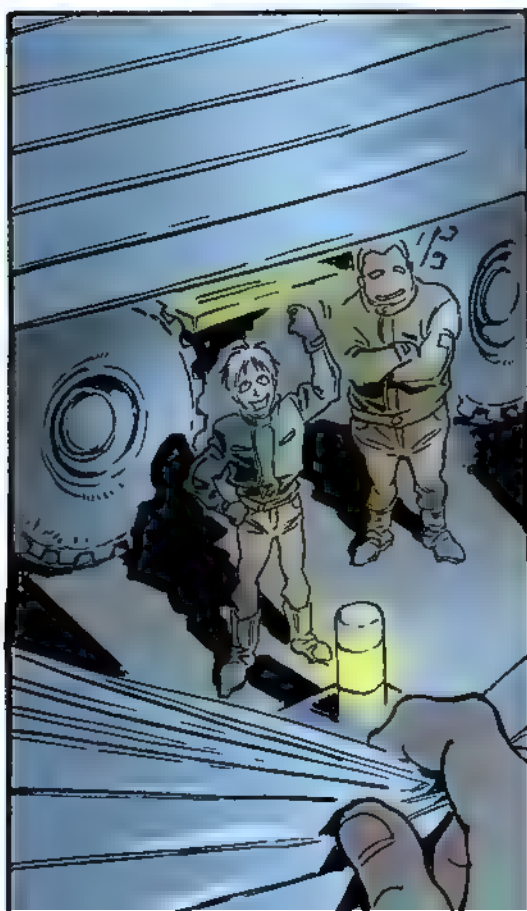
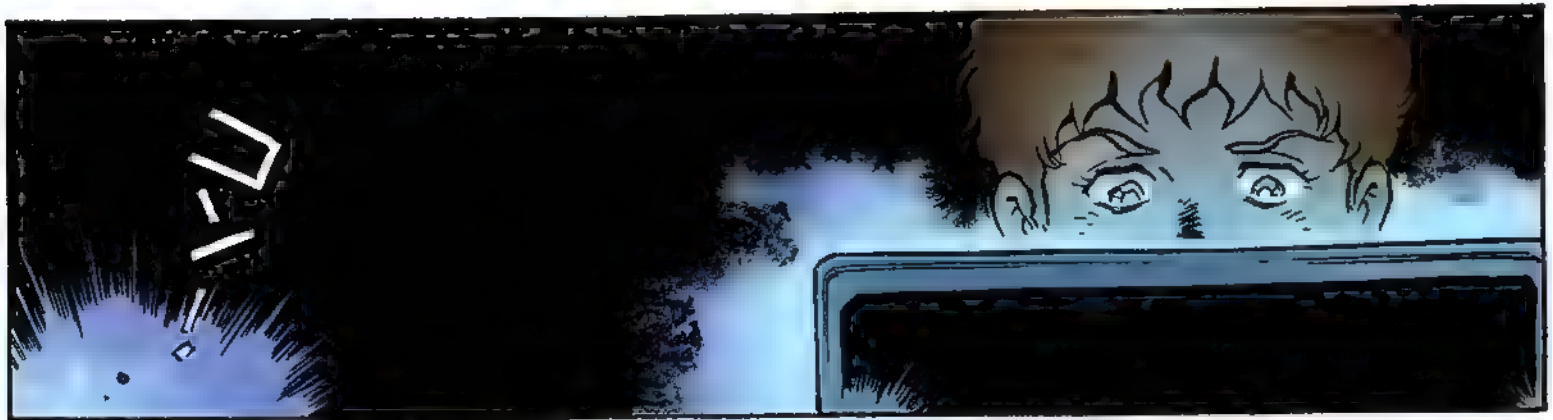
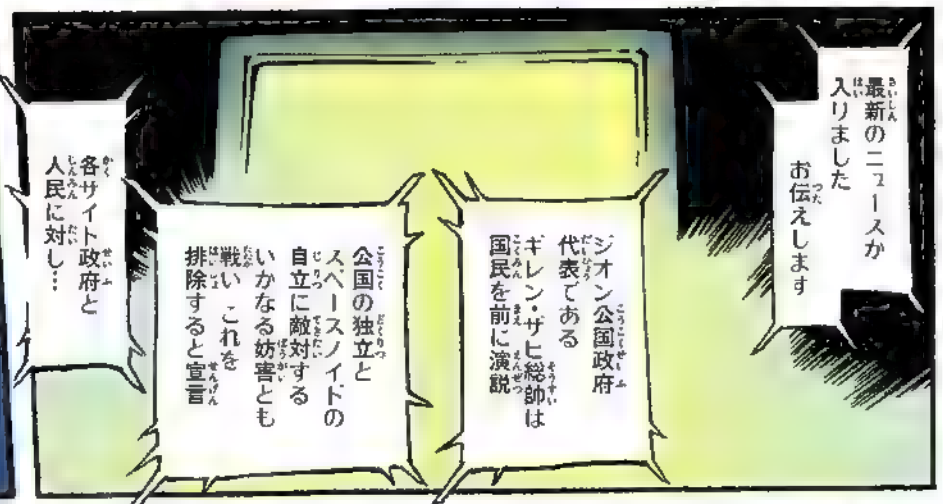
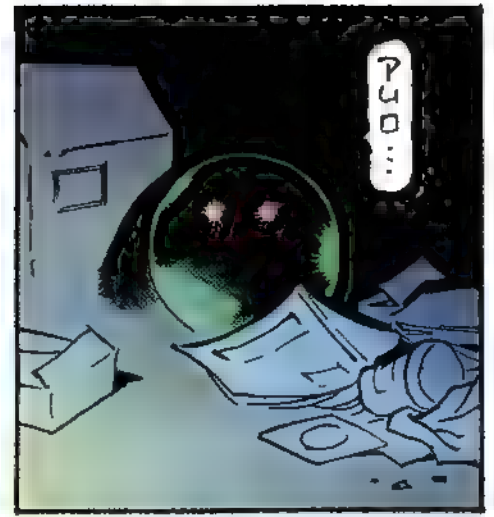
ううう
こええ

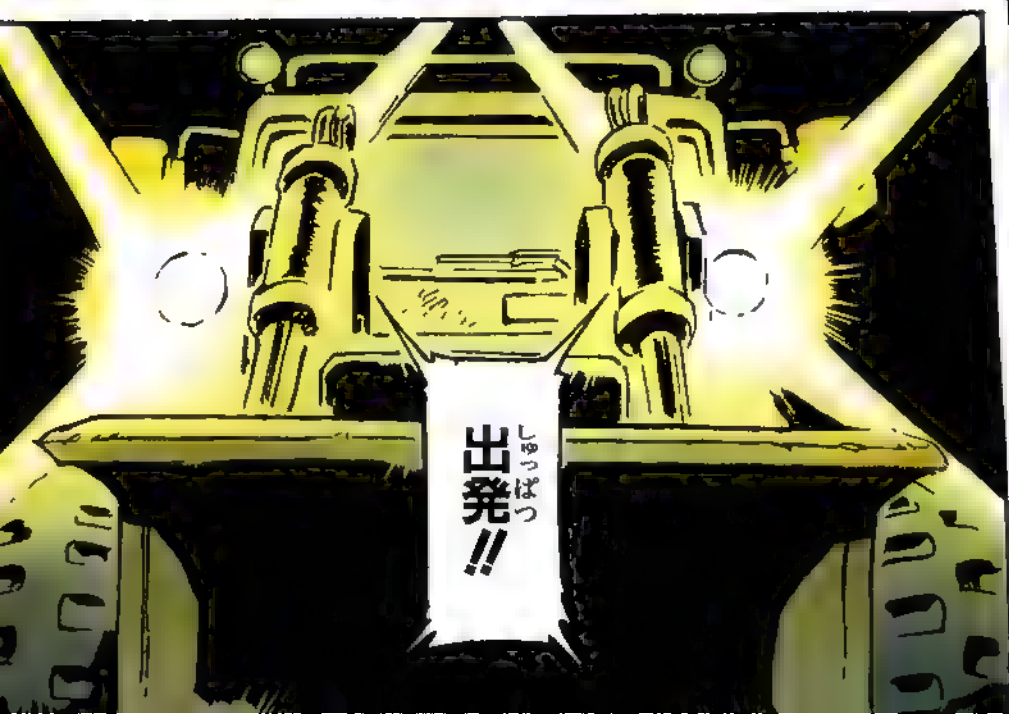
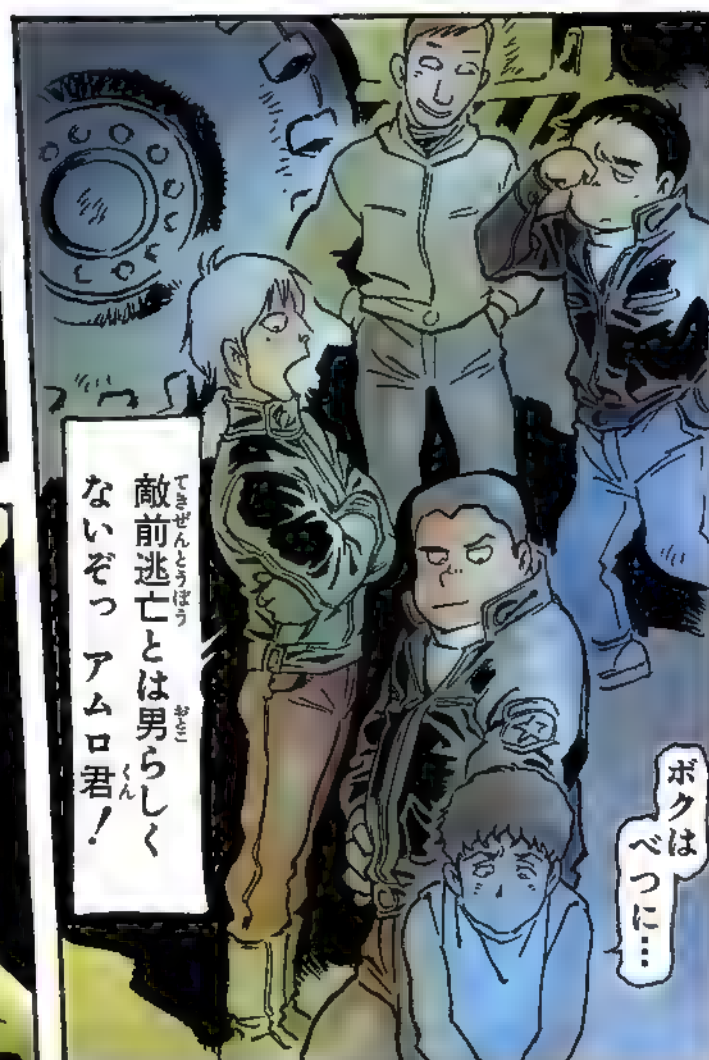
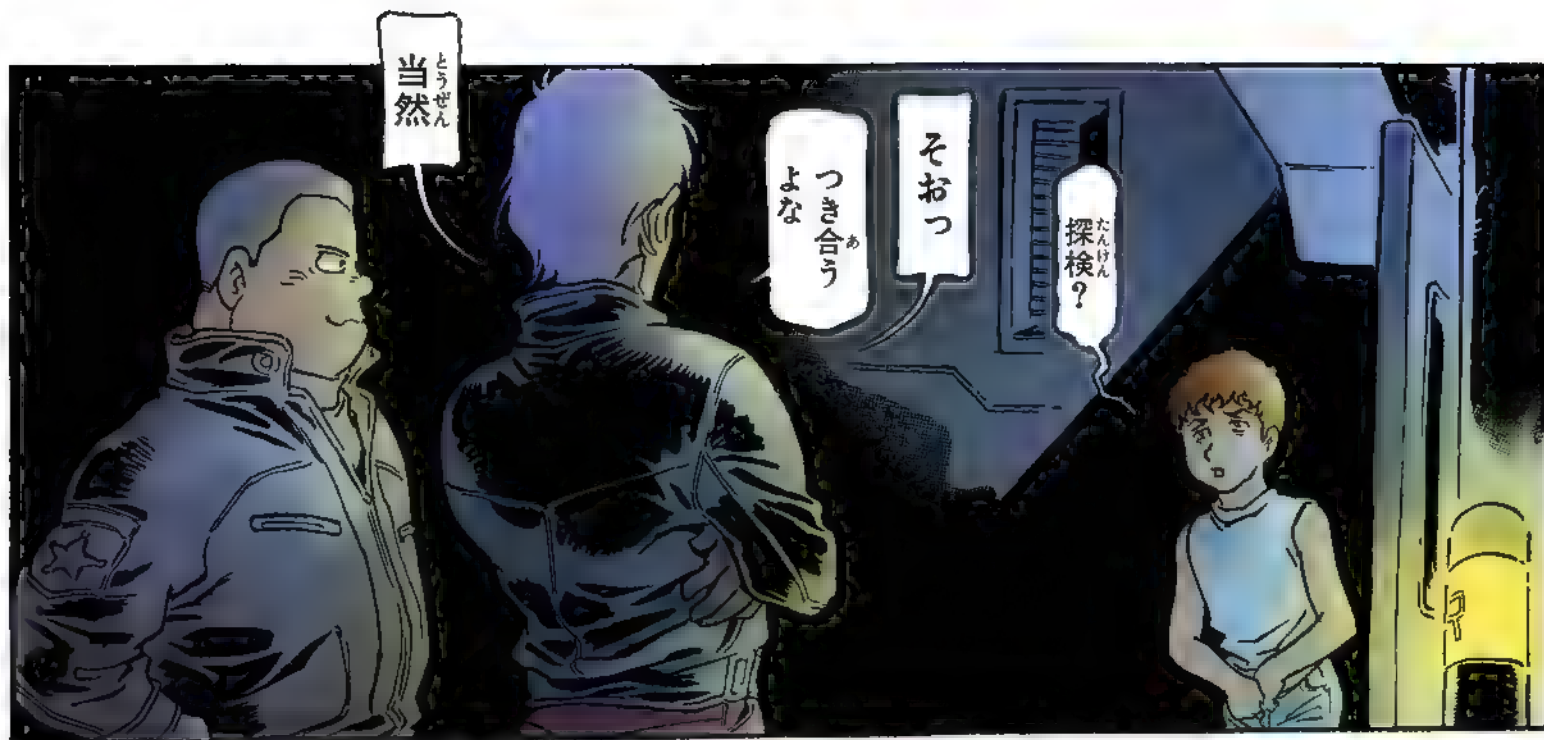
よろしく指導してもらいたまえ
アムロ君

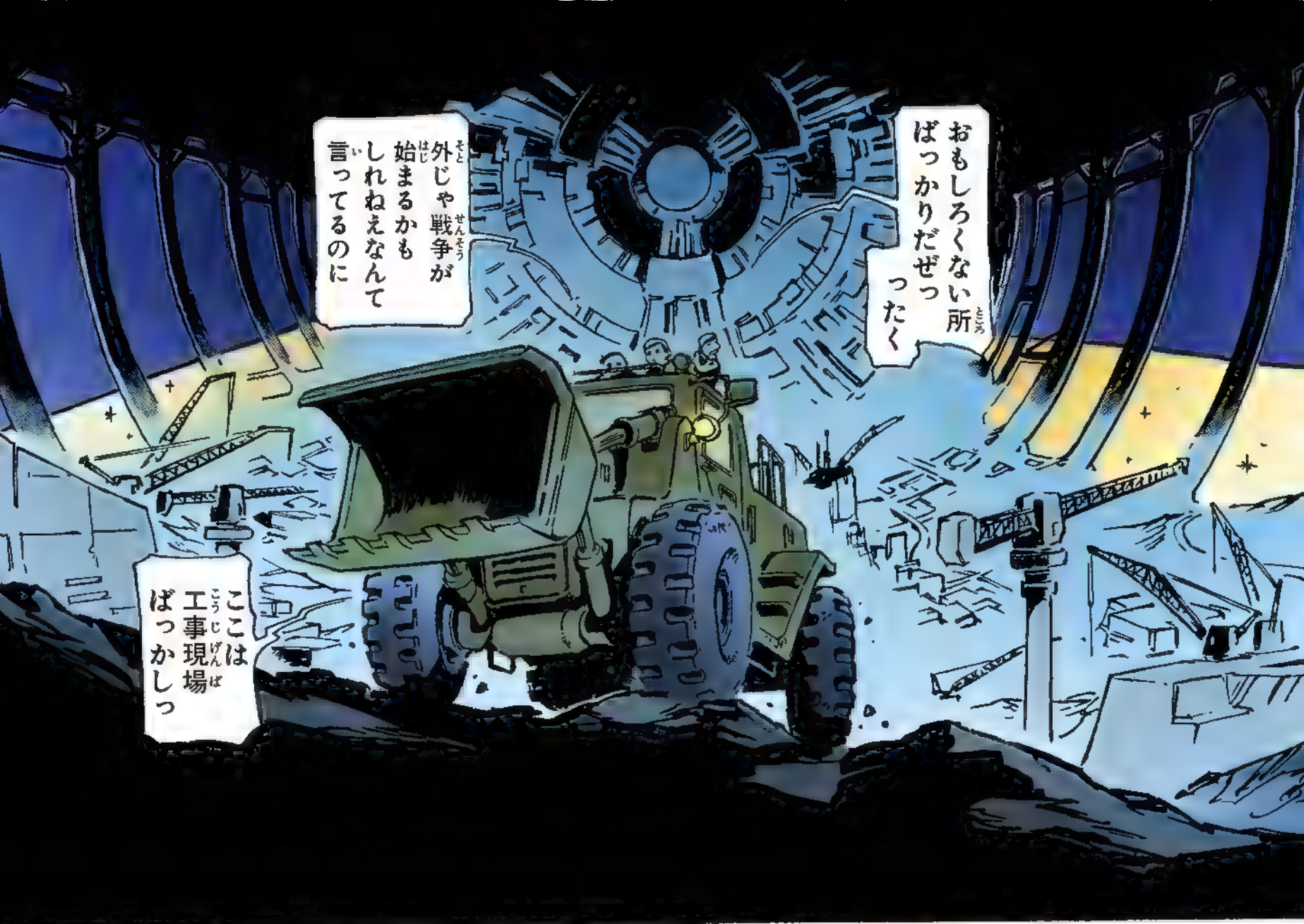








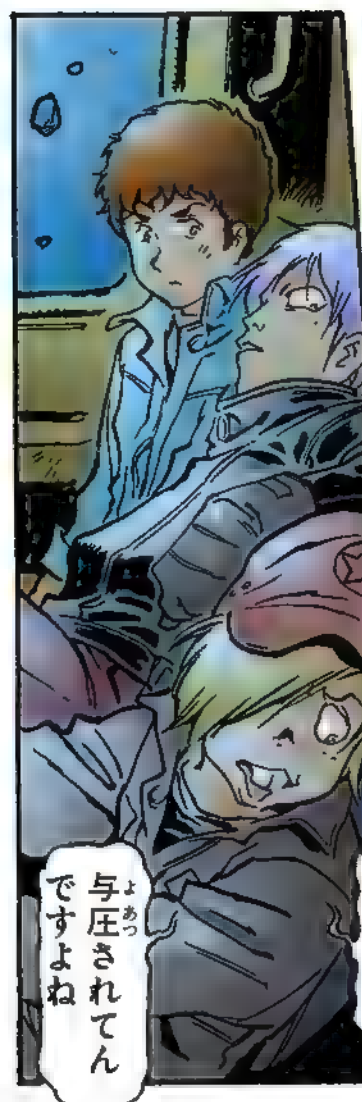




おもしろくない所
ばかりだぜっ
ったく

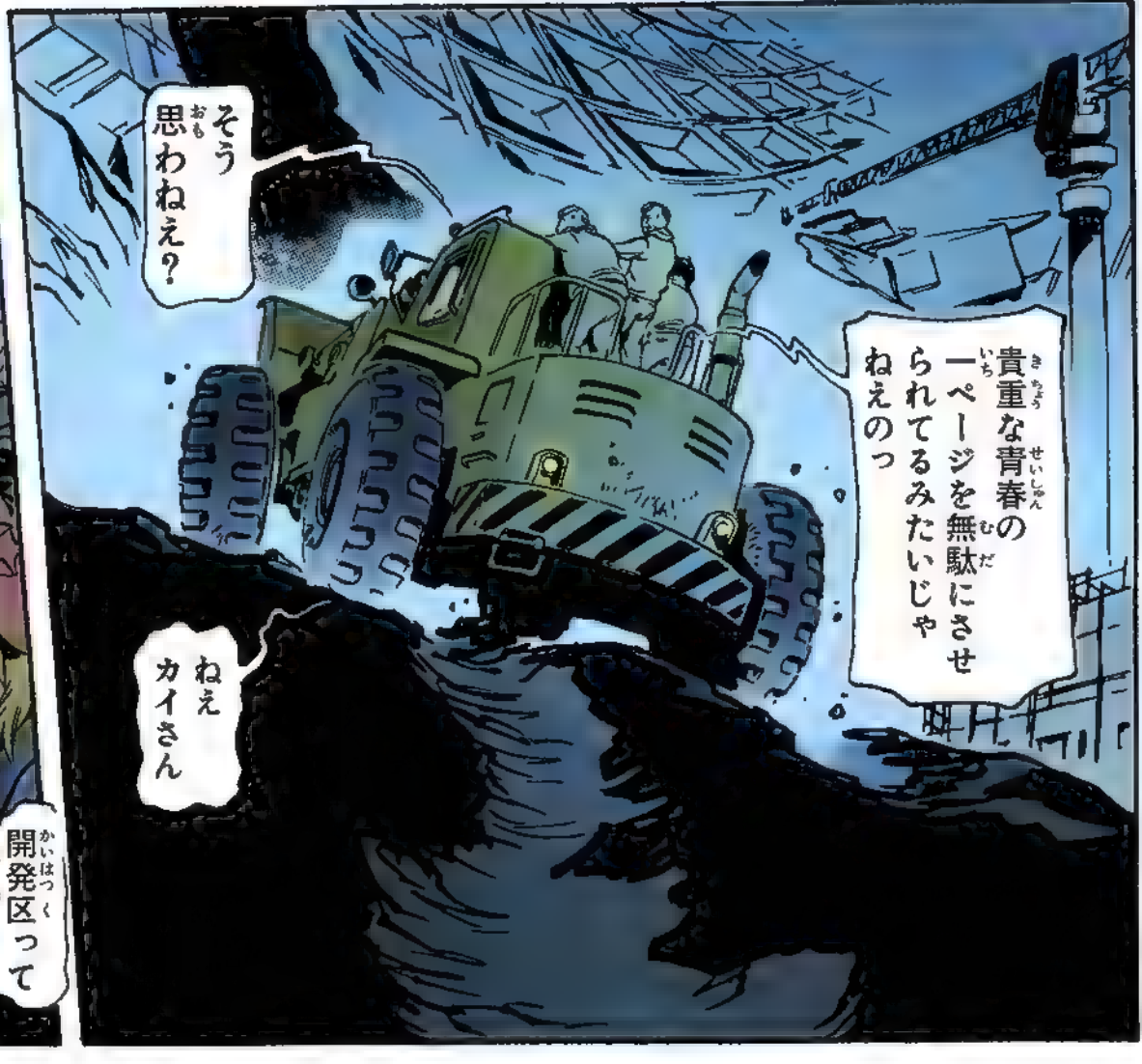
外^{そと}じや戦争^{せんそう}が
始^{はじ}まるかも
しれねえなんて
言^いってるのに

ここは
工事^{こうじ}現場^{げんば}
ばっかしっ



与^よ圧^{あつ}されてん
ですよ

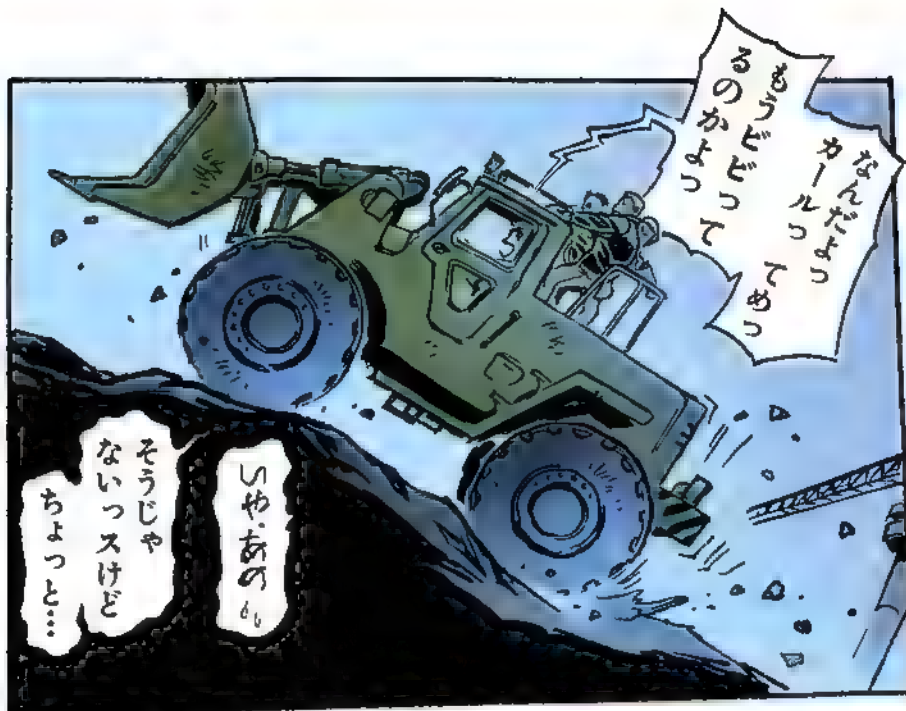
開発^{かいはつ}区^くって



そう
おも
思^{おも}わねえ?

ねえ
カイさん

貴重^{きこう}な青春^{せいしゅん}の
一^{いち}ページを無駄^{むだ}にさせ
られてるみたいじゃ
ねえのっ



なんなんだ
カーンって
るのさよって

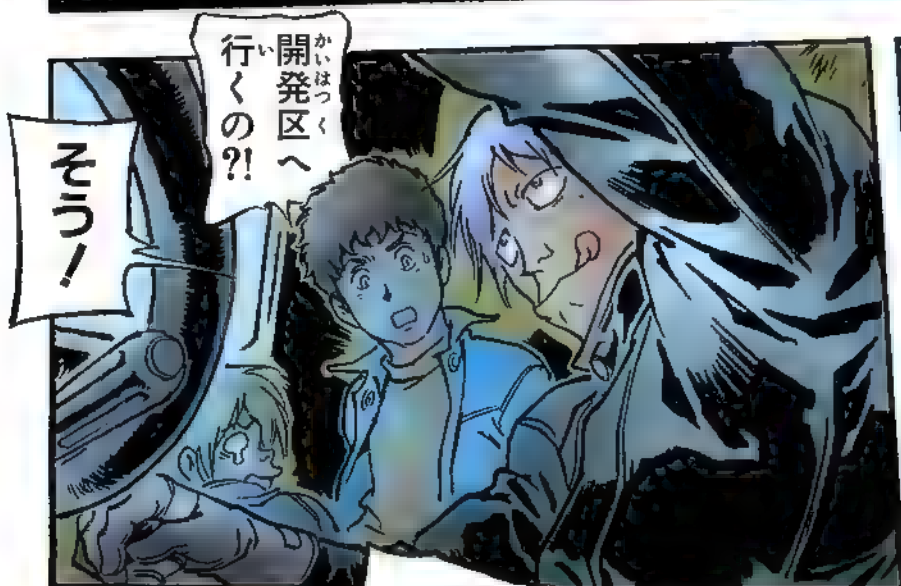
いやあの
そうじゃ
ないっすけど
ちよっと...



ったりめえ
だろ

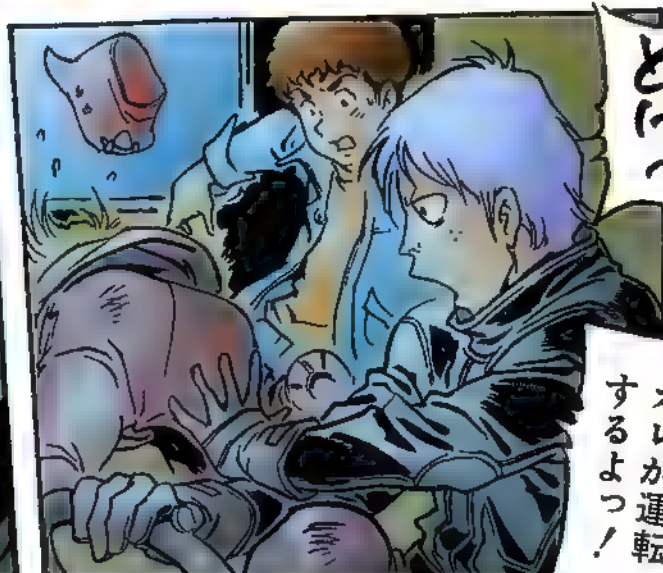
だと...

いいっす
けどねえ



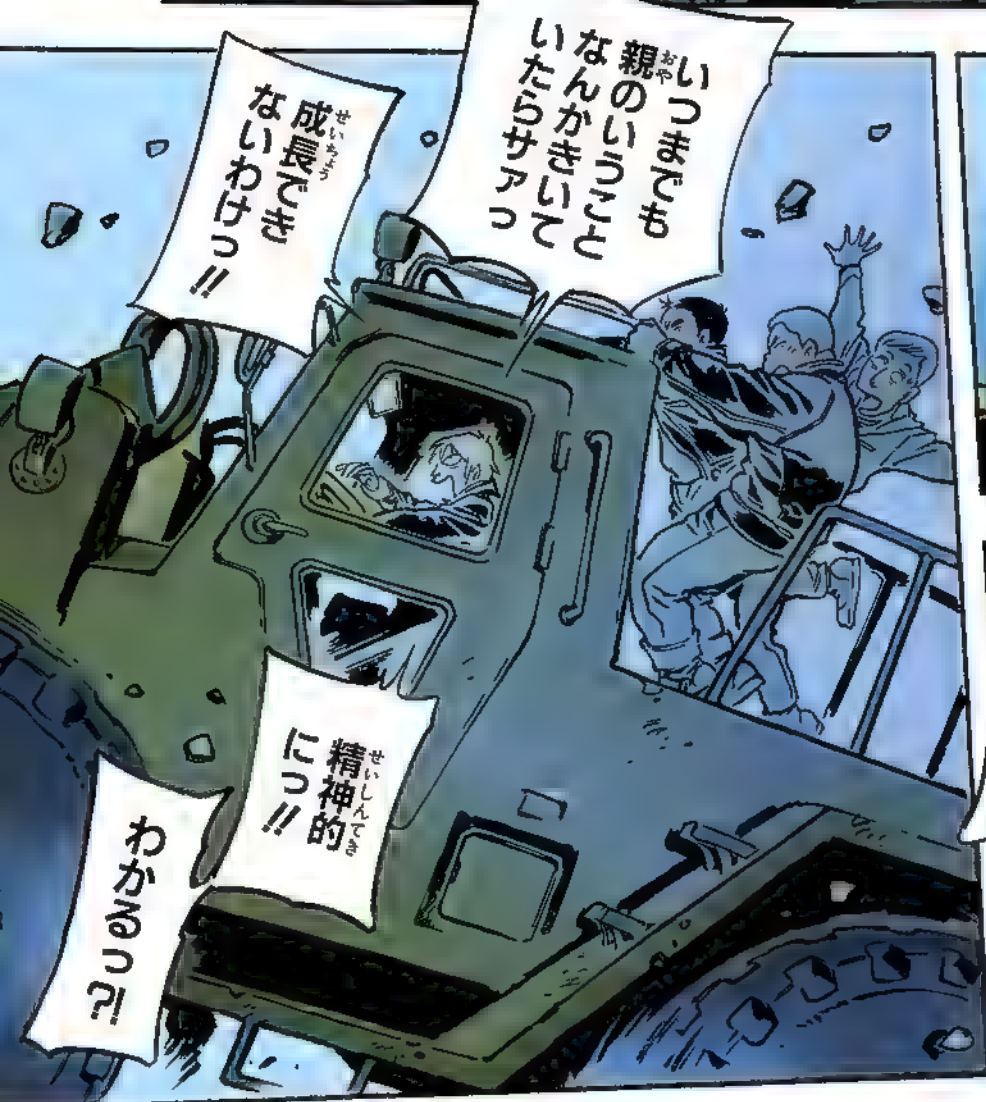
開発区へ
行くの?!

そう!



どけっ

オレが運転
するよっ!



親のいうこと
なんかきいて
いたらサマッ

成長でき
ないわけっ!!

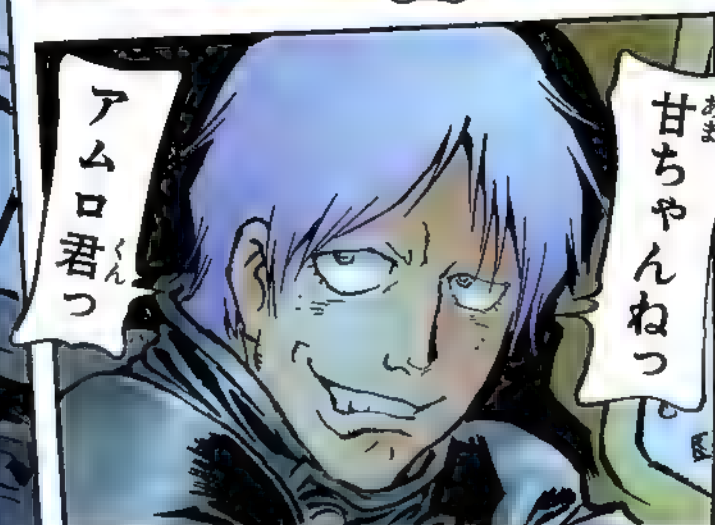
精神的
につ!!

わがままに



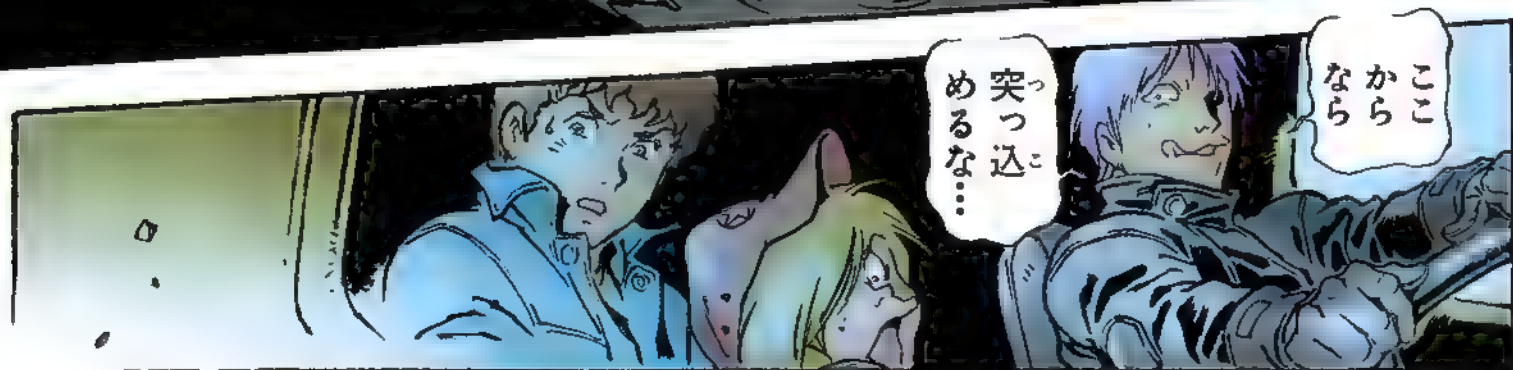
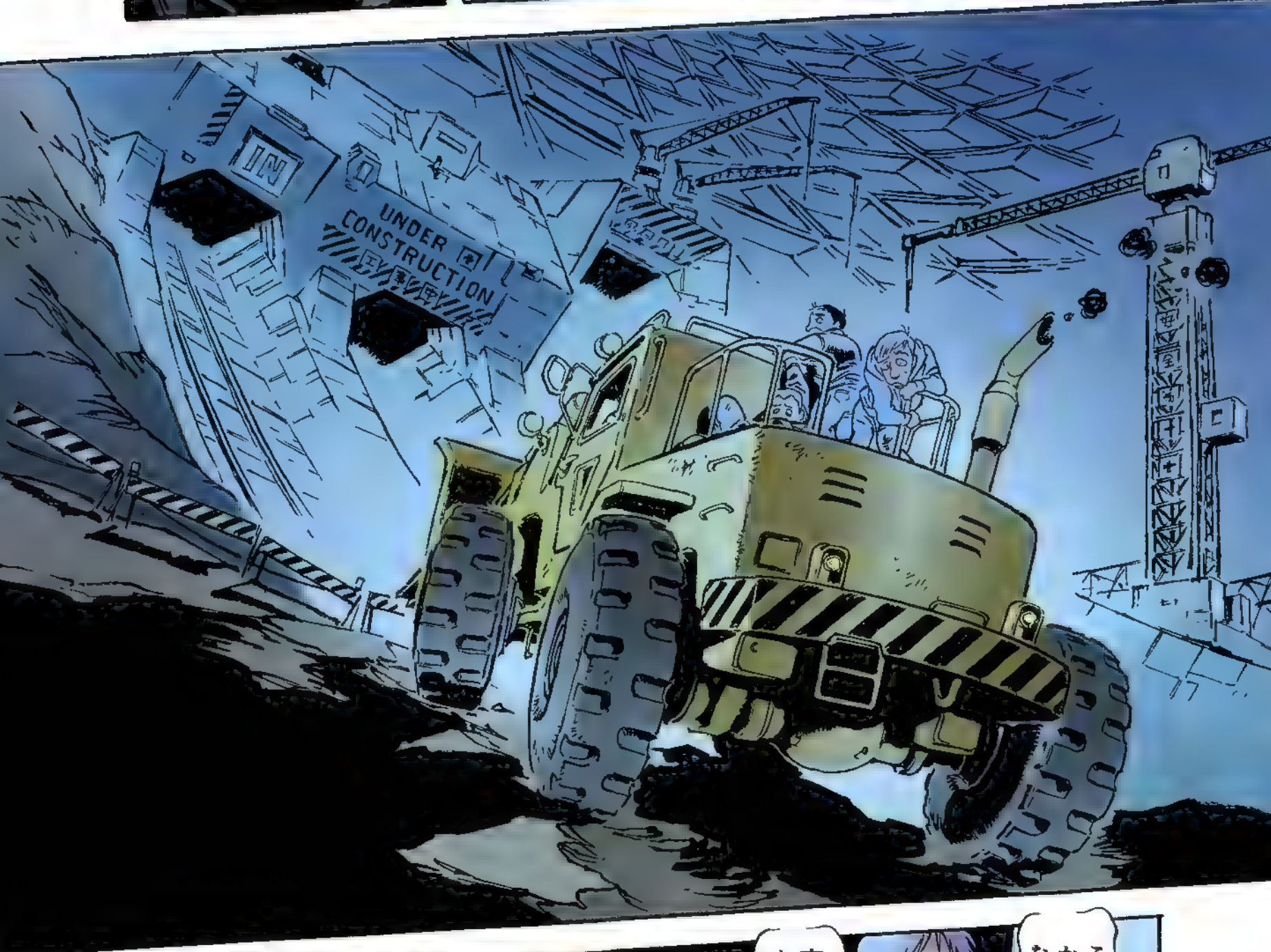
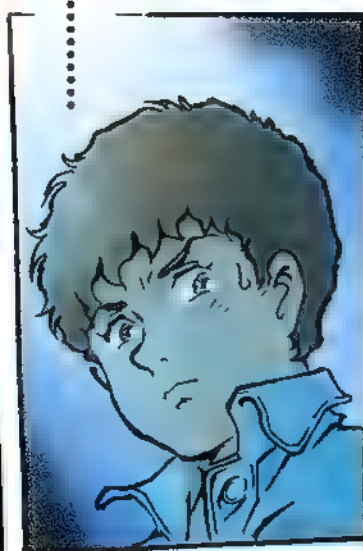
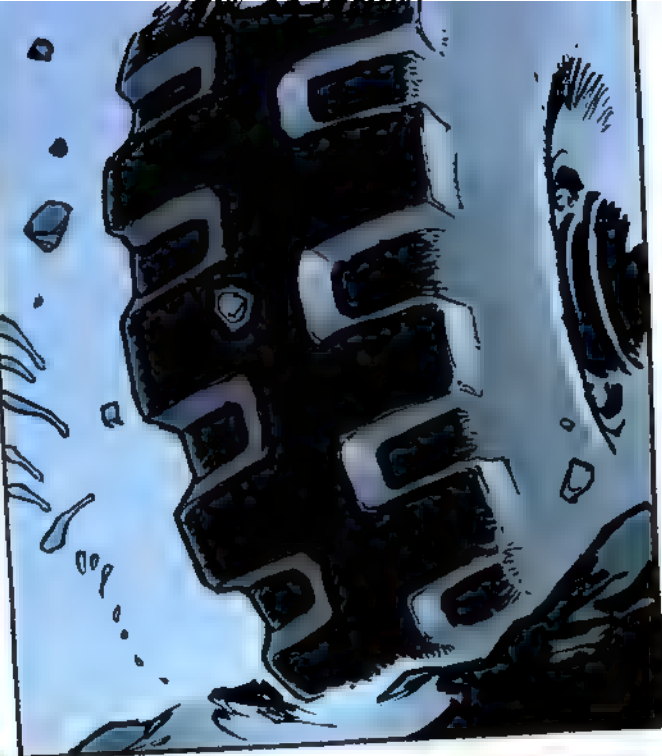
あそこは
近づいても
いけないって
父さん...

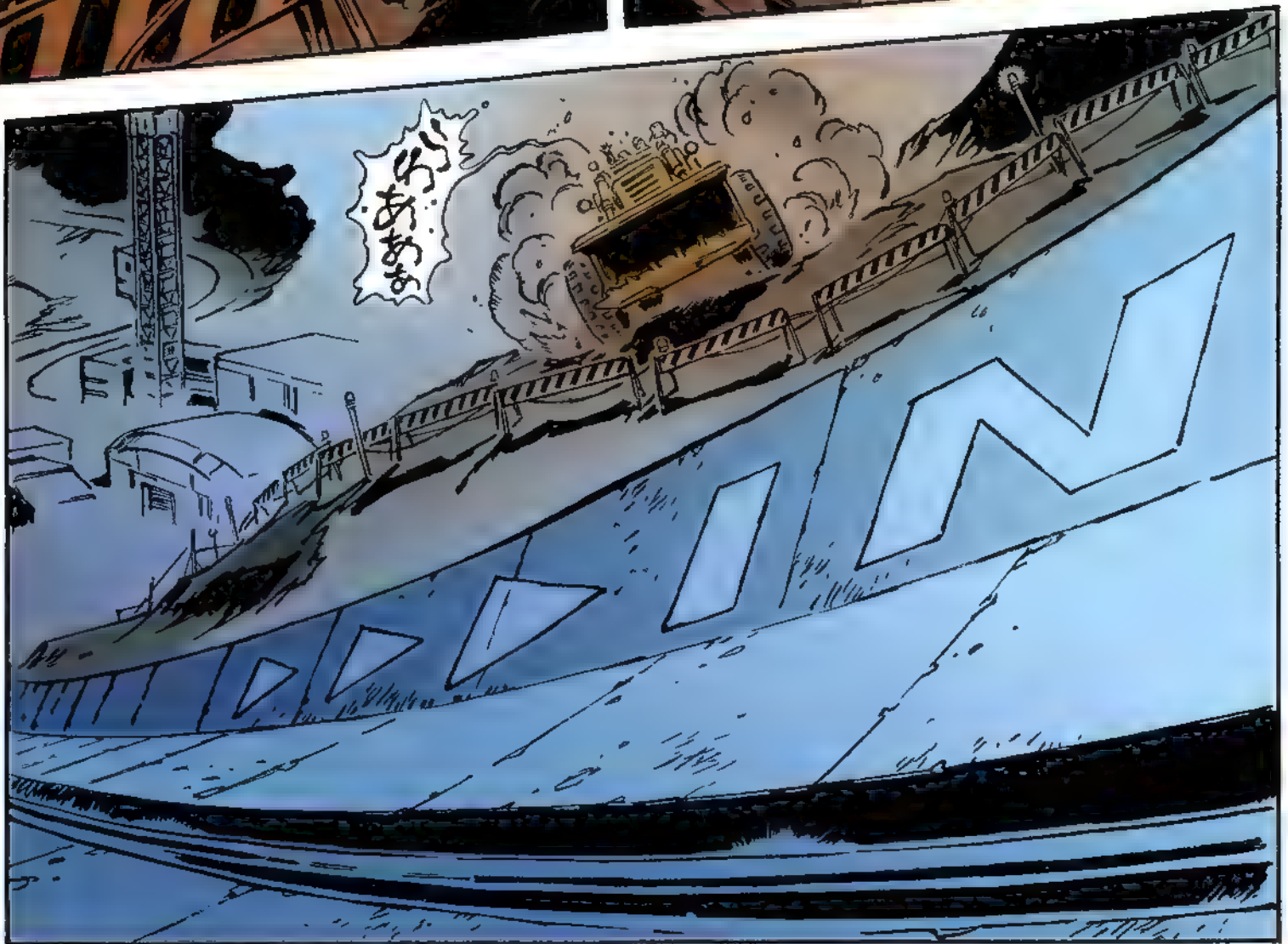
父が!

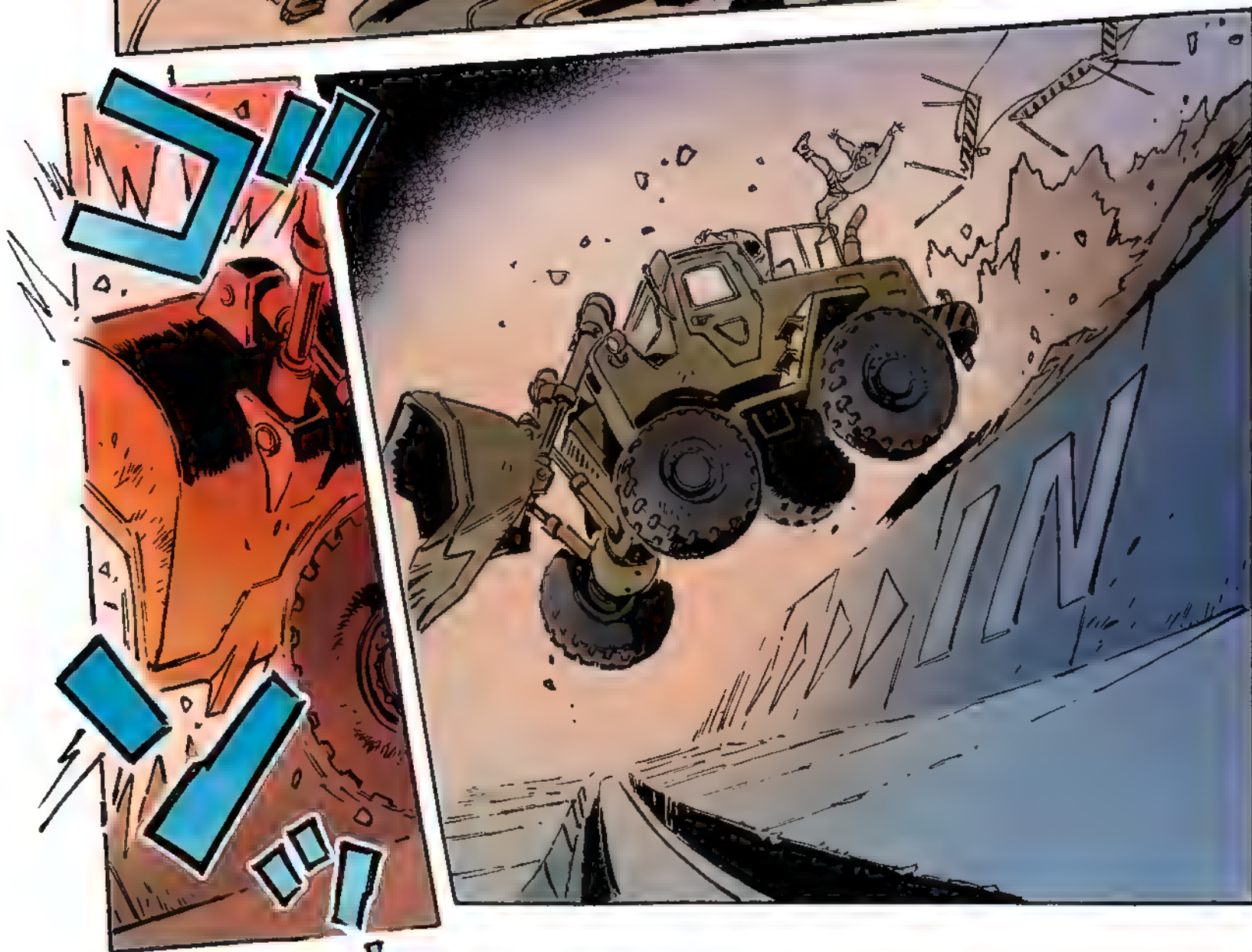
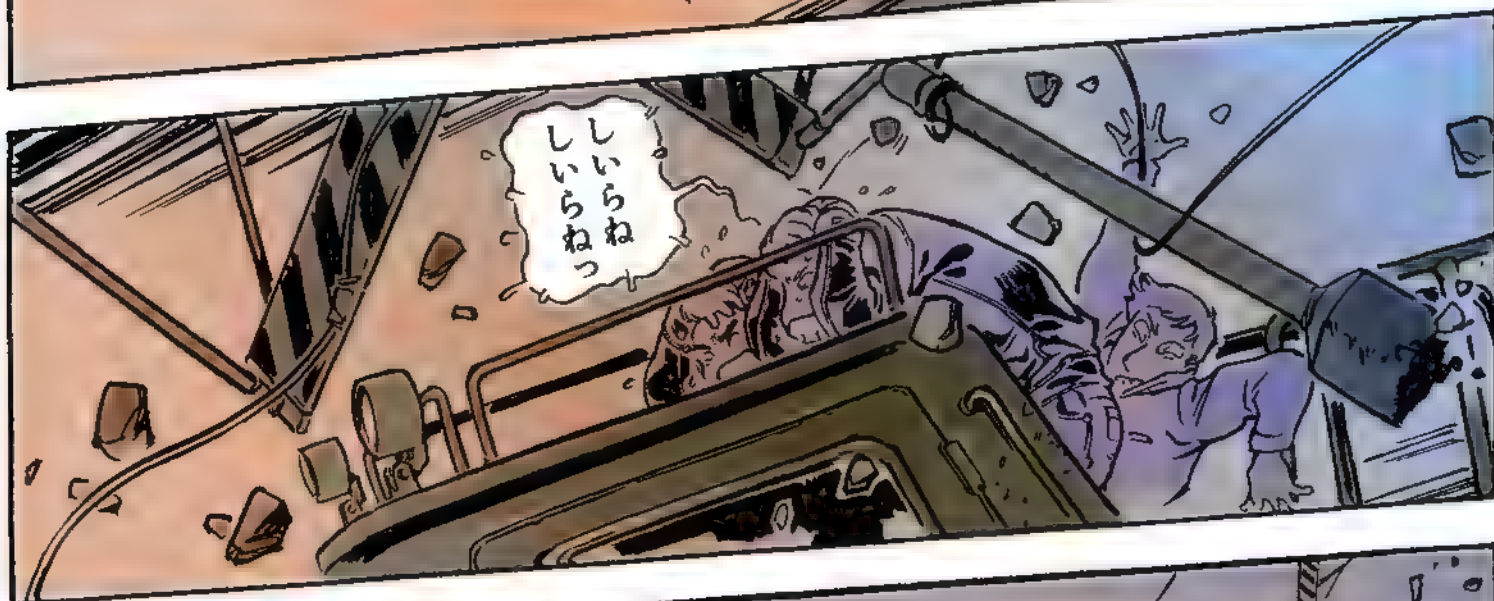
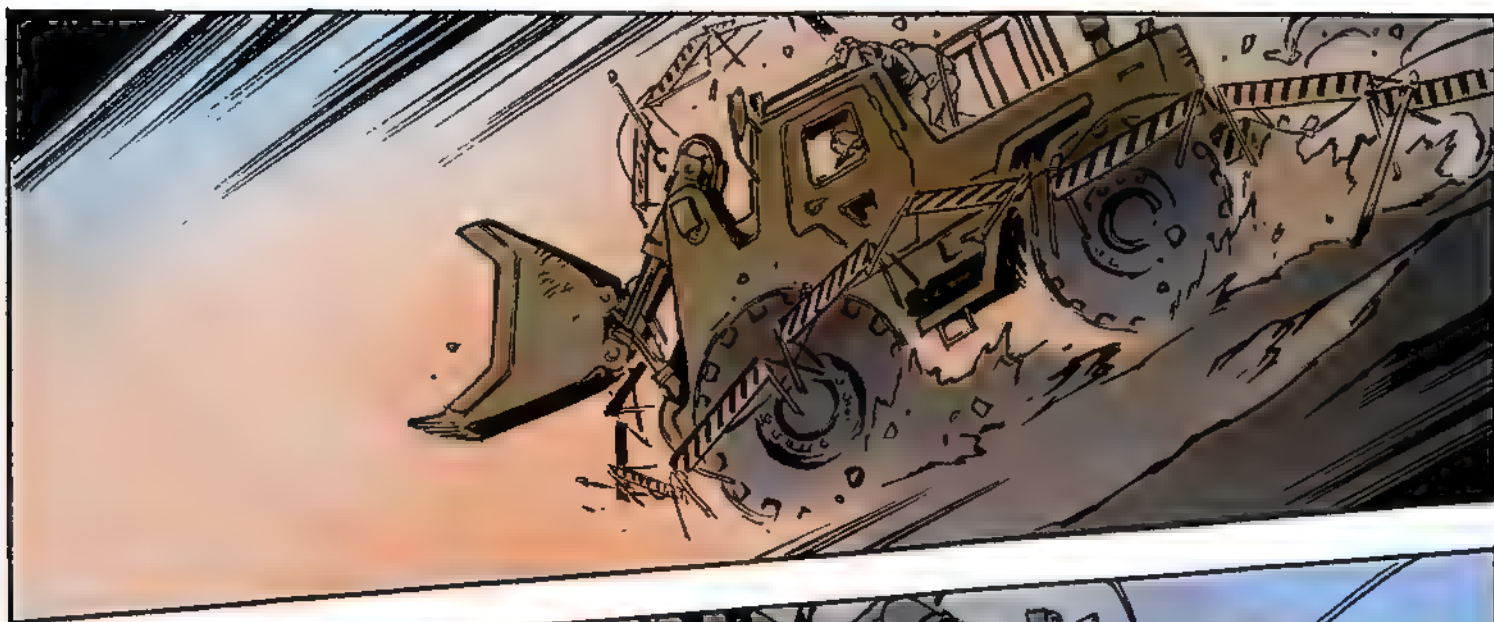


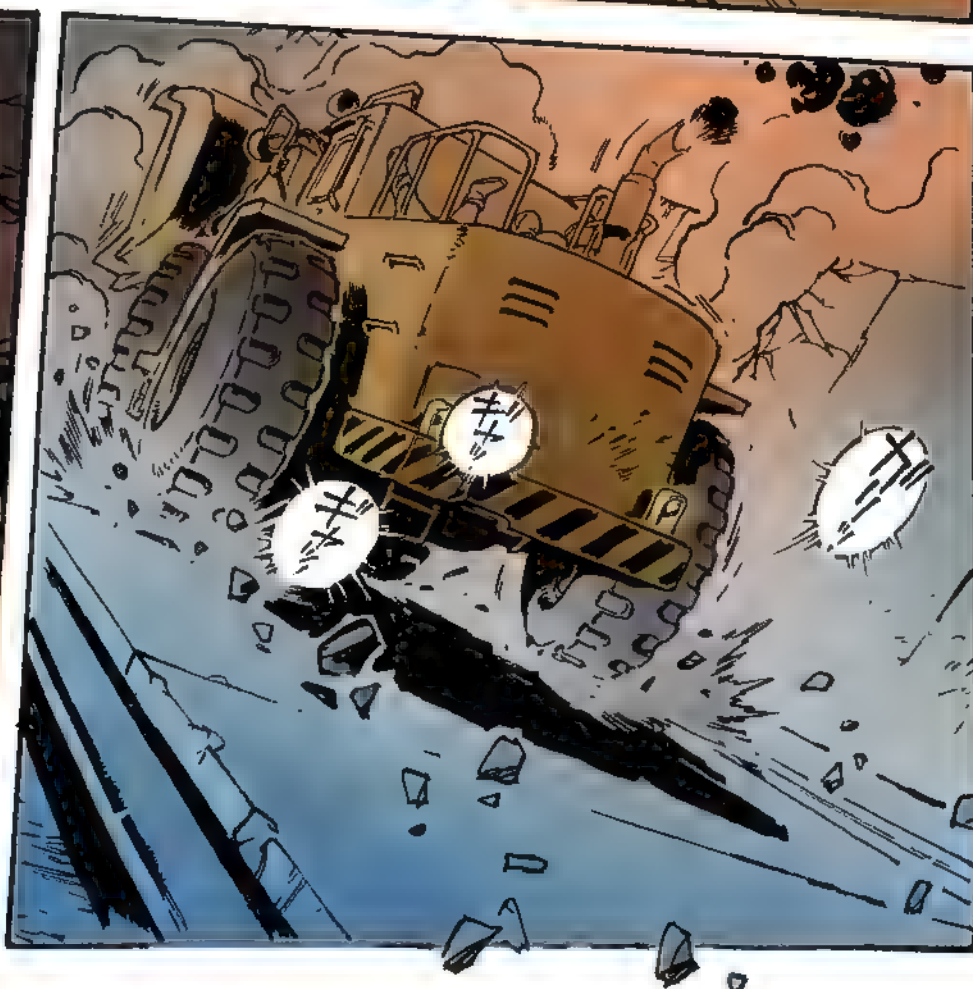
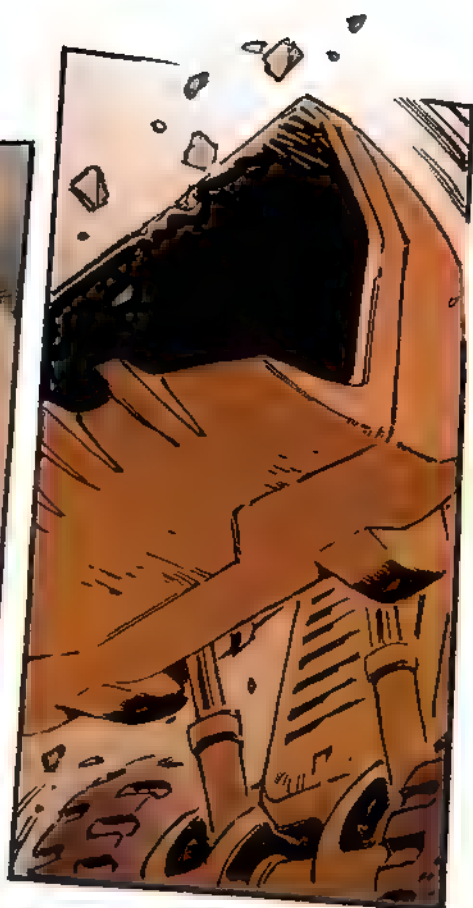
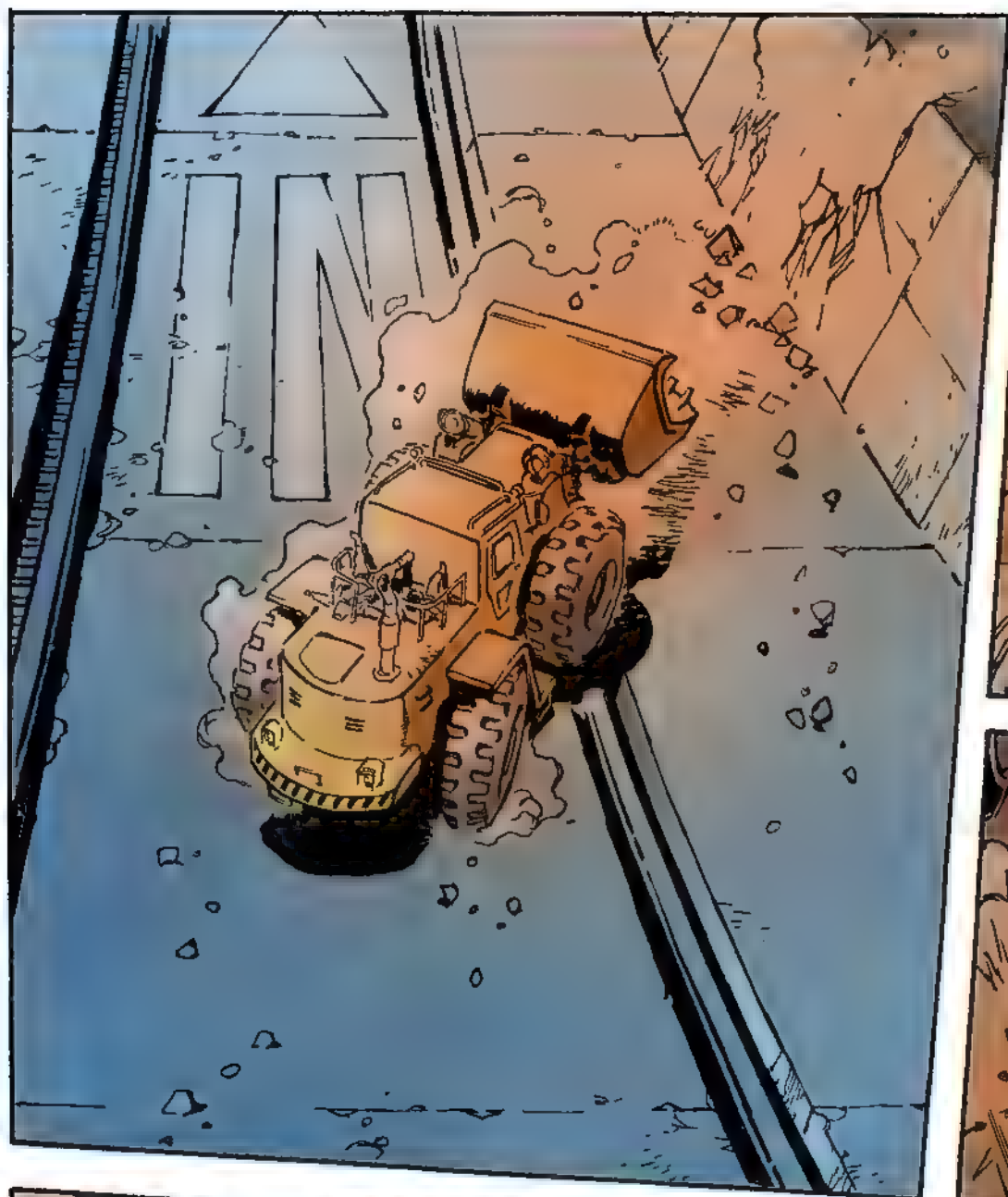
甘ちゃんねっ

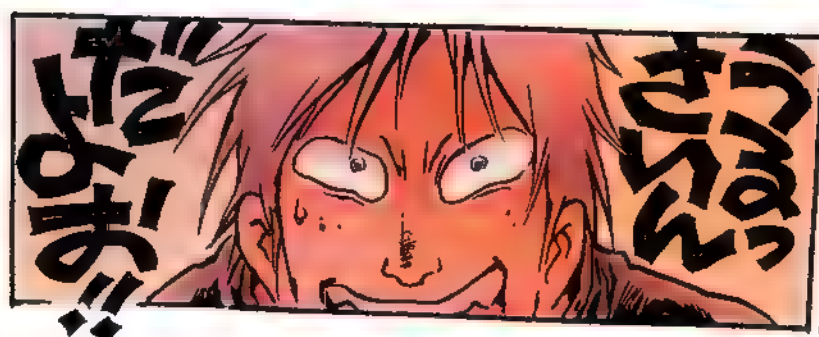
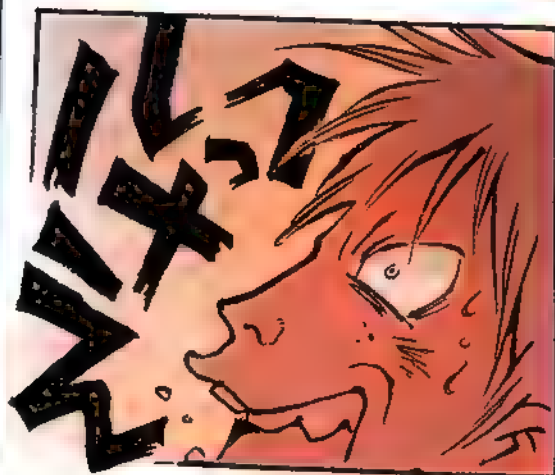
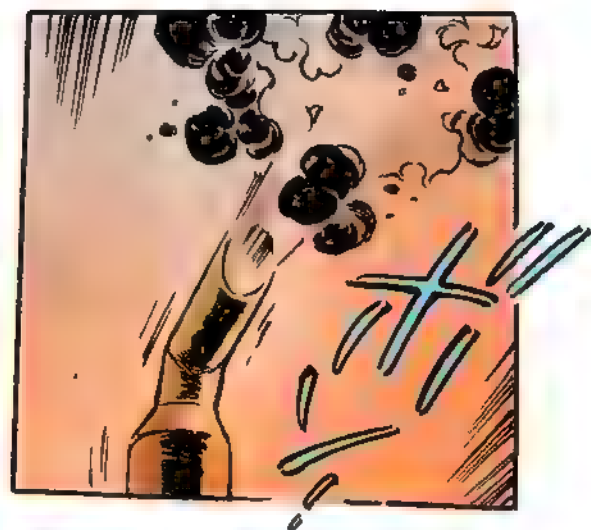
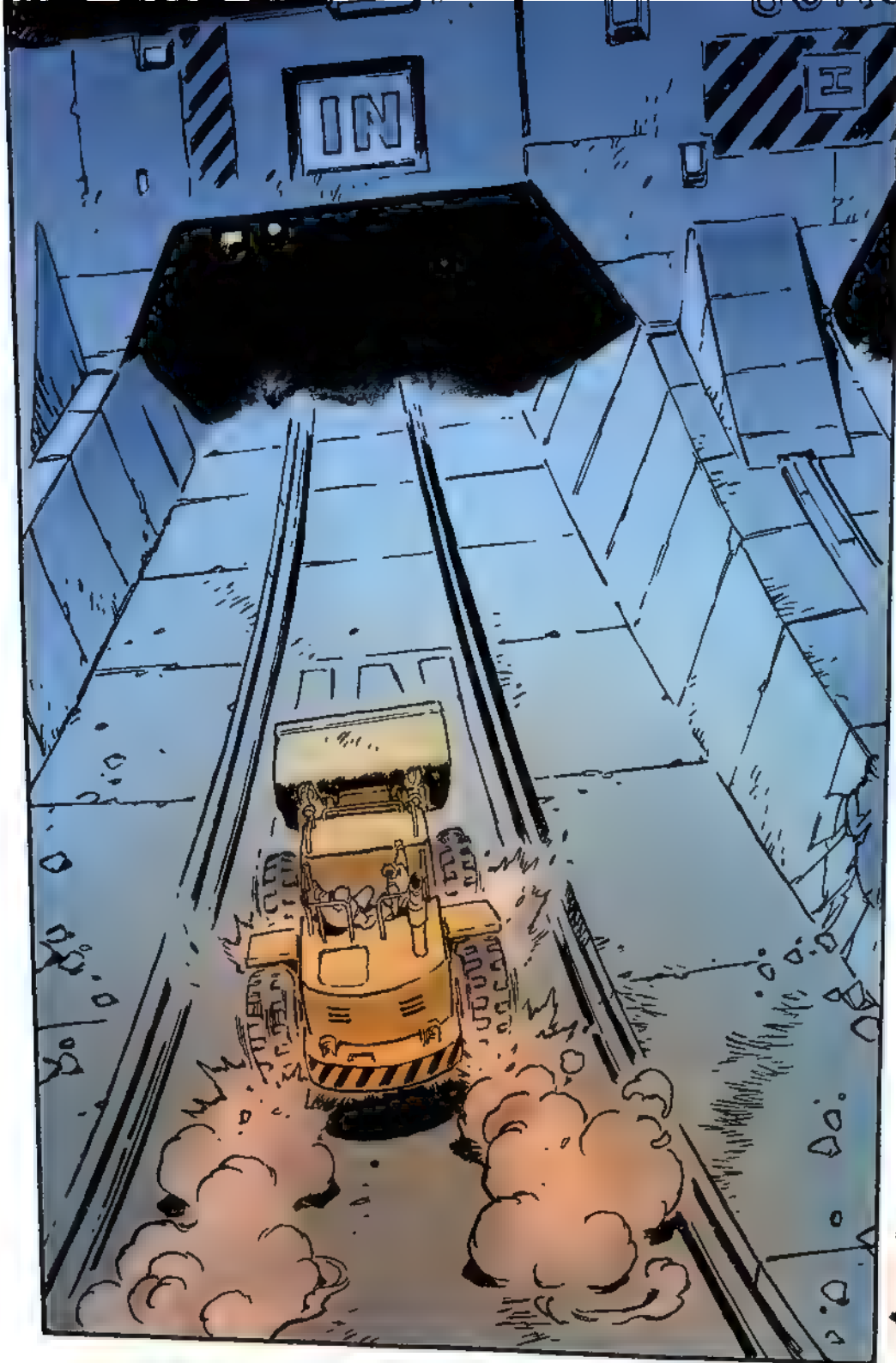
アムロ君っ

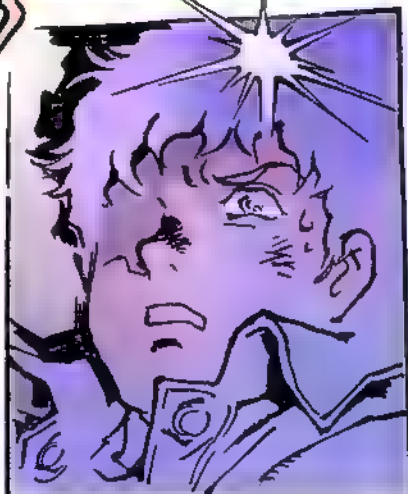
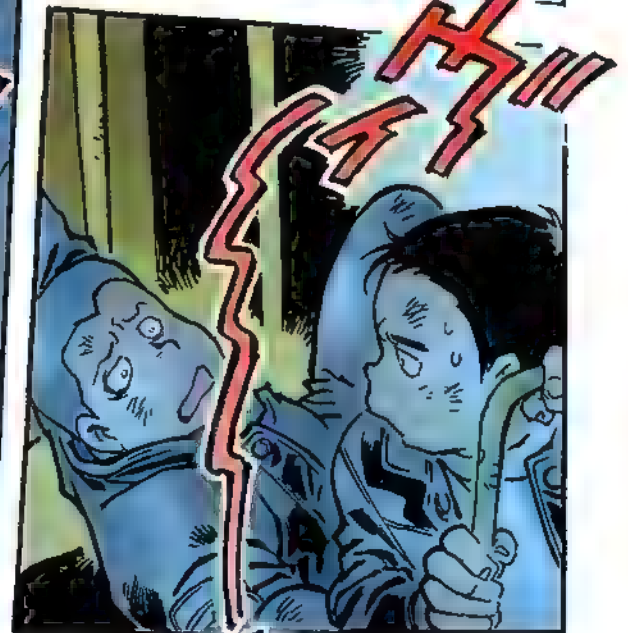
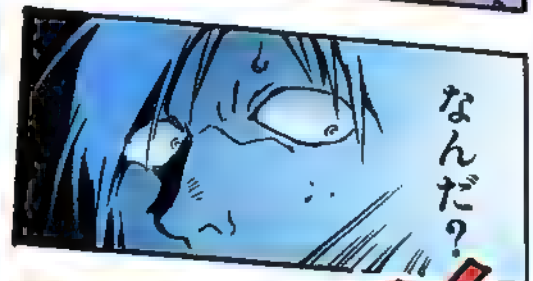
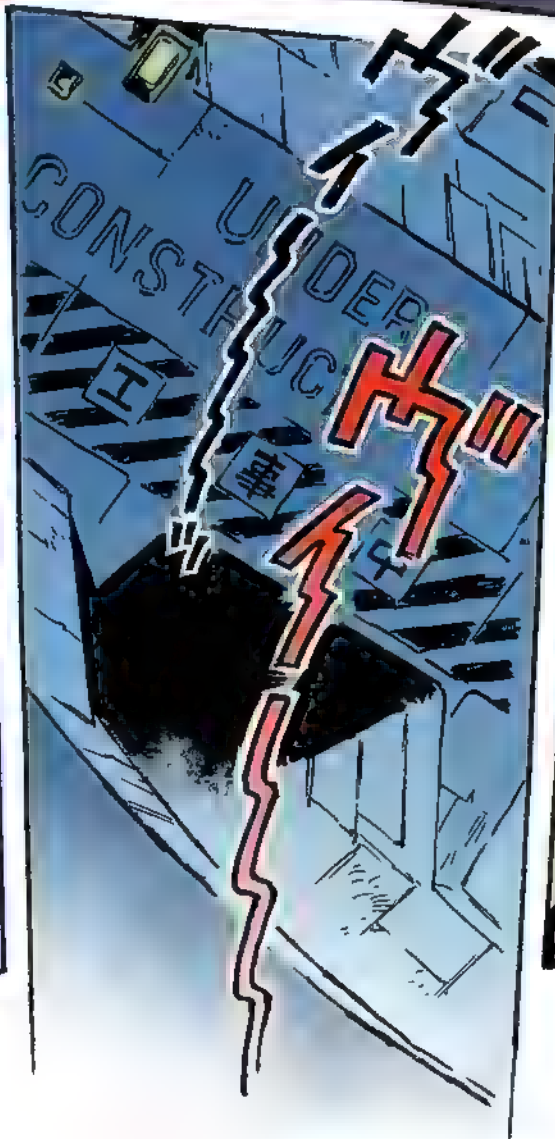
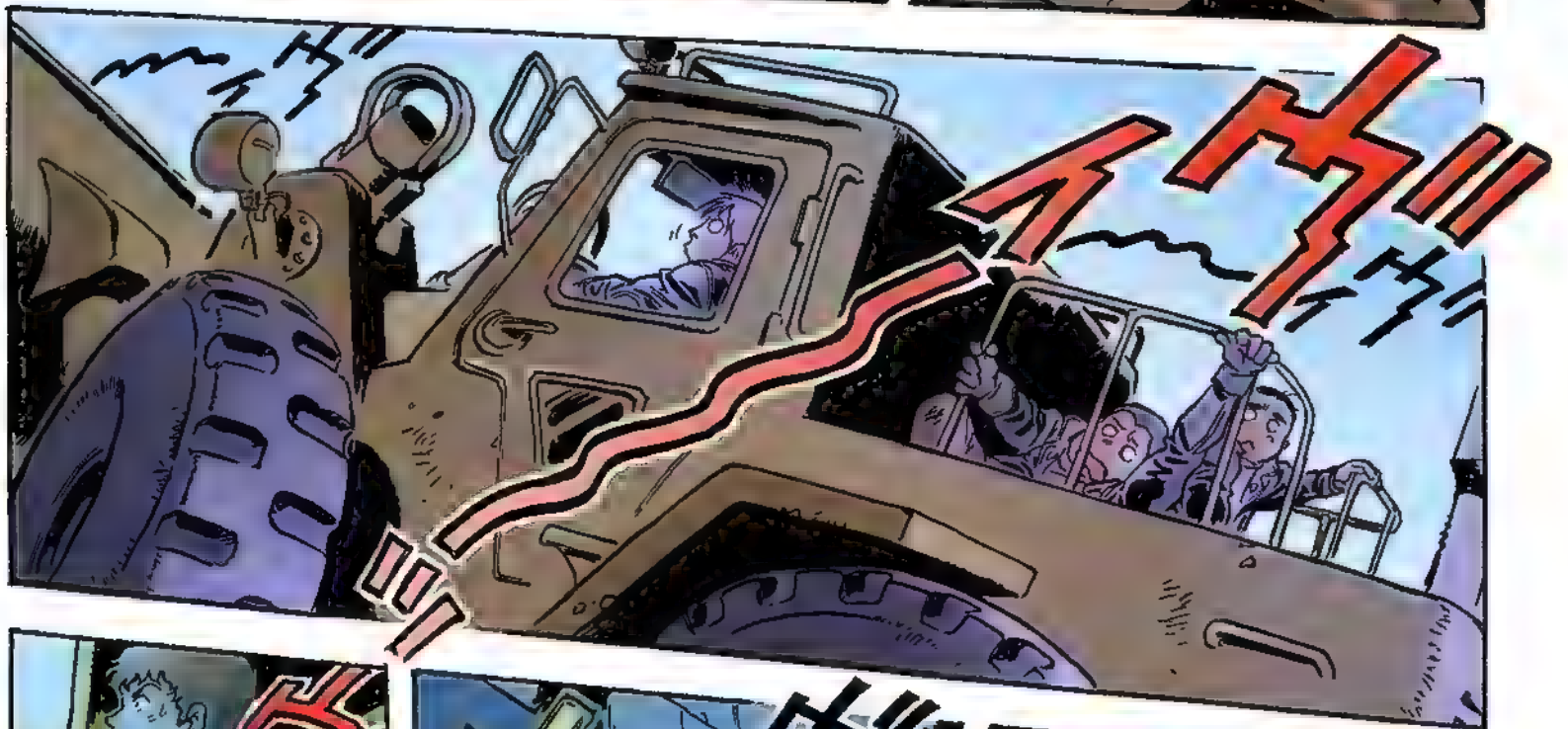


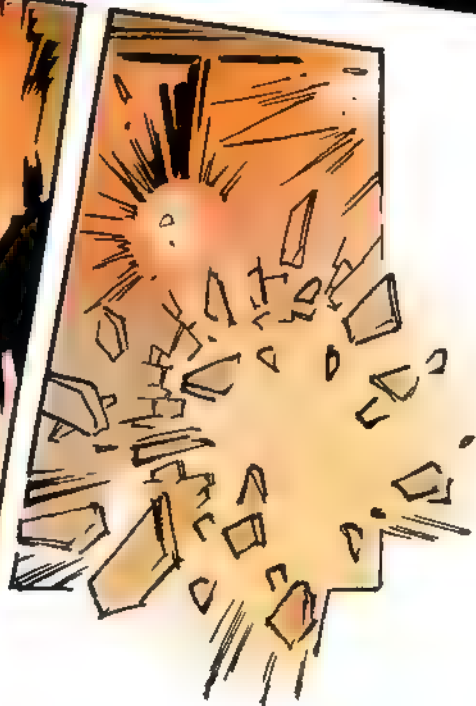
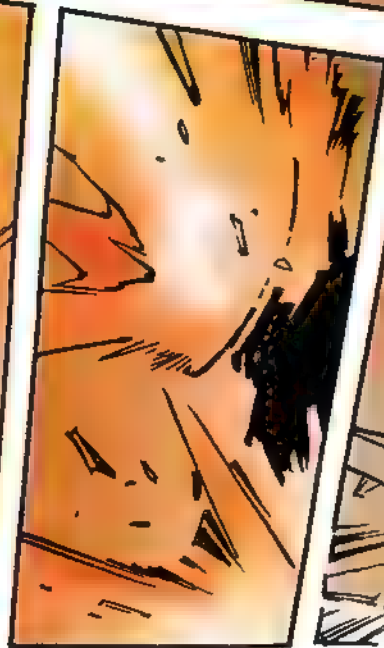
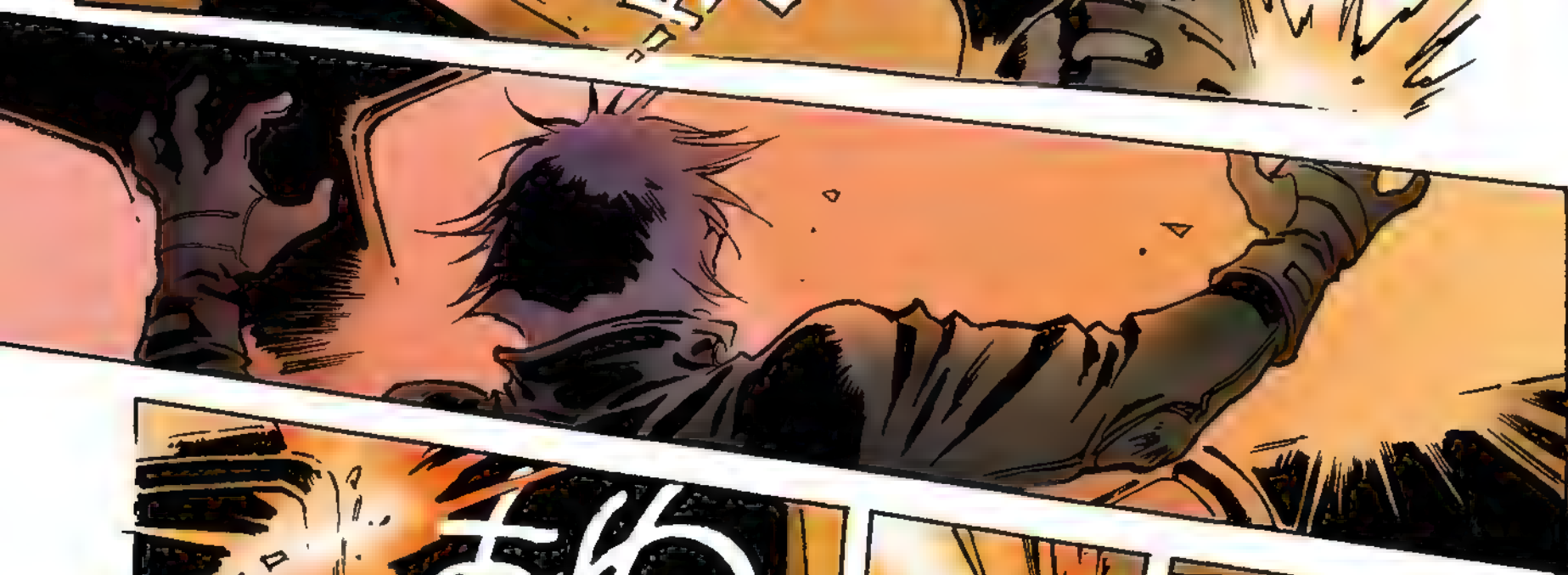
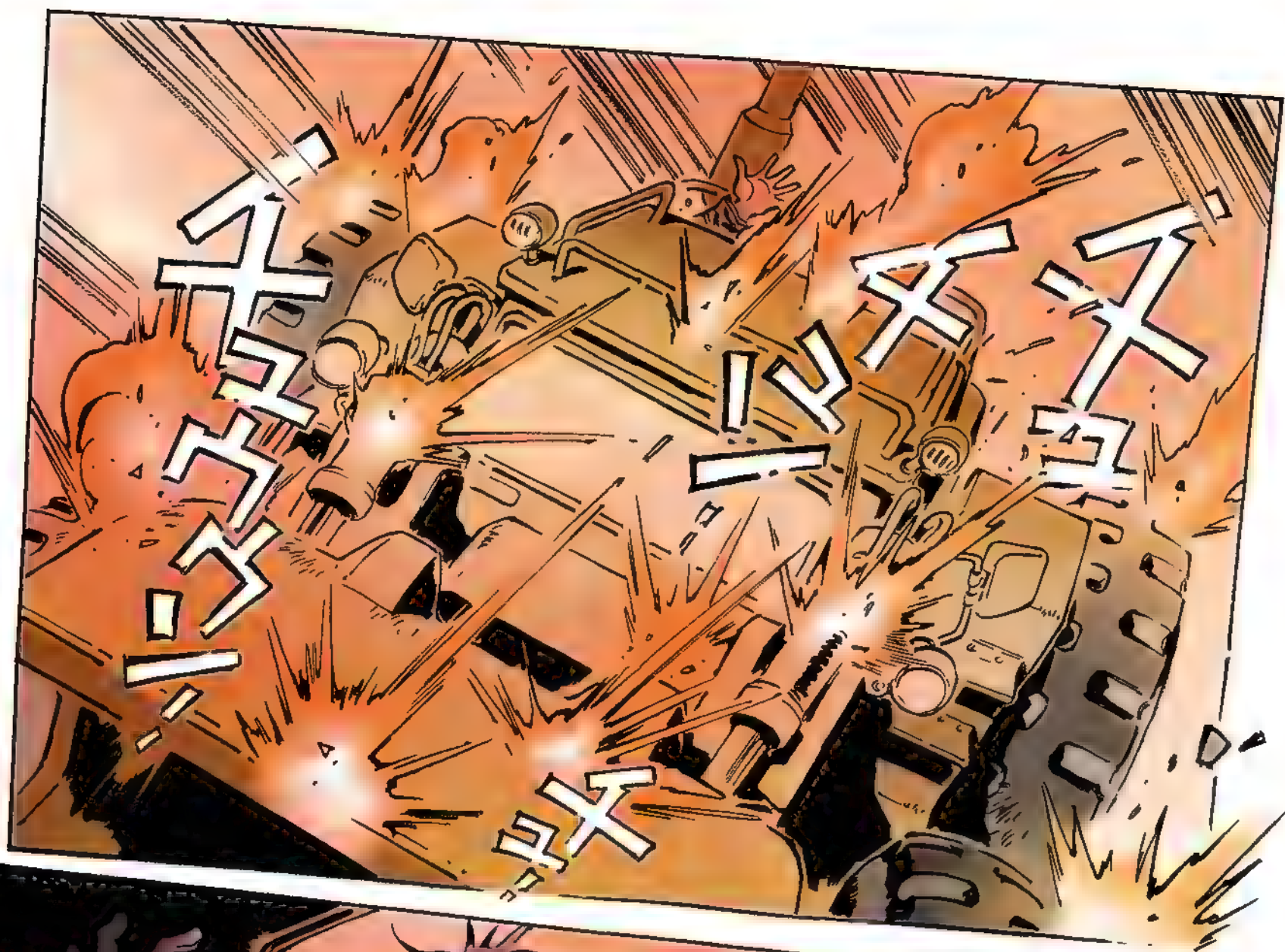


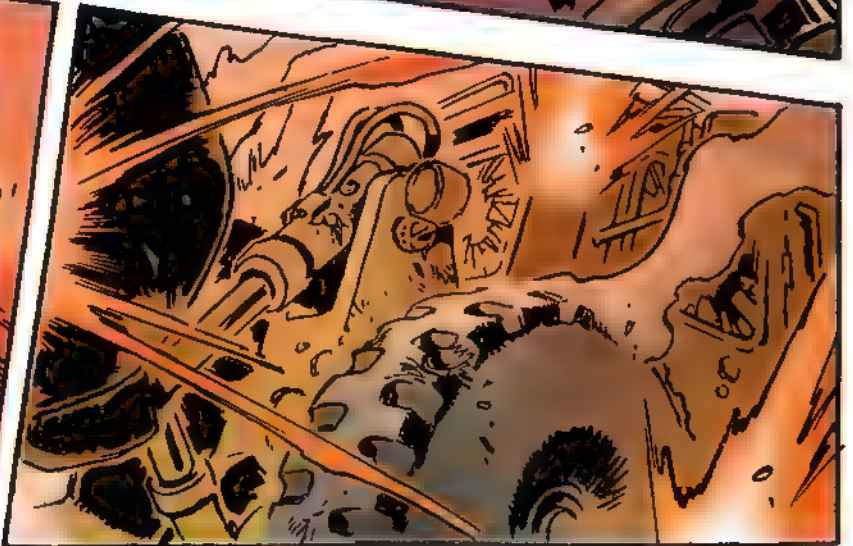
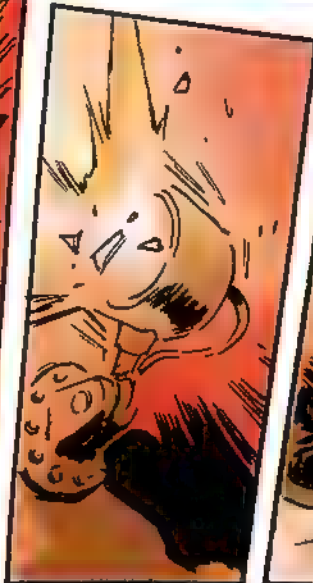
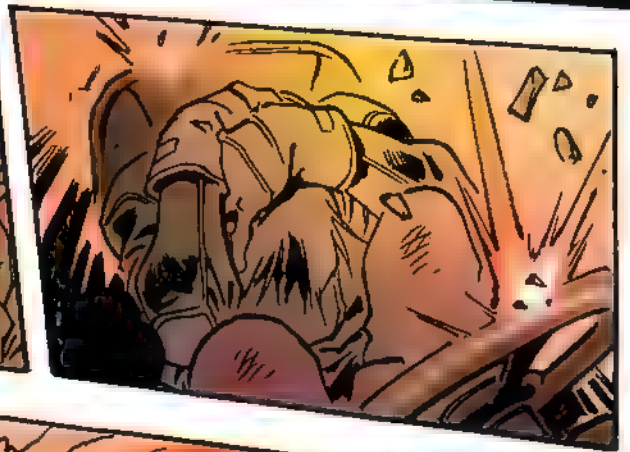
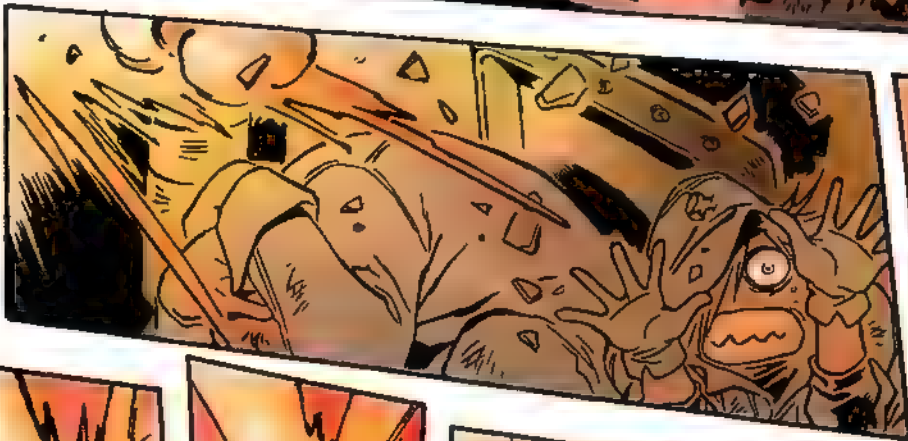
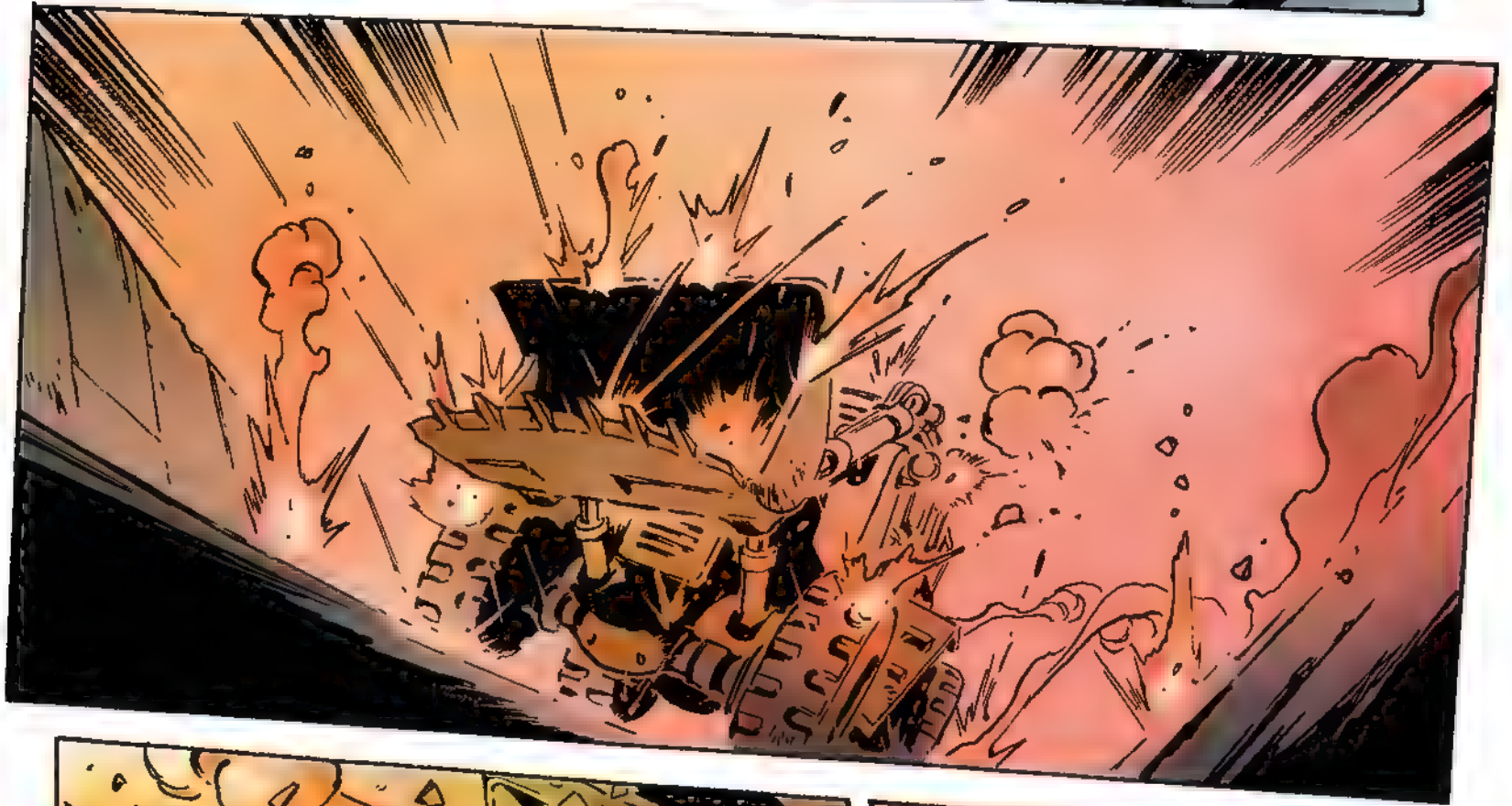
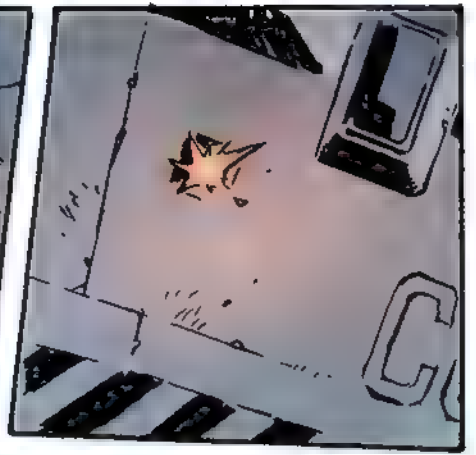
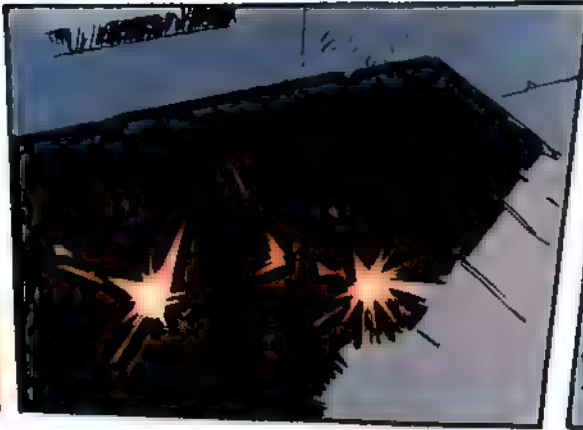
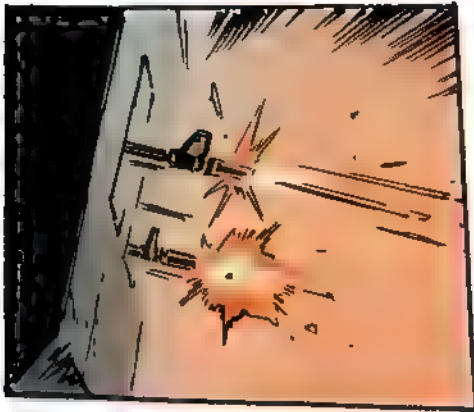


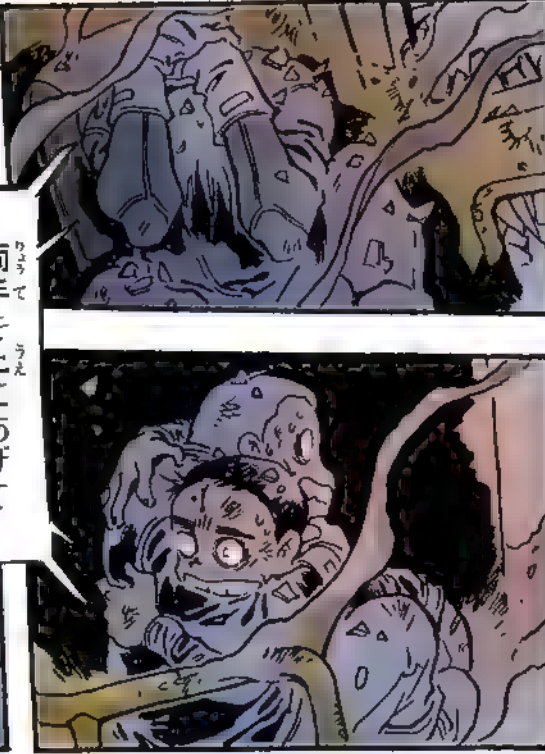
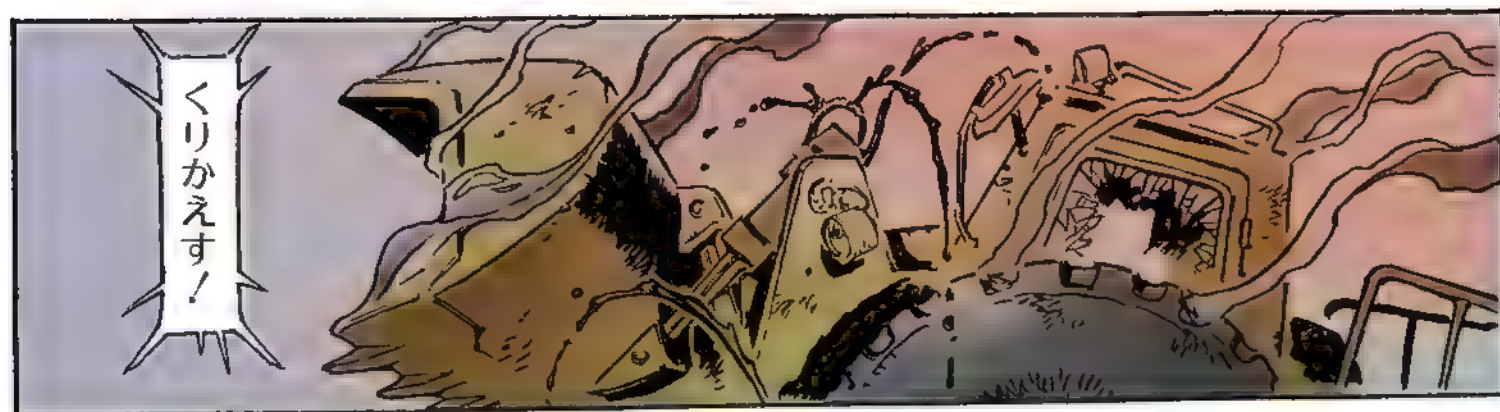
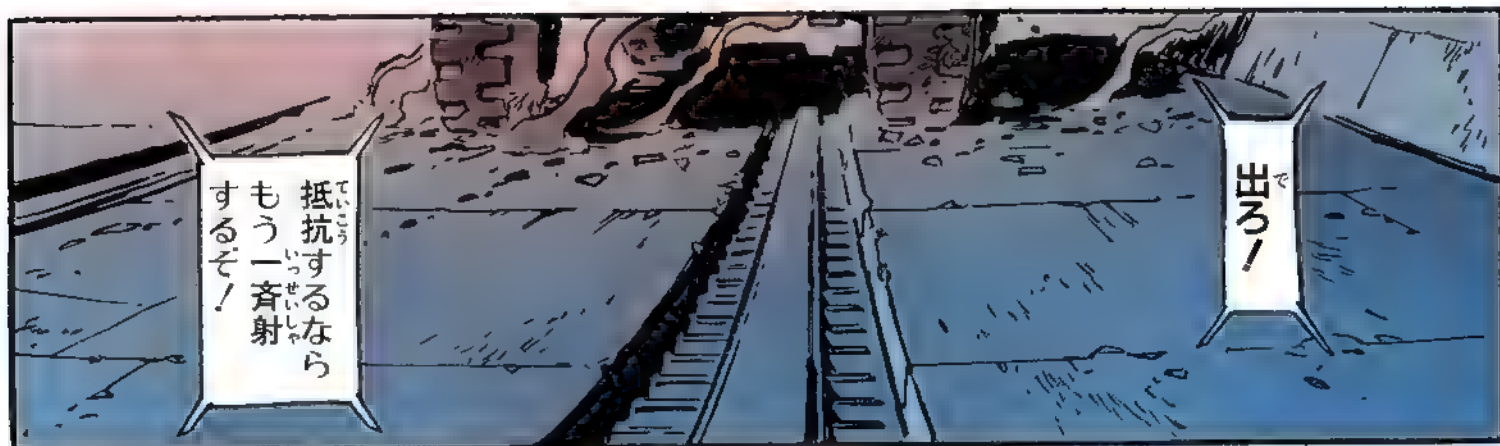
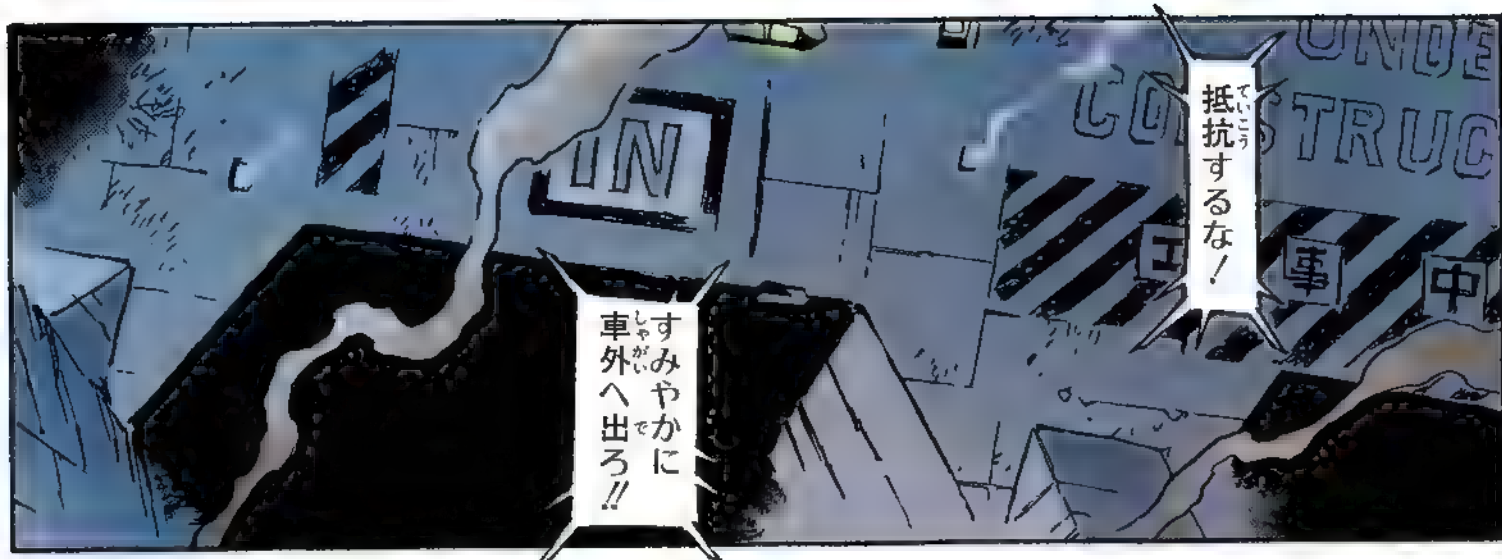


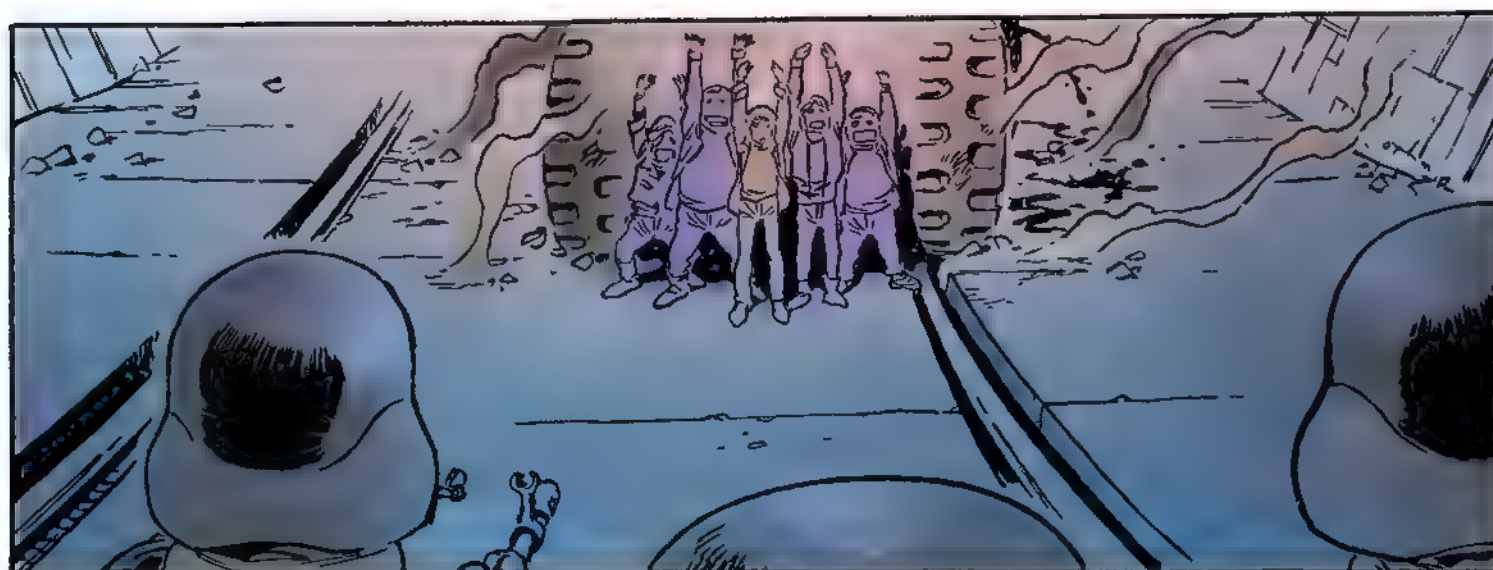
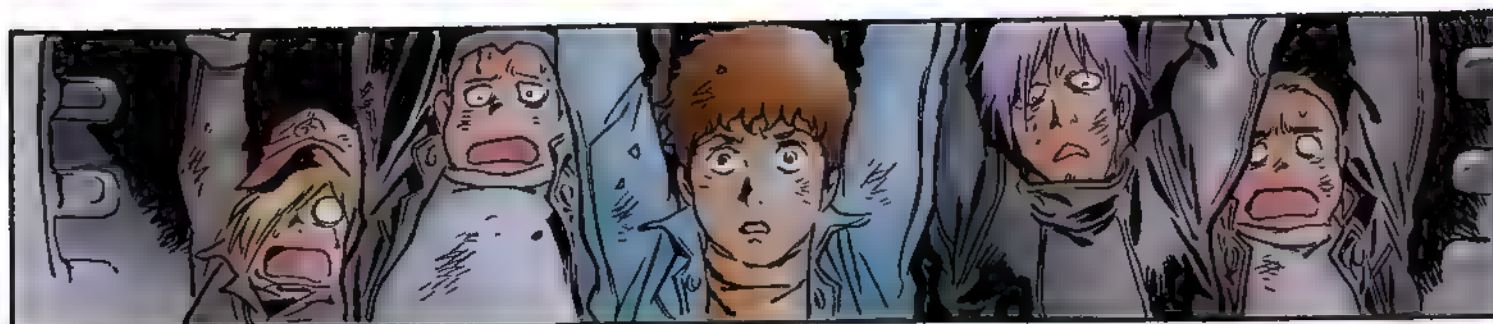


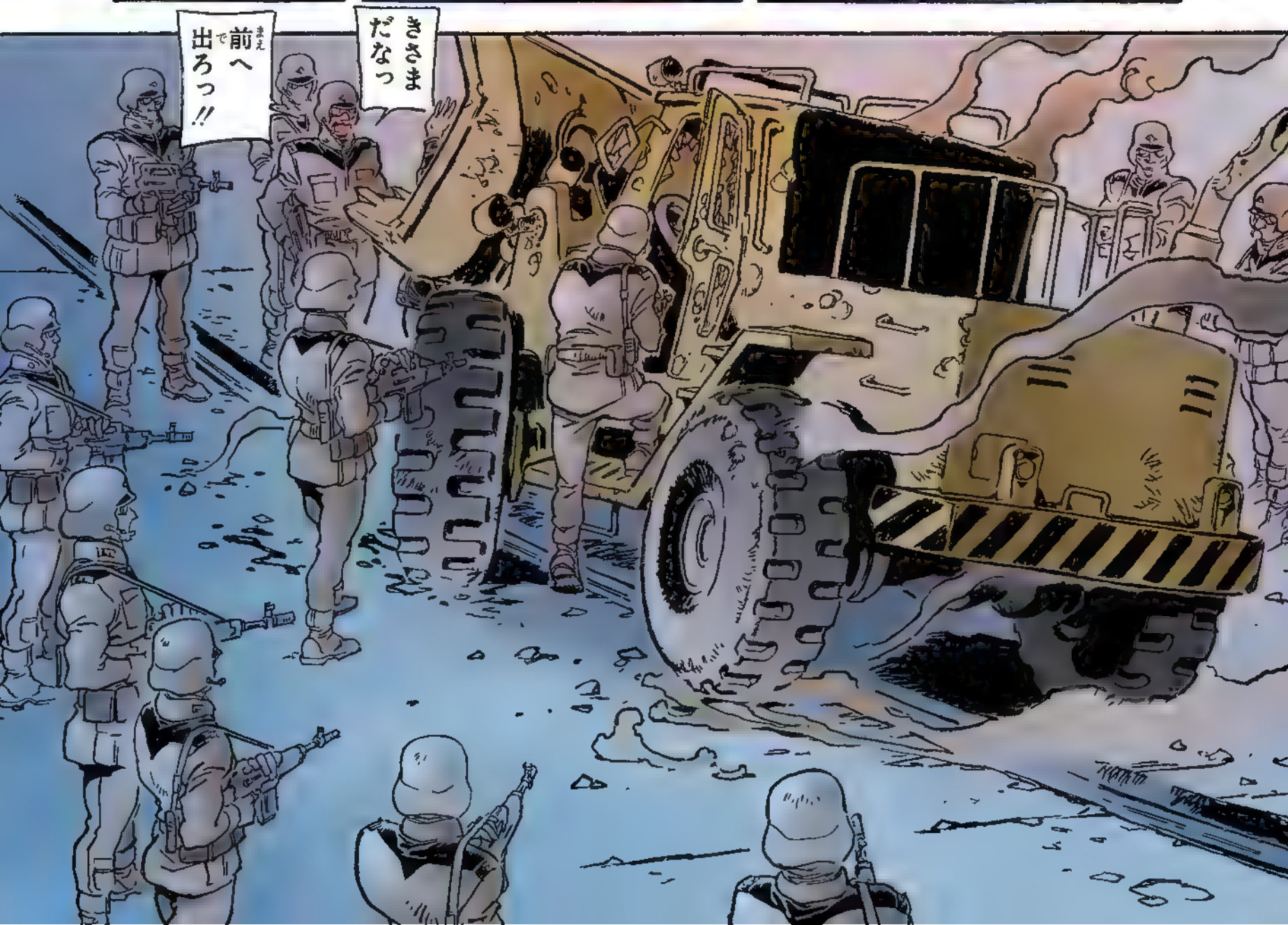
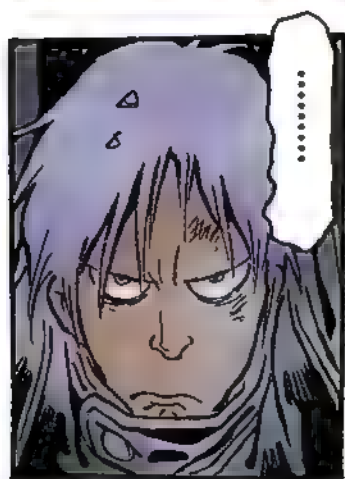
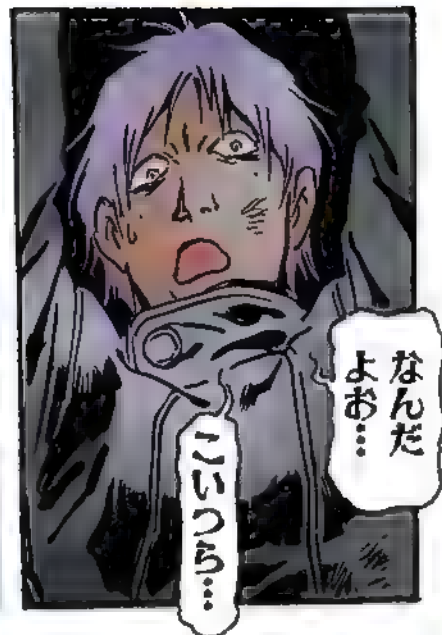


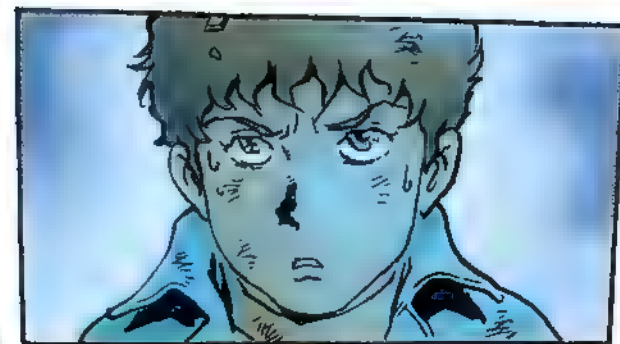
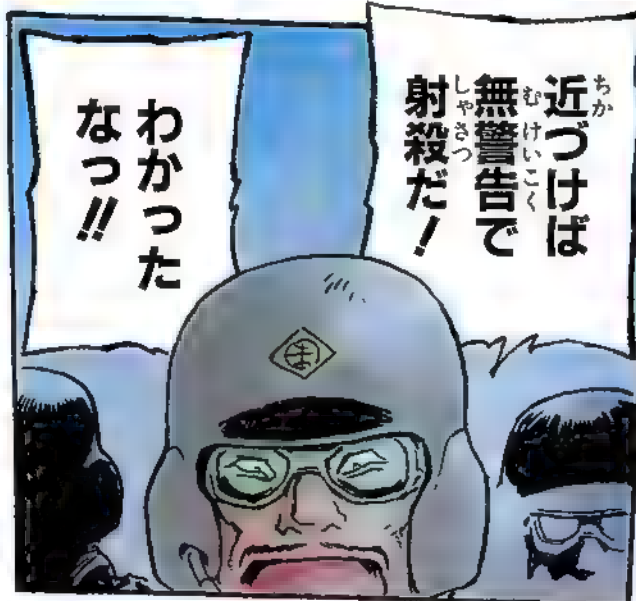
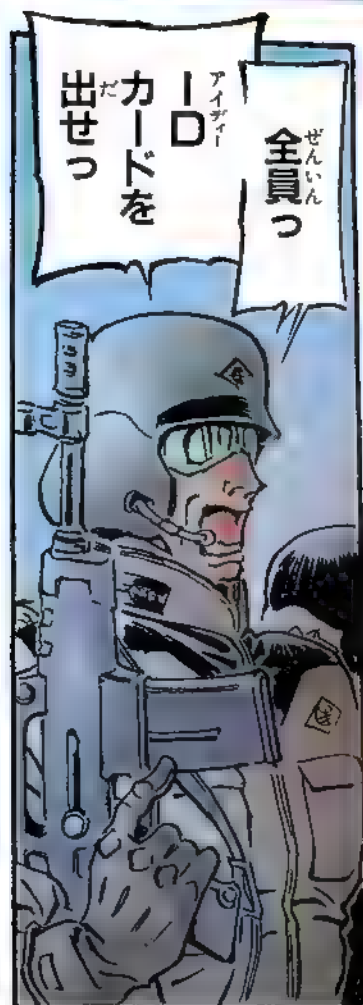
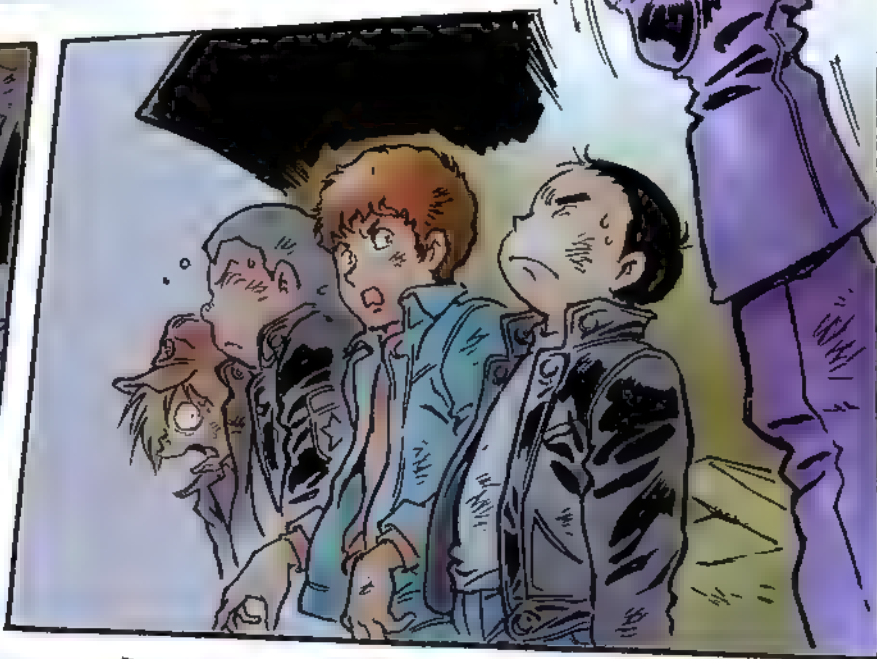
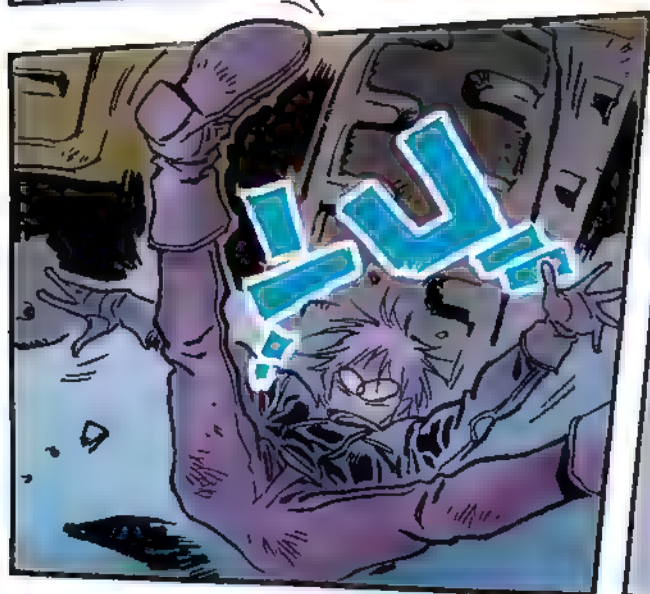


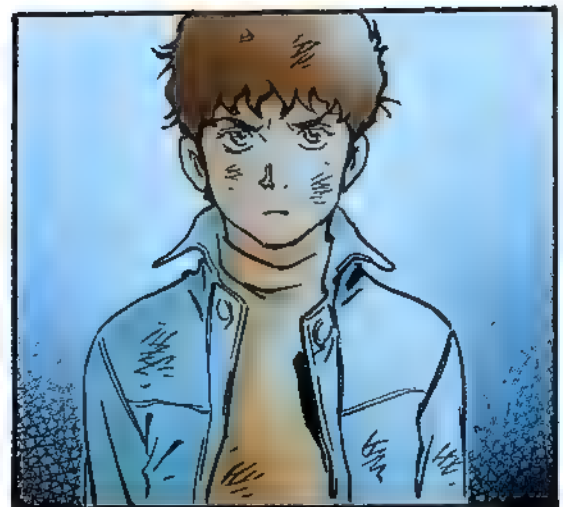
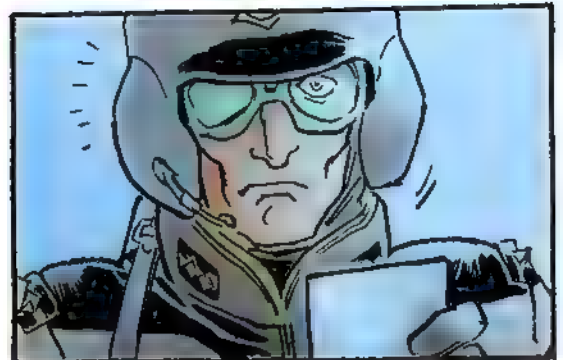
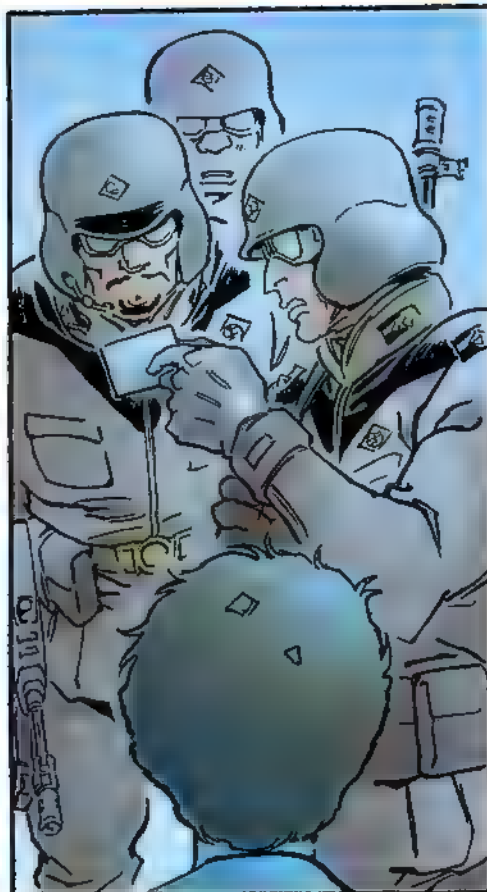
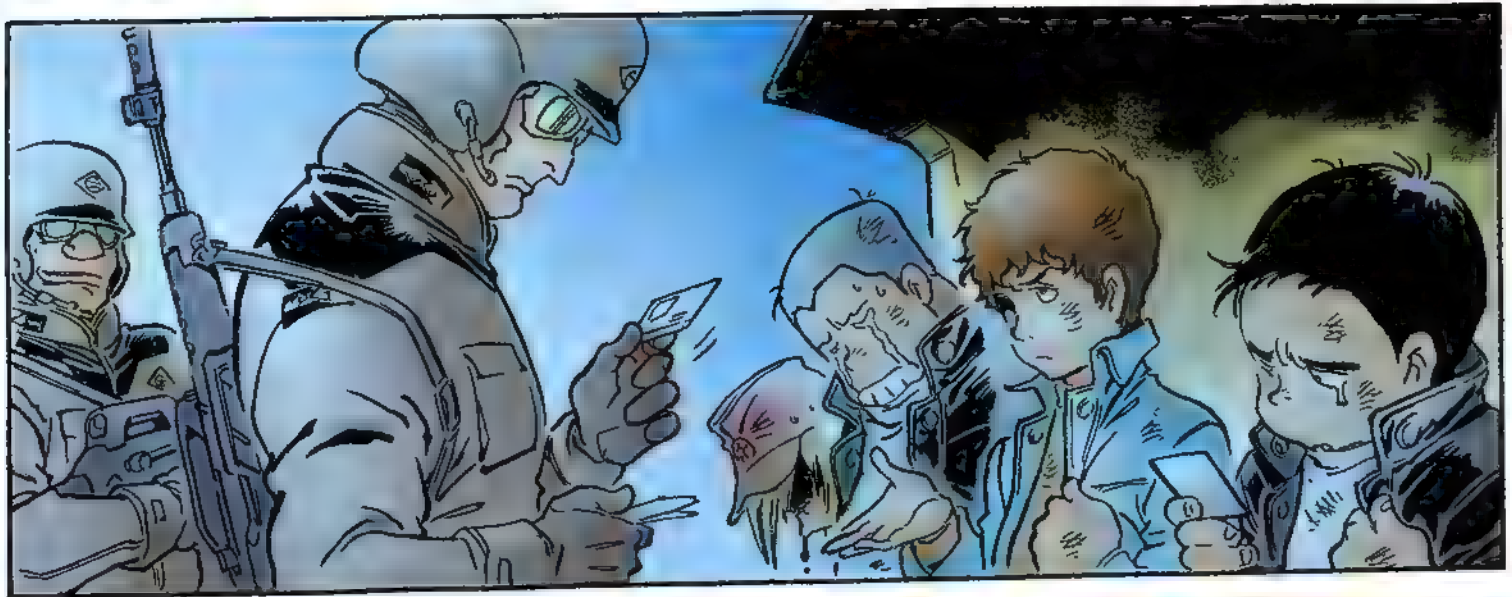
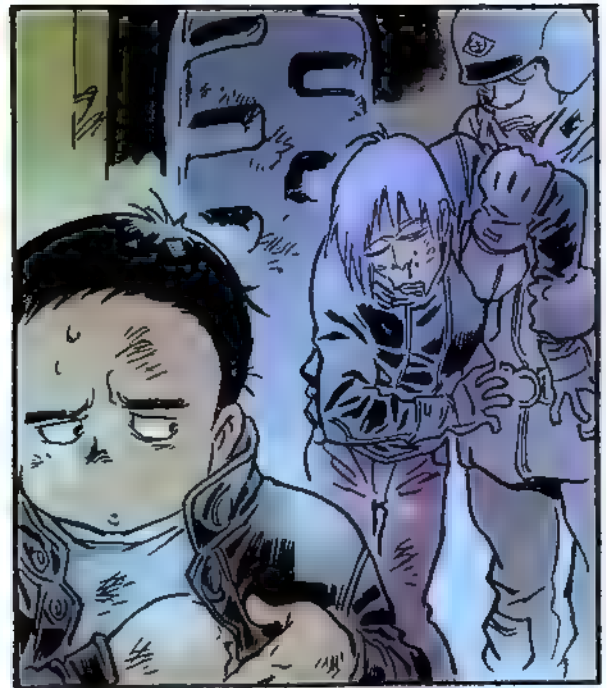


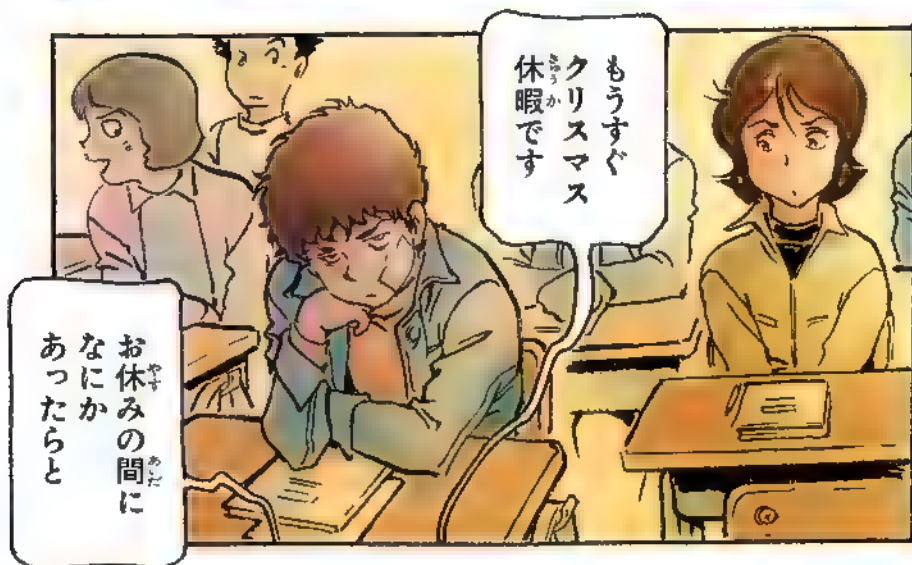
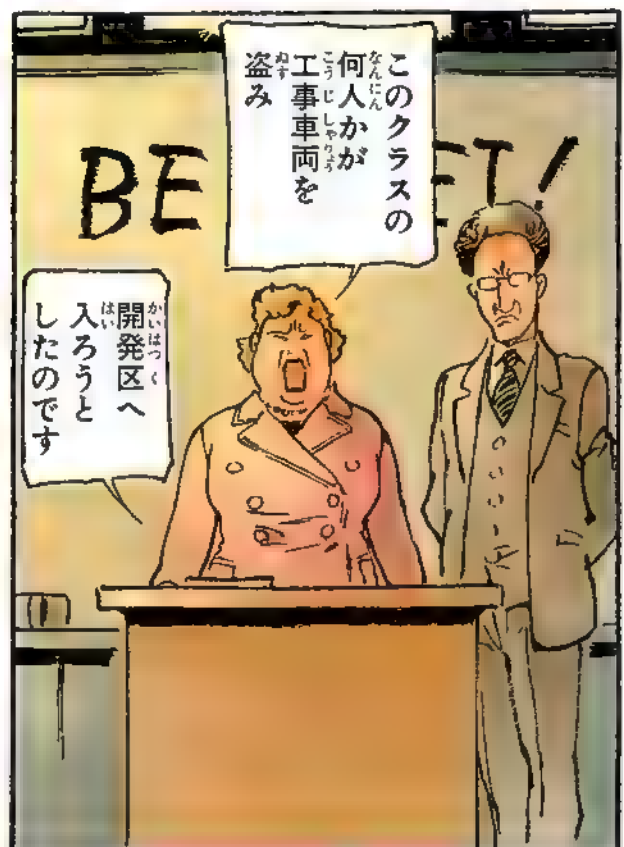


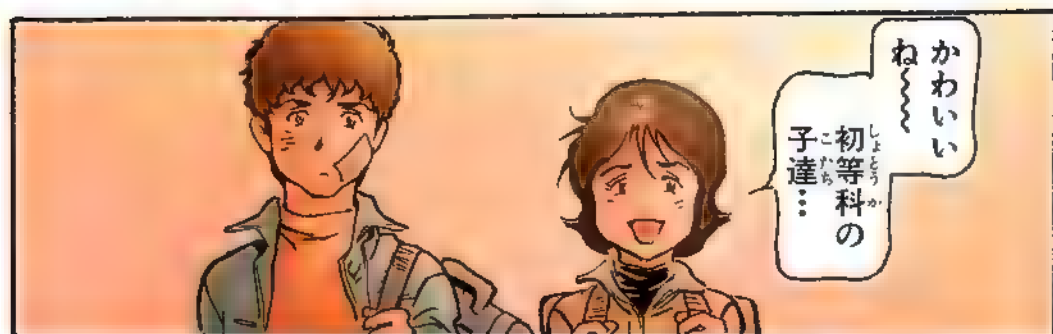
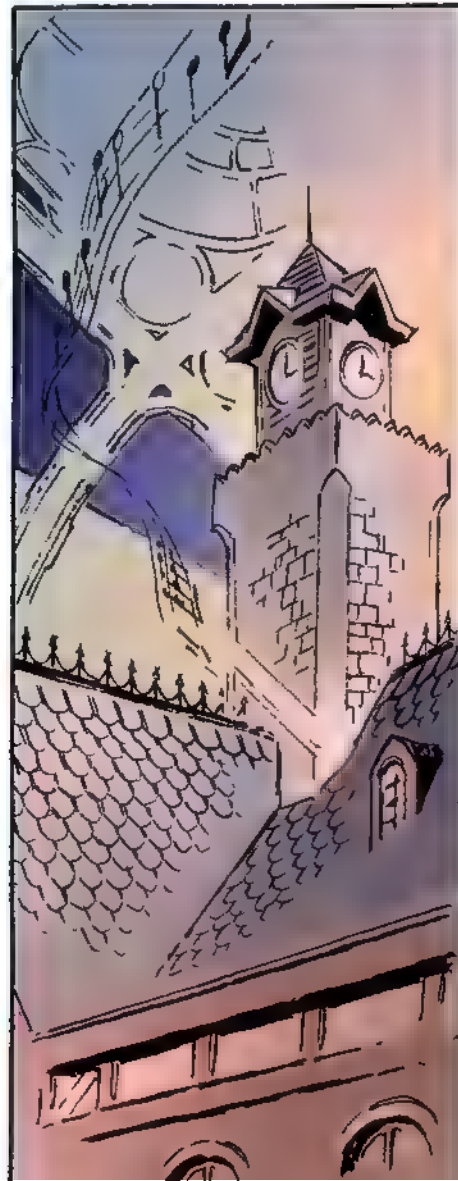
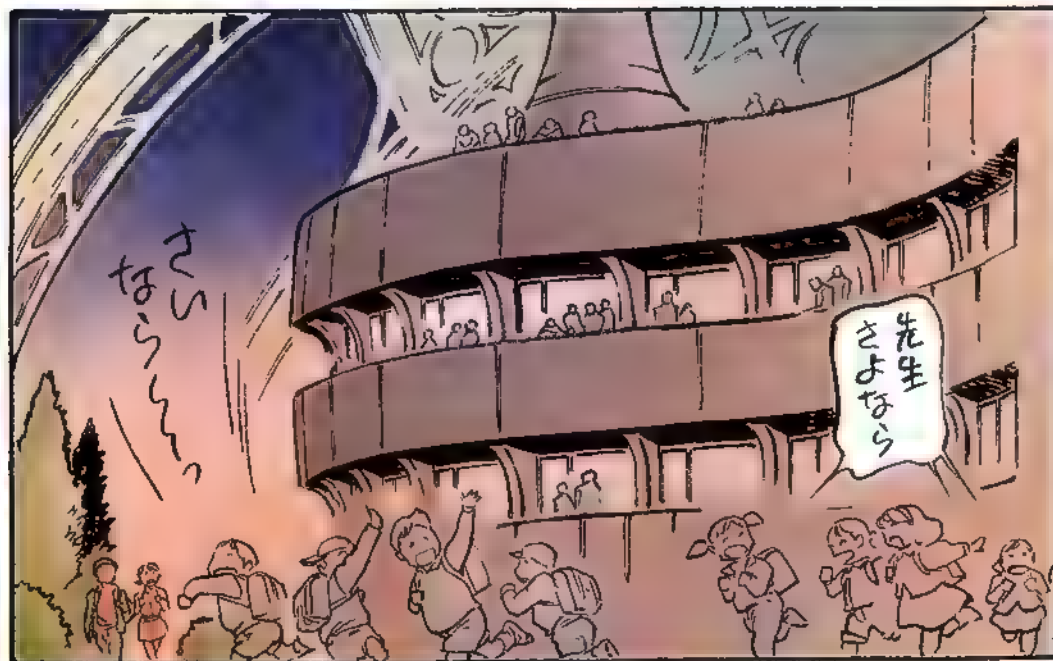
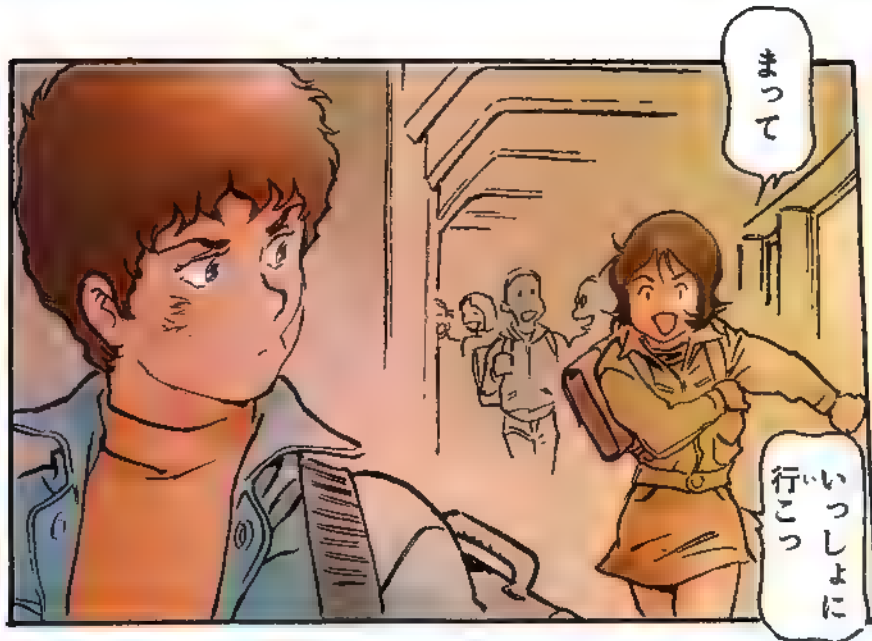














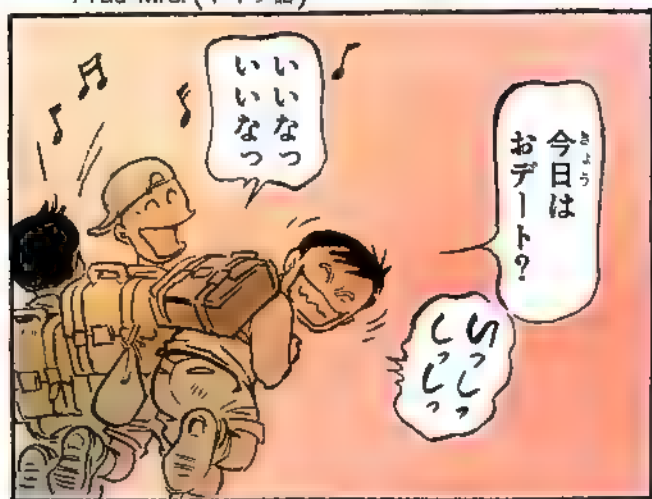
あー！
ボウおばさんっ



私達にだって
ああゆー時期が
あったのよねっ

無邪気で
純真で…

Frau=Mrs. (ドイツ語)



いいなっ
いいなっ

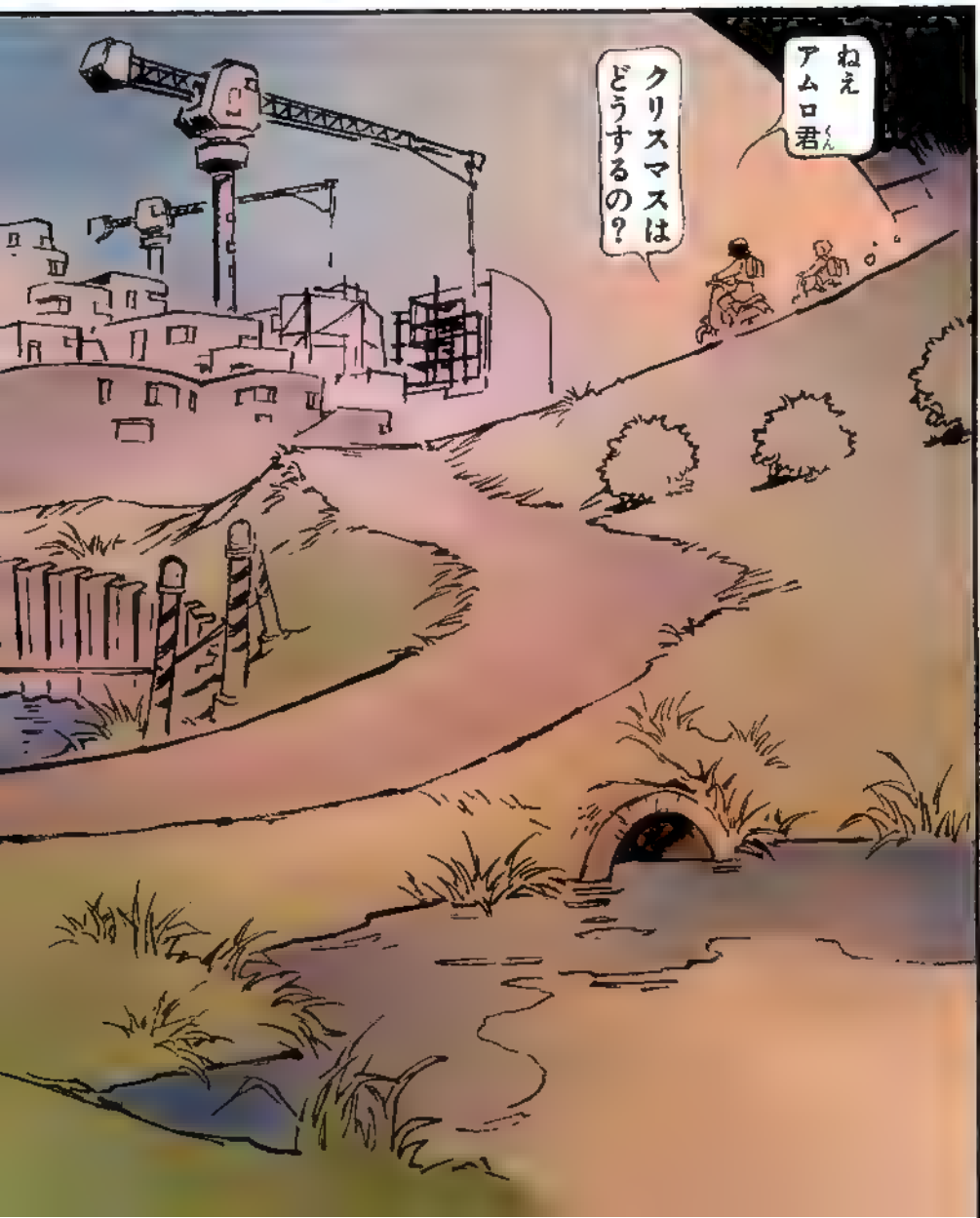
今日は
おデート？

しっしっ



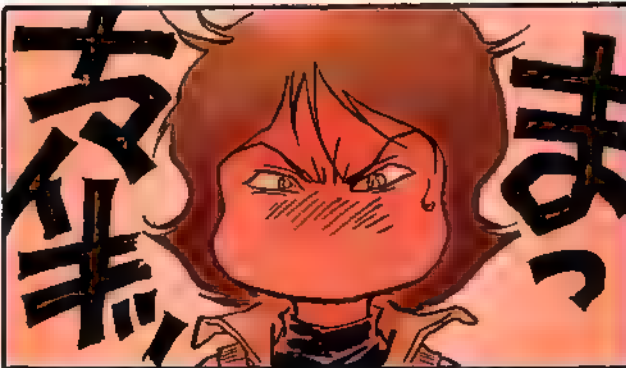
すげっ

おばさん
カレシと
一緒っ



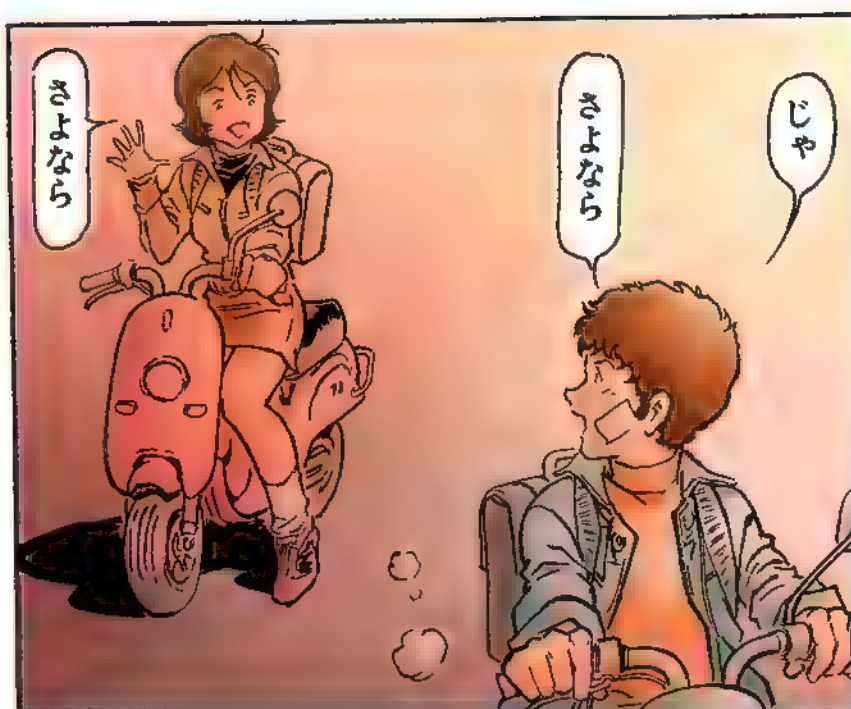
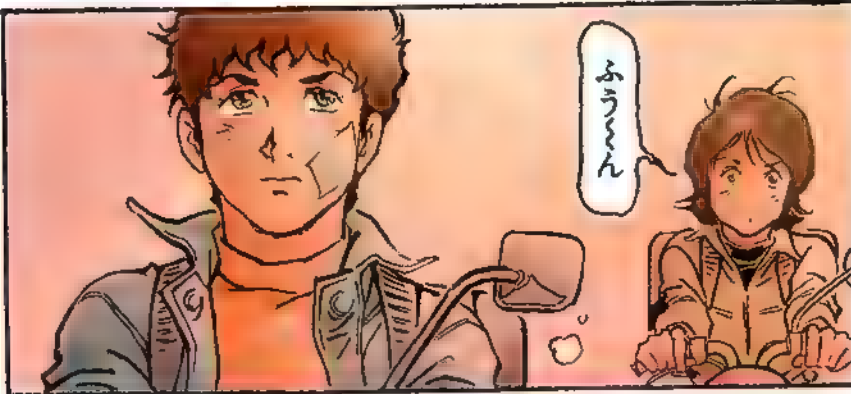
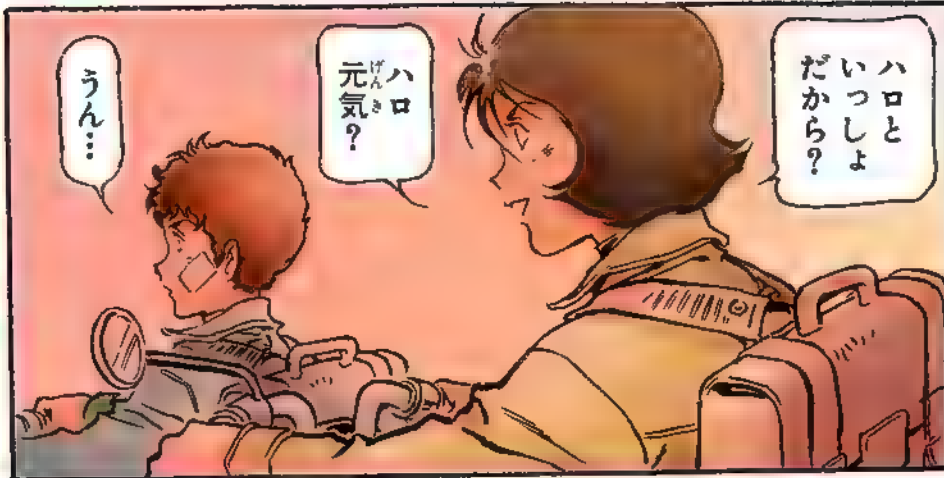
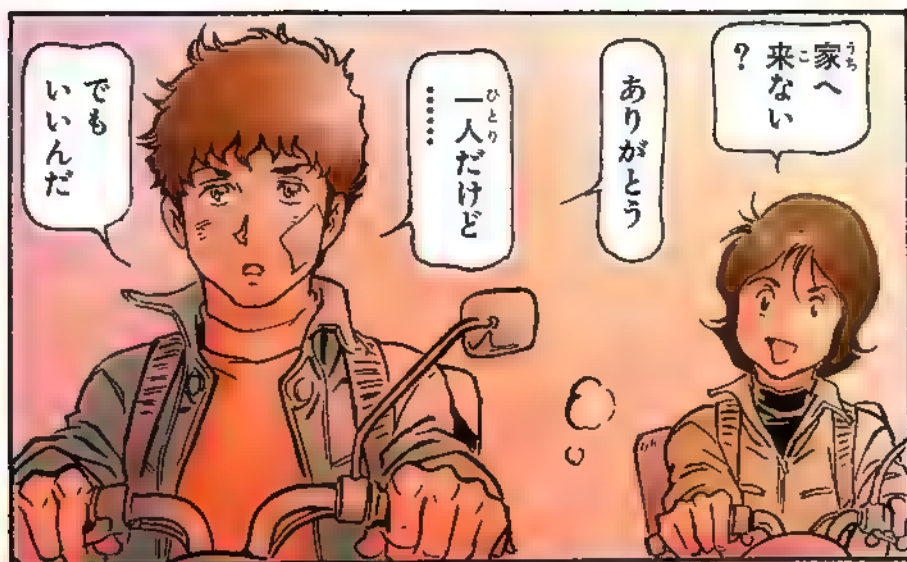
ねえ
アムロ君

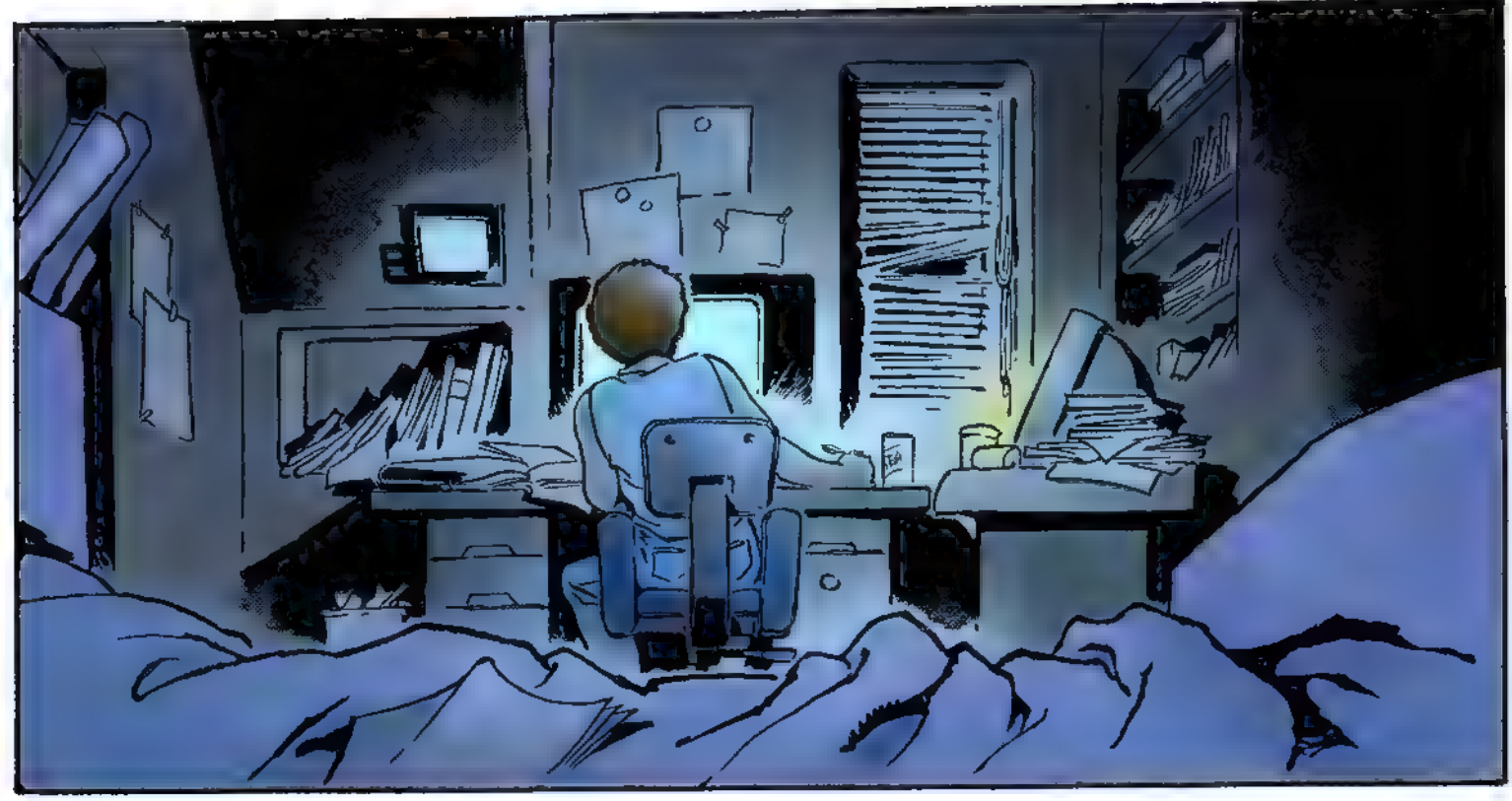
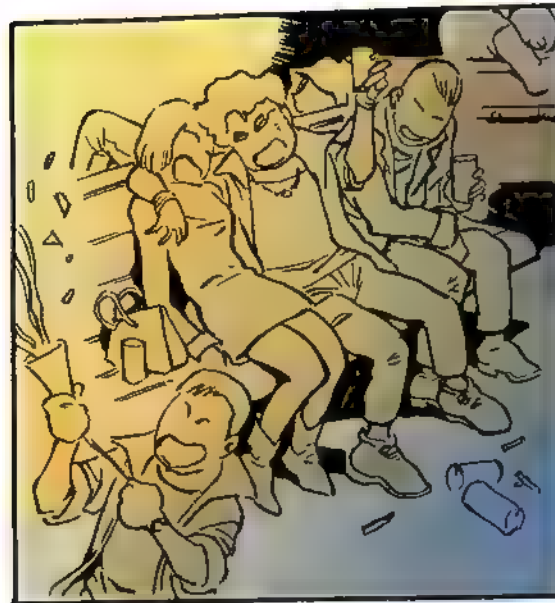
クリスマスは
どうするの？

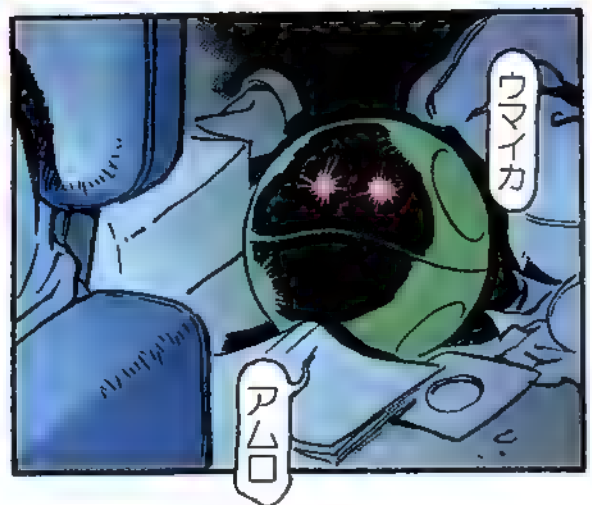
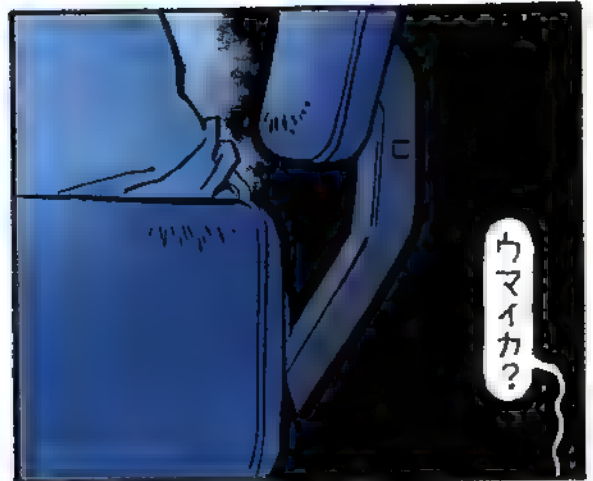
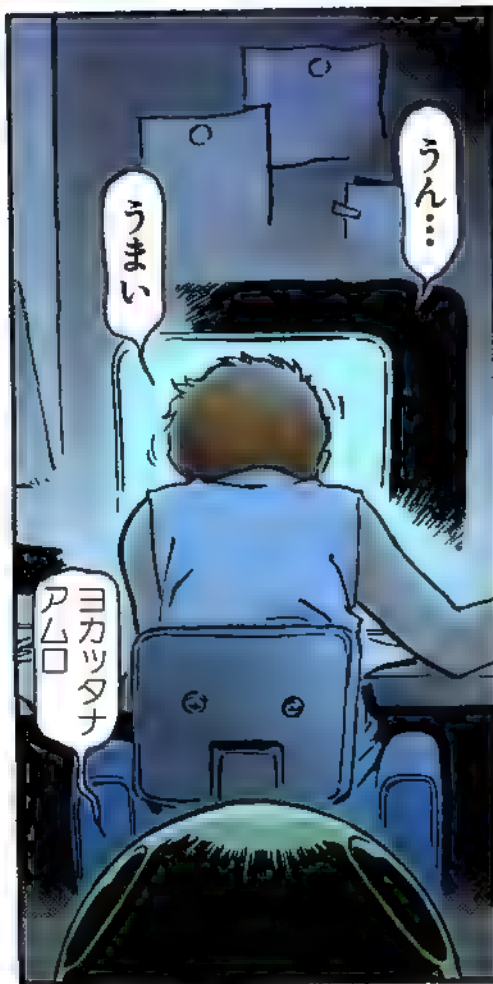
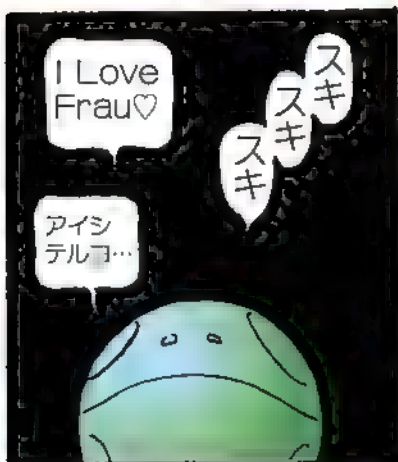
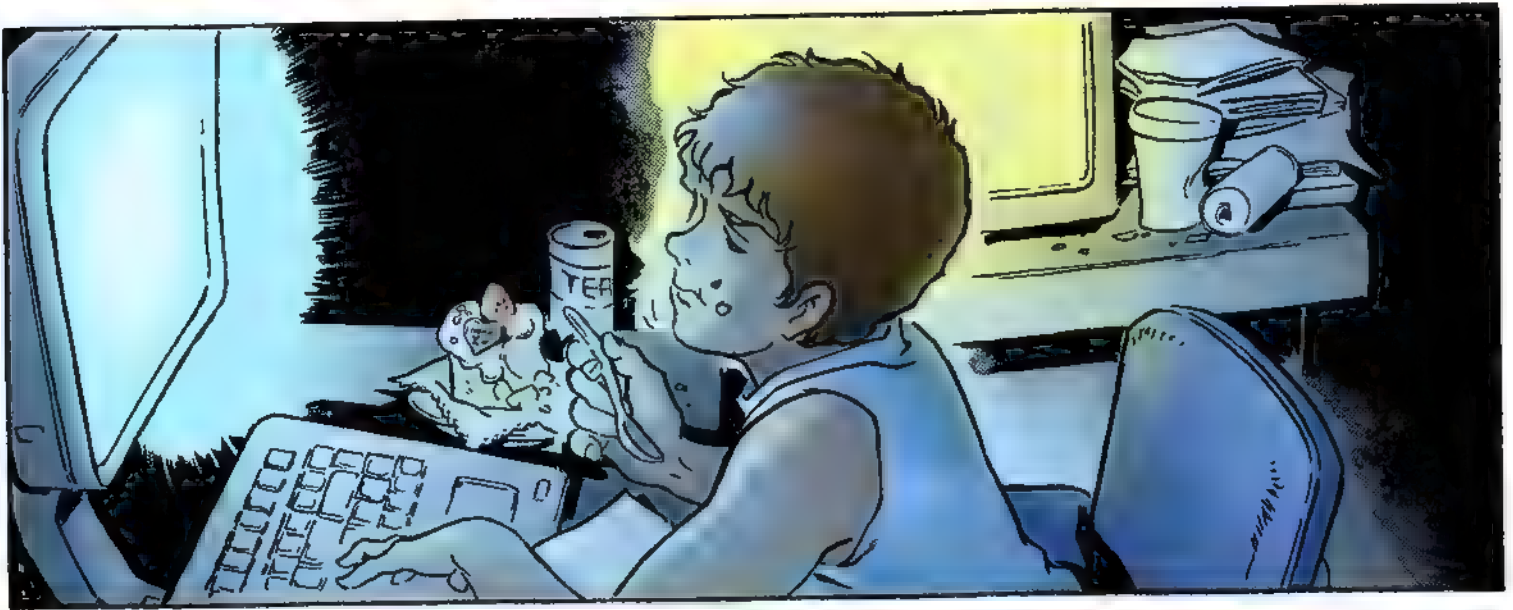
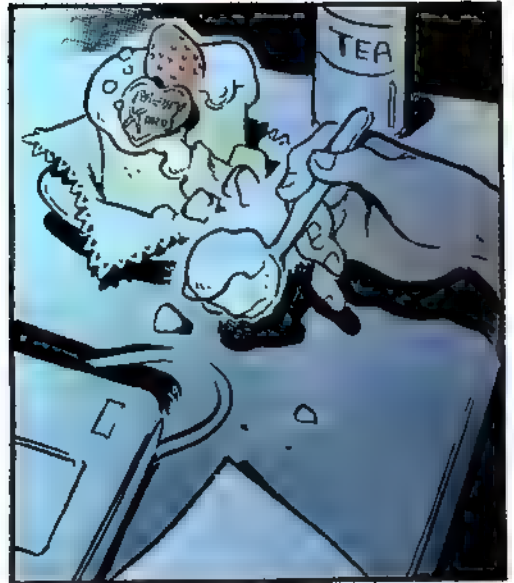
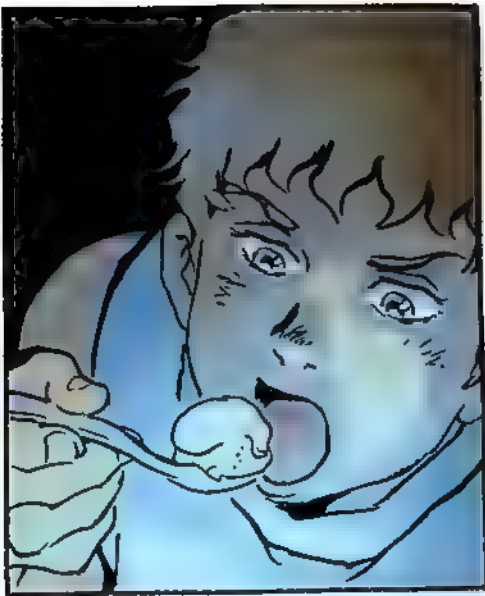


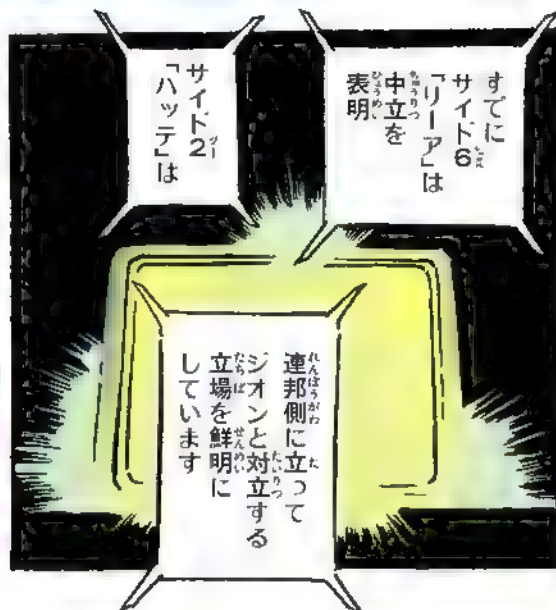
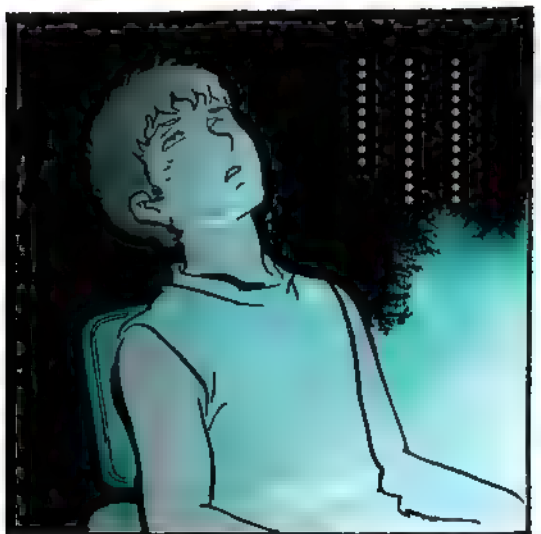
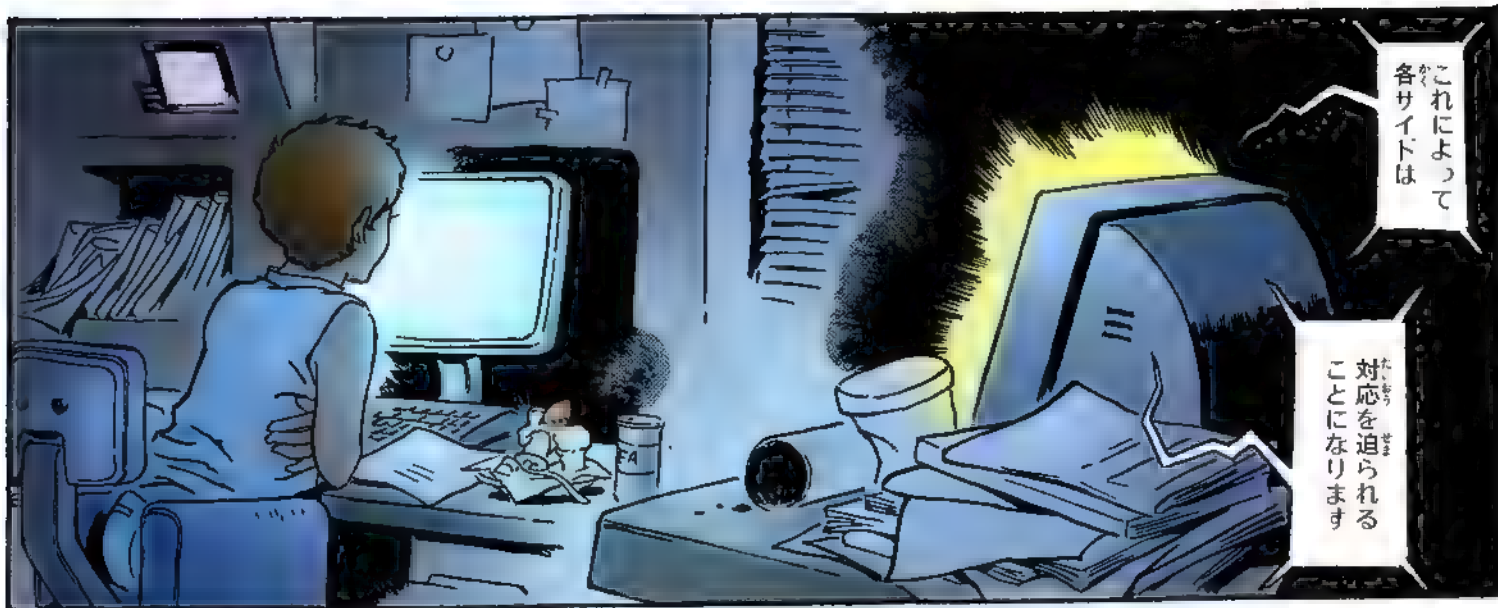
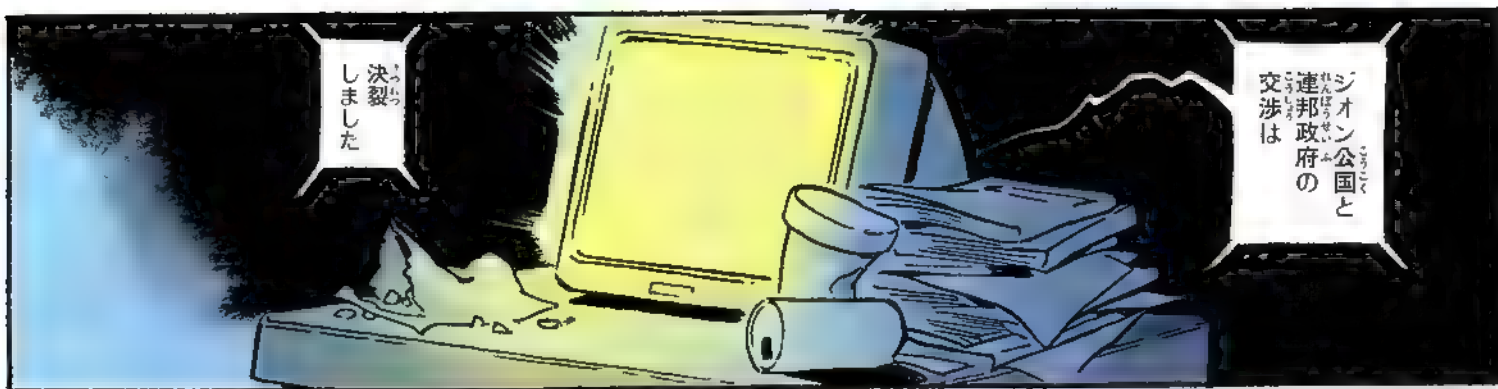
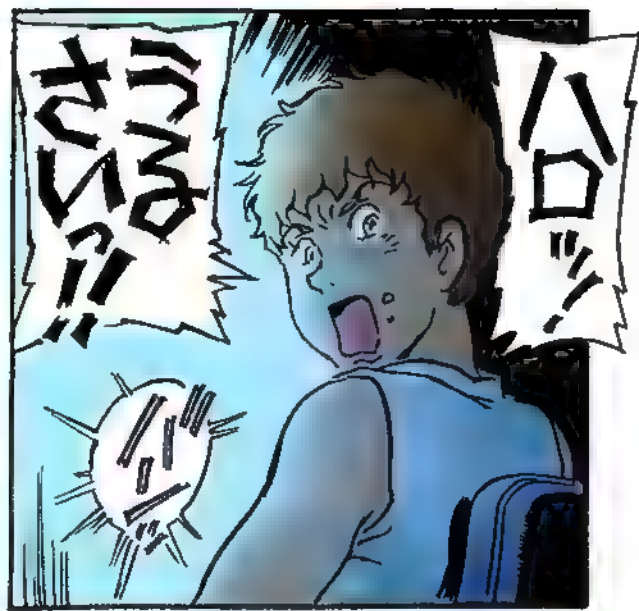
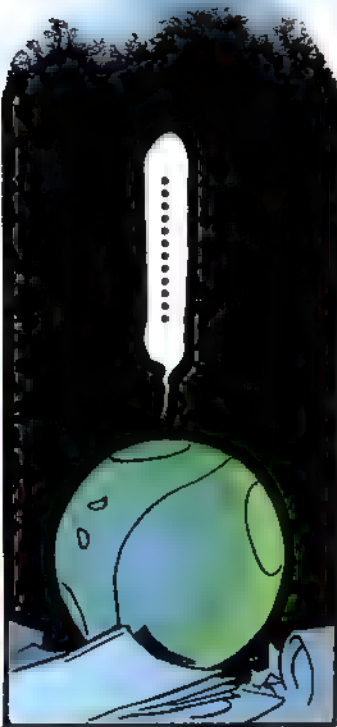
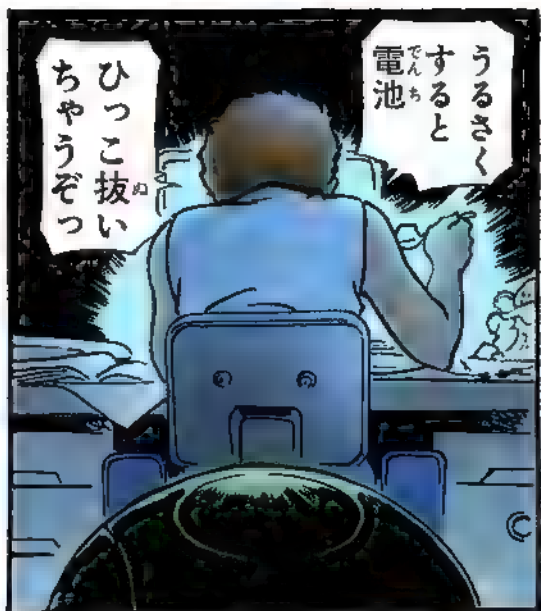
この
マセカギ!!

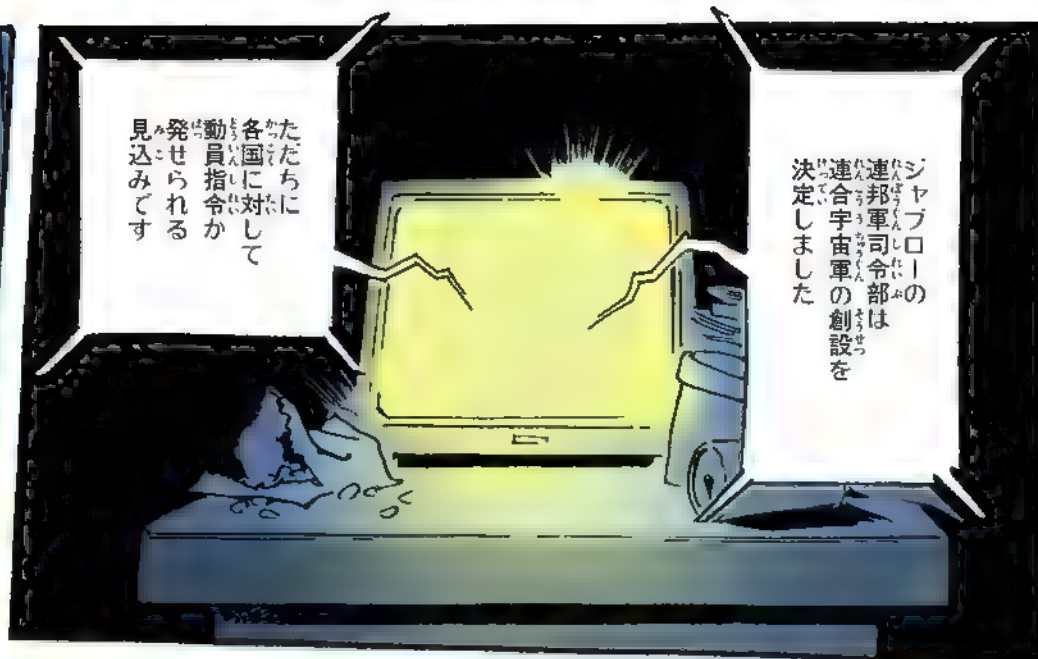
やほっ











ジャブローの
連邦軍司令部は
連合宇宙軍の創設を
決定しました

「たたちに
各国に対して
動員指令が
発せられる
見込みです」



宇宙軍の司令官には
レヒル中将の就任が
有力です

「中将は
記者会見にのそみ
次のように
述べました」



「任務を与えられるなら
自分は全力を尽す」
しかし――

戦争回避への
期待は最後まで
捨てない
なせならば

「この戦争は人類が
かつて経験したどの
戦争より悲惨な……」

UC 0079 01 0

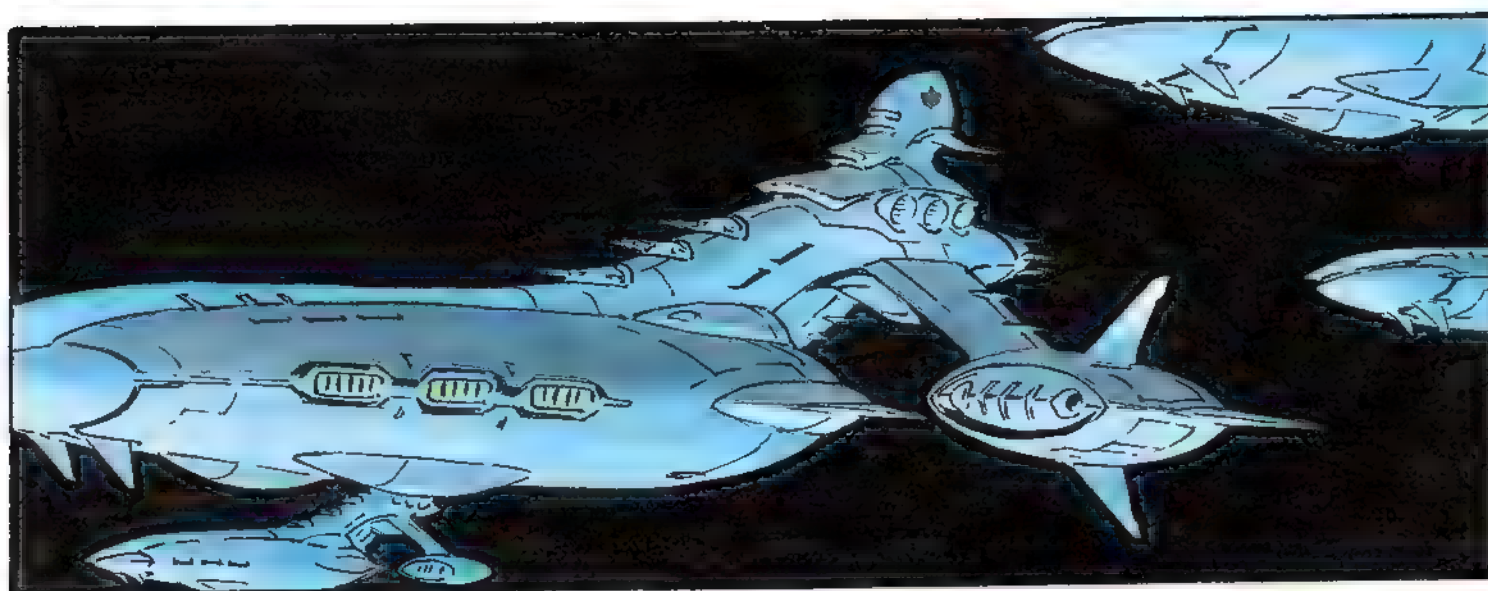
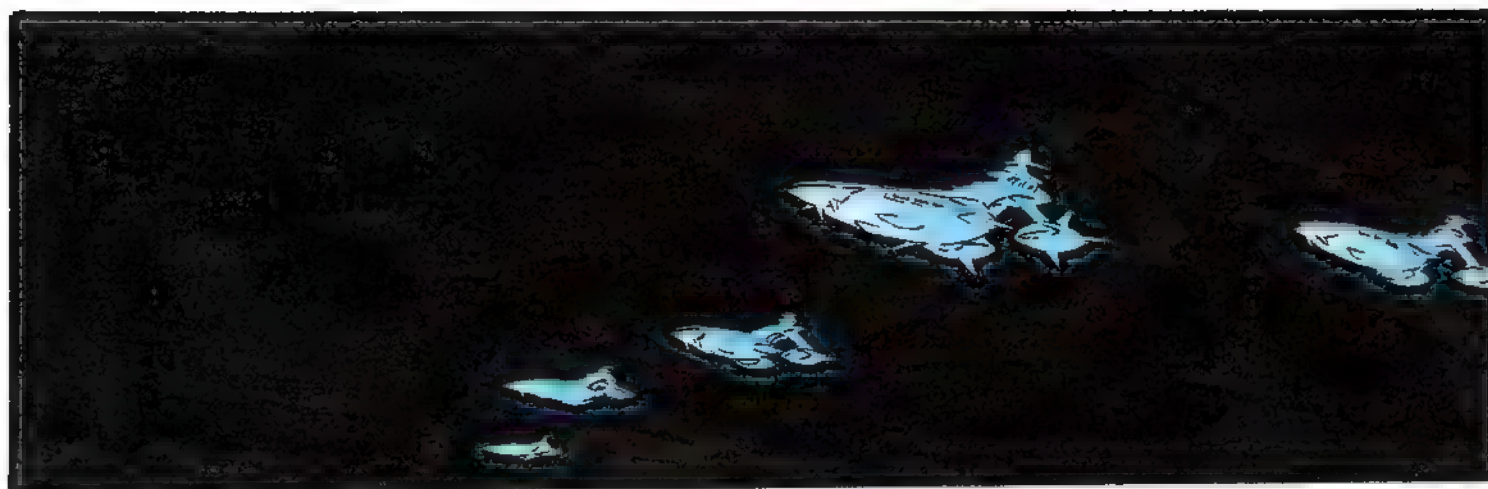
UC 0079 01 03

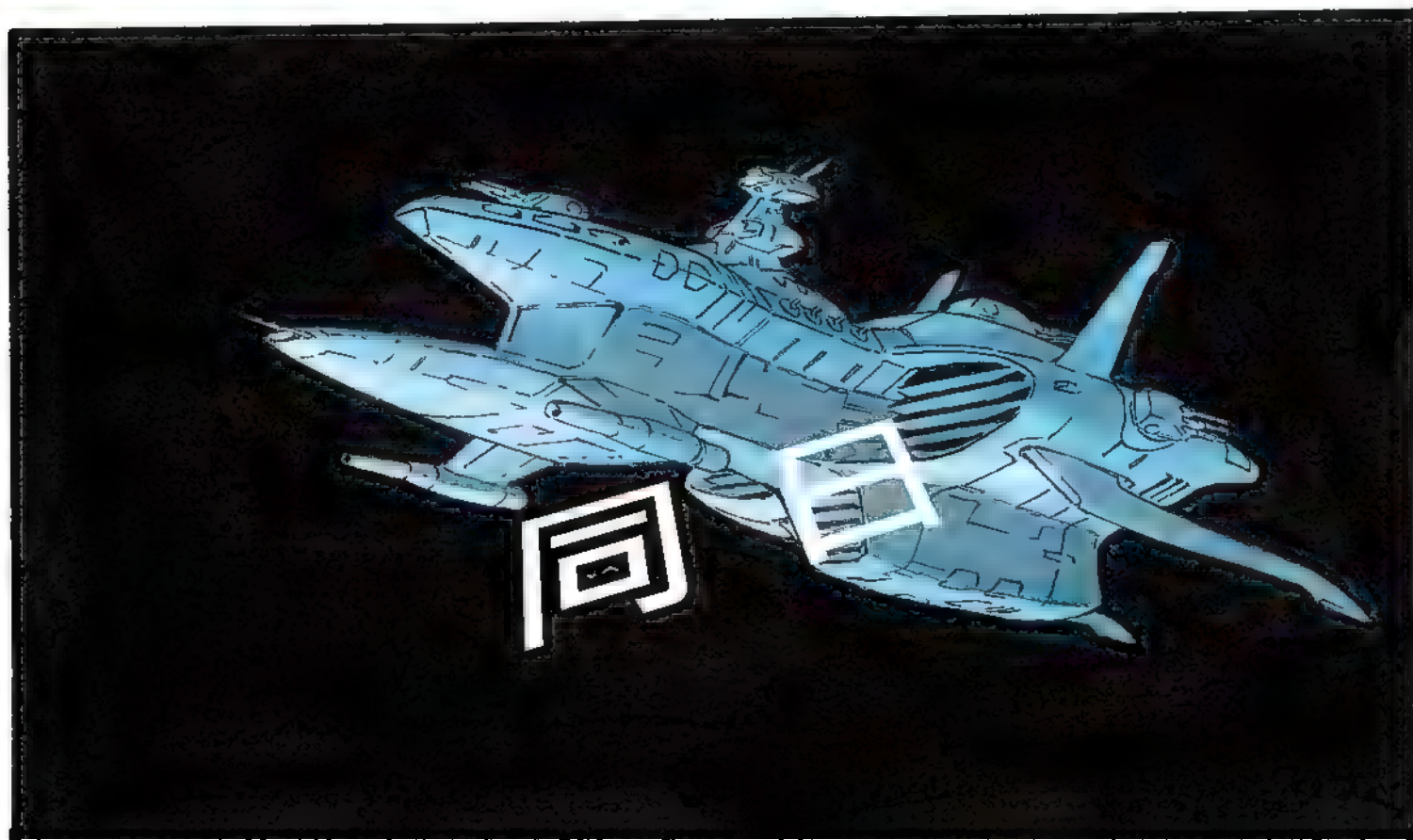
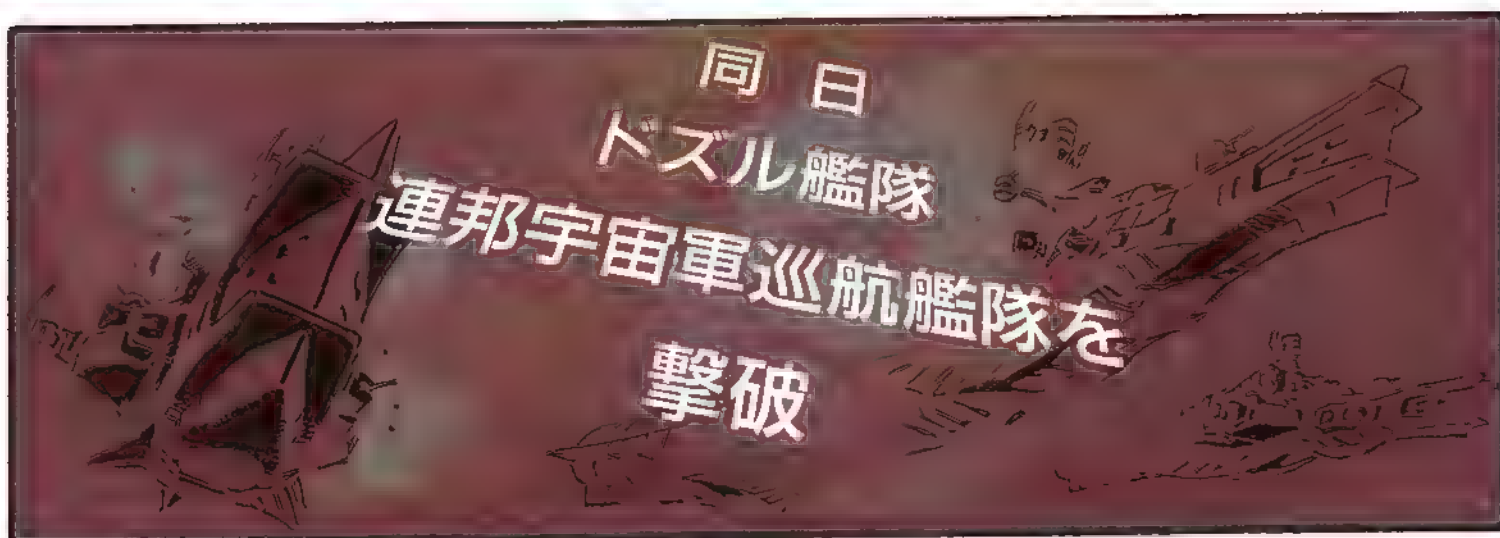
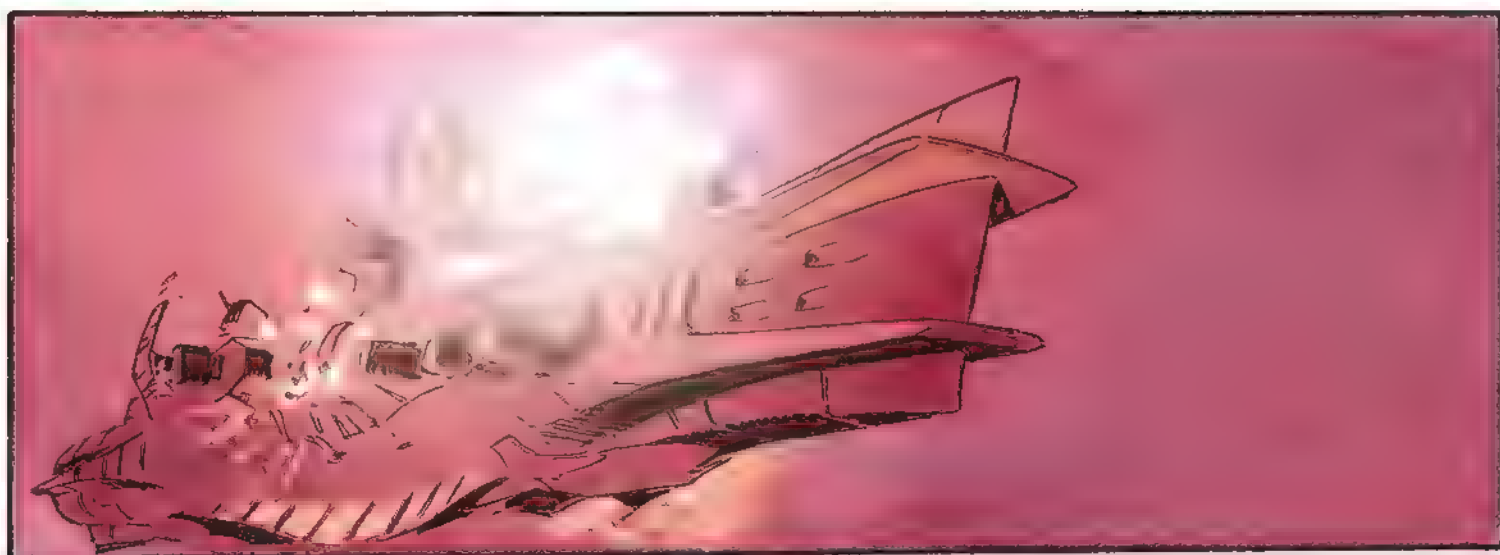
ジオン公国 地球連邦に対して

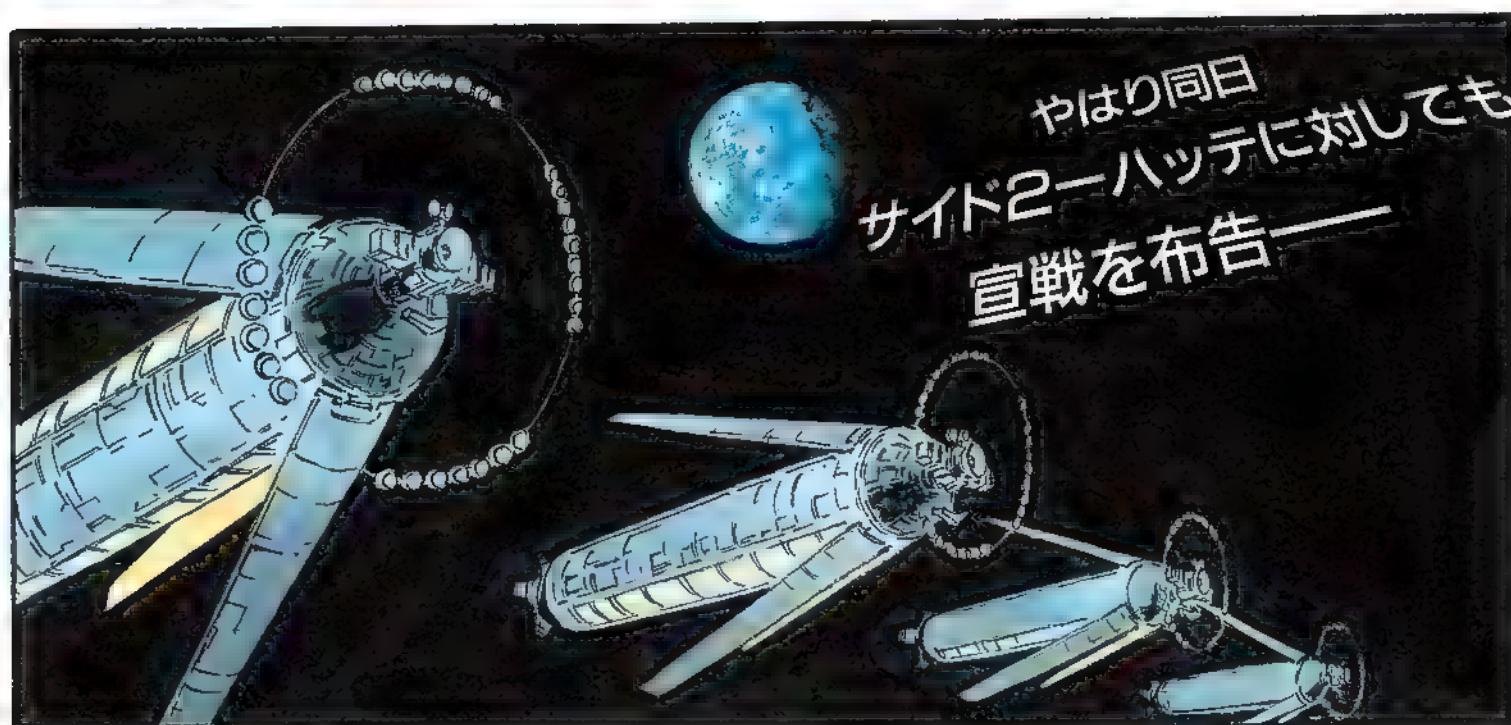
UC 0079 01 03

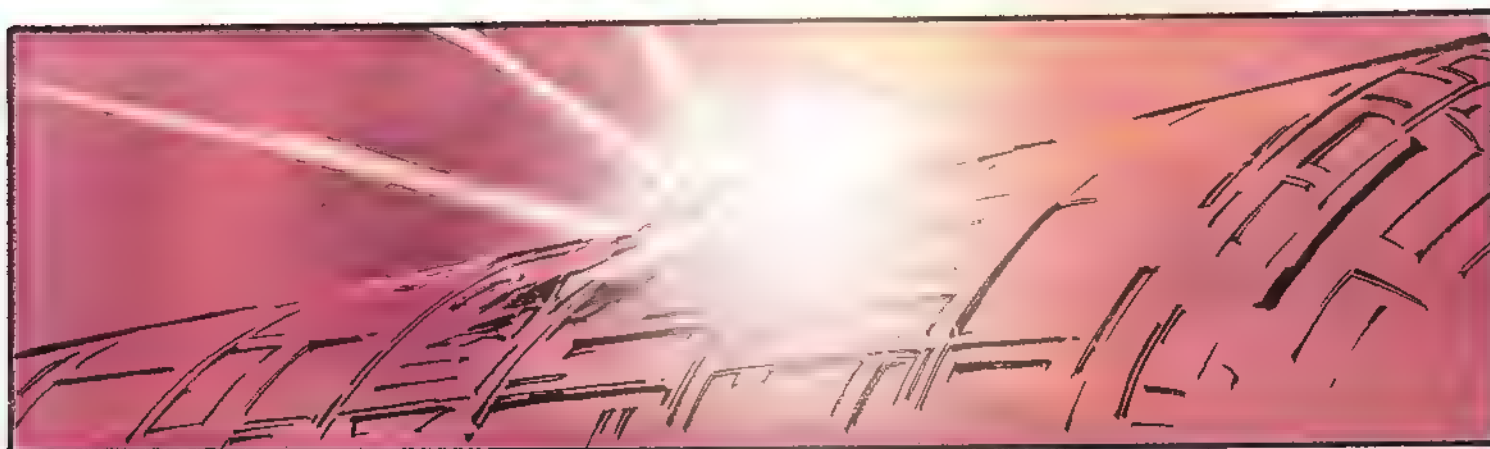
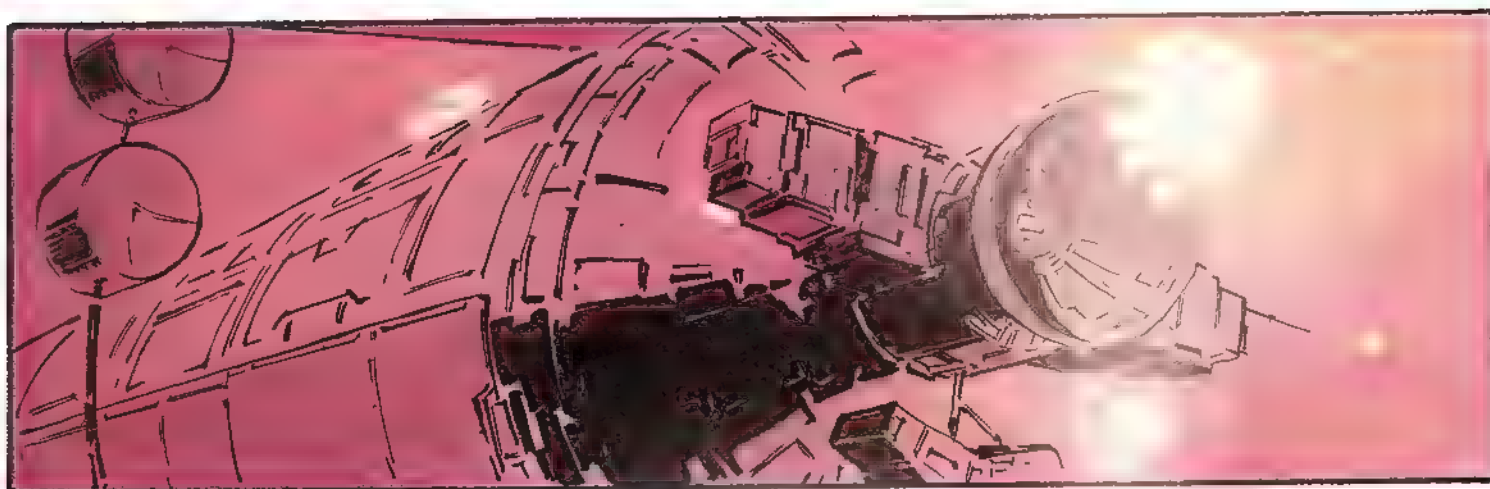
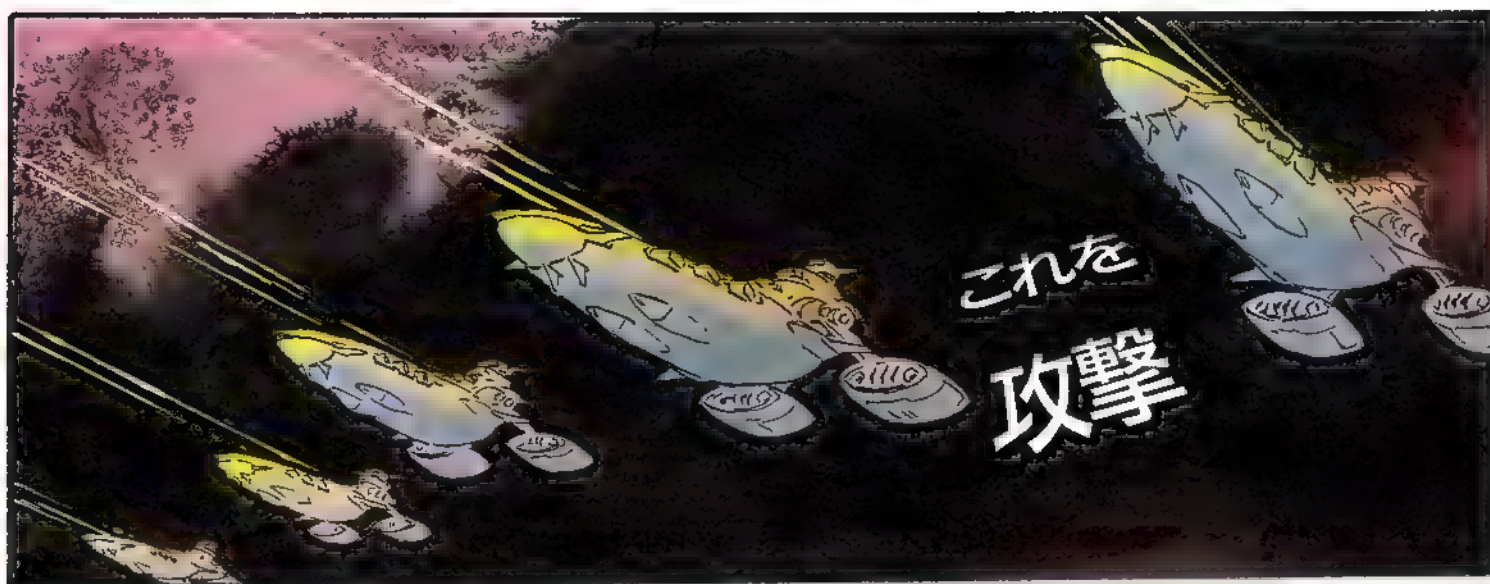
ジオン公国 地球連邦に対して

宣戦を布告

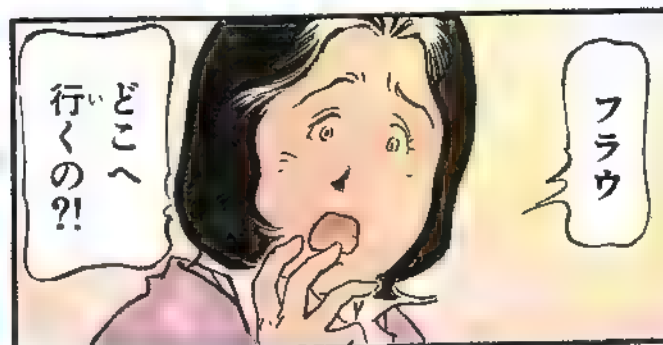
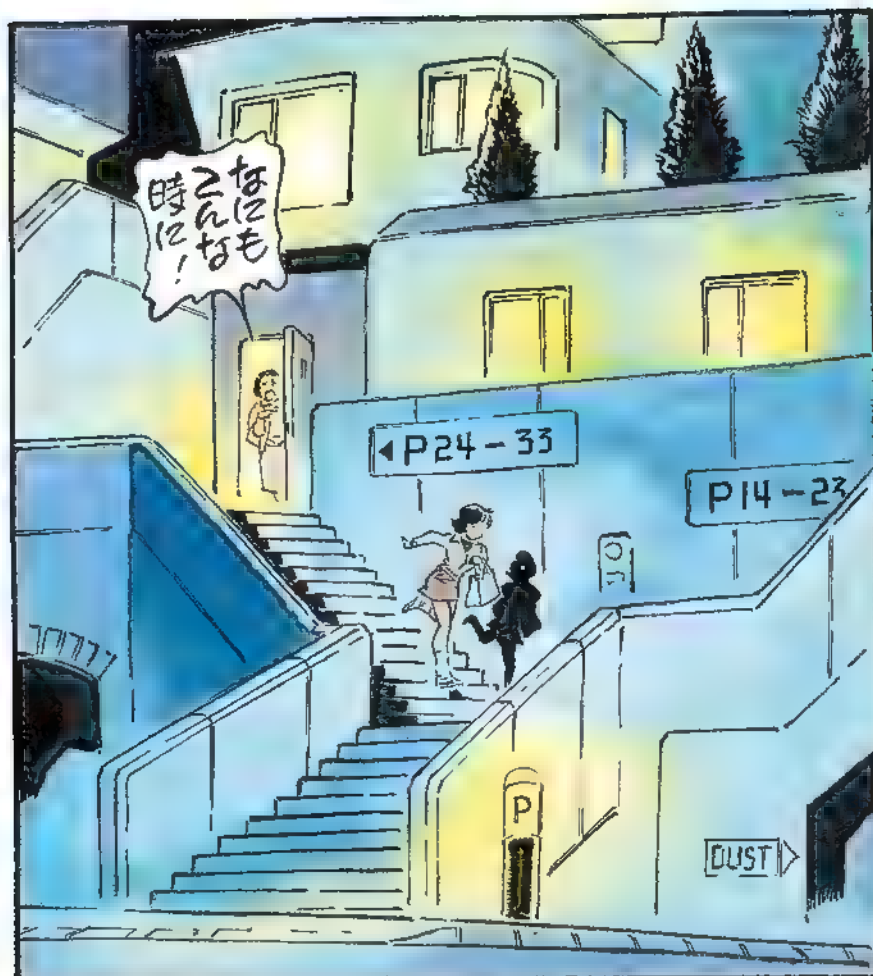
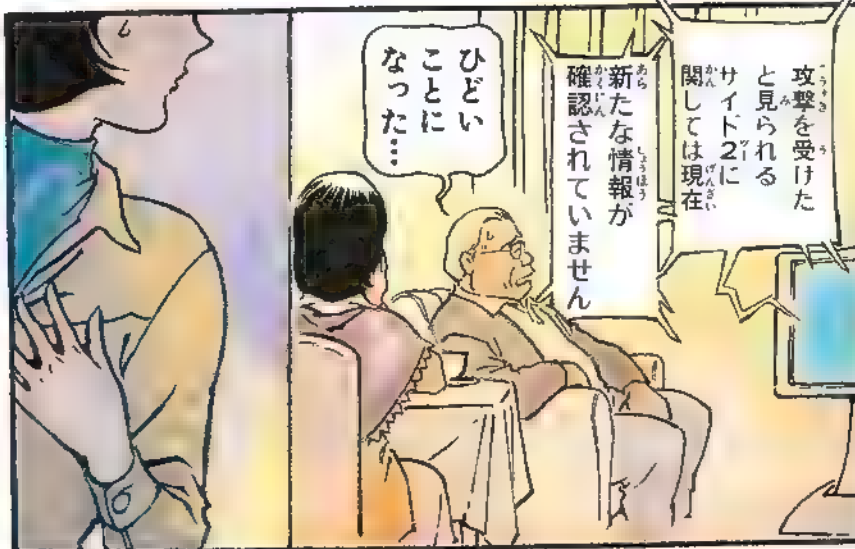
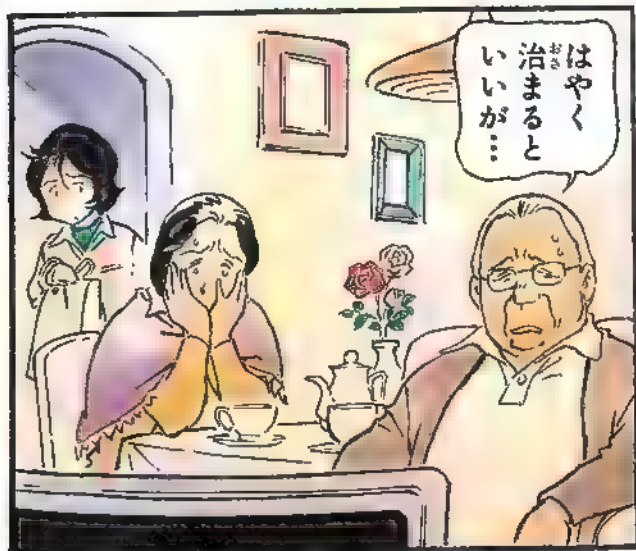
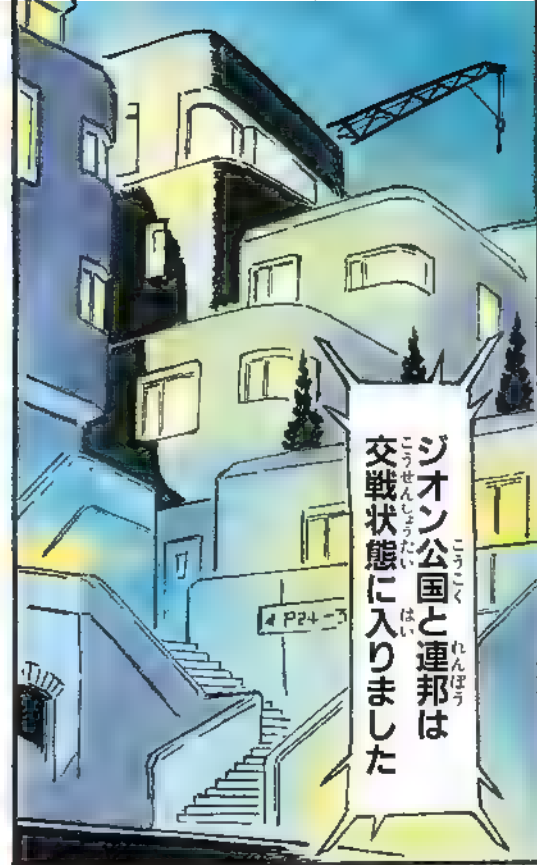


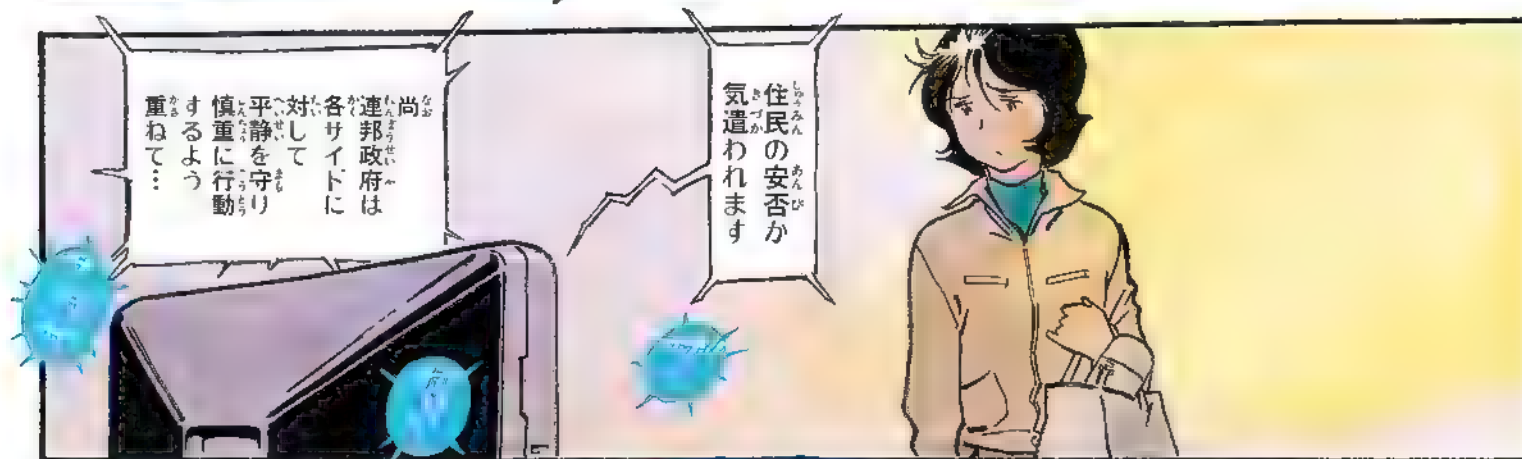
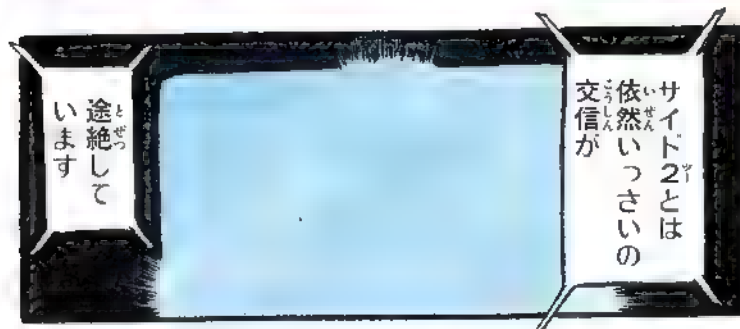
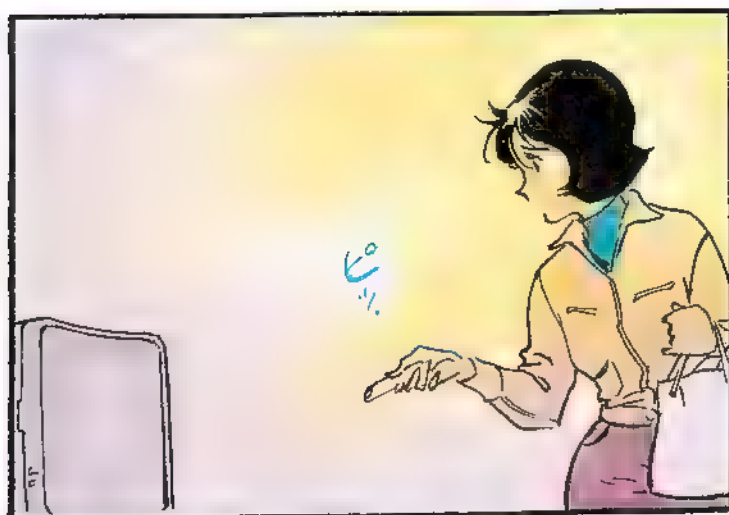
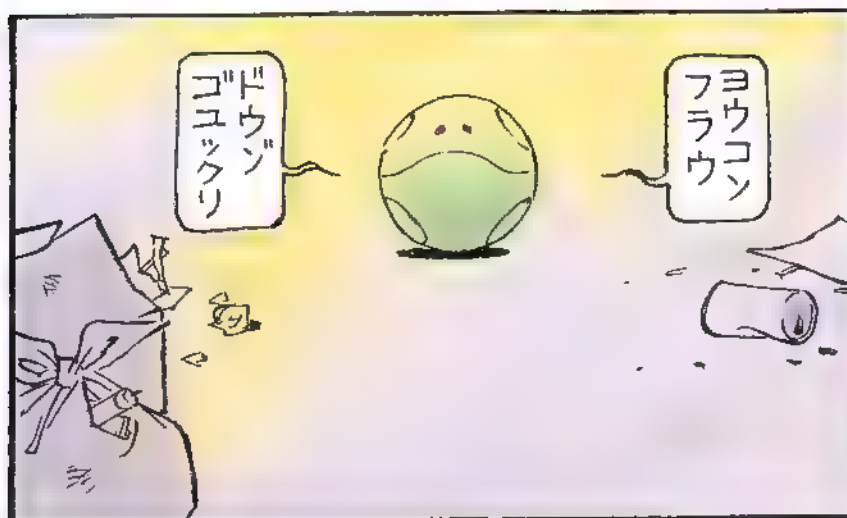
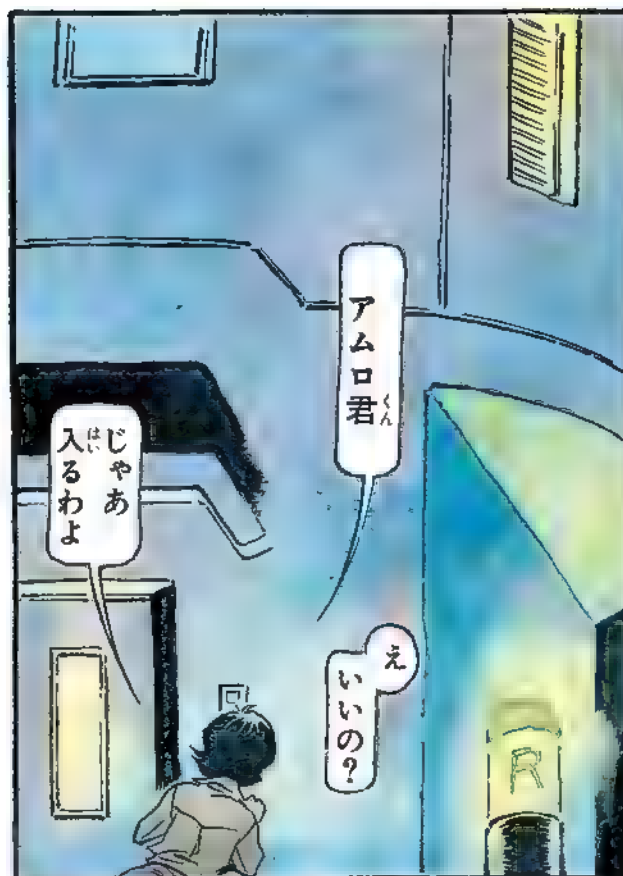
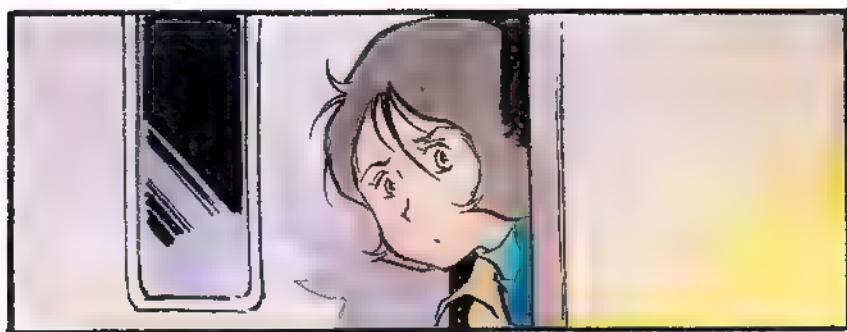


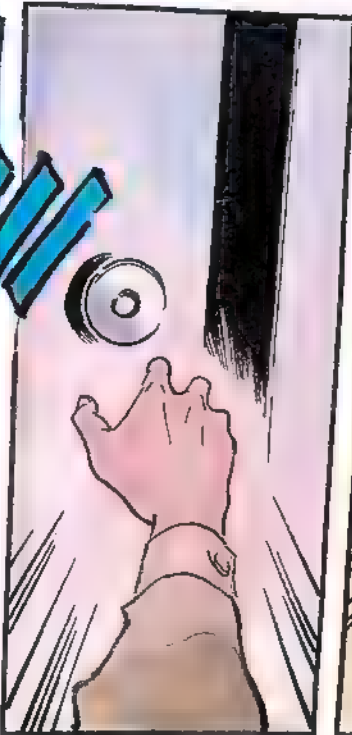
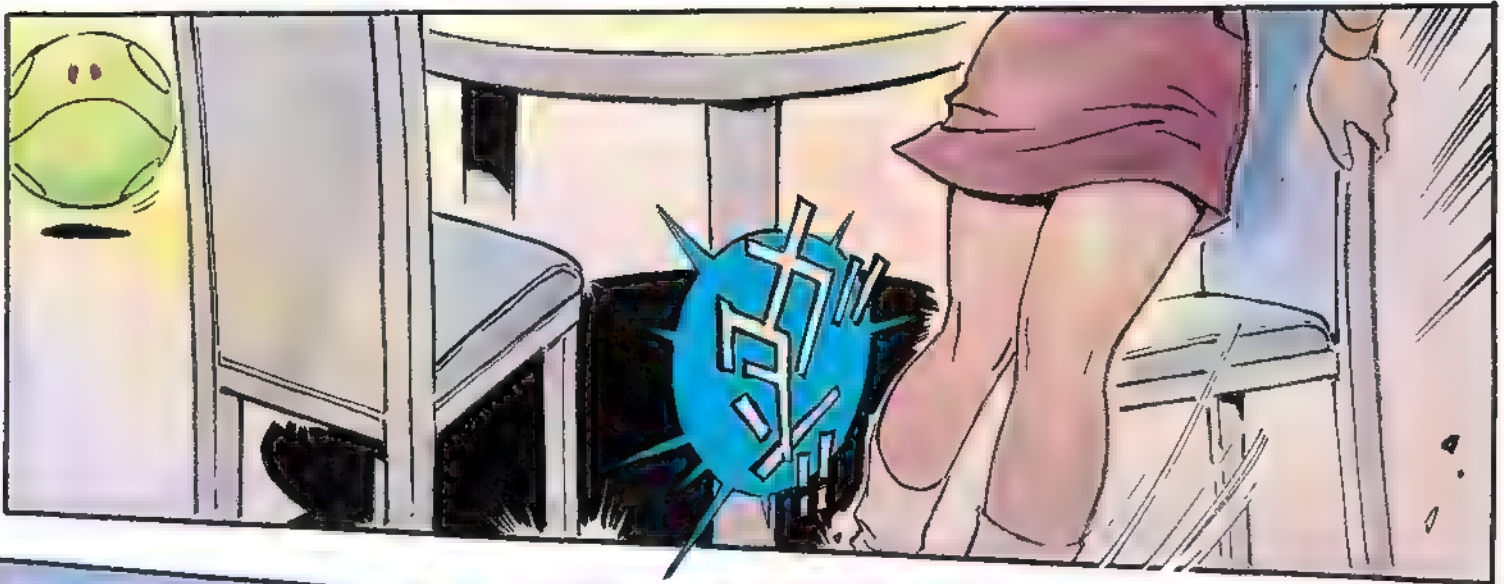
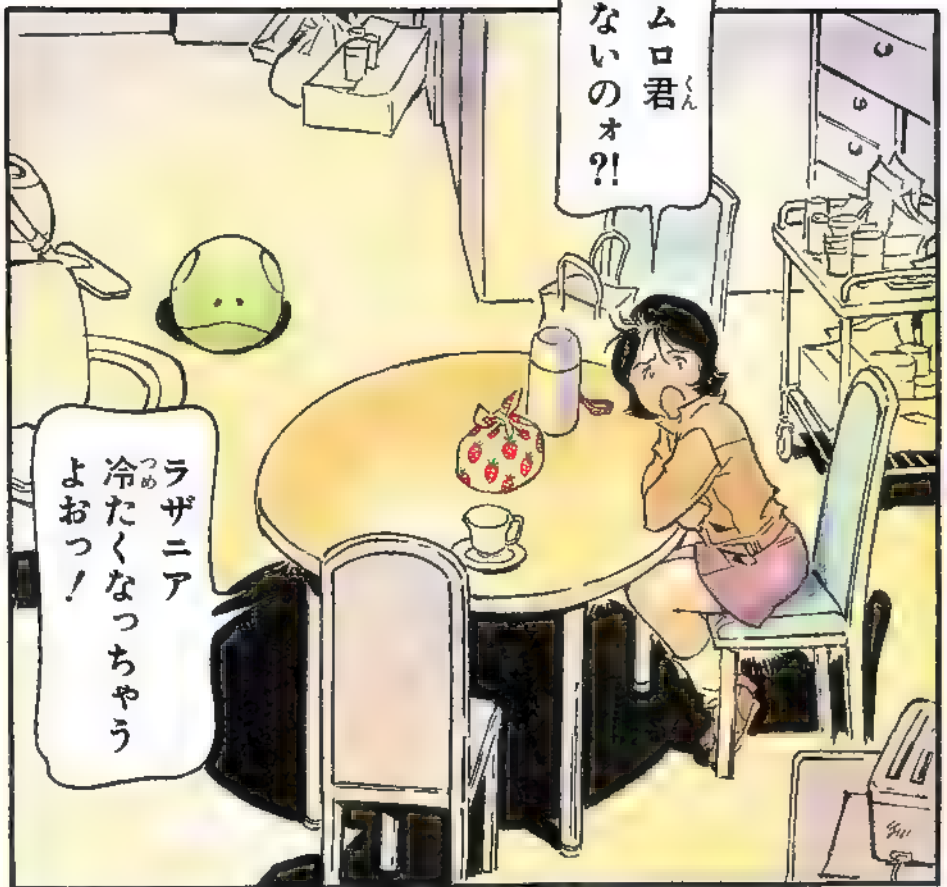
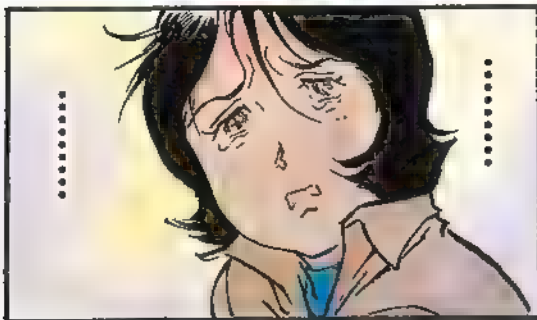
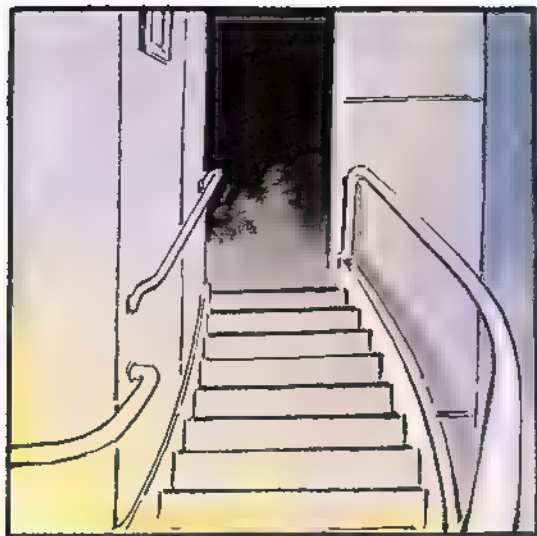


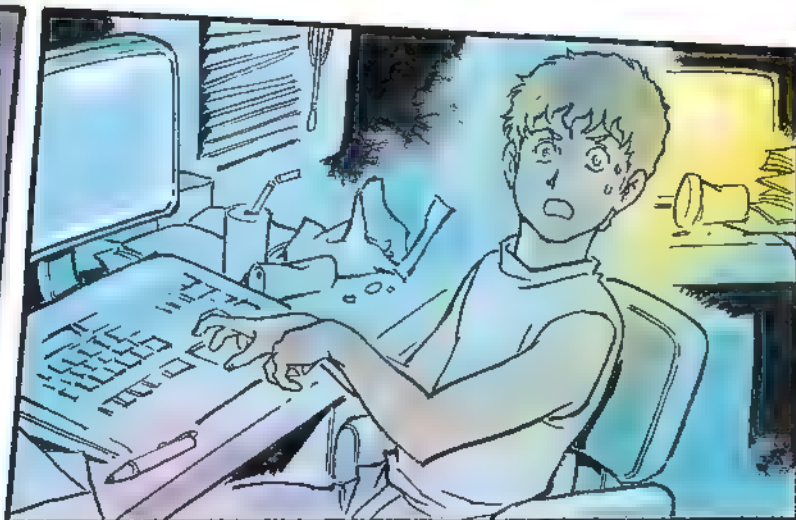
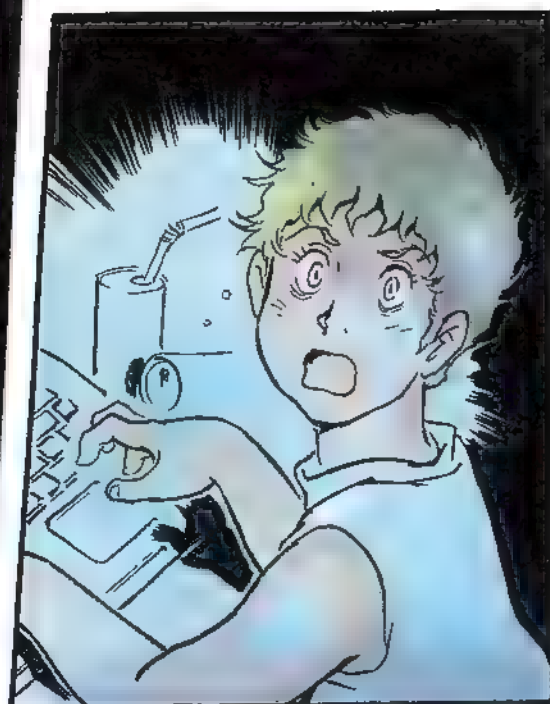












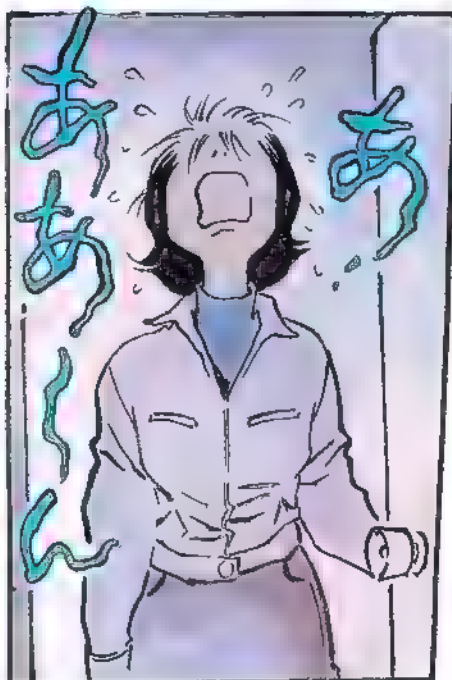
戦争に
なつて

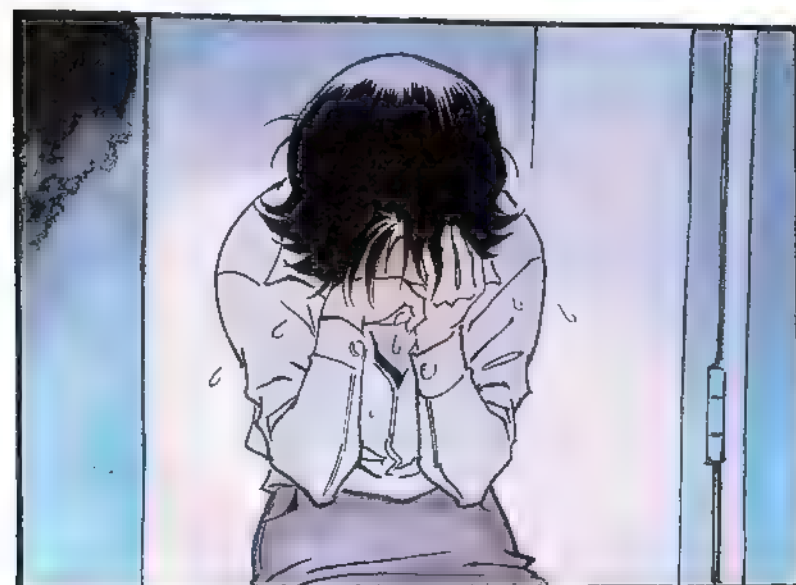
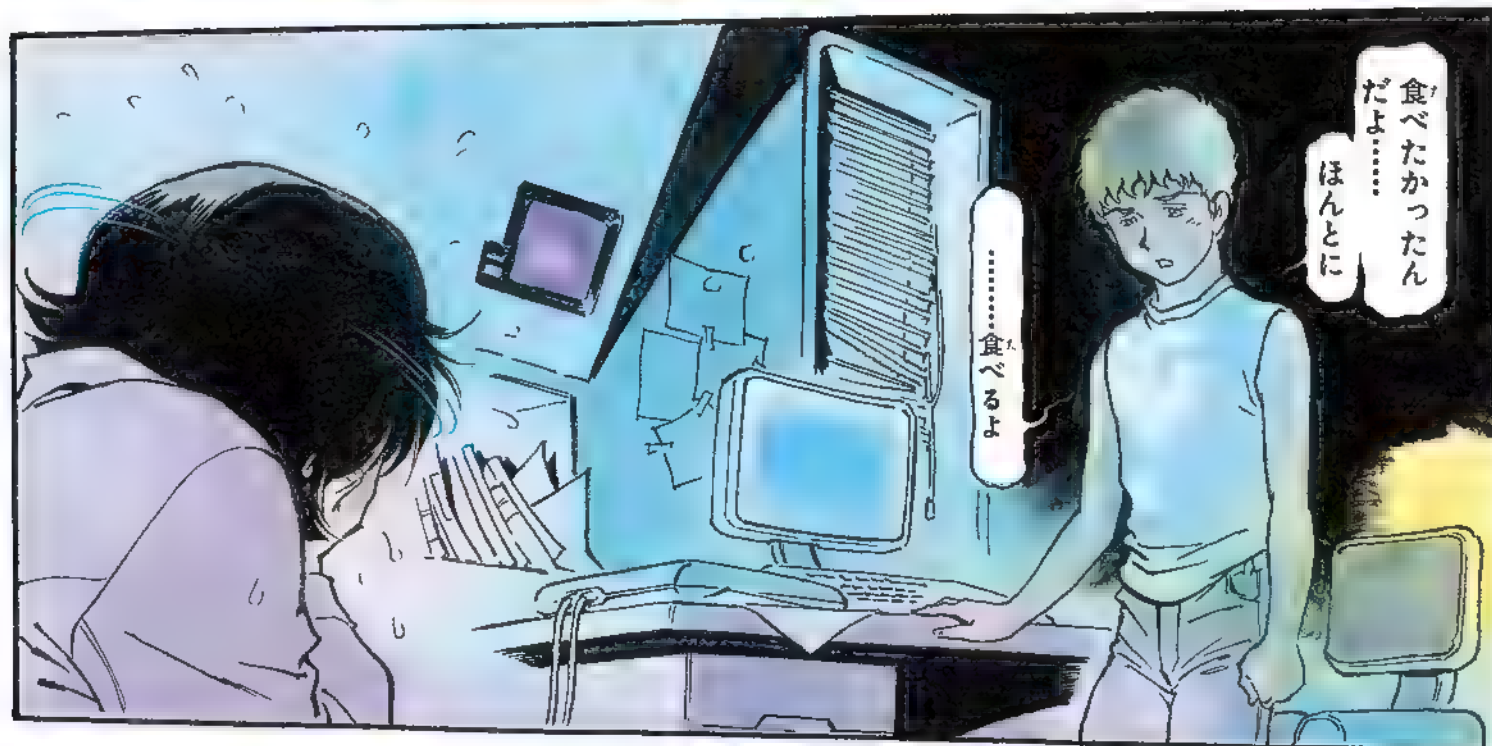
たくさん
死んでる人が
いるのに!!

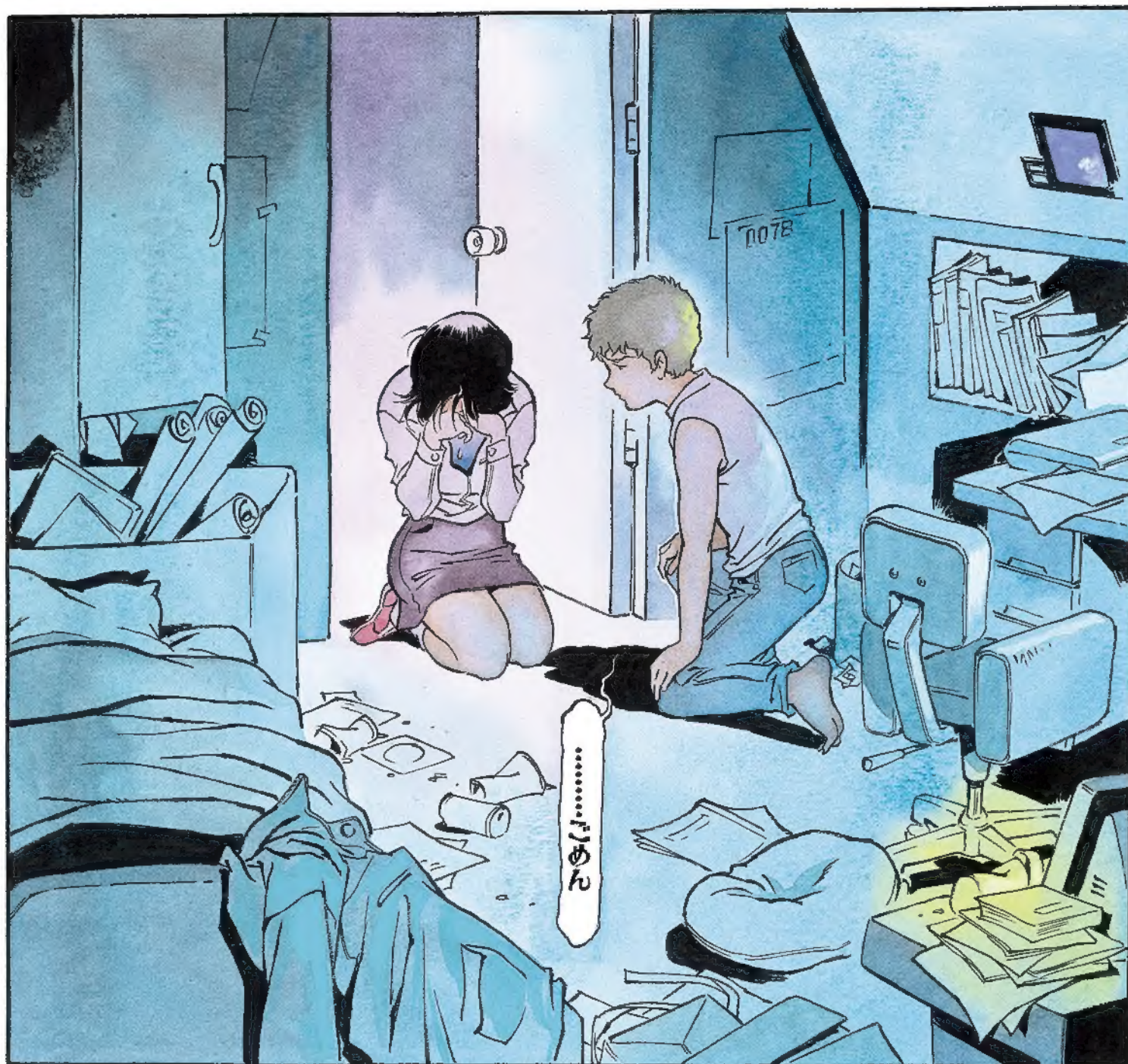


いるの

にいいイ







to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?

角川コミックス・エース

フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN^⑫

著者 安彦良和

原案 矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン 大河原邦男

2022年2月26日 発行
ver.001

©Yoshikazu YASUHIKO 2022
©創通・サンライズ

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』
(Comic Walker掲載)

発行者 青柳昌行
発行 株式会社KADOKAWA
<https://www.kadokawa.co.jp/>

●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/> (「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

装丁・デザイン 福島トオル(Smile Studio)
カラーリスト 凸版印刷株式会社



BOOK★WALKER